紙のプロレスRADICAL No.90 生き様を賭けた闘いだ!

発売元:(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元:(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6 パレ・ジュノ2F 電話/03-5368-1795
ワニマガジン社 定価(本体838円)


歴史は
8.28 THE LARGEST-EVER FIGHT OF PRIDE
動くか



[クロアチア現地独占インタビュー第2弾]

ミルコ・クロコップ

ついに時は来た。エメリヤーエンコ・ヒョードルvsミルコ・クロコップのPRIDEヘビー級タイトルマッチ。
これまで2年以上、この一戦に向かって何度かの挫折を乗り越えながら走り続けてきたミルコは、
世紀の一戦が決まったいま、何を思うのか？　クロアチア現地独占インタビュー第2弾は、
ミルコの自宅地下にあるトレーニング場からお届けしよう。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也
designed by hisa（Two Three）

生き様



MIRKO CRO COP

Alive externals of deep attachment

執念の

前号、クロアチアのリゾート地プーラにあるミルコの別荘で行ったインタビュー。その最後で、ヒョードル戦に向けたクロコップ・チームの練習にゼヒ参加してほしい選手として、あのセルゲイ・ハリトーノフの名前を挙げたミルコ・クロコップ。はたして、その真意はなんなのか？

後編となる今回はそんなミルコのハリトーノフ評、ヒョードルの分析、そして世紀の一戦を直前に控えた意気込みを帰国後の追加取材を交えてお届けしよう。

—セルゲイ・ハリトーノフに対して、クロコップ・チームの練習に合流してほしいというのは、どういったことからですか？

ミルコ ヒョードル対策として最高の練習相手であることは言うまでもないだろう。それから去年の8月に俺がヒョードルの弟アレキサンダーと試合をする時に、珍しくロシアン・トップチームが俺のロッカーにやってきて、打撃のコーチからイリューヒン・ミーシャまでみんなに「絶対勝ってくれ、俺たちは応援している」と言われたんだ。それから今度一緒に練習しようという話になって、何度か話はしたんだけど実現しなかった。……まぁ、今回も来ないだろうな（笑）。

—難しいでしょうね。

ミルコ 今となってはセルゲイにしてみれば、そりゃあ俺に自分の距離の取り方やクセを盗まれると思って警戒するのはわかるけどね。

—ハリトーノフも、ミルコ選手のことをいつかは倒さなければならない相手だと思っているでしょうからね。

ミルコ でもヤツがいまよりさらに上を目指すのであれば、俺のことを間近で研究するのも悪い話じゃないぜ。本物の打撃を肌で味わえるのは、彼にとってもいい経験になるだろう。だからプラスマイナスは五分五分じゃないか。

—合同練習に誘うというのは、ミルコ選手がやはりそれだけセルゲイ選手を評価しているということですか。

ミルコ 次に来るヘビー級のトップ・ファイターは彼だよ。まぁ、ヒョードルと闘う前からこんな話をしても仕方がないが、来年のＰＲＩＤＥヘビー級戦線は、俺たち3人（ミルコ、ヒョードル、ノゲイラ）に加えて、セルゲイ、マーク・ハント、それからヒョードルの弟アレキサンダーが加わってくるだろうな。



—ミルコ選手がハリトーノフを評価する大きなポイントとして、距離の取り方がうまいと言ってましたけど、やはりスタンドでの距離というのは、闘いにおいて非常に大事なわけですか？

ミルコ もの凄く大事だね。アーネスト・ホーストがなぜ負けないか、それはいろんな要素があるけれども、大きな要因は自分の距離で闘う術を彼は熟知していたからだよ。ことスタンドにおいては、ＰＲＩＤＥだって同じさ。距離の取り方で闘い方は決まってくる。

ヒョードルと俺の打撃の距離、間合い、それが一番大事になる

—特に今回のヒョードル戦はその距離が重要になってきそうですよね。

ミルコ そうだね。そしてヒョードルの打撃と俺の打撃の距離、間合い。その距離がヤツにとって、俺をテイクダウンできるかどうかをまさに決定するんじゃないかな。距離、間合いとは、真剣勝負の中でそれだけ重要な要素だからね。だがヒョードルは両足タックルには来ないだろうな。マーク・コールマン戦を見たら、俺から両足タックルを取ることがどんなに困難か、ヤツもわかっているだろう。

—となると、コーナーに追いつめて組んでからテイクダウンということが考えられますけど。

ミルコ コーナーに追いつめてかどうかはその時の状況次第だろうが、パンチを振るいながら近づいて、腰に組み付く。それしかないんじゃないのか？ だから去年の夏、弟のアレキサンダーと闘っておいたのは正解だった。ただ、ヒョードルにはアレキサンダーのリーチはないわけだからね。俺はあのとき、右足の内足じん帯を痛めていて、なかなかサイドステップを踏めずに、まっすぐに下がってしまって、ヤツの圧力、プレッシャーをまともに受けることになってしまったけどね。

—そのアレキサンダーを先月、ロシアで取材してきたんですけど、彼が自信満々に「ミルコは30歳の年寄りだ」と言っていたんですよ。

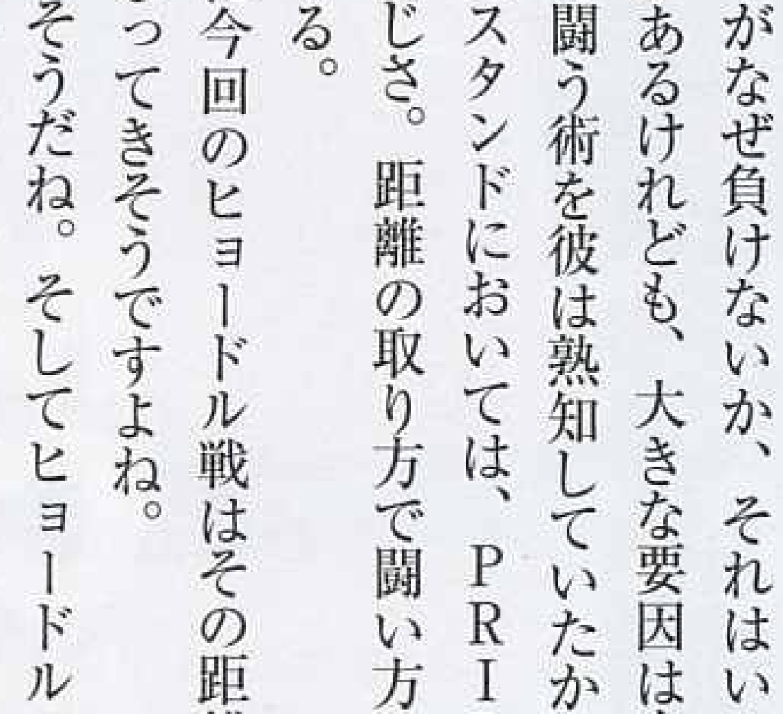
ミルコ ふ〜ん（意に介さないように）。だから、だからヤツは少しここ（オツムを指して）が足りないとみんなから言われるんだろうな。そんなレベルのことを言っているようじゃ。

—ちょっと続きも聞いてください（笑）。アレキサンダーは「30歳のミルコに上積みはないけれど、自分は急激に成長している。次にやったら間違いなく勝てる」と言っているんですよ。ミルコ選手は30歳という年齢についてはどう感じていますか？

ミルコ 30歳という年齢で肉体の衰えなど感じるわけがない（キッパリ）。ただ、俺は21歳で初めてK−1のリングに上がり、もう日本で10年近くハイレベルな闘いに身を置いてきたんだ。

—ああ、もう10年になりましたか。

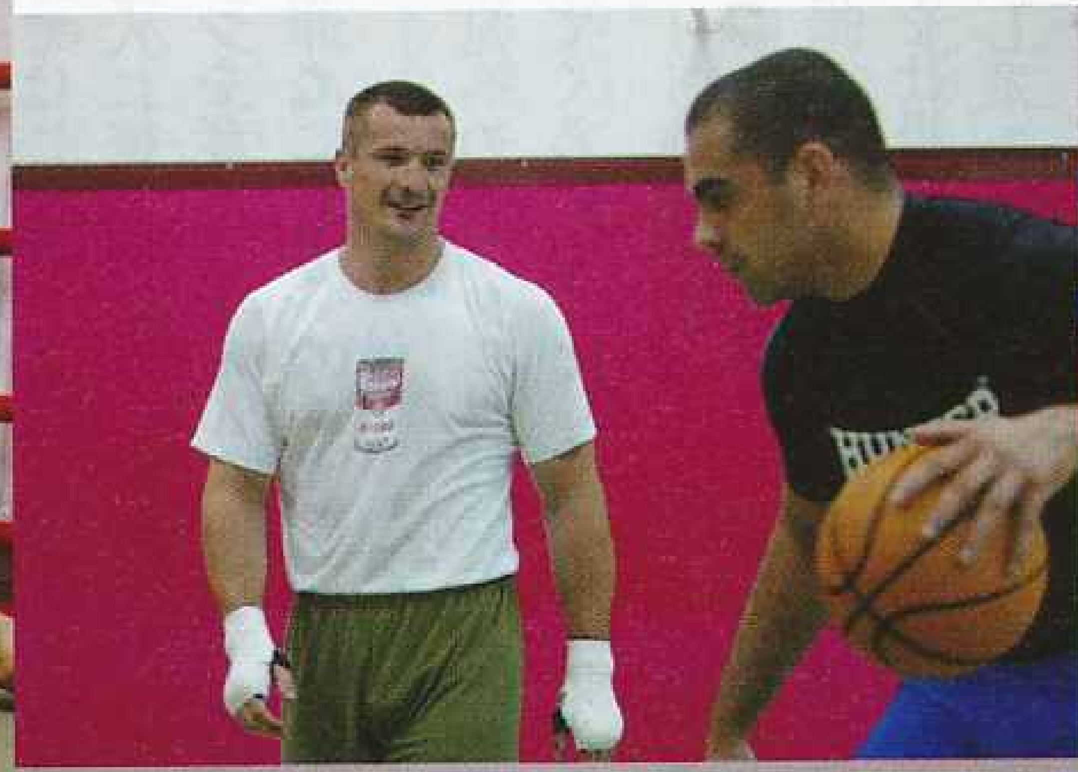
ミルコ だから身体のケアに今まで以上に気を使う必要が出てくる。そして今後、朝起きるのが面倒だと感じたり、練習でさんざん身体をいじめたあとにもう1Rスパーリングをやるのがおっくうになったり、要はそうやって自分を追い込めなくなったとき、それが年齢を感じるということなんだろうな。もしかしたら、ベルトを取った後



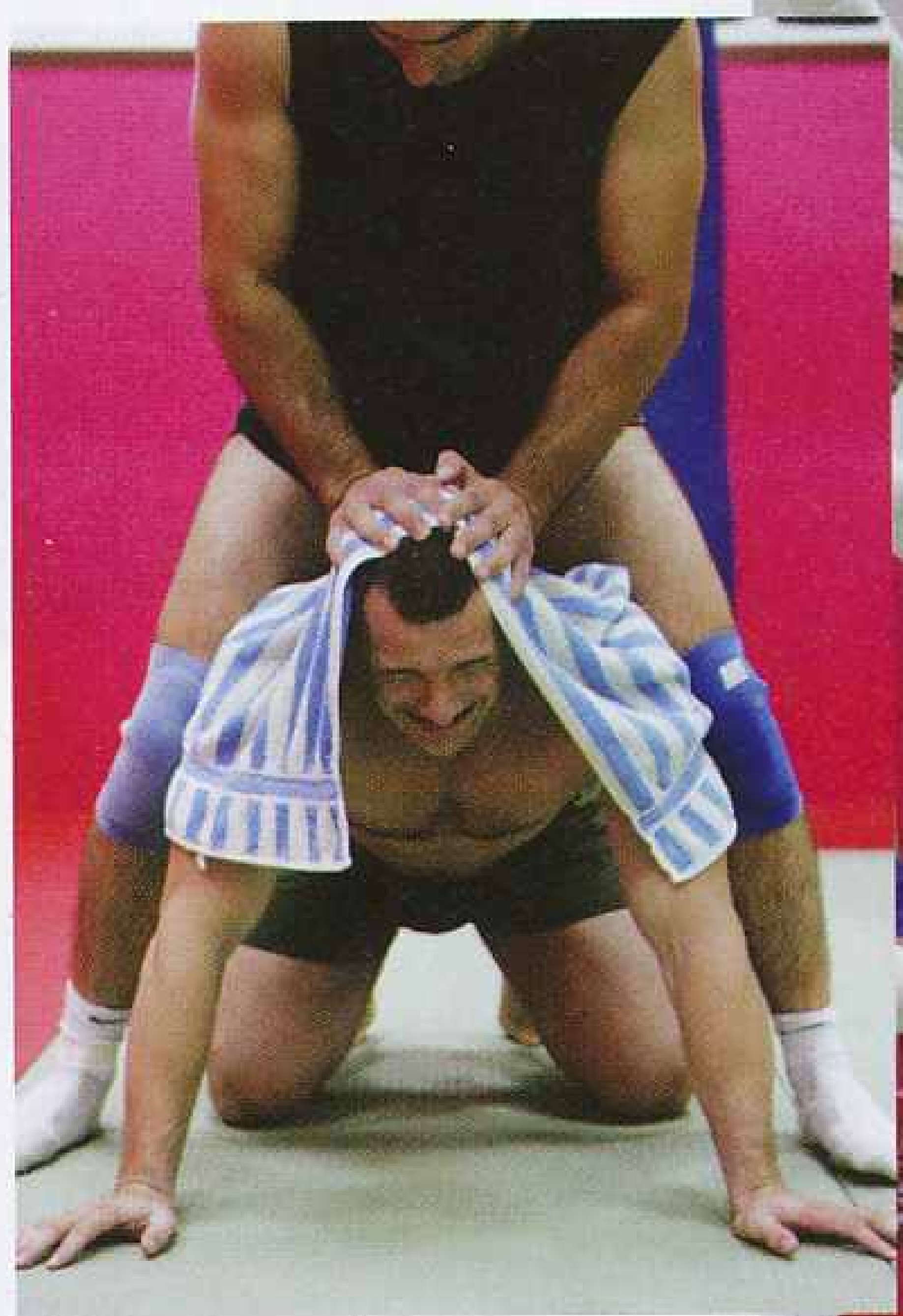


ご覧のように広いマットスペースにリングまであるクロコップ・チームのジム。自宅の地下とは思えない広く立派な作りだ。そして壁にはクロアチアの国旗のマークと共に漢字で書かれた「日本」と日の丸、そして『ＰＲＩＤＥ』のゴロマークが。ミルコの日本や『ＰＲＩＤＥ』への思いの強さが感じ取れる。

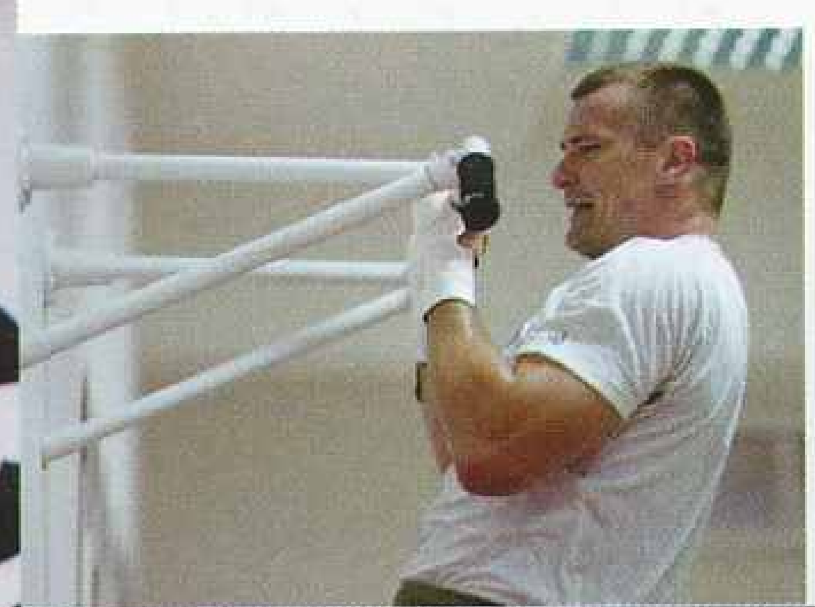














クロコップ・チームの練習は、まず最初に準備運動代わりにバスケットボール（3on3）からスタート。その後、ミット打ち、スタンドレスリング、グラウンドを数ラウンドこなし、懸垂でシメる。これを1日2回朝と夕方に行っていた。その他にもちろん、ランニング、フィジカル・トレーニングも欠かさない。

MIRKO CRO COP

Alive externals of deep attachment

は達成感から身体が守りに入り、そういった部分が出てくるかもしれない。要は気持ちの問題ということだ。

――ボクシングでもK―1でも40歳近いヘビー級チャンピオンがいくらでもいますからね。

ミルコ ただ、PRIDEは「勢い」がより要求される闘いでもあるからね。そう考えると、たしかにアレキサンダーの言っていることは一理あるんだ。だから去年、若い芽を摘んでおいたのさ（笑）。

と、ここまでが7月10日（日）、クロアチアのリゾート地プーラにあるミルコの別荘で行われたインタビュー。ミルコはこの後、当初より5日早くチームのメンバーと共に自宅のある首都ザグレブに戻り、翌11日（月）からヒョードル戦に向けた本格的なトレーニングをスタートさせた。

初日はブラジルのファス・バーリ・トゥードから来た柔道家ホドリゴ・アーティレイドが初めてチームに加わるということで、「軽めの練習だけにする」と言っていたミルコだったが、始まってみれば、その練習はスパーリングもミット打ちも追い込み期間のような激しいもの。初参加のホドリゴとも早速、組み技のスパーを行い、組み付かれてからの崩しや投げの対処など、vsヒョードル戦を見据えた実戦的な練習を繰り返し行っていた。とにかく、ミルコのヒョードル戦への意気込みはすさまじい。

そして練習後、改めてミルコに追加インタビューを申し込んだ。

――今日から本格的に練習がスタートしたわけですけど、早くも実戦を想定した練習でしたよね。いかに組み付かせないか、足を刈られないか、倒されても下にならな

いか。
ミルコ　もうやるべきことはわかっているから、それをこなすだけだ。ただ、まだスタートしたばかりだからね。ホドリゴも長旅の疲れもあっただろうし、初めてチームに合流したので、スパーリングに手足の爪を切らないで現れたりと、俺の気にさわることも若干あったが（笑）、とにかく力が強いから、これからいい練習相手になってくれるだろう。

――身体も見事なヘビー級ですもんね。

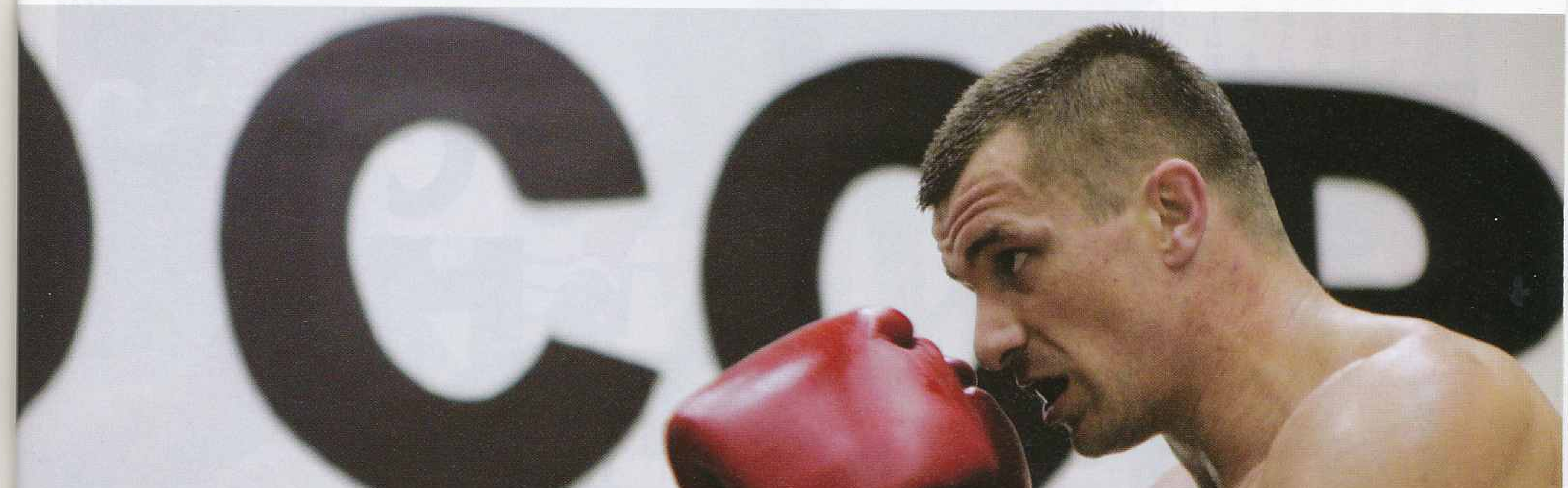
ミルコ　ちょっとヒョードルよりデカいけど、仮想ヒョードルという点ではいいスパーリング・パートナーになりそうだよ。ヒョードルは俺に対して足へのタックルをしかけてはこない。きっと胴に組み付いて、柔道式に俺を投げたり崩したりしてテイクダウンを奪おうするんだろう。だが、それは簡単なことじゃないぜ、と忠告しておこう。

――足へのタックル以外でのテイクダウン狙ってくるだろうと、もう読んでるわけですか。

ミルコ　おそらくヒョードルは左右のフックを振り回しながら前に出て、俺に同タックルを仕掛け、そこから投げ、もしくは体落とし系の技で自分の有利な体勢にもちこもうとするだろう。ヤツのグラウンドでのパウンドを活かすためには、俺を倒すしかないのだからね。

――ヒョードルはタイトルマッチに向けて、寝技だけでなく、オランダで打撃も特訓中のようですけど？

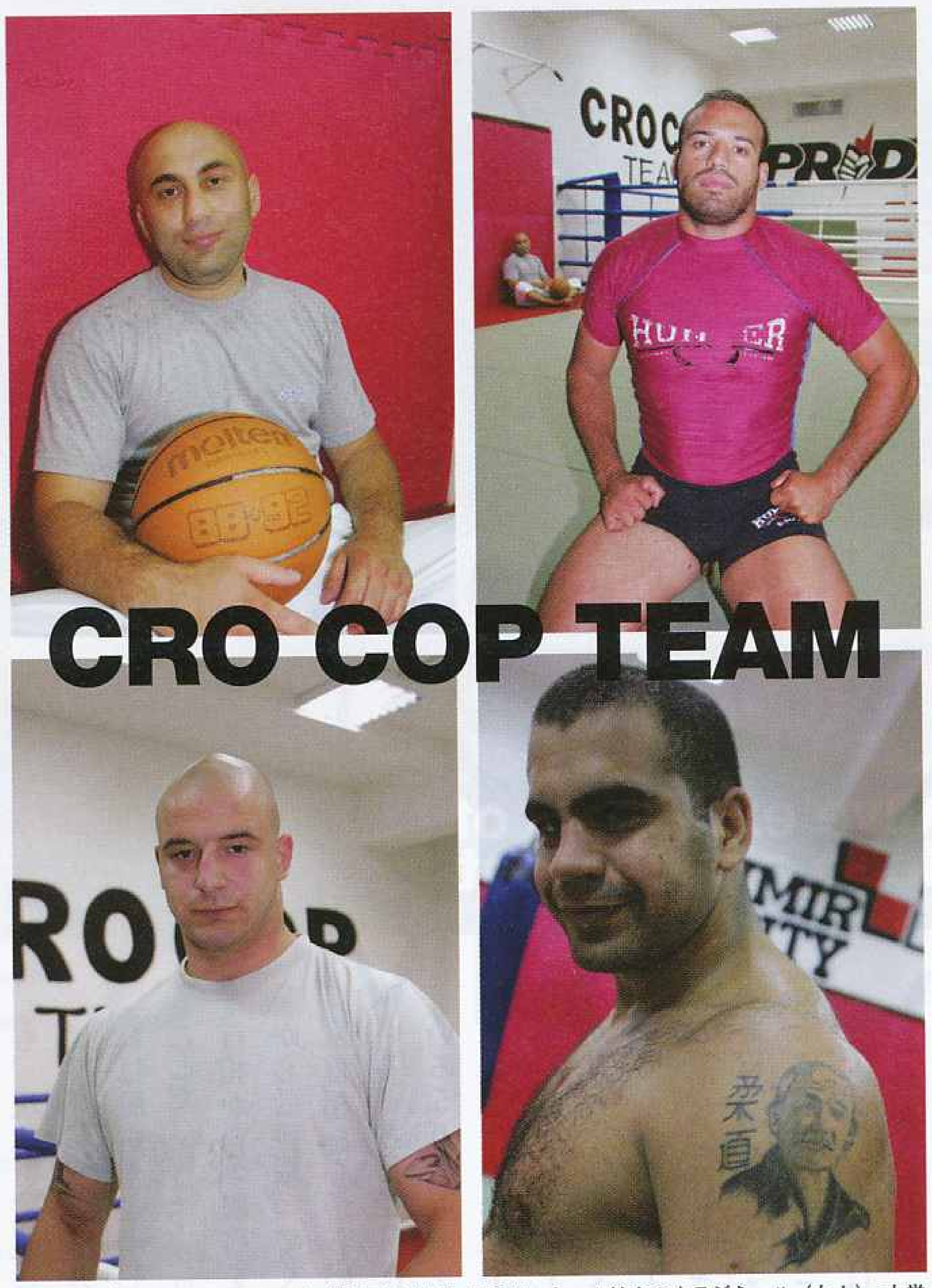
ミルコ　オランダでルシアン・カルビンの指導を受けるらしいが、カルビンは確かにタイボクシングのトレーナーとしてはヨーロッパナンバー1だ。でも、それはムエタイのリズムの中で優秀なトレーナーなので



MIRKO CRO COP
Alive externals of deep attachment

ヤツの出方によっては“究極の睨み合い”だけになるかもしれないな

あって、この短期間では、攻撃よりもディフェンスを教えてるんじゃないか?
――ヒョードルのスタンドでの攻撃で一番怖いのは、出入りの早さと左右のフックだと思います。これまでPRIDEでも猛威を振るってきましたけど、どう思いますか?
ミルコ （ニヤッと笑い）俺が同じく出入りの早いケビンに一発もらったから、きっとヒョードルも狙ってくるだろうって? 正直に言うと、俺はケビンみたいなタイプが一番やりにくい。動きが素早く、そして何をしてくるかわからない。
――じゃあ、ヒョードルも同じくやりにくいわけですか?
ミルコ どうだろう? （ニヤリとしながら）ヒョードルが全然前に出てこないという可能性だって考えられる。大晦日にやったノゲイラ戦を見ただろう? ヒョードルは判定でもなんでもいいから勝ちにくる。そのためにはスタンドでのコンタクトを最小限にすることが、リスクを回避する一番の手段だ。もしかしたらヤツの出方次第では、俺とヒョードルの試合は〝究極の睨み合い〟だけになるかもしれないな。
――2年以上これだけ期待させて待たせておいて（笑）。でも、日本の剣豪同士の闘いみたいに、ハイレベルな真剣勝負では、見合ったまま仕掛けないということもあるかもしれませんね。
ミルコ 力が拮抗してるときは、お互いが倒しに来てこそ勝負が決するんだ。ところがお互いが負けないように闘うと、なかなかチャンスはないものだからね。
――ノゲイラ戦を見ても、ヒョードルは大一番になると、いかにして負けないかという闘いをしてくるクレバーな面がありますからね。
ミルコ ならば、その手には乗らないよと。ただ、俺の中ではあらゆる状況を想定したゲームプランが何通りも用意できているから、ヤツがどんな闘いをしてきても慌てることはない。なんと言っても、この2年間、俺ぐらいヒョードルのことを考えてきた人間はいないだろう。ヤツの家族やチームメイト以上にヒョードルのことを考えてたんじゃないかと思うよ（笑）。
――いまさら素朴な質問なんですけど、なぜミルコ選手はそこまでヒョードルの首、そしてPRIDEのベルトにこだわるんですか?
ミルコ 簡単なことさ。PRIDEのベルト＝格闘技の世界最強の称号だからだよ。たしかにK―1 GPに優勝することも大変な偉業だとは思う。でも、K―1 GPは運や組み合わせや1日3試合行うことなど、純粋でない部分が多く作用しすぎる。それに立ち技だけのファイターは、寝かされたら基本的に終わりじゃないか。そしてUFCのレベルだってわかっている。やっぱりヒョードルが巻いているあのベルトこそが世界最強の証だと俺はハッキリと認識しているし、多くのファンも同じ思いで見ているはずさ。だから俺も格闘家になったからにはどうしてもあのベルトがほしいんだ。



クロコップ・チームのトレーニング初日に参加したのは、ミット持ちのウラジミール（左上）、大学のレスリング部に所属するイゴール（右上）、アマレスラーでバウンサーのサーシャ（左下）そして、ブラジルから来た柔道家ホドリゴ・アーティレイド。なお、ファブリシオ・ヴェウドゥムはミルコに怒られながら、1日遅れで加わったとのこと。

――6月の記者会見では「ヒョードルとのタイトルマッチは自分の人生最大の闘いだ」と言ってましたけど、K―1GPの決勝戦に出たときとも、全然気持ちが違いますか?
ミルコ 全然違うね。あれは流れの中でたまたま勝ち上がった部分もあるし、いろいろな意味でレベルが違うよ。
――たしかにK―1は1日に2試合勝ったら、〝最強決定戦〟にたどりつきますけど、PRIDEの〝最強決定戦〟はたどりつくのに2年間かかったわけですからね（笑）。では、あと決戦まで（この取材の時点で）6週間ですが、あとはプランどおりにやるべきことをやるだけですか?
ミルコ そうだな。でも、6週間なんかすぐだろうな。
――6週間はすぐだという焦りはないですか?
ミルコ まったくない。俺は別に6週間で準備をするわけじゃなく、ヒョードル戦のために2年間準備してきたんだからね。

こうして3日間に渡るクロアチアでの取材。そして2度に渡るインタビューは終了した。3日間、間近でミルコと接し、話しをしてみて感じたのは、とにかくヒョードル戦へ向けたミルコの充実ぶりだ。なんの迷いも焦りもなく、人生最大の大一番へ少しずつ身体と気持ちを高めていく。大一番を前にしてこの落ち着きは、2年間、やるだけのことはやったという達成感から生まれてくるものだろう。ミルコにとって8月28日は、破壊王ではないが「時は来た、それだけだ!」まさにそんな気持ちに違いない。

では、最後に帰国してから三週間後、いよいよ試合まであと2週間と迫ったミルコの声を国際電話でお届けしよう。
――クロアチアで取材させていただいてから、4週間が経ちましたが、現在の状態はいかがですか?
ミルコ バイオリズムから言うと、今がもっとも疲労が蓄積している時期だ。しかし



MIRKO CRO COP
Alive externals of deep attachment

順調だ。俺もファブリシオも、完璧に仕上げて日本に行く。

――パウエル・ナツラがクロコップ・チームの練習に参加すると聞いていましたが、実現しましたか？

ミルコ いや、彼もいろいろと考えているんだろう。今回は、来ないということだ。ただ、クロコップ・チームの門はいつでも開かれている。彼がここにくる決心をしたときは、いつでもウェルカムだ。俺も柔道金メダリストがどんなものなのか興味があるしね。

――ヒョードル戦は過去最大の大一番だけに、オーバーワークが心配されますが、トレーニングは予定通りできていますか？

ミルコ それが、もっとも大切なことだ。予定通り、ここまで来ているし、いつもの試合と違うことといえば、いつもより早く試合の5日前に日本に到着するということだけだ。コンディションをベストに、それが何よりも大切なことだからね。

――多くのファンがミルコ選手のベルトを巻いた姿を心待ちにしています。改めてヒョードル戦への意気込みを聞かせてください。

ミルコ ファンの期待に応えられるよう、がんばるよ。それだけさ。そういえば日本では小泉首相が衆議院を解散したと、マネージャーから聞いた。ファンが俺を応援してくれるように、俺は小泉首相を応援したいよ（笑）。

――あ、ミルコさんも〝郵政解散〟をご存知でしたか（笑）。

ミルコ クロアチアにいると日本の情報はほとんど入ってこないので、詳しいことはわからないが、新しいドラスティックな変化を実現するには、多少強引にでも、現状を破壊しなければできないに違いない。それは歴史が証明してきたことだ。俺は、クロアチア首相からの親書を俺の手から受け取ってくれた小泉首相を心から応援している。8月28日に会場にいる5万人近いファンや関係者はみな選挙権があるわけだろう。もし、首相が試合を観戦して、そして勝者へのベルト授与をしていただけるチャンスがあるのであれば、そして、そこに俺が勝者として立っているのであれば、俺はファンのみんなに、小泉首相を応援しようとマイクで語りかけたいくらいの気持ちだ。お互いに、一世一代の絶対に落とせない大勝負に挑むわけだからね。

――このタイミングでミルコ・小泉連合が生まれたら、メチャクチャ話題になるでしょうね（笑）。では、最後にヒョードルに言いたいことはありますか？

ミルコ Good luck.ここまで来たら、その一言だよ。俺はこの試合を受けてくれたことを感謝している。6月26日、マゴメドフ戦のあとベルトを肩にかけリングに向かってきたとき、ヤツもいい表情してたよな。お互いベストをつくそう。そして、世界最強を決するにふさわしい勝負を、世界中の格闘技ファンに見てもらおう。それだけだ。

【7月10日&11日、クロアチアにて収録＋8月10日、国際電話にて追加取材】



Private of Mirko Cro cop

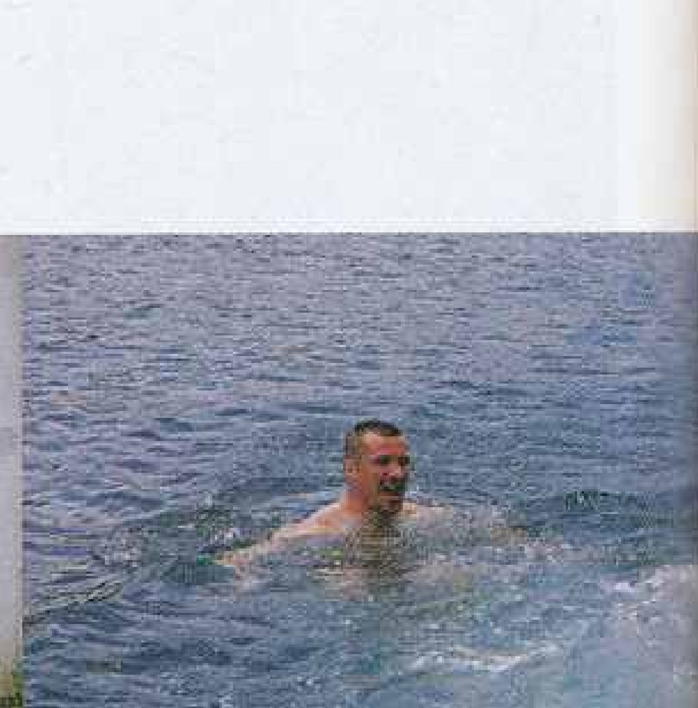
素顔のミルコ・クロコップ

今回のクロアチア取材で一番の収穫と言えば、もしかしたら、これまで見せることがなかった素顔のミルコを撮影できたことかもしれない。いつも緊張感とピリピリとしたムードを漂わせる、我々が知る“ミルコ・クロコップ”はそこにはいない。目の前にいたのは、愛する家族と共に優しい笑顔を見せる“ミルコ・フィリポビッチ”の姿だった。

構成／堀江ガンツ　撮影／乾晋也
designed by hisa (Two Three)







Wife

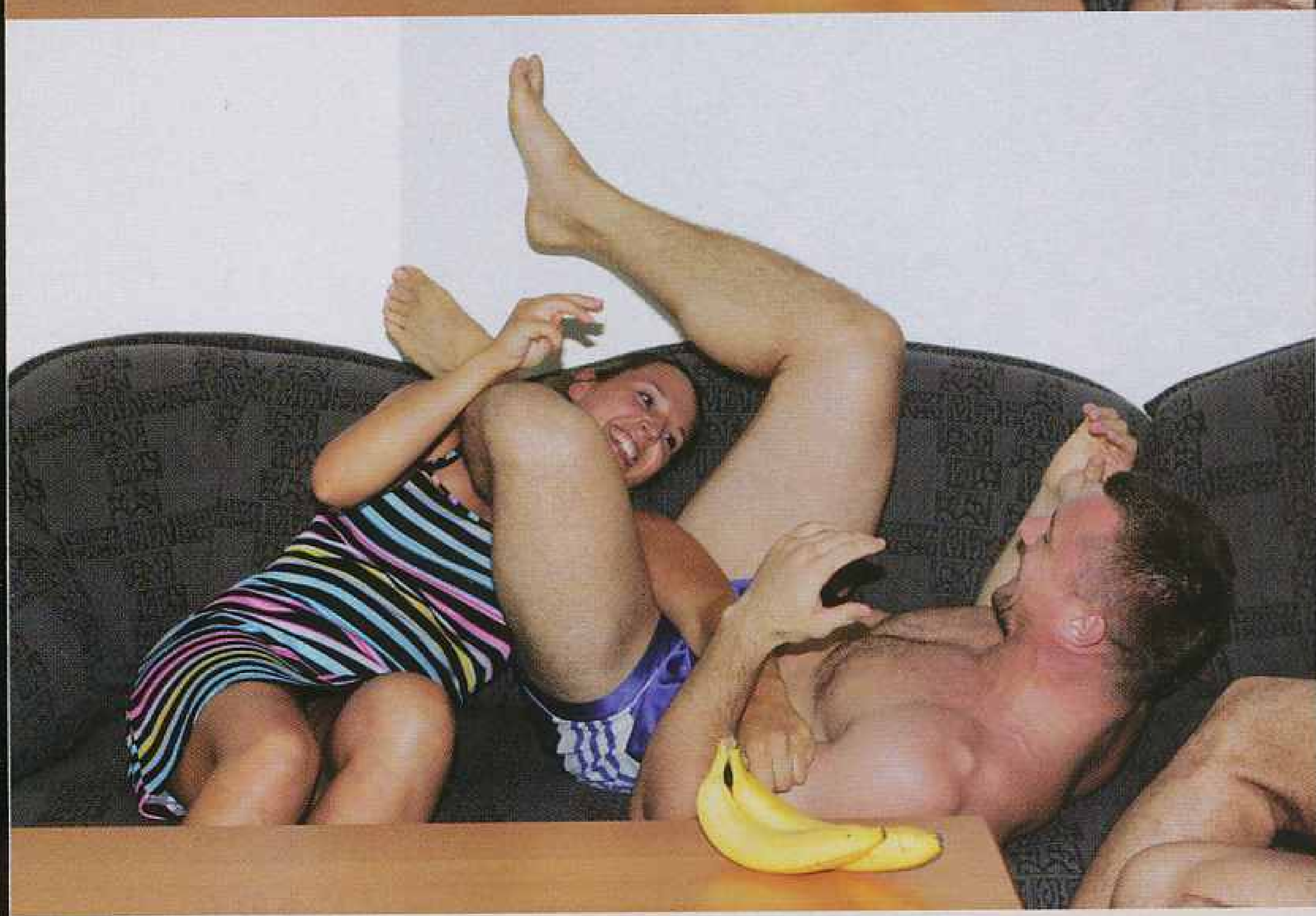
妻はレコより組み技が強い（?）有名サッカー選手のいとこ

結婚3年目のミルコと妻クラウディアさんは大学生カップルのように仲がいい。取材のときもソファーでじゃれ合い出し、ふざけてミルコは三角絞めを極めにかかる。そこへクラウディアさんもボディパンチで応戦。最後は十字でタップを奪ったものの、「彼女は組技だけならレコより強い（笑）」とミルコも脱帽。














Son

ミルコがパパの顔になる瞬間
愛息は将来有望なアスリート

ミルコの尋常じゃない努力の原動力は愛息イワン君にある。ここまで自分を追い込めるのも、「PRIDEの頂点に立つと息子の寝顔に誓ったからだ」とミルコは言う。そんなイワン君。2歳にしてはビックリするぐらい身体が大きく、足も速い。父はPRIDEトップファイター、母は98年サッカーW杯得点王であるスーケルのいとこという超一流の血筋を引き継いでいるため、将来はとんでもないアスリートになりそうだ。ちなみに残念ながらミルコは息子を自分と同じ道に進めるつもりはなく、「サッカー選手になって稼いでほしい」とのこと。

Private of Mirko Cro cop



Mother

ミルコを支え続けた母は
息子の夢が叶うことを祈る

母親ではなくお姉さんではないかと思ってしまうほど、いまも若々しく美しい母アナさん。若くして父を亡くしたミルコを支え続け、お母さんが苦労して渡航費用を捻出しなければ、ミルコの日本デビューはなかったことは有名。誰よりも息子の努力を見続けるアナさんは、ミルコの夢が叶うことを心から願っている。





Pet

戦士の心を癒す3匹の犬はロードワークのパートナー

練習後、地下のトレーニングルームから出てきたミルコの心を癒してくれるのが、2匹の小型犬マックスとレックス。そしてミルコ自慢の大型犬ロトワイラーは、毎朝、周囲の山を共にロードワークで走るパートナー。ミルコの一日は犬と一緒のランニングからスタートするのだ。

Private of Mirko Cro cop



House & Car

ザグレブの街を一望できる家 趣味の車はベンツとBMW

2004年春に建てたミルコの自宅は、首都ザグレブの街を一望できる高台にたつ豪邸。まさに気持ちは権力者が天守閣から街を一望するかのよう。そして、ミルコが趣味だと言う車はベンツEクラスロリンザー仕様とBMWX5の2台を所有。ちなみにその前はアウディA8に乗っていたとのこと。王者にはやはり高級車がよく似合う。

ル

ミルコ・クロコップ MMA全試合戦績

20戦16勝2敗2分

[所属]チーム・クロコップ
[生年月日]1974年09月10日
[身長・体重]188cm・104.0kg
[バックボーン]キックボクシング
[デビュー]21歳
96年『K-1グランプリ』(vsジェロム・レ・バンナ)
[タイトル]
99年K-1ワールドグランプリ準優勝

ミルコ徹底比較

まさに実力拮抗、予想困難極まりないヒョードルvsミルコの世紀の一戦。はたして勝つのはヒョードルかミルコか。どうしても〝心情馬券〟を買ってしまいがちなこの闘いを、ここでは対戦データをもとに客観的に分析してみよう。

まず両者の戦績を比較。なんと奇しくもヒョードルの日本国内全試合とミルコのMMA全試合は共にまったく同じ20戦。戦績はご覧のとおり、事実上の〝無敗〟であるヒョードルが上回っているが、KO(一本)率はヒョードルが61・1%に対し、ミルコは80・3%という驚異的な数字。平均試合時間も1分以上ミルコの方が短く、ここから導き出されるのは、判定になるとヒョードルに軍配が上がる可

相手試合結果

藤田之	1R0:39 TKO○
	3R終了 判定3-0○
永田	1R0:21 TKO○
ース・ヒング	1R3:17 KO○
オ・ゴ・ノゲイラ	2R1:45 腕ひしぎ十字固め×
ン・デルマン	1R1:57 KO×
	1R0:41 フロントチョーク○
ク・コマン	1R3:42 KO○

一本での勝率

81.25%

均時間

約6分13秒


○vs藤田和之
(01.08.19『K-1』K-1vs猪木軍 対抗戦)
1R0:39 TKO


△vs髙田延彦
(01.11.03『PRIDE.17』)
延長2R終了 ドロー


○vs永田裕志
(01.12.31『猪木祭り』)
1R0:21 TKO


△vsヴァンダレイ・シウバ
(02.04.28『PRIDE.20』)
5R終了 ドロー


○vs桜庭和志
(02.08.28『Dynamite!!』)
2R終了 TKO


○vs藤田和之
(02.12.31『猪木祭り』)
3R終了 判定3-0


○vsヒース・ヒーリング
(03.06.08『PRIDE.26』)
1R3:17 KO


○vsイゴール・ボブチャンチン
(03.08.10『PRIDE GP 2003開幕戦』)
1R1:29 KO


○vsドス・カラスJr
(03.10.05『PRIDE武士道』)
1R0:46 KO


×vsアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
(03.11.09『PRIDE GP 2003決勝戦』)
2R1:45 腕ひしぎ十字


○vsロン・ウォーターマン
(04.02.01『PRIDE.27』)
1R4:37 KO


○vs山本宜久
(04.02.15『PRIDE武士道・其の弐』)
1R2:12 KO


×vsケビン・ランデルマン
(04.04.25『PRIDE GP 2004開幕戦』)
1R1:57 KO


○vs金原弘光
(04.05.23『PRIDE武士道・其の参』)
2R終了 判定3-0

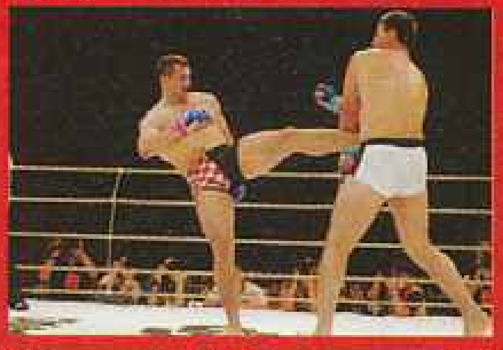

○vs大山峻護
(04.07.19『PRIDE武士道・其の四』)
1R1:00 KO


○vsエメリヤーエンコ・アレキサンダー
(04.08.15『PRIDE GP 2004決勝戦』)
1R2:09 KO


○vsジョシュ・バーネット
(04.10.31『PRIDE.28』)
1R0:46 ギブアップ


○vsケビン・ランデルマン
(04.12.31『PRIDE男祭り』)
1R 0:41 フロントチョーク


○vsマーク・コールマン
(05.02.20『PRIDE.29』)
1R 3:42 KO


○vsイブラヒム・マゴメドフ
(05.06.26『PRIDE GP 2005 2回戦』)
1R3:53 KO


○vs高田浩也
(00.09.05『Rings Battle Genesis Vol.6』)
1R0:12 KO


○vsヒカルド・アローナ
(00.12.22『Rings KOK2000』)
3R終了 判定3-0


×vs髙阪剛
(00.12.22『Rings KOK2000』)
1R0:17 ドクターストップ


○vsケリー・ショール
(01.4.20『Rings World Title Series 1』)
1R1:47 腕ひしぎ十字固め


○vsレナート・ババル
(01.08.11『Rings 10th Anniversary』)
2R終了 判定3-0


○vs柳澤龍志
(01.10.20『Rings World Title Series 4』)
3R終了 判定3-0


○vsリー・ハスデル
(01.12.21『Rings World Title Series 5』)
1R4:10 ネックロック


○vsクリストファー・ヘイズマン
(02.02.15『Rings World Title Series Final』)
1R2:50 ポイントアウト


○vsセーム・シュルト
(02.06.23『PRIDE.21』)
3R終了 判定3-0


○vsヒース・ヒーリング
(02.11.24『PRIDE.23』)
1R終了 ドクターストップ


○vsアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
(03.03.16『PRIDE.25』)
3R終了 判定3-0


○vs藤田和之
(03.06.08『PRIDE.26』)
1R4:17 裸絞め


○vsゲーリー・グッドリッジ
(03.08.10『PRIDE GP 2003開幕戦』)
1R1:09 TKO

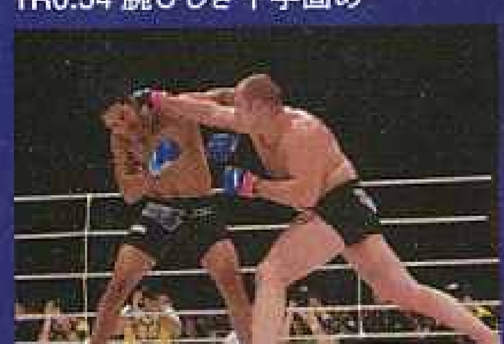

○vs永田裕志
(03.12.31『猪木祭り』)
1R 1:02 TKO


○vsマーク・コールマン
(04.04.25『PRIDE ヘビー級GP開幕戦』)
1R2:11 腕ひしぎ十字固め


○vsケビン・ランデルマン
(04.06.20『PRIDE GP 2004 2回戦』)
1R1:33 アームロック


○vs小川直也
(04.08.15『PRIDE GP 2004決勝戦』)
1R0:54 腕ひしぎ十字固め


ーvsアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
(04.08.15『PRIDE GP 2004決勝戦』)
1R3:52 無効試合


○vsアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
(04.12.31『PRIDE男祭り』)
3R終了 判定3-0


○vs髙阪剛
(05.04.03『PRIDE武士道・其の六』)
1R終了 ドクターストップ

エメリヤーエンコ・ヒョードル 国内全試合戦績

20戦**18**勝**1**敗**1**無効試合

［所属］レッドデビル
［生年月日］1976年09月28日
［身長・体重］182cm・107.3kg
［バックボーン］柔道、サンボ
［デビュー］23歳
00年『Rings Battle Genesis Vol.6』(vs高田浩也)
［タイトル］
96年柔道ロシア選手権優勝
97年サンボロシア選手権優勝
97年サンボヨーロッパ選手権優勝
01年初代リングス世界ヘビー級王者
02年リングス世界無差別級王者
第2代PRIDEヘビー級王者

ヒョードル×ミル

能性が高く、ミルコが勝つためには早い段階でのKOの方が確率が高いということになる。

また共通の対戦相手で比較してみると、ミルコが敗れたノゲイラとランデルマンにヒョードルはきっちりと勝っており、これはかなりのアドバンテージ。しかし、ミルコもヒョードルがKO寸前という姿を晒した相手・藤田和之を2度に渡って破っており、負けていない。さらにヒョードルが62秒もかかった永田裕志をミルコは21秒でKOしているが、これはまぁ、参考程度にしておこう。

いずれにしてもデータを分析しても実力拮抗。しかし下馬評通りヒョードルがやや有利か。やはり真の勝敗は会場に行きその目で確かめるしかない！

同対戦相手の試合

○1R4:17 裸絞め	藤田和之
○1R1:02 TKO	永田裕志
○1R終了 ドクターストップ	ヒース・ヒーリング
○3R終了 判定3-0	アントニオ・ホドリゴ・
- 1R3:52 TKO無効試合	
○3R終了 判定3-0	
○1R1:33 アームロック	ケビン・ランデル
○1R2:11 腕ひしぎ十字固め	マーク・コールマ

KO＋一本勝ちで

61.11%

平均試合時間

約**7**分**13**秒

の秘密はここにある!



ロシア・サンクトペテルブルグ “皇帝”の本拠地を独占取材!!

ロシア第2の都市・サンクトペテルブルグ。文化と芸術の街と呼ばれるこの地は、また格闘技のメッカでもある。総合格闘技イベント『M-1』が開催され、エメリヤーエンコ・ヒョードルが所属するチーム、レッドデビルの本拠地。ヒョードルはどんな場所で、どんな練習を積み、ミルコ戦に備えているのか……。前々号に続くロシア特集第2弾は、レッドデビルの全貌をお届けする。

ッドデビル

RED DEVIL
FIGHTING TEAM

ヒョードルの強さの秘



潜入！レッ



選手が強くなるためなら投資は惜しみません！

ヒョードルの強さの影に、史上最強のパトロンあり!!

ワジム・フィンケルシュタイン

［レッドデビル代表］

“ロシアン・ヒルズ族”が格闘技界を席巻する！

聞き手&文／橋本宗洋　撮影／乾晋也
designed by hisa (Two Three)

これまで、日本において『レッドデビル・スポーツクラブ』が本格的に紹介されたことはほとんどなかった。エメリヤーエンコ・ヒョードル&アレキサンダー兄弟がロシアン・トップチームから移籍したチーム、UFCや『PRIDE』に出場したアマール・スロエフ、アンドレイ・シモノフ、セルゲイ・ヴィチコフらを輩出……ということまでは知っていても、その詳細は、いまだ日本のファンには縁遠い。

レッドデビルを設立したのは、ワジム・フィンケルシュタイン氏。チームの会長であると同時に、総合格闘技イベント『M―1』を開催するプロモーターでもある。一流ブランドのスーツを着こなし、愛車はポルシェ・カイエン（ナンバーは〃555〃。本当は〃111〃がほしかったらしい）。潤沢な資金を格闘技に注ぎ込みまくっているという〃ロシアの田中八郎〃とも言われるワジム氏とは、いったいどんな人物なのか。そしてレッドデビルの全容とは？　ワジム氏所有の船上レストラン『フライング・ダッチマン』で本邦初となるインタビューを行なった。

――日本のメディアでは、レッドデビルを取材させてもらうのは初めてになると思います。今日はいろいろと教えてください（笑）。

ワジム　こちらこそよろしく（笑）。

――ワジムさんが格闘技ビジネスに携わるようになったきっかけなんですけども。最初に『M―1』という大会を開催したんですよね？

ワジム　『M—1』を開催するようになったのは97年からですね。それからレッドデビルを結成したのが2000年です。

——どうして格闘技の大会を開催しようと思ったんですか？　当時のロシアでは、あまり総合はメジャーではなかったですよね。

ワジム　『M—1』を開催する以前に、オランダの大会のスポンサーになったんですよ。私はオランダ国籍を持っていてオランダでもビジネスをしていますから。私が販売していた『レッドデビル』というドリンクの会社が大会のスポンサーになったんです。

——レッドデビルというチームは、そのドリンクが由来なんですね。

ワジム　その通り。ただ、いまはドリンクの権利は売ってしまったんですが。

——それもビジネス、ということですね（笑）。

ワジム　そのオランダでの大会を見て、自分でも大会をやろうと思ったんですよ。おっしゃるようにロシアでは総合格闘技というものはほとんど知られていなかったんですが、ならば自分の手で広めればいいじゃないかと。

——総合格闘技のどんなところに魅力を感じたんですか？

ワジム　何よりも分かりやすいというのが一番の魅力でしょうね。柔道やサンボ、ボクシングといったアマチュ競技は、攻防が細かいだけにやっている人間じゃないと分かりにくいところがある。それに対して総合は打撃あり、寝技ありで非常にエキサイティングですよね。観客へのアピールという点で、総合は優れていると思います。スポーツの中で、最もエンターテインメント性があるといってもいいでしょう。実際、サンクトペテルブルグではボクシングより総合の方が観客が3倍多いんです。

——とはいえ、やっぱり最初の大会ではご苦労されたんじゃないですか？

ワジム　苦労といえば苦労でしたが、私は最初から大会を成功させたかった。だから第一回の大会から、ボブ・シュライバーやギルバート・アイブルといった海外の有名な選手を招聘したんです。おかげで他のイベントと比べると観客も多かった。5000人くらいですね。もちろん、『PRIDE』に比べるとまだまだ小さい大会ですが。

——いや、『PRIDE』はともかく、5000人を集めるイベントなんて日本でもそうそうありませんよ（笑）。

私的にはフィットネスジムは金を稼ぐもの レッドデビルは金を使うものだと思ってます







ワジム氏所有の船上レストランはご覧のようにゴージャスなもの（写真・右下）。中はレストラン、バーだけでなく本格的なフィットネスジムやエアロビクスのスタジオもある。そして月に何度ははは左下の写真のようなエキサイティングなパーティ（会員制！）も開かれているのだ。

ワジム　97年の第一回大会からいままで、大きな規模の大会は年に2回のペースで開催しています。現在は月に一回、カジノで小さい大会も開催していますよ。これは若いファイターを育成するためのものですね。

——月イチペースで大会をやってるんですか。じゃあもう立派な一流プロモーターですね。

ワジム　そう言ってもらえると嬉しいですね。でも実際には格闘技は趣味ですよ。

——格闘技イベントは趣味！

ワジム　ええ。やはり大きな大会を開くとなるとテレビからの放映権料や、スポンサー収入が欠かせないですから。そういう意味では、自分のお金でやっているうちは趣味です。

——5000人規模を年2回、小さな大会を月イチで、しかも持ち出しでやってるっていうのは逆に凄いと思いますけど（笑）。

ワジム　収入が足りない分は、レッドデビル・ドリンクの売り上げでまかなってきたんですよ。大会の費用はドリンクの広告費ということにもなりますしね。

——でも、ドリンクの権利は売ってしまったんですよね？

ワジム　ええ。だから今度は新しいドリンクを発売するんですよ。化学的に合成したものじゃなく、ナチュラルな材料を使った栄養ドリンクで、名前は『M—1フォルムラ（エナジー）』といいます。

——『M—1』って、じゃあ格闘技の大会と同じ名前のドリンクを売るわけですか！

ワジム　そうです。その方が大会の宣伝とドリンクの宣伝、両方ができますから。

——まあ日本にもハッスルドリンクっていうのがありますけど、全部自分の会社でやるっていうのは凄いですねぇ……。

ワジム　大会の費用を、それでペイできればそれにこしたことはないじゃないですか。そして黒字になった分は、選手の育成やコーチの給料として使えますし。それから『M—1』の普及のために、テレビ番組も作ったんですよ。『M—1ミックスファイト』という番組名で、週2回放送しています。

——あぁ、テレビ番組も作っちゃいましたか（笑）。





これがワジム氏の会社が販売したドリンク『レッドデビル』と『M-1フォルムラ』。「私はプロレスで儲けるつもりはありません！」と豪語したSWS田中八郎社長（現会長）に通じるものがある。

ワジム　いまは夜11時からの放送なんですが、これからは『PRIDE』の試合も合わせて、プライムタイムで放送していこうと思っています。

――はぁ〜。なんか、さっきから驚いてばっかりですけど（笑）。基本的なことなんですけど、ワジムさんはどんなビジネスで成功して、いまに至っているんですか？

ワジム　その話をし始めると長くなるんですが……。かいつまんで言えば、お金儲けが非常に得意だったということです（笑）。

――なるほど（笑）。

ワジム　最初に仕事を始めたのは、14歳の頃でしたね。当時は肉屋の店員でした。それから、そのお店の店長になって、徐々にビジネスを拡大していったんです。その後はソーセージ用の食肉や野菜、果物の輸入と販売を手がけていきました。当時、ペレストロイカで経済が自由化されたので、ロシアもビジネスがやりやすい時代に変わったんですよ。

――ペレストロイカの波に乗ったわけですね。

ワジム　現在では、サンクトペテルブルグでは最大の食品輸入・販売会社になりました。取引の量は、だいたい週にコンテナ100個分くらいですね。それと、そのコンテナを作る会社も経営してます。

――もう何から何まで自分で（笑）。

ワジム　それから、先ほども言ったドリンクの会社ですね。

――あとは、このフィットネスクラブも入った船上レストランですね。

ワジム　そう。それとナイトクラブも経営しています。

――多角経営にもほどがありますね（笑）。そんなワジムさんが、大会の開催だけでなくチームも作ろうと思ったのはどうしてだったんですか？

ワジム　自分でイベントを開いてみて、「何かが足りないな」と感じたんですよ。それが何かといったら、やはり地元の選手。総合格闘技をロシアで普及させるのなら、ロシアの観客が感情移入できる選手がどうしても必要ですからね。それに闘う人間と見る人間、両方が増えてこそ本当の発展だと思ったんです。

――モスクワはともかく、サンクトペテルブルグで選手を集めるのは難しかったんじゃないですか？

ワジム　いや、そうでもなかったですね。『M−1』という定期的な大会があるので、選手が集まるのは早かったです。やはりファイターというのは、チャンスを求めていますからね。もちろん、中には若い選手もいます。これからの選手がね。そういうファイトマネーで食べていくことができない人間にも、私がサラリーを払うようにしました。やはり仕事をしながら練習するのは難しいですから。選手が練習に集中できるようにサポートしてあげるのも、会長の役目ですよ。

――まあ、それはそうですけど、日本でもアメリカでもほとんどの選手は仕事をしながら練習や試合をしてるんですよ（笑）。

ワジム　そうなんでしょうね。でも私が面倒を見ている限りは、できるだけ選手をサポートしてあげたいんです。可能な限り選手の能力を伸ばしたいですから。

――確かにその方が選手は育ちますよね。

ワジム　柔道やサンボと違って、総合格闘技はトップ選手であっても国からの援助がないんですよ。ですからケガの治療費や遠征費も私が払ってますね。

――いま、何人くらいの選手にサラリーを払ってるんですか？

ワジム　ヒョードルにアレキサンダー、ローマン・ゼンツォフ……。まず、『PRIDE』に出してもいいレベル、つまりAクラスの選手が11人ですね。それから、カジノでの小さな大会に出場している段階のBクラスの若い選手もいます。

――Bクラスの選手にも資金援助しているんですか？

ワジム　もちろんです。むしろサポートが必要なのは、そういう若い選手ですからね。ロシアで生活していくのに必要なお金は月に30



ロシアの総合格闘技界発展のために『M−1』という大会を開催しているワジム会長。6月にミルコに敗れたイブラヒム・マゴメドフも『M−1』のチャンピオンなのだ。

大きな大会を年2回、小さい大会を月1回開催していますが、まだ〝趣味〟の範囲です

私のいま一番の願いはレッドデビルの選手がもっとレベルをあげ、より活躍することです

0～500ドルなんですが、それは私が払います。それ以上のお金は、試合で稼げばいい。ヒョードルやアレキサンダーのクラスになると、充分なファイトマネーがあるのでそれほどお金はかからないですね。

――とはいえ、サンクトペテルブルグでヒョードル選手が滞在するためのマンションも借りてあげていたそうですけど（笑）。

ワジム　そのくらいはしますよ（笑）。

――あ、そのくらいは（笑）。それに専属コーチも雇っているんですよね？

ワジム　ええ。サンクトペテルブルグにはレッドデビル専属コーチが5人います。他にもスタールイ・オスコルにいるエメリヤーエンコ兄弟のように、それぞれの土地でパーソナル・トレーナーを雇う場合もありますね。

――レッドデビルには、会費を払って練習する一般会員もいるんですか？

ワジム　いや、フィットネスクラブにはいますけど、レッドデビルには一般会員はいないですね。

――プロを目指す人間だけが練習すると。

ワジム　そうです。私の考えでは、フィットネスクラブはお金を稼ぐためのもの。そしてレッドデビルはお金を使うためのものなんですよ。

――レッドデビルはお金を使うためのもの！

ワジム　選手が強くなるためなら、投資は惜しみませんよ。私のいまの一番の願いは、レッドデビルの選手たちがもっとレベルを上げ、より活躍することなんです。つまりレッドデビルをより大きな、強いものにするということですね

――そのために、これからどんなことをしようと思ってますか？

ワジム　まずは選手を集めて、合同で練習することですね。スタールイ・オスコルのエメリヤーエンコ兄弟や、ダゲスタンにいるイブラヒム・マゴメドフなどサンクトペテルブルグ以外の土地にいる選手もこちらに引越しさせたいと思ってます。みんなで練習すれば技術を教え合うこともできますし、より選手のレベルアップにつながるでしょう。それとロシアの選手は打撃系の技術が足りないと思うので、ヒョードルやアレキサンダー、ゼンツォフにはオランダでの修行もさせています。もう一つ、選手育成のために進めたい計画もあるんですよ。

――それはどんなものなんですか？

ワジム　スポーツ大学との共同プロジェクトですね。ロシア全土から有望な選手を集めて、スポーツ大学に入学させるんです。そこで寮に住みながら、スポーツ理論を学び、練習もする。

――で、学費はもちろん……。

ワジム　私が払います（笑）。あとは大会の充実もしていきたいですね。いま以上に大きな大会を開催したい。『PRIDE』との提携関係を進めて、日本からも有名な選手をどんどん呼びたいと思ってます。ヒョードルやアレキサンダーも入れて、ロシアvs日本の8対8マッチをやってみたいんですよ。ハード的には問題がないので、あとはソフト、一流の選手をいかに招聘するかですね。

――ハードに問題がない、というのは？

ワジム　私の弟が、イベントプロデューサーをやっているんですよ。エルミタージュの宮殿広場でポール・マッカートニーのコンサートを開いて、観客を5万人集めたこともあります。

――弟さんもセレブなわけですか！

ワジム　ラジオ局も4つ持ってますから、宣伝も問題ないですしね。興行の面でも選手のレベルの面でも、サンクトペテルブルグを総合格闘技の中心地にするのが私の目標です。

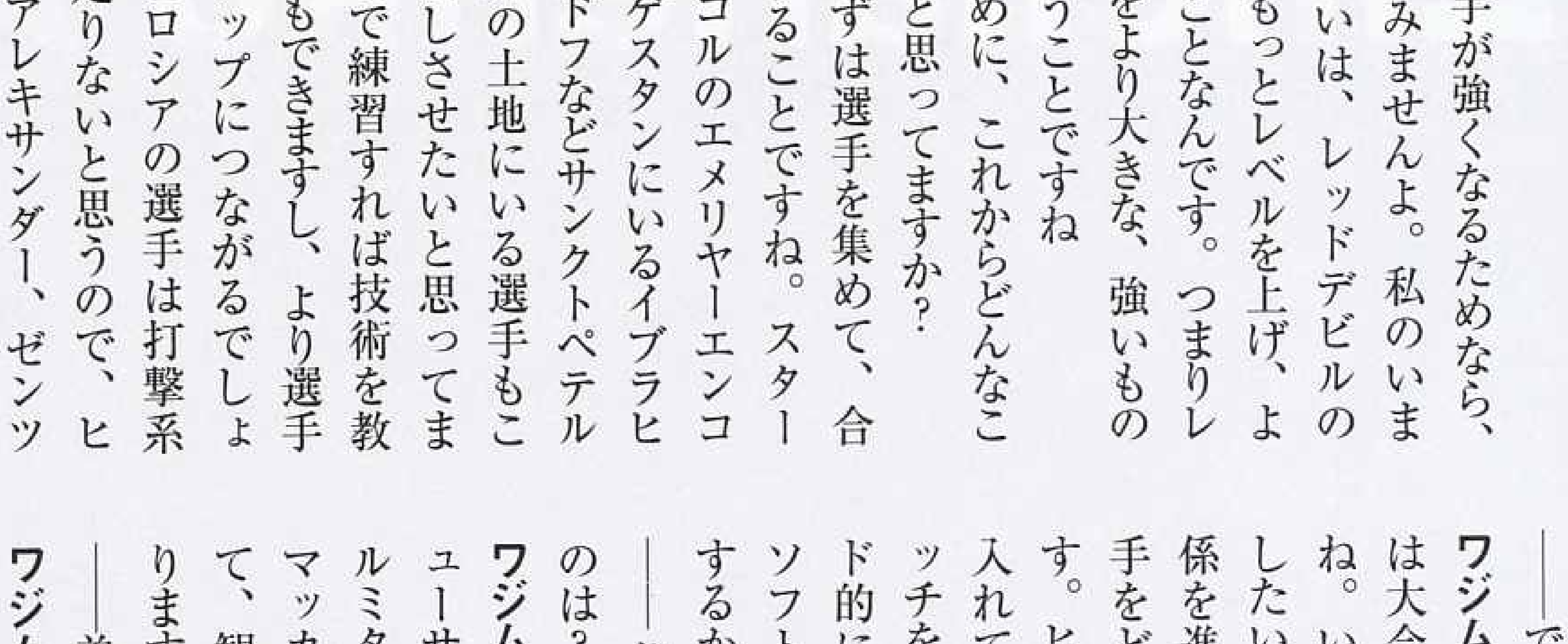
――いや〜、なんか圧倒されっぱなしなんですが……。次回のビッグイベントは、ぜひ観戦させていただきたいと思います。今日はホントにありがとうございました。

ワジム　ありがとう。じゃあ、私のオフィスを見に行きましょう。

……というわけでサンクトペテルブルグ中心部（すぐ近くが市庁舎）にあるオフィスを訪ねたのだが、そこでさらに驚きが！　ワジム氏が経営する多用なビジネスの本部があるのはもちろんだが、その一角には雑誌の編集部も。そう、ワジム氏は選手の育成、大会の開催のみならず格闘技専門誌『ボエボエ（コンバット）・スポーツ』の出版も手がけていたのだ。スケールでかすぎ、まさに世界最強の格闘技ファンというかアブダビ王子なみというか、とにかく〝この環境で強い選手が育たないはずがない〟と確信した次第である。



アメリカの総合格闘技イベント『ユーフォリアMFC』のオーナー（写真上・中央）やゴールデン・グローリーのバス・ブーン氏などとも交流があるワジム会長。ヒョードルとホーストの合同練習は、こうしたワジム氏の人脈によって実現したものなのだ。



『レッドデビル』は豪華客船内にあるトレーニング場以外に、スパーリングとウエイト中心のジムも持っている。そこでは明日のヒョードルを目指す若い選手もたくさんいるのだ。今後、ここからPRIDEにあがる選手も出てくるだろう。



潜入！ レッドデビル

世紀の一戦を前に“皇帝の弟”がミルコを大挑発！

ミルコは“お年寄り”だから もう下り坂。来年 俺が彼を終わらせる！

レッド・デビルで一番の成長株と言えば、“皇帝”ヒョードルが「間違いなく自分より強くなる」と断言する、この実弟アレキサンダー。4月の『武士道-其の六-』では“柔術怪獣”モラエスをわずか15秒でKOし、いよいよその怪物性が手をつけられなくなってきたアレキが、兄に続いてミルコ・クロコップ打倒を宣言した！

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也

designed by hisa (Two Three)

Emelianenko Alexander

エメリヤーエンコ・アレキサンダー

――ちょっと前の話になりますけど、4月のヒカルド・モラエス戦（4・3『PRIDE武士道　其の六』）は見事なKO勝利でしたね。

アレキ　ありがとう。

――ご自分では満足度はどのくらいですか？

アレキ　試合には満足しているんだけれど、拳をケガをしてしまったんだ。いまはだいぶ良くなってきてるけどね。ちょっと思い切り殴りすぎたかな（笑）。

――お兄さんのヒョードルも拳をケガしてますけど、同じようなケガだったんですか？

アレキ　俺よりヒョードルのほうが難しいケガだね。拳の付け根のケガだから治りにくいんだ。それに俺の場合は、あっという間に試合が終わったけど、ヒョードルはケガをしながら試合を続けなければならなかったから大変だったと思う。でも、あんな満足に右手を使えない状態で（髙阪に）完勝してしまうんだから、さすがだよ。

――拳をケガしてしまうというのは、やはりそれだけ2人ともパンチ力が強すぎるが故ということなんでしょうかね。

アレキ　パンチというのは練習と試合じゃずいぶん違うものなんだ。狙いどおりアゴに入れば拳をケガすることはないけど、ヒカルド・モラエス戦では彼の額にパンチが当たってしまったからね。あんな固い頭蓋骨に強いパンチを当てたら拳がいかれてしまう。そういうリスクは確かにあるね。

――ハードパンチャーゆえの悩みですよね。モラエス戦ではパンチの破壊力はもちろんなんですけど、スピードとテクニックがかなり上達したように見えました。やはり打撃の練習をかなり集中的にやっているんですか？

アレキ　多くの選手と同様、俺も一刻でも早く試合を終わらせてやろうと思ってるからね。そのために打撃の練習に力を入れているのはたしかだよ。パンチだけでなくキックのテクニックも高めたいと思っている。

――打撃の練習に力を入れるようになったというのは、やはり昨年ミルコ・クロコップに負けたという経験が大きかったわけでしょうか。

アレキ　もちろん。負けたままで終わるわけにいかないからね。ミルコとはゼヒもう一度リング上で会いたいと思う。どうしてもリベンジしたい。あのときと今の俺とではずいぶん違うから、次はもっと面白い試合になるのは間違いないよ。

――8月にお兄さんとミルコがついに試合をしますけど、その試合についてどう思いますか？

アレキ　勝敗については何も言えないな。ただ、ヒョードルは強い選手、ミルコも強い選手だから、その試合が美しい試合になることは確かだよ。

――実際に闘ってみた感想としてミルコの実力はどのように感じましたか？

アレキ　ミルコは強く、また経験があった。リングの中でどう動くべきか熟知している非常に攻略するのが難しい選手だと思う。でも、俺が勝てない相手だとは思わない。あのときはミルコ戦に対する準備が万全じゃなかった。だからもう一度実績をつんで、ゼヒもう一度闘いたい。そしてそのときは、立ち技主体の試合にしたいね。

――それは次にやったら、スタンドでミルコに勝つ自信があるということですか？

アレキ　あるよ（キッパリ）。

――ほぉ〜、すごいですね。いま『PRIDE』でスタンドの技術はミルコがナンバー1と言われていますけど、アレキサンダ

ミルコは今年ヒョードルに負けて来年は俺にも負けることになる！

ー選手はそうは思いませんか？

アレキ　ミルコのハイキック、ミドルキックの切れ味、破壊力はたしかに世界一だよ。ただ、パンチはたいしたことない。もう彼の動きはハッキリわかったから、次はそうはいかないという思いはあるね。

——少なくともパンチだけなら自分が上だと？

アレキ　俺はミルコに負けた後、さらに厳しいトレーニングを自分に課すようにした。その結果、ちょっとスリムになったと思うし（笑）、グッドシェイプでミルコと闘いたい。いまの俺は間違いなく、ミルコにとって嫌な相手になっていると思う。ミルコより早く動ける自信はあるし、パンチでも負けないよ。

——ホントにいい身体になりましたよね。服の上からでもわかりますよ。

アレキ　身体を絞ってからとにかく動きやすくなった。去年と比べたら、あらゆるスピードが上がっている。そしてテクニック面でも上達しているのが自分でもわかるし、何度も言うようだけど2006年の『PRIDE・GP』ではぜひ勝ち上がってミルコと闘いたいね。

——そうなるとミルコ選手も大変ですね。もし8月にヒョードル選手に勝ったとしても、来年GPに出たら、必ずアレキサンダー選手の挑戦を受けなければいけないわけですからね（笑）。

アレキ　いま世界ナンバー1の男はヒョードルだけど、次にナンバー1になるのはアレキサンダー・エメリヤーエンコだよ。だからミルコは兄弟2人に負けることになるかもしれない（笑）。若者はどんどん成長するものだけど、ミルコみたいな〝お年寄り〟はこれから下り坂だからね。4月にヒカルド・モラエスが〝終わった〟ように、来年あたり俺がミルコの時間を終わらせることになるだろうな。

——早くも世代交代宣言ですか！　では、いま『PRIDE』で、ヒョードル、ミルコ、ノゲイラの次の世代として期待されているのは、アレキサンダー選手ともう一人、



4・3『PRIDE武士道-其の六-』で“柔術怪獣”モラエスと対戦したアレキは、見違えるようなシャープな動きと、素早いパンチの連打で15秒殺のKO勝ち！　誰もが「来年のヘビー級GP台風の目はこの男だ」と思ったに違いない。

セルゲイは俺たち兄弟と別れてから進歩してない。もうすぐ負けるだろう

セルゲイ・ハリトーノフだと思います。彼についてはどう思いますか？

アレキ　セルゲイ・ハリトーノフ？　昔は友達だったよ。俺とヒョードルとセルゲイでいろいろ練習して、みんなで強くなっていったと思う。でも、セルゲイは俺たち兄弟と別れたことで、成長するチャンスを逃した。事実、俺たちがロシアン・トップチームにいたころと比べてほとんど上積みは見られない。いまは勝っているみたいだけど、おそらくもうすぐ負けるだろうな。かわいそうだけど、勝ったり負けたりを繰り返す普通の選手で終わるだろうね。

——じゃあ、あまりライバルとしては見ていませんか？

アレキ　どうだろうな？　あまり闘いたいとは思わないけど、もし闘うことになったら俺が勝って、自分の道を歩む。それだけだよ。競い合うつもりはない。

——じゃあ、アレキサンダー選手にとってライバルと呼べる選手は誰ですか？

アレキ　いまは危ないライバルと思うヤツは……ひとりしかないね。

——誰ですか？

アレキ　ヒョードルだよ（笑）。

——じゃあ、目標は打倒ヒョードルですか？（笑）。

アレキ　いや、でもヒョードルと闘うことはないよ。俺の兄貴だし、兄貴のことは尊敬している。そしていまの俺を作りあげてくれたコーチでもある。もし、GPの決勝で当たったとしても、俺が負けてヒョードルに優勝は譲るよ。

——では、ヒョードル選手の世代にはノゲイラ、ミルコという強力なライバルがいますけど、同世代で意識する選手はいないわけですか？

アレキ　いないね。意識しようにも、ハリトーノフ以外に同世代のトップファイターなんて誰もいないじゃないか。

——じゃあ、あと数年したら間違いなく自分の天下だと。

アレキ　まぁ、待っているだけでもいつかは俺がトップになるとは思う。でも、それじゃつまらないからヒョードル、ミルコ、ノゲイラが強いうちに、来年のGPで頂点を奪いたいとは思っているよ。

——いまアレキサンダー選手が一番闘いたい選手というと誰になりますか？

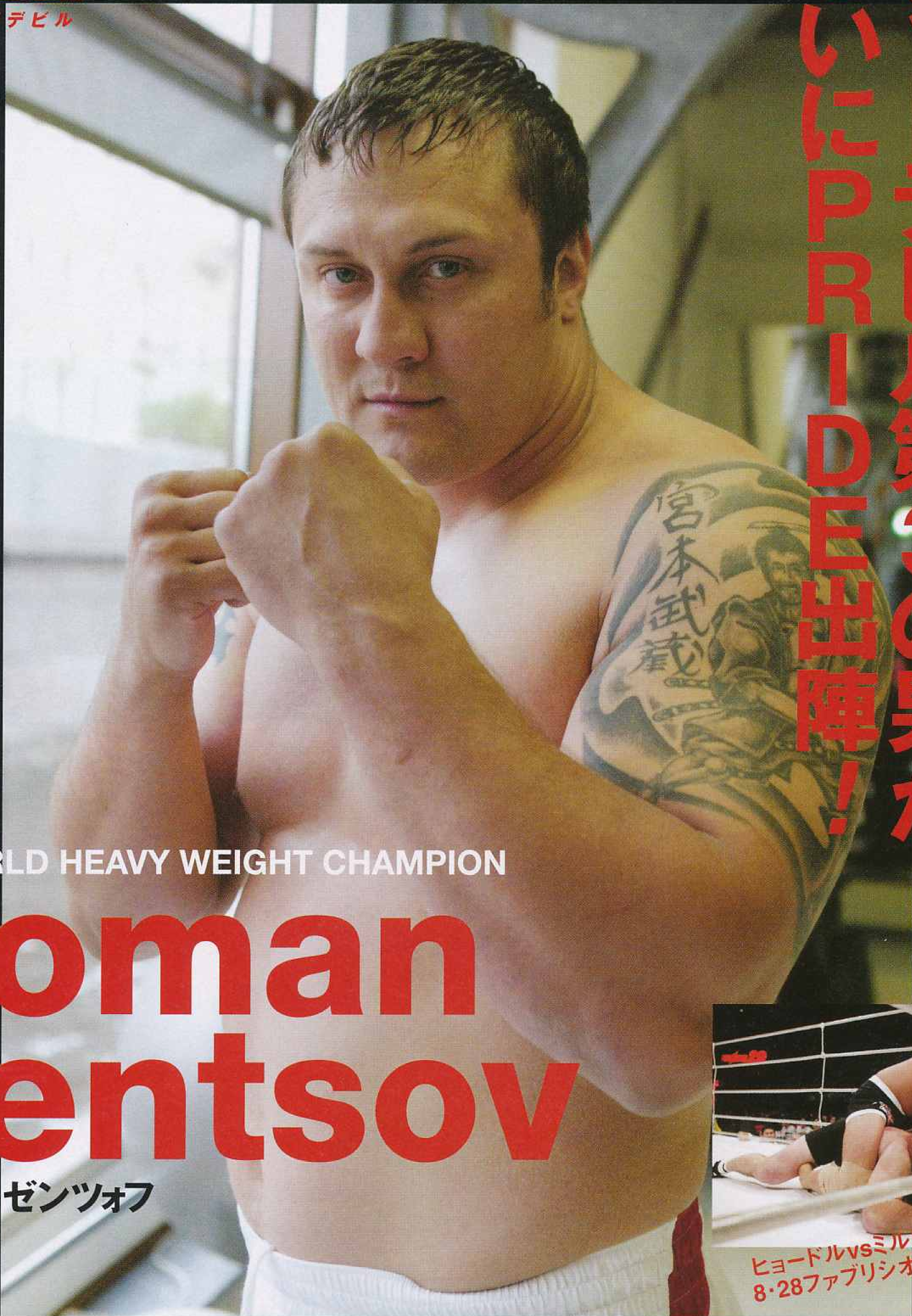
アレキ　『PRIDE』の試合というのは、試合が終わるまで誰もわからない。だから誰と闘うことになろうとも全力を尽くすだけよ。ただ、『PRIDE』で自分が勝てないと思う相手はいないな。できるだけ強いヤツと闘いたい。

——もう来年のGPに狙いを定めて長期的な視野で練習も進めているんですか？

アレキ　GPの前に2試合ぐらいやりたいと思っているけど、一番大事なのはやはりGPだよ。でも、俺にとって一番の望みはGPで一番になるより、決勝でヒョードルと当たって、ヒョードルに優勝してほしい。優勝ヒョードル、準優勝アレキサンダーが俺の夢さ（笑）。

【05年5月29日／ロシア・サンクトペテルブルグ『フライング・ダッチマン』にて収録】

ヒョードルも大推薦！レッドデビル第3の男がついにPRIDE出陣！



M-1 WORLD HEAVY WEIGHT CHAMPION

Roman Zentsov

ローマン・ゼンツォフ

ヒョードルvsミルコ代理戦争！
8・28ファブリシオと激突!!

聞き手／橋本宗洋
撮影／乾晋也
designed by hisa (Two Three)

レッドデビルのワジム会長は、チームのトップファイターを基本的に3人ひとくくりで紹介する。「ヒョードルとアレキサンダー、それにゼンツォフ」というように。レッドデビルにあってヒョードル、アレキサンダーと並ぶ存在がこのゼンツォフということになる。

1975年9月10日生まれ。身長182センチ、体重105キロという体躯の持ち主であるゼンツォフは、現『M―1』世界ヘビー級チャンピオン。まさにレッドデビルの看板選手である。『M―1』はもちろん『2HOT 2HUNDLE』、『ユーフォリア』でも活躍。そのパワフルな攻撃、とりわけ打撃はヒョードル以上という評判もある。

ヒョードルがレッドデビルに移籍してからはスパーリング・パートナーを務め、ヒョードルの地元スタールイ・オスコルでの合宿やオランダ修行にも同行したゼンツォフ。これまでセコンドとしては来日したことがあるものの試合は行なっておらず、格闘技マニアの間では日本での試合が待たれる未知の強豪として高い期待と注目を集めてもいる。

今回のロシア取材では、そんなゼンツォフにもインタビューを敢行。いかにもパワーファイターという雰囲気のルックスとは裏腹に、素顔のゼンツォフは物静かで思慮深い〝闘う哲学者〟であった。（5月29日収録）

――ゼンツォフ選手のそもそものバックボーンは何だったんですか？

ゼンツォフ サンボ、それにムエタイだね。

――中でも得意技というと？

ゼンツォフ いや、どれが得意ということではなく、ミックスファイトでは

タトゥーは宮本武蔵と卍にするつもりが向きが逆でファシストになってしまった（笑）

全ての技術を使いこなすことが大事だと思うし、そのために頑張ってるよ。ちょっと哲学的な話だけど、〝統一〟というのは非常に重要なんだ。僕は禅に凄く興味があってね。

――ほぉ～。格闘技と禅に、何か共通するものがあるんですかね。

ゼンツォフ 闘いを通して、より深く自分を理解することが格闘技の真髄だと思う。そういう意味で、禅と似たところがあるね。自分にとって禅というのは、人生であり世界であり自然であり……。そういう意味を持ったものなんだ。だから単なる宗教を超えたものだね。沢庵和尚に関する本を読んで、禅に興味を持ち始めたんだよ。

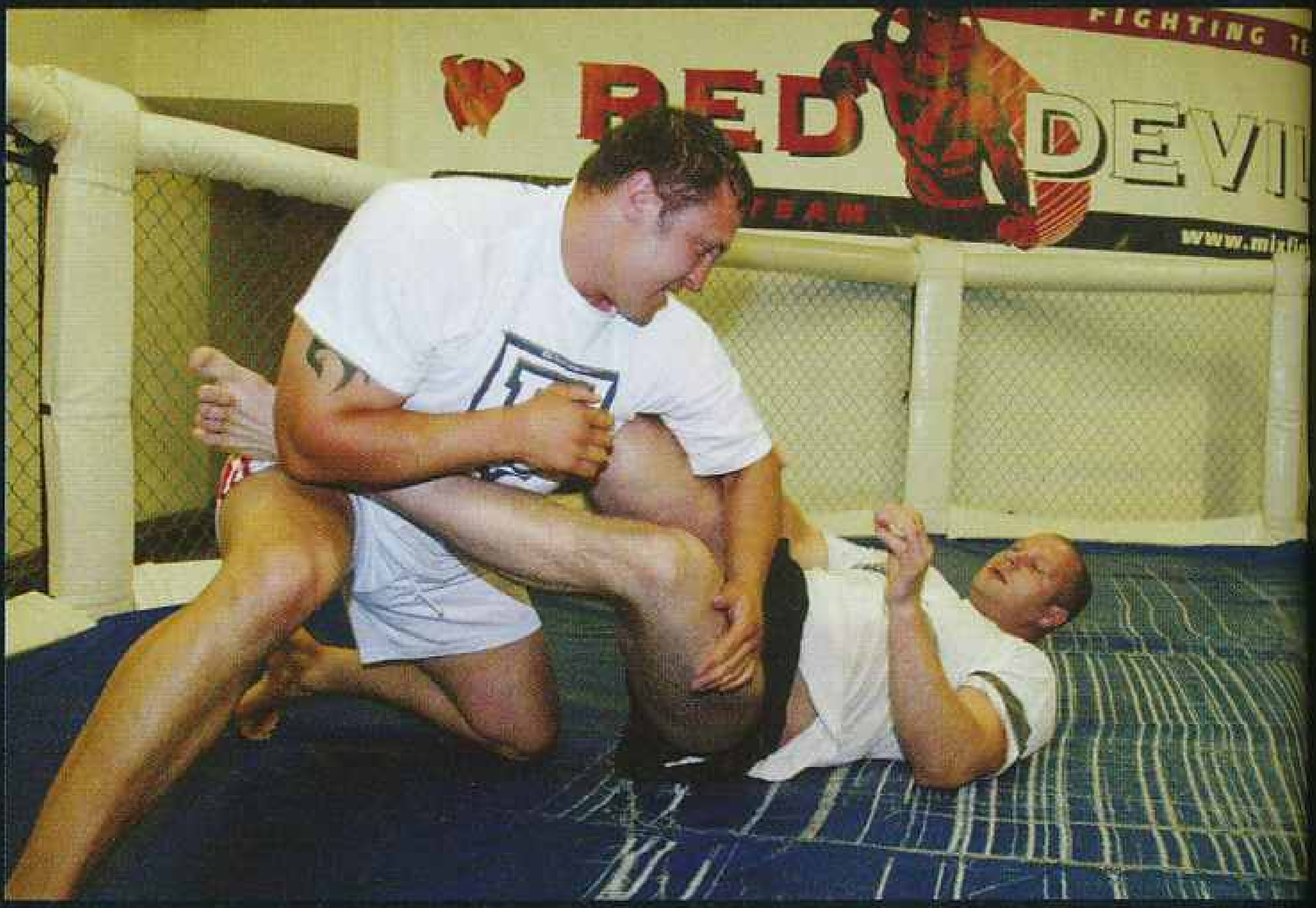
――ああ、沢庵和尚。まさかロシアでそんな名前を聞くとは思いませんでした（笑）。

ゼンツォフ 禅には人生に必要なことがすべて詰まってるんだよ。禅を知ることで、ファイターとしての自分も変化したと思うね。以前は、格闘技で一番大事なのは技術だと思ってたんだ。だけど、いまは精神面こそが最も重要だと感じてるね。宮本武蔵も影響が大きいと思うよ。

――なるほど、そこから沢庵和尚の本も読むようになったと。

ゼンツォフ 闘いに勝つためには戦略が必要なんだということも武蔵から学んだね。本当に日本は素晴らしい国だよ。ただ残念だったのは、実際に日本に行ってみると、想像とは違ってあまり伝統が大事にされてないみたいだった。かなりグローバル化してたね。

――特に若い世代はそうですね。……あ、腕に凄い傷がありますけど、それは試合で？



レッドデビルでヒョードルとスパーリングする機会がもっとも多いのが、このゼンツォフ。ヒョードルもその実力は多いに認めており、2人はレッドデビルの中でも特にしたしい親友でもある。

ゼンツォフ いや、これは試合じゃないんだ。

――ってことはストリートファイトですか。ナイフで切られたとか……。

ゼンツォフ その通り。まだ自分が未熟だった頃にね（笑）。そういう間違いを犯したり、試合で負けてしまうのは、いってみれば〝カルマ〟なんだよ。

――〝業〟ですか。

ゼンツォフ まだまだ修行が必要だってことだね。

――そのタトゥーも宮本武蔵ですね。あとは……これ、卍ですか？

ゼンツォフ そのつもりで彫ったんだけど、向きが逆でファシストのマーク（ハーケンクロイツ）になっちゃったんだよ（笑）。だからデコレーションを加えてごまかしたんだ。

――鷲と蛇のタトゥーもありますね。

ゼンツォフ これはニーチェだね。『ツァラトストラはかく語りき』に、鷲と蛇が出てくるんだよ。神話の世界では、鷲と蛇は善と悪の象徴なんだけど、ニーチェはそういう二元論を否定してる。そこが面白いなと思ってね。

――ニーチェまで読んでましたか。今度ぜひ前田日明さんという人に会ってほしいですね（笑）。ところで、ゼンツォフ選手にはワジム会長も非常に期待していて「すぐにでも『PRIDE』に出せる」と言っていたんですが、やはり目標は『PRIDE』ですか。

ゼンツォフ もちろん、それが最大の目標だね。ファイターとしての具体的なゴールは、やっぱり『PRIDE』のチャピオンになることだと思う。

――『PRIDE』で闘ってみたい選手は誰かいますか？

ゼンツォフ 『PRIDE』では、ヘビー級のファイター全員がライバルだよ。みんなレベルの高い、強い選手ばかりだからね。

――ゼンツォフ選手はヒョードル選手のスパーリング・パートナーも務めていて、オランダ修行も一緒に行ったんですよね？

ゼンツォフ そう。これまでいろんな選手と闘ったし、練習もしてきたけど、やっぱりヒョードルは特別な存在だね。彼は格闘技が技術やパワーだけのものじゃないということを知っているんだ。精神面をとても大事にしている。おかげで自分が学ぶことも大きいよ。

――ゼンツォフ選手にとっても、ヒョードル選手はいいお手本だと。

ゼンツォフ ヒョードルは、いってみれば花みたいなもんだと思うね。

――花？ それってどういう意味ですか？

ゼンツォフ 実力という中身がツボミの中に入っていて、いままさにそれが開こうとしているんだよ。

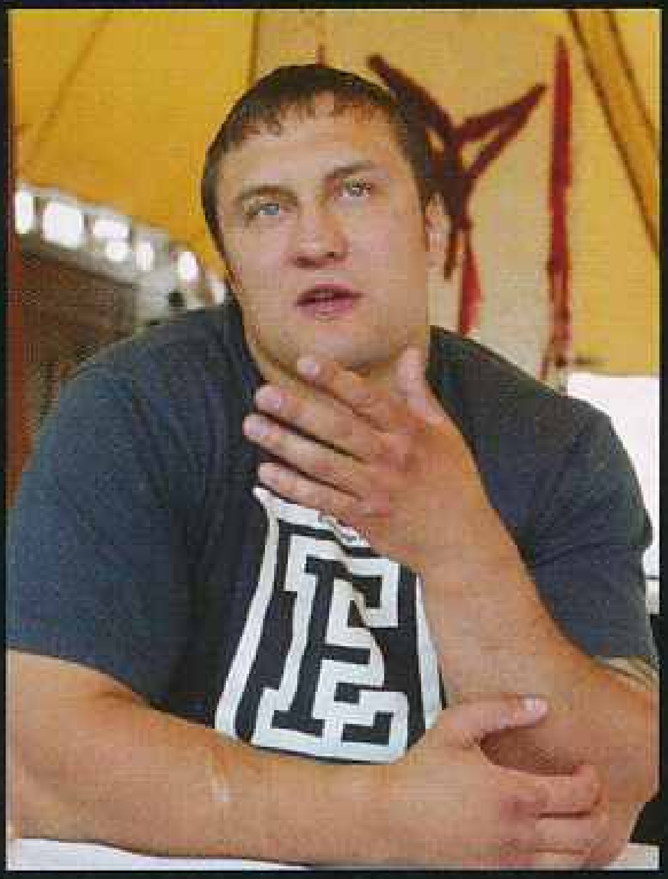
――じゃあヒョードル選手は、これからもっと実力を発揮するということですか⁉

ゼンツォフ 自分はそう思ってるよ。練習していて感じるヒョードルの能力は、試合で見せている以上のものがあるからね。それにもっと成長する可能性もある。

――ゼンツォフ選手自身は、花でいうと何分咲きくらいですか？

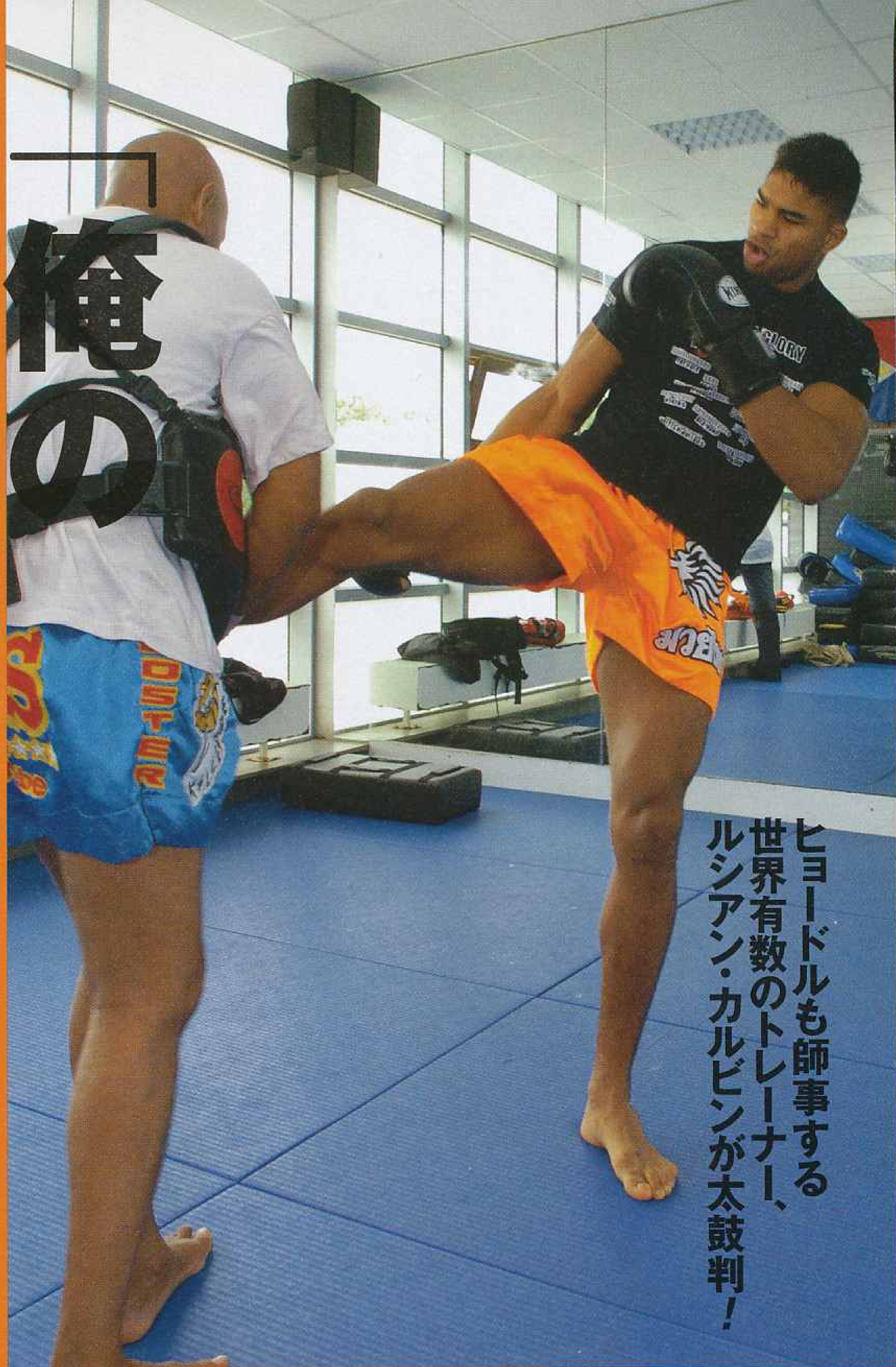
ゼンツォフ まだツボミが閉じてる状態かな（笑）。いまはその中身を充実させようという感じだね。それが開くのは、『PRIDE』の試合だと思う。それまでしっかり実力を蓄えておくよ。

インタビュー時には『PRIDE』出場への希望を語るのみだったゼンツォフだが、ついにその願いがかなえられるときがきた。8・28『PRIDE・GP』決勝大会で、ファブリシオ・ヴェウドゥムとの対戦が決定したのだ。対戦相手ヴェウドゥムはミルコの組み技コーチを務める柔術世界王者。いわばこの一戦、ヒョードルvsミルコの代理戦争でもあるというわけだ。チームメイトとして、またチャンピオンとしてヒョードルを敬愛してやまないゼンツォフだけに、このことは大いに意識しているはず。高い可能性を秘めた〝ツボミ〟は、この大舞台で一気に開花するのかもしれない。



1975年9月10日、ロシア・ブリャンスク州出身。182㎝、105㎏。M－1で活躍するレッドデビル、トップファイターの一人。エメリヤーエンコ兄弟と仲がよく、この3人がそのままチームのトップ3を形成している。かねてからPRIDE参戦が噂されていたが、今回ついに実現。ブラジリアン柔術世界王者のファブリシオを持ち前のパワーで粉砕するか？

「俺の“進化”こそがPRIDEの“現実”だ」



ヒョードルも師事する世界有数のトレーナー、ルシアン・カルビンが太鼓判！

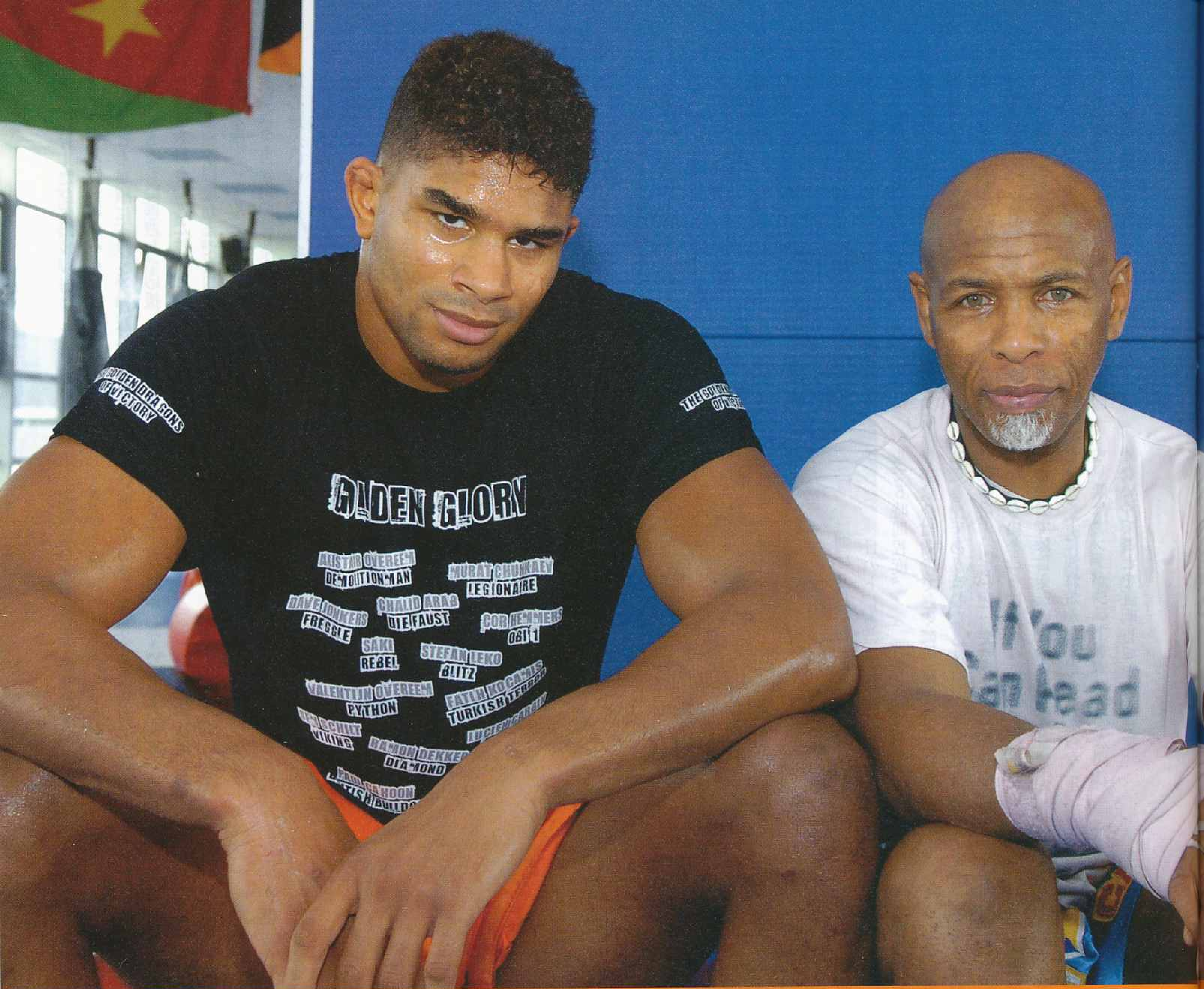
OVEREEM

ミドル級GP“最大の伏兵”、またもや波乱を巻き起こすか!?

『PRIDEミドル級GP』“最大の伏兵”として、ベスト4進出をはたしたアリスター・オーフレイム。8月28日の決勝トーナメントでは、ヴァンダレイvsアローナの因縁決着戦や、シュートボクセ決勝同門対決実現の行方に熱視線が注がれているが、強豪ビクトーやボブチャンチンを立て続けに締め落としたアリスターの進化ぶりも決して目が離せない。またもや波乱を起こす気配がこの男に満ちているのだ。

そんなアリスターを現地オランダで独占キャッチした。アムステルダムから車で10分――ディーメンという小さな物静かな町のジムで、アリスターはトレーニングに励んでいた。ジムはディーメンの工場地帯の中にあるスポーツクラブの2階に位置している。スペースはそれほど広くなく、ブルーの畳が敷き詰められているだけ。ミットが20本ほどあり、またサンドバックも数本つるしてあるだけのとてもシンプルな設備内容。その殺風景なジムで、アリスターは40分ほ

現地取材／瀬戸川伸明　構成／ジャン斉藤
撮影／Ben Pontier Photography
designed by hisa (Two Three)



[オランダ・ディーメン現地独占インタビュー]

ALISTAIR

どキック主体の練習で汗を流した。練習を終え普段着に着替えると、〝欧州最強〟と呼ばれる男は、非常に朴訥で、もの静かな青年のイメージを持っていた。初めて顔を合わせる取材陣に対する堅さもあったが、インタビュー収録場所の移動中にその堅さはほぐれていき、リラックスした口調で取材陣に語りかけてきたのだった。

アリスター　……なんだか、今日はちょっと肌寒いな。外での撮影は勘弁してほしいぐらいだ（笑）。

――オランダは1年を通して本当に天気が悪いですけど、アリスター選手は寒さが苦手ですか？

アリスター　いや、試合を控えているから風邪を引いてしまうことを気にしているんだ。あと人間はやっぱり太陽光線を身体中に浴びないとダメだと思う。アムステルダムから20キロほど西へ行ったところにブルーメンダールという町があるんだけれども、そこは海も近いし、これまた天気が良くて良くて。時間があれば、間違いなくそこに出かけて太陽の光を思いっきり浴びるんだ。しゃれたカフェもたくさんあるし、美味いものを食べてリラックスしながらね。

――ブルーメンダールはアリスターさんのお気に入りのスポットですか？

アリスター　そうだね。太陽がさんさんと輝く天気の良い日には、一年分の太陽光線を浴びに行くわけだよ。

――日本でフリータイムを持つことはあまりないとは思いますが、日本で気に入っている場所ってありますか？

アリスター　東京は本当に大好きな都市で、ここアムステルダムとは180度違う雰囲気を持ち、東京にいるときにはまるで違う世界にいるような錯覚をおこすんだ。

東京に行くたびにエンジョイしまくって、ますます大好きになるんだけれど、1週間過ぎると不思議にオランダが恋しくなる。日本の人々も好きだし、応援してくれるファンも大好きなんだけれども、なぜか1週間の滞在が限度なんだな（笑）。

—ホームシックになっちゃいますか（笑）。

アリスター　やっぱりオランダがいちばん居心地がいいよな。家族はもちろんのこと、食べ物も日本よりオランダの方が美味しいし……。

—へ？　オランダはイギリスと並んで食べ物の不味い2大代表国と言われていますが（笑）。

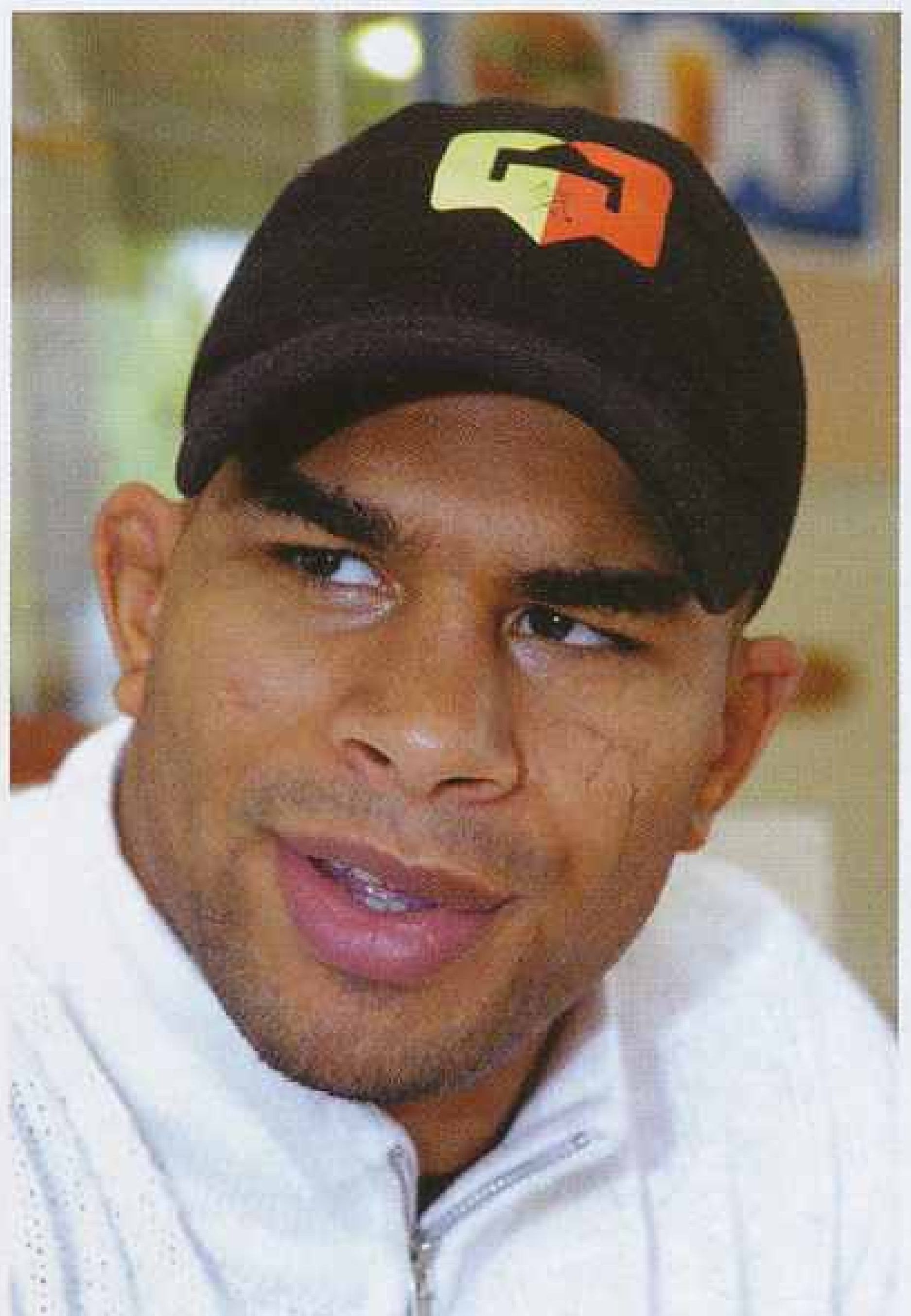
アリスター　オランダの食事がどうこうというより、俺は日本の食べ物が口に合わないんだ。正直言って……日本食はかなりマズイと思うぞ（小声で）。

—それは本当の日本食を知らないんですよ。今度日本に行ったときには『PRIDE』のスタッフにグルメなお店を紹介してもらったほうがいいですよ（笑）

アリスター　う〜ん。どうだろうなあ。ビーフはマシだけど……（ブツブツ）。

—え〜、それで2週間後にはその日本で『PRIDE』ミドル級GP決勝ラウンドが開催されるわけですが、大会に向けて率直な心境を聞かせてください。

アリスター　正直なところ、徐々に気持ちがエキサイトしていることが自分でもはっきりとわかる。それは非常にいいことだな。だから2週間後の試合だけに集中できるよう、毎日の生活で余計なことに気をとられないようにしているよ。頭の中は2週間後の試合のことだけにしたいからね。



—体調面の調子はいかがですか？

アリスター　コンディションは上々で、GPに向けての仕上がりも予定通り。練習も日々ハードにこなしていて、大会まであと2週間あるけれど、この2週間は何か新しいことにチャレンジするのではなく、いままでの練習メニューを繰り返しこなしていくつもりだよ。

—いまはどのような練習メニューで試合に備えているんですか？

アリスター　一日の練習スケジュール？　午前中にムエタイをやって、午後もしくは夕方にブラジリアン柔術のトレーニング。ムエタイは週に6日、ブラジリアン柔術は4日だ。一日のトレーニング時間はトータルで5時間程度。

—試合に向けてとくにトレーニングされたことってありました？

アリスター　たしかに最終調整をしなければならないところはあるけれど、それをいまこの場では言えないだろう。どうショーグンサイドに洩れるかわからないからな……。話はアンタがシュートボクセの人間じゃないってことを証明してからだ（笑）。

打撃でも寝技でも、俺はあらゆる事態に対応できる術を持っている

—そう言われましても困ります（笑）。では、以前と比較して自分がどのように向上されたと思いますか？

アリスター　キックのテクニックは確実に上達しているけど……。何がレベルアップしたと思う？（と、隣にいるトレーナーのルシアン・カルビンに尋ねる）

ルシアン・カルビン　ボクシングも、だ（笑）。

アリスター　……ボクシングだな。

アリスターを指導するルシアン・カルビンは、有数の指導者で幾多のキックボクサーを育てた名伯楽。世界NO．1トレーナーの声も挙がっており、その指導能力の高さは、あのヒョードルがわざわざロシアからカルビンに教えを請いにオランダを訪れるほど。このインタビューの数日前、アリスターはヒョードルと合同練習をしたそうだ。

—ヒョードルとはどのような練習をされたんですか？

アリスター　たいしたことじゃない。単にスパーリングでテクニックを競い合ったりしただけだ。

—ヒョードルはミルコ戦について何か言っていましたか？

アリスター　NO〜〜‼（いきなりテンションを上げて）。

—ど、どうしたんですか？

アリスター　NO！　何も言ってない（笑）。

—なんだか意味深ですね（笑）。ちなみにアリスター選手は、ヒョードルとミルコのどちらが勝つと思いますか？

アリスター　正直わかんない。ミルコの現在の実力を知らないからなんとも言えないんだ。ただひとつだけ言えることは、両者とも頭脳を使ってファイトするタイプの選手なので、お互いが相手の出方を読みあうような神経戦になると思う。そのため戦術どおりにファイトできた方が勝つんじゃないか、と。……ま、俺も当日は試合だから他人の試合を予想している場合じゃないんだけどさ。

—では、アリスター選手自身は、きたるショーグン戦をどう分析しているんですか？　ショーグンはストライカーでアリスター選手と似たタイプ。〝新世代ファイター最強決定戦〟という趣もありますが。

アリスター　いや、ショーグンとは似ているようで違いは明確だ。俺の方がリーチも長ければ、身体能力も優れている。つまりは俺の方が早く動けて、そして打撃を当てるチャンスがあるってこと。

—ショーグンの過去の試合映像はご覧になっているんですよね？

アリスター　もちろん見たよ。

—ショーグンの試合から、何か彼の弱点なり注目すべきポイントって見つかりましたか？

アリスター　彼に短所があるのかどうかはわからない。いまのところまだ何も彼の短所と思える部分を見つけてないのが正直なところだ。

—そうですか……って、何も見えてないってことはないですよね？　その発言は、あくまでリップサービス？

アリスター　うん。もちろんリップサービス（笑）。俺だってバカじゃないからさ、たしかに彼の短所はいくつか見つけたよ。ただそれは彼との試合を見てくれればわかるはず。俺は言葉では語らず、実践で見せるさ！　長所に関しては、キックが非常にアグレッシブであるという点、そしてテクニックも持ち合わせているという点。ショーグンの分析は以上!!

—わかりました（笑）。で、アリスター

選手が決勝に進むとして、一方のブロックのシウバvsアローナはどちらが勝ち上がってくる予想しますか?

アリスター それは難しい質問だ。俺の周りの人間は「シウバが優勢だろう」と言っているが、俺はそうは思わない。アローナの試合を見る限りでは、彼も調子がかなり良さそうだし、グラウンドスキルに関しては俺も一目置いている。そして彼もまた非常に危険なファイターであるのは間違いない。だから結果はその日になって見ないとわからないってとこだが、どっちが勝ち上がってこようが問題はないよ。俺には2人に対応できる術(すべ)を持っているから。

――得意の打撃でヴァンダレイと打ち合うし、アローナと寝技合戦になっても必殺のフロント・チョークを狙っていくと?

アリスター そうだね。対戦相手によって自分の試合の組み方も変化させていくわけだし、すべての試合で俺の持ちうるすべての力を出すわけでもない。ただこれからの対戦相手によって、まだ俺が見せてない打撃を出すことが必要とあらば、その試合で彼らを負かすための練習をして、試合でそれを巧いこと出せるようになれればと思っている。寝技に関しても同じだよ。

――とくに寝技なり打撃に拘って試合を組み立てることはしないわけですね。

アリスター すべてはそのときタイミング、そのときのシチュエーションに俺がどう反応して動くか、だ。



取材当日は打撃トレーニングのみ。ショーグンの止まらないラッシュにアリスターはどう対応するのか? 好戦必至のストライカー対決だ。

ALISTAIR OVEREEM

――で、話は変わりますが、最近の『PRIDE』は「バイオレス過ぎる」いう声が一部のファンからあがっているんです。アリスター選手は、危険と指摘される四点ポジションからのヒザ攻撃、顔面踏み付けをルールで制限すべきだと思いますか?

アリスター その必要はないし、ルールを変えれば問題が片づくとはまったく思わない。それに選手は試合にただただ勝ちたいんだ。攻撃の手を休めるなんてバカなマネはしない。レフェリーが試合をストップさせるまでは、勝者が誰になるかなんてわからない。ファイターが凶暴になるのは仕方のないことなんだ。だから試合が一定のバイオレンス度を越えるようであれば、レフェリーの権限をもっと強くすべきじゃないか。だって、サクラバ(桜庭和志)は悲惨な目に遭いすぎた。それはやはりレフェリーがそうなる前に試合を止めておくべきだったと思うけどな。

――オランダでは、暴力性の問題からMMAを根付かせることに選手・関係者が苦労されたという話を聞いたことがあるし、キックボクシングに進出するファイターのほうが多いそうですね。そんなオランダ格闘技界の現状はどう思いますか?

アリスター たしかに、多くのファイターたちはキックボクシングの方を好んでいるのは間違いない。総合格闘技のファイターたちでさえ、より多くの時間をキックの練習に割いているのが現状だしね。オランダ格闘界ではむかしから常にキックボクシングやムエタイなどの立ち技系に人気が集まり、競技人口も多い。当然ながらスタンディング・スキルは世界一だろう。ただ、これは俺の意見ではあるが、一定のレベルまで達した格闘家たちはやはり、打撃も寝技も両方極めてみたいと思うものなんだ。

――トータル的な強さへの憧憬は、確実にあるわけですね。

アリスター 「誰よりも強くなりたい」と思うのが真の格闘家だからね。MMAはすべての技術が必要とする格闘技なわけで、本物の格闘技魂を持ったファイターが多ければ総合格闘技の人気もこれからは自然と上がってくると思う。俺はオランダ総合格闘技界の未来は心配してないよ。

――アリスター選手の躍進も明るい未来の材料だと思うんです。

アリスター 多くの人が俺の成功を喜んでくれているし、オランダ総合格闘技界の誇りとして認めてくれている。現在のオランダでは一般的にムエタイ・ファイターの方が人気があるんだけど、俺が活躍することによって、オランダには優秀な総合格闘技ファイターもいるんだということを世界に証明している事実を周囲は非常に嬉しく受けとめているよ。

――だからこそオランダの総合格闘技を背負っている意識はありますか?

アリスター それは答えるのが難しい質問だな……。俺が現時点でのオランダ最強ファイターの自負はたしかにある。しかし他のオランダ人ファイターたちのレベルが上がってきているのは事実だ。そんな彼らが俺と一緒にオランダ格闘技を背負うべきだろうね。

――ちなみにオランダでいちばん人気のあるMMAファイターってアリスター選手になるんですか?

アリスター 現時点では自分がいちばん人気のある、というか良く知られているファイターだと思う。俺の兄貴(ヴァレンタイン・オーフレイム)もある程度の知名度はある。ギルバート・アイブルもそうだ。ただ現在は2人とも日々ハードトレーニングはしているものの、以前ほどの調子が出せ

ていないのが現状だからな……俺はいつの日か彼らがビッグカムバックしてくるものと信じているよ。

——オランダ格闘技事情でもうひとつ。オランダにおいては選手の人気というのはどこがポイントになるんですか？ 日本の場合は、実力はもちろんなのですが、プラスアルファも必要になってきます。それがルックスや性格、リング上やリング外でのキャラクターであるかもしれないし、その選手の持つサイドストーリー的なものであったりもします。

アリスター オランダの場合は、実力（結果）と試合運びとのコンビネーションが人気に反映してくると思う。またオランダ国内でどれだけの試合をこなすかにもよると思う。日本のようにルックスや、リング以外でのサイドストーリーが人気に反映することはまずないだろう。なぜならオランダは日本のように、格闘技関連の話題がメディアに露出されることはあまりないし、オランダの格闘技ファンはリング上のファイターたちに興味を示すわけだから。

——では、現時点で〝プロフェッショナル・ファイター〟としての自分をどのように評価していますか？

アリスター 現時点では、自分は正しい格闘家としての方向を歩んでいるんじゃないかなって。もちろんまだまだ習得していかなければならない技術が寝技にしろ、立ち技にしろ、すべての分野においてたくさんあるのも事実だ。組み合って寝技に持ち込まれようとしたときの防御の仕方や、寝技になったときにどうやってダメージを最低限に喰い止めるか……他にも多くの状況でまだまだ課題は山済みだと思ってる。俺はまだ完璧じゃないんだ。これらひとつひとつを丹念に克服し、そしてすべての技術をコンビネーションで活かせるようにしたいと思ってるけど。

——アリスター選手の『PRIDE・GP』での活躍、そして著しい成長には「新しい芽を楽しむ喜び」をファンに与えていると思うんです。ご自身は自分の進化を客観的にどう思われますか？

アリスター もちろん自分の可能性を信じているし、それを評価してもらっているのは正直にうれしい。俺はまだまだ若くて発展途上のファイターであるのは間違いないが、いまの努力を続ければトップになれる可能性は十分にあると信じている。これまでの自分の成功に対し、与えてもらったチャンスを必ずものにしてきたという意味で、単に「ラッキー」だったとも思う人がいるかもしれないが、俺にとって常に毎日の練習をハードにこなしている努力の賜物だと思っているよ。



俺はまだ完成はされていない。可能性に満ちているんだ

——一方で、アリスター選手の快進撃に戸惑っているファンもいるんです。まぁ、ビクトー・ベウフォートやイゴール・ボブチャンチンと古くからのスターが負けてしまった事実を受け入れられないところもあると思うんですが。

アリスター 俺自身もビクトーやボブチャンチンのファンだったわけなんだけれど、彼らはもう若いとは言えない世代の戦士だ。こういうと語弊があるかもしれないが、常に上昇し続けている俺たちの世代とは違って、彼らはコンディションを維持することが難しい年代に差しかかっているのだと思う。成長の度合いも若手と比べれば幅は狭まっていく。だからベテランの選手が若い選手に負かされるというのは、ある意味で宿命みたいなもんだろ。

——逆に言えば若手はベテランを格闘技界の中心から追いやることが宿命であるわけですね。

アリスター つまり、俺のGPでの進化、躍進、活躍、勝利は、『PRIDE』の〝現実〟を現しているといっていい。俺だって5年後にはおそらくそのときに上昇気流に乗っている威勢のいい若手に負かされることだって大いにあることだと思う。それは戦士の宿命だ。

——いまはまだ上昇著しい若手として見られているわけですが、まだまだ進化する手応えというか、予感ってあります？

アリスター 難しい質問だな……（じっくり考える）。そうだな、5年後ぐらいにピークを迎えるかな。5年後にアリスター・オーフレイムは完成する。ただしこの5年という数字もいまのペースで成長できればの話だけれど。今後この成長のスピードが鈍化するとしたら選手としてのピークは訪れないかもしれない。

——アリスター選手はまだ25歳という若さですし、戦士としてはまだまだ掘り尽くされていない大鉱脈だと思うんですよね。

アリスター 自分で言うのもなんだけど、いろんな意味で可能性に満ちていると思うよ。たとえば、俺は近い将来ヘビー級に転向するつもりなんだ。来年か、再来年、遅くとも3年後までにはヘビー級に転向する。それは間違いない。

——アリスター選手は上背もかなりあるし、どちらかといえばなぜミドル級なんだ？という感想が前からあったんですけどね（笑）。ヘビー級転向の一番の理由はなんでしょう？

アリスター さっき言われたように、俺は身長が高いし、まだ25歳という若さもある。また近年体重が増加傾向にあるのも事実なんだよ。実際いまは試合の前に大幅な減量をしている。3年後では恐らく１０５キロくらいまでは自然と増加しているんじゃないかって。そうしたらいま以上の減量をするのが辛くなるのはあきらかだ。プラス、いまヒョードルやクロコップだって１０５キロぐらいだろ？ それなら俺もヘビーで十分やっていけると思う。

——その前にミドル級GPのベルトはぜひでも手に入れておきたいですよね。

アリスター 俺の現在の夢は『PRIDE』のチャンピオンになることで、その夢の実現まであと2試合。自分の中では夢は実現されたと思っている。かならず優勝することを確信しているってことだ。そのあとの夢は、目の前の夢が実現したら考えることにするさ。

——わかりました。8月28日の活躍を期待しています！

【05年8月8日／オランダ・ディーメンにて収録】

STARTING OVER PRIDE



DSE榊原信行代表に聞く GP以降の㊙戦略

「8月28日にPRIDEの新たな流れがスタートします」

ヒョードルvsミルコの頂上決戦やシウバ陥落の危機と言われるミドル級GP決勝など、8・28さいたまスーパーアリーナは、まさにここ数年の『PRIDE』の集大成とも言える大一番。それだけにチケットはすでに完売寸前だが、この大会が終わったら『PRIDE』に何があるのか不透明なのも確か。はたして今後の『PRIDE』はどんな戦略を持っているのか、DSE榊原代表に話を伺った。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／平工幸雄　本文構成／松下ミワ

designed by hisa (Two Three)

DSE榊原信行代表に聞く GP以降の㊙戦略



ハッスルはすでに橋本さんの追悼イベントをやってますので、合同興行は考えていません

――今日はこの夏以降の『PRIDE』について、いろいろうかがっていこうと思うのですが、その前に先月亡くなられた橋本真也さんについても少しお話を聞かせてください。

榊原　わかりました。

――7月30日に行われた『プロレス界・プロレスファン合同葬儀』ですが、結果的にドリームステージ（以下DSE）さんの主導になりましたが、あれはどういった経緯でそういう運びになったんでしょうか？

榊原　まあ、DSEが仕切るというか、告別式のあと小川さんと武藤さんと蝶野さんと会って、やっぱり亡くなられた橋本さんを業界全体としてきちっとした形で送り出してあげたいという話になったんですよ。そこに大谷（晋二郎）くんも「ぜひ！」というような形で加わったんです。私個人としてもその4人とは同じ思いだったし、同じように子供を持つ親として、子供を残して旅立つ橋本さんの無念さもわかるし。それに『ハッスル』でお世話になった橋本さんにDSEとしても何かできることはないかと思っていたので、我々DSEとしては全面的にお手伝いしますという姿勢で申し出たんです。そしたら同じく新日本さんの中にもそういう思いを持っている方がいらっしゃって。ですから、ウチだけということではなくて、DSEと新日本さん、そして武藤さん、蝶野さん、小川さん、大谷さんが主導で動いたということですよね。

――ただ、合同葬儀を行うのはやっぱりそれなりの費用がかかるわけで、DSEがその多くを負担したことで、プロレス界で今後より大きな力を持つというような穿った見方も一部ではあったようですけど。

榊原　いや、力を持つとかそういうことではなく、ただ我々としては、DSEと深く関わってくれた選手や関係者の方たちとは本当に気持ちを持って付き合っていきたいし、最後までその気持ちは持ちつづけたいというだけで、それ以外に業界のイニシアチブをとるとか、全然頭にないですね。実際、費用を出したのはDSEだけじゃなくて、新日本さんも負担しているわけですから。まったくそういう下心はありません（笑）。

――ありませんか（笑）。

榊原　だからまあ、橋本さんは多くの人に愛された選手ですし、世間的にも知名度のある人なので、有名人とかスーパースターが若くしてなくなると、そういうことが起きやすいんでしょうけどね。例えばジェームス・ディーンのカレンダーなんかは、彼が亡くなる前の写真を使っていて毎年売れていくわけですし、尾崎豊の歌もそうですよね。亡くなることでスーパースターが伝説になり、その裏側には常にビジネスがついて回る。先ほど言われたような見方をする人は、そういう部分を見てDSEがおいしい話に触手を伸ばそうとしているとか、暗に発想する人がいるんでしょうね。

――一時、合同葬儀の他に合同興行も開催するという話がチラホラとありましたが、そういった話はDSEさんの中でもあるんですか？

榊原　ウチからは合同興行をやろうという考えは出てないですね。それこそ私たちは橋本さんが亡くなられた翌々日に福岡と大阪で『ハッスル』が予定されてて、実際にそこで追悼イベントをやってますので。あえて積極的に、「今度はみなさんで合同興行をやりましょう」という気はないですね。9月に行われる『ハッスル』名古屋大会は橋本さんの実家がある岐阜県にも近いということなので、まあ、追悼らしいセレモニーはやらせていただこうとは思いますけど、それを追悼興行と謳う気はまったくないです。

――わかりました。では橋本さんの話はそれぐらいにして、いよいよ本題に入りたいと思いますが、8・28でついに『PRIDE』ミドル級トーナメント決勝、それに2年越しに実現したミルコvsヒョードル戦が行われますけど、やはりチケットの売れ行きもかなり快調みたいですね。

榊原　去年のヘビー級GP決勝と同じか、それ以上の売れ行きですね。まあ、それだけミルコvsヒョードル戦というものにミドル級GPに加わったことで、『PRIDE』の歴史、世界の格闘技の歴史が動く瞬間を見たいということなんでしょうね。まあ、非常に大きなテーマがある大会ですから、いてもたってもいられないファンが多く駆けつけてくれるという非常にありがたい状態ではありますね。

――大会のテレビ中継はどうなるのでしょうか？

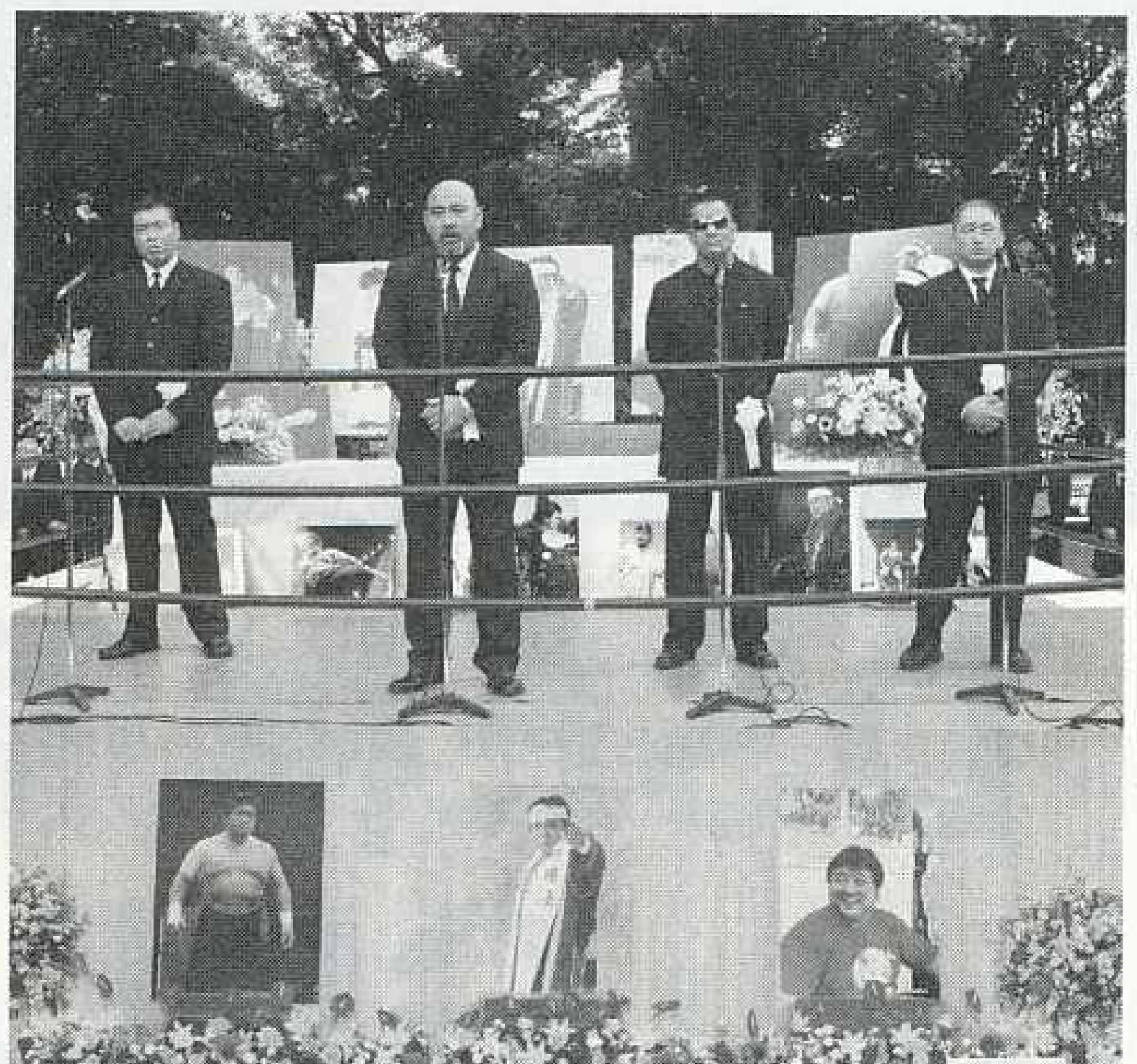
榊原　8月30日、試合の2日後の夜7時から9時15分まで、15分拡大の2時間15分番組で放送されることになっています。それに、スカパーのPPVで完全生中継で観ていただくこともできます。

――今年のGP1回戦、2回戦はどちらも地上波で当日放送でしたけど、一番注目度の高い決勝を2日後に放送するというのは、どういったことからなんでしょうか？

榊原　まあ、我々が常に思ってるのは、お金を払って会場に来てくれる観客の皆さんとPPVで見てくれる人たちに一番いい思いをしてもらいたいということなんですよ。だから、僕らのメディア戦略としては、LIVEで見る人たちに一番プライオリティを置いて、地上波っていうのはそれよりもうひとつ遠いところにいる人たちをファンとして獲得するためのものだという認識です。

――テレビが本命ではなく、あくまで〝宣伝媒体〟。

榊原　そうですね。テレビというのは、見た人が今度は会場まで行きたいなとか、次は全部LIVEで見たいと思ってもらうためのプロモーションの場だと思うんですよね。『PR



武藤、蝶野、小川、大谷が発起人となり、DSE、新日本が取り仕切る形で7月30日に青山葬儀場で行われた「橋本真也　プロレス界・プロレスファン合同葬」。当初は足並みが揃わないことが懸念されたが、こうして早い時期にファンとのお別れ会ができたことは、非常にいいことだろう。

IDE』は地上波のためだけにやってるイベントじゃありませんから。だから「決勝というおいしいところは見せません。『PRIDE』をLIVEで楽しみたい方は、会場に来るかPPVを買ってください」ということです（笑）。

――なるほど。今度の大会はそれだけの価値が絶対にありますよね。でも、見たいけど、コレが終わったら『PRIDE』はどうなるんだろう。あまりに今回が凄すぎて、これ以上のことってあるんだろうか？ とも思っちゃうんですけど（笑）。

榊原 格闘技というのは大きな流れの句読点となる闘いがあっても、またそこから次のドラマや流れが生まれてくるものだと思いますので、僕としては今度の大会が新しい時代の扉を開く大会になればいいし、きっとなるんじゃないかなと思ってます。

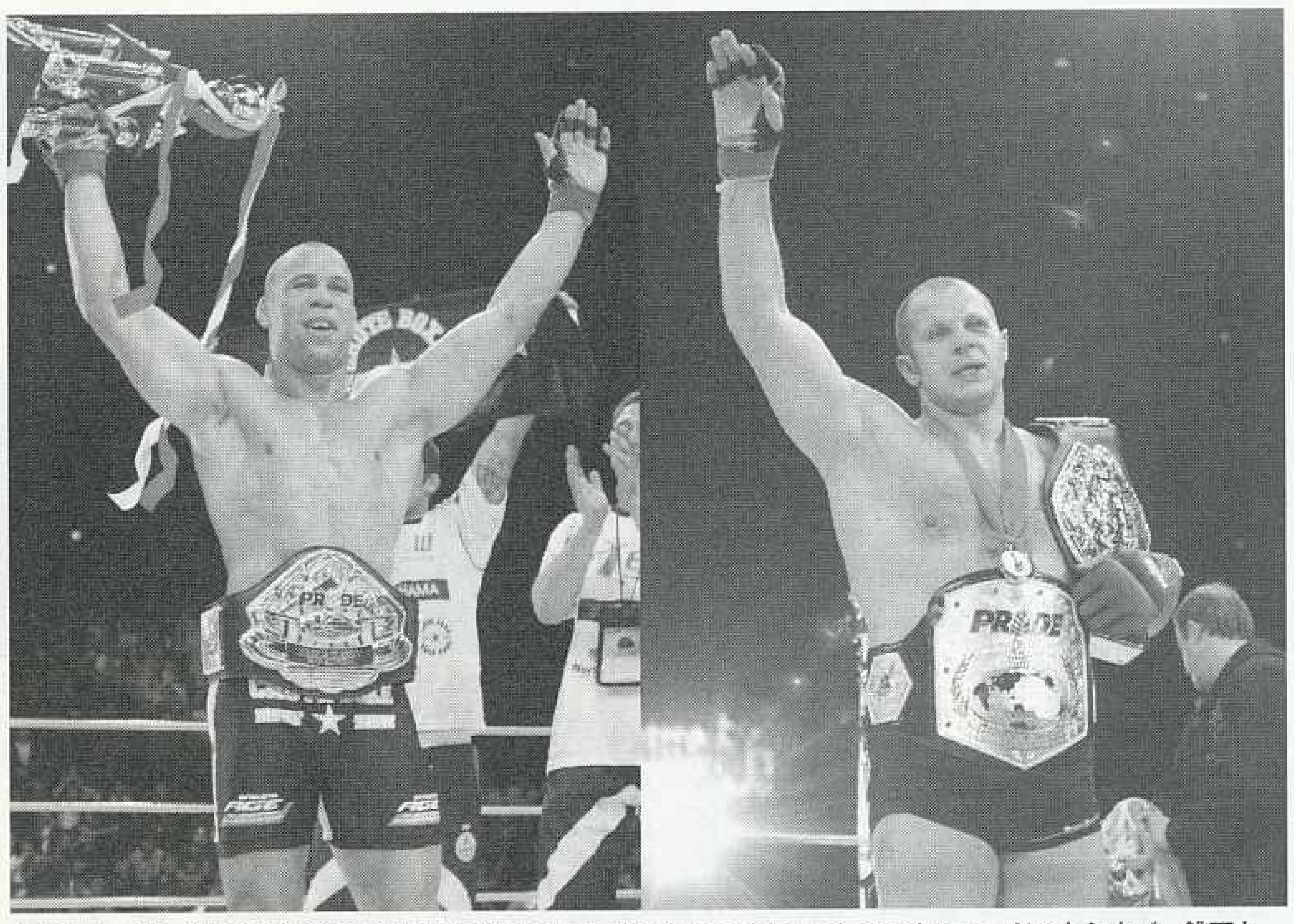
――ここから新しい流れがスタートすると。

榊原 大きな歴史の中で『PRIDE』が何年つづくかわからないですけど、やっぱり何か動く瞬間というのを僕らとしても見たいですからね。だって、〝絶対王者〟ヴァンダレイ・シウバにしても同門のショーグンが一番の難敵だったりしますからね。日々の練習の中でショーグンは当然ヴァンダレイを目標に頑張ってきたわけだし、彼の欠点も常に視野に入れてそれを目指してきたわけじゃないですか。だから、〝分析〟という部分に関しては、ひょっとしたらショーグンの方がヴァンダレイを上回っているかもしれませんよ。

――ショーグンのほうが〝敵〟としてのヴァンダレイをよく知っていると。

榊原 だって、王者のヴァンダレイがショーグンを目指すってことはないわけですから。彼を闘う相手としては見てなかったと思いますよ。だから、僕は決勝が同門対決になって、シュートボクセ同士の闘いになるとここまで壮絶な踏みつけ合いになるのか、っていう状況になるだろうし、そうなった場合、もしかしたらショーグンがヴァンダレイを上回るんじゃないかと思います。

――代表の予想ではミドル級GPはヴァンダレイを倒して、ショーグンが優勝と。ミルコvsヒョードルについてはどうお考えですか？



まさしくヘビー級とミドル級で“PRIDE絶対王者”の名をほしいままにしていたヒョードルとシウバ。盤石と思われたこの２人の政権が、8・28に崩れるのか!? 歴史的瞬間を見逃すな！

榊原 ここまでヒョードル追いつづけたミルコの執念の凄さに感心するというか（笑）。これまでに流した汗とか涙とか血とか、ベルトのために費やしたモノの重さで言うと、ミルコの方が完全に上だと思いますね。それがリングで対峙したときにどう出るのかは、本当に見てみたい。でも僕が思うに、ミルコはやっぱり圧倒的に不利だと思いますよ。

――それでもミルコ圧倒的に不利ですか。

榊原 単純にこれまでの戦績とか実力とか、いろんなことを考えて客観的に分析すると、ヒョードル有利としか言えないですね。魂の部分とか精神的な部分だけでは、やはりチャンピオンになるのは難しいと思いますよ。7：3……、う〜ん、6：4よりはやっぱり7：3に近い感じですね。それにミルコが精神的な部分をプラスして、どこまで5：5に持っていけるのかってとこでしょう。

――でも、もし圧倒的不利と言われる状況でミルコが勝ったら、それはもう大爆発するでしょうね。

榊原 もうそれはただの1勝という枠にはおさまらないでしょうね。2000年にマーク・コールマンがPRIDE GPで優勝して、あまりの感激と興奮でトップロープに上り損ねて転げ落ちたっていうシーンがあったじゃないですか（笑）。コールマンでそんな状態なんだから、ミルコが勝ったとなったら、会場中を走り回って、5万人のファン全員と抱き合いたい、きっと、そんな衝動にかられると思いますよ。そういうミルコの姿を目撃したファンも、おそらく『PRIDE』の素晴らしさ、『PRIDE』のタイトルマッチの尊さというものを切に感じてもらえるのかなって思いますね。

――それだけにミルコに勝ってもらったほうが、イベントとしては断然盛り上がりますよね（笑）。

榊原 それに今度ミルコがタイトルを奪取すれば、またヒョードルにもテーマができるじゃないですか。

――ノゲイラに勝って以来、初めて追う立場になるわけですからね。

榊原 ミルコもそうですよ。追われる立場のミルコもまた見たいですよ。彼は日本でデビューして以来、追いかける立場しか見てないですから。

――本当にそうですね。だからこそ、8月はクライマックスでもあり、新しい『PRIDE』のスタートでもあると。榊原代表は先日、アメリカ視察に行かれたということですけど、それも今後の新しい流れを見据えてということですか？

榊原 そうですね。まあ、ずっと前からマット・ヒュームとは話をしてたんですけど。去年の11月にアメリカでアメリカ人選手たちを対象としたトライアウトをやったんですね。で、そういうのとは別に全米のプロモーターたちと協力して、アマチュアの選手たちがプロになるための登竜門的なイベントをやっていこうと思ってるんですよ。そういう僕らの活動がアメリカ格闘技界の啓蒙活動につながればと思っています。

――それとは別に、10月にはオランダで『PRIDE』が協力する総合格闘技のビッグイベントがあるという噂なんですが、これは本当ですか？

榊原 はい。『武士道ヨーロッパ』という大会に、『PRIDE』として正式にマーク・コールマンやケビン・ランデルマンを送り込み、選手をブッキングする形です。

――なぜこの大会に『PRIDE』が協力することになったんですか？

榊原 やっぱり全世界的視点から見てオランダをはじめとするヨーロッパというのは、総合格闘技に関してはちょっと立ち後れてる部分があるんですね。もともとオランダはキッ

8・28はPRIDEの歴史が大きく動くイベントになりそうな気がしますね

視聴者にはいい意味で『PRIDE武士道』と『HERO'S』を比較してもらいたいですね

クボクシングが盛んな地域だということもあって素材はかなり充実しているんですが、総合格闘技にいち早く取り組んだアメリカ、日本、ブラジルと比較するとちょっと遅れを取ってますので。なので、選手の技術向上だけでなく、競技的な部分も含めて底上げしていきたい、この競技をもっとヨーロッパで広めたいという狙いで、選手数名と島田レフェリーをオランダに送り込もうという感じです。

——ボブチャンチンとか、エメリヤーエンコ兄弟とか、そういった選手も出ると聞いたんですが。

榊原　アレキサンダーは出ると思います。それからヒョードルは8月の結果次第なので難しい部分はあるでしょうけど、ボブチャンチンは可能性がありますね。まあ、状況に応じて日本人選手も送り込みたいと考えてますけど。

——今回の大会プロモートにはボスジムが関係しているという話ですが。

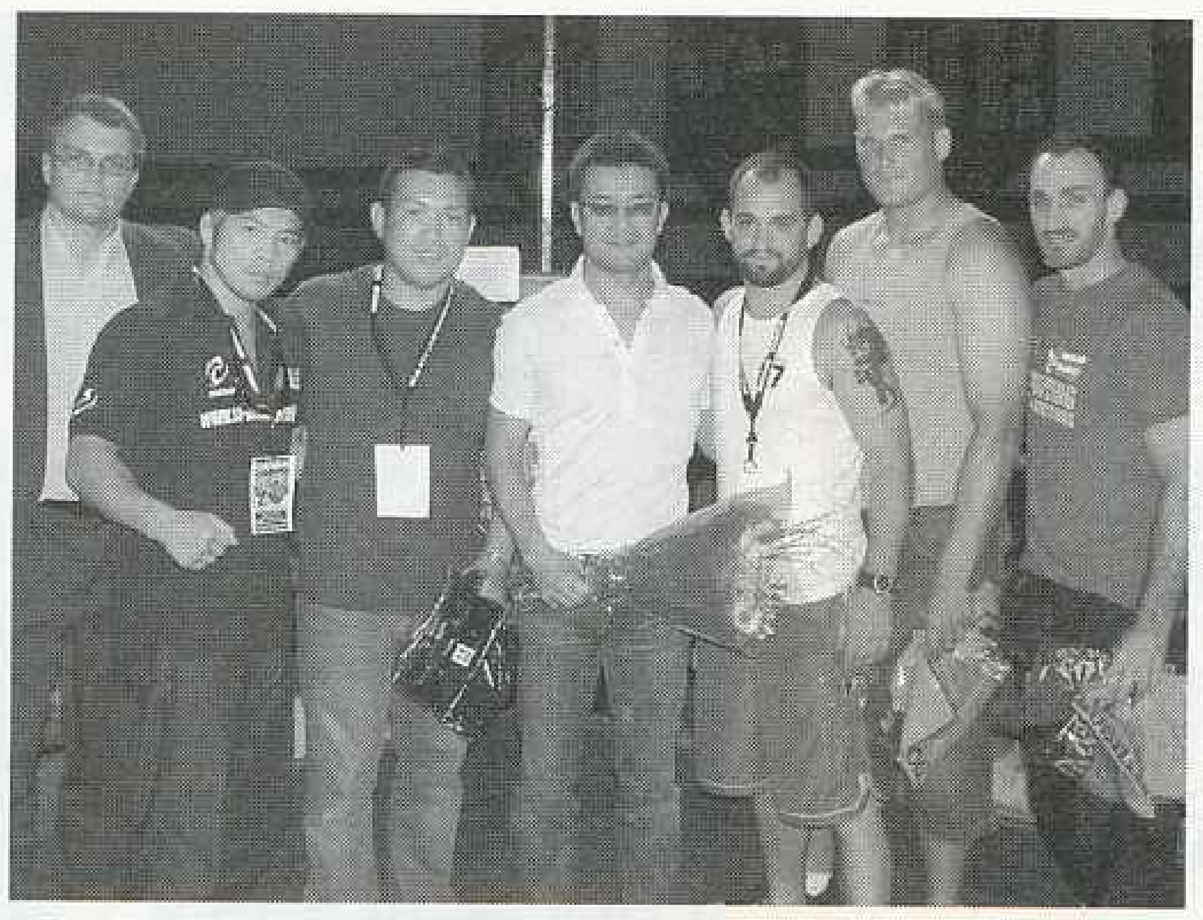
榊原　そうです。ボスジムのヨハン・ボス、それからヒョードルのマネージャーというか、そういう人も関わってやってる大会ということになりますね。

——ちょうど『PRIDE』と協力関係にあるところが主軸となってやるという感じですね。この大会がボスジムやオランダ格闘技界とのさらなる関係強化に繋がることはあるんでしょうか？

榊原　まあ、可能性はあると思いますよ。やっぱりそれはプロモーターというか、イベントの出来にかかっているとは思いますけどね。

——この大会は榊原代表も視察されるんですか？

榊原　9月の末にハンガリーのブダペストでレスリングの大会を視察することが決まっているので、時間があればオランダまで足を伸ばして『武士道ヨーロッパ』も視察したいですね。イベントのクオリティとかいろんなものをチェックしておきたいですから。そして、今年の11月にはアメリカで第2回のトライアウトをやる予定にしてるので、それにも行きたいなと思ってます。それからアメリカでは今回のGP決勝戦を前後して『PRIDE』のテレビ放映が正式に決まってますからね。いままではPPVで約5000万世帯が視聴可能という状況だったんですけど、今度は『PRIDE』がケーブルテレビの無料で見られるチャンネルで流れるということなんで。まあ、正式な報告は大会後にしたいと思ってますけど、これは相当ビッグインパクトな話ですよ。



7月30日、ワシントン州・リンウッドのエドモンドコミュニティ大学でアマチュア格闘技イベント『AX Fighting Championships 6』を視察し大歓迎を受けた榊原代表。今後、PRIDEは世界的にこのように世界的に総合格闘技の底辺拡大を目指していくようだ。

——ちょうどいまアメリカで総合格闘技の人気が盛り返してきているところらしいですからね。

榊原　そうですね。アメリカはいま格闘技の人気が再沸騰してますからね。UFCが生まれて10数年たちますけど、当初UFCは、バイオレンスな部分とか、ストリートファイト的なケンカマッチというか、そういった部分が衝撃的で人気が上がったんですけど、そのあとに社会的なバッシングにあって一旦火が消えてたんですよね。でも、それまでSEG（セマフォア・エンターテインメント・グループ）という会社がやっていたのが、ズッファ社が統括するようになって、そこから変わっていきましたね。その中で『PRIDE』とUFCの2大ブランドがアメリカの格闘技ファンの間でも完全に定着してきて、お互い競争し合う形になってるんですよ。だから、『PRIDE』とUFCで地道に市場を拡大してきたことが、いまのアメリカの第2期の総合格闘技ブームっていうのを呼んでいる気がするんですよね。

——『PRIDE』とUFCを2大ブランドと言われましたが、日本でもオポジションとして『HERO'S』がスタートしていますが、榊原代表はご覧になりましたか？

榊原　はい、見ました。まあでも、『HERO'S』限らず、常に競合っていうのは必要だと思ってるんですよ。『LEGEND』とか『ROMANEX』とか、DEEPにしてもパンクラスだって競合だとは思うんですよね。でも、正直言って、『HERO'S』に関してはまだ2大会ですから何ともわからないです。ただそういった競合がある中で、僕らは『PRIDE』や『武士道』というイベントを常に磨きつづけることが大切だと思います。やはり、そういう競合があると手が抜けませんから。いいことだと思います。

——地上波的な感覚からすると、満を持して行われる『武士道GP』（通称）なんかは、ちょっと後発に見られがちだと思いますけど。

榊原　それはもう、それでいいかなと。視聴者にはいい意味で比較してほしいと思ってますよ。僕らとしてはどこにも負けないものを提供したいと思ってやってるのでね、その思いは伝わってほしいと思います。

——その『武士道GP』なんですが、9月25日に一気に2つのトーナメントをやっちゃうんですよね？

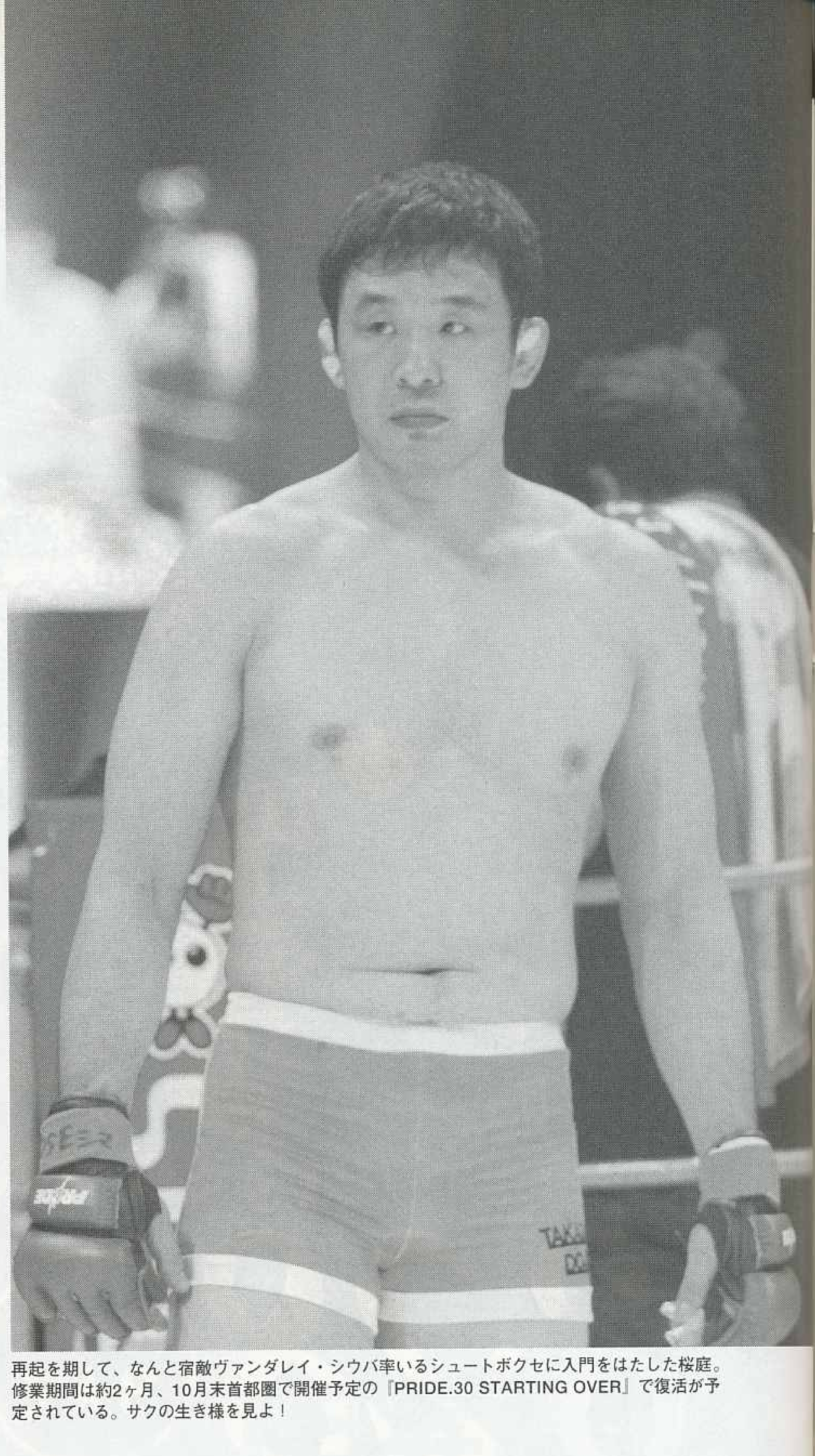
榊原　そうなると思います。決勝を大晦日で組みたいと思っているのでね。だから、1階級につき一回戦が4試合、その中で勝ち上がった4人はもう一試合やるという感じなので、一気に8人の中から2人に絞り込んじゃうという語りです。

——それはかなり過酷な闘いですね。そういう形式にしようと思ったのはどういう理由からですか？

榊原　来年以降は『武士道GP』をどういう形で行うかはわからないんですけど、今年73キロ、83キロとわけてやるには、まだまだイベントとしての力がないと思ったんですよね。そのあたりも謙虚に受け止めて、しっかりお客さんを惹き付けていこうという考えで同時開催にしました。また、決勝戦だけを別の大会に残すということもいままでやったことがなかったので、今回はそのあたりも実験してみようかなと。ちょうど今年も『男祭り』の開催が決定してるのでね。そういう晴れの舞台で『武士道』にもスポットライトを当てようかなと思ったんです。選手のモチベーションとしても「決勝に残れば大晦日の大舞台に立てるんだ」っていうものにしたいですか



35歳で家族をおいてシュートボクセで修業する
桜庭和志の覚悟を見届けてほしいですね



再起を期して、なんと宿敵ヴァンダレイ・シウバ率いるシュートボクセに入門をはたした桜庭。修業期間は約2ヶ月、10月末首都圏で開催予定の『PRIDE.30 STARTING OVER』で復活が予定されている。サクの生き様を見よ！

らね。

—でも、選手にとってみたら1日2試合はかなりハードですよね？

榊原　僕もそう思いますけど、イベント的に言えば2大会分の内容がつまった大会になるので、ファンにとってはメリットの高いイベントだと思います。最近『武士道』ファンもずいぶん増えてきてるし、しっかり応援に駆けつけてくれたらなと思います。

—それから、ちょっと先の話になりますが、10月の『PRIDE』本戦というのは、どんなコンセプトを敷こうと思ってるんですか？

榊原　10月はPRIDEナンバーシリーズの30回目になるんですよね。それなので、30回の記念というか、新しい出発という意味もこめて、サブタイトルは『STARTING OVER』（再出発）にしました。

—おぉ〜、どっかで聞いたことがあるタイトルですね（笑）。

榊原　まだ出場選手やカードは未定ですけど、そこで桜庭和志の再起戦を組む予定です。実は今月18日から桜庭選手が再起を賭けてブラジル修行に行くことが決定したんですよ。しかも、修業先はヴァンダレイ・シウバのジム、シュートボクセに行くことになりました。

—桜庭選手が宿敵シウバのジムに弟子入りですか！

榊原　桜庭選手が本格的に海外へ武者修行に出るっていうこと自体なかなかないですからね。『PRIDE.4』でヒクソン・グレイシー戦を前にした髙田さんについていってマルコ・ファスのビバリーヒルズ柔術クラブに行って以来らしいですから。

—それは並々ならぬ覚悟が感じられますね。

榊原　とにかくアローナに負けた試合の敗因が体格差だった部分が大きいですから、その体を大きくしてくることと、やっぱり自分が忘れかけてるがむしゃら感というか、闘う気持ちを取り戻しにいったということでしょうね。

—いや、でもよくぞこの決断をしてくれたという感じですよ。

榊原　だから桜庭にとっては、"桜庭和志"という選手の最終章に向けた大きな賭けに出たんだと思うんでね。本当にすべての雑念を捨てて、家族を日本に置いてブラジルに旅立つ彼の覚悟を見届けたいし、35歳で再びスタートを切るというその姿を、ファンの方にはもう一回応援してほしいと思います。

—あれだけのスターが、もう一度、シュートボクセの若い連中に混じって武者修行するというのは、これは大変なことですよね。

榊原　だから今回、ようやく桜庭和志が異様に本気になったというか。アローナに負けたことが本当に悔しかったんでしょうね。髙田道場で練習していれば、それこそお山の大将でいられるんでしょうけど、それを、言葉もわからないし、食べ物も合わない、そんな環境の中に自分を置いて、20代の若いヤツにガンガン揉まれてこようって言うんだから。僕は階級を下げて闘えばいいんじゃないかなって言ったりしたんだけど、桜庭選手はへそ曲がりだし、逆にそんなところに行ってたまるかって思ったんでしょうね。守られて勝ってもしょうがないっていう、桜庭らしい選択だなって。

—負けず嫌いで意地っ張りですもんね（笑）。

榊原　でも、この選択は彼にとっても『PRIDE』ファンにとってもうれしいことだし、全面的に応援してあげたい。見守りたいですよね。だから10月はファンにもしっかり会場に来てもらいたいですよ。

—まさに桜庭選手にとっても、『PRIDE』にとっても大いなる『STARTING OVER』になるわけですね。

榊原　そういうことです。だからこれからもますます『PRIDE』はいろんな形で動いていくと思いますよ。なので、8月の大会でクライマックスを迎えた後も『PRIDE』に期待していただけたらなと思います。

—わかりました。ぜひ素晴らしい大会にしてください！　今日はどうもありがとうございました。


榊原　ありがとうございました。

【05年8月11日／青山・DSEにて収録】

ついにPRIDEも政権交代か!?

ヒョードルvsミルコ&ミドル級GP FINAL

8·28 たった3人で 大予想!!



自称・実践文章講座の天才講師
長髪から"いかりや長介カット"にイメチェン

ターザン山本!



自らハンデを背負い、闘いの価値を上げる。ミルコこそ一流のプロレスラーですよォォォ!

ミルコ×ヒョードル・勝者
エメリヤーエンコ・ヒョードル

ヒョードルvsミルコ戦というのは、これはもう自分の中にある気持ちと感情と、理論が見事にバラバラですよ。要するに勝ってほしいのはミルコだけど、理論的に言ったら、ヒョードルが圧勝! PRIDEが賭け事だったら、俺は全部ヒョードルにブチ込む。もう有り金、全部! たとえ110円の配当だったとしても単勝間違いないんだから、一本勝負で行きますよォォォ!

なぜかというと、ミルコというのはあれだけヒョードルを追っかけてきて、ありとあらゆるアピールをし、演出しながら、モチベーション作りながら、いろんな余計なことを山ほどやってきているでしょ? そういう前哨戦で余計なことをやるということは一流のプロレスラーだということですよ。そして一流のプロレスラーだからこそ、ミルコは負けるんですよォォォ!

これまでのプロレスラーの理想を言えば、余計なことを全部やって、なおかつ勝つということなんだけど、勝負論の世界でそれをやったらハッキリ言って勝てないんだよね。でも、そのベルトへの執着心がミルコのロマンであり、彼の生き方なんですよ。ミルコはその生き方をいやというほどこれまでアピールしてきたわけでしょ。で、やっと到達して答えが出るわけじゃない。そのとき現実に、リアリズムに裏切られるんだよね。しっぺ返しを食うわけですよォォォ! だから、僕はミルコを勝たせたいんですよ。勝って欲しいわけですよ! 勝つと、それは僕の中にある現実主義としてのヒョードルがひっくり返るわけです。この逆転というのは凄い大きなドラマになるんだよ。

これって実は猪木さんがやってきたことなんだよね。自分の中にハンディを背負いながら相手を持ち上げて、その闘いの価値を上げて、なおかつ最後には自分が勝つというプロレスの公式だったわけ。ミルコはいま、まさに格闘技の世界でそれをしようとしているんですよ。もう、ドラマ作りの極地ですよ。PRIDEファンはミルコに足向けて寝られませんよォォォ!

ミドル級GP・優勝
ヒカルド・アローナ

今回は"打倒シュートボクセ"がテーマなんですよ。そしていまがシュートボクセの牙城を崩す大チャンスなんですよォォォ!

なぜかと言うと、これまでシウバは(ミドル級で)全戦全勝だったでしょ。でも、それはシュートボクセが日本人を標的にしてきたからであって、今度は逆にアローナとアリスターの標的になるから。そうなると、シウバとショーグン2人とも準決勝で負ける可能性がある! だって優勝はアローナなんだから! ヒクソンだって「アローナが優勝」って言ったんだから! もう今回はアローナの優勝ですよォォォ!

これまでのアローナはくだらない試合ばかりしていたけど、このごろは守りを固めて、その上で攻めていくから。これは絶賛なんですよ。守りを固めて相手のミスを誘うというのは実は最強だから。それに対してシュートボクセみたいな攻撃型だと、どこかに穴が生じてくるんだよね。彼らは日本向けに派手な勝ち方をしようとしているわけでしょ。そこがシュートボクセの素晴らしさなんだけど、それによってシウバの体はガタガタだと思うよ。無理して、全部最高の勝ち方をしてきたんだもん。その激闘の代償として今回はアローナに負けるんですよォ!

そしてもう一人のアリスターは背丈があってリーチが長いでしょ。これはシュートボクセにとっては意外な天敵が出現したってことですよ。シュートボクセはこの2試合、最大の試練を迎えたね。つまりシュートボクセからは優勝者は出ない! 優勝はアローナですよォ!

シウバ、ショーグン、アリスター、
アローナ、ミルコと闘った男

金原弘光



ここでミルコが勝てなかったらヒョードルに勝てる奴いないよ!

ミルコ×ヒョードル・勝者
ミルコ・クロコップ

ミルコvsヒョードルについては、ハッキリ言って、ここでミルコが勝てなかったら、もうヒョードルに勝てるヤツ誰いないよ!

だからいちおう今回は「ミルコ勝利」って予想してるんだけどさ、ヒョードルってリングスのときから掴みどころがなくて、思った以上に強いと思うことが多々あるんだよね。だからまだ底が見えない感じだから、現時点での予想はミルコだけど、ヒョードルの潜在能力が予想以上にあって今回ミルコに勝ったら、もうヒョードルに勝てるヤツ誰もいなくなる。それだけに、ミルコが勝ったほうが面白いと思うんだけどな。

ミドル級GP・優勝
ヒカルド・アローナ

俺は今回、シウバはアローナに負けると思うよ。シウバって"絶対王者"って言われてるけど、倒した相手のほとんどが日本人で、外国人の強豪とはランペイジぐらいしかやってないんだよね。だからシウバってアローナみたいなタイプは苦手だと思うし、相性や客観的に体力とか比較するとアローナのほうが上だと思うんだよね。

それとアリスターとショーグンは打撃同士でしょ? そうなると背が高くてリーチの長いアリスターが絶対に有利だからね。アリスターの勝ち。そして優勝はアローナになると思う。決勝にアリスターが上がってくるにしろ、ショーグンが上がってくるにしろ、どっちも次の試合できないんじゃないかというくらいボロボロになって上がってくると思うから。

ハッスル大統領

山口日昇



ミルコの生き方の凄さとシウバの"底力の中の底力"が見たい!

ミルコ×ヒョードル・勝者
ミルコ・クロコップ

ミルコの生き方とヒョードルの生き方では、ミルコの生き方に軍配を上げる。

ミルコの生き方のほうが凄い! というところを見せてほしい。願望込み込みでミルコ。

ただ、そんなある種ロマンチックでメルヘンチックな妄想を打ち砕くには十分すぎるのがヒョードルの実力なので、両者がリングで対峙したときの緊張感&空気感は、何物にも代えがたい瞬間となるはず。ゼイタクなシーンの連続が、格闘技を見てきてよかったという気持ちにさせてくれることだろう。おそらく。

ミドル級GP・優勝
ヴァンダレイ・シウバ

PRIDEといえば、もはやヴァンダレイの歴史と言っても過言ではない。サク、あるいは吉田の姿を投影してヴァンダレイを応援したいファンも多いだろう。数々のプレッシャー、修羅場をくぐり抜けてきたヴァンダレイの"底力の中の底力"を今年は見てみたい。いや、今年は十分見れるはずだ。

決勝の相手はアリスター。アリスターのフェイバリット・ホールドとなったフロント・チョークをショーグンは凌いでスタンド勝負になるが、リーチが長く成長著しいアリスターに軍配が上がる。たぶん。でも、やっぱヴァンダレイvsショーグンの決勝もいいなぁ。

紙のプロレス RADICAL

『紙のプロレスRADICAL』は松澤チョロの失言(?)により次号が最終号です!……ってホントかよ!!

2005 NO.90



本当に子供でした

食べたいときに食べて、泣きたいときに泣いて、眠りたいときに眠って……



破壊王・前夫人がその魅力を
たくさん語ってくれました

橋本かずみ



聞き手／吉田豪　構成／ジャン斎藤　撮影／平工幸雄
designed by Tani-Yan（Two three）

破壊王・前夫人、告白。
「本当に子供でした」

橋本真也さんの前・夫人、橋本かずみさんが破壊王の魅力をたくさん語ってくれた。聞き手は、破壊王エピソードの埋蔵量が世界一の吉田豪。橋本さんが急逝されて早一ヶ月――その死をスキャンダラスに報じる一般週刊誌やワイドショーも見受けられるが、今回のかずみさんインタビューでは「ぼくらが愛した破壊王」の爆笑エピソードだけをたっぷりとお届けする！

――（最初に香典を渡してから）ボクは破壊王に10回以上インタビューさせていただいたんですけど、そのたびにかずみさんとの素敵なエピソードが出てきたんですよね（笑）。

かずみ　エーッ!?　絶対ロクなこと言ってないよ（笑）。

――いや、いい話ばかりですよ（笑）。最近はいろいろゴタゴタしていて話しづらい話も多いでしょうから、今日は一緒に馬鹿話でもして破壊王の思い出に浸りたいと思います。まあ、そんな話は大量にありすぎて時間はいくらあっても足りないと思いますけど（笑）。

かずみ　そうですね（笑）。その前に、なぜこのインタビューを受けたのかの説明をしておきたいんですよ。こないだプロレスファン合同葬があったじゃないですか？　そのファン葬に足を運んでくださった沢山のファンの方々にお礼が言えればなって思ったんですよね。誌面を通じてですけど、ファンの皆さんに橋本のために本当にありがとうございましたと伝えたくて。

葬儀に足を運んでくれたファンの方に どうしてもお礼を伝えたくて

――本葬にも多くのファンが訪れていましたよね。もちろんボクも行きましたけど。

かずみ　本当にありがたいことです。……私はまだ橋本がいないという実感が沸かないんですけどね。

――いや、ファンも関係者もみんなそうだと思いますよ。

かずみ　ホント実感ないなぁ……。毎年、夏になると静岡の知り合いの別荘に一緒に行ってて、橋本はその別荘で遊ぶのが大好きだったんですよ。「今年も別荘に行こう！」って子供たちと約束してたんですけど、いまはもう実現できるわけもなくて……。それで私と子供たちで昨日までその別荘に行ってたんです。そしたら、なんか橋本がどこかで短パン履いてランニング着て、虫取りの網を持ってトンボを追いかけて走り回っているような気がしたんですよ……。

――破壊王は虫取りとか本当に大好きでしたからね。

かずみ　ホントにそう。あれは『週プロ』だったかな？　読者投稿の似顔絵で、麦わら帽子被って短パンとランニング姿で虫取り網を持っている橋本のイラストが載ってたことがあるんですよ。それを見て橋本と二人で「これ、絶対どこかで見られたんだ！」って話をして（笑）。ホント、夏の日の橋本そのまんまの姿でしたから。

――虫取り網だけじゃなくて矢ガモ事件の犯人と同じモデルのボーガンも持ってたら完璧でしたよ！　ボーガンで上野毛周辺の鴨を狙っていたのは有名ですからね（笑）。

かずみ　あとスズメね。私もほんのちょっと食べさせられたけど（笑）。

――あ、かずみさんも！　スズメを食べさせられた天山（広吉）さんは、目黒の寄生虫病院に自ら電話して「寄生虫とか大丈夫ですか？」って聞いたんですよね（笑）。

かずみ　あと、橋本は多摩川で鮎を獲ったりもしてたんですよ。台風のときにわざわざ出かけて。

――ああ、鴨を捕まえるために投網も買ってましたからね（笑）。

かずみ　で、獲ってきた鮎を私に「食え！」って言うんですけど、さすがに食べられなかった。彼がいない間に気持ち悪くて捨てたのを知られたら凄い怒られて、「こっちは命懸けで獲ってきたんだぞ！」って（笑）。

――ダハハハ！　そこは命懸けるところじゃないですよ（笑）。

かずみ　でも、たしかに橋本は命懸けなんですよ。台風のときに水に流されて人が亡くなったってニュースがよくあるじゃないですか。橋本は鮎を獲るために台風の中、腰まで川に入っちゃうんですからね。

――それ、確実に流されます！

かずみ　一応命綱を付けていて、川の流れに投網が引っ張られるようだったら、投網を切って自分は助かる仕組みにはなってるんですけどね。

――そういう手間だけは絶対に惜しまない人なんですよね、ホント（笑）。

かずみ　だってマムシ獲りの道具も自分で作ってましたからね。通販で売ってる高枝切りバサミってあるじゃないですか。それをヘビを捕まえるために改造してたんですよ。ハサミだとヘビがチョキンって切れちゃうので、刃の部分をスポンジでくるんで。しかも毎年一本のペースで作って、年々改良されてよくなっていくんですけど（笑）。

――そこまでマムシ獲りに全力で熱中して、実際に何匹捕まえたんですか？

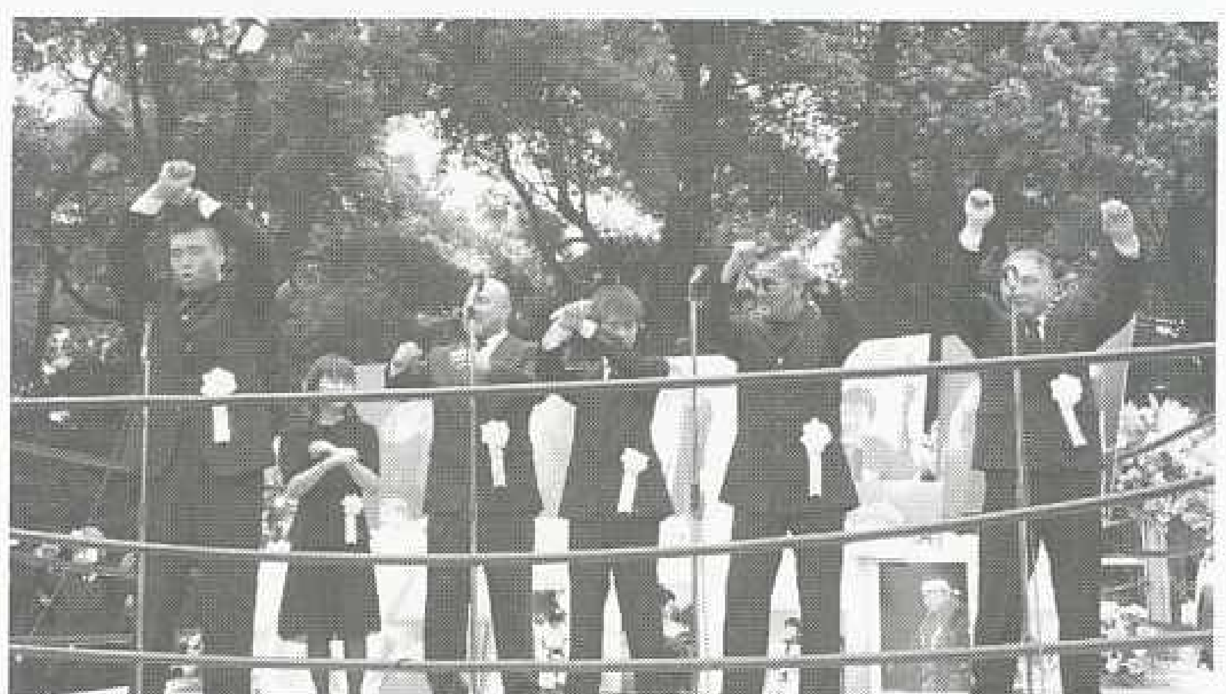
かずみ　いや、マムシは一匹しか獲ったことなかったです（苦笑）。しかも、そのときはマムシ獲り名人が一緒で、捕まえたマムシを一升瓶に入れて持って帰ってきたんですよ。

――やっぱりマムシ酒にするつもりだったんですか？

かずみ　はい。そのためにはマムシが死んじゃうとダメなんで、空気穴をあけて木の箱に入れてたんですけど、彼が「子供が噛まれたら困る！」って言い出して、小さい空気穴だから噛まれ







7月30日に行われた橋本真也さんのプロレス界・プロレスファン合同葬には8000人を超える参列者。中・写真はかずみ夫人、長男の大地くん、長女の茉莉さん。追悼10カウントの瞬間にはわずかな雨が地上をぬらして、追悼トルネード・ハッスルのときには、立ててあったパネルが倒れるハプニング――。橋本さんはたしかに、僕らを見守っていた。

るわけないのにガムテープでグルグル巻きにして車の中に入れたんですよ。そしたら橋本はマムシのことをすっかり忘れて、放っておいたから死んじゃいました。

——当然ですね（笑）。

かずみ　あんなに命懸けで獲ってきたのにね（笑）。

——そういえば、ボクも似たようなエピソードを知ってますよ。海外修行時代、ミスター・ヒトさんの奥さんの愛犬を押し入れに閉じ込めたまま忘れたりとか、そういうことが多かったと思うんですよね。破壊王って新日本の道場の2階から釣り糸を垂らして犬や猫を釣ったりしてたじゃないですか？

かずみ　ああ、道場の前の家の犬とかしょっちゅう釣ってましたからね、可哀想に（笑）。

——ある日、新弟子が道場の冷凍庫を開けたら、なぜか凍った猫が出てきたらしいんですよ（笑）。

かずみ　（顔を背けて）や、やだやだやだ〜!!

——「これは絶対に書くな。みんな引くから！」って言われてたんですけど、きっと猫を冷凍庫に入れたのも破壊王は忘れちゃったんだろう、と（笑）。

かずみ　ああ、そうでしょうね。何か夢中になるとすぐ他のことは忘れちゃう人だったから。

——でも、基本的には食べるためという目的があったわけじゃないですか。ボーガンで鴨を撃ってたとき近所の人に注意されたら、破壊王は「何を言うんや！　お前もケンタッキー食うやろ？　これは遊びじゃないんや！」って激怒したらしいんですよね（笑）。

かずみ　たしかに「殺生してるわけじゃない。食うんだから!!」ってよく言ってましたねえ。

——虎ハンターならぬ動物ハンターだったというか。

かずみ　家でも嬉しそうに空気銃を磨いてましたもんね〜（笑）。

——練習生が標的にされてたんですよね。付き人だった天山（広吉）さんとかが（笑）。

子供が自分のオモチャに触ろうものなら突き飛ばしちゃうから！



かずみ　そう（笑）。告別式のときにも久しぶりに小原（道由）君に会って、昔の話をしてたんですよ。それで聞いたんですけど、道場の餅つきのときに小原君が餅を引っ繰り返す役で、山本君（天山）が餅をつく役だったみたいなんですね。それで山本君が餅をつきながらパッと顔を上げたら、額の真ん中をパコーンって撃たれたらしいんですよ。よく見回したら道場の二階で橋本が一人で大笑いしてるんだって（笑）。

——天山さんの顔がうまく上がるタイミングを待っていたんですか！

かずみ　山本君は何が起こったかわかんないし、もの凄く痛かったらしいから、「あれほど頭に来たことはなかった……」って言ってましたけど（笑）。

——しかし相当な射撃の技術ですよね、それ。

かずみ　そうですね。だって息子の二階の部屋から近くのゴミ置き場が見えるんですけど、そこに群がるカラスを撃つのに、朝が来るまでずーっとライフル構えて待ってるんですよ、小さく窓開けて（笑）。

——ダハハハ！　そこまでくると完全にスナイパーですよ！

かずみ　あんな大っきな身体を隠しながらね。で、朝が来てカラスを撃ったら、「ギャ〜ッ！」って鳴きながら飛んでいったらしいんですよ。彼は「これでもうカラスは来ない！」って言ってたんですけど、カラスにはウチから狙われたことがバレてたらしくて、私が外を歩いていると威嚇してくるんですよね。娘はプリンのカップを頭に落とされたりして、「もう怖いから二度とカラスは撃たないで！」って橋本にお願いしました。

——そんな意見はちゃんと聞き入れてくれるんですか？

かずみ　カラスは撃たないとしても、出掛けるときはよく空気銃を持ち歩いてましたから（苦笑）。さっき言っていた静岡の別荘にもライフルを持って行って、そこにかなり大きなスズメバチの巣があったら、いきなり連射のライフルでダダダダダダッて撃っちゃって！

——それ、メチャクチャ危ないですよ！

かずみ　ブワ〜ッてズズメバチの大群が巣から飛び出してきて、私と子供は別荘に避難したんですけど……。橋本はそれでもダダダダッてずっと乱射してるんですよね。

——ダハハハハ！　破壊王だなあ（笑）。

かずみ　で、蜂の巣がバラバラになって地面に落ちてきて、その欠片から蜂の子を集めてきて、それを橋本はフライパンで炒め始めて「美味いから食ってみろ！」って（笑）。私はどうしても食べられなかったですけど。

——ホントに無駄な殺生はしないというか、しっかり食べますよね（笑）。

かずみ　あと「鯉をエアガンで撃つ！」って言い始めたときもありましたね。ライトを大量に買い込んできて、夜中に西村（修）君と山本君と出かけるんですよ。それでライト係の西村君に「あそこ照らせ！　ここ照らせ！」って手元を照らさせて、そのときはガスボンベ付きの銃だったから大きなボンベを山本君に担がせて（笑）。

——ダハハ！　一度、天山さんに話を聞いてみたいなあ（笑）。

かずみ　西村君も小島（聡）君も付き人だったでしょ。だけど話に出てくるのはなぜか山本君ばかりで、彼とは合うところがあったんでしょうね。

——武藤さんは「ブッチャーはすぐそばにある物も平気で付き人に取らせたりするんだもん。あれじゃ付き人との関係も深くなるよ！」とか言ってましたけどね。

かずみ　ウチでもそうでしたよ（笑）。言わなくても何でもやってくれるのが藤田（和之）君だったみたいで、あと安田（忠夫）さんも付き人だったんで家族みたいに毎日、家にいたんですよ。だから「お前よりヤスの方が気が利く。ヤスを見習え！」「それなら安田さんと結婚すればいい

破壊王・前夫人、告白。
「本当に子供でした」

じゃない！」とかいつも言い合いしてました（笑）。

——西村さんが『東スポ』で語った追悼コメントは最高でしたよね。「あの人ほど破天荒で、いつまでも子供心で、理不尽な人はいない。何もかもが常識外れな生き方をしていた」「ラーメン番組を見るや、鶏ガラからダシから全部買ってきて我々新弟子に食わせてくれた。その後は散らかしっ放しで帰ったけど」っていう（笑）。

かずみ ああ、真ちゃんラーメンね（笑）。あれ、美味しかったですよ。

——破壊王が一時期ラーメン屋をやろうとしてたって噂はホントですか？

かずみ いや、「俺は作りたいときにしか作らない！ 毎日は無理だ！」ってことと、あとコストがかかりすぎて元が取れないからやらなかったんです。お豆腐作りに凝ったときも、素材に凝りすぎて一丁2～3万円しちゃってたから。

——それ、最上級の豆腐がいくらでも買えますよ（笑）。

かずみ しかも「この豆腐、固くてマズイ」って言ったら橋本が本気で怒って（笑）。実際、彼が食事を作るよりも、外食した方が全然安かったりとかするんですよ。

——しかも、料理を作ったって絶対に片づけはしないし（笑）。

かずみ 本当に凄いですよ、彼が料理したあとは。シンクの中が洗い物の山になってて、どこから洗っていいかわからない。しょうがないから徐々に洗い始めると、フードプロセッサーの刃とかも平気でシンクの中に入れてるから、何度も怪我をしちゃって危なくて（苦笑）。

——破壊王は、最初に出会った頃からそんな感じだったんですか？

かずみ そうですね。何も変わらず、最後までそのまま好き勝手なことばっかりして。ずっと子供でした。

——ホント小学生みたいな人だったと思うんですけど、かずみさんも「一番上の子供でした」って表現してましたね。

かずみ だからみんな橋本に電話かけてくると「長男いる？」って聞くぐらいでしたから（笑）。

——でも普通、子供が生まれると変わったりするもんじゃないですか。

かずみ 全然変わらなかったですね。子供たちを可愛がってはいたけども、子煩悩だから一緒に遊ぶというわけではなくて。彼は、自分が子供の頃に貧しかったから、当時買えなかったウルトラマンのオモチャとかをすぐ欲しがるんです。で、お店でオモチャを買うときに自分の趣味だってバレるのがイヤだったから、わざわざ「子供へのプレゼントだ」と店員に言ってリボンを付けてもらって（笑）。

——そして家に帰ったら自分がそのオモチャで遊ぶ、と（笑）。

かずみ 子供がオモチャに触ろうものなら突き飛ばしちゃうから！「いまパパが遊んでんだから！」とか言って。

——やりすぎですよ、それ（笑）。破壊王は『さくらやホビー館』の存在を知ったとき、いきなり30万円ぐらいオモチャを買い込んで、風呂場にオモチャを持ち込んで遊んでるところをかずみさんが目撃したって噂も聞いたんですけど。

かずみ ああ、それはいつものことですよ（あっさりと）。お風呂場でオモチャを「ブイーーン！」とか言いながら自分で飛ばしているんです（笑）。

——ダハハハ！ それがいつものことですか（笑）。



インタビュー中で再三触れられているが、とにかく動物ハンターとして暴れ回っていた破壊王。この巨大海老は自らハンティングしたわけではないと思うが……仕留めていても不思議じゃない!?

かずみ お風呂場にオモチャがあるのは子供が遊ぶためじゃなくて、あくまで彼用。子供が一緒だと邪魔されちゃうから、いつもひとりで遊んでましたね。自分のオモチャは自分だけのオモチャ。ちょっとでも触ると「それパパのだぞ！」ってムキになって怒るんですよ。で、大地（長男）がちょっと大きくなってからはオモチャをふたつ買ってくるようになって。いま家に橋本の写真を飾ってあるんですけど、横にマジンガーZが箱に入ったまま置いてあるんですよ。箱から出すと怒られるから……（しんみりと）。

——まだ触っちゃいけないんですか……。

かずみ 本当にオモチャが好きでしたからねえ。パパのオモチャに触って子供が飛ぶほど殴られてたり、お尻を孫の手でパチンって叩くもんだから、子供たちはみんな怖がってしまって。

——まあ、怖がりますよね（笑）。

かずみ あと、橋本が子供とじゃれ合ってるときに、子供って加減を知らないからパチンって叩いたりしようものなら、橋本も反射的にバチーーン！ってお返ししますからね。子供の横顔に彼の手形がしっかり付いちゃったけど、「誰に叩かれても俺は殴り返す！ 慣れてるから鼓膜が破れるような叩き方はしないんだ！」って言ってました。

——リングを降りてもプロレスラーだった、と（笑）。しかし、なんでそういった子供イズムをいつまでもキープできたのか不思議でしょうがないですね。ザ・コブラとかのマスクを被って、道場近辺で勝手に検問を始めちゃったりとか（笑）。

かずみ 和田さんという特殊メイクの方に、あの身体でバットマンのコスチュームをフルセット借りて、無理矢理着ていたこともありましたからね。もうパンパンなバットマンで（笑）。

——サイズが合うわけないんですよ（笑）。

かずみ でも、その姿を息子に見せたかったらしくて、どっかで着込んでそのまま車で家に帰ってきたことがあったんですよ。それを見た息子が「ギャ～～！」って大泣きしながら「この人、誰！」って（笑）。

——身体を見たら、あきらかにお父さんなんですけどね（笑）。

かずみ で、夜中になったらその恰好でまたどっかへ行っちゃって。通行人や信号で隣に止まった車を驚かせたかったみたいですね（笑）。

——いちいちボンクラだなあ（笑）。破壊王は新日本プロレスの上野毛の道場内でよく遊んでましたよね。

かずみ ホントに道場が好きでしたから。朝起きて「道場行こ！」って家を出て、夜中まで帰ってこないとか。

——でも、別に道場でガンガン練習してるわけでもないんです

他人が自分より大きい物を持っていたら、もっと大きい物を持ちたがった

よね。むしろ遊びに行ってるような感じで（笑）。

かずみ　後輩がたくさんいて自分の言うこと聞いてくれるからでしょうね（笑）。子供が産まれる前は「お前も道場でメシ食っていけよ」って言われて、一緒にチャンコ食べるのが凄く恥ずかしくて。なんか食費節約するために来てるみたいでイヤだったんだけど、橋本は「何でイヤなんだ！」って（苦笑）。

――居心地悪いですよね（笑）。

かずみ　だから、そういうくだらない口論はよくしてましたよ。それこそ1日に3回ぐらいは。

――ボクが聞いた夫婦喧嘩の話としては、破壊王ってテレビドラマにすぐハマるじゃないですか。それで『星の金貨』にハマったとき、最終回でのりピー（酒井法子）が死んだことに大激怒して、かずみさんに「お前、テレビ局に抗議の電話せぇ！何でのりピー殺すんやぁ!!」って詰め寄って喧嘩になったっていう（笑）。

かずみ　ああ、ありましたありました！「なんで私が電話しなくちゃいけないの！」って（笑）。テレビドラマといえば、橋本が中山美穂ちゃんを大好きだったとき、美穂ちゃんのラブシーンになるとグラスを掴んで「こんなもんッ!!」とか叫びながらテレビに投げようとしてたんですよ。テレビに蹴りを入れたこともあって、「テレビが壊れるから、それだけはやめて!!」って必死に止めましたけど（笑）。

――破壊王はホント異常なぐらいなまでのテレビドラマ好きでしたよね。

かずみ　そうですねぇ……。昼ドラなんかにもハマっちゃって、一度見ちゃったら毎日ビデオに録ってないといけなくて。でも、私も毎日、お昼に家にいるわけじゃないから、一回でも録り逃しちゃうとホンットに怒るんですよ。「お前は俺の楽しみを奪うのか！　唯一の楽しみだったのに!!」って。

――それが唯一の楽しみだったんですか！

かずみ　それから、彼はみんなに「昼ドラ録ってないか？」って電話しまくるんですけど、普通は昼ドラなんてビデオに録ってないじゃないですか？

――NHKの大河ドラマとかなら録ってる人も多いですけどね。ウチも破壊王に取材を受ける条件として「『秀吉』を2話分録画し損なったから、そのビデオを用意したら受ける！」って言われたことありますよ（笑）。

かずみ　緒形直人さんが大河ドラマの『信長』で織田信長を演じてたときも、最初は「コイツに信長はまだ早いなあ」とか散々言ってたくせに、だんだん「やっぱりコイツはいい！」とか言い始めて。ドラマが終わったら緒形さんにお花を贈っちゃったんですよ、まったく面識もないのに（笑）。

――かずみさんも破壊王と一緒にテレビやビデオを見てたんですよね。

かずみ　そうですね。新婚時代からビデオも恋愛映画とかは一切見せてくれなくて、一緒に見るのは『男はつらいよ』シリーズとか『トラック野郎』とか『水戸黄門』とか『子連れ狼』とか、あと『北斗の拳』（笑）。

――しかも破壊王は、ビデオ鑑賞の途中でかずみさんが寝ると本気で怒ったらしいじゃないですか。

かずみ　深夜2時ぐらいになって、ちょっと眠そうにすると「……まさかお前、眠いんじゃないだろうな？　眠いなんて言おうもんなら　二度とお前とはビデオ見ない！」って脅すんですよ。しかも私の友だちには「なぜアイツは寝るんですか？　お願いですから、ビデオの途中で寝るなって言って下さい！」って電話して（笑）。

――ダハハハハ！　でも家事と両立するのはキツいですよね、次の日も朝は早いんだろうし。

かずみ　私は朝の家事もあるから、「じゃあ私はいつ寝ればいいの？」って聞いたら、「昼寝しないお前が悪い！」って（笑）。

――ビデオ鑑賞のためにコンディションを整えろ、と（笑）。破壊王って基本的に寂しがり屋じゃないですか。だから付き人とも密な付き合いをしてきたんだろうし。

かずみ　だから、彼の付き人になった人はホントに可哀想ですよね。最近聞いて驚いたのは、私は祐天寺の美容院に行ってて、そこのお店とはもう20年ぐらいの付き合いなんですけど、橋本はそこの一本一万三千円ぐらいするシャンプーを使ってたんですね。で、この前、上井（文彦）さんとお話をしたら、そのシャンプーを取りに行ってたのは柴田（勝頼）君だったみたいなんですよ。シャンプーだけ買いに行かされて。

――最近ボクが聞いたのは、そのシャンプーを（佐々木）健介さんも使ってるって聞いた破壊王が「アイツがポンプを一押ししてるときに、俺は二押ししてるんや！」という訳のわからないアピールをしていたという（笑）。

かずみ　わけがわからないよね、ホント（笑）。

――破壊王って、健介さんに対する敵愾心が凄かったじゃないですか。何でそこまで張り合うのか聞いたことありますか？

かずみ　う～ん、なんでだろう？　ただ、橋本は自分がやってることを健介さんが全部マネしてると思っていたみたいで、「俺がサングラス買ったら、健介も買った。俺が○○色のスーツを買ったら、健介も○○色のやつを買った！」とか言いながら、よく家で騒いでましたけど。

――誰かのお葬式のときにも、健介さんが持っている数珠がもの凄く大きかったのを見た破壊王が「もっとデカいの買ってこい！」って言ってたこともあるらしいですね（笑）。

かずみ　それは健介さんだけじゃなくて、他の人が自分より大きい物を持っていたら、自分はもっと大きい物を持ちたがる人だったんですよ。車でもそうだし。ZERO・ONEを立ち上げた頃に、知り合いの女の人がベンツのゲレンデに乗ってたんですよ。それをちょっと借りて乗ったら気に入ったらしくて、「アイツは普通のゲレンデ。俺はアーマーゲーじゃなきゃ嫌だ！」って言い始めちゃって。私も車持ってるし、彼も持ってるから、ウチに車はもういらないんですけど、それから彼は大きい身体を揺らして「買ってぇ、買ってぇ!!」って毎日おねだり（笑）。

――オモチャがほしい子供状態になるわけですね（笑）。

かずみ　そう。オモチャ屋の前で寝っ転がって足をバタバタさせてる子供と一緒。もう毎日「アーマーゲイ買ってぇ、買ってぇ!!」って騒いで。あんまりにもしつこいから買うのを許したんですけどね（苦笑）。

――破壊王は「俺はヘビ年だからしつこいぞ！　執念は誰にも負けない！」ってよく言ってましたもんね。

かずみ　執念は凄いですよ！だって、「俺の浮気は男の甲斐性だから全然構わない。でも、お前が一瞬でも浮気してみろ。俺はお前の一族を皆殺しにしてやる！」って言いましたからね。

――浮気で根絶やし！　浮気といえば、破壊王って雑誌とかで普通にそういう話をするじゃないですか。あれ、かずみさん的にはどう思ってました？

かずみ　ああ、ウチでも話してましたから（あっさりと）。

――結婚直前まで二股かけていて、その一方と別れたことをほめられたくてかすみさんに報告したら、こっぴどく叱られたって言ってたこともありましたけど（笑）。

かずみ　あと橋本と結婚してす

破壊王・前夫人、告白。「本当に子供でした」

ぐぐらいに、三銃士の3人が沖縄で仕事があったんですよ。沖縄にはマルティーナさん（蝶野夫人）と久恵さん（武藤夫人）も行くことになったんですけど、私は妊娠していて具合が悪いから入院してたんです。そしたら橋本は「俺だけ誰も連れて行けないから、俺は彼女を連れて行く！」って言い始めて。けっきょく久恵さんに怒られてやめたんですけど（笑）。

――前に『Ｒｉｎｔａｍａ』という雑誌で、破壊王が「こんなの女房は読まないだろ。俺はいま恋をしている！」って宣言したら、かずみさんはそれを読んでいて「へ～、いま恋してるんだ」って突っ込んだこともあるみたいですけど（笑）。

かずみ　私にはバレてないつもりなんですよ。こうやって周りの記者さんとかには「いま○○のお姉ちゃんと付き合ってんだ！」「こんな人で凄くいい人なんだよ」って自慢して、私の友だちとかにも電話するんですよ。そんなの私の耳に絶対入ってくるでしょ？

――確実にバレますよね（笑）。

かずみ　彼と話すとすぐウソがわかるんですよ。たとえば朝の5～6時ぐらいに帰ってきて、いつもは私が寝てたら怒るのに、私がたまたま起きていて自分にやましいことがあると「何で今日に限って起きてるんだ！」ってムキになって怒鳴るし（笑）。

――わかりやすいなあ（笑）。

かずみ　それで、いっつも些細なことから喧嘩が始まって、毎回「お前が悪い！」「私は悪くない！」という言い合いに夜から朝の6時ぐらいまで付き合わされるんですよ。こっちは眠くって眠くって。結局、私が謝るまで寝かしてもらえないんで、最後に「ゴメン。私が悪かった」ってフラフラになって謝るパターンだったんですよ。

――眠いから折れざるを得なくて（笑）。

かずみ　それで橋本は「勝った！」みたいな表情になって、そこからやっと寝かしてもらえるんですよ。ホントしつこい性格。

――でも、さすがに浮気がバレると破壊王も謝るわけですか？

かずみ　反省するのは3日だけですけどね。涙と鼻水流して「絶対に二度としない！」って土下座して謝ったのに、3日経ったら「やっぱりお前が悪い！」って言い始めてビックリしちゃった（笑）。

――よく考えてみたら俺は悪くない、と（笑）。

かずみ　あるときなんて、車のトランクからクッシャクシャの紙袋を持ってきて、家に入って中味を見たら、またすぐ車に戻しに行ったんですよ。もうあきらかに怪しくて、次の日にトランクを開けて紙袋の中身を見たら、女の人に宛てたラブレターの下書きが入っていて。あれはビックリしました！　そのときも「勝手に読んだお前が悪い！」って3日後に言い始めたんですよ（笑）。

――激しい夫婦関係だったんですねえ（笑）。

かずみ　いつも派手に喧嘩してましたからね。家にでっかいテーブルがあったんですけど、喧嘩の最中、橋本がカカト落とし一撃でそのテーブルを真っ二つに割ったときがあったんですよ。

――さすがは破壊王！

かずみ　私が「アンタが壊したんだから、アンタが片づけなさいよ！」って言ったら、「何で俺がそんなことしなきゃいけねえんだ！」って怒鳴られて、そのテーブルを庭にボーンと投げちゃったんです。そしたら、それを隣のご主人が片付けてくれて。



子供ではなく自分用にオモチャを買い込んでいた破壊王。ウルトラマンショーなんかも自分が見たくて行っていたそうだ。ちなみに怪獣大好きライガー一家とも一緒に出かけていたことも。

――つまり、近所でも夫婦喧嘩は有名だったんですね（笑）。

かずみ　近所の人に「いつか警察を呼ばれるんじゃないか？」って心配されるぐらいの喧嘩でしたから。子供たちは橋本が机を割る姿を見ていたから「これがトラウマになんなきゃいいな～」って思っていたんですよ。でも翌朝、大地が茉莉（長女）に「……昨日は凄かったなあ。パパのカカト落とし、見たか？　あのテーブルを一撃だぜ！」って目を輝かせながらしゃべっていたんですよぉ（笑）。

――ダハハハ！　「やっぱりお父さんは凄いなあ！」ってかんじで（笑）。

かずみ　大地が物心付くときから夫婦喧嘩してたから、もう免疫が付いてたんですよね。でも、橋本は私には絶対手は上げなかったんですよ。たまに喧嘩の最中、殴るフリをしてましたけどね、こうやって（笑）。

――ああ、殴ろうとして頭をかくやつですね。ボクも子供の頃にやってました（笑）。

かずみ　小学生じゃないんだからって（笑）。でも、橋本との喧嘩って私からすればストレス発散だったんですよ。ワ～ッといろいろ言えて。家には新日本の若い子がよく来てたんですけど、それでも全然平気で喧嘩するから、みんなも慣れちゃって「まあまあ」ぐらいしか言わないんですよ。

――「ああ、また始まったな」って（笑）。

かずみ　ホント、家では王様でしたね。

――さすが破壊王と呼ばれるだけありますね（笑）。

かずみ　家に帰ると足放り出して靴下を脱がせろって言いますからね。しかも好みの脱がせ方があって、「つま先から引っ張らないとダメだ！」って。でも、つま先ってあんまり触りたくないじゃないですか。

――ちょっとウェットだったりしますからね（笑）。

かずみ　だから子供たちにやらせるようになりました（笑）。あと、彼は汗っかきだから家ではいつもタオルを首にまいてたんですけど、タバコの灰が落ちてもそれで拭いて、コーヒーをこぼしてもそれで拭くんですよ。

――汗拭きと雑巾の兼用だったんですか（笑）。

かずみ　で、車を凄く大事にしてたんで、いつもピカピカに拭いてたんだけど、車を拭いたタオルで自分の汗も拭いて（笑）。

――それぐらい車が大事だったんでしょうね（笑）。じゃあ、車に「小川」とか落書きされたときは本気で怒ったんじゃないですか？

かずみ　あの落書き、実は私が写真を撮ったんですよ。彼が「撮っておけ！」って言うから。

—あの落書きって本当は『負けたら即引退スペシャル』の時期じゃなくて、小川さんのデビュー戦で負けた直後に書かれたみたいですよね？

かずみ そうなんですけど、あんまり試合に負けたことは関係ないと思うんですよ。なぜかといえば、家の近所に（ジャンボ）鶴田さんの家があるんですけど、鶴田さんの家の壁には「三沢」ってペンキで書いてあったから。

—ダハハハ！ ただの愉快犯だったわけですね（笑）。

かずみ ウチの車はペンキじゃないからすぐ消えたんですけど、鶴田さんの家は壁だから、これはなかなか消えそうもないぞ〜って（笑）。

—当時、まだ全日本とはまったく交流もなかった時期なのに、引っ越して来ると鶴田さんの家の呼び鈴を押して挨拶に行ったのも伝説になってますよね（笑）。

かずみ そうそう。でも、鶴田さんはご近所になったんでご挨拶に行くのはわかるんですけど、映画を見に行ったら桑田投手がたまたまいらっしゃったことがあって。彼に「桑田投手がいたよ」って言ったら、「挨拶したのか？ ダメじゃないか、挨拶しなきゃ!!」って怒られて。だけど面識もないし、なんて挨拶すればいいかわからないし、向こうはプロレスを知らないかもしれないじゃないですか。

—「橋本真也さん？ 知らないですねえ……」って言われたら切なすぎますからね（笑）。

かずみ ウチの近所には芸能人の方が多いんですけど、それから「○○に会った」ってあまり言わないようにしてましたね。必ず「挨拶はしたか？」って言われるから。同じ新幹線に芸能人の方が乗ってることがわかると、まったく面識もないのに挨拶して、握手してフレンドリーに話してるんですよ。「誰だったの？」って聞くと、「いや、初めて会った」って（笑）。

—破壊王ってホント壁のない人でしたよね。ボクが上野毛の新日道場に取材に行ったときも、外でタクシーを呼んでたんですよ。そしたら破壊王が「お前ら何やってるんや？ タクシーなんか追い返せ。俺が送ってやる！」って言ってくれて。クリスマスイブなのに「今日はウチでパーティーなんや」って言いながら渋谷まで送ってもらいましたからね。

かずみ 道場でも、遅い時間に後輩が集まるとお寿司をたくさん頼んでましたもんね。だいたいライガーさんかウチがお代を払うんですけど。でも後輩をいちばんいじめる二人だからね〜（笑）。

—いじめる分、そういうケアをするわけですよね。

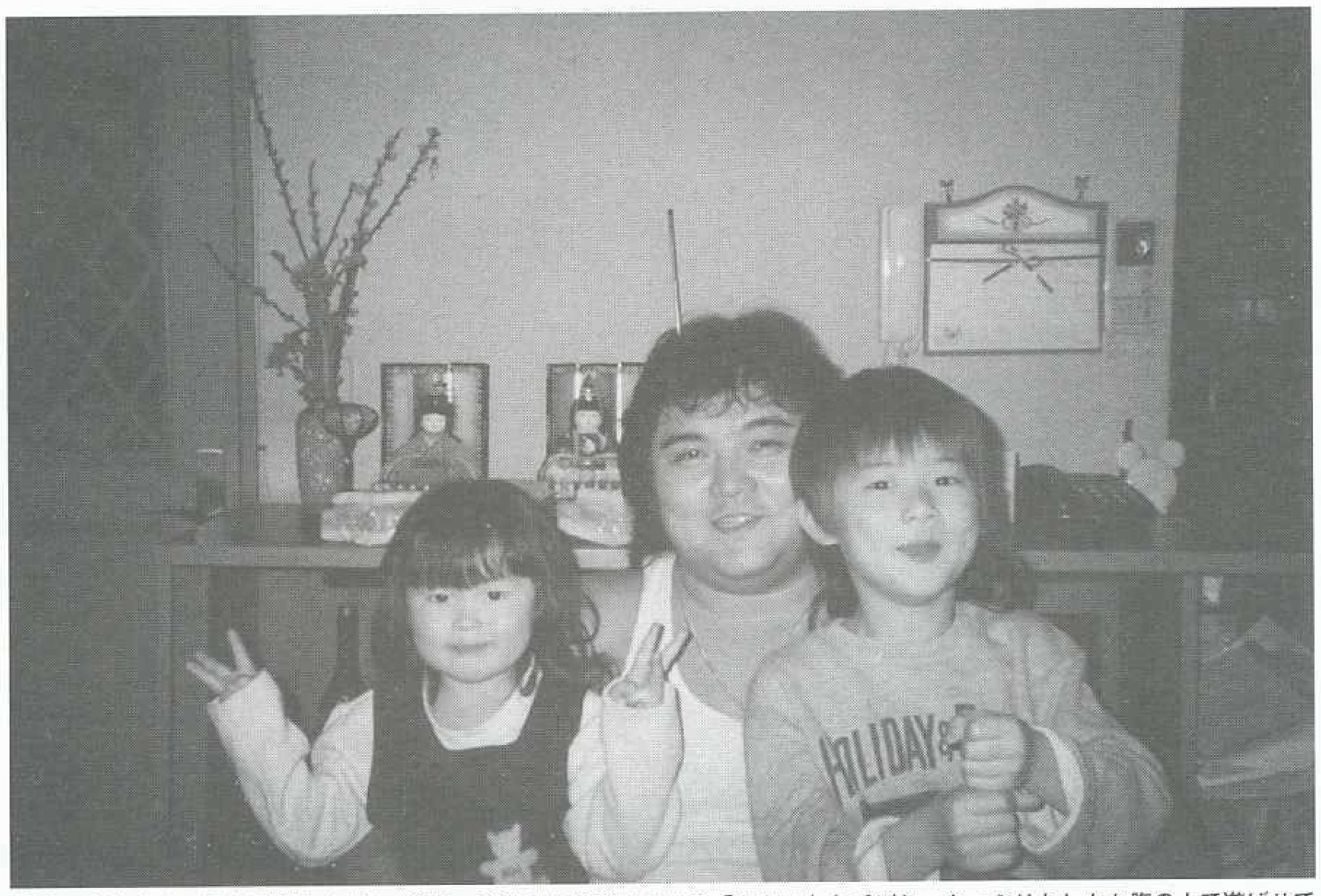
かずみ ライガーさんと橋本は新弟子に対してホントにメチャクチャでしたからね。

—破壊王の下の後輩が育たなかったのは有名ですからね。

かずみ そうそう。だから山本君と小島君の間がいなかったんですよね。

—小島さんがセミ嫌いだって聞いたら、部屋に大量のセミを放ったりするし（笑）。

かずみ あのときは橋本が家に帰ってきて、もの凄く嬉しそうな顔してるんですよ。「今日、道場の近くの緑地でセミを200匹捕って、コジがいない間にアイツの部屋にぜ〜んぶ入れてきてやったよ。あいつ、帰ってきたら絶叫してんだろうなあ〜」



長男・大地くん、長女の茉莉さんと一緒に。破壊王は茉莉さんから「トトロ」と呼ばれ、たっぷりとしたお腹の上で遊ばせていたそうだ！

って（笑）。

—イタズラにかける手間が本当に凄いんですよね（笑）。

かずみ そのための時間を惜しまない人でしたから。

—ただ、それだけ無茶なことばかりやってきたのに悪く言われないのはさすがですよね。

かずみ あまり悪意がなかったですからね。

—ボクはよく「映画版ジャイアン」って呼んでたんですけど、ただのヤンチャじゃないというか（笑）。

かずみ 悪いことしても、ホントに嬉しそうな顔を見ると、しょうがないなあって思えるんですよ。

—ボクも破壊王にある噂（前号の座談会参照）を流されたことがありますけど、しょうがないなあと思いましたよ（笑）。

かずみ やっぱり自分の聞いたことはすぐに人に話さないとダメな人だったし、溜め込むとストレスになっちゃう人だったから（笑）。「ここだけの話にしてくださいよ！」っていうのが通用しないんですよ。

—そこにもまったく壁がないというか（笑）。

かずみ しかも普通に広める分には問題ない話も、一旦橋本から出るともの凄く膨らんだ話になっているから（笑）。あることないこと付け足して、人の話を面白おかしくしてもっともらしくしゃべるんですよね。でも、あの人は嫌いな人にイタズラしないんですよ。意地悪はしない人だったから。

—長州さんとギクシャクし始めたのも控室で袋叩きにされたのが原点なんでしょうけど、本人のテーマ曲で替え歌を作ったのが原因だったって気もしますからね。「長州力、足が短い♪」とか歌ったのがバレたみたいだから（笑）。

かずみ あれ、みんなの替え歌あるんですよね。いっつも家で歌っているから、会場に行って選手のテーマ曲が流れると、橋本の歌詞がどうしても頭に浮かんじゃって（笑）。

—ぜひ追悼企画として破壊王の「替え歌・歌詞集」を作りたいものですけど。

かずみ あれ、全部ノートに書いて取ってあったんですよ（笑）。変なとこマメですからね。でも、そんなの本に載せたら長州さんに怒られるでしょ。

—いやいや、もう問題なしですよ！ しかし、ホントに小学生イズム溢れる人ですよね。

かずみ 無邪気でしたからね、家の中でも。パンツ一枚で向こうから歩いてきたかと思ったら、突然フラダンス踊ったりとか、私がお風呂から上がったら私の化粧品を使ってメイクしてたりとかして（笑）。

—ダハハハ！ 『笑っていいとも！』で「子供の頃、ジュリーに憧れて化粧したんや！」って言ってましたけど、大人になっても化粧してたんですか（笑）。

破壊王・前夫人、告白。
「本当に子供でした」

かずみ　とにかく家の中でジッとしてなくて。ジッとしてるのは寝てるときだけでしたから。本当に子供（笑）。

――100％子供ですね（笑）。

かずみ　食べてるか、料理してるか、真剣にテレビ見てるか、オモチャで遊んでるか。でも、自分本位で生きている割には、意外と気にしぃなんですよ。人が自分のことどう思ってるのかをいつも気にしてて。

――外には豪快に見せようとしていたけど、意外に繊細でしたよね。

かずみ　ささくれで「痛い痛い！」って泣いてたりとかして（笑）。それにロマンチストだったし。橋本が中国へ修行に行ったじゃないですか。

――異種格闘技戦でトニー・ホームに連敗した頃ですね。

かずみ　そのとき、私もあとから中国に行ってるんですよ。彼が空港まで迎えに来てくれたと思ったら、いきなり私を抱き上げて映画みたいにクルクル回っちゃって。周りの中国の人、みんな見てるし、すごく恥ずかしかった（苦笑）。

――それが破壊王の愛の表現だったんでしょうね。

かずみ　それと新婚のときに住んでたマンションの壁も恥ずかしかったですよ～。夜行塗料のシールを天井に貼ってプラネタリウムみたいにしてたんですけど、電気を消すと壁に「しんや&かずみ」っていう文字も浮かび上がって、友達が家に来るたびバカにされてました（笑）。でも、橋本は嬉しそうに電気を消して見せびらかすんですよね。こっちは恥ずかしくってしょうがないのに……。

――そういう部分ではピュアなんですねえ！

かずみ　泣き虫でしたしね。だって一緒に寝転がって『ハチ公物語』を見てたら、私のうしろで号泣してるんですよ。それで、わんわん泣いてたのに突然席を立つから、何かと思えば泣くだけ泣いてお腹が空いたらしくて御飯を作ってるんですよ。

意外に繊細なんです。ささくれで「痛い痛い！」って泣いたり（笑）

――食欲とか性欲とか物欲とか、いろんな欲求に忠実だったわけですよね（笑）。客観的に見て、破壊王がいちばんのびのびしてたのは新日本時代だったと思うんですけど。

かずみ　そうでしょうね。気苦労もなかったし。あとはZERO-ONEの旗揚げのときもノビノビしてたかな。やりたいことに真っ直ぐ向かっていった時期でしたからね。

――新日本内で破壊王がフロントとギクシャクし始めてきた頃って、かずみさんから見ていてどうでした？

かずみ　どうなんでしょうね……。ピリピリしてるときもあったんでしょうけども、家には仕事を持ち込まない人だったから。機嫌が悪いときは近くに寄らないし、怒るようなことは家族はみんな避けてた。私が仕事のことに何か言うと凄く怒るし、家ではプロレスの話は全然しなかったんですよ。「白いパンツ履いてんのに、蝶ちゃんが下痢でちょっと漏らしたらしいぞ！」とか、そんな冗談みたいなことばっかり橋本は言って（笑）。

――選手の馬鹿話と噂しか教えないわけですか（笑）。

かずみ　試合の勝った負けたも聞かなかったですからね。



93年5月8日に東京・全日空ホテルで結婚披露宴を挙げたかずみさん。橋本さんの急逝後、今年の3月25日に離婚していたことがあきらかになったが、破壊王から毎日毎日、何度も電話があったという……。

――それだけプロレスと距離を置いていたのに、対小川直也戦の『負けたら即引退SP』でテレビ出演されましたよね。あのときは、さすがに相談とかされました？

かずみ　実はあのとき、負けたら引退するなんて直前まで知らなかったんですよ。彼は雑誌や新聞をトイレに持ち込むんですけど、置いてあった新聞に「引退」という文字が出てたから「誰が引退するんだろう？」って何気なく見たら「橋本引退」って書いてあるから、「え！　ウチ!?」と思って。

――聞いてないよ、と（笑）。ましてやテレビ中継に自分が出るなんて想像もしませんよね。

かずみ　全然思ってなかったですね。ウチはそれまでプライベートな取材を全部お断りしてたんですが、そのときに限って橋本から「俺の立場もあるんで、出演してくれ！」ってことで。私の心境は複雑でしたね。橋本はまだ若かったけど、その前に福田（雅一）君が亡くなってたから、「危険な仕事だし、このまま引退してくれてもいいかな……」って正直思いました。

――あのとき本当に引退していたらとか考えます？

かずみ　……でも、引退しないでよかったといまは思いますね。お葬式やファン合同葬に訪れた多くのファンの方を見て、あらためて橋本がプロレスラーとして魅力的だったんだなって思いましたから。

――（ここで編集部から「残り3分です」と言われて）破壊王を語るのに全然1時間30分ちょっとじゃ足りないよ！……ちょっと時間がないみたいなので、最後にファンに対するメッセージをお願いします。

かずみ　……お通夜と告別式、そして合同葬にはたくさんの方が来て頂いてありがとうございます。遠くから来て頂いた方もいらっしゃたし、「電車賃だけ持って静岡から来ました」という高校生の方とかもいらっしゃって、本当に感謝しております。そして4人の発起人、武藤さん、蝶野さん、小川さん、大谷さん、運営してくださったドリームステージさん、新日本プロレスさんにも深く感謝しております。メッセージはそれだけです。

――ちょっと話し足りないぐらいなので、またいつか破壊王について語り合いましょう！　ボクたちに出来ることは、破壊王の素晴らしさを伝え続けていくことだと思いますからね。

かずみ　ホントそうですよね。みんなの記憶に残ることが、大地や茉莉やひかる（次女）の財産になるんじゃないかなって思うんですよ。ましてやひかるはまったく父親の記憶がないですからね。橋本真也というプロレスラーをずっと語り継がれるようになれば嬉しいです。

――今後も語り継ぎましょう！

【05年8月11日／渋谷『BIG SEA45』にて収録】

ZERO1-MAX関係者が語る

“破壊王”橋本真也さんの素顔



浪口修 なみぐち・おさむ☆一時期、なぜか、どっこい浪口のリングネームで暴れていたZERO1-MAXの爆弾小僧。破壊王の最後の弟子の浪口君と、健介ファミリーの中嶋君とのライバル対決は毎回毎回ハズレなし。ちなみに、得意技はドリームキャッチ。

古武直城 ふるたけ・なおき☆フリーのＴＶディレクターとして初期のZERO-ONE中継や、「ch01」などを製作し、現在はZERO1-MAX中継を手がけている。ちなみに、ch01の収録で、破壊王に５分間のコメントを取るために、7時間待ちぼうけを食らった経験あり。

オッキー沖田 オッキーオキタ☆本名・沖田佳也。元女子プロレスラーの長谷川咲恵さんのダンナにして、ＺＥＲＯ-ＯＮＥ時代から破壊王コールを幾度となく轟かせてきた美声と涙もろさには定評のあるリングアナ。決めゼリフは「危ないですから下がって下さい！」

山笠Z”信介 やまがさ・じぇっと・しんすけ☆本名・炭谷信介。リングネームは小川直也命名。ここ最近は古傷のヒザの負傷により欠場中。正式ではないが破壊王の付き人を約２年務め、様々な伝説を残している。ちなみに、得意技は秩序のない現代にドロップキック。

崔領二 さい・りょうじ☆最近の大会ポスターにはサングラス姿で「マット界のウォンビン」として紹介されるZERO1-MAXで１～２を争うトンパチファイター。破壊王からクビを宣告された唯一の付き人でもある。兄も格闘家としてちょくちょく試合に出場中。

破壊王を語るんならZERO-1MAXを忘れちゃいけない！　橋本真也最後の所属団体となったZERO-ONEで苦楽を共にしたフロント、付き人、そして数々の名映像を生み出したテレビスタッフらが、在りし日の破壊王の知られざるエピソードを語りまくり！　いつまでも落ち込んでばかりいられない！　元気を出していくぞーーッ！　3、2、1、ゼロ、ワ～ン！　ウ～～～、マックス!!

聞き手／松澤チョロ＆ささきぃ　designed by Tani-Yan(Two three)

破壊王 橋本真也さんの素顔



――今回、破壊王追悼企画ということで、縁の深いZERO1-MAXの皆さんとZERO-ONE時代からSAMURAI!で番組を製作している古武さんに来てもらったんですが、6ページ用意しましたので、持ってる限りの破壊王エピソードを聞かせてもらえればと思ってます！

沖田　エッ、ホントにぃ!?　じゃあ、みんな今日は頑張って喋ろう！

――お願いします。早速ですが、この中で一番付き合いが古いのは沖田さんになりますよね？

沖田　僕ですかね。ZERO-ONEの旗上げが2001年の3月だったでしょ？　その前の年の夏……5月か6月ぐらいに初めて六本木で会ったんですよ。WJの福田さんがやってた焼肉屋でしたね。

――福田社長の焼肉屋ですか!?

沖田　そうそう（笑）。そこで初めて会って、それから、初めて橋本さんの側にいますって公の場に出たのは、品川の道場が出来上がって、新日本プロレスZEROの会見で司会をやったときですね。

――ありましたねぇ。でも、それは新日本の会見なんで、ウチは呼ばれなかったんですけどね（笑）。

沖田　あ、そうなんだ（笑）。

――古武さんは、破壊王とは、いつぐらいからの付き合いになるんですか？

古武　旗揚げ戦からですかね。ちょっと、某テレビ局と競ったんですよ、ZERO-ONEの放送権を。●●●●なんですけどね（笑）。で、ウチのゲッター小林っていうのが橋本さんと何度か会って、裏技使ってZERO-ONEの放送権を獲得したんですよ。

――極秘テクニックで（笑）。

古武　でも僕は旗上げは関わってないんですよ。なんですけど、いろいろと接点があって、違う番組で一緒にやってた作家さんから「ZERO-ONEの番組やらないか」って言われてて。でも、その日は違う番組の生放送が重なっちゃってやらなかったんですよ。その後にSAMURAI!でやるってなって、「やらしてください」って言って。で、北千住かなんかで……。

沖田　ああ、イベントやったね！

古武　そのときに初めてお会いして。で、2戦目ぐらいのときに、ある事情で試合の放送ができないからっていうんで、橋本スペシャルっていうのをやったんですよ。それが一番最初の橋本さんとの番組で。それでZepp2連戦からSAMURAI!の放送が開始したんですよ。で、橋本さんと親密にさせてもらったのは一緒にアメリカ遠征に行ってからですね。

――で、まず最初に、うかがいたいのが、ファンとかにも有名な話だと思うんですけど、破壊王タイムってあったじゃないですか。

山笠　俗にいう、遅刻ってヤツですね（ニヤニヤ）。

――破壊王は1時間2時間遅れは当たり前でしたよね（笑）。

一同　当たり前です！

――ガハハハ！　それ系のネタっていくらでもあるんでしょうね。

沖田　いくらでもありますね。それは僕に限らず。

――生放送とか、ホントに洒落にならない遅刻とかもあったんじゃないですか。

古武　いっくらでもありますね。

山笠　僕もいっくらでもありますよ！

崔　もちろん、僕もあります！

浪口　ぼ、僕もあります！

――やっぱり、みんなあるんですね（笑）。

沖田　一回、『笑っていいとも！』のコーナーを変えさせたんですよ。

――もしかして『テレフォンショッキング』ですか？



沖田　いや、テレホンショッキングじゃなくて女装！『テレフォンショッキング』が終わって女装のコーナーがあって、「次のコーナーも出てください」って言われてたら、来ないの、12時まわっても（笑）。

山笠　女装するのってメイクに何時間もかかるんじゃないですか。

沖田　違う違う、もうメイクしてて写真は撮り終わってたの。あとはスタジオで3枚写真が出て、「誰でしょう？」っていうのを当てるはずだったの。それで僕らはスタジオにちゃんと11時半に入って待ってて、『テレフォンショッキング』終わったらアルタのバックステージに隠れて。たまたま破壊王と仲のいい勝っちゃん（勝俣州和）も出てて。で、「次のコーナーの初めから出てください」って言われて。そしたら来たのがもう『テレフォンショッキング』の終わりぐらいで。

――一応、来ることは来たんですね。

沖田　で、急にコーナー差し替えで、後ろのコーナーが前にきて。そのときに出演者に、正体はバラさないけど「女装の人が遅刻したから」って説明したら勝っちゃんが「そんなヤツ、もう二度と呼んじゃダメだよ！」ってすっごい怒ってて。「俺の知り合いだったら言ってやるのに！」とか言ってたら勝っちゃんの友達の破壊王で（笑）。

――ガハハハハ！

崔　僕はですね、橋本さんには、だいぶ怒られたりしたんですけど、橋本さんって、こりゃ怒るだろうってとこで怒らなかったりするんですよ。で、こんなことじゃ怒らんやろうってとこで激怒することがあって。わかりやすく言うとですね、一回、高橋（冬樹）が佐世保のホテルで暴れてムチャクチャにしたときがあって（笑）。

――あぁ、たしかホテルの部屋中を●●●まみれにしちゃったんですよね（笑）。

崔　そうそう。そのときも、あんまり怒らなかったんですよ。で、こういうことでは怒らないんだって思ってたら、北海道のある会場で、あれ古武さんのせいなんですけど、休憩時間に橋本さんが普通に何か食べてたら、「ウワーッ！ギャーッ！」って急に怒りだして。ホント、メチャメチャ、キレたことがあったんですよ（笑）。

――何が原因だったんですか？

崔　僕はまったくわかんなかったんですよ。なんで怒ってんだろと思ったら、古武さんが休憩時間のBGMで破壊王の曲をかけたんですよ。

――エッ、そんな理由でブチ切れるもんなんですか？

古武　いやぁ、キレてましたよ。でもあれですよ、ちゃんとした破壊王のテーマじゃなくてリミックスなんですよ。で、その中でも、かけちゃいけないリミックスがあるんですよ。

――破壊王的にNGなテーマ曲があるわけですね。

古武　そうそう。で、後楽園とかはちゃんと音効さんがいてやってくれるんですけど、地方はいないんで、なぜか僕がラジカセで音出しをさせられてたんですよ。音効さんとかには「あれはかけるな」って伝わってたんですけど、僕は知らないから普通にかけたら、藤崎さん（富豪富豪夢路）がバーッて走ってきて「破壊王、ムチャクチャ、キレてるよ！」って言うんですよ。「え、なんで？」って言ったら「いや、お前にだよ！」って。「え～っ!?」て驚いて、なんだかわからないけど謝りに行こうとしたら、オッキーが「行かなくていいよ」って言うんですよ。

――それはどういうことなんですか？

古武　後でわかったんですけど、売ったんですよ、僕を（笑）。

沖田　ガハハハハハハ！

古武　そのとき、テイセンホール2連戦だったんですけど、俺、次の日の朝一に会場の前で橋本さんが来るのを待ってて、「昨日はす

いませんでした！」って頭を下げたら「何がじゃ？」って（笑）。
――ガハハハハ！　さすが破壊王（笑）。
古武　全然忘れてましたからね（笑）。でも自分のテーマ曲っていうのは、それぐらい大事にされてた方でしたね。
沖田　出番前にはかけるなっていうことですよね。でも俺ね、怒った破壊王を鎮める力って一番持ってたと思う。それは自信ある。
――当然、沖田さんもかなり怒鳴られたりされてるわけですよね。
浪口　沖田さんは、よくケンカしてましたからね。
沖田　よくケンカしましたけど、でも最初にガーッて言われたときには、1年目ぐらい……いや、半年だな、半年まではしょうがないかなと思ってて。
――半年間は言われっぱなしだったわけですね。
沖田　そうそう。でも後半2年ぐらいは、もう怒るポイントがわかるんですよ、どうしたらいいか。僕に動かされてるって破壊王がわかったのが最後の1年だったと思いますね（笑）。
山笠　そんな感じでしたね。最後の半年ぐらいは、お互いの言い分が歩み寄らないっていうのが僕にも伝わってきてましたからね（笑）。
――傍から見てても（笑）。
山笠　代表は代表で、やっぱり会社のトップの人間が、みんなの前で言いくるめられてはいけないってなったら、沖田さんを怒鳴るしかなかったと思うんですよ。で、沖田さんは沖田さんで自分が正しいことを言ってるっていうのがあるから、退かないわけですよ。
――なんとなく、その光景が目に浮かびますね（笑）。
山笠　もうお互いキレてるところが違うんで（笑）、代表は「そこで言うんじゃないよ、いま言わないでくれ」ってたぶんホントは言いたかったはずなんですけど、僕らの前では、やっぱり代表だから言えないですからね。だから怒鳴っちゃうんですよ、沖田さんのことを。沖田さんはそれにキレてましたから（笑）。
沖田　そうそうそう（笑）。
山笠　あと大抵、小林環（女性広報）のせいにすると「また、あのアホか！」で収まるんですよ。
――それもなんとなくわかりますね（笑）。
山笠　「また、あのアホか」って言って、もう諦めるんですよ、代表も。あとナミ（浪口）とかは、もう最後の方で（付き人に）付かされたんですけど、耕平さんとかって要領がいいから「あ、浪口が」とか言うと、「またあのアホか！」ってなって諦めるんですよ。
浪口　（不服そうに）アホにはキレられないってこと？
山笠　そうそう。アホにはキレないですね。1回、やめちゃった土井にキレてて、「アホにアホ言うとけ！」って怒ってたことありましたけど（笑）。
一同　ガハハハハハ！
山笠　でも、残念ながら、僕は橋本さんとは最後までいい関係にはならなかったですね。

最後の方は黒田さんと仲良くて、「哲っちゃん、なに食いたい？」って言ってました（山笠）


破壊王弁当のボリュームには圧倒されたものだが、現実の食生活も破壊王弁当以上にボリュームたっぷりだったという破壊王。真夜中だろうと弁当の2つ3つは当たり前、おまけに寝る前にはサイダーを4本飲んでいたという。凄ェ！

――それはどういう意味ですか？
山笠　結構、僕って先輩とかにはよくしてもらったりして、プロレス界でたぶん一番難しい部類に入ると言われる坂田（亘）さんとも仲良くしてもらえるぐらい、先輩に合わせるっていうか、そういうのがたぶんうまいと思うんですよ。
――坂田さんと親しく付き合うっていうのは奇跡に近いですからね（笑）。
山笠　そう思うんですけど、でも橋本さんだけはダメでしたね。だから一緒にいてもしゃべれないとか初めてです、橋本さんが。
――先輩はたくさんいますけど、その中でも違ったと。
山笠　違いますね、やっぱり。あんなプレッシャーはなかったですね。
浪口　しゃべれないってつらいッスからね。
崔　ちょっといいカッコしようと思って「俺は橋本さんと友達みたいに仲良くしゃべれるから」みたいなこと言うヤツもいるんですよ。でもハッキリ言って選手の中で大谷さんも含めて、橋本さんとホントに仲良くしゃべってる人っていうのは1人もいなかったですね。
――橋本さんは淋しがり屋ってよく言うじゃないですか。そういう意味では、団体内で親しく話せる人がいなかったっていうのはツラかったのかもしれませんね。
浪口　小川（直也）さんとはしゃべってましたけどね。
崔　小川さんとはしゃべってましたけど、ZERO-ONEの中にはいなかったですね。大谷さんも高岩さんも、やっぱりちょっと気を遣ってましたからね。
――地方で飲みに行ったりすると、大谷さん軍団みたいのはありましたけど、橋本さんはスポンサーと出かけることが多かったみたいですよね。
崔　橋本さんは若いのを連れてくだけですからね。
山笠　耕平さんは魚が食えないっていうのがなぜか尊重されて、よく代わりに誰かが連れて行かされてましたね。そこでも耕平さんは要領のよさを発揮して（笑）。
沖田　たぶん夜の接待の回数は葛西（純）さんがダントツ1位でしたね。
古武　葛西さんは公私に渡って可愛がられてましたからね。
――公私に渡ってってどういう感じなんですか？
古武　休みの日も「来い！」って呼ばれて行ったりとか。
沖田　あと、最後の方は黒田（哲広）さんと仲良かったんだよね。
山笠　あぁ、そうでしたね。
沖田　ホント、哲っちゃんのこと好きだったなあ。
山笠　なんにも約束してないのに、帰る直前に「哲っちゃん、今日なに食いたい？」って言ってましたからね（笑）。
――それぐらい波長が合ったってことなんですかね。
沖田　いや、哲ちゃんは何も文句を言わないんですよ。「ハイ、ハイ」って感じなんで。
――文句は言わなさそうですからね（笑）。でも、それはちょっと意外な関係ですね。
沖田　あと、橋本さんって、大体、寝るのが朝7時か8時ぐらいで、10時なんて絶対起きてるわけないんですよ。それなのに、10時に電話がかかってきたことがあって、「沖ちゃん、悪いんだけど大至急、新宿まで来てくれ！」って言うんですよ。
――何があったんですか？

沖田 なんかあったのかと思って急いで行ったら、藤崎さんにも電話があったみたいで、それが8時なんですよ。それで新宿着いて行ったのが、「さくらやホビー館」。

――エッ⁉ オモチャでも買いに行ったんですか？

沖田 そうそう。で、3ナンバーの車なんか、あの辺に停められないじゃないですか。それを凄い強引に伊勢丹のとこに停めて出てきて。平日でもあの辺って凄い込んでるんで、みんな「あっ、橋本だ！」ってなってるんですよ。だから凄いダッシュして店に入ったんですけど。実は前の日に大阪かなんかに遠征に行って、『宇宙戦艦ヤマト』のオモチャが大阪の露天で売ってたみたいなんですよ。

――橋本さんは、オモチャとか好きですからね。

沖田 で、露天のおばちゃんに「テレビで見たことあるよ。そういえば、橋本選手ってオモチャ好きですよね」って言われて、「好きや！」って答えたら、「このヤマト、エンジンから火が出るよ！」って言われたみたいで（笑）。

――それを見て欲しくなっちゃったんですね（笑）。

沖田 そうそう。それで、「いくらだ？」って聞いたら「2万円！」って。「エッ、2万もすんの？」って言ったら「当たり前じゃない」って。

――エンジンから火が出るんだからって（笑）。

沖田 「でも箱なしよ」って言われて、それ買って、家に帰るまで楽しみにして、やっと家に帰って、遊ぼうとしたら火が出なかったっていう（笑）。

一同 ガハハハハハハ！

沖田 それで「あのクソババーッ、騙したな！」ってなって、その怒りをどこにもぶつけられなくて、藤崎さんに電話したみたいなんですよ。

――藤崎さんはオモチャ関係とか詳しいですからね。

沖田 それで朝電話して「どっかにないか？」って聞いたら、藤崎さんは8時に起きてインターネットカフェみたいなとこに行って調べたみたいで。それで「さくらやのホビー館」を教えて、「何時からや？」「10時からです」「じゃあ10時に来い」って呼ばれて。で、一緒に付いていったんですけど、ホビー館って1階はゲームばっかりで、2階に上がると、そういうフィギュアばっかりなんですよ。そしたら入った途端に「うわ〜〜ッ！」って大喜びで（笑）。

――見渡す限り欲しいものだらけだったんでしょうね（笑）。

沖田 で、パッと見たら、昨日買ったヤマトが山積みになってたんですよ。昨日は「プレミアもんだから」って言われたのに、超山積みになってて。また「あのババ〜ッ！」って怒っちゃったんですけど、結局、それを2つ手に取ったんですよ。

――2つも買ったんですか？

沖田 そこも2万円で売ってて、

朝の8時に破壊王から電話があって、呼ばれて行ったのが「さくらやホビー館」（オッキー）

その時点で4万円ですよね。

――当然、それだけじゃ終わらないわけですよね（笑）。

沖田 そうそう。「オ〜ッ！」って言いながら、そこら中グルグル回って、次に買ったのが『子連れ狼』の大五郎のフィギュアなんですよ。それも2万円。

――すでに6万円のお買い上げですね（笑）。





あと『マッハGO GO GO』のGOGO号っていう、それもエンジンがついてて。あと千葉真一のフィギュア。それも2万円。全部で10万円。それを小脇に抱えて凄い嬉しそうに、ちゃんと並んで買ってましたからね。それで「ポイントカードは？」って聞かれて「そんなもんいらん！ 早くしてくれ」って10万円バーッて出して。

――さすが、破壊王としか言いようがないですね（笑）。

山笠 10万って、僕らだったらポイント押してもらえよって思っちゃいますけどね（笑）。

沖田 俺、ちゃんとそこでカード出して、それで携帯電話買ったもん。

――ガハハハハ！ 素敵なおこぼれですね（笑）。

沖田 それで、やっぱりヤマトは2個買ってるから、1個は大地（長男）にやるのかなと思って、「1個は大ちゃんにあげるんですか？ 大ちゃん、ヤマトなんかわかるんですかね」って言ったら「バカヤロー！ 1個は開けて遊んで、もう1個は大きいお家買ったら飾るんや！」って真剣に言ってましたからね（笑）。

一同 ガハハハハハ！

沖田 それを俺がかずみさん（前夫人）に言ったら、大地に買っていったウルトラマンだか仮面ライダーがあって、それも大地に買ってったんだけど、結局自分が遊びたくてしょうがなくって、帰ったらちょうど大地が寝てたらしいんですよ。それを見た、かずみさんが「明日の朝にしな」って言ったんだけど、どうにも我慢しきれなくって開けて夜中に遊んでたらしいんですよ。で、かずみさんがなんかお風呂から物音がするなと思って見に行ったら、湯船に浸かりながら両手にフィギュアを持って「バーン！ ボーン！」とかやって遊んでて、かずみさんと目があったら「あ〜〜っ、見つかってしまったぁ！」って（笑）。

――いい話ですねぇ（笑）。

古武 あと、ガウン話とかあるでしょ。

――たしか、Z″さんがガウンを忘れちゃったんですよね。

山笠 そうなんですよ。自分にとって一番の思い出ですね。

――それって破壊王とムタの三冠戦のときなんでしたっけ？

浪口 いや、橋本さんが坂田さんと組んで、川田さんとカシンさんと闘ったときです。

山笠 その試合ってZERO-ONEの巡業の合間に全日本の武道館に1日だけ出るっていうときで。前の日はどっか地方に行ってたんですよ。それで、また運悪く、付き人の耕平さんもWJかなんかで試合があって、僕が行かざるを得なかったんですよ。で、橋本さんは1回家に帰るとか言って、僕らと違う便で武道館に入ったんですよ。

浪口 たしか大阪かどっかから移動でしたっけ？

山笠 いや、東北だったと思う。で、僕は一通り完璧に仕事終わったなと思って武道館をプラプラしてたんですよ。そろそろ橋本さん来てるかなと思って控室に戻ったら、葛西さんがニヤニヤしてるんですよ。

――その時点で、なんか嫌な予感がしたと？

山笠 葛西さんはまさかと思ってたらしいんですよ。控室にガウンがかかってないから。で、「ガウンどこあるの？」って僕に聞いた

んですよ。僕はホントに漫画のように真っ青な顔色になったらしいんですよ。しかも一瞬で。

——ちびまる子ちゃんばりに（笑）。

山笠 そんな感じで。「血の気が引いていくっていうのを初めて見た」って言ってましたから。でも、「あ〜！」って思っても、もうどうしようもないんですよ。

——時間的にどうやっても間に合わないと？

山笠 もうどう考えても間に合わない。トラックは東北の方に行っちゃってるし。で、どう足掻いてもガウンはないわけですよ。

——道場とか事務所に飾ってあるガウンとかはダメなんですか？

山笠 結局は、事務所にあった昔のガウンを使うことになるんですけどね。

古武 そのときに会ったら控室の前で呆然として立ってるから、面白いんでパッと携帯で写真を撮ったんですよ。それで「なんかあったの？」って聞いたら「ガウン忘れました」って。「それ橋本さんに言ったの⁉」って聞いたら「まだ言ってません。まだ来てないんです」って。

山笠 僕はブン殴られようが何されようが、その件を早く終わらせたいのに、やっぱり遅刻してくるわけですよ（笑）。

——ビッグマッチでも破壊王タイムでしたか（笑）。

山笠 試合が始まっても来ないんですよ。で、ようやく来たのが第3試合が始まった頃で。でもすぐに橋本さんは誰かに呼ばれて控室から出て行ったんですよ。で、ようやく自分の試合の何試合か前に帰ってきたんですけど、そんな試合ギリギリのタイミングで言わないといけない状況に陥ってしまって。

——聞いてるこっちも緊張してきますね。

山笠 試合に向けて、そろそろ集中しないといけない時間なのに、これはもうブン殴られるなと思って。中村（祥之）さんとかは笑って見てるんですよ。

浪口 そのときには、もう古いガウンを用意してたんですけどね。

古武 夢路さんが自転車で持ってきたんですよ（笑）。



スーツに身を包み改心したはずのプレデターが突如、コスチューム姿で会見場にカムバック。制止に入った破壊王や山笠を振りほどき対戦相手の小川を襲撃！　この時代のZERO-ONEの会見は毎回毎回ハズレなし！

——武道館まで自転車でガウンを運んでくれたんですか（笑）。

山笠 それをわざと目立つとこにかけてたんですよ。で、ガチャって控室のドアを開いて、代表もたぶんガウンがあるのはここだって目に入ってるのに、僕が「すいません、代表！　実はガウン忘れたんです」って言ったら、1回、目でガウンを確認しましたから、あるのになって。でも、よく見たらやっぱり違うじゃないですか。ホント、これはヤバいなって思って言ったんですけど、おとがめなしで。「お前、やらかしたな」って言われたぐらいで。

——なんで、そのときは怒られなかったんですか？

山笠 なんでかっていうとですね、同じ控室に小川さんがいたからなんですよ、たぶん。

——小川さんがいたんで、怒るに怒れなかったと。

山笠 そうだと思うんですけどね。「殴られもしなかった」って言ったら、みんなビックリしてましたもんね。でもその後、キッチリ口ではイビられましたけど。

——破壊王みたいなスーパースターっていうのは、僕らマスコミとかファンから見るといいところしか見えないですけど、やっぱり身近に接してる人にとってみたら大変なことも多いんでしょうね。

古武 あとあの話も面白かったな。崔が橋本さんと車に2人で乗ってて「缶コーヒー買ってこい」って言われて、降ろされたことがあったんでしょ。

崔 あぁ、ありましたねぇ。

山笠 渋滞中のときで、「コーヒー買ってこい！」って言われて降りて買いに行ったら渋滞が解消しちゃってそのまま置いていかれたっていう（笑）。

崔 その後、電話したら「電車で帰れ！」って言われたからね（笑）。

沖田 それホント？（笑）。

崔 いやいや、ホントですよ。

山笠 ホント僕とか崔さんとかって付き人でいろいろやらされてるから、ツライ思い出……いや、いい思い出話で、よく盛り上がってましたよね。

古武 付き人クビになってるからね、崔領二は。歴代でもクビになったのは1人だけみたいですよ。

——なんかきっかけがあってクビになったんですか？

崔 なんなんですかね、時期的に交代だったんじゃないですか。

沖田 領二の次、誰？

山笠 耕平さんです。初めは星川（尚浩）さんで、崔さんになって、耕平さんになって、耕平さんが余裕かまして、半分ぐらいからずっと僕が陰でやらされて（笑）。

崔 でも期間はいろいろですけど、ホントに付き人の仕事したのは絶対この3人だけですよ。

山笠 洗濯とかも全部ナミがやらされてたし。

浪口 そう、耕平さん絶対僕に回すんですよ。

——付き人の下請けをやっていたと（笑）。

浪口 当たり前のように僕に回して、しかも金くれないんですよね。

一同 ガハハハハ！

沖田 そういえば、ハチマキでよく怒られたでしょ。

山笠 ハチマキ最悪でしたね！

——ちょっと、意味がよくわからないんですが（笑）。

沖田 俺ね、旗揚げ前にNOAH

の大会でハチマキ巻いたんだけど、一生これだけはやりたくないと思いましたからね。

浪口　沖田さん、ハチマキやったことあるんですか？

沖田　やったことあるよ。そのときは祥之さんがあまりにも忙しかったんで自分が巻いたんだけど、ホント何回もやり直しさせられてね。

山笠　僕が思ったのは、生きてて運のいい人っているじゃないですか。

――まあ、いるでしょうね。

山笠　生きてる中で、普通にやる蝶々結びが横向きになる人っているんですよ、天然で。

沖田　それ、藤田和之選手でしょ。

山笠　佐藤耕平もそれなんですよ（笑）。で、耕平さんが「普通に結びゃいいんだよ」って言うから僕が普通に結んだら、僕はこっち側だったんですよ。

――運の悪い人だったと（笑）。

山笠　そうなんです。僕は縦結びになっちゃうタイプなんですよ。もうそしたら激怒ですね！

――ハチマキで激怒！（笑）。

山笠　僕らの道場来たことあります？

――ありますあります。

山笠　赤いマシンあるの知ってます？

――はいはい。人間の形をしたパンチングマシーンですよね？

山笠　そうですそうです。僕、あれで何回も練習しましたから（笑）。どうしたら横結びになるんだろうと思って。

沖田　必ず言ってたのが「ほんまにこれを完璧にやったのは藤田だけや」って。

山笠　それはよく言ってましたね。

崔　ちなみに僕はどっかの会場で、こう結んでしばかれましたからね（と言って図を書いて説明）。

――ハチマキの輪っかの部分が大きいか小さいかでこだわりがあるんですね？

崔　そうなんですよ。

山笠　で、美的感覚もなんかわかんないんですけど、少し輪っかを押さえた方がいいのかと思うじゃないですか、なんかスマートで。むっちゃデカくないといけないんですよ（笑）。

――ガハハハハ！

山笠　それで激怒ですからね。

沖田　俺たちは破壊王を偲んでるんだけど、お前のは文句なんじゃない（笑）。

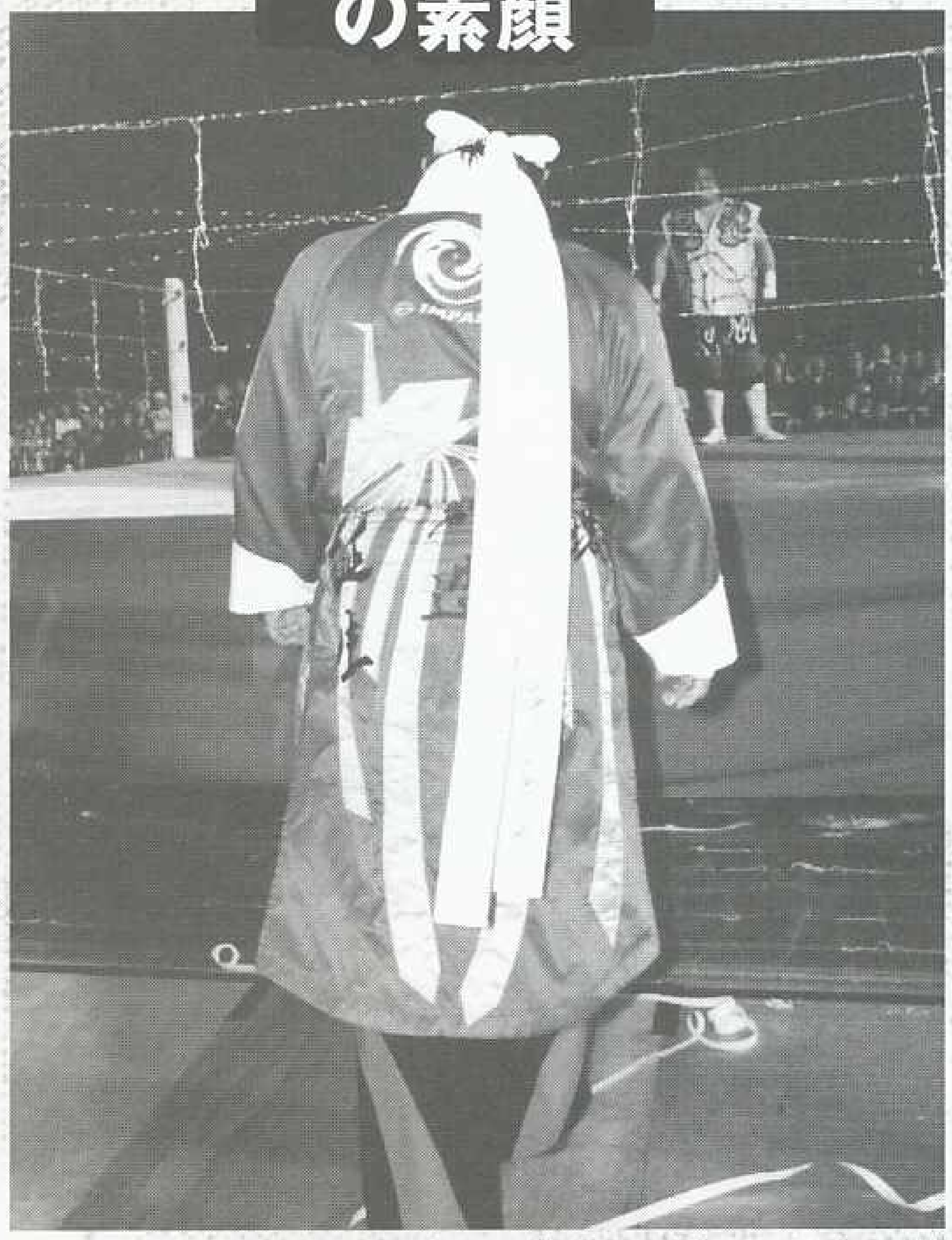
山笠　いやいやいや（苦笑）。あと、縛り方の強さもあるんですよ。何でも緩くやると怒るんですよ。

――ちょっと痛いぐらいの方がいいわけですね。

山笠　で、1回、ナミが初めて付き人に付かされたときに、シャワー浴びるとき背中流さないといけないんですけど、そのときにナミが背中洗う……コイツ、そういうのまったくやったことないから、撫でるようにやったんですよ。そしたら、いきなり後ろを振り向いて「優しくするなーーーッ！」って（笑）。

破壊王 橋本真也さんの素顔





破壊王のトレードマークと言えば、ロングガウンに純白のハチマキ。破壊王はハチマキの結び方一つとっても、かなりのこだわりがあったのだという。一番結び方が上手かったのが藤田和之というのも以外と言えば以外。

――ガハハハハ！

山笠　ムチャクチャ怒られてましたね（笑）。ナミはよかれと思って撫でるようにやったんですよ、車にワックスをかけるように。そしたら激怒されて。でもあんまりコイツが怒られると、僕も連動して怒られるんで、余計なことやってくれるなと思うんですけど。

沖田　でも耕平が怒られてるの見たことないね。

山笠　いや、怒られたことないって言ってましたね。

一同　へえ～っ！

古武　ホント要領がいいんですよ。怒るかなってときにパーっていなくなったり（笑）。

崔　怒るかなと思ったら近づいてくるのが浪口で（笑）。

浪口　（不服そうに）そうなんですよ。だいたい代わりに僕らが怒られるんですよ。

――僕らというと？

浪口　この3人です。

――浪口さんが原因のことが多いんですか？

浪口　自分が怒られるときは僕が原因なんですけど。

山笠　僕は僕が原因じゃないのに怒られることがよくあって（笑）。

崔　僕は普通にしばかれてましたからね、ホント。

沖田　ホントひどかったよね。領二のことは目のカタキだったよね。

――そうだったんですか（笑）。まあ、殴りやすい人とかいるって言いますからね。

崔　しょっちゅう、顔こんな腫らしてましたよ。

――顔面が腫れるようなプロレスをしてたわけですね（笑）。

山笠　亡くなったときに崔さんと話してたんですけど、ホントにZERO-ONEの連中で本気でしばかれたのってこの3人だけなんですよ、たぶん。

崔　ホントそうですね。

浪口　それは僕もそう思いましたね。

沖田　そう。だからね、可哀想なんだけど、（佐々木）義人とかにはなんか遠慮してたから。

浪口　いつも本気でやられましたよ、僕は。

古武　やっぱり外様には優しかったりとかあるんじゃないですか？

――あぁ、それはあったのかもしれませんね。

古武　この3人は生え抜きですからね、一応。

――そうですよね。耕平さんは旗上げ前に修斗とか上がってましたからね。

沖田　それは絶対あったと思うよ。愛のムチってことだろうね。

山笠　（唐突に）でも、破壊王ってホントにいい人でしたね。

一同　ガハハハハ！

沖田　何だよ、取って付けたように（笑）。

――じゃあ最後は「3、2、1、ゼロ、ワ～ン！」で締めますか。

古武　あれ、ホントは嫌がってたんですよね、橋本さん。最初の頃は恥ずかしがってましたから。

――トルネードハッスルやるときには「恥ずかしがらずにやるぞーッ！」って言ってたのに（笑）。

古武　たぶん、それは自分に言い聞かせてたんだと思いますよ。

沖田　そういえば、「オー！ エイチ！ ホーッ！」とかもやってたよね。なんか、懐かしいなぁ……（しみじみと）。

――じゃあ、最後に、二段締めで行きましょう！

沖田　行くぞーッ！

一同　3、2、1、ゼロ、ワ～ン！

沖田　もう一つ、おまけに！

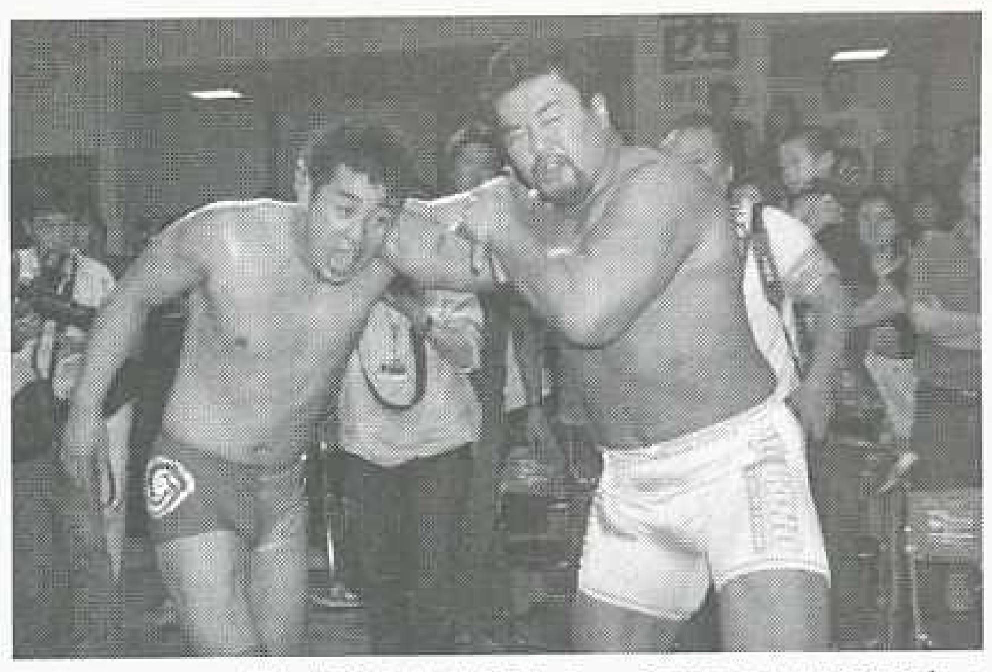
一同　オー、エイチ、ホーーッ!!

――ありがとうございました！

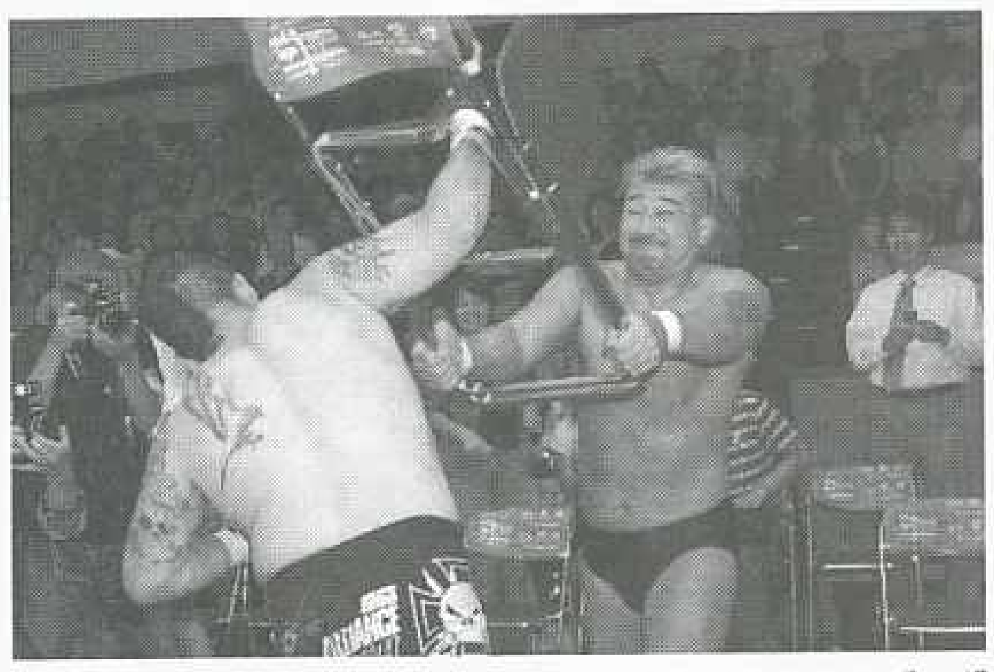
【8・8／旧ゼロワン事務所近くの破壊王も通った「レストラン オールージュ」にて収録】

ZERO-ONEの連中で本気でしばかれたのって、僕ら3人だけなんですよ

8・7 ZERO1-MAX後楽園ホール



5年目にして『火祭り』初出場となったZERO1-MAXのウォン・ビンこと崔領二。ニラミ合い、真っ向勝負をしかける崔に対して、健介も思いっきり逆水平&ラリアットを叩き込んだ。「勝てなかったけど、生まれてきて最高の5日間でした（崔）」



「ブッ殺す」と宣言した横井に対して、大森はまさかのゴング前奇襲。大森のイス攻撃を拳で打ち抜いた横井、最後はアックスボンバーをワキ固めに切り返し、スピニングチョークで勝利！ 横井が4月『奉納プロレス』での借りを返した。



巨体と借金王キャラクターでヒールっぷりを表情からもにじませる安田忠夫。独特な存在感を見せつけた池田大輔と、第1試合でぶつかり合った。リングアウト勝ちを果たした池田は「気に入りました」と、安田へ『バチバチ』への参戦をオファー



エリート・中嶋勝彦と、雑草&橋本真也最後の弟子・浪口修がセミファイナル6人タッグで激突。浪口がドリームキャッチャーで丸め込むもカットされ、最後は中嶋くんのハイキックからジャーマンを喰らって沈んだ。「勝つまでやりますよ!!（浪口）」



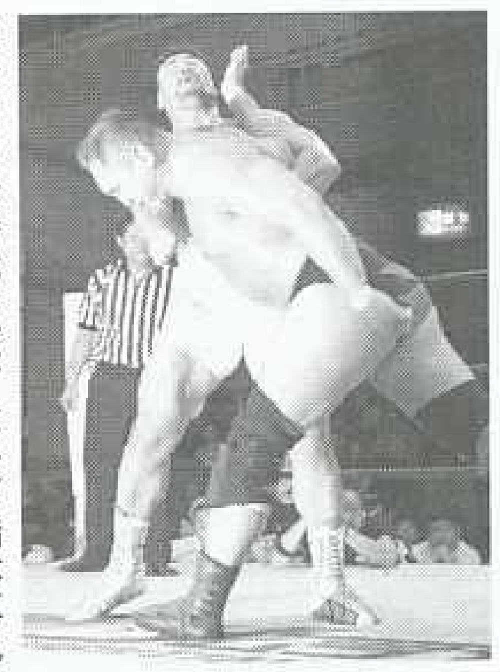
『火祭り』参戦選手全員が集合も安田忠夫は不在。健介、崔領二らの充実した表情が印象的だ。優勝賞金500万円、バルチックカレー1店舗、そして火祭り刀が大谷に授与された

〝チチジロー〟&敗れた健介もニッコリ！

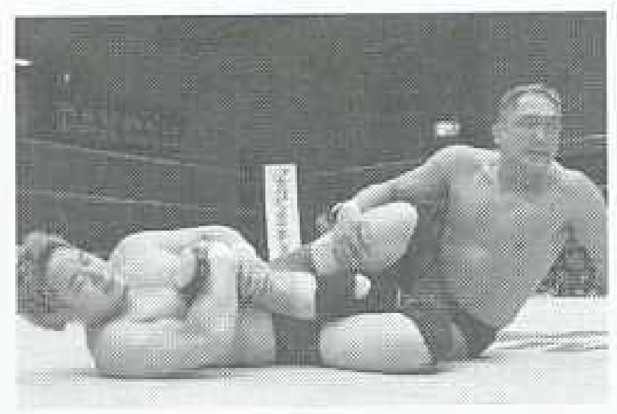
大谷なくして火祭りなし!!



「シメっぽくなるから名前は出したくないが、最後に1回出させてください。橋本さん！ ゼロワンは俺らに任せておけ！」と叫んだ大谷。最後は「うぅ～、マックス！」でシメた



健介との決勝戦中盤、大谷が橋本真也ばりの袈裟切りチョップを披露!! 「今日だけは許してくださいい。橋本真也の最大のライバルだった佐々木健介に、どうしても打ちたかった（大谷）」



リーグ戦で大谷は昨年度優勝者の佐藤耕平と激突。耕平のヒザ攻めに苦しまされたが「俺じゃなきゃダメなんだよ!!」と絶叫、キングコブラホールドで決勝進出をきめた

大谷晋二郎の優勝で幕を閉じた今年の『火祭り』。最終戦となった8月7日後楽園は大会のテンポも、試合の流れも、毎年ながら『火祭り』リーグ戦以外の試合も、圧倒的に素晴らしい内容だった。

面白い組み合わせの揃ったリーグ戦4試合。どれも良かったが、横井と大森の試合は、試合のシチュエーションといい、両者の因縁といい、フィニッシュといい完璧だったと思う。決勝戦は佐々木健介と大谷晋二郎という、これ以上ない組み合わせだった。3度目の師弟対決、そして大谷がこの舞台で勝って『火祭り』を制するという、熱く美しい展開に会場のテンションもうなぎのぼり。決勝戦で飛び出した袈裟斬りチョップにも泣けたが、個人的にはスワンダイブ式ミサイルキックに泣いた。ヒザを痛めた大谷が、ここしばらく封印していた（？）大技。大谷ファンなら誰もが見たかったはずの必殺技だ。『火祭り』リーグ戦でヒザを痛めつけられまくった大谷が、それでも出したスワンダイブ。大谷が「勝つためにすべての技を出した。全力で闘った」ということを裏付ける、これほどの事実はなかったと思う。敗れた健介だったが「お疲れでした！ いやぁ、負けたんだけどさ」と、いつも以上にさわやかな笑顔。会場を訪れていた〝チチジロー〟こと、大谷パパも笑顔だったに違いない。

逆境が続き〝いつ何時でも火祭り&火の車〟状態のZERO1-MAXと大谷晋二郎。ZERO-ONEの創始者・橋本真也の逝去という、重い事実を抱えてスタートした『火祭り』は、四季を問わず熱い男・大谷晋二郎の優勝という、ZERO1-MAXファンにとって最高のハッピーエンドを迎えた。この日リング上から発表された「プロレスの教科書」は、「負けてたまるか!!」という、大谷晋二郎らしさ溢れるもの。逆境に立ち向かう姿はとても大谷らしいのだが、もうひとつ大谷らしいのが明るく笑っている姿だ。ここしばらく、笑顔とは縁遠い出来事ばかりが続いた。この優勝をきっかけに、出来ることなら笑っている大谷の姿をしばらく見ていたい。

（ささきぃ）

島田裕二レフリーも愛用！タレントの宮内美穂も絶賛！「髪一源（カミイチゲン）」の

髪技（カミワザ）



島田裕二プロフィール：1992年藤原組マイアミ大会にてレフェリーデビュー。現在PRIDEチーフレフェリー。テレビ東京「一撃入魂」、ラジオ日本「格闘頂点」パーソナリティー現在出演中。

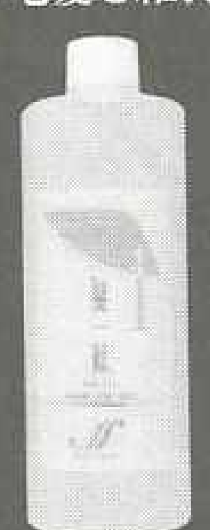
宮内美穂プロフィール：NHK「土曜スタジオパーク」、テレビ東京「一撃入魂」・「ビジネス維新」、ラジオ日本「お笑い！ネタとこ勝負ハイパー」メインパーソナリティー現在出演中。

石井正能プロフィール：株式会社 鈴正代表取締役社長。1936年・兵庫県出身、1967年・美容業界に入る、1988年・株式会社 鈴正設立、2005年・現在に至る。

新発想 1,2&NC3μのステップ育毛が髪に効く！

頭皮を清潔に保つことが、健康な頭皮・毛髪を維持するのに大切なことです。

STEP 1



髪一源-1
ヘアー&スキャルプローション
NET 400ml

STEP 2



髪一源-2
ヘアー&スキャルプトリートメント
NET 200ml

フケ・カユミを抑え、不足しがちな水分を補い、頭皮、毛髪をすこやかにします。

このSPG-NC3μスプレーは2μのSTEP-1の成分を噴射して頭皮の奥深く入り、頭皮を柔らかく皮脂を包んで流し出します。
【特許 第1518989号】



for 1&2
SPG NC3μ
ナノクラスター水
SPRAY
ナノクラスタースプレー



髪でお悩みの方は是非…

いまなら間に合う！4ヶ月挑戦で解決します。

今まであきらめていた方、ぜひお試しください。

男女兼用・細い毛・抜ける毛・薄い毛・簡単に解決します。

100%これであなたも変わります。

髪にコシがなくなった
頭皮が脂っぽい
スプレーするだけで
解決！



2004年7月15日撮影　2004年10月14日撮影

「髪一源（カミイチゲン）」3本セット
●髪一源-1 ●髪一源-2 ●NC3μ

セット価格 **19,650円**（税込）

※2回目以降は単品でもお求め頂けます。詳しくは直接お問い合わせください。

「髪一源」のご注文はお電話・FAX・携帯・インターネットで今スグ

0120-800-417（ヤーヨイナ）
☎092-952-7880
FAX.092-952-7886
インターネット http://www.suzumasa.net
Eメール info@suzumasa.net

受付 9:00〜17:30（日祝は休み）

FAXは年中無休24時間受付

ハガキとFAXの必要事項

50円切手
〒811-1211
福岡県筑紫郡那珂川町今光4の165
株式会社 鈴正
紙のプロレス係

①商品名
②数量
③〒住所
④電話番号
⑤お名前（フリガナ）
⑥生年月日

【商品のお届けについて】●お支払い方法：商品到着時の代金引換のみです（送料は無料）。●商品のお届け：1週間前後となります。●返品：未使用に限り商品到着後8日以内に返品ください（返送料はお客様負担となります）。

SUZUMASA 株式会社 鈴正
〒811-121 福岡県筑紫郡那珂川町今光 4-165

再びプロレス革命へ!!
なんと『ハッスルの』GM就任に名乗り!

いつ何時どんな意見でも受け入れるが――

「ハゲと言ったら許さんぞ!!」



新日本から“追放”された前・社長が
さらにハゲしくその真相を語った!

草間政一【後編】

聞き手／ジャン斉藤　designed by shiraki (TwoThree)

島田裕二レフリーも愛用！「髪一源（カミイチゲン）」の

前編では、前・新日本プロレス社長という立場から、新日本プロレスの現状をあかしてくれた草間政一氏。とはいっても、後半はイズマイウや永久電機の話題ばかりで話が脱線気味になってしまったので、後編ではあらためて新日本を“追放”された原因や、草間氏のプロレス改革論をハゲしく語ってくれた!!

——今回の社長退任劇については、あの猪木さんのことだから、草間さんには「こうなることはわかっていたはずだ」という声があるんですよ。ボクも草間さんの辞任の報を聞いて瞬間的に思ったのは「猪木さんだからしょうがないな」だったですし（笑）。

草間　だから俺が悪いって？（苦笑）。こうなることなんてわかりゃしないし、猪木さんが俺に近づいてきたんだよ。

——俺はまったく近づいてないと（笑）。

草間　まぁ、猪木さんだって俺に悪いことをしようと思って近づいてきたわけじゃないし、前にも言ったけど、まさか猪木さんがそんなに権限を持っていると思わなかったからね。新日本に関しては、猪木さんの一存で何でもできるわけないんですよ。猪木さんが株式を持っているといっても、ある人から資金を借りているだけで、オーナーというわけじゃないし。坂口（征二、新日本相談役）さんも藤波（辰彌、新日本役員）さんにも言ったけど、実質上の新日本のオーナーというのは俺たちなんですよと。会社の保証人になって、リスクを背負って投資しているわけですから。それなのに猪木さんがいろいろと口を挟むなんてのは常識的に有り得ないんですよ。ちゃんと利益を出して、内部の改善もできたのに追い出されるのは、普通に考えたら理屈に合わない。それを「猪木さんだからしょうがない」っていうのはねぇ……。

——すいません（笑）。とにかく草間さんは「猪木なら何をやっても許されるのか？」と、前田日明ばりに叫びたいわけですね。

草間　そうですよ！　私だって生活があるし、いきなり「やめてくれ」はないでしょうという話ですよ。それに対して「猪木さんについていった私が悪い」というのは、この業界にずっといて状況がわかっていたんならともかく、私が猪木さんのことを以前から知っていたというわけではないから。私はひとりの経営コンサルタントとして職務をまっとうしようとしただけだよ。

——プロレスラー・アントニオ猪木は知っていたけど、人間・猪木寛至はよくわからなかったということでもあるわけですね。

草間　だからビックリすることが多々あったよね。たとえば、猪木さんは第三者の言うことをすぐ信用してしまう。だから寄ってくる人が多いんだよ、利用しようと思ってね。

——猪木さんに怪しい話を持ってくる人は多そうですよね。

草間　猪木さんはなぜかわからないけど新しいもの好きなのか、すぐ外の人間の意見を聞いてしまって、親身になっている親しい人を排除してしまうんだよね。

——新日本の歴史はいつだってその繰り返しですよね。

草間　そんな勝手な人事をね、普通の会社ならできるわけないでしょ、常識的に考えたら。

——その常識を突破する猪木イズムがおもしろいんですけど（笑）。

草間　そんなね、こっちの身にもなってほしいなあ。

——いや、それは重々承知しているんですが（笑）。



草間　だってね、目標とすべきことは会社の利益をあげることで会社は個人の持ち物じゃないから。たとえば、100%の株を持っているんなら、個人的な意志が反映されても仕方ないとは思うんだけど。やっぱりテレビ放映もやっていたり社会性や公共性があるわけじゃないですか。選手や社員には家族もいるし、古い体質でやっていたらマズイですよ、このままじゃ。個人商店として自分の思い通りにするんじゃなくて、結果的に会社が良くなれば、それは猪木さんにとってもいいことなのに……。

——ちなみに、新日本の利益を猪木さんがストレートに受け取ることは難しいんですよね？

草間　それは難しいですよ。それは猪木さんのところにお金を流す理由がないからだけど。法律的にあるとすれば、株主の配当だけなんだよね。

——あとは大会ゲストのギャラとか？

草間　それは払ってますよね。あと新日本の顧問料も払っているし、新日本だってルールがあるわけですよ。貸付金に関しては、取締役会の承認を得ることって、その規定がある以上、簡単に貸せないんですよ。新日本は金融業じゃないし、お金が余っているというんなら別ですけど。やっぱりいまの新日本にそんなにお金はないからさ。

——永久電機に簡単に投資ができるわけがないと（笑）。

草間　それを断ったことに猪木さんが怒っていたとすれば、ムチャクチャですよ（笑）。ホントさ、八百屋の親父がザルに入ったお金をもっていくかんじだよね。

——ちょっくら行ってくるわ！　ってかんじで（笑）。

草間　そこは安田（忠夫）と一緒だよね（笑）。そこから考えられるのは猪木さんが新日本を“猪木商店”にしたかったんじゃないかと。要するに猪木さんは新日本にお金があると思っているんだよ。でも、社員からすれば、どんだけ切りつ

猪木さんは新日本にお金があると思っているんだろうけど……

めてやっているんだって話ですよ。
—そういった事情を猪木さんに進言できる人間はいないんですか？
草間　いや、みんな猪木さんの目の前にいくと一言も言えないんだよ。でもそれは言える・言えないの問題じゃなくて、新日本だってお金はないし、もし迂闊に猪木さんにお金を出したら経理上問題があるわけ。社会性の問題でもあるんだよ。
—金銭的な柱でいえば、テレビの放映権料がありますよね。改編時期になるとプロレス中継打ち切り話がよく出てきますが……。
草間　テレビ朝日の編成局はサッカー、ゴルフ、水泳には力を入れているんだけどねえ。
—テレビ朝日全体の視聴率は上向きだし、だからこそ『ワールドプロレスリング』は苦しい立場なんじゃないかとは思うんですけど。
草間　そうそう。視聴率の問題もありますし、あと今回の社長交代の件だってテレビ朝日は何も聞いてないんですよ。誰が社長になるか知らなかったと思うよ。
—テレ朝って新日本の大株主なんですよね。いいんですか、そんなぞんざいな扱いで（笑）。
草間　テレビ朝日は新日本の第二の株主ですよ。普通は取締役会で決めて、株主総会前に挨拶するもんなんですよ。だからこういう勝手なことをやる猪木さんに対して、テレビ朝日は良い感情は持ってないはずだよ。スポーツ局がなんとか頑張っているから、それでも関係は続いているんでしょうけど。
—とくにプロデューサーの松本さんは頑張っていますからね。
草間　どうなるんだろうねえ。私はテレビ朝日に毎月、決算書を報告していたけど、いまちゃんとそういうことをやっているのかなあ？
—心配でしょうがないと（笑）。これだけしゃべってもらっていまさらこんなことを聞くのもなんですが、草間さんは新日本のことをしゃべりすぎると功労金が出なくなるらしいですよね？
草間　いや、それは功労金じゃないですよ。給料のことなんだけど。任期が2年で、まだ1年残っているわけですよ。残った任期の給料をちゃんと払うのであれば、功労金は別にいらないですよという話になっていてね。支払うのは当たり前ですよね、任期が残っているんですから。
……でも、本当に支払ってくれるのかなあ。
—ワハハハハ！　いや、新日本だって無駄に揉めたくないから大丈夫でしょう！　おそらく（笑）。
草間　いま揉めたら、ホントにあの会社は潰れちゃうなって。俺は内情を知っているからさ、資金繰り的にも。社長辞任の件だって裁判になれば私が勝つことはわかっていたけど、そんなことになればテレビ朝日やファンも離れかねないでしょ？　だから揉めるのは得策じゃないと思ったのと、前にも言ったけど、猪木さんの知りあいの投資家が入閣するって聞いていたので、俺じゃなくても改革はできるなって思ったんだけどね。
—でも、6月開催だった株主総会〈注1〉を草間さんが5月開催にしようとしたことをいぶかしげに報道していた媒体もありますよね。草間さんが「社長の座にこだわったために早めた」と。
草間　……それ全然、違いますよ（苦笑）。な～んの関係もない。だいたい総会の開催を早めたのは、まず新日本の決算がすぐ終わっちゃったということがある。4月の12日には、もう決算の数字を記者会見で発表しているじゃないですか。それなのに何もしないで6月の総会を待っている理由は別にないんですよ。それと、銀行からの借り入れをしなくちゃいけない。そのためには銀行に申告書を提出しなくちゃいけない。その申告書は株主総会で承認を得てないと銀行に提出できないわけですよ。だから「株主総会を

ハゲと言ったら許さんぞ!!

早くやってください」と猪木さんに説明したわけなんだよ。
—会社運営の都合だったわけですね。
草間　だって早くやったからどうなるものでもないからね。だから私は猪木さんにはこう言ったんですよ。「もし社長をどうしても変えたいのなら、株主総会が終わったあとに臨時株主総会を開いてやってくださいよ」って。なぜかといったら、取締役会はとっくに終わっているんですよ。取締役会にはそんな議案が出てないから、早くやろうが遅くやろうが株主総会で私のことは議案にできないわけですよ。
—それは商法違反になるから、草間さんが裁判になれば勝てるとおっしゃっていたのは、そういうことだったんですね。
草間　まぁ、いろんな経験を積んだってことですよね、良くも悪くも。って、まだ終わってないんですけど。私はまだ銀行の責務保証をしたままですから。
—もしもいま新日本が倒産したら……？
草間　……それは困るねえ。というか、なんで私が困らないといけないの？（笑）。
—ワハハハ！　俺のためにも頑張れ、新日本！（笑）。
草間　もしそうなったら踏んだり蹴ったりですよ、もう。俺は戻るつもりはさらさらないけれど、ちゃんとやってくれよ！とは思いますよね。ちゃんとやればね、赤字を黒字にできるはずだし、マーケティング的にもなんとか成功できる気配はあるわけですよ。
—新日本にはよくなってほしい思いはあるわけですね。
草間　当たり前ですよ。一度は社長になった会社だからさ。
—で、新日本の改革の旗手って結局は志半ばで辞めてしまう運命にありますけど。たとえば執行役員だった上井（文彦、ビックマウス代表）〈注2〉さんが退社した件は、草間さんと衝突されたからとか。
草間　いや、それはまったく違う。要するに上井氏の話をすると、俺というより他の人間との関係があんまりよくなかったんだよ。すくなくとも俺と上井氏の間には何もないですよ。
—『週刊ファイト』〈注3〉によれば、草間さんが経費の使途を制限したことで上井さんとゴタゴタがあったという話ですけど。
草間　経費の問題はたしかにありましたけど、でも、それってイザコザでも何でもないでしょ。会社を運営していくうえで業務上の改善や、新規システムの導入、もしくは見直しなんかを図る際には意見を交わすわけだし、それをすぐいあげて仲が悪いと言われてもねえ……。
—会社って何なの？ってことですよね。では、上井さんと他の関係者が不仲だったのはどういう原因があったんですか？
草間　やっぱり上井氏に対する嫉妬もあったんじゃないの。上井氏は当時、マッチメイクや渉外担当で新日本の中枢を担っていたわけですよ。だから、上井氏に対する嫉妬の感情が周囲に渦巻いていて、そういうのを引きずってもしょうがないなと思って、上井氏には一言二言いったわけよ。で、そのあと詳しく話をしたわけじゃないから、上井氏の辞表を受理したことを俺の決断だと向こうは思ってるかもしれないけど、私が勝手に決めれることないじゃないから。役員会を開いて「受けましょう」ということでね。
—あと人事の件でもうひとつ。″カリスマ・リングアナ″の田中ケロちゃん〈注4〉を大阪支店に左遷した件なんですが。
草間　（即座に）左遷じゃないよ、あれ！
—違いますか（笑）。草間さんはケロちゃんを嫌ってたように見えたんですけど。
草間　俺は田中を嫌ってないよ。猪木さんは嫌っていたけど。
—たしかに猪木さんはおもいきり嫌っ

てるふうでしたね（笑）。

草間　イチから話をすれば、さ、俺としては、田中に大阪を任せたというわけなんだよ。大阪支店の長にして、むこうで頑張ってくれよってことで。そしてなぜ大阪に力を入れようとしたかと言えば、去年の収益ベスト10のうちに大阪府立体育館の興行が3つも入るんですよ。

——あ、そんなに！　**大阪ドームは大コケ**〈注5〉だったみたいですけど（笑）。

草間　あれはね～（笑）。でも、大阪はプロレスファンも多いし、新日本の支店をつくることで業績が伸ばせるんじゃないかと思ったんだよね。

——大阪にはケロちゃんが経営するスナック「ケロクラブ」もあるから、適任のような気がしますね（笑）。

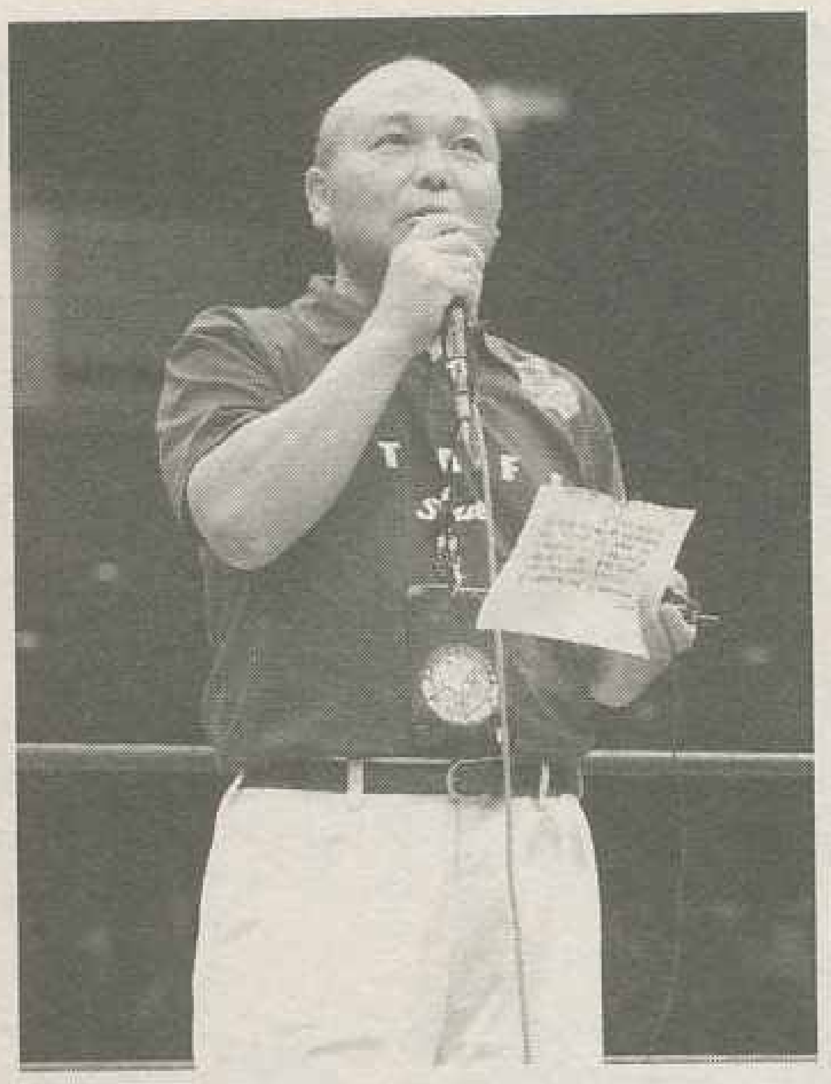
草間　そうそう。俺は彼がそういう飲み屋さんをやってると知っていたから、都合もいいのかなって思ったの。でも、よくよく聞いたら彼のお子さんは東京の学校に通っているからどうしても単身赴任になると聞いて、それは申しわけないなって思ったんだけど、彼は同意してくれたからね。支店長という職務で、大阪に限定するわけじゃなくて、西日本のエリアとしてやってくださいと。これは左遷どころか栄転だよ！

——本当に左遷されたサラリーマンが聞いたら怒りそうですね（笑）。辞めた選手のことでいえば、**柴田（勝頼）**〈注6〉さんの離脱問題は、草間さんもかなり頭を悩ませたんじゃないですか？

草間　あれはホントに困りましたねえ。彼は最初からやめるつもりみたいだったから、こっちが誠意を持って話そうとしても埒があかないわけだよ。そして柴田選手が「子どもだな……」と思ったのは、俺の話を聞いていないんだよ。俺が会社の方針を柴田選手の説明するじゃないですか。それに対して何も言ってくれないんだから。

——柴田さんが言うのは、草間さんが何も答えてくれなかったということですけど。柴田さんいわく「ビジョンを聞いているのに、あの人は経営方針しか言ってくれない」と。

草間　（絶句して）……だってビジョンといえば、将来的な展望のことでしょう。私は社長なんだから、新日本プロレスというプロレス団体の経営方針を示すのは当たり前じゃないですか。それをちゃんとしゃべったんだけどねえ、私は。だから、その場で思ったのは「あ、これはマスコミに踊らされているな」と。で、「あまりマスコミに踊らされないほうがいいよ」って言ったら、あとで記者に「踊らされているのはアッチだ」みたいなことを言っていたみたいだけど（笑）。



新日本プロレスの社長時代、たびたびマスコミに露出したことでマスコミや選手から「スタンドプレーが多い！」と批判を受けていた草間氏。その影響もあってファンから心の底から反感を買っていたが、アングルとして直接的にリングへ反映されることはなかった。

——草間さんからすると、柴田さんは新日本にぜひとも残ってほしい逸材だったんですか？

草間　俺としてはね、柴田選手の評価って高いんですよ。ケガで休場していたのに、将来的なことや昇給の率も含めて、**棚橋（弘至）**〈注7〉選手や**中邑（真輔）**〈注8〉選手と同じ評価をしていたんです。そんなの他の選手からすれば、羨むような評価なんだけど。

——〝プロレス不況〟で苦しい時期でもありますからね。柴田さんからすると、〝やりたいことやらせてくれない〟という思いが強かったみたいですけど。

草間　だって、自分のやりたいことを言わないんだもん。ちゃんと提示してくれれば、会社はサポートしますよ。でも、何をやりたいのか、わからなかった。

——いや、新聞や専門誌の報道された限りでは、柴田さんは「他のリングにあがりたい」と言っていたわけでしょう？

草間　ああ、それはたしかに言ってました。でも、それは新日本と契約することとは、まったく別の次元の話じゃない。だってまず新日本と契約するのなら、どうしても会社の都合を優先しないといけないわけだよ。そんなことは契約選手なら当たり前でしょ。

——会社を優先しながら他のリングに上がることはかまわないわけですか？

草間　そうそう。それで何をやるにしても、まずは会社の都合を優先してくださいと。ただ、会社の意向を無視するなら、こちらは契約はできないし、柴田選手の立場からすれば、フリーになるしかないんじゃないの。

——お互いが納得する折衷案は生まれなかったんですか？

草間　だから、最初からちゃんと交渉する気があったんですか？　ということだよね。あと一方的な上からの押しつけと報道したマスコミもいますけど、あのね、一部の社員が勝手な行動を取ったり、それを許していたら会社はどうなると思います？

——秩序は間違いなく乱れますよね。

草間　そこまでして引き留めれば内部の問題にまで発展してしまうから。坂口さんや藤波さんにしても、そこまでしてやる必要はないということで話は落ち着きましたね。

——あと柴田さんが草間さんにいちばん怒っていたのは「永田、中西ら第3世代は踏み台になってもらうから」という交渉の席での草間さんの発言なんですよ。柴田さんが記者に話して公になったわけですか（笑）。

草間　フフフ。

——何がおかしいんですか（笑）。

草間　怒ってたんだ？

——かなり怒ってました（笑）。それは草間さんが決められた方針なんですか？

草間　そう。もとをたどれば、スポンサーやファンはどのレスラーを望んでいるのか？　ということが発端になって、いろんな会場で「誰のファンですか？」「誰の試合を見たいですか？」「どんな試合を見たいですか？」ってアンケートを採ったわけだよ。で、後楽園の大会だとこういう結果、地方だとこういう結果が出て、いまのファンの好みがわかるわけですよ。

——結果としては中邑さんや柴田さんら若い世代が上位にランクしたと？

草間　そう。だから彼らをスターにしないといけない。彼らがいくら若いといってもさ、猪木さんが20代で何をやっていたのか？　という話ですよ。もっともっと上にあげないとダメなわけだよ。

——猪木さんは20代で新日本プロレスを旗揚げしていたわけですからね。

草間　それにいまの若いファンって飽きっぽいじゃない。いつまでも蝶野選手に頼るわけにはいかないし、若い選手を取り上げないのは時代を逆行しているだけなんだよ。柴田中邑棚橋で若年層を引っ張っていく。で、専門的なファンは邪道外道の試合で押さえると。試合だけで見たら、邪道外道がいちばんおもしろいからね。

柴田選手たちをスターにするために永田選手を踏み台しようとした

——で、永田さんには中邑選手たちの踏み台になってもらうと(笑)。

草間　それで永田選手みたいに「踏み台Tシャツ」をつくったりして、それはそれでプロレスラーらしい返しだなって思うんですよ。それがきっかけで世代闘争にも一時はなったじゃない。棚橋選手と永田選手が激しい試合をやったし。

——草間さんの言い分はよくわかるんですが、草間さんがそうやってレスラーの役割付けをするのは、おそらく「素人の分際で!」という縄張り意識から強い反発を生むと思うんです。

草間　たしかにそうかもしれないですけど、俺から言わせれば、ほとんどの選手がプロレスという社会の現状を知らないですよね。だっていまは学生プロレスだって、身体がしっかりできているでしょ。強さという魅力は格闘技が持っていってしまった。じゃあ、プロレスは何をするの?ってことで、バラエティにキャラクターを豊かにして売っていかないと限界があるよ。たとえば、ホントは強くなくても強く魅せるとか、強いんだけど弱くみせるという問題でもあると思うんですよ。単純に強さだ喧嘩だストロングスタイルだって主張したいなら、いまは『PRIDE』やK—1に出ればいいわけですから。



7月15日『ハッスル11』大阪大会を千葉県在住の草間氏がなぜか観戦。オープニングで「モンスター娘。」に導かれてリングインした。試合後、草間氏は「あんなに大勢のスタッフがいて経費は大丈夫か?と思ってしまう」と財政面にも言及。コストカッターの大鉈を『ハッスル』でも振るうか?

——プロレスラーとしての魅せ方も問われてくると考えるわけですね。

草間　リングに上がったことがない人間はプロレスを知らないという論理や、リングで闘うことだけがプロレスだと思っているなら、それは極端な言い方をすればプロレスの可能性を摘む思考だとも思うね。プロレスというのは、『ハッスル』もそうだと思うんだけど、フロントも含めていろいろつくっていくもんじゃないですか。『東スポ』〈注9〉だって勝った負けたのニュースよりは、スキャンダラスな記事をおもしろおかしく取り上げているわけですよ。

——いまの話を聞いて思ったのは、現場とフロントのコンビネーションのことなんです。草間さんはフロントとしてちゃんと考えているし、現場のレスラーにもそれぞれ言い分がある。でも、うまく噛み合ってないから、柴田さんみたいな離脱者が生まれるわけですよね。

草間　それで現場の声とビジネスとリンクさせるためにも、最後のほうは蝶野(正洋)選手と一緒によく話をしましたよ。蝶野選手から「現場の声を吸い上げてくれ」とか言われたりして。で、俺からすると、現場のレスラーは会社を知らなさすぎるというところはたしかにあった。だから一度、地方シリーズの営業をやればすぐわかるんですよ。

——そうすれば、会社のいまの状態が把握できるわけですね。

草間　プロレスラーには、自分たちが商品で、自分たちがスポットライトを浴びて、自分たちが喰わせてると思いこんでるところがある。それは自負の意識にも繋がって良いところでもあるけどさ、じゃあどんだけ会社を回すのが大変なのかを知っているのか?　ってことなんだよ。蝶野選手が会議に出たときなんて、私は日本地図を各地区のブロックごとに分けて、この地域の1年目、2年目の売り上げを書きこんで教えたわけ。「これで警備費、交通費、会場費、宿泊費を払って、利益があがると思いますか?」って聞いたら、蝶野選手は「……いやあ、後楽園で毎回やっていたほうがいいですね」って。後楽園でやれば旅費も宿泊費もかからないし、会場費も安い。それにファンも確実に来る。月に1回じゃもったいないでしょうと。だったら後楽園7連戦やって、三日間赤字でも4日黒字なら収益は出るわけですよ。そういう話をしたことで、わかりあえた選手や社員もいるわけ。まぁ、私が会場にいくとグスグズ文句を言う人間はいたんだけど(笑)。

ハゲと言ったら許さんぞ!!

——社長なのに会場でも居心地は悪かったんですか(笑)。

草間　要するにオマエがくるんだったら、道場で留守番している他の選手を連れてこいと。でも私が来ないなら来ないで文句を言うわけですよ(笑)。

——「社長のくせに会場に来ないなんて」



『ハッスル11』大阪大会開始前、バックステージで勃発した毎度馬鹿馬鹿しい『ハッスル』騒動。モンスター軍の島田二等兵がモミ手をしながら現れて草間氏をモンスター軍に勧誘。しかし、中村カントクが「いにしえの団体の元社長に失礼なことをするな!!」と一喝。

島田裕二レフリーも愛用！「髪一流（カミイチゲン）」の

笹原さんの仕事ぶり？こじんまりし過ぎてダメなんじゃない



『ハッスル』GMの座を巡って現在バトル展開中の笹原GMと草間氏。騒動スタート前の7月31日茨城県大洗サンビーチで行われた「第1回全日本ビーチレスリング選手権」では談笑する姿も見られていた。郵政解散・分裂選挙で揺れるその裏で、世間の体勢に何ら影響を与えない醜い覇権争いの決着はどうなるか？

とか（笑）。それは草間さんが観戦中に居眠りしていたことも影響してないですか？

草間　いや、居眠りじゃないですよ！　アクビなんですよ、あれ。

――あ、訂正します（笑）。え～、アクビをするほど試合がつまらなかったと？

草間　ええ（あっさりと）。

――じゃあ、しょうがないですね（笑）。

草間　う～ん、つまらなくはなかったんだけど、つまらなかったんだ（笑）。それを見た山本小鉄が「社長、アクビはマズイですよ」って言ってきたり、あといろんなことから電話があったりしてよく俺のことをみてるんだなって。試合より俺の行動がよっぽど面白いのかって（笑）。

――良くも悪くも注目されていたってことですね（笑）。

草間　でもね、私は決して不真面目にやっていたわけじゃないよ。道場に行って小林（邦昭）さんと飯を食いながらいろいろ教えてもらったりさ。あと会社で俺だけですよ、毎日オフィシャルHPのBBSで書き込んだりしていたのは。

――あ、社長自ら書き込みをしてた（笑）。

草間　書いてましたよ!!（胸を張って）。5月31日、つまり社長最後の日だって「今後も新日本プロレスをよろしくお願いします」ってメッセージを送ったしね。ファンの新日本の方針に対する疑問の書き込みにも、これこれこういう理由なんですよって返答したりしてたんだよ。

――当時の草間さんを取り巻く環境だったら、「そんなことをする暇あるなら仕事をしろ！」とか言われそうですけど。

草間　だからそのために他の社員より1時間半ぐらい早く出社していたわけだよ。まずスポーツ新聞のプロレス欄をチェックして、オフィシャルサイトのBBSの書き込みを読んで書き込んだりして、あとはインターネットのプロレス格闘技関連サイトを一通りチェックしてね。

――サイトの巡回までしてましたか（笑）。

草間　いっくらストロングスタイルだっ

〈注1〉『株主総会』
新日本プロレスは毎年6月に開催。この時期が近づくとキナ臭い噂が流れ初め、物騒な発言がボンボン飛び交うアントン成田空港会見がマスコミから俄然注目されるが、アントンがアクセル全開過ぎて全文掲載されたことはあまりない。

〈注2〉『上井文彦』
現ビックマウス代表。新日本時代は敏腕営業マンと知られ、渉外担当としてもジョシュ・バーネットの獲得、アルティメット・クラッシュの導入、K―1やパンクラスの交流を図るなど、いわゆるプロ格路線を強く推し進めたが昨年電撃退社。

〈注3〉『週刊ファイト』
大阪発のプロレス週刊紙。井上義啓氏が名物編集長として一時代を築き、ターザン山本！を輩出した〝活字プロレス〟の本家本元。最近は、独自の視点でブッタ斬るWWE特集や、「なぜわざわざそんな投稿を？」と目を疑ってしまう読者の質問に編集部が真摯に答える「Q＆A」コーナーがマニアの注目を集めている。現在の編集長はフランク井上氏。

〈注4〉『田中ケロちゃん』
田中秀和。ケロがあだ名の新日本プロレスのリングアナ。宝塚歌劇ばりの派手な衣装に身を包み、「K―1」、『PRIDE』、Jリーグ、プロ野球～！　よ～く見てろ、これがプロレスだぁ！」といった具合の大仰な前口上が売り。高田モンスター軍のタナカ☆ゲロとは別人。

〈注5〉『大阪ドームは大コケ』
04年11月13日、新日本プロレス『闘魂祭り』。あまりの前売り不振に窮したアントンが小川直也に出陣要請したが、出場決定が大会数日前だったこともあり客足は伸びず……。あげくせっかくハッスル軍＆モンスター軍が乗り込んだのに、なぜか新日本陣営に迷惑がられてバカ騒動勃発。

〈注6〉『柴田勝頼』
現ビックマウス所属。新日本プロレスでは将来を嘱望されたが、理想のプロレスを追い求めるため退団。各媒体に〝上井プロデュース〟として、インタビュー・対談が次々に提供されたが、柴田本人の希望もあって本誌にはなんと『柴田勝頼×掟ポルシェ』対

ていったところで、ＴＶが取り上げるわけじゃないし記事にもならない。とくにジュニアの試合はＴＶでなかなか流れないでしょ、邪道外道がどんなにおもしろい試合をしても。だからマスコミが注目する話題作りをするために、いろいろファンの意見を探ったり、マスコミの動向を気にしたりしていたんだよ。

――草間さんは、その話題づくりの一環として、ＩＷＧＰ実行委員会も組織されたわけですか？

草間　そうそう。ひとつはプロレスに注目度がなくて、ＩＷＧＰのベルトに重みがなくなってきていると。そこで、たとえば、政治家や芸能人たちを集めて実行委員にすれば注目を集められるんじゃないかと思ってね。いろいろ俺が奔走して、政治家の古賀（誠）先生とか、力道山の奥さん。あと石原都知事にも声を掛けたんですよ。

――石原都知事にもオファー！　反応はどうでした？

草間　「今回は申し訳ないけど……」って書類を通して断わられたけど。あと歌手の鈴木雅之、福山雅治、桑田佳祐とかにも。

――それは素晴らしいラインアップですねえ。みんなプロレスファンだし（笑）。

草間　福山雅治本人はやる気になってくれたんだけど、どうにも多忙みたいで。あとは……お笑いの有田。

――まさか、くりいむしちゅーの有田さんですか？

草間　そうそう。その有田さん。

――ワハハハ！　ぜひ「アントニオ・イノキ」〈注10〉として列席してもらいたいですね、それは（笑）。

草間　話題になると思ったんだけどねえ……。

――それで草間さんは新日本をやめられたあとも、プロレスに関わっていくことをあきらかにされていましたが、全日本さんのほうで役員になるんじゃないかって噂もありましたよね。渕さんには「それはない」とバッサリ否定されちゃいましたけど。

草間　それは『東スポ』が派手に記事しただけだよ。俺はそんな気はなかったし、だって新日本を辞めてから1回も会ってないよ、武藤さんとは。

――それならどうして全日本の後楽園大会に姿を見せたわけですか？

草間　あれは単純に見に行っただけ。たまたまドームホテルで人と会っていたからさ。で、切符買って入ろうとしたら、青木（謙治、全日本取締役）〈注11〉さんに声を掛けられて。客席で見ていたから渕さんとも会ってないし、武藤さんにも会ってない。

――とくに深い理由があったわけじゃないと。あと『ハッスル』登場も噂になってますけど（この取材は『ハッスル11』大阪大会前に収録）、『ハッスル』にはどういう印象を持っているんですか？

草間　『ハッスル』？　正直、まだわからないですけどね。映像で見ただけで、実際に会場に足を運んで見たことはないし。中村（祥之）さんが言うには、ちゃんと中身までつくりこんでいて、「プロレスのようでプロレスじゃない」って言ってましたけど。たぶん若いスタッフがやっているということもあるんでしょうけど、まだまだ考えるところはあると思うんですよ。いまは小川直也、インリンというネームバリューでやっているところがありますけど、それだけじゃずっとやっていくのは厳しいところはあるからね。私としてもアドバイスできることはたくさんありますよ。

ハゲと言ったら許さんぞ!!

――いやあ、ぜひお願いします（笑）。

草間　もうちょっと踏み込んだ部分が表現できればいいと思うよ。プロレスラーってどっちかというと口ベタじゃないですか。だから選手以外の人たちが補足するのは仕方がないと思うんですよ。

――要は俺が補足してやる！　という気持ちがあるわけですか？

草間　ありますね。だいたいプロレスラーでペラペラしゃべれる奴は、他のビジネスをやってますよ。中西選手なんかがいい例じゃないですか。

――でも、中西さんのしゃべりもあれはあれで貴重だと思います（笑）。

草間　そうかもしれないけどさ（笑）。そういう意味ではね、全体でつくっていくプロレスは、ひとつの手だなって思いますね。ガチンコだったら、『ＰＲＩＤＥ』とＫ―１にかなうわけないんですよね。そこでストロング・スタイルどうのこうのって説得力ありますか？　ってことだから。

――どうせだったら、草間さんが理想のプロレス団体を設立するってのはどうですか？

草間　ああ、投資するからプロレスをやってくださいという人はいますよ。

――やりましょう！　いますぐ（笑）。団体名は「草間プロレス」でいきましょう！

草間　まんまだね（笑）。団体名はともかくさ、プロレスラーはいっぱいいるわけですよ、有名か無名かはともかくね。それに技だって、第一試合とメインに差はない。インディーとメジャーだってそんなに差がないわけですよ。どこで差を付けるかと言えば、身体を大きくしたり、



「第１回全日本ビーチレスリング選手権」。エキシビジョンに出場するため付き人の石狩太一と共に登場した川田らと一緒に壇上に上がった草間氏。「ボクも高校時代にレスリングをかじってました！」と挨拶。『ハッスル』ではぜひ釣りパン姿で登場してもらいたいものだ。

談が持ちかけられた！　88号に収録。

〈注7〉『**棚橋弘至**』
新日本プロレスのエース候補。別れ話のもつれから交際相手の女性に背中を刺されたが、なんとケガを負ったまま道場に直行。整体の先生に善後策を相談したという剛の者。この調子で爽やか路線を吹き飛ばしてもらいたい。

〈注8〉『**中邑真輔**』
新日本プロレスのエース候補。『闘魂祭り』大阪ドームにおけるアントンのガチンコ鉄拳制裁に、バックステージで「満足ですか？ってかんじ」とマジギレした剛の者。この調子で普段からぶっ飛んでもらいたい。

〈注9〉『**東スポ**』
東京スポーツの略称。虚実入り交じった仰天見出し＆ぶっ飛んだ記事内容で読者を惹きつける〝大衆娯楽紙の王様〟。プロレス報道の独自さは数あるスポーツ紙のなかで圧倒的に『東スポ』に軍配が上がる。ゴジラ松井の知られざる性癖は『東スポ』のみで読めたりする。

〈注10〉『**アントニオイノキ**』
CX系列放映のバラエティ番組『リチャードホール』で有田哲平が扮する謎の闘魂司会者。ダークサイドに墜落以降のアントンを有田は見事に演じている。もうアントン独特の脈絡のなさ、人意地の悪さを滲み出しているのだ。

〈注11〉『**青木謙治**』
全日本プロレス取締役。元新日本プロレスの経理だったが武藤敬司の退団と合わせて新日本を離れた。アントンは「会社の心臓部を持って行かれた黙っているのか!!」と人材流失を激怒したが、全日本では「不発弾」として突然の暴発を恐れられた。血糖値の高さはアントン譲り。。

〈注12〉『**笹原GM**』
笹原圭一『ハッスル』ゼネラル・マネージャー。DSEの前身であるKRS時代から『PRIDE』運営に携わり、『ハッスル』では中立の対場と称しながら、モンスター軍寄りのイベント統括をする。つい先日、中村カントクから「GM不信任案」を提出されるなど、毎度馬鹿馬鹿しい騒動に巻き込まれている。

島田裕二レフリーも愛用！「髪一源（カミイチゲン）」の

IWGP実行委員会にくりぃむしちゅーの有田哲平を入れようとしたんです

ハゲと言ったら許さんぞ!!

ちゃんとお客に魅せることをできる選手がプロということですよ。私が団体をやるとすれば、そこを強化しますね。

——近い将来の「草間プロレス」を期待していますよ（笑）。今日は長々とありがとうございました!!

というわけで、2号に渡ってお送りした草間氏インタビュー。事実上の〝追放〟という仕打ちを受けながらも、今後もマット界への関与に前向きな姿勢をみせた草間氏は、このインタビューのあと、噂どおり7・15『ハッスル』大阪大会に姿を現して試合観戦。「会場でいちばんハッスルしている人」ということでオープニング・ハッスルをリング上でちゃっかり敢行！ そのまま図々しく本部席に居座り、キダ・タローと並んで観戦するという奇跡的な絵をつくった!! しかし、草間氏の狙いは、キダ・タローとのツーショットだけじゃないはずだ。いったい草間氏は何を目論んでいるのか？ 電話取材でその真意を探った。

——前回のインタビューで危惧されていた銀行保証問題は片づかれたんですか？

草間 いやあ、それがまだやってる最中なんだよ……。新日本が言うには「『週刊現代』でしゃべったことを謝ってくれ」「暴露本を出すんじゃないのか？」ってことなんですよ。

——なるほどなるほど……って、保証の件とはまったく関係な話ですね、それ（笑）。

草間 ねえ。私としてもね、ちゃんとやってくれないなら考えがありますよってことで。裁判なんかやる気がないのに、この体たらくじゃあねえ。

——本誌はなぜか新日本を取材できないので、草間さんサイドのお話しか聞けないわけですが、新日本は問題を処理できない理由があるんですかね？

草間 不思議でしょ？（笑）。普通だったら終わりにしたいと思うわけじゃないですか。給料の支払いもされていないし。

——あ、給料も未払い。

草間 ……よっぽどお金がないのかな（ポツリと）。

——ワハハハハ！ いや、草間さんの給料の額は、『週刊現代』にも数字が出てましたけど、決して支払えない金額じゃないでしょう。いったい新日本は誰が窓口になってるんですか？

草間 弁護士を通してやっているんだけど、それがよくわからないんですよ。

——新日本って窓口がひとつじゃないから全体の意思統一ができなくてトラブルが多いみたいですよね。

草間 サイモン（・ケリー猪木）があまり日本にいないでしょ？ だから何も決められないんじゃないかなあ。

——新日本も大変なんですねえ。

草間 そういえば、こないだ中西選手や永田選手とは会いましたよ。

——大洗のビーチレスリング大会のことですね。草間さんが壇上で笹原GMや川田さんたちとハッスルポーズをした（笑）。

草間 あの大会はレスリング協会の福田さんに誘われて、挨拶だけして帰ろうと思っていたら、川田（利明）選手がやってきて。それでいつの間にか壇上でハッスルしちゃったわけだけど（笑）。

——あと草間さんは『ハッスル』大阪大会でなぜかリングサイド観戦してて、オープニング・ハッスルもやってましたよね。『ハッスル』を間近でご覧になった感想はいかがでしたか？

草間 まあ、内輪のことを言えば、スタッフは入念にイベント準備しているなあと。新日本とかはさ、どっちかといえば、行き当たりばったりで進行してるかんじで、選手も裏のほうで軽くウォーミングアップする程度だけど、そういった意味で『ハッスル』は、念入りに念密にやってましたよね。

——インリン様はどうでしたか？

草間 けっこうかわいかったよね。

——もしかして草間さんのタイプだったりとか？（笑）

草間 タイプというか……かわいかったよ（笑）。

——そうですか（笑）。で、試合後、小川さんのほうから草間さんにアピールがありましたけど。

草間 アピールというか、まさか「ハゲ！」と言われるとは思ってなかったんだよねえ。

——草間さんは『東スポ』で「何を言っても構わないが、ハゲとだけは言うな！」って小川さんに忠告してましたけど、これは大山倍達イズム溢れる名言ですよ！

草間 そう？（笑）。『東スポ』の記者がカツラを持ってきて撮影させてくれって、そんな取材しにきやがってねえ。

——ワハハハハ！ さすがは『東スポ』ですね。

草間 あと『東スポ』に依頼されてね、『ハッスル』改革十箇条をつくっているんだよね。

——そんなことまで（笑）。元新日本の社長からすると、『ハッスル』の運営や、笹原GM〈注12〉の仕事ぶりはどう映るんですか？

草間 ダメなんじゃない（キッパリ）。

——ダメですか！（笑）。ちなみにどこがいけない？

草間 いやあ、どっちかいうと、笹原さんはこぢんまりし過ぎているよね。

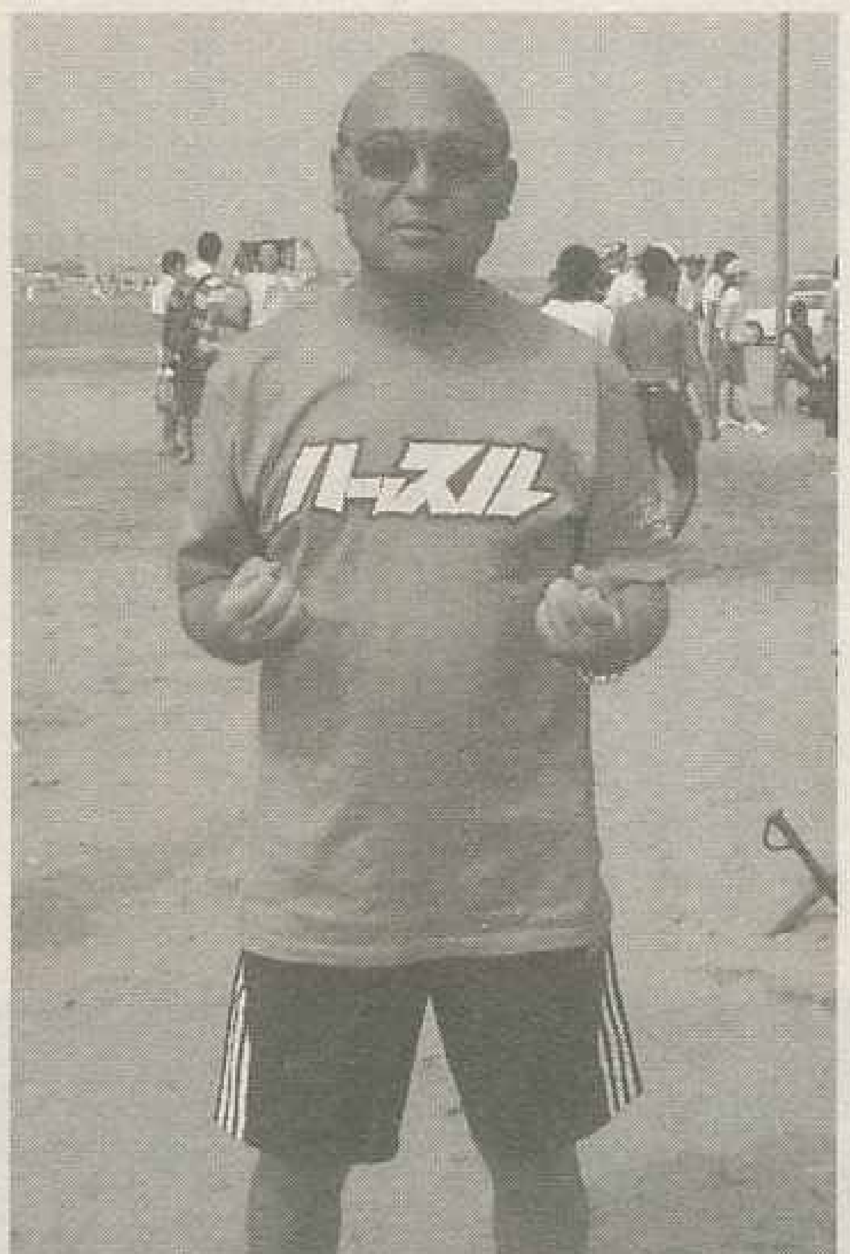
——GMは酒が入るとダイナマイッ！な行動に出るみたいですけど、草間さんのように大物感はないと？（笑）。

草間 そうそう。それにもっと工夫しないと飽きられちゃうね。「アイ・アム・GM！」もいいけどさ、次の展開を考えないと飽きられちゃう。もっと考えないと！

——お、乗ってきましたな。そこまでのGMのキャラを考えているのは全国で草間さんだけですよ！

草間 俺がGMになったらもっと『ハッスル』をおもしろくできるよ！ そして小川には公衆の面前で二度と「ハゲ」とだけは言わせないね（キッパリ）。

——レイザーラモンHG（ハードゲイ）じゃなくて、草間政一HG（ハゲ）なんて、とんでもないと（笑）。では、GM就任後の『ハッスル』大改革を期待しております！




【くさま・せいいち】1950年11月11日生まれ。高校時代はレスリングに熱中。(株)トリンプ・インターナショナル・ジャパンで財務・経理の業務に携わる。退職後、米企業のGM、CFOを歴任。04年5月よりアントニオ猪木から経営顧問の職を依頼され、同年6月に新日本プロレスの社長に就任。しかし1年後、アントンの強権発動により事実上の"解任"。

【クサマニア必読！】草間政一氏が社長回顧録「知りすぎた私」を出版！（税込み¥1500予定、東邦出版より8月下旬発売）。内容は新日本で手掛けた改革の詳しい経緯などを綴っている。読んで草間・前社長を知りすぎよう！



勝ち負けに
とらわれないで
いまできることを
情熱的に
表現していく。
それだけです

GENKI SUDO


NOW!

〝リアル・プロレスラー〟が〝トリックスター〟に火を付けた！

「ライバルは美濃輪育久」

須藤元気

9・7HERO'S登場

聞き手／ジャン斉藤　撮影／菊池茂夫　試合写真／乾晋也　design by さおとめの事務所

『HERO'S』ミドル級最強バトルに〝トリックスター〟がファン待望の参戦！　足の負傷によりトーナメント開幕戦を欠場した須藤元気が、宇野薫とともに主催者推薦枠で準決勝ラウンドにエントリー。開幕戦で巨大な熱を生み出した『HERO'S』は、元気の参戦でますますグッと締まる陣容になった。

もともと元気は、『HERO'S』を主催するFEGが推進していたMMA路線の中心人物であり〝主人公〟だった。K―1MMAの第一弾イベントである『ROMANEX』（昨年5月に開催）では、ホイラー・グレイシーに完勝。今年3月の『HERO'S』旗揚げ戦にも登場。つまり〝遅れてやってきた男〟ではないのだ。

そんな元気に今回のインタビューで『HERO'S』参戦の意気込みをタップリと聞くはずだったが、あいかわらず試合前とは思えない達観ぶり、客観性に満ちた構成作家的発言がぽんぽん飛び出す。そしてなぜか話題は、いま元気の感覚をいちばん刺激する〝あの男〟の魅力や、驚愕のお気に入りスポットのことに……。

――元気さんのリング登場は3月の『HERO'S』以来になりますけど、ひさしぶりの試合という感覚ってあるんですか？

元気　いや、とくにはないですね。ボクは去年3試合やりましたけど、今年も同じくらいペースなので、あまり離れている感覚はないんです。

――元気さんのことはCMや映画出演などの芸能活動で目にすることが多いから、ファンもひさしぶりという気はしないと思うんですけど。リングとは違ったスポットライトを浴びていることで、〝須藤元気〟というアーティストが磨かれていく感覚ってありますか？

元気　やはり、カメラに写るってことでは意識しているし、それなりに洗練していくと思うんですけど。やっぱりシビアですよ、格闘技のほうが。たしかに芸能も厳しい場所です

けど、リングには台本がないですからね。まぁ、台本のない楽しみもあるんですけど、メディアに露出しているからこそ勝ち続けないといけないと思うんで。それに格闘技とは違った面でメディアに出て試合に負けると、いろいろ周りから言われますからね。

――「ほら、みたことか！」みたいに（笑）。

元気 そういう準備をしている人がたくさんいますから（笑）。でもそんな状況が、ボクには良い意味でのプレッシャーになってますけどね。

――芸能活動が格闘技にもいい刺激を与えている、と。そういう意味では、周囲やファンの目線はかなり気になるものなんですか？

元気 いや、あまり他人は意識していません。人の価値観に自分をゆだねるというのは、自分の美学に反するし、単純に本職である格闘技で勝たないとカッコよくないと思ってますから。少なからず芸能のお仕事をしてますけど、どっちも中途半端にはできないわけですよね。

――で、元気さんは最近公開された映画「フライ，ダディ，フライ」にかなり重要な役で出演されたわけですけども。

元気 はい。メチャクチャ悪い役柄だったんですけどね。

――原作を読む限りその映画は、暴力のあり方というのもひとつのテーマだったと思うんですが。

元気 はい。そうですね。

――格闘技と暴力の違いというのは考えたりしませんでしたか？

元気 まぁ完全に別物ですよね。あくまでスポーツですからね、格闘技は。ルールもありますし、レフェリーもいます。全然〝なんでもあり〟じゃないですよ。

――須藤さんのなかでは、完全に区別されているということですね。

元気 一緒にして捉えている人っているんですかね？

――最近、『ＰＲＩＤＥ』の四点ポジション攻撃を指して、暴力的な表現だと唱える人はいるわけじゃないですか。「顔面踏み付けは危ない」とも。まぁ、格闘技はそもそも危険なスポーツなんですけど。

元気 たしかにテレビ関係者の人も「四点ポジションの攻撃はやめてほしい」とは言ってましたけど、レフェリーがきちんと対処すれば問題ないと思いますよ。

――レフェリングの問題でもある。

元気 そうです。逆に『ＨＥＲＯ，Ｓ』は、レフェリーが試合をストップするのが早すぎるんです。いずれにせよ、レフェリーがスキルを磨くことで解消できる問題だと思いますね。

――あらたまって聞くことではないかもしれないですが、四点ポジションの攻撃に対する恐怖ってあるんですか？

元気 怖さがあるという選手もいますけど、ボクは気にならないです。やはり、人間いつかは死にますから（キッパリ）。

――まぁ、そうなんですけど（笑）。で、先ほど、『ＨＥＲＯ，Ｓ』のお話がでましたが、元気さんはすでに前回の大会映像はご覧になっているんですね。

元気 （次の大会に）出ると決めてから、見ましたけど。

――大会の印象はどうでしたか？

元気 う〜〜ん……やっぱり美濃輪（育久）さんが良かったですね。

――そうそう、美濃輪さんがいちばん良かったですよねえ……って、美濃輪さんは『武士道』の選手ですよ（笑）。

元気 いや、いまのボクは、美濃輪選手に興味があるんですよ（キッパリ）。『武士道』や『ＨＥＲＯ，Ｓ』、Ｋ－１、『ＰＲＩＤＥ』のなかで、いまいちばん興味ある格闘家なんですよ、美濃輪さんは。だから今日の取材、美濃輪さんのことを言いたくてきたぐらいで（笑）。『紙プロ』なら、そういう話題でもいいかなって。

――まぁ問題はないといえば、ないんですけど（笑）。またどうして美濃輪さんのことが



格闘技とは違った面でメディアに出ているからこそ負けられない。良い意味でプレッシャーはあります

GENKI SUDO

気になりだしたんですか？
元気 ボクは格闘技雑誌も読まないし、興行もあまり見てないんですけど。最近スカパー！に加入して、たまたま『武士道』を見てみたんです。そしたら美濃輪さんの試合で……もうキましたね（笑）。
——直撃しましたか！（笑）。
元気 はい（笑）。入場もカッコイイじゃないですか。赤パンでビジュアル面でも本当に完成されていて、ボクには醸しだせないテイストなんで、あの味は。あれ、拳を突き上げるのなんて言うんでしたっけ？
——『スタンディング・リアル・フィスト・8回』ですね。
元気 8回？
——日本人だから、日本語を入れないとダメらしくて（笑）。
元気 はあ（笑）。
——8回という名称なのに10回やったりしてるんですけどね（笑）。
元気 ホント、美濃輪さんは、いま格闘家のなかでも超越した存在ですよね。どんな興行をみても、美濃輪さんの存在感を上回っている選手はいないですもん。
——他に比類なきファイターですよね。もうひとつのジャンルというか（笑）。
元気 まさしくオンリーワンですよ。
——でも、元気さんって美濃輪選手と前から接点がありますよね。なぜいまごろあの魅力に気付いたんですか？
元気 美濃輪さんと同じ大会に出たことあるし、練習や話をしたこともあるんで、仲は良いんですけど。あんな潜在能力を持っているとは思わなくて。むかしはカッコイイ路線だったと思うんですよね。パンクが好きで見栄えもカッコイイ。男前じゃないですか。いまは……何なんだろうって（笑）。
——ひとことでいうと……まぁあえて言わないですけど（笑）。メディアもそんな美濃輪さんの扱い方がわかってきてますよね。
元気 そこはフジテレビのディレクターの方のテクニックですよね。選手のおもしろがり方というのは、他の局とは温度差があると思います。
——美濃輪さん本人のキャラに1ミリ足りともブレがなくて、制作側もそのキャラを理解してイジって、観客もしっかりと受け入れている。本当に素晴らしい三角関係を築いてますよね。
元気 アーティストですよ、美濃輪さんは。入場、試合、そして退場までと、トータルで魅せることができるわけですから。
——〝表現者〟という意味では、いまのところのライバルは美濃輪さんになるんですか？
元気 そうですね。いままで「ライバルは？」とか聞かれても、あまり意識したことなかったんですけど。美濃輪さんに負けたくないです。……あ、そういえば、あの人、巨乳好きなんですよ（笑）。
——ワハハハハ！ ライバルは巨乳好きでしたか（笑）。
元気 前に飲み会をやったことがあったんですけど、そのとき熱く語ってたんですよねえ（しみじみと）。青木裕子が好きだったらしくて、もうとにかく大きくないと興味がないそうなんですよ。
——美濃輪さんは試合でも無差別級志向ですけどね（笑）。
元気 あんまり熱く語るもんですから、それから1年間は、胸が大きい女の人を見るたびに美濃輪さんのことを思い出しましたね。「……そういえば、美濃輪さん元気かなあ？」って自然にリンクするかんじですよ（笑）。
——う〜ん、それは中崎タツヤの漫画のように味わい深いものがありますね（笑）。

●

——で、そろそろ本題である『HERO'S』の方をおうかがいしたいんですが、ひとりの表現者として存在感をアピールすることは重要ですけど、トーナメントだと勝負論が問われてくるわけじゃないですか。そのへんはどう意識されていますか？



組み合わせ発表記者会見で元気は「所選手とは、いずれ手を合わせたいなという気持ちもあります。宇野さんとも総合でやったことないんで。あと『KIDさんとの試合が見たい』といろんな人から言われるんで、ぜひ決勝で」とコメント。いずれのカードが実現してもドリームマッチだ！

元気 やっぱり勝つことを優先しますよね。入場（のパフォーマンス）も考えてますけど、とにかく勝負にすべてをかけます。
——じつは、『HERO'S』に対して元気さんはあまり乗り気ではないんじゃないか？ってボクには見えていたんですけど。
元気 いや、違いますよ。出るからには優勝します。
——『HERO'S』に「出てやろう！」と決意したきっかけがあったんですか？
元気 それは最近、日本人と試合をしてなかったし、これからも格闘技を長くやっていくうえでも、トーナメントを経験しておこうというかんじです。あと、そろそろまたベルトを巻きたいなって。UFC-J以来の（笑）。
——リングスでヤマケン（山本喧一）さんから奪取したベルト。元気さんは今回、ヤマケンさんの弟子の所（英男）選手と対戦するのかなって思ってたんですけどね。所選手も元気さんとの対戦を希望してましたし。
元気 ああ、ボクも所選手とやるのかなって思ったんですけどね。
——その所選手の活躍などで『HERO'S』の評判の高いわけですが、その熱に突き動かされての出場というところはないんですか？
元気 評判いいんですか、こないだの『HERO'S』？
——評判は高いですね。
元気 そうなんですか。まあ、だからといって、自分がオイシイところを持って行こうと思っても、簡単に取れない世界だと思うんですよ。TV放送されてメインを張れたとしても、他でおもしろい試合があれば、その選手が輝くし。だから長期的スパンで考えないと、その場で終わってしまいますよ。だって年間何十と興行があるんだから、もう一ヶ月前の試合なんて、ファンは忘れてしまうと思うんですよ。
——実際、興行過多で選手の個性が消耗されているところはありますよね。
元気 そうですね。それに格闘技界は成熟期のピークを越えたと思うんです。一昨年の大晦日（3大会同時開催）がピークで、いまは衰退期に入ったといってもいい。でもまだまだこの勢いは持続すると思うんですが、曙 vs サップの視聴率を超えるのは難しいでしょう。正直、いまヒクソン・グレイシーが誰かと試合をしたとしても、そこまで数字は取れないと思うんですよ。
——ヒクソンより、その対戦相手の遠心力なり求心力が問われてきそうですよね。
元気 そうなってくると、本職以外の人たちが闘うしかないんですよ。たとえば、若貴対決とか（笑）。
——あ〜、その対決がいまいちばん数字が獲れるでしょう（笑）。その本職以外の人たちが〝主役〟になっていく現実には、どう思われるんですか？ あくまで〝視聴率〟というステージの話になりますが。
元気 それはありだと思いますよ。視聴率は取れるし、それイコール格闘技の人気なり普

——最近『PRIDE』の四点ポジション

及に繋がるとは思いますから。それに、個人の思惑で全体をコントロールしようとしても無理なんです。この興行のここがイヤとか、そこだけを変えてほしいと思っても、集合意識でできているものだから変えることは難しい。良い・悪いは、人の動いている至るところにかならず出てくるものだと思うし、そういった中で自分をどう表現するのかが大事なことであって。あくまでその状況の中で、自分の主体、主軸を意識することによって自分がやりたいことができるんじゃないかなって思ってますから。ボクは表現する側の立場なので、そういう気持ちでいます。

――つまり、格闘技という巨大ビジネスの渦の中に身を任せて、己をしっかり表現しようという決意があるわけですね。

元気　その状況のなかで行動を決定するのは自分だ、ということですね。今回のトーナメントでは優勝することしか考えていません。

――そういえば、出場が発表された『HERO'S』の記者会見で、元気さんは友人である五味（隆典）さんの名前を挙げて「二人でチャンピオンになって闘いたい」とおっしゃってましたね。

元気　はい。五味も（『武士道』の）トーナメントに出るそうなので、二人でチャンピオンになろうって。お互いに切磋琢磨しようってことですね。同じトーナメントに一緒に出たら、ああは言わないですけど（笑）。

――五味さんも一風変わってますよね。

元気　五味はおもしろいですよ。あの味はボクには出せない。というか出せなくてもいいんだけど（笑）。

――なるほど（笑）。元気さんって、いわゆる一般的な常識にとらわれない、エネルギッシュな人物を見ているのが好きそうですよね。

元気　好きですね。やはり、ことを成す人って、端から見ていると〝変人〟なんですよ。だから「変わってるね」って言われるのは、ボクにとってほめ言葉なんです。ボクは一切、変わってることをしてるつもりはないんですけど、やっぱり、誰もやったことないことを考えつくから変わっているんであって。みんなが「いいね」とほめることは、それは誰かしらがやってることで斬新なことじゃないですから。やはり、変わった表現者には興味はありますよね。

――プライベートで街を歩いていてもそういう視点なんですか？

元気　はい。街で変わった人がいると、近づいていきますね。



vs日本人はリングスにおける山本喧一戦以来。ここ最近のMMA出場歴は、昨年4月のUFCでマイク・トーマス・ブラウンに一本勝ち。5月の『ROMAN E X』ではホイラー・グレイシーをパウンドでKO。今年3月の『HERO'S』では“地獄の風車”ラモン・デッカーをヒールホールドで一本勝ち。

――ワハハハ！　いや、危ないですよ、とくに最近は（笑）。

元気　いや、「なんでこういう恰好をしてるんだろう？」とか気になるんですよ、メイクとかも（笑）。つまり周囲との美学のズレや温度差が好きなんです。

――最近会った人のなかで、いちばん変わっていたのは誰ですか？

元気　う～ん、表に露出している人のなかでは、美濃輪さんかなあ。ボクは変わっているとは思ってないんですけど。美濃輪さんのあの表現の仕方が好きなだけで。

――元気さんと美濃輪さんの違いって、本人が狙っている・いないの差というかんじもするんですけど。

元気　いや、美濃輪さんだってちゃんとわかっていますよ。計算しているというか、そこは決して打算じゃないですけど。ボクも計算しているように思われるけど、やりたいようにやっているだけで。こうやったらおもしろいかなってのはありますが、とりわけ入場に関しては、自分のやりたいようにやっていますし。



――そこは自分の感覚を大事にされているわけですね。

元気　そうですね。

――自分のバランスが乱れたときって、感覚が正常に働かないと思うんですよ。元気さんは心が乱れるときってありませんか？　あまりないようにも見えますけど。

元気　それはありますよ。ボクも人間ですから（笑）。でも、それを見せるか見せないかが人間の器量だとも思いますね。べつに見せなくていいわけだし、「俺、たいへんなんだよ！」って言わなくてもいいと思うんですよ。それに、そう宣言しちゃうと物理的に作用してしまうから。聞いている人も「あの人はたいへんなんだな」って思っちゃうし。

――いったん口に出してしまうと、事実化しちゃうわけですね。

元気　で、イチローもそうですけど、一流の条件というのは、決して苦労や努力しているところは見せないで淡々とこなしているようにみえるけど、じつは人一倍努力しているし、人一倍直感なり感覚、考え方なりを磨いているってことなんです。そして一流のプレイヤーというのは、人格も一流にしていかないと、一流になれないということも意識していると思います。やはりトップたる者、経営者もそうですけど、弱音を吐いちゃいけないんですよ。「ウチの会社は……」ってネガティブなことを言った瞬間にすべてが崩れるんです。野球やサッカーの監督だって、「ウチの選手は……」って言った瞬間にそのチームは崩壊するんです。弱音を吐かないで些細なことに打ち勝っていくことが大切だと思うんですよ。

――そういう思考が根っこにある元気さんだからこそ、乱れている状態を露出しないということなんですね。

元気　乱れを出すことないですね。ノイズが一瞬、出るときはありますけど。

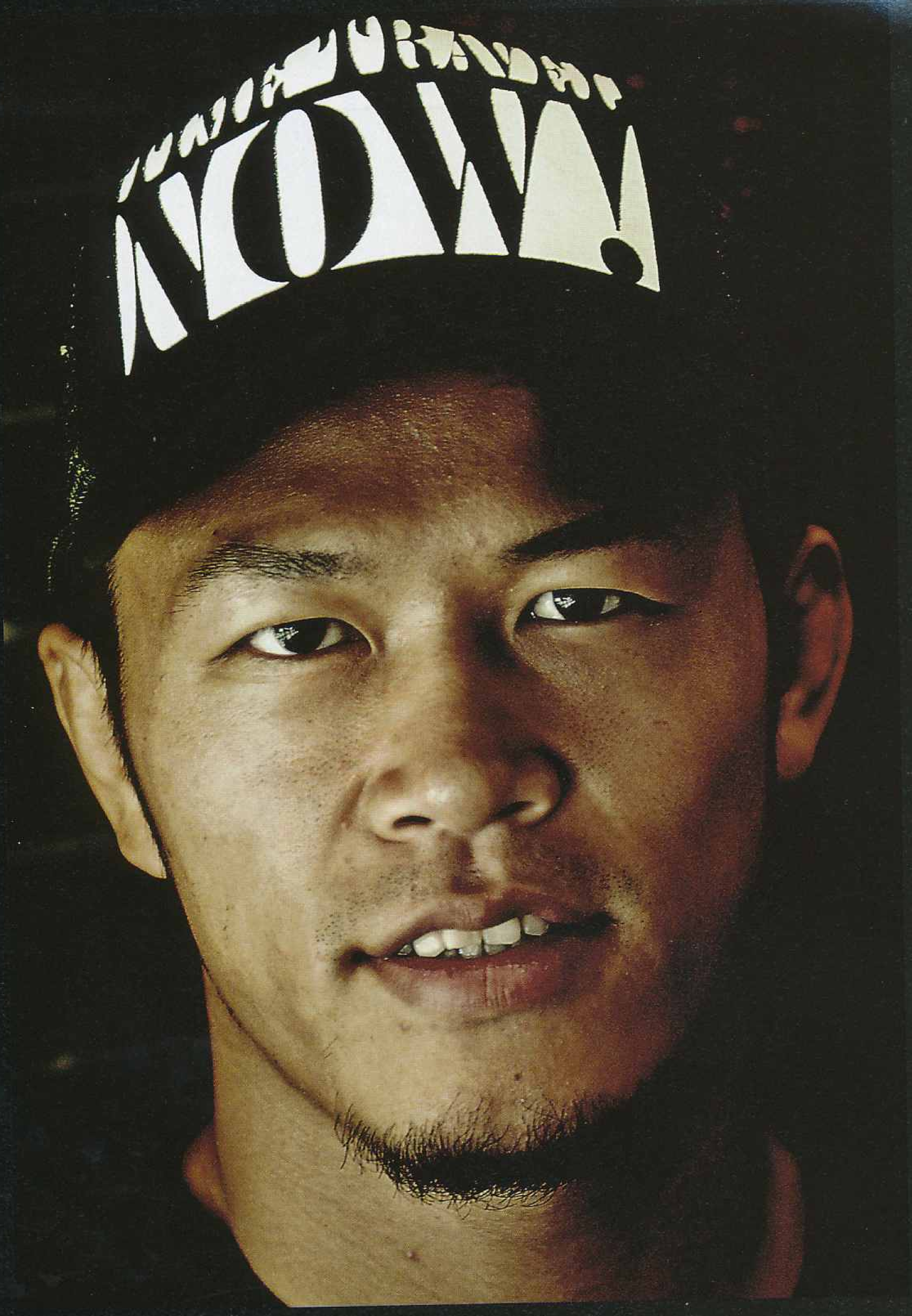
――ノイズが入る程度。

元気　……あ、そういえば、こないだ秋葉原のメイドカフェに行ったんですよ。

――は？　メ、メイドカフェ？？？

元気　二軒も行ったのにどっちも満員で入れなくて、そんときは心が乱れましたねぇ。「あ

あまり人生を限定しないほうがいいですよ。アキバで萌え探索をしてる最中にノゲイラの技を覚えることができるんですから



GENKI SUDO

あ、メイドカフェに入れないっ!」って（笑）。

――ワハハハハ！ 〝萌え〟に乱れた（笑）。それはプライベートで行ったんですか？

元気 はい。よく行くんですよ。

――はあ。

元気 ボクはアキバが好きなんで。ガチャガチャ館とかに行って、萌えガチャをやったりしてますから。

――いったい何をやってるんですか（笑）。

元気 いや、やっぱりね、最終的には〝萌え〟に行き着くんですよ、男性は（キッパリ）。嫌じゃないはずなんですよ。そこは正直になったほうがいいと思いますね。

――先ほどは乱れを出す・出さないかの話をしましたが、今度は〝萌え〟を出す・出さないの話ですか（笑）。

元気 ボクの場合、〝萌え〟は出すんですよ（笑）。アキバはおもしろいですよね。歩いている人を見ててもおもしろいし。

――元気さんは好奇心が旺盛ですし、そんなアキバのおもしろさに惹かれて足を向けているんですか？

元気 う～ん。単純にボクの性癖ですかねえ（笑）。でもいいですよ、アキバはやっぱり。想像力が豊かな人が多いんですよ。ネガティブもポジティブも両方ありますけど、ボクはなるべくポジの部分だけを見てるというか。

――他の街には存在しえないエネルギーが渦巻いてますよね。二度と行かないか、足繁く通うかの二通りに別れるような気がしますけど（笑）。

元気 ボクはよく行きますよ。友だちと遊ぶっていうと「アキバに行こうよ！」って言いますし。友だちも好きになってきたし。

――元気さんが巻き込んだわけですね（笑）。

元気 はい。最初は友だちも「元ちゃん、変だよね」「変わってるよね」とか言って、アキバを歩いている人を見て笑っていたんですよ。「リアルだよ（笑）」とかって。紙袋にリュックサックですか？ あれはあれでボクには魅力的なんです。そしてホントはみんなアキ

バや"萌え"が好きなんですよ。

——なるほど（笑）。ちなみに格闘家として、アキバに刺激を受ける瞬間ってあるんですか？

元気 ありますよ（キッパリ）。

——ありますか！

元気 いや、すごくストレートな話なんですけど。アキバを探索していたらノゲイラのスーパーテクニックとかいう本があって、読んだら「あ、この技はこうやるんだ！」って細かいディテールがわかって（笑）。

——ワハハハハ！

元気 その場で友だちにその技を試して、自分のモノにしましたよ（笑）。だから人生どこでリンクするかわからないんですよ。アキバで"萌え"探索をしてる最中にノゲイラの技術本を見つけて、技を習得できる（笑）。

——元気さんが対談したこともある武術家の甲野（善紀）先生がなにげなく天地真理の「空へ」を聴いて、それをきっかけに突然、身体捌きの境地に至ったというエピソードを思い出しましたけども（笑）。

元気 だから、あまり人生を限定しないほうがいいですよ。どこで何があるかわからないし、チャンスはどこに転がっているかわからない。『紙プロ』の読者も好きなはずですよ、アキバが（笑）。

——あら、ウチの読者もですか（笑）。

元気 好きだと思う。なんか、『紙プロ』はアキバのテイストがありますね。

——ありますか！ ちなみに他の専門誌からアキバは感じませんか？

人生長いスパンで見ると、何が良いか悪いかわからない。自分のやりたいように表現していくだけです

元気 う〜ん、『紙プロ』には間違いなくあるような気がします（笑）。

——よくわかりました（笑）。

●

——え〜、いつのまにかアキバの話になっていますが、再度『HERO'S』の話を。対戦相手の宮田（和幸）選手のことなんですけど。宮田選手はレスリングでオリンピックに出場されたエリートですよね。

元気 宮田選手は総合格闘技の実力もついていると思いますし、やっぱりレスリングがそうとう強いですけど、そこであえて打撃も気をつけようと。いきなり打撃でくることもあるので、そのへんはぬかりなく、しっかり宮田選手を研究していきます。

——ファン、主催者、テレビ。各方面から元気さんに期待が寄せられていると思うんですが、その期待を肌で感じていますか？

元気 あんまりないですね（そっけなく）。言ってしまえば、期待というのは幻想に過ぎないですからね。もちろんチャンピオンを目指しますが、負けたらそのときはそのときだと思っていますし。そこで人生終わるわけじゃない。万が一負けたことがチャンスになるかもしれない。

——つまり、敗北が良い意味でのきっかけを与えるかもしれないと。

元気 人生長いスパンで見ると、何が良いか悪いかなんてわからないわけですよ。だから勝ち負けの結果にとらわれないで、いま自分ができることを情熱的に、一瞬一瞬を表現していこうと。他人の期待は、他者の感覚によって活かされていくことだから、他人がどうこうは関係ないですよね。たとえば、自分のファンという局地的なところに対して、すべての気持ちを向けてしまうと、そこから幅は広がらなくなる。もちろんファンは大事ですよ。大事なんですけども、あくまでも主軸は己において、自分のやりたいように表現していきたいですから。

——いかにブレないように自分を表現できるかってことですね。

元気 そのほうが人間として魅力があると思います。周りを意識するのは自意識が強いだけですよ。

——しかし、元気さんって達観してますよね。

元気 それはむかし、自意識がかなり強かったからです。どう入場しようとか、他人からの見られ方をすごく考えていて。でも、それって意味ないなって。たとえばボクのことをイヤだという人がいて、どうすればよく見せることができるかなって考えるんですよ。でもやっぱりこの世の中、右があるから左が存在するし、好意的な視点もあれば敵意にみちた視点もあるわけで、人を意識することがもうまったく無駄だと気付いたんです。

——それでは、構成作家・須藤元気としては、今回の『HERO'S』で自分をどうプロデュースしていきたいんですか？

元気 今回は自分のやるべきことをやるだけですかね。あんまり深くは考えてないで試合に臨んで勝って、チャンピオンの道をゆく。常ま、格闘技だけが人生じゃないですから。常に自分を磨くうえでの手段としての格闘技なので、緊張はしてないしプレッシャーもありませんね。そんなかんじです。

——わかりました！ では、次回は美濃輪さんとのアーティスト対談をぜひ実現したいと思ってますので！

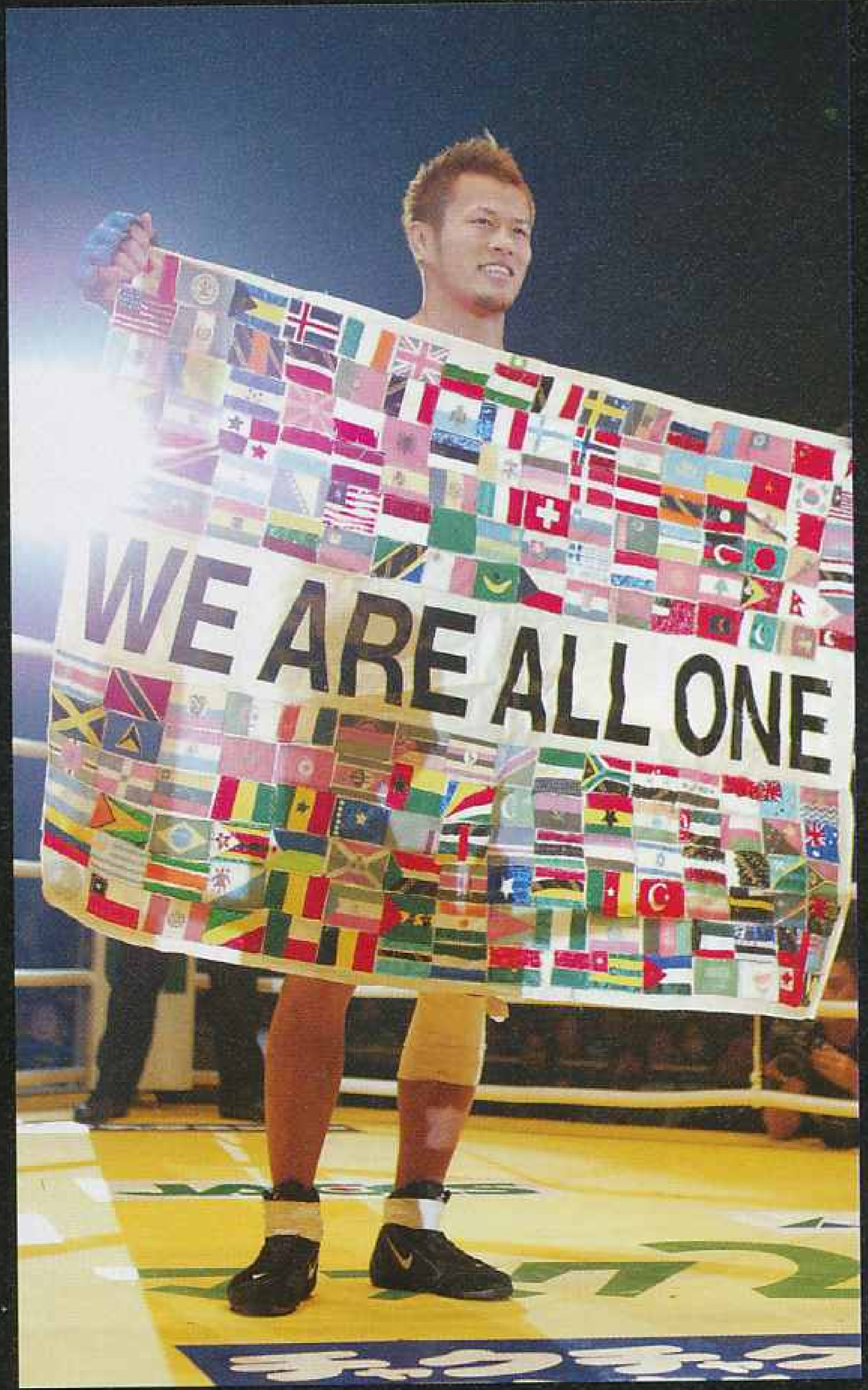
元気 ああ、それは緊張して対談になるかなあ（笑）。あのスタンディング・リアル……？

——スタンディング・リアル・フィスト・8回（笑）。

元気 それ（笑）。今度、美濃輪さんと一緒にやりたいですよ！ 美濃輪さんの試合があったら観に行きたいな〜。

——その前に、『HERO'S』の試合を頑張ってください（笑）。

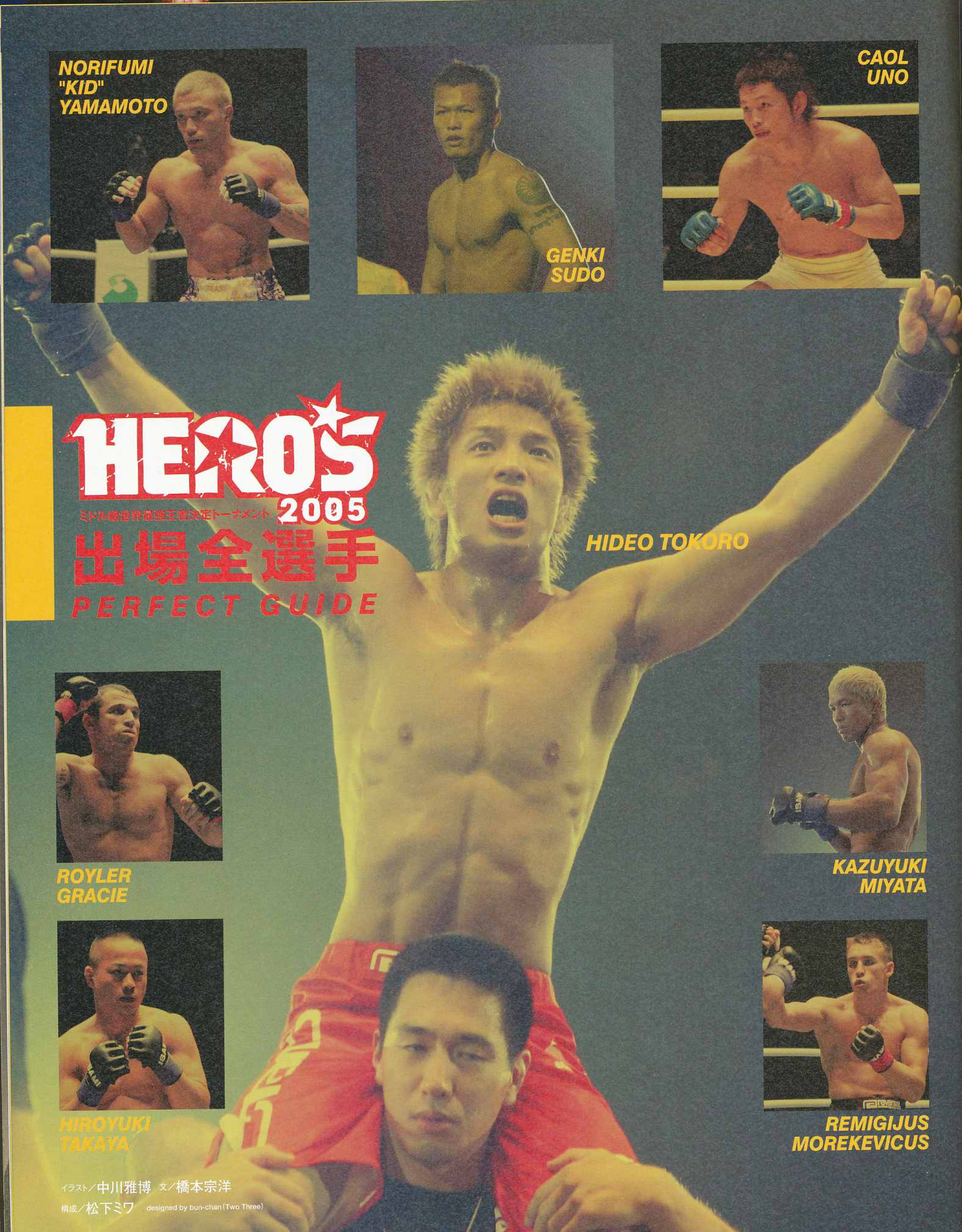
【05年8月1日／都内某所にて収録】



【すどう・げんき】1978年3月8日東京都出身。175センチ、73キロ。ビバリーヒルズ柔術クラブ所属。99年8月にアメリカから"逆輸入ファイター"としてプロデビュー。パンクラス、リングス、UFC、K－1 MAXとあらゆるリングで活躍。同時に芸能の活動も華々しく、ドラマやCM、映画など出演は多岐にわたる。趣味は読書、温泉、精神世界の勉強、最近はアキバ探索？

GENKI SUDO

30・40代のハートをワシ掴み♥



HERO'S 2005

ミドル級世界最強王者決定トーナメント

出場全選手 PERFECT GUIDE

イラスト／中川雅博　文／橋本宗洋
構成／松下ミワ　designed by bun-chan (Two Three)

バや"萌え
―なるほ
アキバに刺激
元気 ありま
―ありま
元気 いや、
けど。アキ
ーパーテク
だら「あ、
かいデティ
―ワハハ
元気 その場
分のモノに
こでリンク
バで"萌え"
技術本を見
―元気さん
甲野（善紀）
へ」を聴いて
捌きの境地に
出しましたけ
元気 だから
がいいですよ
し、チャンス
ない。『紙プ
アキバが（笑
―あら、
元気 好きな
キバのテイス
―ありま
アキバは感

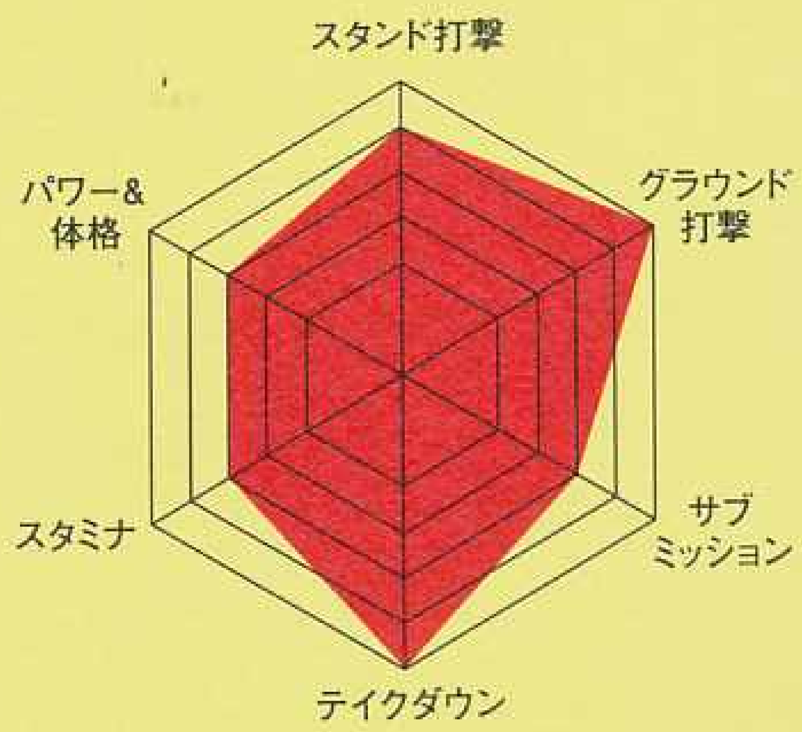
人が生
何が
自分
表現

NORIFUMI "KID" YAMAMOTO



山本"KID"徳郁／日本　不動の主役"神の子"が王座に向け全力疾走!?

選手の特徴



所属	KILLER BEE
生年月日	1977年3月15日
出身地	神奈川県
身長／体重	163cm、65kg
バックボーン	レスリング、修斗
戦績	総合11戦9勝1敗1無効試合

タイトル歴

■全日本アマ修斗ライト級優勝（'00）
■全日本アマチュアレスリングインカレ優勝（'99）
■全日本レスリング選手権2位（'99）

MMA過去の戦績

■2005/07/06 HERO'Sミドル級トーナメントスーパーファイト	○イアン・シャファー 3R1分23秒 TKO
■2004/10/13 K-1 MAX2004	○ジャダンバ・ナラントンガラグ 1R1分55秒 KO
■2004/04/07 K-1 MAX2004	○トニー・バレント 1R0分58秒 チョークスリーパー
■2003/09/03 プロ修斗	○ケイレブ・ミッチェル 1R0分40秒 TKO
■2003/05/09 Super Brawl 29	○ジェフ・カラン 3R終了 判定3-0

今大会のまぎれもない主役である。どんな結果になるにせよ、トーナメントが"神の子"を中心に回ることは間違いない。総合デビュー以来、何度となく見せてきた常軌を逸する暴れっぷりは、もはや数値で表せるようなものではないともいえる（といいつつグラフにしてはいるのだが）。

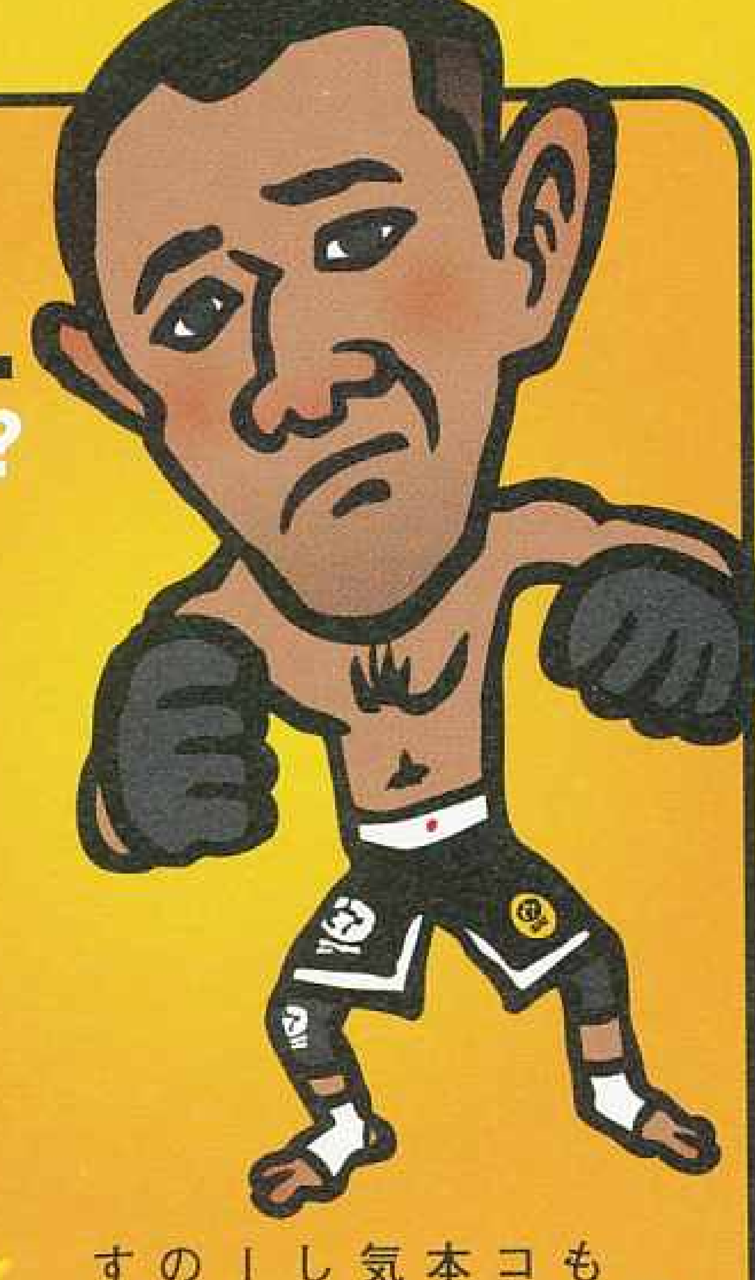
▼セールスポイント

立っても寝ても殴る。大胆で、残忍で、それゆえに観客の心を捉えて離さないKIDの暴力的なファイトは、すでに芸術の域。案外忘れられがちだがレスリング一家のサラブレッドであり、学生時代に数多くのタイトルを獲得したレスリング技術にも確かなものがある。そのパウンドはパスガードせずとも相手を失神させるだけの威力とスキルがあり、スタンド打撃は魔裟斗をもダウンさせた一撃必殺レベル。

▼ウィークポイント

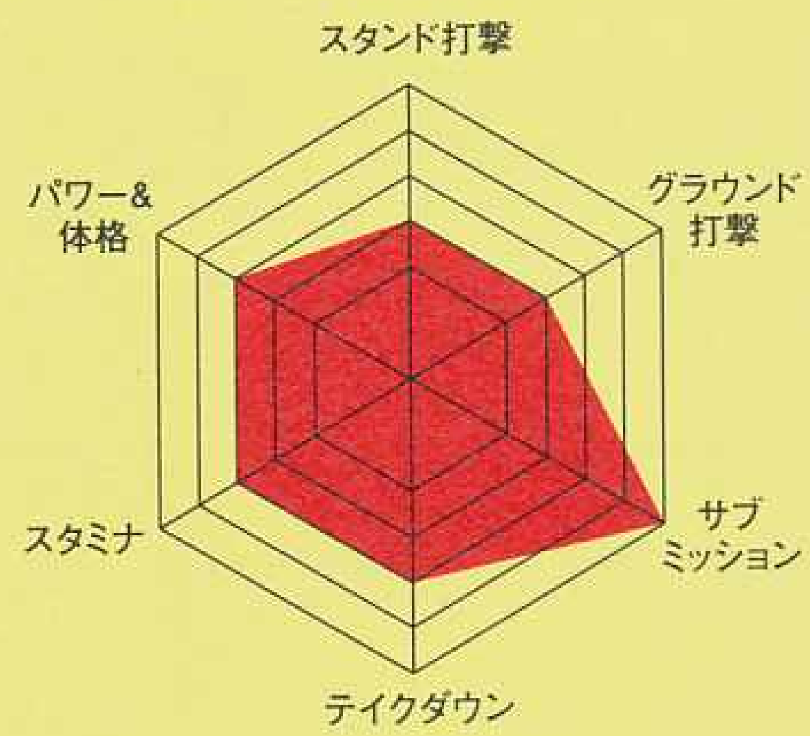
今大会には多いのだが、本来は65キロの体格がデメリットとなる。70キロのトップファイターと闘ったときにどうなるのかが不安点であり、また楽しみでもある。典型的なワンマッチ集中型だけに、2試合目がどうなるのかも、スタミナも含めて気になる。

ROYLER GRACIE



ホイラー・グレイシー／ブラジル　グレイシー屈指の技巧派がいよいよ本領発揮!?

選手の特徴



所属	グレイシー・ウマイタ
生年月日	1965年12月6日
出身地	ブラジル
身長／体重	173cm、69kg
バックボーン	グレイシー柔術
戦績	総合8戦5勝2敗1分

タイトル歴

■アブダビコンバット65kg級優勝（'99）（'00）（'01）

MMA過去の戦績

■2005/07/06 HERO'Sミドル級トーナメント1回戦	○吉田幸治 2R終了 判定2-0
■2004/11/20 RUMBLE ON THE ROCK	○宮田和幸 2R2分46秒 三角絞め
■2004/05/22 ROMANEX	●須藤元気 1R3分40秒 KO
■2001/01/08 DEEP2001	△村浜武洋 2R終了 ドロー
■1999/11/21 PRIDE.8	●桜庭和志 2R13分16秒 レフェリーストップ

総合格闘技・中量級の第一人者ともいえる存在。一昨年の『アブダビ・コンバット』でエディ・ブラボーに一本負け、『ROMANEX』で須藤元気にKO負けと最近は負けることも珍しくなくなっているが、本人のモチベーションはまだまだ高い。"最強一族の誇り"を、この大舞台で改めて誇示することができるか!?

▼セールスポイント

柔術、アブダビ、それにもちろんバーリ・トゥードで輝かしい戦績を収めてきたグラウンド・テクニックが、やはり最大の武器。開幕戦でも総合デビューの吉田幸治をねちっこいポジショニングでさんざん苦しめ、判定勝ちをモノにしている。自分の"型"にもちこめば、磐石の強さを発揮するのではないか。

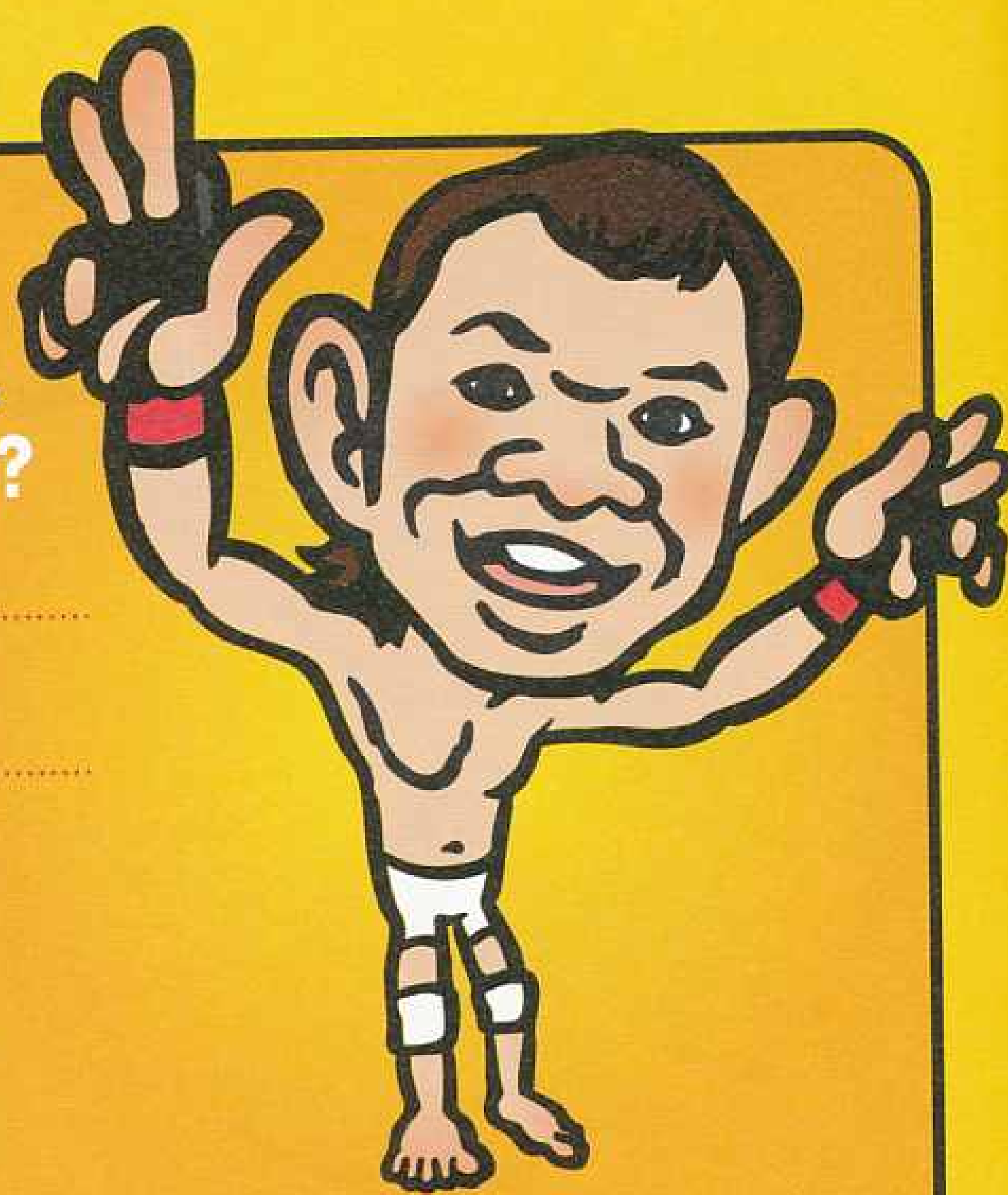
▼ウィークポイント

体格、パワーの面では明らかに不利。また一族屈指のテクニシャンといわれるホイラーだが、その試合運びはややオールドスクールの感あり。スタンド打撃とパウンド全盛の現在の総合シーンでは、巧みなガードワークを無効化されてしまう危険性は高い。今年40歳、ホイラーにとって最大の敵は"時代の流れ"だろう。

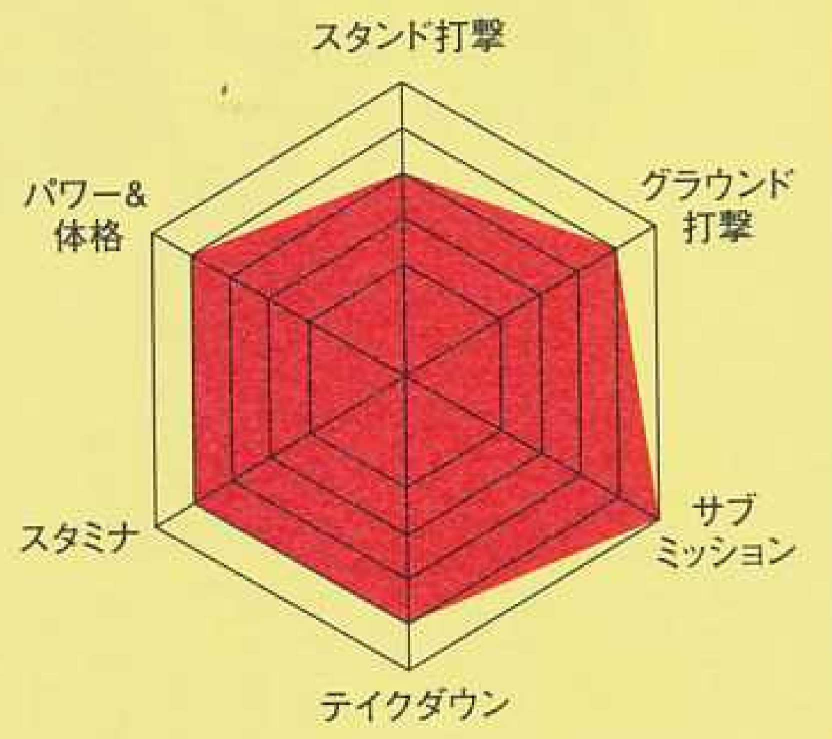
30・40代のハートをワシ掴み♥

CAOL UNO

宇野 薫／日本　総合のスペシャリスト“星の王子様”が新参者を斬る!?



選手の特徴



所属	和術慧舟會東京本部
生年月日	1975年5月8日
出身地	神奈川県
身長／体重	172cm、70kg
バックボーン	総合格闘技
戦績	総合28戦17勝7敗4分

タイトル歴

■プロ修斗第4代ウェルター級王者

MMA過去の戦績

■2005/03/26 HERO'S　●ヨアキム・ハンセン 3R4分48秒 KO
■2005/02/23 K-1 MAX2005　○セルカン・イルマッツ 1R1分50秒 タップアウト
■2004/12/31 Dynamite!!　○チャンデット・ソーパンタレー 2R0分19秒 タップアウト
■2004/03/22 プロ修斗　△川尻達也 3R終了 ドロー
■2003/09/26 UFC44　●エルメス・フランカ 2R2分46秒 KO

言わずと知れた総合格闘技界のメジャーリーガー。修斗ウェルター級王座を獲得し、UFCでもライト級トップ戦線で活躍してきた実力は疑いようがない。ファイトスタイルは〝柔〟のイメージだが決してひ弱さではなく、今大会のメンバー中で最も穴のない選手といっていいだろう。

▼セールスポイント

この男の長所がどこにあるのか、あえていうなら〝全部〟だろう。シュアーな打撃、腰の強いレスリング力、パウンドでKOでき、なおかつ極めも強い。スタミナときたらもう抜群。体力負けすることもないだろう。見た目とは裏腹に、劣勢に追い込まれたときほどハートの強さを発揮する。そして生存競争の激しい修斗で頂点を究め、その後はUFCという世界の舞台でシノギを削ってきた経験。どれを取っても一流以外の何物でもない。

▼ウィークポイント

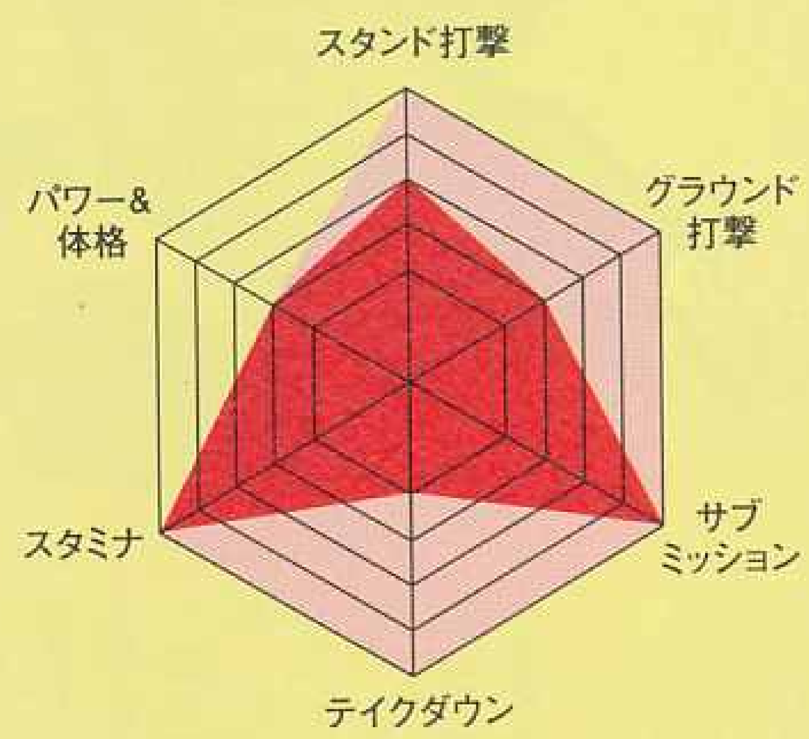
全てにおいてレベルが高いということは、つまり穴がないということ。どんな窮地でも切り抜けるだけの技術を持っているといっていいだろう。あえて難点をあげるならB・J・ペンやヨアキム・ハンセンにKOされたように打撃のディフェンスだが……。

HIDEO TOKORO

所 英男／日本　潜在能力は底知れず。その奇想天外さが最大の武器！



選手の特徴



所属	STAND
生年月日	1977年8月22日
出身地	岐阜県
身長／体重	170cm、66kg
バックボーン	総合格闘技
戦績	総合22戦15勝6敗1分

タイトル歴

■GT-Fチャンピオン
■KoKリミテッド優勝（'01）

MMA過去の戦績

■2005/07/06 HERO'Sミドル級トーナメント1回戦　○アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ 延長R0分08秒 TKO
■2005/04/07 Shooto Lithuania-Chaosas　○エリカス・ペトライティス 判定勝ち
■2005/01/23 ZST-GP2　●大石“JACKAL”真丈 延長R終了 判定2-1
■2004/11/20 Shooto Lithuania-Bushido　●ダリウス・スクリアウディス 判定負け
■2004/11/03 ZST-GP2　○勝村周一朗 1R0分38秒 フロントチョーク

開幕戦で修斗の〝絶対王者〟ノゲイラを破り、地上波中継で大フィーチャー、『ニュース23』でもクローズアップとブレイクを果たした所〝さん〟。清掃員バイトの風呂なしアパート&そぼろ弁当生活から、一気にスター街道に乗ったこの男こそ、今トーナメントのもう一人の主役ともいえる存在だ。一瞬で相手の関節を捕える極めの強さ、常に動きを止めない膠着知らずのアグレッシブなファイトスタイルは、誰が相手でも観客を魅了してやまない。

▼セールスポイント&ウィークポイント

この男の場合、分析なんぞアテにできるもんじゃない。絶対的不利を謳われた試合で大アップセットを演じ、観客のド肝を抜くことこそ所の真骨頂である。サブミッションの数値「5」、体格とパワーの「2」は変わらないが、それ以外の要素に関しては完全に予測不可能。あっと驚く逆転劇で決勝まで駒を進める可能性は充分にある。が、期待されまくった試合で大ポカをやらかすのもまた所の特徴。レミギウス戦での〝プチ失神〟や、小谷直之戦での〝高速タップ〟（ZST選手紹介映像より）の悪夢が繰り返されるのか、それとも……。いずれにしても、やってみないと分からん。

人生
何が
自分
表現

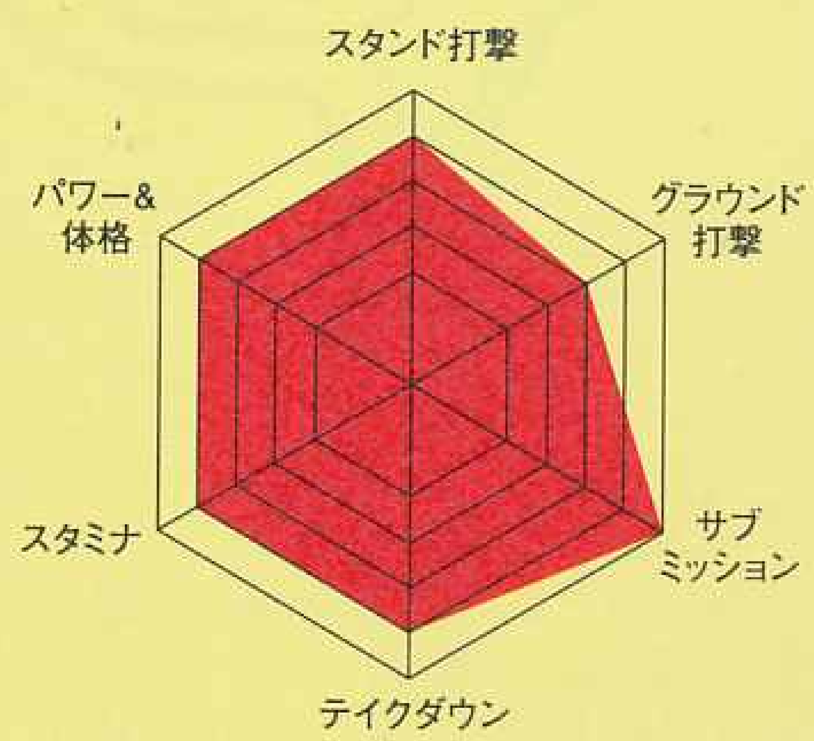
バや〝萌え
―なるほ
アキバに刺激
元気 あり
―ありま
元気 いや、
けど。アキ
ーパーテク
だら「あ、
かいデティ
―ワハハ
元気 その場
分のモノに
こでリンク
バで〝萌え
技術本を見
―元気さ
甲野（善紀）
へ」を聴いて
捌きの境地に
出しました
元気 だから
がいいですよ
し、チャンス
ない。『紙プ
アキバが（笑）
―あら、
元気 好きだ
キバのテイス
―ありま
アキバは感じ

GENKI SUDO

須藤元気／日本 〝トリックスター〟が抜群の格闘センスで頂点を狙う



選手の特徴



所属	ビバリーヒルズ柔術クラブ
生年月日	1978年3月8日
出身地	東京都
身長／体重	175cm、70kg
バックボーン	レスリング、ブラジリアン柔術、サンボ
戦績	総合16戦12勝3敗1分

タイトル歴

■柔術カリフォルニア・コパ・パシフィカ大会ミドル級優勝
■US柔術オープントーナメント無差別級準優勝
■UFC-J王者

MMA過去の戦績

■2005/03/26 HERO'S ○ラモン・デッカー 1R2分54秒 ヒールホールド
■2004/05/22 ROMANEX ○ホイラー・グレイシー 1R3分40秒 KO
■2004/04/02 UFC47 ○マイク・ブラウン 1R3分31秒 腕ひしぎ三角固め
■2003/12/31 Dynamite!! ○バター・ビーン 2R0分41秒 ヒールホールド
■2003/04/26 UFC42 ●ドゥエイン・ラドウィック 3R終了 判定3-0

〝トリックスター〟の異名を持つ須藤元気だが、いまや大物感さえ漂う。昨年5月、『ROMANEX』におけるホイラー戦の完璧なKO勝利をはじめ今回の出場メンバーにあっても実績はトップクラス。トーナメント第一試合に配されたのは入場パフォーマンスでの〝掴み（テレビ中継のオープニングも含め）〟を期待されてのことだろうが、今回はキャラ性以上に実力をアピールする場になるだろう。文句なしの優勝候補だ。

▼**セールスポイント**

不意を突くバックブロー、ジャイアントスイングからのアキレス腱固めなどド派手な技で知られる須藤。だがレスリング、柔術といったベースの部分のスキルも相当にレベルが高い。加えて天性の格闘センス、極めの強さは誰もが認めるところ。もちろん、K-1でも活躍してきた打撃も大きな武器となる。

▼**ウィークポイント**

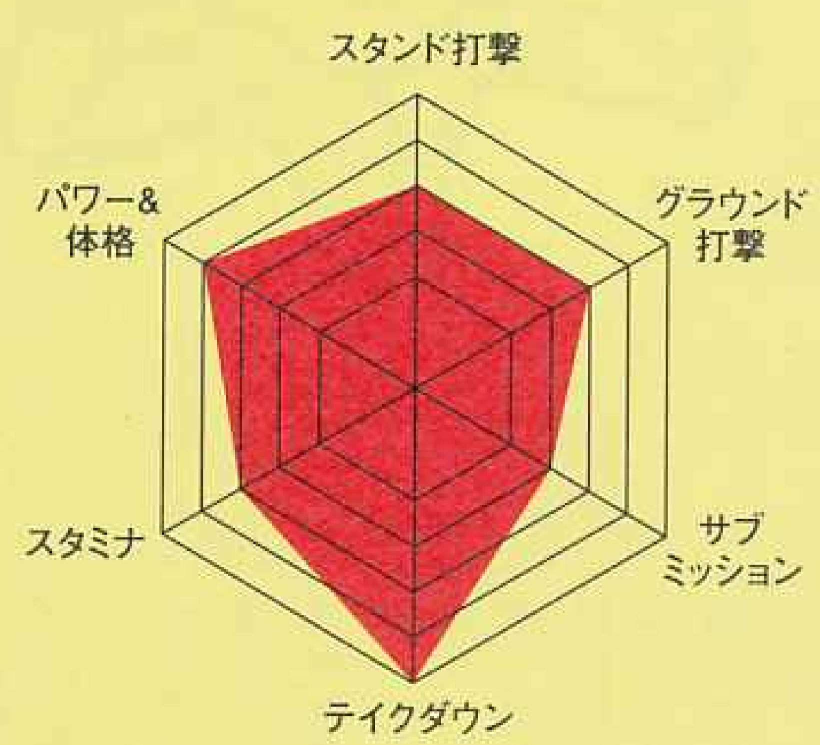
はっきり言って、負ける姿はちょっと想像しにくい。グラウンド打撃のグラフ値3も、あまり見たことがないから、というだけのことでしかない。あえていうならケガの回復具合と、試合間隔の長さによる勝負勘のわずかな狂いだが……。

KAZUYUKI MIYATA

宮田和幸／日本 レスリング界の超エリート、大物食いなるか!?



選手の特徴



所属	フリー
生年月日	1976年1月29日
出身地	茨城県
身長／体重	172cm、70kg
バックボーン	レスリング
戦績	総合3戦1勝2敗

タイトル歴

■シドニーオリンピックレスリングフリースタイル63kg級日本代表

MMA過去の戦績

■2005/07/06 HERO'Sミドル級トーナメント1回戦 ○シャミール・ガイダルベコフ 1R2分49秒 チョークスリーパー
■2005/03/26 HERO'S ●イアン・シャファー 3R終了 判定3-0
■2004/11/20 RUMBLE ON THE ROCK ●ホイラー・グレイシー 2R2分46秒 三角絞め

昨年秋、ハワイでのホイラー戦でプロデビューを飾った大型ルーキーが正念場を迎える。ここまでのプロ戦績は1勝3敗（K-1 MAXも含む）だが、レスリング・フリースタイルでシドニー五輪に出場した経歴はピカイチ。その身体能力はKIDをも超えるといわれるだけに、今大会での大化けも充分にありうるだろう。

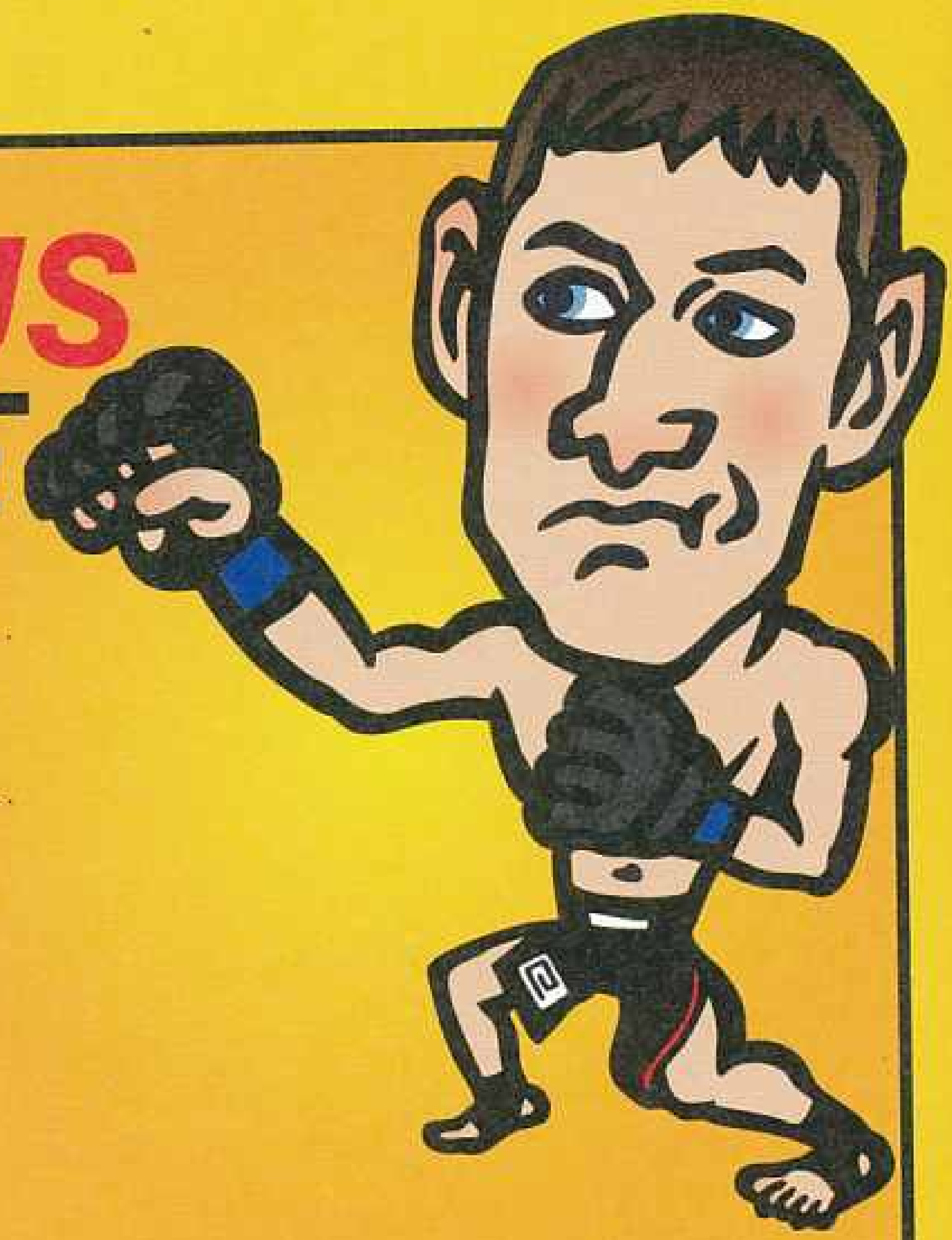
▼**セールスポイント**

レスリングで日本トップに君臨していただけに、テイクダウン能力は最高レベルといっていい。スタンド打撃に関しても、まだ発展途上とはいえMAXの武田幸三戦で見せた須藤元気ばりのトリッキーかつ思い切りのいい攻めは魅力的だ。テイクダウン→パウンドというレスリング出身者の王道をあえて進まず、スクランブル渋谷で行なわれるトップグラップラーの練習会に通い、パスガードやサブミッションを地道に習得しようという姿勢は将来性を感じさせる。

▼**ウィークポイント**

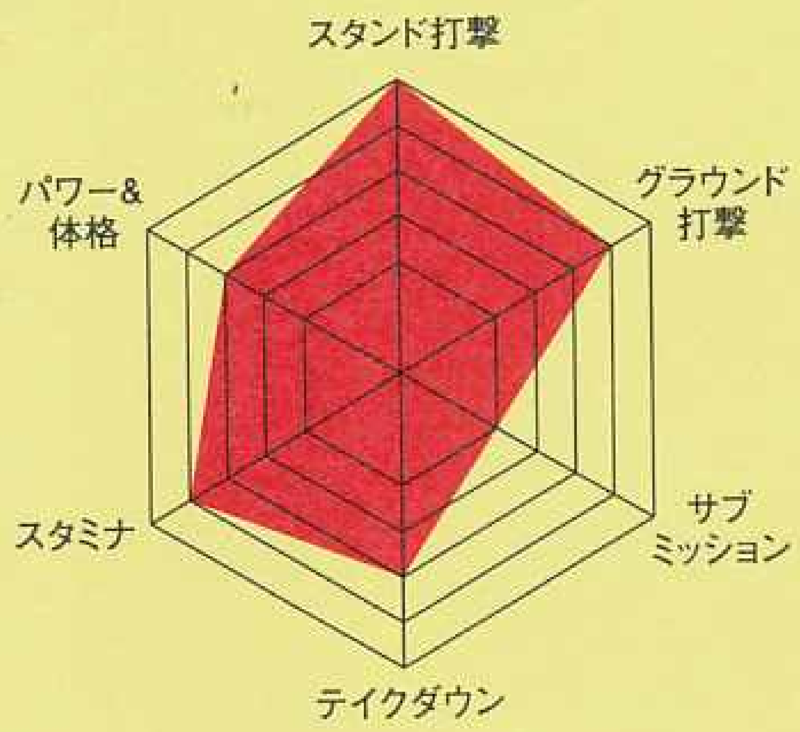
一にも二にも経験。レスリング以外は全ての要素でレベルアップが必要だろう。ただ素材が素材だけに、数カ月で大幅な成長を果たしている可能性もある。

REMIGIJUS MOREKEVICUS



レミギウス・モリカビチュス／リトアニア　殴り始めたら止まらない正真正銘のストライカー！

選手の特徴



所属	リングス・リトアニア
生年月日	1982年8月10日
出身地	リトアニア
身長／体重	168cm、66kg
バックボーン	キック、ボクシング
戦績	総合17戦14勝3敗

タイトル歴

■ZST-GP2フェザー級優勝（'05）

MMA過去の戦績

■2005/07/06 HERO'Sミドル級トーナメント1回戦	○村浜武洋 1R1分14秒 KO
■2005/04/07 Shooto Lithuania-Chaosas	○Danny ver Bergen 腕ひしぎ十字固め
■2005/01/23 ZST-GP2	○大石"JACKAL"真丈 KO
■2005/01/23 ZST-GP2	○宮川博孝 KO
■2004/11/20 Shooto Lithuania-Bushido	○Jakob Shaap 三角絞め

リングス・リトアニアの代表選手にして『ZST』の外国人エース。所英男の最大のライバルでもある。去年から今年にかけて行なわれた『ZST GP2』ではオールKOで優勝を果たしている。3試合の所要時間はわずか4分6秒！『HERO'S』開幕戦では村浜にも圧勝。嵐の如き打撃は、一度勢いがついたら容易には止められない。

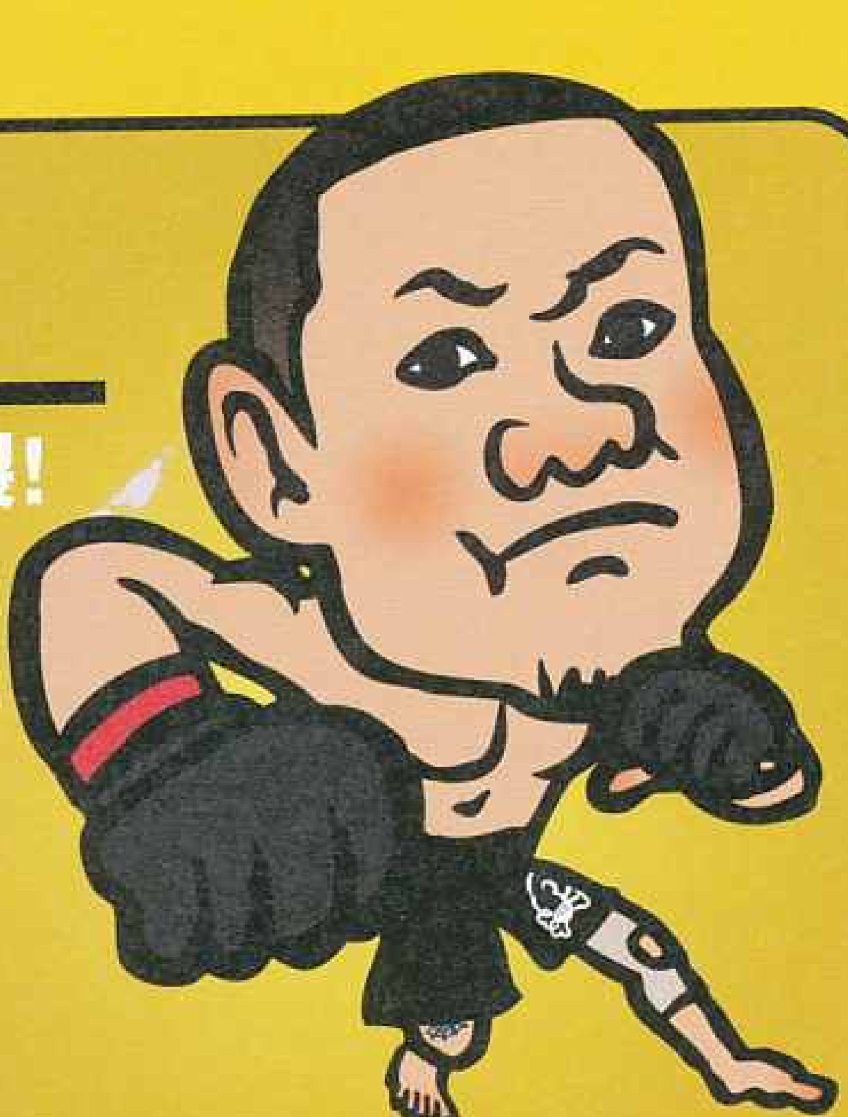
▼セールスポイント

打撃。ひたすら打撃。遠い間合いから飛び込むように放つストレート、左右のフック、相手のアゴをカチ割らんばかりに突き上げるヒザ、どれもが超のつく一級品である。顔面パウンドなしの『ZST』では見られないが、実はパウンドのうまさ、威力もまた抜群。普段は物静かな性格（知り合いの前では子供丸出し）のレミギウスは、しかしリングに上がると狂気のスイッチが入り、それは相手をKOするまでオフになることはない。

▼ウィークポイント

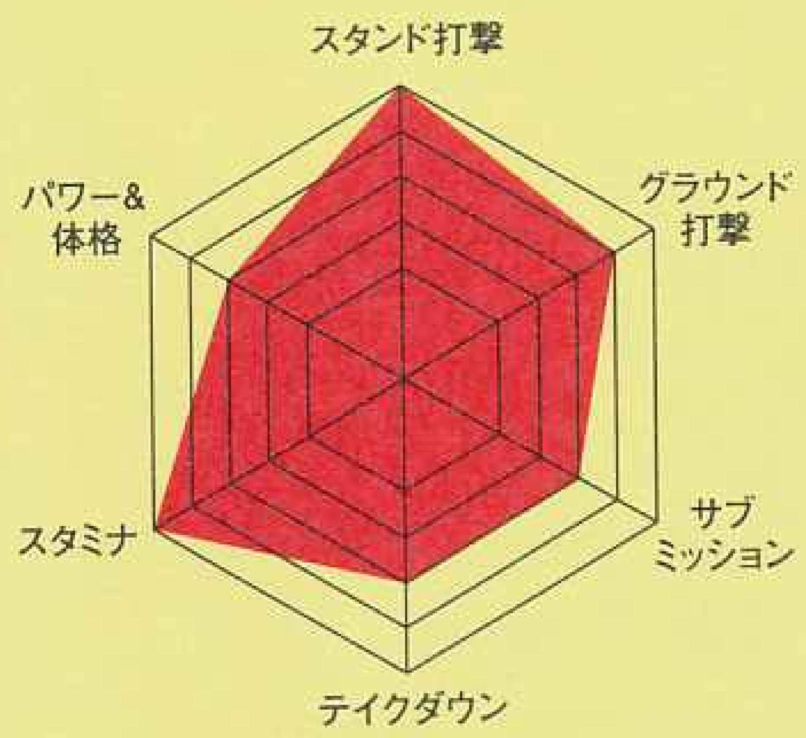
過去、何度かあっさりと一本負けを喫しているように、寝技は明確なウィークポイント。特に下からの仕掛けにはもろさを見せる。リトアニアでの試合ではサブミッションでの勝利もあるが、このメンバーの中ではやはり厳しい。

HIROYUKI TAKAYA



高谷裕之／日本　ストリートファイト育ちの打撃がリング上で大炸裂！

選手の特徴



所属	フリー
生年月日	1977年6月10日
出身地	千葉県
身長／体重	167cm、65kg
バックボーン	総合格闘技
戦績	総合7戦5勝1敗1分

タイトル歴

■全日本アマチュア修斗選手権ライト級準優勝（'02）
■修斗ライト級新人王（'03）

MMA過去の戦績

■2005/07/06 HERO'Sミドル級トーナメント1回戦	○ヤニ・ラックス 1R1分56秒 KO
■2004/12/04 プロ修斗	●ギルバート・メレンデス 3R終了 判定3-0
■2004/05/03 プロ修斗	○ステファン・バーリング 1R2分11秒 TKO
■2004/01/24 プロ修斗	△ジョン・ホーキ 3R終了 ドロー
■2003/11/03 プロ修斗	○藤岡正義 2R終了 判定3-0

修斗ライト級2位、といっても『紙プロ』読者にはピンとこないかもしれないが、要は総合格闘技・中軽量級における最激戦区のトップ戦線で闘ってきた男である。格闘技を始める前はストリートファイトでならし、かつて所属した『格闘結社・田中塾』ではあの鬼の黒崎をして「アイツの練習はキ○ガイ」といわしめた、田中健一のもとで腕を磨いた。その勝負度胸と相手を叩き潰すかのようなファイトスタイルは今大会でも異彩を放つ。

▼セールスポイント

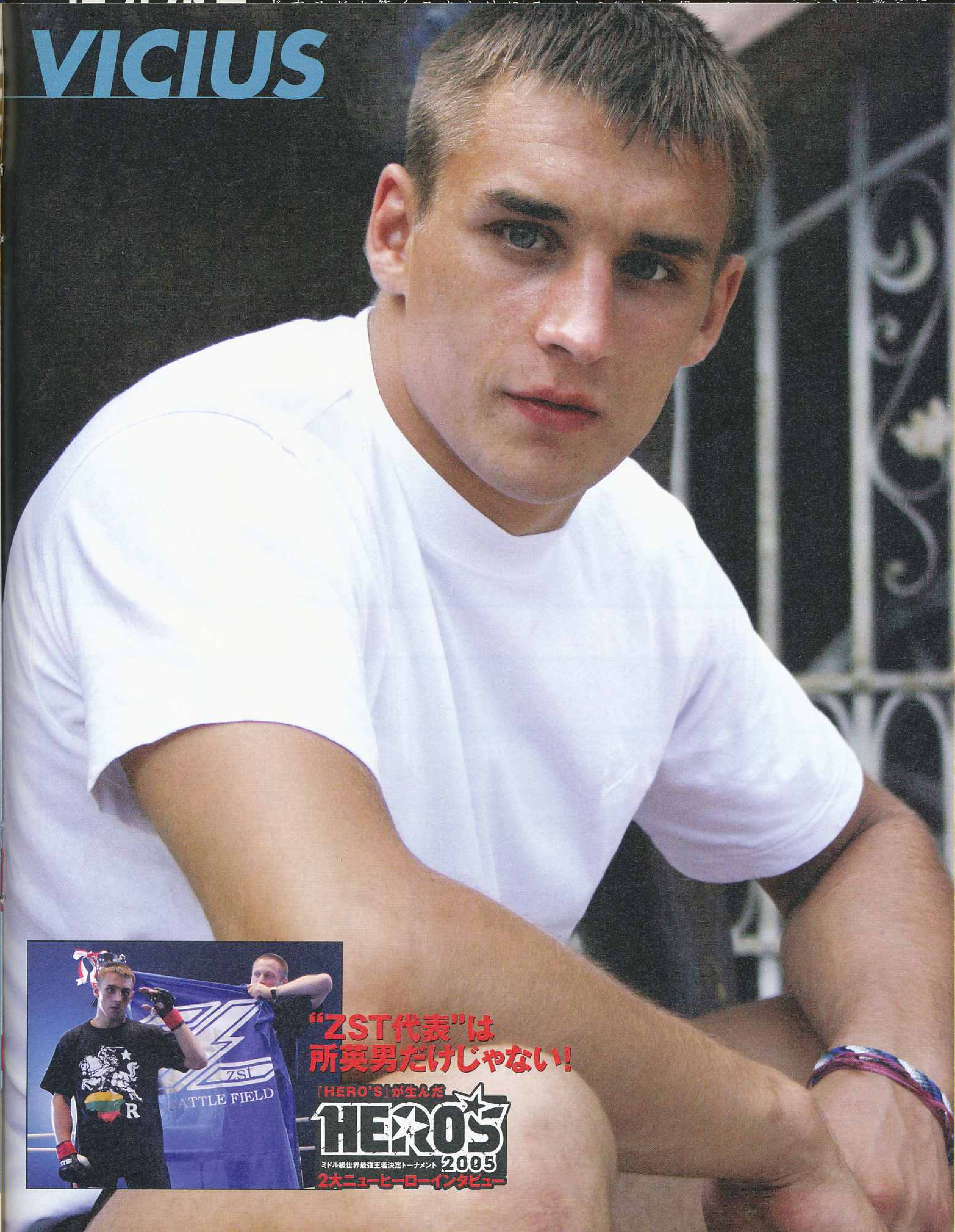
日本屈指の〝倒されずに殴る〟スタイルの使い手。ゆえに関節技のイメージは薄いが、それを補ってあまりある打撃力を持つ。全日本キックに2度参戦、トップランカー相手に敗れはしたが堂々たる闘いを繰り広げてもいる。また強豪ブラジル人ジョン・ホーキと引き分けているように、ここ一番での勝負強さも光る。

▼ウィークポイント

修斗ではライト級（65キロ）だっただけに、純正70キロの選手と闘った場合、体格面での不利は否めない。柔より剛のタイプだけに、自分より〝剛〟な相手との試合がトーナメントを勝ち抜く上でのカギになるだろう。

表自何人
現分が生

バや"萌え
—なるほ
アキバに刺激
元気 ありま
—ありま
けど。アキ
元気 いや
ーパーテク
だら「あ、
かいディテ
—ワハハ
分のモノに
元気 その
こでリンク
バで"萌え
技術本を見
—元気さ
甲野（善紀）
へ」を聴いて
捌きの境地
出しました
元気 だか
がいいです
し、チャンス
ない。『紙プ
アキバが（
—あら、
元気 好き
キバのテイス
—ありま
アキバは感



VICIUS

"ZST代表"は所英男だけじゃない!

『HERO'S』が生んだ
HERO'S 2005
ミドル級世界最強王者決定トーナメント
2大ニューヒーローインタビュー

30・40代のハートをワシ掴み♥

REMIGIJUS MOREKE
レミギウス・モリカビチュス

“小さなミルコ”が“神の子”に宣戦布告！

「KIDに伝えてくれ、決勝で待っていると」

“小さなミルコ”の異名通りの、殺傷能力の高い打撃であの村浜武洋を秒殺KO！初のメジャー大会出場となった、7･6『HERO's』でその潜在能力を爆発させ、ライバル所英男と共に一躍大ブレイクをはたしたレミギウス・モリカビチュス。2回戦は同じく打撃を武器とする強豪・高谷弘之との対戦が決定しているが、その碧い瞳は、すでにかねてから熱望する山本KIDとの闘いを見据えていた――



聞き手／上杉HG　構成／堀江ガンツ
写真提供／Lithuanian Bushido Fedration　designed by Tani-Yan（Two three）

――7・6『HERO'S』では村浜選手相手に見事なKO勝利おめでとうございます！　ついに日本での〝メジャーデビュー〟と言えますが、『HERO'S』の舞台はいかがでしたか？

レミギウス　『HERO'S』のような大きな舞台で試合ができ、なおかつKOで勝つことができてとても嬉しいよ。最高の気分だったね。

――これまで日本で主戦場としてきたZSTと比べると、また何か違った感覚だったかと思いますが。

レミギウス　いや、闘うことに関しては、ZSTと差はないね。ZSTにも強い選手はたくさんいるからね。ただ闘う舞台が大きくなったというだけだよ。でも、今回はとても慎重に調整をしたんだ。というのは、前回のZSTの試合では、大会前に自分を追い込むことができなくて、負けてしまったからね。

――タッグマッチで勝村周一朗選手に、三角絞めで一本取られてしまったんですよね。なんでも、その後リトアニアBUSHIDOのドナタス代表に新宿の街を歩きながら朝まで散々お説教されたとか（笑）。

レミギウス　そうなんだよ。じつはあのとき、マエダサン（前田日明）も会場にいたから、『HERO'S』に呼ばれなくなると思って落ち込んで……。だから、その反省でこのあいだの試合前はもっとしっかり準備をしたんだ。1日のトレーニングを2回に分けて、スタミナ作りを強化したし、レスリングの練習もいつもより多くこなしたり。

――対戦相手だった村浜選手のこともかなり研究しましたか？

レミギウス　もちろん研究したね。なんと言ってもムラハマはかつてK・1のフェザー級GPで優勝したファイターだし。ZSTのスタッフからビデオをもらって、何回も見たんだけど、パンチの上手い選手だなという印象を受けたよ。出入りマサトとの試合を見ると、出入りが速くて上手かったので、対戦したときは距離を作らせないように接近戦に持っていったんだ。

――たしかにヒザとショート・フックは有効でしたね。一方的に試合を制した感がありますが、闘ってみて村浜選手はどうでしたか？

レミギウス　試合中は一つの目標……つまり、KOすることだけに集中しているから、相手の状態についてはあまりわからないな（笑）。ただ、試合中は彼の動きはスローに見えたし、結果には満足しているよ。

――あの爆発的な攻撃力はテレビで初めてレミギウス選手を見た人にもインパクト抜群でしたよ。でも普段のあなたは、リング上とは打って変わって、物静かというか、おとなしい印象を受けるのですが。

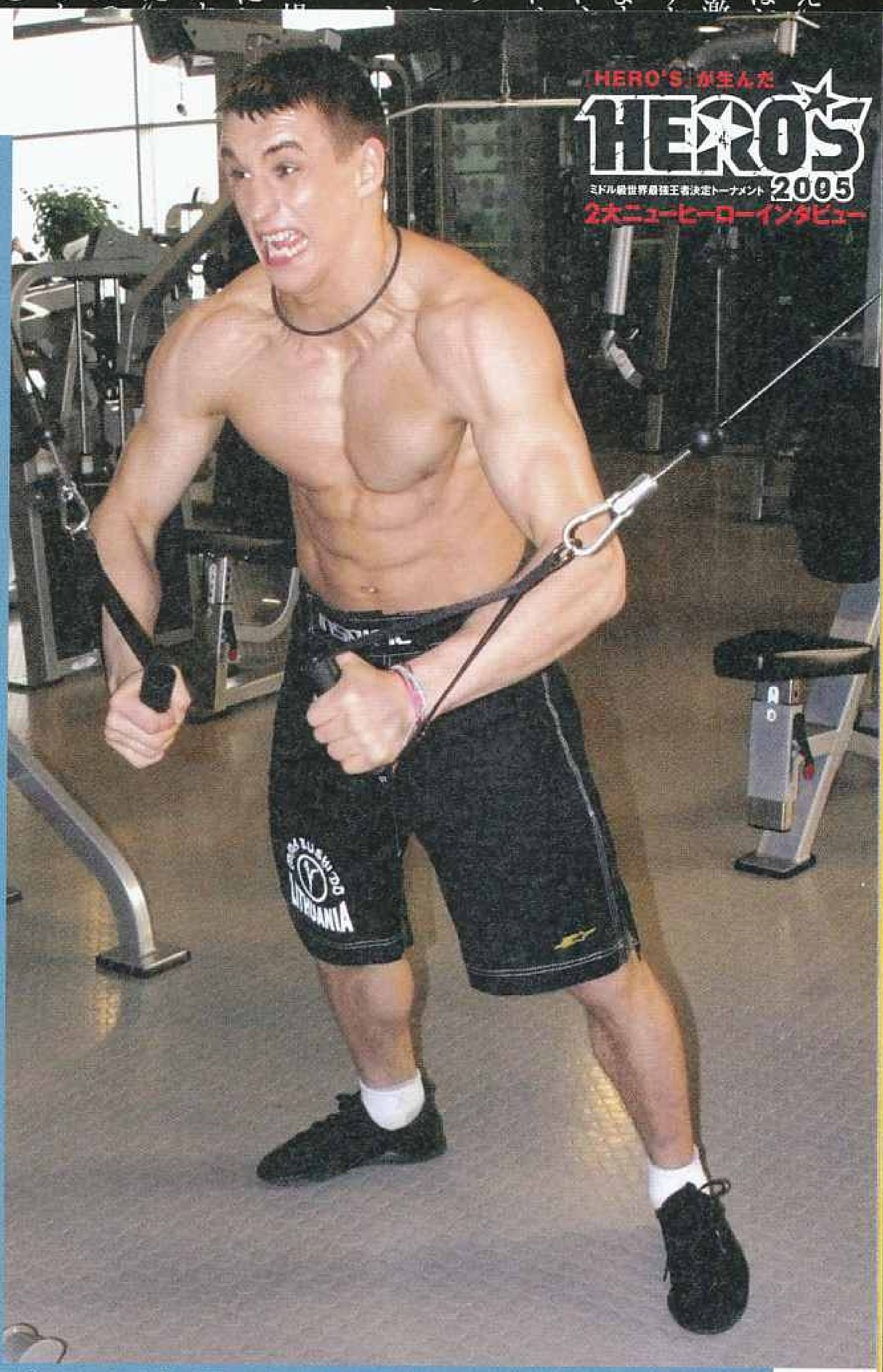
レミギウス　リング上でも、日常でも僕は同じだよ。ただ、正しいときに正しい場所で爆発するだけで。

――その爆発力の源は？

レミギウス　まず練習量。それから、とにかく相手をKOしたいという強い意志だろうね。短期決戦が好きなんだ。

――なるほど。ところで、試合前の紹介映像で、原っぱでブレイクダンスのようなムーブを披露されていましたが、あれは何だったのですか？

VICIUS



実質、一つ上の階級で闘うことになったレミーガ。しかし、求道的なほど、自らを鍛え抜いた成果により、パワー負けすることはない。見てみぃ、この身体！

トコロが負けると思ってた人には「ザマアミロ！」と言いたいね

レミギウス　あれはダンスじゃないよ。あれはどんなポジションからでも相手を攻撃できるようになるための特殊な訓練なんだ。

——そうですか⁉　もしかしてミリタリー経験のあるドナタス氏から教わった軍隊格闘技のメソッドとか？

レミギウス　いや、いまのは冗談だよ（笑）。あれはトレーニングじゃなくて、パフォーマンスなんだ。なんだかよくわからないけど、凄い攻撃をしそうに見えるだろ？

——ああ、なるほど。煽り映像としては面白いですよね。その試合前の選手紹介の際に、これまでの〝小さな恋人〟、〝前田日明の小さなミルコ〟、〝リトアニアの闘神〟という新たなキャッチ・フレーズがついていたのですが、それはどうですか？

レミギウス　（感心なさそうに）主催者側がつけるものだから、別に何だっていいけどね。でも、どうしてミルコと呼ばれるのかわからない。自分ではヴァンダレイ・シウバみたいなファイトを目指してるんだけどな。

——ああ、そうでしたか。じゃ、これからは〝小さなシウバ〟と呼ばせていただきます（笑）。

レミギウス　ニックネームは〝レミーガ〟だけでいいよ（アッサリ）。

——わかりました（笑）。ところで、レミギウス選手は通常65キロで試合をしてますけど、この70キロの階級のトーナメントを闘うことをどう思いますか？

レミギウス　たしかに僕の階級じゃないけど、気にはならないね。ムラハマだって僕より体重は重かったけど、問題なかった。

——では、1回戦を終えてみて、ほかに気になる選手はいましたか？

レミギウス　気になるというか、強い選手が残ったなと思う。みんな、それぞれ個性がある選手ばかりだけど、やはりヤマモトKIDは実力も存在感もこのトーナメントのメンバーの中でアタマ一つ突き抜けているし、一番気になるね。

——以前インタビューさせていただいたときも「彼の瞳の中の炎に共感を感じる」と対戦を熱望されてましたよね。

レミギウス　ファンと言ってもいいぐらい、彼のスタイルが好きなんだよ。彼からは勝利へのどん欲な執念を感じるし。また、彼はリングを降りてもファイターとしてのカリスマ性を持っているからね。お互いに得意な打撃で闘ってみたい。もちろん打ち勝つ自信はあるよ。

——二人の壮絶な打撃戦はゼヒ見てみたいですよ。ただ、トーナメント2回戦以降の組み合わせを見ると、KID選手と闘うには決勝まで勝ち上がらなければなりませんね。

レミギウス　以前に、マエダさんは「ヤマモトと闘わせる」と言ってくれたんだけど（笑）。ヤマモトKIDとすぐに試合ができないのは残念だけど、僕は決勝まで行くし、彼も決勝まで来ると思っているから、「決勝で待っている」と彼に伝えてほしい。

——そして、2回戦では高谷弘之選手と当たることになりました。

レミギウス　タカヤは勝ち上がったメンバーの中でもさらに強い部類に入ると思うし、そんな強いファイターと試合ができることは嬉しいね。

——1回戦の高谷選手の試合はご覧になりましたか？

レミギウス　もちろん見たよ。ただ、前回の試合ではタカヤは持っている力の全てを出したわけじゃない。でも、彼の修斗でのビデオも見たし、本当に強い選手だということは知ってる。彼となら、いい打撃戦ができるんじゃないかなと楽しみにしてるよ。

——そして、順調にいけば、次の準決勝では須藤元気選手か宮田和幸選手とあたるわけですが。

レミギウス　準決勝の相手はどちらでもいいよ。勝者と闘うだけ。でも、繰り返すけど、タカヤは危険な相手だし、その二人よりもタカヤのほうが強いと思う。まずは2回戦にだけ集中していきたいね。

——また、反対のブロックでは、ZSTでしのぎを削った所選手が宇野選手と試合をします。

レミギウス　さっき決勝ではヤマモトKIDと試合をしたいと言ったけど、トコロにもぜひ勝ち上がってきて欲しいね。1回戦でトコロが勝ったときは本当に嬉しかったよ。というのは、前回来日したときに知ったんだけど、日本の関係者、ZSTのスタッフも、トコロを修斗世界王者の噛ませ犬だと思っていたみたいなんだ。僕はそれが許せなくてね。トコロはZSTの旗揚げ戦から闘ってきたライ

30・40代のハートをワシ掴み♥

REMIGIJUS MOREKE

レミギウス・モリカビチュス

バル。それと同時に、僕の友人でもある。だから彼の強さは、僕自身がよく知っているんだ。最近は打撃もどんどんよくなってきているしね。だから、トコロが勝ったときは、ノゲイラが勝つと思っていたすべての人に「ザマアミロ！」って言ってやりたかったよ。もちろん、僕は彼が普段通りの実力を発揮すれば、ノゲイラに勝つと思ってたさ。

——試合後に所選手に何か言葉を掛けられたんですか？

レミギウス　僕は日本語は上手くないのから、多くは話せなかったけど、おめでとうとだけ伝えたよ。トコロと僕はZSTで共に成長してきたわけだから、本当に感慨深いものがあるね。また、トコロに限らず、共に闘ってきて、そして僕を支えてくれたZSTの仲間やスタッフの存在は、僕にとっては非常に大きなものなんだ。このステージに来るチャンスを与えてくれたZSTには感謝してもしきれないよ。ZSTがなかったら、いまの僕はないわけだから。

——なるほど。ところで、同じくリトアニアBUSHIDOとZSTで活躍しているダリウス・スクリアウディス選手は『K-1 MAX』に出場しました。彼の試合はどうご覧になりましたか？

レミギウス　ダリウスはケガがなければ、コヒルイマキに勝っていたと思う。ヤスヒロとの試合もあのジャッジはおかしいと思うな。勝者はダリウスじゃないのか。

——あの結果には不満があるようですね。では、そのダリウス選手の仇討ちとして、『K-1 MAX』参戦も視野に入れているんですか？

レミギウス　K-1ルールにも、もちろん対応はできるけど、僕はMMAファイターだし、いまは『HERO'S』のほうがいいかな。

——たしかに、『HERO'S』のルールはコンセプトからして、膠着を誘発しないようにしたZSTルールと似ていますし、やりやすそうですね。そうなると、今年の1月の『ZST-GP2』を制したレミギウス選手としては、ますます負けられませんね

レミギウス　そう。僕はリトアニアBUSHIDOも背負ってるけど、ZSTも背負って闘っているわけだから。

——〝エース〟としての自覚があると。そういえば、試合後にドナタス氏がリングに駆け込んできて、あなたにリトアニアBUSHIDOのTシャツを着させた後、ZSTフラッグを広げてと、各関係者に気を遣いながら精力的に動く姿が印象的でした（笑）。ドナタス氏からはそのとき何か言われましたか？

レミギウス　もちろん、祝ってくれたよ。でも「休んでいるヒマはないぞ」って釘を刺されたけどね（笑）。

——ヒーローに休みはないと（笑）。それと、そのヒーローの凱旋を待っているZSTファンも多いかと思いますが、今後も引き続きZSTに上がる予定ですか？

レミギウス　もちろん。ZSTは僕の故郷のようなものだから、上がり続けたいよ。もし、呼んでくれたらの話だけどね（笑）。でも、僕はまだヒーローじゃないよ。

——では、あなたにとって、そのヒーローとは何ですか？

レミギウス　僕の中には、ブルース・リーやマエダさんというヒーローがいるけど、自分がヒーローになるというのは、そうだな……それは武士道を実践して自分を見つけるということなのかな。

——ヒーローとは武士道を実践して自分を見つけることですか！

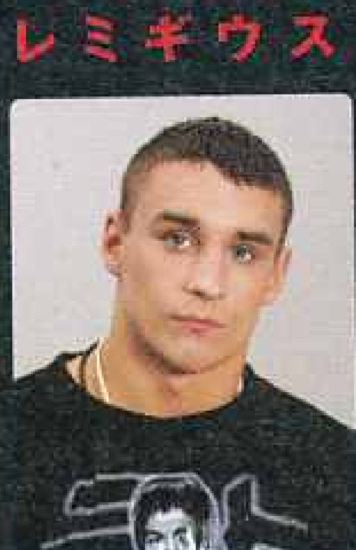
レミギウス　僕は自分は何なのか、そして自分はどこにいるべきなのかを常に意識して生きてるし、それをリング上でも体現したいなと思ってる。武士道が持っている忠誠心、自己犠牲、正義、誠実さ、謙虚さ、勇ましさ、恥の美学、自尊心、そして優しさ。それらに従って生きること、それこそが僕の目標であり、それが達成されたときに〝ヒーロー〟と呼ばれたいよ。

僕にとってヒーローになるとは、武士道を実践して自分を見つけること



2回戦の対戦相手となる高谷は、開幕戦であの欧州の強豪ヤニ・ラックスをなんと左フック一発で秒殺。レミーガとの試合は、今大会屈指のハードパンチャー対決となる。また所 vs ペケーニョに続く、ZST vs 修斗の団体の威信を懸けた闘いは、関係者が固唾を飲み込む緊張感のあるカードだ。

レミギウス・モリカビチュス



02年のZST旗揚げ戦で初来日。矢野卓見・今成正和組と対戦し、それぞれに足関でタップを奪われるが、その後、寝技の技術を身につけ頭角を表す。03年6月、ZST.3で所英男をヒザ蹴りで失神KOさせ、トップファイターの仲間入り。今年1月にはZST-GP2を制覇。その素顔は、複雑な家庭環境により思春期のほとんどの時間を路上で過ごした過去を持つリアル・ミスターストイック。愛読書は前田日明にもらった『五輪の書』。

「HERO'S」が生んだ
HERO'S 2005
ミドル級世界最強王者決定トーナメント
2大ニューヒーローインタビュー

所英男の27年



「お父さん、お母さん 僕もようやく 一人前に なれました。」



7・6『HERO'S ミドル級トーナメント一回戦』で、絶対不利と言われた修斗世界王者
アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラに勝利して以降、一躍“時の人”となった所英男(27歳)。
これまで『紙プロ』ではしつこいぐらい取材しまくっている所だが、“所クンのことを知りたい”という
熱烈なファンのため、再び徹底取材を決行。
改めてごく平凡なクリーニング屋の三男坊が“世界の所さん”になるまでを振り返ってみた。

聞き手／堀江ガンツ・松下ミワ　撮影／菊池茂夫　designed by Tani-Yan(Two three)



—今日はスーパースターの多忙なスケジュールの中、お越しいただいてありがとうございます（笑）。

所　いや、こちらこそありがとうございます！

—所選手には先月号もご登場いただいたんですけど、もう、反響がすごくてですね。特に女性読者の。

所　ほ、本当ですか!?

上原（ZST広報）　はぁ（ため息）。もうね、そういう反応のしかたが田舎の少年みたいなんだよねぇ。でも所選手は、（ファンに）ハガキとかイラスト描いてもらったりするのが一番うれしいみたいですよ。昨日もね、ほら。

子供の頃は中日ドラゴンズに入って、親にクルマとか、ダイヤ買ってあげるって言ってたんですけど……（苦笑）

所　あ、昨日ターザン山本！さんと吉田豪さんがやってる「格闘2人祭！」にゲストで出たんですけど、そこに中川画伯が来ていて。僕のイラストわざわざ描いてきてくれたみたいで、プレゼントしてくれたんですよ。すごいうれしかったです！

—『紙プロ』編集部の方にもハガキがぞくぞくと届いてますよ。

所　はぁー、凄いですね！

—〝所選手ってどんな人だろう〟、〝頭のてっぺんからお尻の穴まで知りたい！〟っていう声が多いんで、今回はそれに応えて、もう一度改めて所選手の生い立ちからじっくりお話をうかがえればと思います。

所　あ、よろしくお願いします！

—所選手は出身が岐阜県で、実家がクリーニング屋さんなんですよね？

所　はい。

—いまはご両親とお兄さんがそのクリーニング屋をされてるんですか？

所　そうですね。でももう、ほとんど兄が中心って感じみたいですけど。僕が子供の頃は、両親がバリバリやってたんですけどね。

—そのご両親のことですが、前号のインタビューで、ご両親のことを凄く尊敬していると言われていましたよね？　実際、所選手から見てご両親はどんな方なんですか？

所　僕の父親は中学を卒業した次の日からクリーニング屋をしたりして、一代で会社を作って頑張ってきた人なんで、普通に凄いなと。

—27歳にして、いまだ〝格闘フリーター〟と呼ばれてる息子からすると、相当凄いと（笑）。

所　本当ですよね（笑）。親としては「何やってんだ」って感じなんだと思いますけど。

—でも、そんなお父さんなら、結構子供のしつけにも厳しかったんじゃないですか？

所　僕、3人兄弟の3番目なんで、僕の頃になるとそこまで厳しくはなかったですけど。でも、一番上は相当厳しかったみたいですよ。

—その一番上のお兄さんというのは、所選手の……。

所　僕の5つ上です。えっと、小1のとき小6だったんで！

—それはそうですよね（笑）。でも男ばっかしの3人兄弟というのはなかなか争いごとが絶えないって言いますけど、所兄弟はどんな感じだったんですか？

所　ウチの場合は一番上の兄が〝絶対〟だったんで。だから、ケンカって言っても僕と真ん中の兄がたまにするぐらいで、あとはそんなに。

—真ん中のお兄さんと言えば、reversalショップ（所が教えているジム）の店長さんでもありますし、所選手とは凄く近いところにいますよね。本当に仲がいいと言うか。

所　とりあえず小さい時は真ん中のお兄ちゃんにずっとついて回ってました。習い事とかも、兄がやってるのを見て、うらやましくて習い始めたりして。

—ちなみに、どんな習い事をしてたんですか？

所　えっと、習字、公文、水泳、野球って感じです。全部、中途半端なんですけど。

—結構たくさん習ってたんですね。その中でも野球はずいぶん長くやってたみたいですけど、それはいつぐらいから始めたんですか？

所　小4からです。

—その頃の夢はやっぱりプロ野球選手だったりしたんですか？

所　はい。とりあえず中日ドラゴンズに入って、親にクルマ買ってあげるとか、ダイヤ買ってあげるとか言ってたんですけど……まさかこの歳まで親の世話になるとは（笑）。

—ハハハハ！　じゃあ、前回のノゲイラ戦での勝利を機に何かご両親に買ってあげたりしたんですか？

所　いやぁ、もうちょっと……（苦笑）。やっぱ順番なんで、真ん中のお兄ちゃんがやってないのに僕がやったら失礼だと思うんで（笑）。

—全然失礼じゃないですよ（笑）。子供の頃はプロレスとか、格闘技とかには興味はなかったんですか？

所　小学校の時は全日とか好きで、テレビで天龍さんとか応援してました。それも真ん中の兄の影響ですね。

—逆に自分がプロレスラーとか格闘家になりたいとは思わなかったんですか？

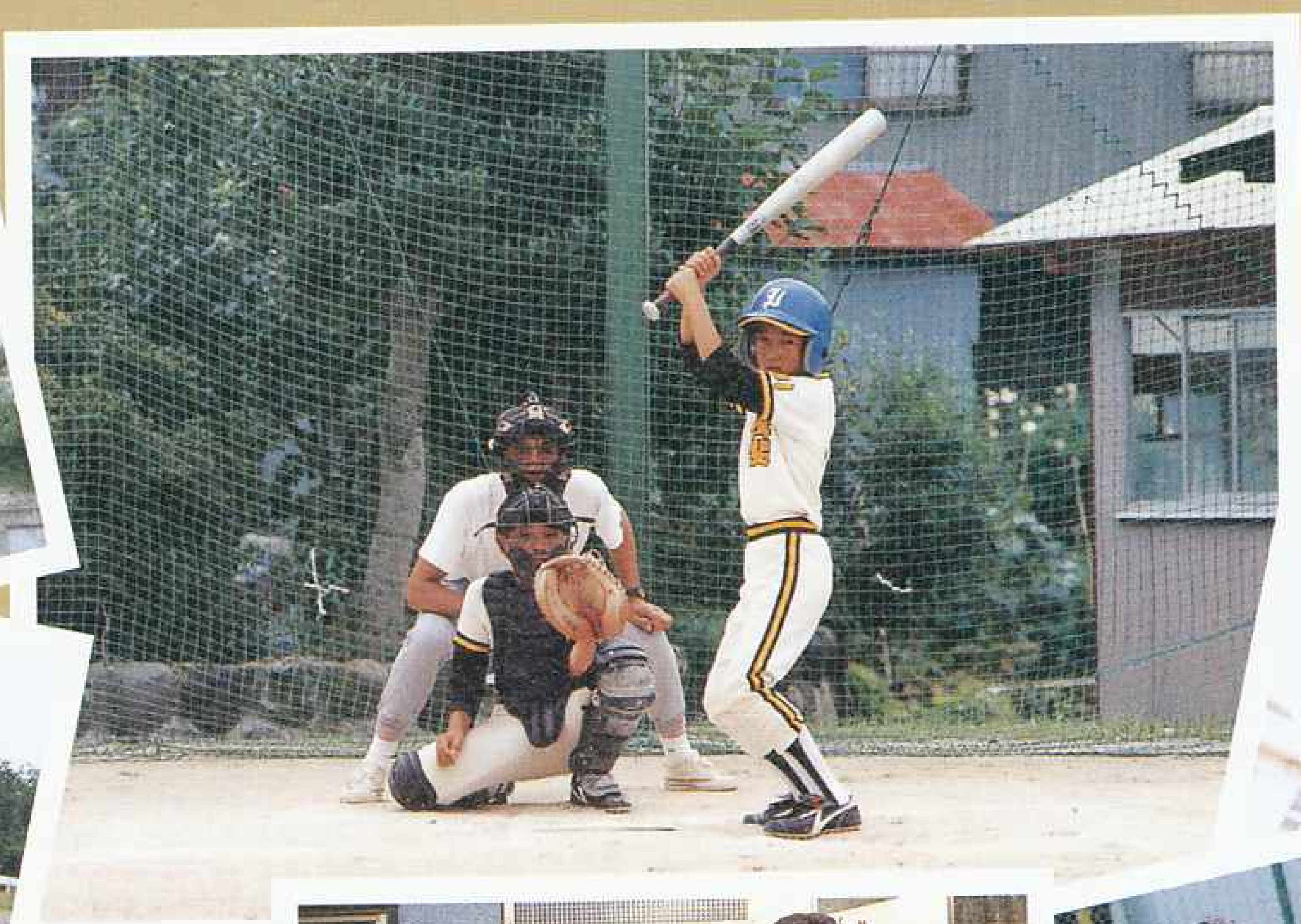
所　まったくなかったですね。当時はプロ野球選手になれるもんだとばっかり思ってたんで。でも、中学ぐらいからリングスの試合とかも見て

HIDEO TOKORO

所英男の27年

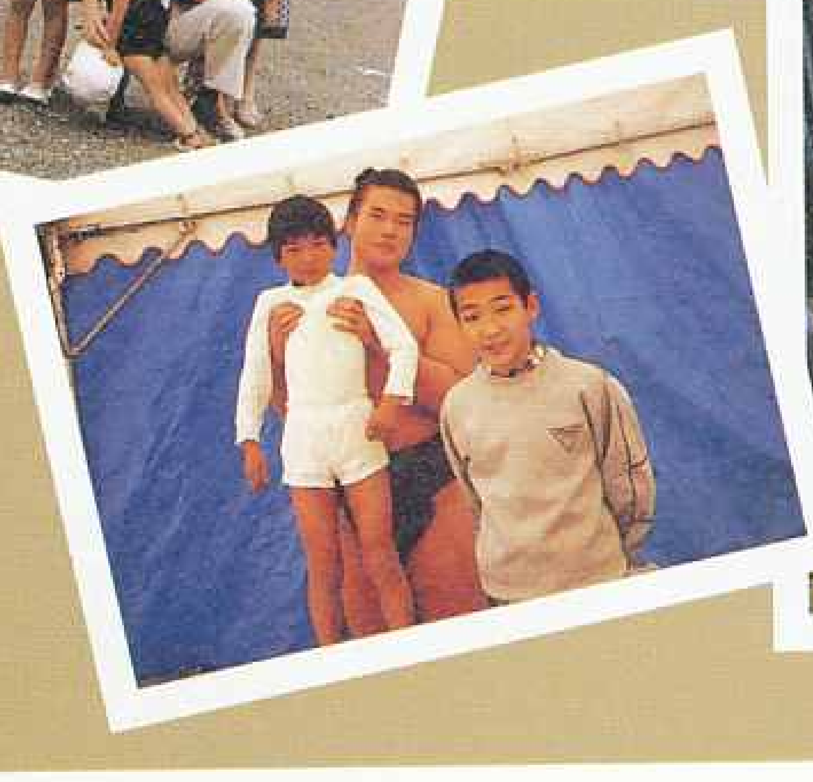
ましたよ。
――本格的にリングスを見るようになったのはいつ頃なんですか？
所　東京出てきて3年経ったぐらいだから、99年からですね。21歳の時です。それまでは普通にWOWOW見たり雑誌を立ち読みしたりとか。だからもう、本当に不思議なんですよね、いまの自分が。
――それじゃあ、もともと格闘技をするために上京してきたという感じじゃないんですね。
所　あ、違います。本当は高校卒業して、野球で大学行きたかったんですよ。高校のチーム自体は弱かったんですけど、僕個人はうまいと思ってたんで。勝手に県のトップクラスだろうと思ってたんで、自信を持って大学のセレクションを受けたんですけど、いざ周りを見たら僕とは次元が違うなって（笑）。
――そこで長年の夢が途絶えてしまったわけですね（笑）。
所　で、野球の道も断念して。そん時は就職活動も何もしてなかったんで、まあちょっとフリーターでプラプラしようかなって思ってたんですよ。でも、ウチの親ってクリーニング屋の知り合いとか結構いるんで、そのコネで東京のクリーニング屋に就職できたんですよね。白洋舎の子会社なんですけど。だから就職してからは昼間クリーニング屋で働いて、夜はクリーニング専門学校に通ってっていう生活になって。
――それは親の仕事を継ぐために修行に出されたという感じですか？
所　まあ、継ぐっていうか、たぶん親としては息子が何にもやんないのはダメってことだったと思うんすけど。
――なるほど。でもクリーニングの専門学校というのは正直あまり聞いたことがないんですけど、本当にいわゆるクリーニングを専門に勉強するんですよね？
所　そうです、そうです。でも、僕も通ってて何のことだかさっぱりわからなかったんですけど（笑）。
――ハハハ！
所　そのあとに親会社に引き抜かれてって感じなんですけど。
――え？　親会社に引き抜かれたっていうのは、クリーニング職人としてはかなり優秀だったんじゃないんですか？
所　いや、草野球頑張ったからです（笑）。
――草野球？　それはどういうことですか（笑）？
所　いや、最初に働いてた会社が3年契約だったんですよ。でもそん時に、その親会社である白洋舎の草野球チームに入ってて。結構僕頑張ってたんですよ！
――白洋舎野球部で（笑）。
所　で、それまで務めてた会社が、入ってもう3年経ったんで、辞めるってなったんですけど、その時に「お前が必要だ！」ってことで引き抜いてもらったんです。
――クリーニングじゃなくて、野球部に必要だっていう（笑）。
所　そうです（笑）。
――ちなみに所選手はどこを守ってたんですか？
所　キャッチャーですね！　ちょうどいなかったんですよね。
――重要ですもんね、キャッチャーは。でも、そこから格闘技をやるようになった経緯っていうのは？
所　リングスのチケットを山本喧一さんのジム（パワー・オブ・ドリーム）



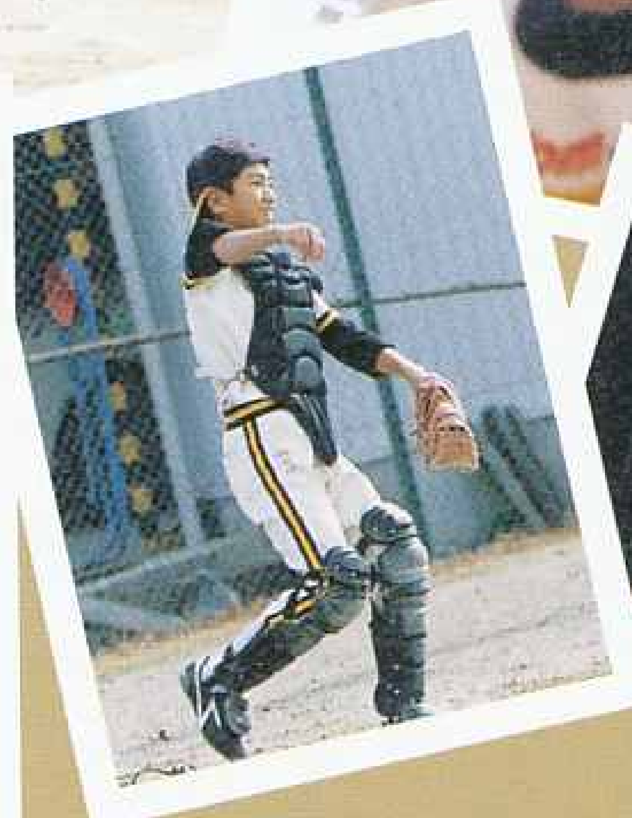














に買いに行ってたんですよね。その時「やってみない？」って声かけてもらって、それがきっかけですね。

——それはいつぐらいの時ですか？

所　前田さんの引退試合の前ですね。国別対抗戦をやってた時期で。

——ということは、ディープなリングスファンの間では伝説になっている〝ＦＮＲカップ〟を見てたわけですね（笑）。ジムの人に誘われたというのは、ヤマケン選手直々に誘われたんですか？

所　いや、声を掛けてくれたのはいまＰＲＩＤＥのレフェリーやってる大城さんです。でも、内弟子じゃなくて、単なる会員としてやってみないかっていうやつです。

——じゃあ、格闘技の出発点は、まさにそこにあったわけですね。

所　そうですね。で、やり始めたら、もう面白くてたまんなかったです。最初の3ヶ月ぐらいが一番楽しかった。

——そんな早い時期にピークがきてたんですか（笑）。それは一体どんな練習してたんですか？

所　最初のうちはスパーリングをやっちゃダメだったんですよ。山本さんが認めた人だけ山本さんとスパーリングができるっていう暗黙の決まりがあって。だから、スパーリングするためには毎日通わないとダメだったんです。

——それってどうやったら認めてもらえるんですか？

所　毎日通って、山本さんの技が理解できるようになって、ある程度できるようになったら初めてスパーリングやらせてもらえるんです。

——じゃあ、いわゆる型練習ばっかりってことですよね？

所　でも、それが逆に面白くてたまらないっていう。例えば腕十字の反復練習とかなんですけど、「格闘技ってこういうことなのか」って悟ってたつもりでした。ホント、バカ……ですよね（苦笑）。

——ハハハハ！　ちなみに、パワー・オブ・ドリーム名物と言われる自由が丘の治安を守るパトロールには参加しいたんですか？（笑）。

所　いや、僕は内弟子じゃなかったんで。それは内弟子の人たちが。でも、自由が丘で山本さんが酔っぱらってタクシーのボンネットの上に乗っかってるのは目撃しましたけど（笑）。

——治安を乱してるじゃないですか！（笑）。

所　もともと治安はいいところなんですけどね（笑）。

——パワー・オブ・ドリームに通ってたころは、まだ会社に務めてたんですよね？

所　はい。だから、練習で疲れて仕事中に会社のトイレで休んでたりしてたんで、その頃から結構、「アイツはダメだ」みたいになり始めましたよね（笑）。やってた仕事が流れ作業だったんで、いないと困るって怒られました。

——そりゃ、迷惑な話ですよね（笑）。

所　野球ももう行かなくなって。そっちもどんどんダメな男になっていって。

——でも、そのおかげで格闘界への道が開けていったというのもありますよね。

所　そうですね。いまとなってはもう、白洋舎の人も凄い認めてくれてて。飯食いに行こうよ、とか言ってくれたりして。栃木から試合見に来てくれる人もいるんですよ。

——そこまで夢中になったってことは、最初からプロを意識してたってことですか？

所　いや、始めはアマチュアバトラーツで優勝するのが目標でした。その頃はいまみたいに大会がそんなになかったんで。でも、だんだんクラブコンテンダーズ（01年8月）が始まって、リングスの軽量級が始まって（01年9月）。だからアマチュアバトラーツで優勝してからですね、プロを意識しはじめたのは。

——アマチュア時代に倒した大物とか、誰かいたりするんですか？

所　あんまいないですね。修斗のプロ選手になった人は何人かいたみたいですけど。

上原　その頃から運が良かったんですよ。

所　本当、いまだったら絶対優勝してないだろうなって思います（笑）。



リングスのチケットを買いに行ったときに会員にならないかと誘われ、月謝を払って毎日通いつづけたジムがヤマケンのパワー・オブ・ドリーム（POD）。ここが所のシンデレラストーリー（？）の出発点だ

——プロになった当初は生計はどうやって立ててたんですか？

所　その頃はまだ働いてたんで、白洋舎の寮に入れてもらって、光熱費入れて月５０００円で暮らせたんですけど。本当、いまも住みたいぐらいです（笑）。

——ハハハハ！　じゃあ、仕事を辞めたのは？

所　ちょうど『ＺＳＴ』が旗揚げした時です。それが自分の中でもターニングポイントになったというか、ちょうどプロで結果出そうと考えた時なんで。

——そのことはご両親は知ってたんですか？

所　最初言わなかったです。でも、やっぱりなんか会社から直接連絡があったみたいで。まあ、自分の決めたことだからって、半分呆れられた感じでしたけど。三男って得だなって思いましたね。

——じゃあ、いまは雑誌とかもやっと送れるようになったという状態ですね。

所　そうですね。

——ちなみにうちの前号も送ってもらったんでしょうか？

所　いや、『紙プロ』だけは送ってないです！（キッパリ）。

——ハハハハ！　理由はだいたい想像できますけど、何でですか⁉

所　初めて『紙プロ』に載ったときにヤッターと思ったんですけど、これは内容的に実家には送れないなと（笑）。

——よりによって、〝あの〟リトアニア大会後のＺＳＴ四兄弟座談会でしたもんね。矢野さんが所選手の性癖と現地での行動を暴露しまくったという（笑）。

HIDEO TOKORO

所英男の27年

レミギウスに負けた後、中原(太陽)戦で負けたら、格闘技をやめるつもりでした

所　だから一回も送ってないです。

――ところで、所選手は格闘技を断念しようと思ったことはないんですか?

所　いやぁ、ありますよ。やっぱレミギウスにやられて(03・6・1『ZST3』)、そのあと中原(太陽)クンとの試合(03・9・7『ZST4』)が決まった時には考えましたね。前にクラブコンテンダーズでボロボロにやられてたんで。負けたら辞めるぐらいの気持ちではいました。

――でも、結果的には素晴らしい一本勝ちでしたね。

所　良かったですよ。

――いまだと信じられないかもしれませんけど、当時は下馬評では中原有利っていう声が多かったですもんね。"第2の宇野薫"みたいな感じで売り出されていたし。

所　テレビ解説の熊久保さんもずっと「中原クンの動きを見てください!」とか言ってて(笑)。

――ハハハハ! でも、所選手はそういう状況になると逆に燃えたりするんですか?

所　そうですね。相手に有利って言われてた方が気がラクっていうか。いい感じになります。だから、中原クンに勝って、大石(真丈)さんに勝って(03・11・23『ZST GP1回戦』)、ようやくって感じで。あの頃は出た試合ぜんぶ奇跡扱いされて(笑)。

――失礼な話ですよね(笑)。でも、よく考えたら所選手は修斗王者は2人破ったことになるわけですよね(※大石は第2代修斗フェザー級王者、ノゲイラは第4代修斗ライト級王者)。



所英男、格闘家としての生死をかけた03・9・7『ZST.4』中原太陽戦。が、中原のパンチに飛びついた所は、そのままグラウンドに引きずり込むという強引な腕十字で見事一本勝ち! 中原完全有利の下馬評を覆した

©ZST



所の修斗王者キラー街道は03・11・23『ZST・GP一回戦』の大石"JACKAL"真丈戦からスタート。両者、一時も止まらぬ見事な攻防で観客を湧くに湧かせ、最後は所が腕十字で一本。周囲から"奇跡"扱いされた試合のひとつだ

所　そうですね。あんまり言わないようにしてるんですけど、次の試合で3人目かなって(笑)。

――あ、そういえば、宇野選手も元ウェルター級の修斗世界王者ですもんね。これで勝ったら3階級制覇じゃないですか!

所　そうですね。3階級のチャンピオンと闘うのって僕だけだと思うんですよね。だからすっごいありがたいというか、恵まれてます。

――ホントですねぇ。所選手ご自身はどのあたりから「俺、いけるな」って思いはじめました?

所　正直、『ZST・GP1回戦』で大石さんに勝って、雑誌で大きく扱ってもらえたんですよね。これはもう、僕もいくとこまでいったなと(笑)。

――でも、まさか次の試合で1分でねぇ……。

所　あんなに早く負けるとは思いませんでした(04・1・11『ZST・GP2回戦』TAISHO戦)。でも、それもタイミングもよかったと思います。ちょっとテングになってたところをTAISHOさんにはよくしていただいて(笑)。もし、あそこでリッチ・クレメンティまで行ってたら体重差で負けたからって言い訳できたでしょうけど。

――そしてそのあと『GT-F』(フェザー級のグラップリング・トーナメント)で優勝してきたわけですもんね。では、いよいよ次の『HERO'S』では修斗王者3人目、宇野選手との試合ですけど。

所　宇野さんとあんな大舞台でできるなんて、月謝払ってジムに通ってた頃からは考えられないですよね。

――所選手がジム生だった頃、向こうはすでに修斗のトップだったわけですからね。

所　僕も観に行ったりしてましたから、宇野さん目当てに。サインももらいました(笑)。

――ハハハハ! でも宇野戦って聞いて正直どう思いました?

所　「うわっ、やだな」っていうのが正直な感想です。最初、レミギウスと宇野さん以外だったら誰でもいいと思ってたんですけど(苦笑)。

――なんで宇野選手は嫌だと思ったんですか?

所　宇野さんは結構動くタイプで、体力もあって。ちょっと僕と(スタイルが)かぶってる部分があるんで、それでいて体格も僕より大きいし。一つひとつの動きで負けて、最後には向こうのペースになっちゃうかなって心配なんですけど。よっぽどビックリするようなことしないと。

――相手はしかもシードですからね。

所　まあ、宇野さんとか須藤さんとかが1回戦やってってもきっと勝って

HIDEO TOKORO

所英男の27年

るだろうから、そのへんは何とも思わないですけど。

―決定前は「須藤選手とやりたい」と言われてましたが、それはどういう理由だったんですか？

所 単純に同い年ということと、あと尊敬できるし、試合もコメントも面白くて、この人は凄い人なんだって認識が勝手にあるんですよ。

―なるほど。ではいまは宇野戦に向けて結構追い込んでる時期なんですよね？

上原 昨日は前田さんと一緒に特別練習したんでしょ？

所 いや、練習はしてないんです。前田さんの自宅に呼んでいただいて。

上原 うわっ。そりゃ凄いね。所選手は前田さんの家に週1回通ってるんですよ。僕なんかより行ってますからね。

所 いやぁ。でも前田さんの前じゃ緊張して何もしゃべれないですよ。

上原 前田さんは家が近いって知ってたんで、すぐ呼び出してくるみたいですよ（笑）。

所 ……（無言で上原を見る）。

上原 バイクとか買ったらすぐ前田さんに報告するからね、「所はいつでも駆けつけられます」って。

所 いやぁ（苦笑）。

一同 ガハハハハ（爆笑）！

所 でも、この間、前田さんのご自宅にお邪魔したとき、山本（宜久）さんと初めてまともにお話させていただいたんですけど……あんな面白い人だと思いませんでした（笑）。いろいろ話ができてうれしかったです。

上原 今度『紙プロ』さんで対談とかお願いしたら？

―じゃあ、次勝ったらやりましょう！「前田イズム伝承対談」で。それに最近ゴールドジムで田村さんと会ったみたいですね。メールアドレス交換したらしいですけど。

所 そうなんですけど、いまだに返信がないんです（笑）。送れてるかどうか心配なんで、それだけ確認したいんですけど。

―じゃあ、誌面でちょっとアピールしときましょうか（笑）。

所 「届いてます」の一言でもいいんで。ぜひ返事ください！

―そういえば、前田さんは8月20日にリングス・エカテリンブルグのオープニング・イベントに行くらしいですけど、〝小さなヴォルク・ハン〟としては、ロシアに行かなくていいんですか？

所 いや、行きたいんですよね。

上原 行けばいいじゃん。それだけのギャラもらってるんだから（笑）。



ところ・ひでお 1977年8月22日、岐阜県揖斐郡出身。STAND所属。170cm、65kg。本拠地である『ZST』には旗揚げ戦から参戦。7・6『HERO'Sミドル級トーナメント一回戦』で地上波デビュー。ここで現修斗ライト王者ペケーニョから劇的な勝利をおさめ、一躍、時の人に。二回戦の宇野薫戦ではさらにその名を轟かすことができるのか!?

あんまり大きな声じゃ言えないんですけど今度の試合で勝ったら、修斗の世界王者3階級制覇になるんですよね（笑）

所選手に飛行機代出してもらってみんなで行きましょうよ！

所 え!? 僕が払うんですか？

上原 そうだよ。いままでどれだけ『紙プロ』さんが取り上げてくれたことか。

所 いやぁ、本当にそうですよね。僕、ヴォルク・ハンさんには「ハンさんのテーマ曲使ってもいいですか？」って聞きたいんですけど。

―いや、それは勝手に使ってもいいと思いますよ。でも、前田さんが何と言うか……（笑）。

所 ちょっと前田さんに勇気出して聞いてみます！

―じゃあ、次の『HERO'S』ではヴォルク・ハンのテーマ曲で。

所 それ使ったら負けられないんで、頑張ります！

―いろいろ取材が殺到してるみたいですけど、練習は大丈夫ですか？

所 そのへんは上原さんが本当にうまいことやってくれてるんで。まあ、これがプロの世界なのかなって、しみじみと噛み締めてますけど（笑）。でも、楽しいです。

―あ、楽しいですか。

所 行くとこ行くとこチヤホヤしてもらってるんで（笑）。

―やっぱりチヤホヤしてもらいたいんですね（笑）。

所 もっとされたい（笑）。なんで、年末目指していろいろ頑張りますよ。今年の最低限の目標は年末ですから。絶対出るって決めてるんで。

―じゃあ、本当に次で勝つしかないですね。

所 勝つか、最高の試合してワンマッチでやるかどっちかです。

―でも大晦日にそこまでこだわるのはどうしてですか？

所 いや、格闘家としたら最高の舞台なんですよ、大晦日って。去年までは「6」と「8」をチャンネル変えながら観ていた方なんですけど（笑）。今年はそこで最高の試合して『ZST』の旗をふります！

―でも、『ZST』の旗振られても、視聴者には何のことだかさっぱりわからないかもしれないですけど（笑）。

所 あー……、でもやります！

―でもやりますか（笑）。どちらにしても次の試合、そして年末の大会の出場を期待してますので、ぜひ頑張ってください！

所 はい！ ありがとうございます！

『ZST BATTLE HAZARD 02』

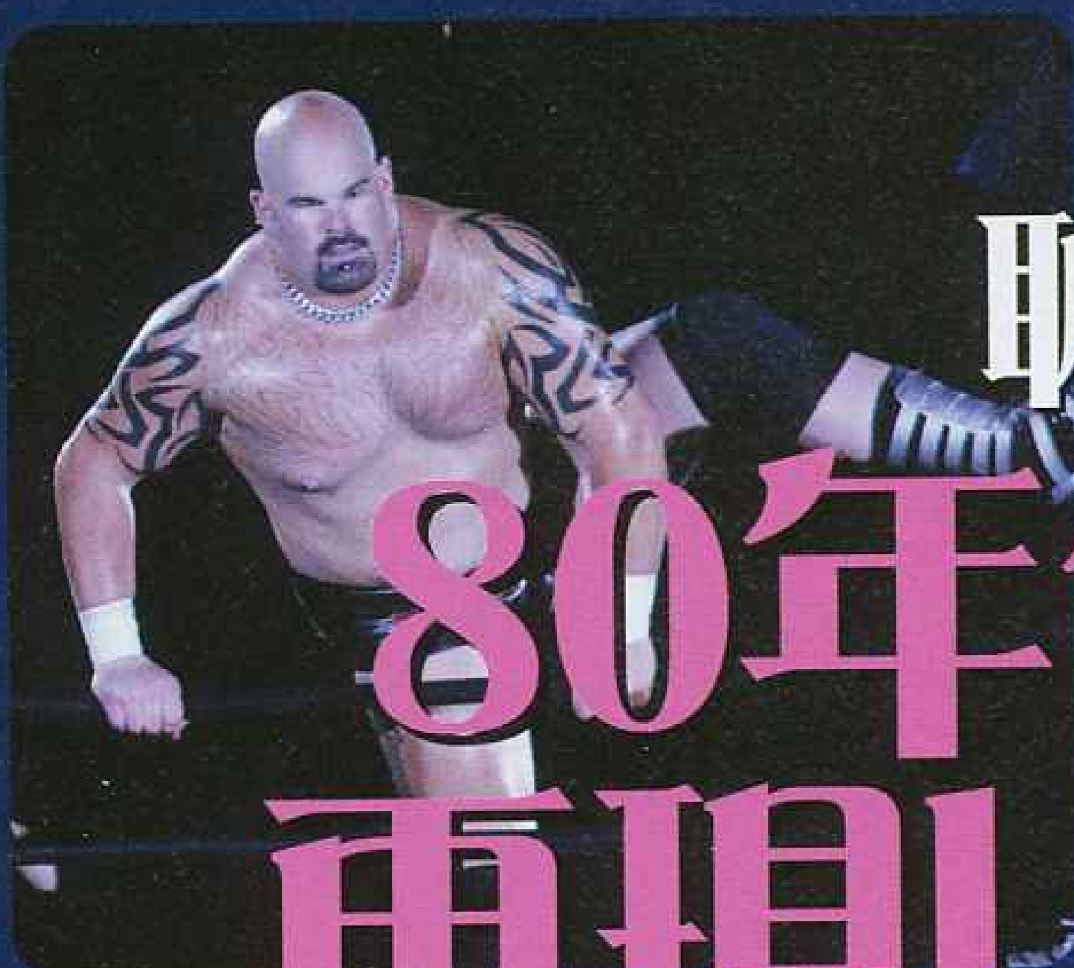
ZSTにヤノタクが帰ってくる!

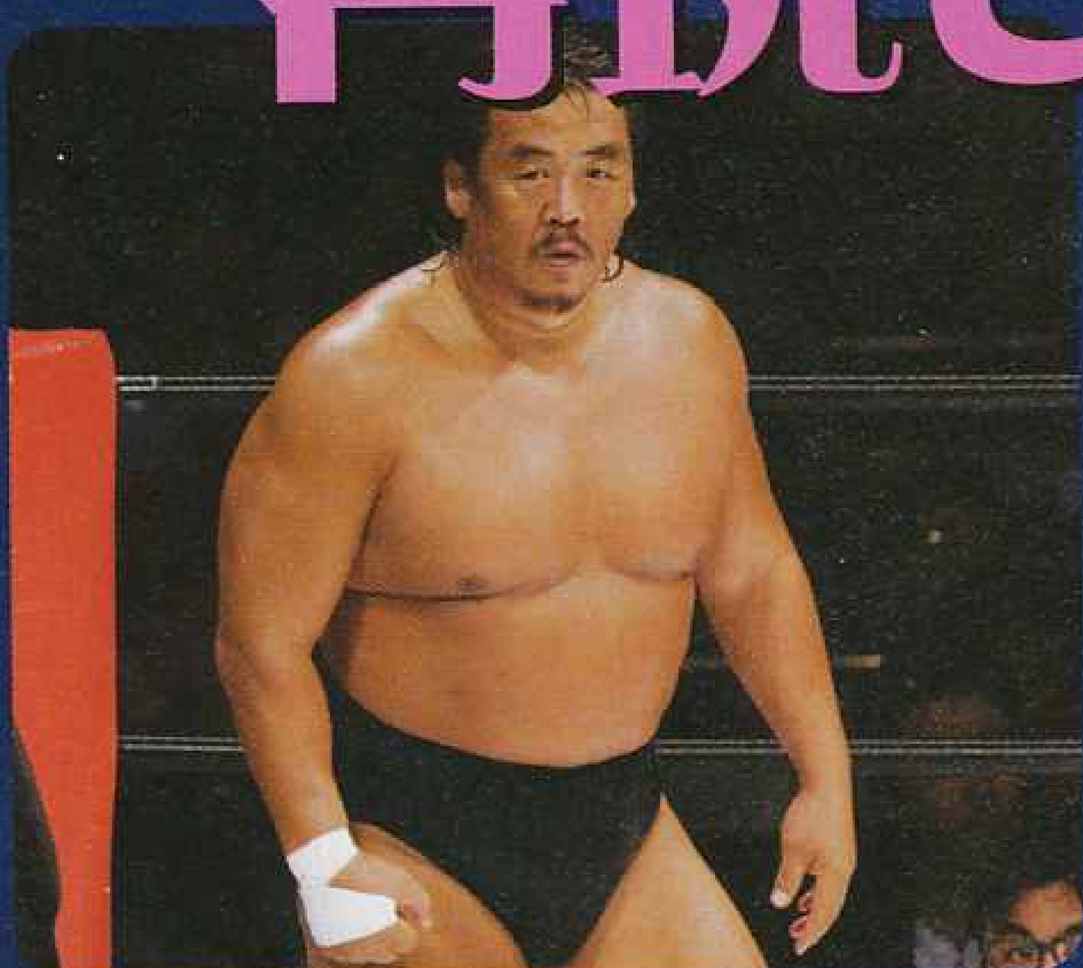
▼出場予定選手
矢野卓見・大石真丈組 vs X
9月10日（土）
台場 Zepp Tokyo

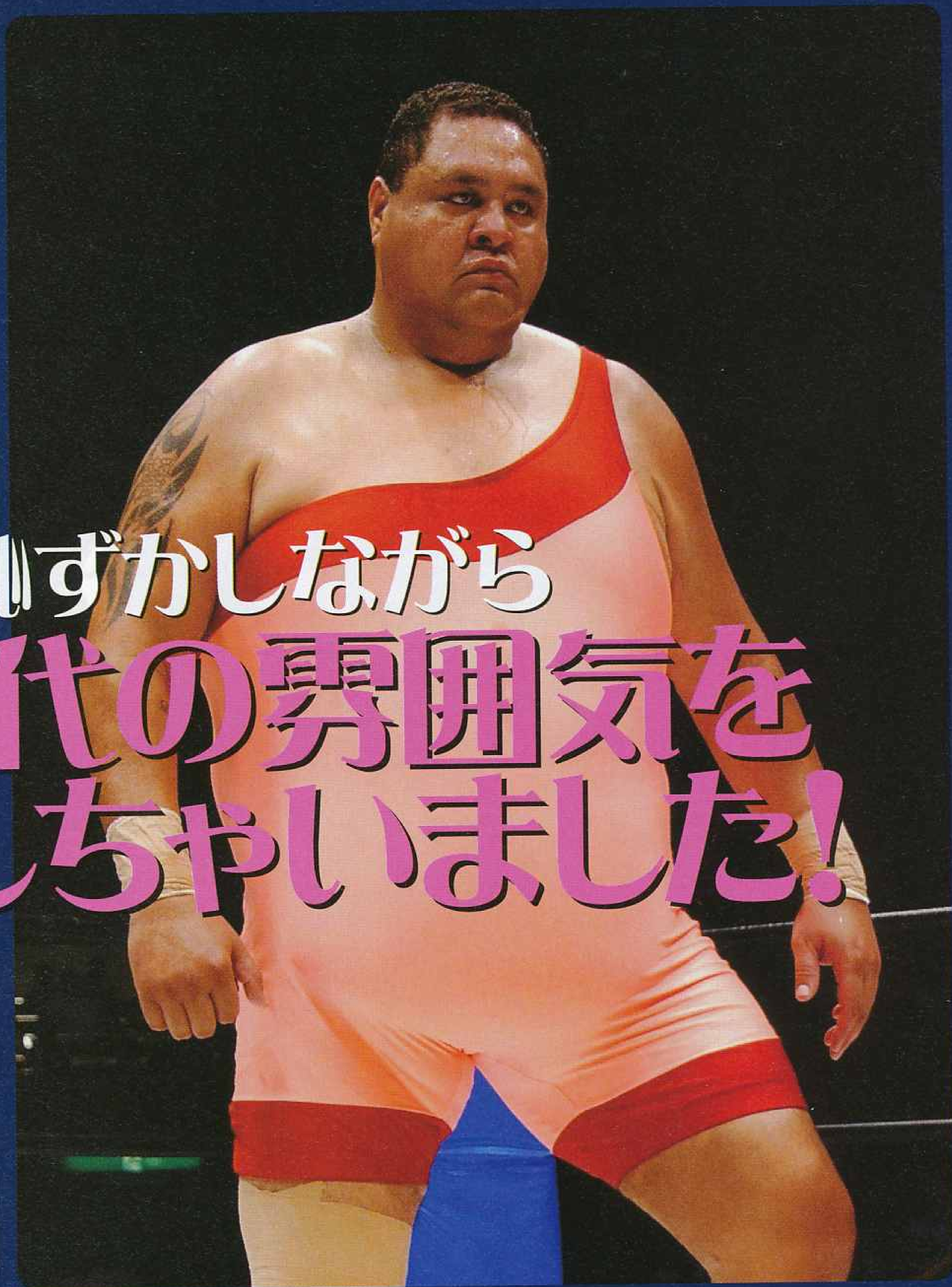
●試合開始 17:30（開場16:30）
●入場料 VIP15000円、SRS8000円、S6000円、A4000円
※当日全席500円増
●発売 7月30日（土）10:00～
●発売所 AM
チケットぴあ Pコード:594-770
●お問い合わせ ZST:03-5388-0707

30・40代のハートをワシ掴み♥









恥ずかしながら 80年代の雰囲気を再現しちゃいました！









帰ってきたスーパーイベントを大総括!!

W-1座談会

司会／ジャン斉藤　撮影／平工幸雄　designed by matsu（TwoThree）

——え〜、今日は8・4に行われた、新生『WRESTLE—1』（以下『W—1』）について、思う存分語っていただきたいと思います。出席者は、編集部から堀江ガンツさん、ビッグマウス番として松澤チョロさん、そして『ハッスル』のプロデューサーでもある大統領（山口日昇のアダ名）です。前号で7・6『HERO'S』と前田日明をたっぷり語り尽くした『Y談』が、あまりにも大反響だったので、大統領は2号続けての登場です！

山口　……前号に俺は出てない。『Y談』なんか載せてない！

ガンツ　おかしいですねぇ。収録はしたと聞いていたんですけど、なぜかページになってなかった（笑）。

山口　大反響があったっていう物言いは、突如「ボツにする！」って言い出した俺への当てつけ？

——いやいや、デザイナーや印刷所の方から、それはそれは本当に大反響だったんですよ。前号の最終締切をとっくに過ぎた7月15日21時34分までは『Y談』のページはたしかにあったじゃないですか？

山口　知らないよ。その時間に俺は編集部にも印刷所にもいなかったもん（かわいらしく）。

——たしかに存在したんです！

山口　でも載せたくなくなったんだから仕方ないでしょ。君たちの名誉のために理由は言わないけど、それは俺のせいじゃない！（キッパリ）。

——だから「この期に及んでページ差し替え？　殺すゾ!!」という大反響が各方面から編集部にあったわけですよ！

山口　あ、そういう大反響ね。

ガンツ　賢明な読者諸兄は、どこがどう差し替わったのか、そしてなぜ差し替わったのかを、ぜひ推理してください（笑）。

山口　どんな〝謎かけ〟なんだよ（笑）。そんなことより、早く長州vs健介という〝大・謎かけプロレス〟があった『W—1』の話をしようよ。あ！　差し替わったといえばさ、その『W—1』は、旧『W—1』とはずいぶん差し替わった感じがあったね。大会自体の評判はどうなの？



『W-1』のオープニングを飾ったスペシャルマッチはテリー＆マスカラス（vs中嶋＆本間）。二人のテーマ曲「スピニングトゥホールド」「スカイハイ」に大声援！

チョロ　関係者やネットの評判を聞くかぎりでは、「よかった！」と言ってる人が多いですよ。

——旧『W—1』にあった無駄に満ちたエネルギーが薄まっていたことも、ファンやマスコミが歓迎しやすかった要素だと思うんですけど。

山口　無駄に満ちたエネルギーというよりも、旧『W—1』はエネルギーに満ちた無駄が多かったから、それで反発を喰らっちゃったよね（笑）。でも今回は、その旧『W—1』をイメージしたり期待していたファンは少なかっただろうね。どちらかといえば、『真夏のプチ・オールスター戦』というか、もしくは上井さんプロデュースによる新イベント旗揚げという受け取り方でしょ。

ガンツ　K—1主導のわりには、旧『W—1』とは違って、内容は非常にプロレスファン向けで、いまだに生き残ってるしぶといファンには文句のない興行だったんじゃないですか。

山口　うん。じゃあ「文句のない興行」という答えが出たんで、本日はこれにて終了！

——い、いや、まだ大統領の率直な感想を聞いてないんで。

山口　俺の感想？　率直に？　今日はマスコミ的見地からズバッと言っていいわけ？

——ど、どうぞ！

山口　まぁ、ミルコ・クロコップ流に言うなら、「確たる自信」も「大きな勘違い」も見当たらない、方向性的にも内容的にも、ごくごく普通のプロレスだったね。

——普通のプロレスですか！

山口　旧『W—1』の第1回目（03年11月17日・横浜アリーナ）は、従来のプロレスとは違った観点から、新たなモノを創造することがプロレスの発展に繋がるという「確たる自信」もところどころに垣間見えたよね。で、チャレンジするところが違うだろ？って突っ込みたくなったり、良識派からすれば怒りたくなる「大きな勘違い」も随所に見られた。その両方があったから波紋を呼んだわけでしょ。

——良くも悪くもマット界に波紋を投げかけるイベントではありました。

山口　でも、今回は「確たる自信」も「大きな勘違い」も感じられない。「メンツのわりには事件性のないイベントだなぁ」という感じを受けたよね。これは別に事件を起こさなきゃいけないとか、批判として言ってるわけではないんだけど、なにかマニアに向けての〝試食会的〟な雰囲気が漂ってた気がするね。

ガンツ　大会前に武藤敬司もインタビューで言っていましたからね。「前の『W—1』というのは、いかに世間にプロレスを届かせるかという勝負で、かなり大変だったけど面白かった。でも今回は俺の意志が入ってない」と。つまり、今回は『W—1』という名前だけど、ターゲットは前回と真逆で従来のプロレスファン。もっとわかりやすく言うと、専門週刊誌をいまも熱心に読んでいる年期の入ったマニア層に向けたプロレスなんですよね。

山口　その層に向けたイベントならばなおさら、いつでもどこでも問題にされる試合のクオリティという部分では、秋山準vs柴田勝頼戦以外は平均点以下じゃなかった？　俺にはそう見えたけどなぁ。

ガンツ　でも……。

山口　「でも」……なんだよ！（笑）。あ、もしかしたらガンツ、無理やりホメようとしてない？　ま、いいところを見つけてホメるのは実にいいことだけどね。

ガンツ　いや、プロレスならではの面白さは各所に散りばめられてい

座談会出席者



本誌鬼畜編集長 **山口日昇**

前号の「Y談」幻のプロフィール写真だった、突然誰かさんと一緒に編集部に遊びに来た小池栄子と2ショット。山口はそれ以来、編集部に顔を出すたびに、「♪編集部ぅ〜で〜コイケエイコッ♪」と鼻歌交じりに、編集部員の冷たい視線を気にせず自転車を漕ぐ真似をする



本誌ジョシカク担当 **松澤チョロ**

リキプロ立石代表の結婚式でなぜか新郎と濃厚な接吻をする本誌ジョシカク担当。「神聖な場所でこんなことを!」と東城えみAV騒動ばりの掲載差し止めの動き……はまったく入っていない。ちなみに立石代表は7月28日に男の子を無事出産!　おめでとうございます!!



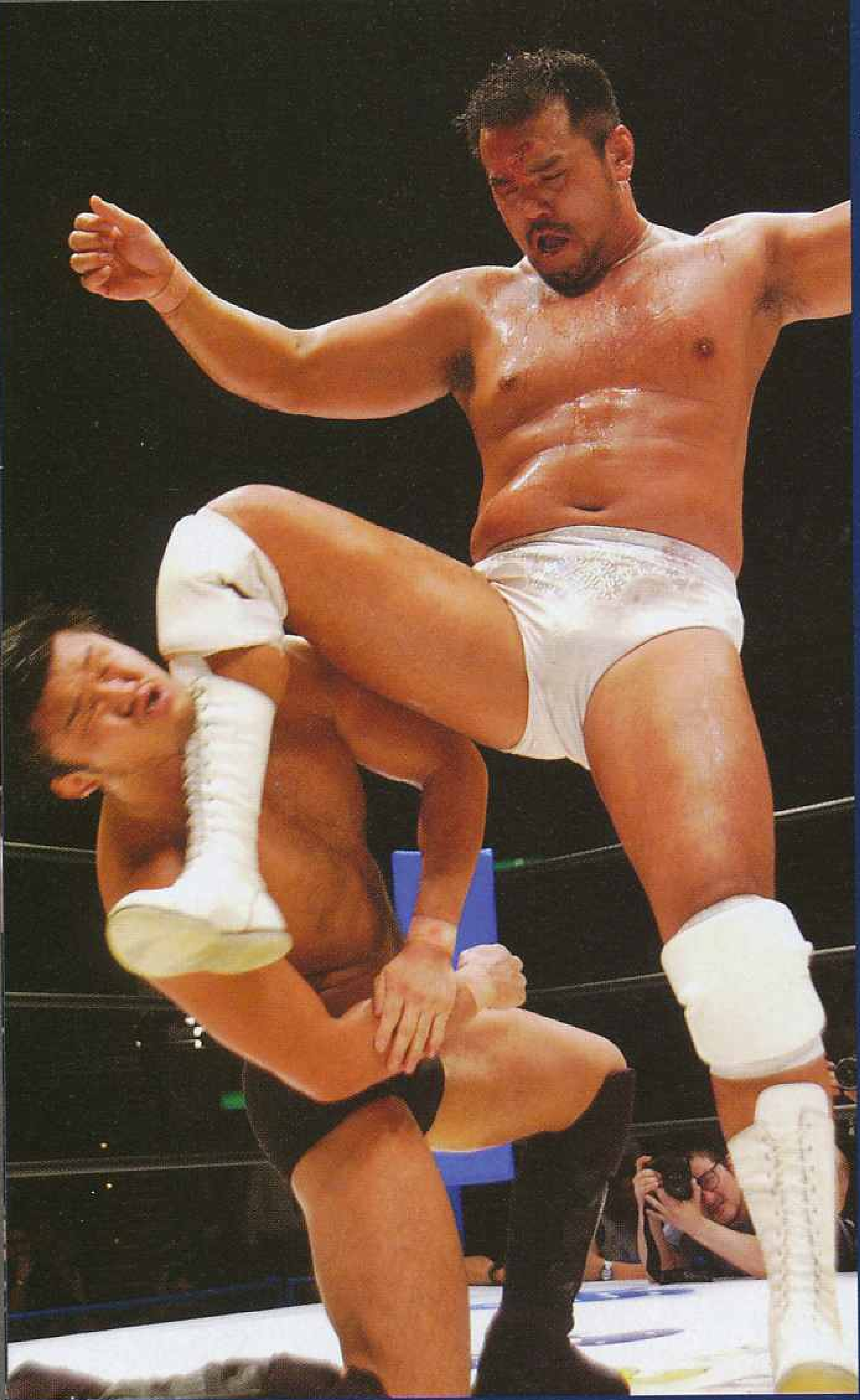
本誌現場監督 **堀江ガンツ**

ロシア、クロアチアと精力的に海外を飛び回る本誌現場監督。この号が出る頃にはハリトーノフも出場するリングス・ロシア大会取材のため再びロシアへ。同大会には前田日明がゲスト来場するが、はたして堀江ガンツは生きて日本に帰ってこれるのか?（隣は松林貴）



永久電機調査班 **ジャン斉藤**

「この写真も載せてくれなきゃ、今回の原稿もボツ!」ジャン斉藤のプロフィール写真を強引に吹っ飛ばした山口日昇。取材のため編集部を訪れたインリン・オブ・ジョイトイ様と社長室で2ショット。ささやかな抵抗として浮かれ度120％の写真を掲載してやった



"孤高の純プロレス王国"NOAHより、なんと秋山準が『W-1GP』に電撃エントリー！ 柴田勝頼を相手に大会MVPと評価できる活躍をみせた。『W-1』を主導するFEGとNOAHの交流は今後も気になるところだが、ボブ・サップ、曙のNOAH参戦は十分ありえるだろう。ぜひ永源遥vs曙が見たい!!

たと思うんですよ。ボクは秋山vs柴田みたいな試合は別に好みじゃないんですけど、長州vs健介みたいな裏をいろいろ勘ぐりたくなるような試合も面白かったし、曙もある意味、期待以上に面白かったんで。

山口 ムタvs曙はたしかに面白かったね。俺は試合前の武藤敬司の「馬とプロレスやるようなもんだよ」という名言や思いも含めて、長州vs健介より事件性は少ないけど、この試合のほうが、作品を描く過程みたいなところでの興味は全然あったね。ムタってプロレスラーとしてのたたずまい以外にも、アーティストという趣があるじゃない。

チョロ 曙もコスチュームからして、ある意味アーティストでしたよね（笑）。カメハメハ大王がモチーフらしいですけど。

山口 ガハハハ。曙のコスチューム姿は、『ハッスル』のEricaとマーガレットのインパクトを、もはや超えてるよな（笑）。

――動くたびに何度かワンショルダーのコスチュームから乳首がこぼれるんですよね。いまや乳首ポロリといえば、ジャネット・ジャクソン、マライア・キャリー、そして曙のことですよ（笑）。

山口 曙はやっぱり笑えたよねぇ。K-1だとブザマだけど、プロレスだと微笑ましく観れるよね。

ガンツ そういう意味では、『W-1』は楽しさの要素がいろいろ詰まった"プロレスの祭り"という感じはしたし、今回の『W-1』を見て思い出したのが、ZERO-ONEの旗揚げ戦（00年3月2日・両国国技館）なんですよね。各団体の大物が集まって「とりあえず大騒ぎしてみよう！」という感じで。

山口 でも、その大騒ぎ感があったら、もっと面白かったと思うんだよね。ZERO-ONEの旗揚げ戦にあって、新生『W-1』にない要素は、ズバリ"乱闘"でしょ。

ガンツ それはZERO-ONEの旗揚げ戦であった「この場所で俺が一番目立ってやる！」というレスラー間の勝負が『W-1』にはなかったということでもありますよね。

山口 うん。ZERO-ONE旗揚げ戦には各トップ選手の「俺が全員喰ってやる！」というイケイケ感が充満していて、乱闘のシーンにはその気構えみたいなものが浮かび上がってたからワクワクしたんだよね。でも『W-1』を、俺は枡席のうしろの方で見てたんだけど、選手から「この舞台を背負ってやろう！」「抜け出してやろう！」みたいな覇気が伝わってこないんだよ。そういう空気を醸し出してたのは秋山とメインのムタくらいで。

ガンツ 秋山が凄いのは、睨みつけやビンタをする動きで、そういうムードを無言のうちに観客に向けて放ってるじゃないですか。

山口 秋山のプロレスラーとしての凄みは一見さんにも伝わる凄みだよね。そこはさすがNOAHというかさ、よっぽど自信がないと『W-1』なんていう、NOAHにとっては得体の知れないイベントに秋山を出すことはできないでしょ。それに秋山は他の試合がどうなるかを見越して出てきてるよ、あれは。秋山のモチベーションは、あきらかにトーナメントを勝ち抜くっていうことより、他のどの試合よりも、プロレスらしい内容のクオリティの高い試合を見せるっていう、せめぎ合い上等の気構えだったわけでしょう。で、実際にそれをやった秋山のテンションと計算高さと度胸と自信は、アッパレだね。

秋山のプロレスラーとしての凄みは、一般の観客にも伝わる凄みだった（山口）

チョロ それに秋山は、前田日明の「最近のプロレスはおちゃらけてる」という発言に対して、NOAHの軸足のしっかりとしたプロレスを見せるために出てきた部分もあるでしょうね。前田は前田で、秋山や同じNOAHの丸藤&KENTAを「昔の新日本みたいだ」って評価してましたけど。

ガンツ ……前田日明は……あまりよくわかってないと思うなぁ（笑）。

――『HERO'S』にしてもそうですけど、前田日明の立ち位置はまだよく見えてないですよね。「世界から強豪が……」「本当のプロレスとは……」という意味合いの発言を繰り返す意味では、観客サービスをしない猪木さんとでもいうか（笑）。

山口 『W-1』について「あれはあれ」「近々、プロレスの大いなる実験をする」って前田日明は言ってるよね。それが噂通り第三次UWFになるのかどうか、あるいはそういう匂いを残したストロング・スタイル系のプロレスなのかは現時点ではわからないけど、前田日明が『W-1』とは別のプロレスを模索してるのは間違いないんじゃない。

ガンツ その第三次UWF構想が現実化したら、関係性はハッキリすると思いますよ。つまり『W-1』が旗揚げ当初のZERO-ONEなら、前田日明のやろうとしてることは『真撃』というか（笑）。ゴルドーが上がっても違和感なさそうだし、ピッタリじゃないですか。でも、破壊王のいない『真撃』って相当キツいでしょうけどね。

山口 まぁ、もうちょっと様子を見ないと前田日明のやりたいことはわからないよね（※この座談会を行った翌日の8月10日。第三次UWF構想を彷彿とさせる『ビッグマウス ラウド』の設立発表会見が行われた）。で、いまの『W-

『W―1』は80年代全日本の豪華な雰囲気を再現できる感触がある（ガンツ）

1』も、何をテーマやコンセプトにしたいのかが明確に見えないよね。

チョロ　だからなのか、長州は「なぁ～にがやりたいんだ、コラ!」という無気力なファイトぶりでした。

山口　長州力はまったくやる気がなかったね。たとえばその団体に長年所属していたり年間契約していて、年に何回かモメ事があったり気乗りしないときがあって、ああいうワガママな展開になるなら、〝よっぽどなんかあったんだろうな?〟っていう推測も成り立つし、〝謎かけ〟にもなりえるかもしれないよ。心情的にも理解できる部分も出てくるんだろうけど、ワンマッチ契約でああいう展開に持ち込むなら、最初から出てくるなって話でしょ。ああいうことを押し通すことが〝天下の長州力〟を表現する方法だと思ってるなら、それは違うって俺は思うけどな。あれはイベンターが長州力にナメられてるし、悪い意味で気を遣いすぎだよね。

――長州は、健介とのチョップ合戦がイヤでヘッドロックに逃げちゃってるわけですからね。

山口　何回かぶつかり合いを嫌がったでしょ。あれを〝謎かけ〟とか〝深読みできて面白い〟とか言う人もいるだろうけど、それは、〝謎かけ〟とか〝深読み〟っていう概念に対して失礼だよね。そう言ってる時点でプロレスの未来はないよ。イベンターの設定するテーマやコンセプトが宙に浮いちゃってるから、いま絶好調の健介にしても、相手が長州力云々を置いても珍しく空回りしてたし。あの試合で健介はアックス・ボンバーやヒップアタックや監獄固めというWJ所属選手の得意技を仕掛けたでしょ?

チョロ　健介なりの試合に対する観客へのメッセージですよね。

山口　健介が「アックス・ボンバー!」って叫んで打ち込んだとき、俺は「今日は長州のラリアット・プロレスには付き合わないぞ!」という健介の決意表明だったり、ある種、長州という存在を茶化してやろうという意気込みだろうと思って、〝今日は面白くなるかな〟〝健介ってこんな芸当ができる人間だったのか〟と得した気分になったんだけど、そしたら順番にかつてのWJ所属選手の得意技が出てくるからズッコけた。そこを試合の焦点にしても興奮できる観客はいないと思うからね。むしろプロレス界での出来事をファンやマニアは全部わかってるはずだっていう勘違いをバサッと斬り捨てないと、後楽園ホールレベルにしか届かない、縮こまった展開になっちゃうよね。長州vs健介なんて、心の底から感動できる試合になるはずなのに、発火点に火を着けそこなったっていうか、もったいないよね。

チョロ　（唐突に『ゴング』を持ち出し）これ、早売りの『ゴング』なんですけど、試合リポートには、「健介がWJの戦友の分まで、長州にぶつけた」って書いてありますよ。さすが『ゴング』はわかってますよ!

山口　あ、わかった!『ゴング』が主催すれば辻褄が合ったんじゃない?　G1の裏でやってるから政治的にも現実的にも無理だけど、『ゴング』主催のイベントだったら、ゴング杯みたいなトーナメントをやったり、各団体から選手を集める意味合いも少しは見えやすくなるし、誰がなんの目的でやってるのかもわかりやすくなったんじゃない?　ダメ?　ズバリ言って、『W―1』は誰が何の目的でやってるのかがよくわからないもん。これは俺の勝手な想像なんだけど、FEGのサダハルンバ（谷川貞治）と柳沢忠之がプロレスマニアに向けて撃つイベントをやりたかったかっていうと、それも違うでしょ。

――柳沢さんがやるとすれば、旧『W―1』のようなイベントですよね。

ガンツ　さたやんが金だらい持って出てこない時点で柳沢さんのセンスじゃないし（笑）。

山口　じゃあ、心の底からやりたいのは一体誰なんだろ?

チョロ　やっぱり、「AJスタイルズは『W―1』の魔裟斗選手になれると確信した」と、ご満悦だった上井さんじゃないんですか?　ただ主導権は握れてないみたいですけど。

山口　さっき話に出たZERO―ONE旗揚げ戦には、〝管理のズサンなサファリパーク〟みたいな妙な迫力があったじゃない。その迫力はどっから出たかっていうと、イベントを司る破壊王という人間の度量の広さや、ズサンで豪快で繊細な生き方が表現されたとも言えるわけ。でも、『W―1』は誰が司ってるかわかんないし、主導権争いもないから、せめぎ合いが、リング上に現象として立ち昇ることはなかったよね。勝負論とトーナメントという形式を前面に出してるんだけど、その部分での緊迫感も薄く感じたけどね。

ガンツ　上井さんとも親しい某選手は「旗揚げ戦でトーナメントな



動けば観客の笑いを誘発する曙を向こうに回して試合を成立させたムタ。激闘だった秋山vs柴田の余韻が冷めやらぬ中、メインイベントを締めて見せたムタは、まさに“プロレスの天才”。「馬と闘うようなもの」と戦前語っていたが、本物の馬と試合をしても、しっかり魅せるんじゃなかろうか?

んて、これはプロレスを知らない人がやっている。トーナメントというのは、ある程度物語ができたところで初めて成り立つ」と言ってたんですよね。

山口　極論しちゃえば、プロレスって寄せ集めで継続できるものじゃないからね。寄せ集めで継続していくには、確固たるコンセプトと、イベンターに泥をかぶるよっぽどの覚悟がないと続かないと思うよ。

——なるほど。でも、『W—1』の会場には、そういうほころびにいちいち目がいかない、大らかな雰囲気はあったと思うんですよ。

チョロ　やっぱり曙、サップを揃えて、長州、健介、天龍もいて、秋山の引っ張り出しにも成功して、さらに前田日明が何らかの形で関わってるのはゴージャス感がありますよね。でも、これだけのメンツが揃っても地上波で流せなかったから、上井さんは頭を抱えているんじゃないかって心配ですけど。

山口　たしかにプロレス界的には凄いメンツなんだけど、世間は「これだけのメンツ」って思ってないってことでしょ。というか、もはや世間一般に「凄いメンツ」だと思わせる装置として「プロレス」が働いてないってところから逃げないでほしいよね。むしろ、草野仁さんが出たアマレスの試合というかゲームをやるテレビ番組があったじゃない？

チョロ　ありましたね。AV女優の蒼井そらちゃんがアマレスルールに挑戦して、ボク的には良かったですよ！　いま話題の東城えみと闘ったりしたら、かなり話題になると思うんですけど。

山口　（おもいきり無視して）ああいう類のものもほうが、〃「凄いメンツ」が集まったな〃と思わせる装置としては、むしろ上かもしれないよね。『PRIDE』やK—1が存在するいまの状況で、プロレスをしっかり定義することから目を背けて、世間に対して討って出れるわけがない。テレビ局にプレゼンする場合、「総合格闘技とプロレスは一緒ですよ。〃闘い〃なんです！」「プロレスのルールはむしろ総合以上に選手の喜怒哀楽や感情が出るルールなんです！」「長州vs健介戦のような試合の裏にあるものを想像するのもプロレスの楽しみ方のひとつです！」というように、どこかでプロレスの定義を覆い隠してる限り、いまの時代性の中ではプロレスの魅力って何一つ世間に広がらないと思うんだよね。盟主と言われるNOAHでさえ、いまは、放送してる局が昔からの付き合いで理解があるからいいけど、「プロレスはプロレス」という馬場さん流の定義から抜け出せてないわけだし。

チョロ　でも、逆に不完全に覆い隠すからこそ、マニアックなプロレス者には想像する余地があって面白くもとれると思うんですけど。

山口　プロレス者って言うと聞こえはいいけど、プロレス好きがこんがらがってカビが生えたようなファンが喜んでもしょうがないよ（笑）。

ガンツ　でも、逆に世間に討って出ずに地下室の中に閉じこもるなら、『W—1』の可能性は大いにあると思うんですよ。それをジッと見守ってくれるプロレスファンはいるわけですし。どうせなら、もう一見さんはなかなか会場に来ないんだから、いま残ってるプロレスファンだけを喜ばせることをもっともっとやっていけばいいと思いますね。やっぱりいまの『W—1』には、プロレスファン側に針を振ることができるメンツが揃ってるわけですから。

山口　なるほどね。思いきりプロレスファンに向けて針を振ったら、逆に求心力がつくかもね。

ガンツ　ボクの感触からすると、『W—1』には80年代の全日本プロレスというか、NWA王者やロード・ウォーリアーズをいっぺんに呼んで輪島までいた全日本のビッグマッチとでもいうか、その頃の豪華な雰囲気を再現できそうな気はするんですよね。大物同士の試合は結局、不透明決着になることも含めてね（笑）。

チョロ　あと『W—1』が地方巡業したら大成功しそうですよね。プレデターはいるわ、サップはいるわ、バーナードはいるわ、曙がいるわで、選手の顔ぶれだけでプロレスの醍醐味が伝えられるというか（笑）。

山口　それも小川・橋本のOH砲が地方サーキットしてた一時期のZERO—ONEみたいにね。

——曙が宣伝カーに乗って、「ただいま絶賛70連敗中の曙！　はたして今日こそ勝てるのかーッ？」みたいな煽りで街宣したら、地方はどこだって連日満員ですよ（笑）。

ガンツ　曙が巡業バスから降りてくる姿は見たいですよねぇ。たしかにボクらみたいな昔のプロレスを見て育った世代にとっては、あのメンバーから匂い立つ空気とかは、「もし地方巡業に来たら？」という楽しい想像を掻き立てられるんですよ。前橋スポーツセンターあたりでぜひ見たいイベントというか（笑）。

山口　（実況調に）「赤城おろしが吹きつける前橋スポーツセンターにやってきました、『W—1』！」（笑）。

ガンツ　でも現実に置き換えると、『W—1』が地方シリーズやったらまず採算が合わないでしょうね。ギャラだけでも史上最高額の地方巡業になりそうですから（笑）。

チョロ　当時はテレビが毎週ついていたから成り立ったけど、いまは地上波放送がなからね。

ガンツ　……と言ってるうちに、大変です！　たったいま全日本の関係者から「曙の全日本次期シリーズ全戦参加が決定！」の情報が飛び込んできました（笑）。

一同　ガハハハハ！

——なんてタイミングの良さだ（笑）。

ガンツ　これは楽しみですねぇ。『W—1』ではないけど、曙の地方巡業はぜひ見たいですよ！

山口　でもさ、地下に閉じこもらなくても、地方に出なくても、『W—1』が世間を振り向かせる方法がひとつだけあるよ。テレビも付く。

——ほう。ぜひ教えてください！

山口　今回の『W—1』のマッチメイクだったら、ズバリ言って、バーリ・トゥード（以下、VT）でやったほうが面白い！

——は？　VTルール？

山口　うん。天龍vs村上やバーナードvsサップなんて、もしVTだったらメチャクチャ興味があるよ。長州vs健介にしたってVTでやったらメチャクチャ面白いと思うよ。「50



マスカラス&テリーvs中嶋&本間の試合と、このカズ・ハヤシvsAJスタイルズのワンマッチが『W—1GP』トーナメントに華を添えた。AJスタイルズのスター性は、〃熱血プロデューサー〃上井さんが「W—1」の魔裟斗になれる！」とキッパリ断言！　やっぱり上井さんはアツイぜ！



血の匂いを感じさせる『W—1GP』天龍源一郎vs村上和成だったが、村上が試合中に足を負傷してしまうアクシデント。凶器の瓶の打ち合いで破片が飛び散る中、村上が割れた瓶で天龍を襲いかかるが、それを制止するレフェリーに一撃！　消化不良気味の反則決着となってしまった

歳を過ぎた長州が生涯初のVTに出陣！ 相手は袂をわかった一番弟子の健介！」みたいにしてさ、健介と長州の遺恨をVTで精算するなんていったら、1年がかりのドキュメントが撮れるよ。感動するどころか、真剣に想像してるだけで涙が出てくる世界だよ。

——プロレスで魅せることができた秋山vs柴田もVTでやった方が面白いということになるんですか？

山口 その2人だったらVTでやったほうが面白いんじゃないか？ 秋山もレスリング出身だし、柴田も血気盛んだから……あとムタvs曙もこれだってVTで実現したら面白い過ぎるだろ！

ガンツ ボクは、テリーの見せ場であるジャブからのストレートを中嶋（勝彦）君がダッキングでかわしてるのを見て、頭がクラクラしましたから（笑）。VTでやるんなら、中嶋君のダッキングはOKです！

山口 マスカラスvs中嶋君だってVTなら見たいよな？（笑）。

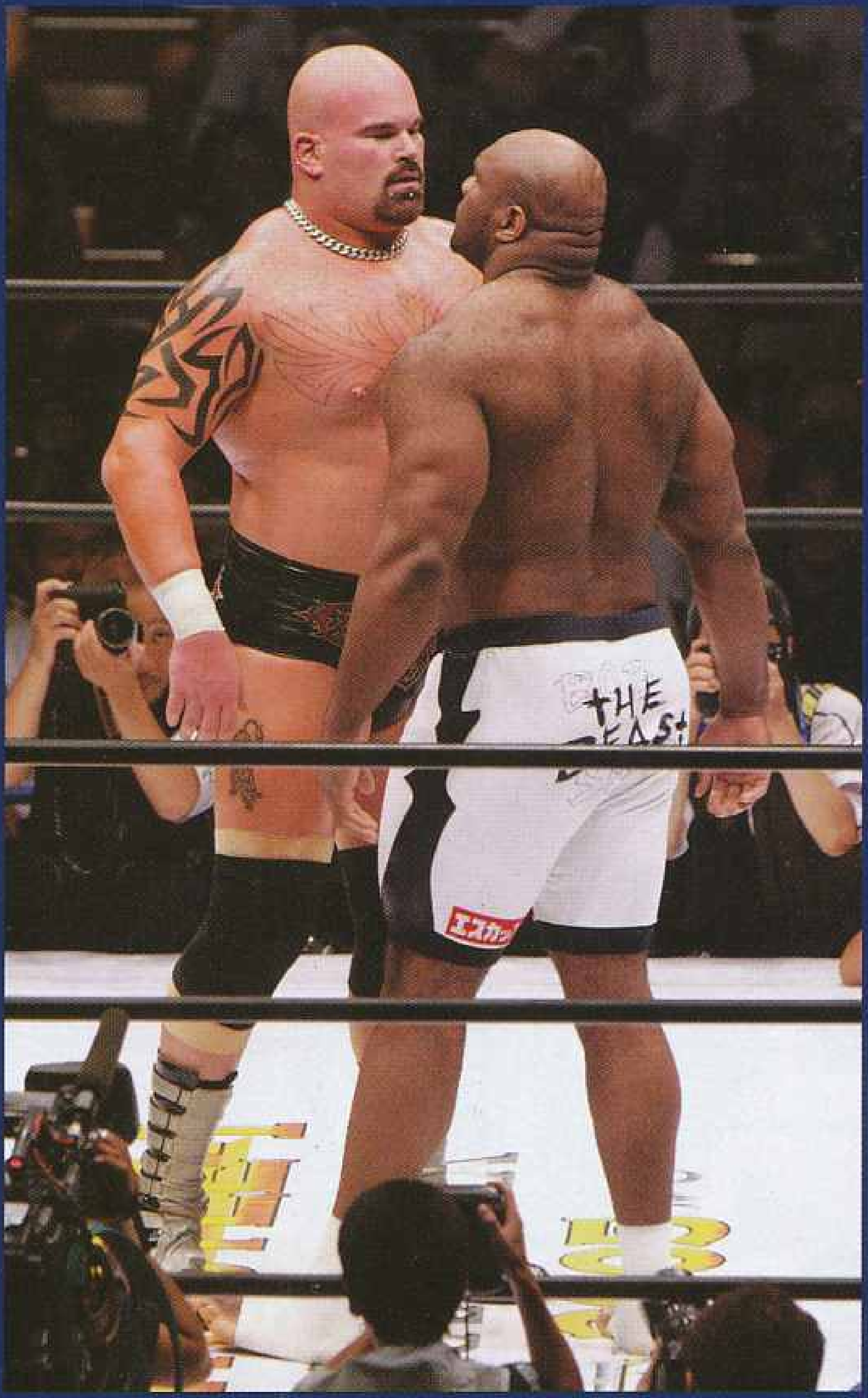
——味の素をかければいいみたいな話になってきた（笑）。

山口 でもさ、前田日明や上井さんが『W－1』に求めている緊張感というのは、VTルールでやったほうが生まれやすい緊張感だと思うんだよね。でも、秋山や天龍や長州は、それぞれのレベルはともかく、プロレスならではの緊張感を出したい。そこらへんの微妙な違いもあるんじゃないかな。上井さんって根っからのガチンコ好きの匂いがするじゃない。

ガンツ I編集長的に言うところの"プロレスルールを大胆に加味したガッチガチの闘い"が好きなはずですよね。

山口 話が飛躍し過ぎたかもしれないけど、別にVTじゃなくてグローブをハズした掌底ルールでもいいし、何か新しいプロレスのガチンコルールでも打ち出したんだったら、新生『W－1』を開催する意義もトーナメントも大アリだったと思うんだよ。そういう意味では、旧『W－1』の第1回目の方が凄いパワーを感じるんだよね。

チョロ たしかに今回は、テーマに目新しさはないですもんね。顔ぶれは豪華ですけど。


『W-1GP』モンスター対決。TARUの乱入で生じたドタバタよりスクールボーイでサップに丸め込まれてしまったバーナードだったが、プロレスラーとしての怪物性はサップを断然、上回った。バーナードの幻想が増幅した試合内容！

山口 とにかく、『W－1』を見て思った結論は、俺はもはや"プロレスファン"じゃないってことです!!

ガンツ ダハハ。あらためて非プロレスファン宣言！ いちおうプロレス雑誌の編集長なのに（笑）。

山口 ファンだけど、いまのファンに"あいつは仲間"と思われるのは屈辱だから、ファンじゃない（笑）。

ガンツ ボクは逆に「俺ってプロレスファンなんだなあ」って実感しちゃいました（笑）。こういうプロレス会場の雰囲気、昔は好きだったな～みたいな感じで。

チョロ ボクも、バックステージでの北斗vs長州の揉め事とか、そういうリング外の不完全な面白さに触れると、プロレスファンなんだなぁって思ったねぇ……。

ガンツ つまり、世間にはまったく届くことのない、一般層には理解されがたい30代のプロレスマニアの極めて個人的な楽しみですよね（笑）。

山口 そうそう。ガンツはノスタルジックな気分に浸ってるだけで、チョロはただの事件好きなだけ（笑）。だってさ、いまのプロレス・ファンってさ、「それの何が悪い！」って感じで、酔っ払ってクダまいてるようなもんだもん。

山口 いや、そういう愛情の持ち方はいいんだけど、それを酔っ払って何度も何度も繰り返してるような面倒くささがあるよね、いまのマニアは。酔っ払ってるから、まったく人の話は聞かないし（笑）。

ガンツ だからホントは僕ら30すぎの人間が「80年代前半みたい」って喜んでる時点で、その興行はダメなんですよ。僕は「水曜スペシャル 川口浩探検隊」や「全員集合」が大好きでDVD BOXとか買っちゃいますけど、いまは一部の人は面白がるけど、「藤岡弘探検隊」は視聴率取れないし、ゴールデンのレギュラー番組なんて難しいじゃないですか。だから「なんで『W－1』は地上波ゴールデンで放映できないんだろう」って言ってる上井さんって、「なんで欽ちゃんの新番組がゴールデンで放映できないんだろう？」とか言って悩んでるようなもんだと思いますよ（笑）。

山口 根性だけで放映できると思ってるフシがあるよね。

ガンツ ハッキリ言って僕らが本当に好きなプロレスって80年代で終わってるんですよね。僕はアントニオ猪木も川口浩もユリ・ゲラーも（初代）引田天功も、70～80年代のボンクラ小学生たちが憧れたヒーローってことで一緒だと思ってますから。うさん臭さも含めて（笑）。だからプロレス中継がゴールデンで放送できないのと、「木曜スペシャル」や「水曜スペシャル」がなくなったのは同じですよ。

山口 「プロレス」を30代、40代の人間が小学生や中学生の頃に帰れる装置としてしか使ってない。いまの30代、40代のファンが童心に帰ることも大事だとは思うけど、いま現在の小・中学生が見て面白いソフト、憧れるソフトを提供するほうがよっぽど大事じゃないの？ ちなみに聞くけど、ガンツが好きだという昔のプロレスの雰囲気は、『ハッスル』からは感じ取れないだろ？

ガンツ まったく！（キッパリ）。『ハッスル』はちゃんとやろうとしているじゃないですか、アングルにしろ進行にしろ。うまくいってるかどうかは別として（笑）。『W－1』はとりあえずどうなるかやってみようって感じですから。

山口 マスカラスやテリーより、いま現在の少年たちは『ハッスル』の方を喜んでくれるよね。


平成の鶴田vsブロディ!? "ネクスト・ジャンボ"諏訪間が"超獣二世"プレデターに快勝！ 試合後、諏訪間は控えめに四方のコーナーで「オ～ッ！」と勝ちどき。『W－1GP』二回戦に進出した

ガンツ　そういう意味では、『W－1』の大会コピーはよくよく考えるとちょうどハマってたんですよ。『恥ずかしながらプロレスが帰ってまいりました！』って……ホントに恥ずかしいよ！という世界ですよ（笑）。でも、ボクが好きだったころのプロレスの匂いは感じ取れた。そこは大切にしてほしいですね、大統領が大嫌いな30＆40代になっても大人になれないボンクラプロレス中年のために（笑）。

――古き良き時代のプロレスの空気があったお陰で、大会のアラがあまり気にならなかったと思うんですよね。

ガンツ　昔のプロレスって、ズサンが当たり前だからね。いま考えると尻切れとんぼのアングルっていくらでもあったでしょ（笑）。

――ボクもそうでしたけど地方のファンって、アングルやストーリーってあまり気にならないですよね。細かいストーリーはまったく気にしないで興行を楽しめたというか。いまは情報伝達が早いから、それに伴うプロレスが求められるのかもしれないですけど。

山口　スーパースターが出てきて、それを見て楽しむって感じだよね。

チョロ　それは同感ですね。マスカラスの『スカイハイ』を聞いて、恥ずかしながらホロリときちゃいましたからね……。あと、秋山vs柴田戦も、なんか感極まっちゃったし。

ガンツ　ま、まさか『W－1』で泣いたんですか？（笑）。

チョロ　うん……（しみじみと）。



WJ遺恨凄惨マッチとなった「W-1GP」一回戦。身体がついていかないのか？ モチベーションの問題？ 健介の肉弾ファイトに長州は対応できず、なんとチョップ合戦を回避！ 「WHY?」のポーズを取る健介。試合は健介の勝利に終わったが、長州のあまりの消化不良ファイトに鬼嫁・北斗晶はマジギレ！ 長州の控え室に怒鳴り込み、両陣営の溝はますます深まった

何か新しいプロレスの価値観を打ち出したんだったら、大会の意義は伝わった（山口）

山口　ガハハハハ！　いや、そういう気持ちも大事だよ。うん。大事にしたいけど、俺は無理！　頼むからチョロ、気持ち悪いから俺に近寄るな（笑）。

チョロ　だ、大統領がプロレスに対してヒネくれてるだけですよ！

山口　そうかなぁ？　俺は、プロレスをもっと世間に対して広めたいだけなんだよ。いま広めないと手遅れになっちゃうよって。作り手としては昔のプロレスを再現したいという前向きじゃない発想がイヤなだけなんだけどね。移り変わる世の中の流れを無視して、古き良き時代の焼き直しでもって試行錯誤するなんて、クリエイティブでもなんでもない。リメイクどころか、映画で言えば、30年前と役どころが一緒で、かつてのスターが出てきちゃうんだもん（笑）。そんなバカなって話だよ。それだったら、破壊王じゃないけど、破壊して創造して大批判を浴びるほうがいいと思っちゃうんだよ、性根として。

ガンツ　ボクも無意味かつ無理矢理に当時を再現する試合はイヤですよ。本人はその気はないんでしょうけど、諏訪間がジャンボ鶴田のテーマ曲「J」が流れる中、「オー！」をやったりとか。

山口　だから俺は、単にリメイクだけするプロレスとも、30～40代の酔っ払い的なファンとも心中したくないってことは声を大にして言いたいね。

――『紙プロ』読者の中にも30代はたくさんいると思われますけど（笑）。

山口　だったら『紙プロ』読者にはとくに声を大にして言っておきたい。我々の世代がマニアックに喜ぶことではなく、新たにファンになる人たちには、いったいどんなことをやっていけばいいのか、一緒にこれから考えましょう（笑）。

――あ、さっき松澤さんが持ってきた『ゴング』で、GKが座談会でこんなことを言ってますよ。

山口　何？

――「ハッスルとの決定的な違いを言えば、ハッスルはあまり語れないけど、W－1は語れるということなんですよね」――ということです。なにか単なるジェネレーションギャップで縁側で老人の茶飲み話を聞いてるような（笑）。

山口　語れないんじゃなくて、語りたくないだけでしょ。『ハッスル』みたいな語りにくいものを語ってこそプロなんだけどねぇ（笑）。チョロ君、キミは30～40代の読者と心中するの？

チョロ　え？　いやぁ、ボクは30代ど真ん中人間なので、心中しようかなぁ……も、問題あります？

山口　全然ない！　でも、これ以上、キミみたいな人間を相手にしたくないから……『紙のプロレス』は次号で終わりにします！（真顔でキッパリ）。

チョロ　は？　お、終わり？

山口　チョロの返答が俺に決断させてくれたよ。チョロ、ありがとう！　お礼にキミがクビ第一号だ（笑）。

チョロ　いや、こ、こちらこそひょ！（慌てて言葉にならず）。

――というわけで残念ながら、松澤チョロさんのおかげで『紙のプロレス』は次号で終わりという衝撃的な結論と相成りました（笑）。

ガンツ　どんな結論だよ！（笑）

山口　先生、さようなら。皆さん、さようなら!?

［05年8月9日／ダブルクロスにて収録］

リザーバーは曙しかいない!!
『W-1GP』～2回戦～

【日時】10月2日(日)　16:00～
【会場】代々木競技場第一体育館
【W-1GP二回戦出場選手】グレート・ムタ、秋山準、佐々木健介、ボブ・サップ、諏訪間幸平、天龍源一郎、主催者推薦枠2名
【チケット】
SRS席 ¥20,000
RS席 ¥15,000／S席 ¥10,000
A席 ¥6,000／B席 ¥4,000
【問】WRESTLE-1製作委員会
TEL 03-3234-0969（LEGLOCK）



8・10都内ホテルでの会社設立会見に出席したのは右から上井氏、最高顧問の和田友良氏（朝青龍後援会会長）、村上新社長、柴田の4人。左は、完成品ではないが旗揚げ戦ポスター。このメンツでのVシネも見たい！

なんと、代表は村上和成！

株式会社BIG MOUTH LOUD（ビッグマウス ラウド）設立!!

〝ホラ吹き軍団〟が遂に新団体旗揚げ！　団体名は『BIG MOUTH LOUD（ビッグマウス・ラウド）』、旗揚げ戦は9・11後楽園ホールに決定ッ！

ビッグマウス・ラウド（以下BML）の名付け親は、株式会社BMLの取締役にも名を連ねた前田日明。当初はビッグマウス・スペシャルとの案も出ていたが、前田の「ビッグマウスはホラが吹き足らない。もっとホラ吹かな！」との号令のもと、前田邸の電子和英辞典で検索しまくって決めたものだという。

そして、なんと、BMLの社長に就任したのは村上和成！　上井氏によると「村上は人脈も幅広いし、リング上と違って（笑）、人と接するときの折り目正しさもあるし、自分よりも経営の才があるんとあると思ったので、私の方からお願いしたところ二つ返事で受けてもらいました」と、社長就任の経緯を語った。

8月10日に行われた会見には、最高顧問に就任した和田友良氏も出席。さらに顧問にはプロゴルファーの横峯さくらの父で、上井氏いわく「大のプロレスファンで前田日明命」という横峯良郎氏が就任。さくらパパは旗揚げ当日はキャディーならぬ選手のセコンドとして大会を盛り上げたいと熱くなっているという。他にも取締役の一人に、徳島の「フクタレコードの大将」としてU系ファンにはお馴染みの福田典彦氏が就任。

旗揚げ戦のオープニングマッチは藤原組長vs木戸修、山ちゃんこと山崎一夫も何らかの形で協力を表明しているというからUWF好きにはたまらない新団体となるだろう。舌好調の上井氏は止まらない。「ホントに、この団体はUWFなんですよ。なぜなら、上井の〝U〟、最高顧問の和田さんの〝W〟、そして福田の大将の〝F〟。3人合わせてUWFですから」と満面の笑みを浮かべていた。

新社長となった村上は「代表の仕事だけではなく、選手としてもやらなきゃいけないことがたくさんありますが、その辺は自分の寝る時間を削れば大丈夫かなと（笑）。もちろん、その腹づもりは持ってます。ウチは前田さんを含めて、〝闘い〟がなければ何も始まらないと思ってる人間の集まりなんで、これからもいままで以上に厳しいところに身をおいてやっていこうと思います！」と挨拶。

「ポスターにも入れてますけど、このリングは『新しいプロレスの実験場になる』、そう思ってますんで、皆さん期待して見守ってください！」と、いつにも増して熱い口調で意気込む上井氏。

9・11後楽園ホール、〝テロリスト〟村上新社長率いるBML発射!!

『BIG MOUTH ILLUSION』

2005年9月11日（日）開場17:30 開始18:30
東京・後楽園ホール

【決定分対戦カード】

藤原喜明vs木戸修（※レフェリー・柴田勝久）

【出場予定選手】

柴田勝頼、村上和成、佐々木健介、中嶋勝彦、長州力、石井智宏、宇和野貴史、エンセン井上、その他 外国人選手（4〜5名）

★スポーツ・アイESPNにて旗揚げ戦のテレビ放映決定!!
★ついにキャプチュードでの入場！　前田日明挨拶
★入場者全員に旗揚げ記念ポスターをプレゼント!!
★1月22日、戦慄の記者会見から9月11日までのBIG MOUTHの歩みを館内にて上映

【入場料金】

特別リングサイド 7,000円、リングサイド 5,000円、指定席 4,000円

【チケット販売】

電子チケットぴあ……TEL.0570-02-9999
後楽園ホール……TEL.03-3817-6092
イープラス……http://eee.eplus.co.jp/battle/
（パソコン&携帯共に同じアドレス）
ビッグマウス石川プロレス我が命……
http://www.bigmouthishikawa.com/

【チケット及び大会に関するお問い合わせ】

BIG MOUTH LOUD　TEL.03-3888-3375
BIG MOUTH　TEL.03-3560-8177

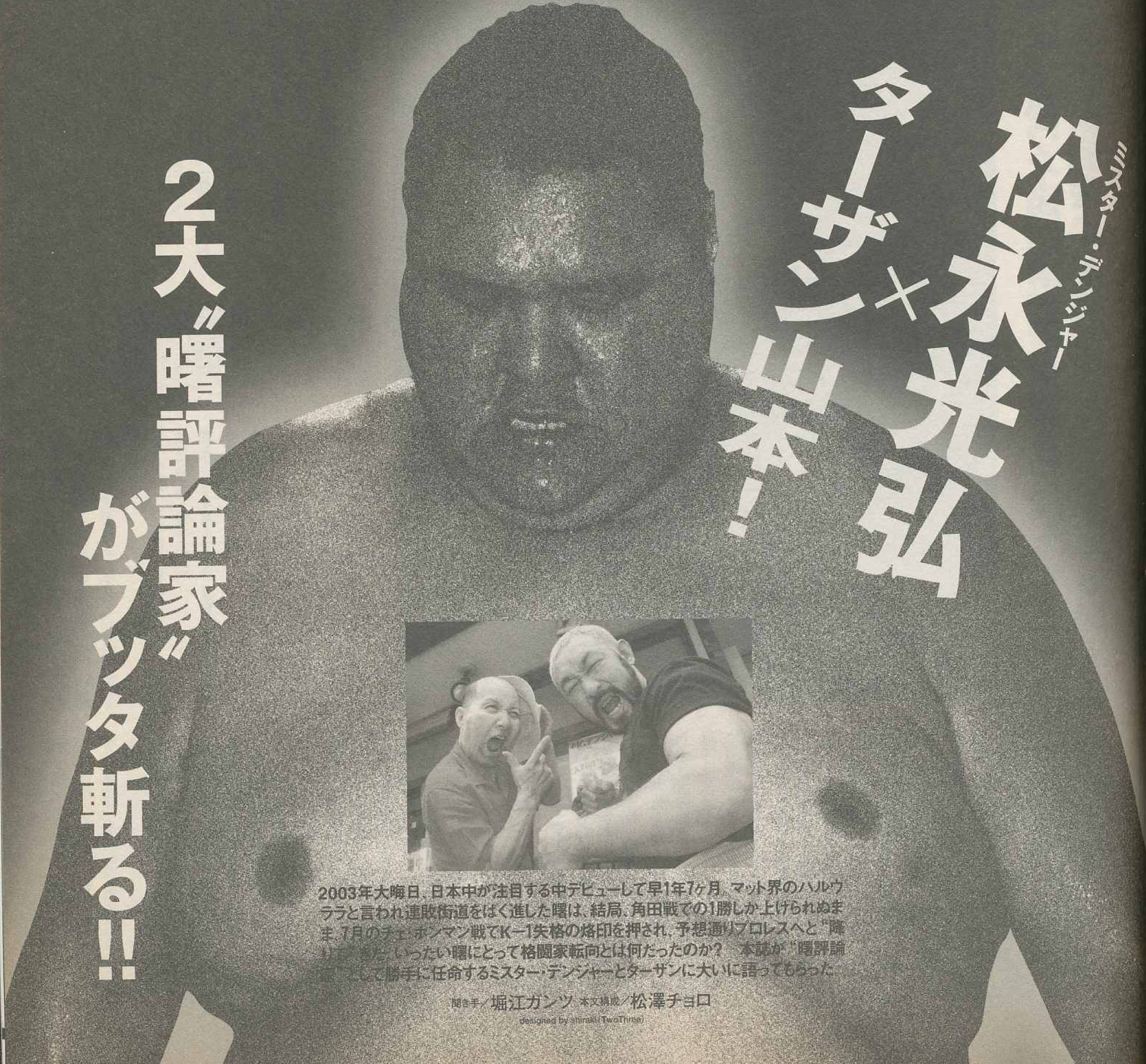
旗揚げ戦は9.11後楽園ホール！

オープニングマッチは 藤原組長VS木戸修!!

グラバカ独立！ 近藤vs菊田決定！

検証・曙

の格闘家生活とは何だったのか？



ミスター・デンジャー
松永光弘×ターザン山本！

2大"曙評論家"がブッタ斬る!!

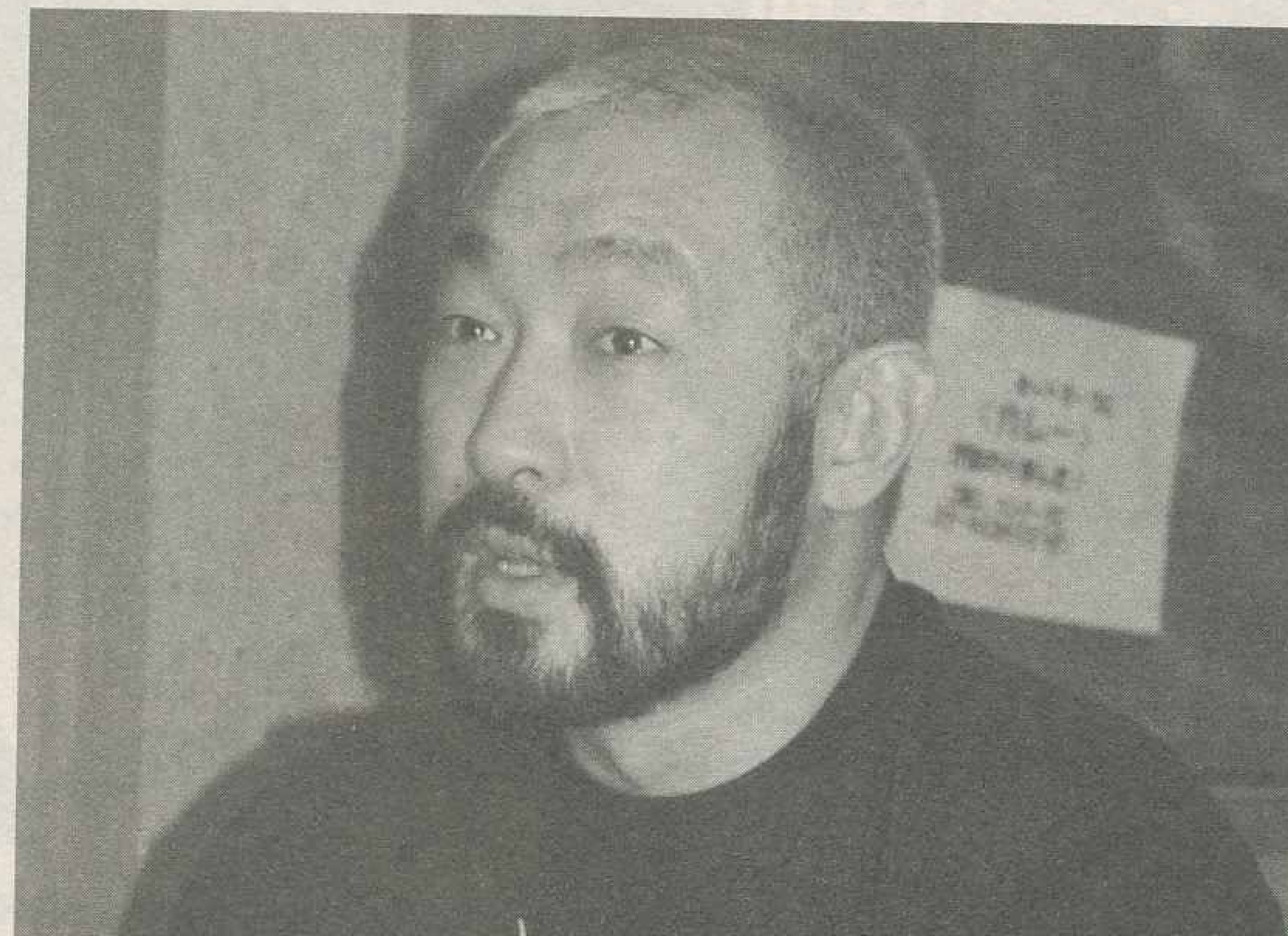
2003年大晦日、日本中が注目する中デビューして早1年7ヶ月。マット界のハルウララと言われ連敗街道をばく進した曙は、結局、角田戦での1勝しか上げられぬまま、7月のチェ・ホンマン戦でK－1失格の烙印を押され、予想通りプロレスへと"降りた"。いったい曙にとって格闘家転向とは何だったのか？ 本誌が"曙評論家"として勝手に任命するミスター・デンジャーとターザンに大いに語ってもらった。

聞き手／堀江ガンツ 本文構成／松澤チョロ
designed by shiraki (TwoThree)



ターザン　松永さん、久しぶりだねぇ。
松永　お久しぶりです。今日はよろしくお願いします。
ターザン　でも、ガンツ。今日は何を話せばいいの？（可愛らしく）
――エッ!? 電話で説明したのに聞いてなかったんですか！
ターザン　何か言ってたっけ？
――いい加減ですねぇ（笑）。今日は曙評論家のお二人に、曙のこれまでの格闘家人生を総括してこうと思ってお集りいただいたんですよ。
ターザン　でも松永さんって曙のこと詳しいの？
松永　前に『紙プロ』で曙の是非について語ったことがあるんですよ。そしたら「一番面白かった記事」というアンケートで一位になって。
ターザン　へぇ～。そのときはどんなこと語ったの？
――理詰めで、曙がどうしてダメなのか？　と延々と語ってもらいまして（笑）。
松永　高校時代、自分は学生相撲から空手家になったんです。それで相撲から他の格闘技に転身するのが、いかに大変かということを知ってますからね。
ターザン　あ～、それはあるよね。相撲から打撃に転向することは100％違うから！
松永　そうなんですね。あと一応自分はK—1にも出場経験がありますから（笑）。グレート草津と横浜アリーナでやってるんですよ。
ターザン　あぁ、やったねぇ。有刺鉄線バット持って上がったよね？
松永　そうです。それをやらせてもらえないと出る意味がなかったですし（笑）。
――グレート小鹿さんまでセコンドとしてコスプレ姿でK—1登場をはたしてしまったという（笑）。
ターザン　で、試合はどうだったの？
松永　すぐ負けちゃいましたけどね（苦笑）。まあでも、プロレスに比べたら、かなりいいギャラもらいましたし（笑）。
ターザン　またハッキリ言うねぇ（笑）。二桁違うでしょ？
松永　自分はさすがに一桁ですけど、かなりもらいましたね。1秒いくらだなとか計算しちゃいましたから（笑）。
ターザン　でもやっぱり、僕なんかも、桜田さん（ケンドー・ナガサキ）とジーン・フレジャーの試合を見て、あんなにケンカが強いって言われてた桜田さんが何も出来ずに負けてしまったことあったでしょ。あれ見て相撲取りが打撃有りをやるのは無理だと思ったもん。

曙にはハワイ相撲協会を設立して日本相撲協会に挑戦状を出してほしい！



まつなが・みつひろ■1966年3月24日、愛知県出身。あの寛水流、誠心会館を経て、平成元年にFMWでデビュー。その後、初期W★INGで伝説の「バルコニーダイブ」を敢行し、"ミスター・デンジャー"の称号を得て、以降、日本のデスマッチシーンをリードし続ける。現在は亀戸にステーキハウス『ミスターデンジャー』を営業中。http://www.mrdanger.jp/

松永　そうですね。やっぱり相撲の体型とか、筋肉とか、瞬発力とかって、相撲以外の競技では全く活きないものなんですよ。
ターザン　だって、相撲は試合が3秒で決まるんだもん（笑）。
松永　そうなんです。スタミナはもう全くないわけですから。
ターザン　2秒か3秒で決まるし。手をついたら終わり、外に出たら負けなんだから。K—1と関係ありませんよォォ！
松永　相撲は曙みたいな200キロの巨体でもたれ掛かって倒れたら終わりだし。
ターザン　でも、相撲っていうのは、あれは極小の世界で勝負を争うという日本人の価値観感覚に非常にあってるんですよね。
松永　そうでしょうね。
ターザン　ちっちゃな、ちっちゃな空間の中に世界や宇宙を見つけるというのは、俳句なんかでもそうなんだけど、日本人に非常に向いてるんですよ。大体、手がついただけで負けだなんて、おかしいもんな！
松永　まあ、相撲やってるとわかるんですけど、押す力は凄いと思うんですよ。でも押して勝ちという格闘技は他にないですもんね（笑）。
ターザン　そんなもんないよォォ！
――一応、曙さんはK—1も一通り終わって、この間は『WRESTLE—1』でプロレスもやって、とりあえずは格闘家として一通りのことをやったわけですが、1年と7ヶ月経って、曙とはどういう選手だったのか総括してみたいなと思うんですけど。
ターザン　もう答えはハッキリしてますよ！　曙はまんまとテレビとK—1のいいお客さんにされたということだよォォ！　飛んで火に入るなんとかみたいに。違う？
松永　まあ、そうですね（苦笑）。
ターザン　ケツの穴の毛まで抜かれたというか。それで、視聴率がっぽり取ってね。まあ、普通は勝てる相手をぶつけるわけだけども。
松永　そうなんでしょうけど、でも、勝てる相手がいなかったん……。
ターザン　（遮って）そんなもん、いませんよォォ！
松永　だから、（レミー・）ボンヤスキーとかチャンピオンクラスをワザとぶつけて、負けても仕方ないよねって感じで延命していたように見えるんですよね。
ターザン　やっぱり、横綱という看板があったので、その看板だけは巨大だった

笑）。まあでも、プロレスに比べたら、か

日本相撲協会に挑戦状を出してほしい！

あったので、その看板だけは巨大だった

わけでしょう。それに恥じないためには、ボブ・サップとか、トップ級の名前のある人をぶつけないとバランスが悪いというので、ド素人の曙からすると、もう雲の上のような人をぶつけられたという不幸があるんだけど。TV的に見ると、視聴率の鬼みたいなもんで貢献度は50％なんだよな。

松永　そうですよね。

ターザン　それで、勝てる相手とやらされたのは、韓国のときの……誰だっけ？

松永　角田さんですね（笑）。

ターザン　そうそうそう。どんな相手でも問題は、本人は勝てると思ってやっていたかどうかだと思うんだけど、どう思います？

松永　勝てると思ってやってたと思いますよ。少なくとも最初はクソマジメに。でも、やっぱり頭が固いんでしょうね。

ターザン　え!?　頭固いの？

松永　横綱っていうのもありますし、前に『紙プロ』に出たときも、いろいろ語らせてもらったんですけど、やっぱり、自分もいろいろやってみたものの、結論から言えば、肉体改造して空手家になるしかなかったんです。相撲殺法では空手では何も通用しなかったという。

ターザン　では、なぜ相撲は最強という神話が今でもあるんですか？

松永　私はストリート・ファイトならば、それもあり得るかと思います。やっぱりガードレールとかビルだとか、走っている車でもいいし、電柱でもいいから、思いっきり突き飛ばして、そして上から踏んでしまえば、もしかしたら、相撲が最強かもしれないですけど、ルールを決められてしまうと厳しいですよね。

ターザン　でも、一番最初のボブ・サップ戦なんかも、あんなに視聴率獲ったのは曙の力でしょ？

松永　そうですよね。

ターザン　そういう意味では、谷川（貞治・K—1プロデューサー）のスカウト力の勝利というか、アイツは非情のビジネスマンだね。みんなアイツに騙されてるようなもんだよ。

松永　巨大な幻想ですよね。横綱vsボブ・サップという。

ターザン　でもサップだってヘタクソだよ。一歩間違ってれば、曙が勝ってたもん。

——そのへんも含めて谷川マジックというか、マッチメイクの絶妙さですよね。

松永　でも結局、曙さんの試合を見ていて、ヒヤっとする部分はないじゃないですか。あれが当たったらヤバかったぞというのはないじゃないですか。なんかいつもモソモソモソモソしてるだけで（笑）。

ターザン　そうそうそう（笑）。

松永　だから、結論から言ってしまえば、食い物にされたってことでいいんですかね（笑）。

ターザン　というより、曙は相撲の世界が嫌だったんでしょ。

松永　結局、年寄りになれなかったわけですからね。

ターザン　年寄りだなんて、言葉そのものが嫌だもんね（笑）。ご意見番とか、監査役とか嫌だもん。貴乃花だって30代とかで、親方でしょ？

松永　そうですね。

ターザン　男盛りの人生が腐ってしまうというか、カビが生えてしまうよ〜。それに、いまの貴乃花は美しくないもん。

松永　しゃべってることも美しくないですからね（笑）。

ターザン　だって、巨人の工藤なんか40歳でもやってるでしょう、現役で。それに比べたら、相撲界はおかしいよねえ。肥満児症候群というか（笑）。

松永　やっぱり、前に出る力は凄いと思うんですけど、でも他の競技では残念ながら活かせないという。

ターザン　それにハワイアンって、ちょっと練習やめるとブクブク太るでしょ。今回のハワイの試合（チェ・ホンマン戦）なんか、曙はなんの練習もしてないよ。プレッシャーもなければ、モチベーションもゼロですよォォォ！

松永　ギャラが入ればいいかなっていう感じなんですかね。

ターザン　闘争本能も何もないよ、アレ。全くの空虚だよ。見てたら、あの試合って動物園のアトラクションかと思ったよ、本当に。

——ガハハハハハ！

ターザン　俺はなんかもうユニバーサル・スタジオというか、ディズニーランドのつもりで見てたよ。アレはテーマパークのアトラクションだな。

松永　『WRESTLE—1』にしても、K—1にしても問題だったのは、横綱時代の身体能力はもう残っていないということですかね。

ターザン　だって、パッと見ても曙の足は細いもん。無理だよ〜。二本、足があって片方に100キロかかるわけよ。それじゃあ、ヒザが耐えられませんよォォ！

松永　まだ、キングコング・バンディの方が良かったですよね。全体のバランスとかはバンディとかバンバン・ビガロとかの方がよかった。デカイ割に動けると

曙はTVとK—1のいいお客さんにされたというか、ケツの毛まで抜かれたよォ！



たーざん・やまもと■1946年山口県生まれ。元『週刊プロレス』『格闘技通信』『プロ☆勝ち』編集長。最近、床屋で「お任せ」で髪を切ってもらったら、見事な丸坊主にされてしまい、見た目はかなり普通の人になってしまったターザン。しかし、その中身は59歳にして天才宣言をするなど、相変わらずの狂いっぷり。9月からは「最強の『文章講座』をやる！」と息巻いている。P103参照。



いうか。逆に曙はデカイ割に動けないというか（笑）。あれだったら、まだアンドレ・ザ・ジャイアントの方が動いてましたね。全盛期の動きは凄かったじゃないですか？

ターザン　いや、アンドレは動いたよ～。それに試合を自分でコントロールしてるんだもん。自分でワザとロープに手を絡ませたり。

松永　ホント上手いですよね、あれは。

ターザン　だって、猪木さんとの試合だって、アンドレが試合作ってたんだもん。

松永　そうですよね。

ターザン　ワザとキーロックに掛かって、猪木さんを持ち上げるとか。

松永　ロープに手を絡ませたりとか、あれはなかなかできないですよ。デカイ人はいっぱい出てきたけど、やっぱりあの人はダントツでナンバーワンじゃないですか。

ターザン　そうだね。それに、アンドレは顔の表情には愛嬌があったじゃない？　ユーモラスな感じで。でも、身体のデカイ人って。チェ・ホンマンにしたって、みんな顔が似ているでしょ。あの韓国で猪木さんとやった人もそうだし。ソウルで格闘技戦やって猪木さんに半殺しにされた人。誰だっけ？

――パク・ソンナンですか？

ターザン　そうそう。なんか、みんな顔が似ているんだよね。

松永　逆にそこがいいというか。エル・ヒガンテとかザ・ジャイアントとか、出てきましたけど、普通の人が大きくなっただけで、化け者みたいには見えなかったですよね。

ターザン　アンドレの場合は、〝大巨人〟アンドレということで、見る人の気持ちを、こう非常に気持ちよくさせる顔だった。顔のイメージが違うわけですよ。他の人は、ちょっとね、異形の人なんだよね。

松永　プロレスもうまいんですよ。星野さんが股をくぐってアタフタするところとか凄く上手いですもん。あれはなかなかできるもんじゃないですよ。

ターザン　とにかくアンドレは、プロレス心が凄かったよ。

松永　そう！　ニヤっと笑ったりとかして、こっちはゾーッとさせられたりしましたからね。

ターザン　田園コロシアムでの伝説になったハンセンとの試合なんかも、普通のレスラーじゃ出来ないよ。

松永　出来ないですね。デカイ人はいっぱいでてきたけど、やっぱりアンドレは凄かったですね。

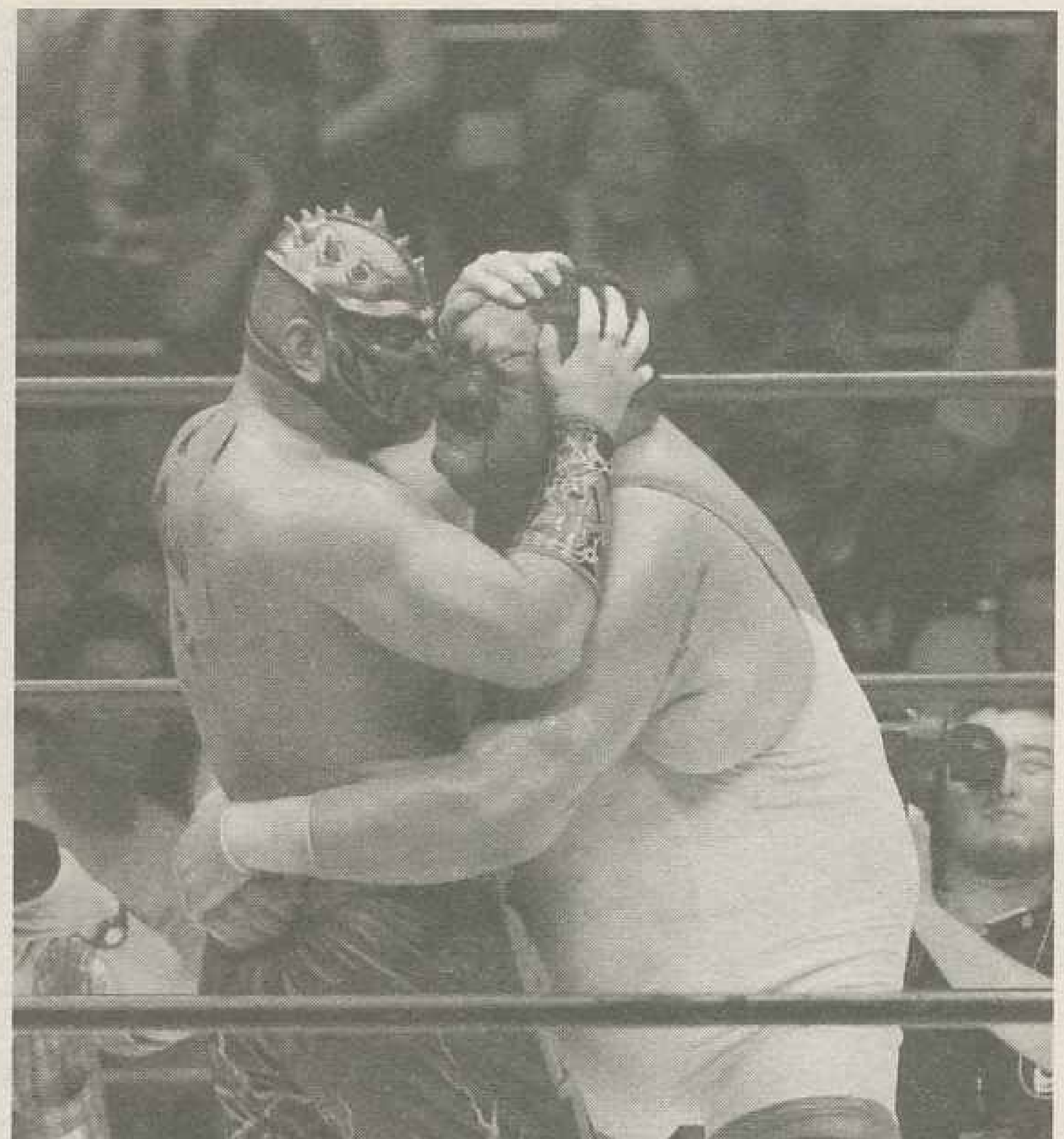
ターザン　いや、あれは別格ですよォォォ！　ホント、アンドレは神話の中の神々のレスラーだったね。

――アンドレも〝神の子〟でしたか（笑）。

松永　でも、本当そうですね。

――『WRESTLE―1』でのムタvs曙はどう見ました？

松永　なんか輪島さんのデビュー戦より酷かったというか（苦笑）。あれだったら輪島さんの方がまだマシでしたよ。



ターザン　まあ、これまでのK―1とかでの試合に比べれば、まだマシかな、と。ラインを落として見れば合格点だけども、本人がハワイのK―1の試合で、あっさり負けて、『WRESTLE―1』に出てきたので、こちら側はもう好意的に見る気力がないんだよね。

松永　そうなっちゃいますよね。

ターザン　今頃何しに出てきたんだと。輪島さんの場合はさ、デビュー前に馬場さんがハワイに隔離して、練習してるとこを誰にも写真を撮らせないようにして、自分たちが撮った写真だけを『週刊プロレス』とかに配るようにしてたんだから。だって輪島さんにしゃべらせたら、エライことになるもん。

――ガハハハハ！

松永　直前になるまで師匠のドリー・ファンクJrが相手だと言われてたのが、突然、タイガージェット・シンになったんですよね。

ターザン　要するに、馬場さんは輪島さんの、キャラと性格と雰囲気を全部理解して、隔離作戦を取ったんだから、アレはエライよ。

松永　当時、自分はまだファンでしたけど、デビュー戦の相手がタイガー・ジェット・シンって凄いことでしたよ。

ターザン　でも、シンは悪役のプロだからいいんですよ。試合は場外に落とせばいいんだから。だから輪島の相手を選んでいるわけですよ。しかも舞台は輪島さんの故郷の七尾でしょ。

松永　そうでしたね。

ターザン　もうね、地元の輪島さんの後援会がみんな応援しているから。馬場さんがそのためのお膳立てを完璧にやって。TV中継もやって、場外乱闘になると輪島の背後から、「お前いけ！」って背中を押したでしょ。だから馬場さんのプロデュース能力が凄いんだよね。

松永　そういったものが全くなかったのが、曙さんですね。

ターザン　だって谷川がそんなことするわけないじゃない。

――ガハハハハ！　まあ、グレート・ムタというか武藤敬司の天才性は見えましたけどね。

松永　でも遠慮しないで、横綱のパワーで吹っ飛ばすとこが見たかったですよね。なんか、ちょっと小細工が過ぎたかな、と。ヒップドロップも失敗したし。

ターザン　しょっぱかったね～！　そのしょっぱいところがみんなわかってしまうファンの土壌があるわけですよ。

――観客も一斉に「え～!?」って言ってましたからね（笑）。

『W―1』の曙を見たら、輪島さんのデビューの方がまだマシでしたよね

曙、デビュー以来最高の名勝負
グレート・ムタ戦完全解剖!!

試合時間	アクション	観客&放送席のリアクションなど
煽り映像	「無事に終わってもらいたい」と不安を隠せない発言	
	殺人フライングボディプレスを宣言！（しかし結局出さず）	
コール時	オレンジ色のワンショルダーを披露	場内爆笑、辻アナ「ビックリしました」
0:44	220キロの全体重をかけたスクールボーイ	
0:55	片チクビを露出、隠す	
1:45	電車道でムタをコーナーに突き飛ばす	場内歓声
1:49	片チクビを露出、隠す	
2:00	微妙な間合いの後、コーナーのムタにぶちかまし	場内笑
2:05	トップロープから万歳ドロップも遠慮しすぎて当たらず	場内「えー!?」
2:15	スライディングキック	場内、驚きの歓声
2:20	ヨタヨタ走って、トペを放とうとするが、タイガー服部がストップ	辻アナ「万有引力があるから飛ばないでしょう」
3:22	顔面かきむしりを喰らうが、リアクション薄い	場内笑
3:30	低空ドロップキックが当たる前に、自分からダウン	場内笑
3:53	鉄柵にふられるが、足だけヘナっとぶつけ、突っ立てる	場内笑
5:50	アキレス腱固めでカウント2	場内「えー!?」
6:30	ムタのトーキックに、オーバーアクション（レミーにハイを喰らったときのように）でダウン	場内「えー!?」
7:00	フライングボディプレスかと思いきや、ヘッドバッド	場内「えー!?」 辻アナ「ボディプレス見せて欲しいですねー」 高山「お相撲さんのアタマは固いから、キツイですよー」とフォロー
7:19	場外にムタがエスケープする	場内「飛べー!」
8:13	身体を浴びせる、のど輪落としを披露。説得力アリ	場内、驚きの歓声
8:16	しかしカウント2と同時に、体固めの押さえを外してしまう	辻アナ「タイミングがわかってないのか、カウント3までしっかり身体を押さえ込んでもらいたい」
8:19	はみ出した、チクビを隠す	
8:44	毒霧を浴び、ちょっと固まってからヒザをつく	場内笑
9:20	シャイニング3連発をカウント1で返す	場内歓声
10:02	ムタのムーンサルトプレスでフォール負け	
試合後	やはりワンショルダーはイヤだったのか、自分からショルダーを下げ、両方のチクビを出す	

山本 そうそうそう（笑）。ファンも進化してるからね。一つ一つの技に対していろいろジャッジするじゃない。せめてね、ムタをアルゼンチンとかカナディアンとかのバックブリーカーで抱えるとかしてほしかったね。

松永 そうですね。ダイビングヘッドバットとか求めてないですよね、ファンは。

ターザン 求めてないよォォォ！　出すんだったらバックブリーカーですよ！

――絵になるところすらなかったと（笑）。

松永 なかったですね（苦笑）。せめてキーロックをかけられて、立ち上がったりすれば凄かったですけど、持ち上げられないんでしょうね（笑）。

ターザン そもそも、マットに寝たらすんなり立ち上がれないでしょ、1回でリングに倒れたら大変だよ（笑）。

――たしかに（笑）。

ターザン それと、あのワンショルダータイツも酷くなかった？

松永 あのコスチューム、誰が考えたんですかね？

ターザン カメハメハ大王っていうけど、カメハメハ大王に失礼ですよォォ！

松永 まず、最低限、あの足は隠さなきゃダメですね。あれだけ細いんだから、空手衣でも、柔道衣でもなんでもいいからまずあの足を隠さなきゃいけないと思うんですよ。ブッチャーがそうじゃないですか。

ターザン ブロディだって、ホントは足が細いんだけど、それを隠すために、あの超獣ブーツを履いてたんだよ。そういう、ギミックがないんだもんね。

松永 まぁ、でも……

ターザン （遮って）何やってもダメでしょ！

――ガハハハハ！　もう結論ですか（笑）。

ターザン 何語ってもムダだよな。

松永 ちょっと待って下さい。僕、実は曙再生計画を考えたんですよ。それは……、相撲界に戻ればいいと思うんですよ。横綱になった人が、また一から黒いまわしを付けてやるんです。例え十両までしか行けなくても、拍手喝采を浴びますよ。

……ダメですかねぇ。

ターザン う～ん、いまの斜陽化した相撲界自体がダメだからね。もう全然人気ないから。

松永 でも相撲界で復活ってなかったでしょ。「私には相撲しかありませんでした」って言って戻ってきたら、例え幕下でもマスコミは追っかけますよ。

――それはもう連日追っかけるでしょうね。

ターザン そう考えると、相撲界だったら、再生の可能性はあるかもしれない。

松永 例え、幕下でも元横綱が一からやるっていうのは凄いことですよ。それか、ハワイに行って、ハワイ相撲協会を設立して、2メートルで200キロぐらいのをたくさん連れてきて、日本相撲協会に挑戦状を叩きつけるとか（笑）。

ターザン （パチパチパチと拍手をして）それはいいね！　オポジションのライバル団体を立ち上げると。

松永 曙さんが小さく見えるくらいの人間をハワイでいっぱいつかまえてきて、ハワイ相撲協会を作るんですよ。で、こっちの方が強いぞと、日本相撲協会に挑戦状を叩きつけるんですよ。そして、東関親方とかが寝返るんですよ。

――ガハハハハ！　相撲協会を裏切って、曙につくと。

松永 そうです（笑）。で、KONISHIKIさんも、そっちについて。「日本の相撲は腐ってるから、オレたちが倒してやるよ！」と。

ターザン それはやった方が面白いね！　絶対に旗揚げしてほしいなあ。

松永 最初は相手にされなくても、日本相撲協会にガンガン挑戦状を出しまくるわけですよ。

ターザン それで、5vs5とかやったら面白いよな（笑）。

松永 いまの相撲界の死に方みていると、それくらいやんないとダメですよ。

――なんか石井館長の力をもってしたら実現できちゃいそうで怖いですね（笑）。

ターザン まず、やるんだったらそれぐらいのことないとね。そして相撲に対するリベンジをすると。

松永 で、ハワイ相撲協会を設立と。韓国相撲のチェ・ホンマンやモンゴル相撲のスミヤバザルだっているんですから。そうとう強力な布陣になりますよ（笑）。

ターザン それはいいよォォ！　徹底的に日本の国技をブチ壊して欲しいね。

――だったら、K―1もWRESTLE―1に力を入れるよりは、それをやった方が話題性もありますよね（笑）。



サップもチェ・ホンマンもスミヤバザルも みんなハワイ相撲協会入りするべきですよ！

松永　プロレスっていっても、今回は武藤さんが相手だったから、なんとかなっただけで、次に相手が替わったら大変でしょ。

ターザン　だったら、もうWWEにいくしかないでしょ。WWEだったらプロデュース力があるから、キャラは向こうで作ってくれるでしょ。何たって相撲のグランドチャンピオンなんだから。

――でも、WWEの巡業は耐えられないんじゃないですか？

松永　でもそこで、どうのこうの言ってる場合じゃないでしょ。K―1で稼いだお金なんか、すぐになくなっちゃうだろうし。

ターザン　でも、こういう運命になるのわかってたのに、よく相撲を辞めたね。

松永　結局、親方になれなかったんですよね。年寄株が買えなかったんです。年寄り株が2億とも3億とも言われていて、結局買えなくて。普通は親方が「定年したら、お前に売ってやろう」となるわけですけど。高見山は一部ではケチで有名な人ですから、契約書を作って、「年寄株を貸すから、半永久的に使用料を払いなさい」と言う方法を取ったらしいんですよね。あと、相撲界は親方の娘さんと結婚して部屋を継ぐというのがよくあるんですけど、曙さんがそれを拒否して、別の人と結婚したんですよね。そういうのもあったんですよ。

ターザン　へぇ～、ホント詳しいね。

松永　学生時代に相撲やってたんで、そういう情報はたくさん入ってきますからね。で、結局、曙は年寄株が買えなかったと。横綱免責だと、協会に残るのは5年とかそういう制約があると思うんですよ。それが終わったときに廃業ということになってしまうので、見切りを付けてということですね。

ターザン　そんなんじゃ、おいしいとこないじゃない、相撲界って。

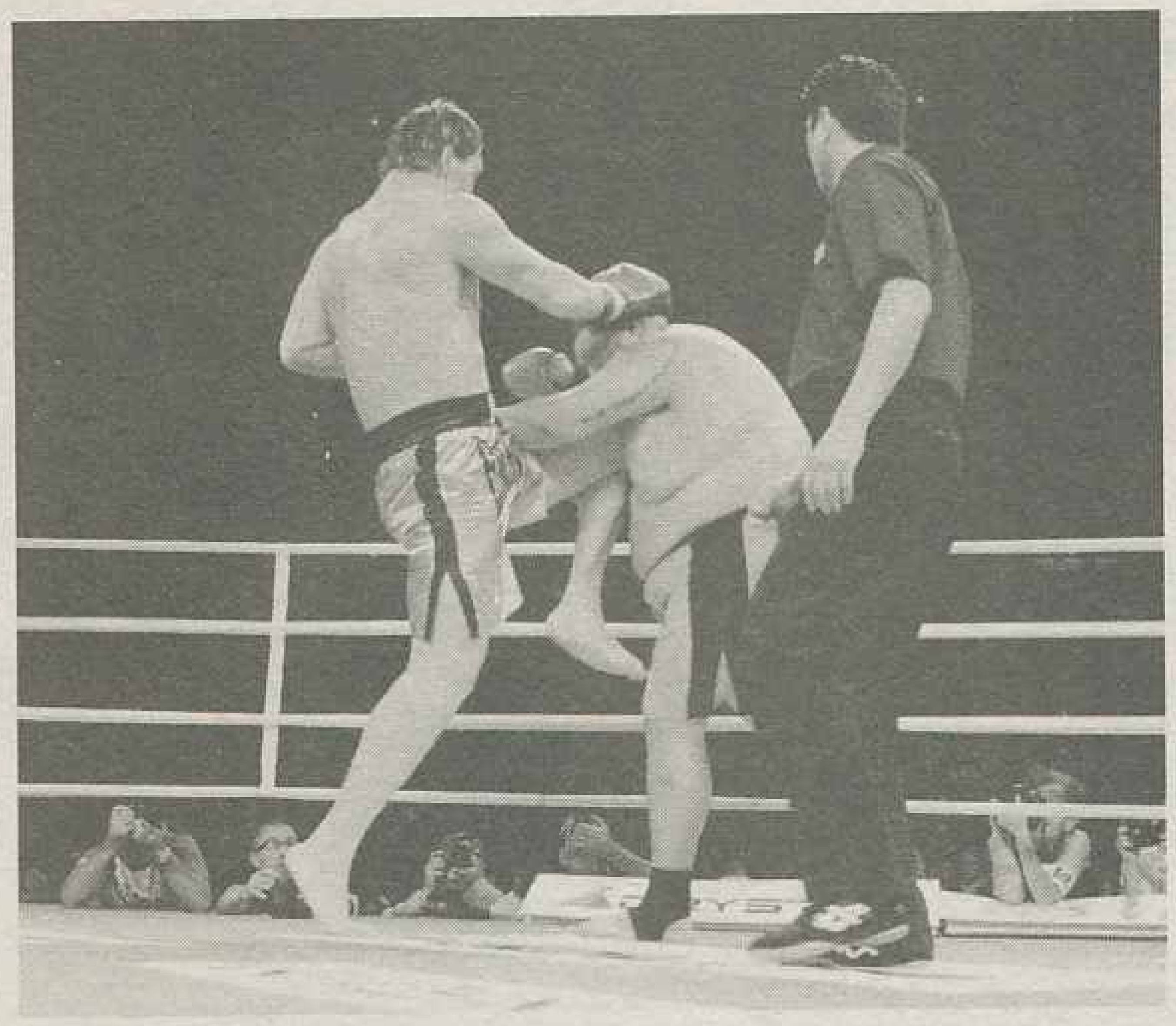
松永　そんなにおいしくはないですね。年寄株取ったところで、月給50万円ぐらいだって話もありますからね。

ターザン　それはしょっぱい話だねぇ。

松永　こういうご時世だから、タニマチもなかなか見つからないし、ましてハワイ出身ですからね。武蔵丸が大関になったときに後援会がいなかったって有名な話ですし。

ターザン　でも、最近の相撲見ていたら、朝青龍だけはプロレスしているね。負けたら座布団が飛びまくるし、いつも懸賞は、モノ凄い懸けられてるし。

松永　そうですね。ホント、朝青龍で救われてますね、いまの相撲界は。



7・29地元ハワイ、アロハ・スタジアムでチェ・ホンマンとの再戦に挑んだ曙だったが、まったく練習のあとや進歩が見られぬまま、アッサリとKO負け。翌日の新聞には「曙、もうプロレスしかない」など、プロレスに対して実に失礼な見出しが踊った。

ターザン　朝青龍は、相撲のルールじゃなくて、朝青龍のルールで生きてるから素晴らしいんだよね。

松永　相撲界はつまんないしきたりがあって、高見盛のパフォーマンスにしたって、北の湖理事長が「やるな」って抑えたりするんですよね。

ターザン　でも、さっきのアイディアは面白いよね（笑）。

松永　ハワイに相撲作って、日本の相撲界が震え上がるくらいの凄い力士を育てて挑戦状を叩きつけたら面白くなりますよ。日本相撲協会は逃げると思うんですけど、逃げたら、「逃げた。逃げた」と大騒ぎしてね（笑）。

ターザン　昔の上田馬之助みたいだね（笑）。

松永　ボブ・サップがまわし付けてもいいんですよ。なんで、ちょんまげ結わなきゃ相撲ができないんだってあるじゃないですか？

ターザン　金髪vsちょんまげで対抗戦してもいいしね。

松永　いま実際に十両でいるらしいですけど、エストニアかなんかの力士が。金髪だからって、批判されてるらしいんですけど。

ターザン　でも相撲は、行事がいたりとか、まわしがあったりとか、全て型の世界だよね。それが美しいんだよ。あれはスポーツじゃないからね、本当は。

松永　たしかにそうですね。結論としては、曙はハワイ相撲協会を設立して、日本相撲協会に挑戦する。そういう展開になったら、みんな応援しますよね。

ターザン　大相撲の世界にくさびを打ち込む、いい企画ですよォォォ！　凄いよ、松永さん！

松永　あ、ありがとうございます（苦笑）。

ターザン　いいなぁ～、松永さんは楽しく生きてるね。昔から、優秀なプロレス評論家だとは思ってたけど、凄いね。

松永　以前の『週プロ』での山本さんとの対談を通して、ただバカみたいに身体を張った人間ではないことを証明できたと思うんですよ。何の計算もなく、身体を張ってるだけの人間ではないと。僕は頭使いましたからね。本当にW★INGというものに対してどうしたらいいか一所懸命考えましたよ。

ターザン　あ、そう。

松永　でも、いまのレスラーというのは何も頭使ってない。デスマッチというと、身体中ガラスと画鋲が刺さってればそれでいいという。いまのデスマッチはそうなんですよ。

ターザン　昔、船橋でやったファイヤーデスマッチはどうだったの？

松永　あれは酷かったッスね（苦笑）。

ターザン　あれは、超、超しょっぱかったよォォ！　デスマッチのフィニッシュがスモールパッケージって、アレはないよ（笑）。

松永　あれはいかんですよね（苦笑）。あの試合でW★INGはダメになったんですよ。みんなが失望して。

ターザン　曙とかボブ・サップがスクールボーイやるのと一緒ですよ。ナメてますよ。藤波さんがやるんならまだわかるんだよ。

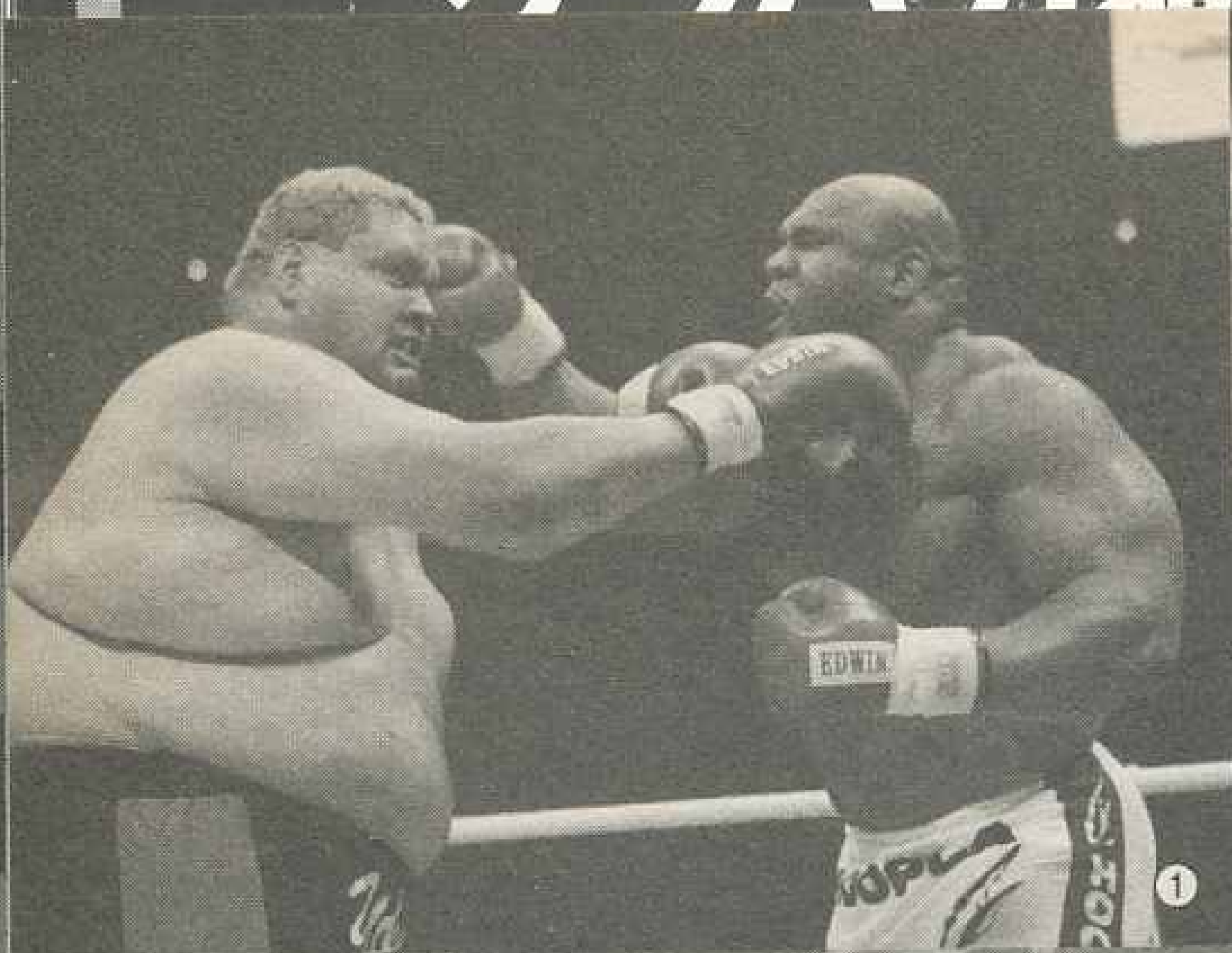
松永　「松永のかませ犬になりたくない」っていうポーゴさんのわがままが最後に出てしまって。だから、ポーゴさんと和解したのは3年前なんですよ。お互い言いたいこと言い合って和解したんですよ。それまでは心の底から嫌ってましたから。

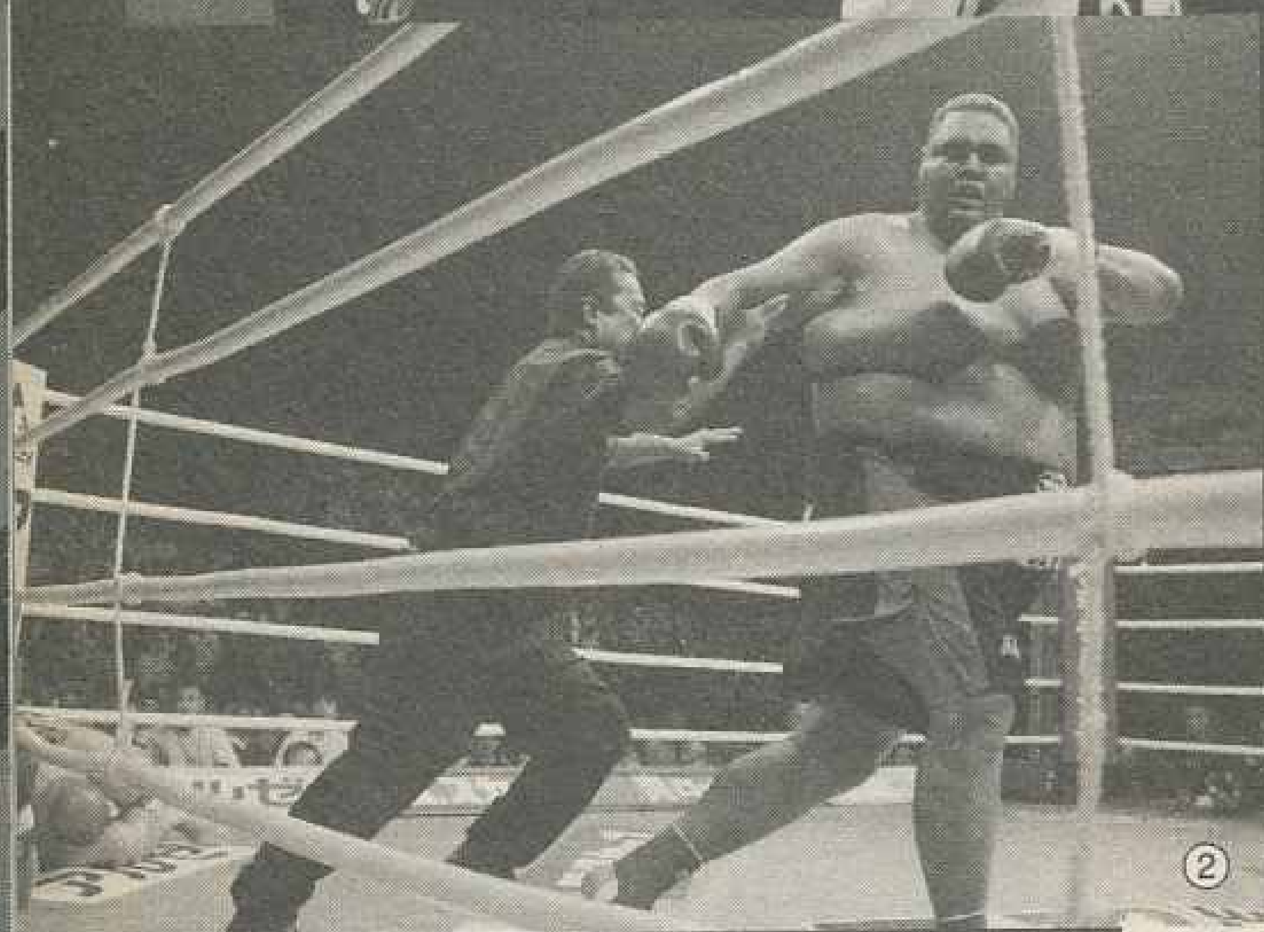
ターザン　レスラーが持っている、本質的なというか宿命的なジェラシー自我が出たんだよね。それがプロレス界をダメにしたんですよ。例えば、タッグで長州と小川が絡んだ試合とか、長州vs橋本とか、全部それがプロレス界を潰したんだよ。

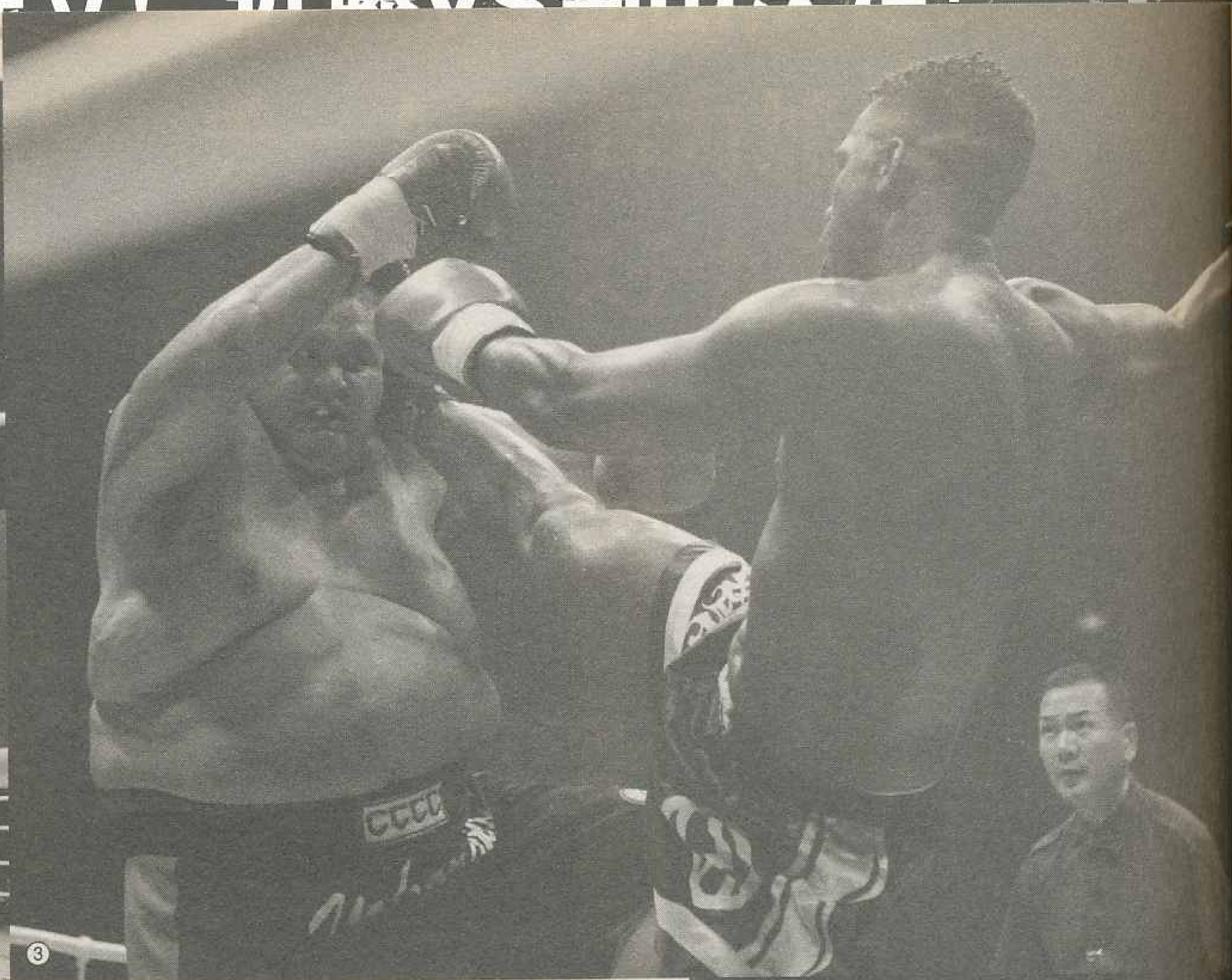
――長州さんばっかりじゃないですか（笑）。

松永　WRESTLE―1の長州vs佐々木健介はどうでした？

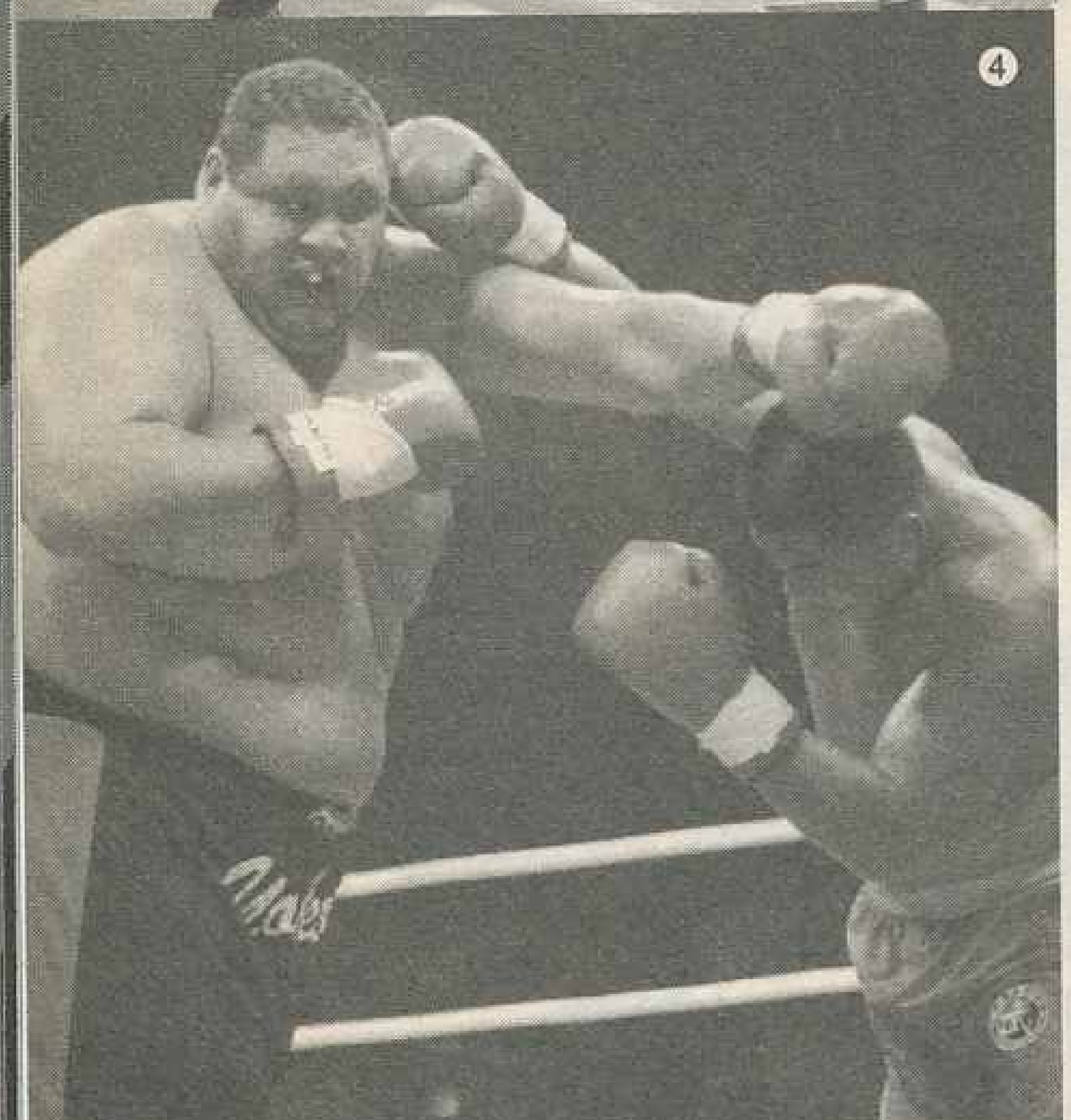
グラバカ独立！近藤vs菊田決定！

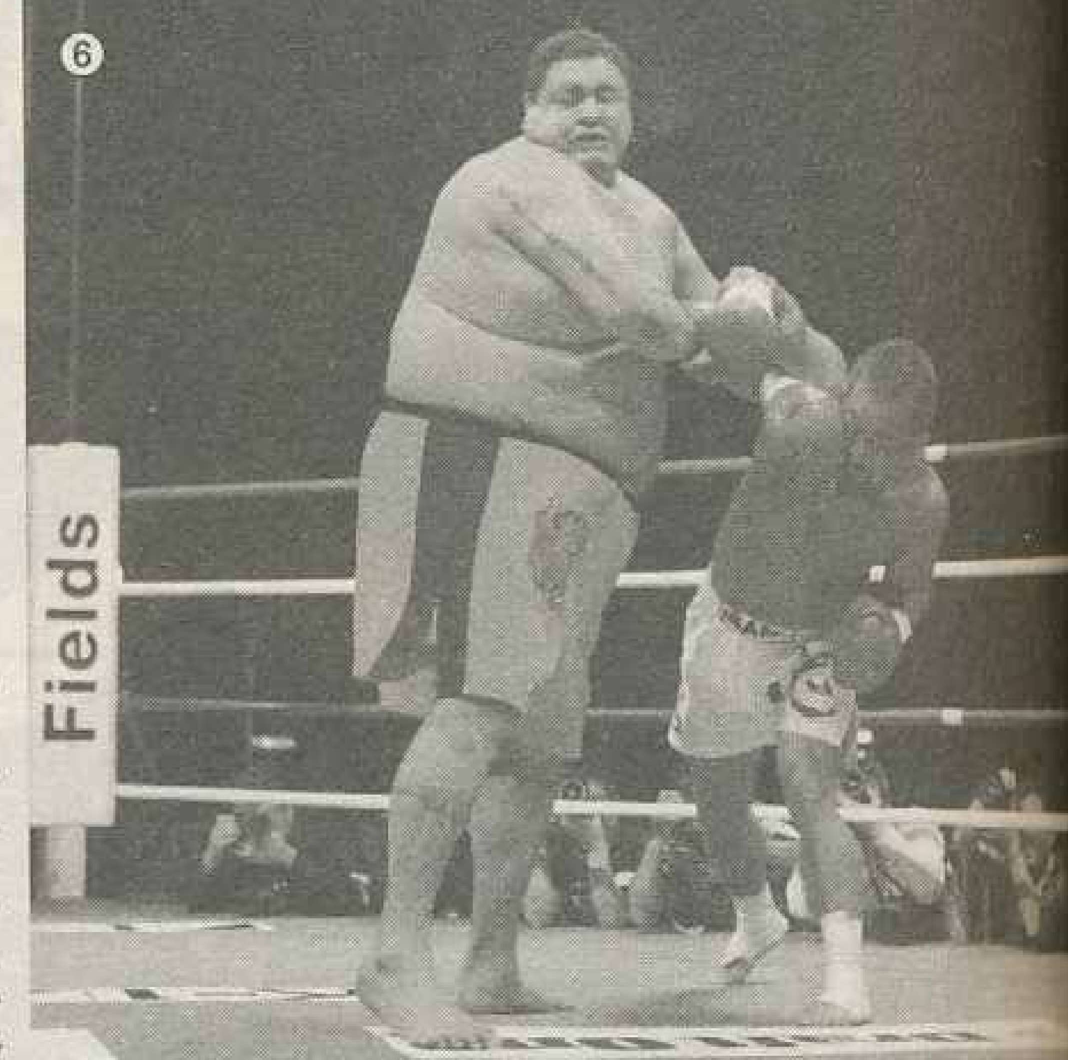

①


②

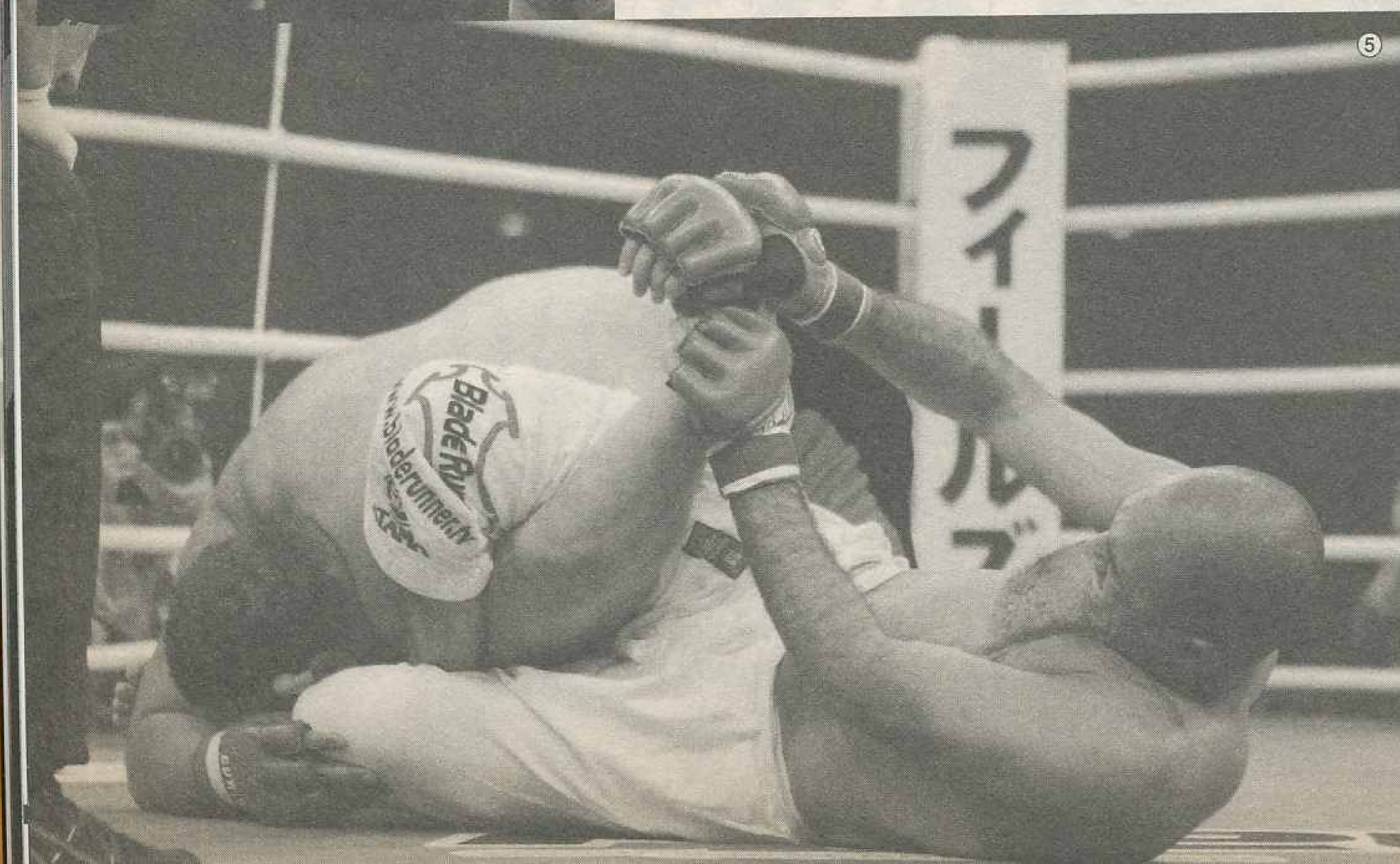

③

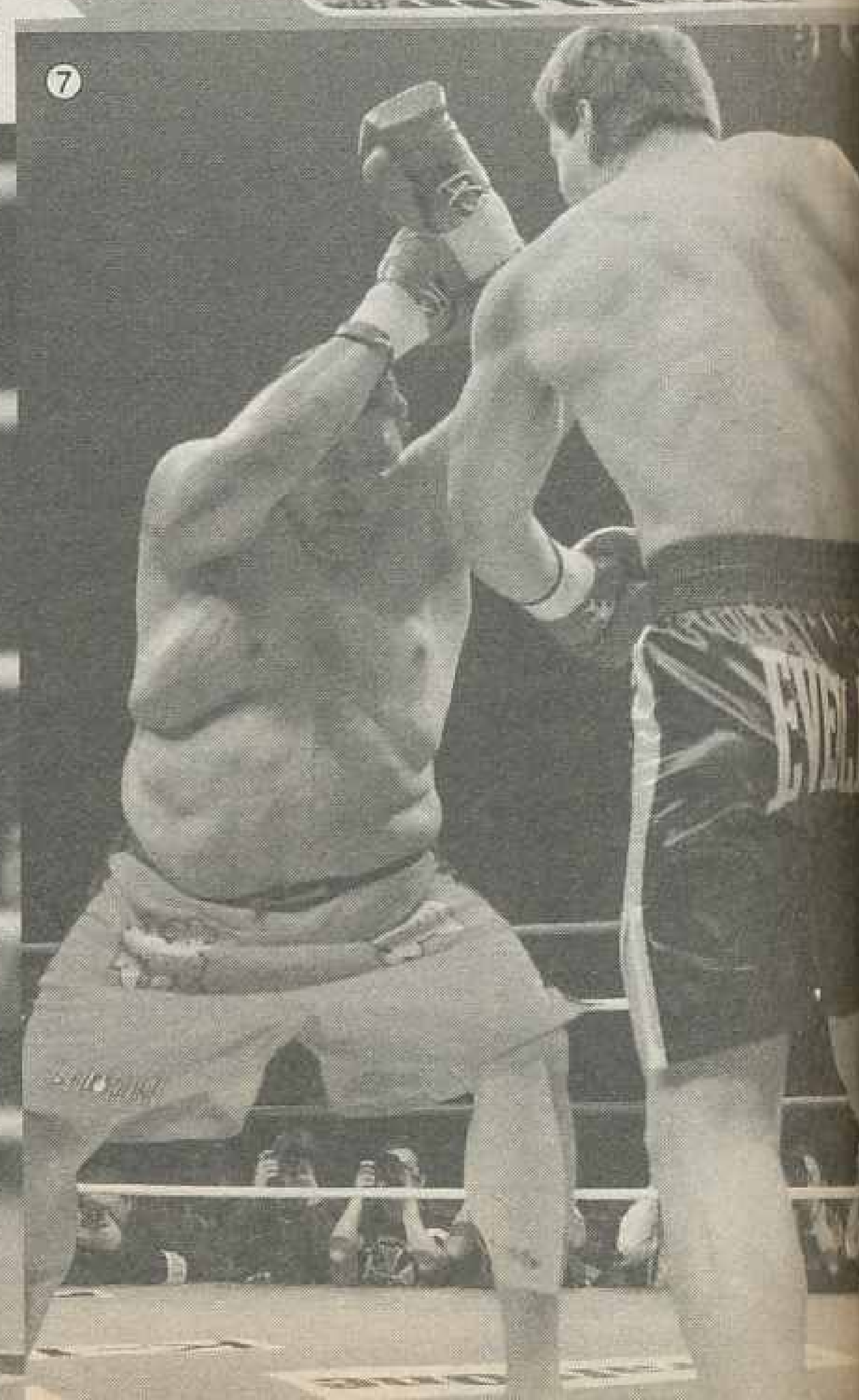
曙 超絶 BOUT PLAY BACK


④


⑥

1・2003年大晦日、記念すべきデビュー戦は、サップのパンチでKO負けを喫し、ウシガエルのような姿を晒したものの、テレビ視聴率は瞬間43％という記録的な数字を獲得！視聴率男・曙はこの闘いからスタートした。 2・デビュー2戦目で早くも"世界2位"武蔵と対戦。特別ルールで相撲のプッシュを解禁させてもらっい、反則暴走などでスポットを作るも、惜しくも判定負け。 3・優勝が期待されたアジアGPだが、逃げる中国の張慶軍にパンチがちっとも当たらず1回戦負け。 4・張戦でのフラストレーションを晴らすべく「真っ向勝負がしたい！」と王者レミー・ボンヤスキーに無謀な勝負を挑むも、ハイキックで失神KO負け。 5・デビュー1周年、「横綱は肩固め一本で世界を制す」という谷川さんの希望的観測を真に受け、総合に活路を見いだそうとするもホイスに手首を極められあっさりタップ。 6・そして今年、恐ろしいほど対格差のある43歳、角田相手についにK−1初勝利！ 7・しかし、その直後、トーナメント準決勝のホンマン戦では、タオル投入で秒殺負け！ 半年後のリベンジにも失敗した曙よどこへ行く……


⑤


⑦

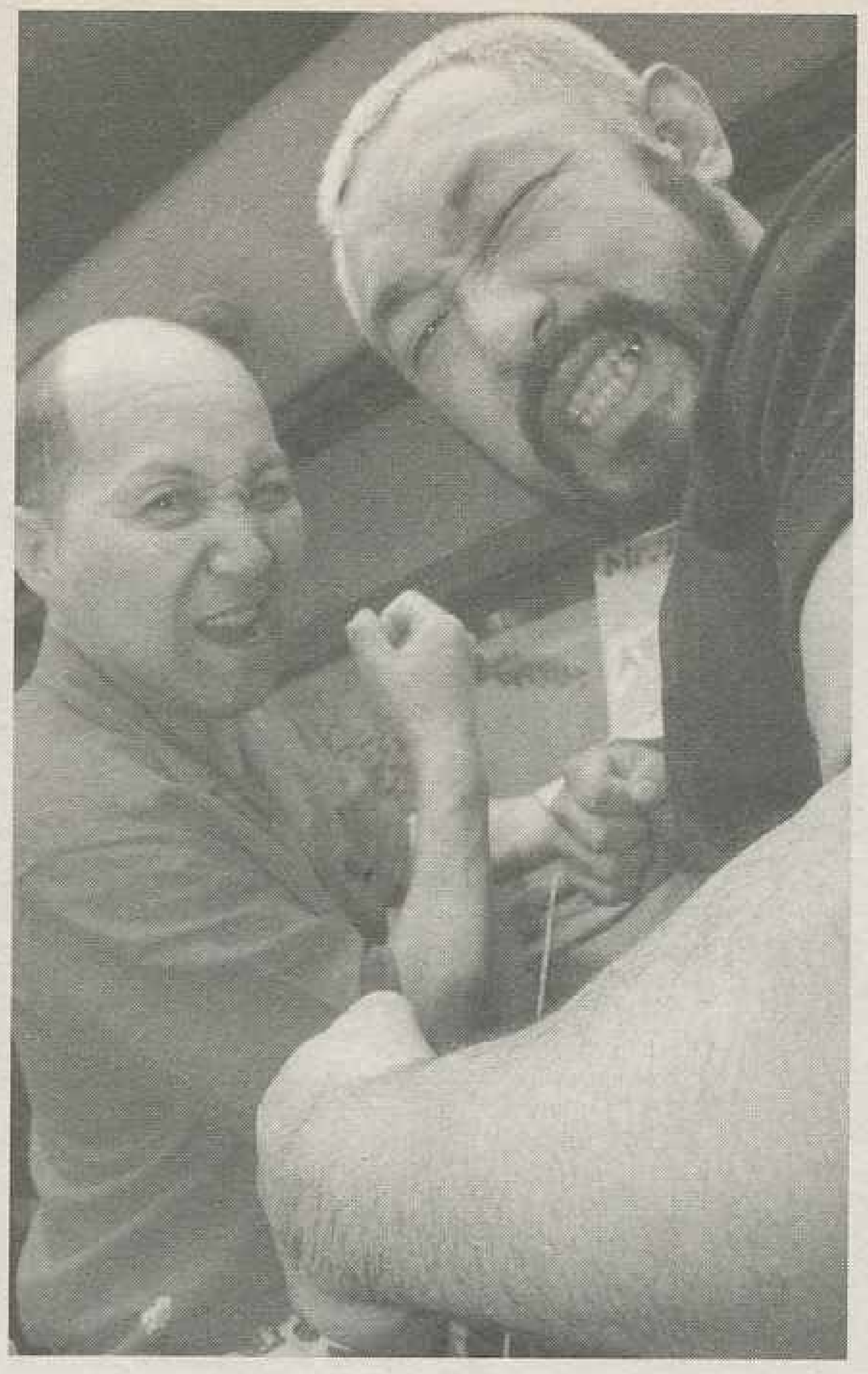
みんなハワイ相撲協会入りするべきですよ！

松永　以前の『週プロ』での山本さんと佐々木健介はどうでした？



ターザン　話になりませんよ、あんなもん！
——ガハハハハ！
ターザン　最悪だよ。「そんなことになるなら、やるな、アホ！」みたいな。あれはひどいよ。何がいけないって、意味がないのにやらせるからですよ。じゃあ、金に転んだのかと。やらなければ神話になったのにさぁ。やるんなら徹底的にやれって話ですよ。
松永　でも自分も、最近5～6年はしょっぱいと言われるようなことはなくなりましたよ。だから、曙も千試合ぐらいやんないとダメですね。千試合ももたないだろうけど（笑）。
ターザン　もつわけないですよォォォ！でも、一つ言えるのは、例えば練習をちゃんとしたり、巡業についていったりすればファンとかも優しく見てくれるんだよ。それを北尾みたいにポッと出てメインとかでやるから、ファンもそうだけど他のレスラーが「何を～！」ってなるんだよね。みんなジェラシーの塊だから。
松永　自分もFMWで3年間前座でやってから、しょっぱいと言われなくなったんですよ。「大仁田のヤロー、3年間前座で使いやがって！」て口では言ってましたけど、実はあの3年間が大事だったんですよ。あんまり公にはしてないんですけどね（笑）。
ターザン　だから、そういう下積み生活があって初めてプロレスを憶えるわけ。曙もそうですよ。どういう動きをすべきか、どういうフォームがあるのかとか、それを学ばないとダメですよ。
松永　それって一度憶えれば忘れませんからね。そうなると手を動かしただけでも、客は「オー！」ってなるんですよ。
ターザン　そう！それが基本ですよ！目に見えない方程式がプロレスにはあるんですよ。
松永　W★INGのときは無理があったんですよ。曙さんと一緒で。バルコニーから飛んで、一躍メインイベンターに押し上げられたんですけど、それで『週プロ』の表紙取ったって言っても、何にも基本がついてこなかったんですよね。
ターザン　それは曙も一緒ですよォォォ！巨大なる話題先行というか（笑）。
松永　その上、肉体改造もしないわけですからね。あれがビルドアップされた身体になったら、それだけで、「おおっ！」って思いますよね。一から頑張ったんだなと。それが、あの足ですからねぇ。
ターザン　練習してないの一発でわかるもんね。……でもホント、そっちはよくしゃべるねぇ。何か溜まってんの？
松永　溜まってはないですけど、仕事はツライですよ。プロレスラーだった人間が、店でこうやって「いらっしゃいませ」ってやるのは。8年半やって大分慣れましたけどね。ウチの店に来れば、99％会えるというのもウリの一つですし（笑）。
ターザン　それはキラー・カンに匹敵するね。でも松永さんって、ホント想定外の人だね。
松永　いやいや、こういう発想があったからこそ、いわゆるW★INGも生まれたと思うし。自分はいまでも新しいアイディアを思いつきますよ。たとえば、総合の選手に、総合ルールで試合をさせて、その中に一つだけルールを加えるんですよ。そのルールの内容が、「ロープに降られたら、返ってこなければならない」というのを加えたらどうなると思いますか？
ターザン　……。
松永　もし、総合の試合でリングの上に画鋲が落ちてたら、ノゲイラだって画鋲が怖くて寝技に持っていけないかもしれないじゃないですか。
——ガハハハハ！
松永　そうなればもしかしたら自分にも勝機があるかもしれないとか。
ターザン　キミは変態だよォォォ！
松永　自分、そういうネタはいくらでもあるんですよ（笑）。
ターザン　（真顔で）松永さん、今日話して初めてキミのこと可愛いと思ったよ。
——ガハハハハ！
松永　ありがとうございます（笑）。今度、自分の試合を見に来てください。1列目で、タクシーチケットもつけますから。
ターザン　わかった。必ず見に行きますよォォォ！

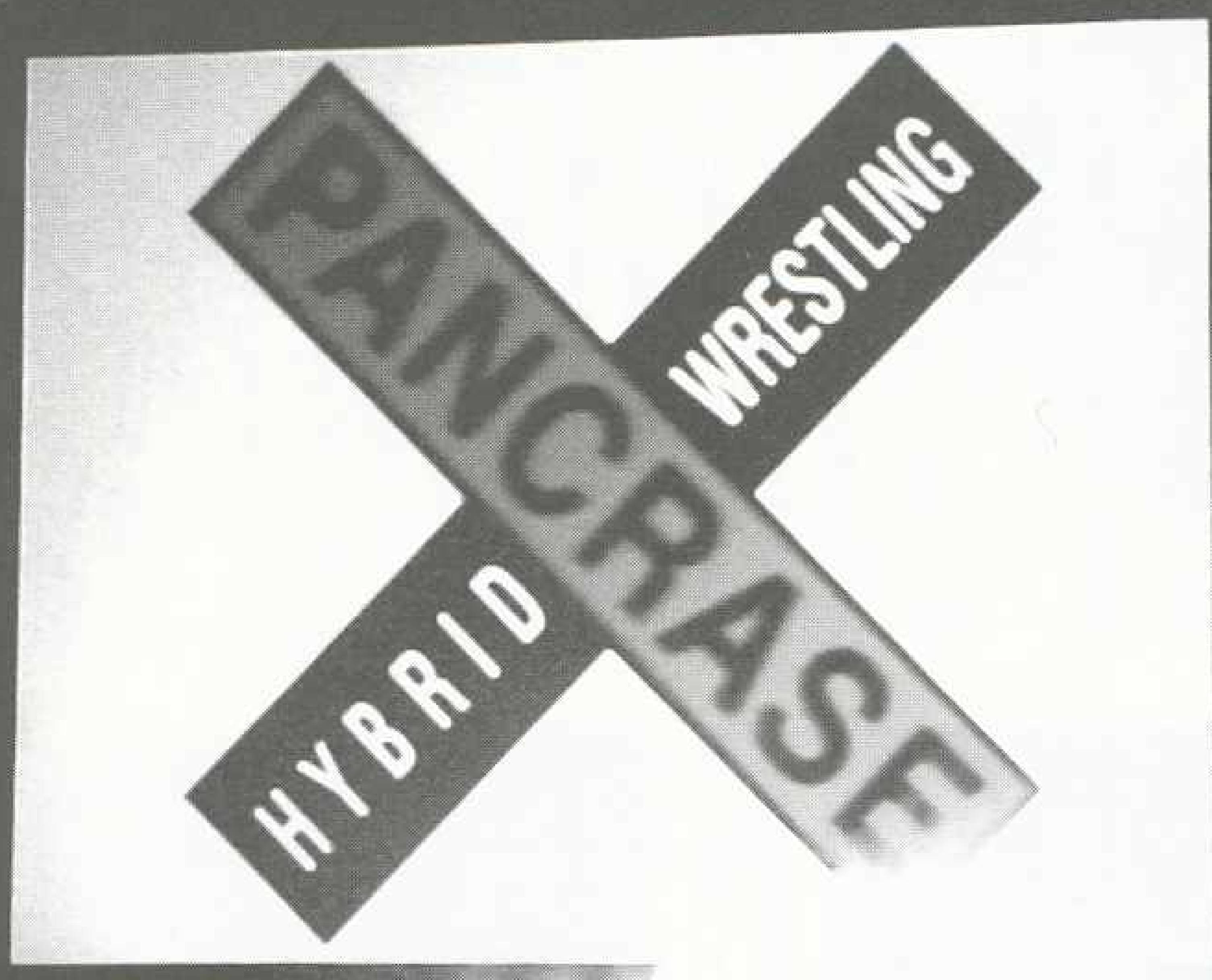
【8月8日／ステーキハウス『ミスター・デンジャー』にて収録】



文章添削の天才・ターザン山本！が『実戦文章講座』を開講！

9月7日から12月までの4ヶ月間「実戦文章講座」を開講します。毎週金曜日の19時半から2時間、私（ターザン山本！）が文章の書き方、教えます。物の見方、考え方、まとめ方、伝え方の勉強になると思います。場所はJR水道橋駅西口から歩いて3分「貸し教室・内海」です。受講料は10万円。募集人員は限定20名まで。
申し込みはターザン山本！のメールアドレスまで。
なお9月2日は体験入門日とします。参加費は千円です。
ターザン山本！のメールアドレスtarzan@ibj.co.jp

グラバカ独立！ 近藤vs菊田決定！
メガトン脱退！ チーム玉海力加入！
さらにパンクラスZで、みのるvsアステカ実現！……



いろいろありますが

パンクラスはどうなるの？座談会



グラバカが独立したかと思ったら、10・2横浜文体では近藤vs菊田のタイトルマッチが決定！ チーム玉海力が加入したかと思ったらメガトンの脱退騒動勃発！ 他にも9・3熊本で開催されるパンクラスZでは、鈴木みのるvsアステカのパンクラス初のプロレスルールが実現するなど、パンクラスはいつだって激動の真っ直中！ 今回は日頃パンクラスを取材している関係者3人で、あ～でもない、こ～でもないとパンクラスを語ってみました！

構成／松澤チョロ design by さおとめの事務所

ましたけど、実はあの３年間が大事だっ
もんね。……でもホント、そっちはよく

パンクラスに限らず修斗も離脱者ってメチャクチャ多いですよね（笑）

座談会出席者プロフィール

関係者X— パンクラスに限らず、『PRIDE』やDEEPで総合格闘技全般と、キック系を中心に活躍しているメガトン系（？）ライター。パンクラスへは旗揚げから数年間は首都圏興行皆勤賞。神戸大会への"密航"歴もあり。

関係者Y— パンクラスに限らず、女子格からキャットファイト、さらには東城えみ主演のAVまで誰からも頼まれていないのに独自に取材を続ける編集者。パンクラスの会場でも一番熱心に追いかけるのはラウンドガールだったりする。

関係者Z— パンクラスに限らず、総合、プロレス、キックまで幅広く取材している女性記者。ここだけの話、佐藤光留日記&メルマガの愛読者でもある。ただし、"Z"といっても9月3日の熊本でのパンクラスZとは無関係（当たり前）。

関係者Y（以下・Y） え〜、今回は7月の横浜文体で〝新生〟パンクラスが船出したとの尾崎社長の発言もありましたので、ここ最近のパンクラスの動向や展望、要望など、ざっくばらんに語ってもらいたいと思ってます。

関係者X（以下・X） いつの間にか新生パンクラスになってましたね（笑）。

関係者Z（以下・Z） 私も知りませんでした（笑）。

Y でも尾崎社長が言ってたんで間違いないと思います。で、ここ最近のパンクラスというと、選手が抜けたり、独立したり、かと思えばチーム玉海力が突如設立されたりといろいろあったわけじゃないですか。

Z ホントいろいろありますよね。なにげに何人か抜けてますし。

Y どちらかといえば、マイナス材料の方が目立ってきてるんで、パンクラスには頑張ってほしいなって思ってるんですけど、皆さんはいかがですか？

X そのマイナスなイメージすら、熱心に会場に通ってるファン以外には、とどいてないんじゃないかって不安もあるんですけど（笑）。まあ実際、マッチメイクは弱くなってますよね。

Z 昔は横浜文体っていったら、ビッグマッチだったのに、「エッ、こんなカード」っていう大会も正直ありましたからね。

Y カードもそうなんですけど、でもなんでこんなに離脱者が続くんでしょうかね？

X やっぱり『武士道』や『HERO'S』の出現で相対的にパンクラスの価値が落ちてますよね。で、みんながそっちに行きたがるっていう。

Z それは見てても感じますね。

X それを引きとどめておけなかったのは、美濃輪、近藤、菊田っていう、大スターになれる可能性のある選手が同時期に出てきたにもかかわらず、興行規模を拡大できなかったのが理由の一つでしょう。後楽園ベースで、ビッグマッチは横浜文体。で、年に1回、両国かNKホール。基本的に興行規模を拡大できなければ収入も増えないし、いい外国人を呼べないと。もちろんいいギャラももらえない。……あくまでも想像だけど（笑）。

Z でも実際そういう噂はよく耳に入ってきますけどね。

X まあギャラは高くなくても、やりがいのある相手とやれればいいんだろうけど、大物外国人もなかなか呼べないわけでしょ、資金的にも政治的にも。だったら、選手としてはパンクラスを抜けた方が可能性が広がるなって考えちゃいますよね。

Y 選手としては、大会場で、いいギャラをもらって、いい選手と闘いたいって欲望は当然あるでしょうからね。

Z これまで中軽量級の選手が活躍できる舞台っていうのはパンクラスと修斗しかなかったわけじゃないですか。それが『武士道』だったり、ルールは違うけど『HERO'S』だったり、K—1MAXとか、他に活躍できる舞台が出てきたら、じゃあ、何もパンクラスに固執してないで、外に出ていってもいいんじゃないかって考えるようになったと。それに、パンクラスに限らず修斗も離脱者ってメチャクチャ多いですよね（笑）。

Y そうなんだけど、でも修斗と違ってパンクラスって団体なわけじゃないですか？ いまとなっては唯一残った格闘技系で団体システムをとっているところで、新弟子もいまだに取ってると。そのシステムが息詰まってきている部分もあると思うんですよね。

X 実際、パンクラスで選手に専念して食えてる選手っていうのはほんの一部らしいですから。佐藤光留なんて週7でピーズラボのインストラクターやってますからね。旗揚げメンバーの國奥麒樹真、第一回入門テストで入った渋谷修斗もやめちゃいましたしね。

Y この間の『HERO'S』での國奥の試合には渋谷と柳澤がセコンドについて、解説席には船木さんがいて、バックステージで4人が話してるのを見ると、元パンクラス軍団結成か、とか思っちゃいましたけどね（笑）。

X そういう状況がある中で、『DEEP』だって興行規模を縮小してるし、確実に身の丈にあった興行システムで、大会を回していくっていうのは当然ありなんですよ。ただ「もっとうまく盛り上げて、興行とかビジネスの規模を拡大できなかったの？」とも思うんですよ。何年も前ですけど、近藤が文体で郷野に激勝して、「やっぱ近藤って強えな！」ってみんなが思ったじゃないですか。だったらその勢いで大物とのビッグマッチが見たい。でも実際にやった相手は佐藤光芳に石川英司、キック・ボクサー、そんでトドメが『プレミアムチャレンジ』（笑）。

Y しかも、禅道会の百瀬善規に負けちゃいましたからね。

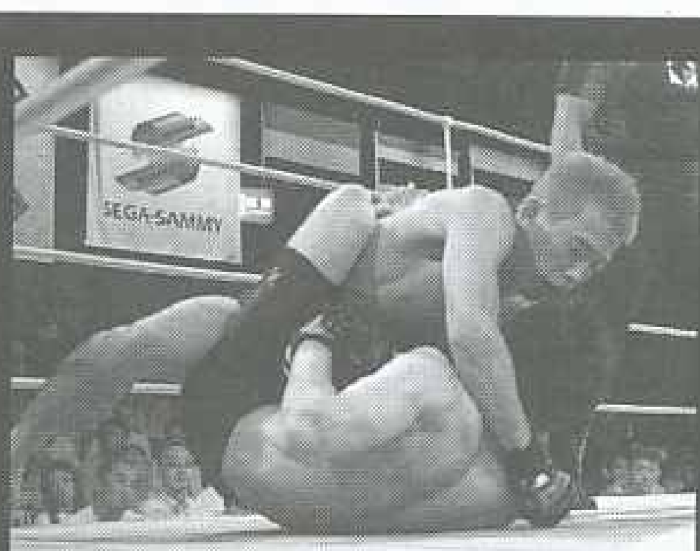
X それって、言葉はキツいけどフロントの失策でしょ？ あそこで大物外国人とやるなり、『PRIDE』に出るなりしてれば流れは違ってたと思うんですよ。菊田も『PRIDE』に出たと思ったら揉めるだけ揉めてアレク戦だったりとか。そういう失策が、いまの事態を招いてる部分もあるでしょう。

Z 格闘技の試合なんで、何が起こるかはわからないですけど、そのマッチメイクってどうなの？ってことは多々ありましたよね。

Y ですね。Zさん的にはパンクラスの魅力はどんなところですか？

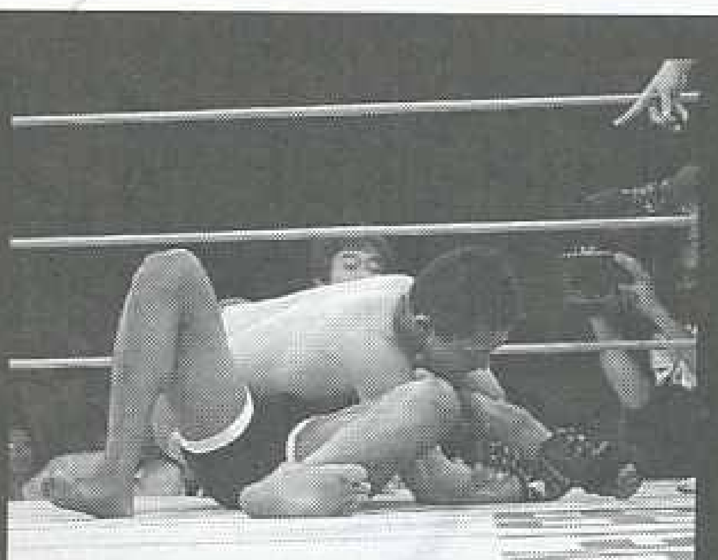
Z やっぱり私的には日本人対決ですね。私はむしろ一番良かった頃のパンクラスって、あんまり見てないんですよ。近藤がいて、菊田がいて、美濃輪もいるっていう頃の。菊田vs美濃輪戦は見に行ったけど、むしろグチャグチャしてて面白いなって感じ始めたのは、去年ぐらいのパンクラスで。グチャグチャの面白さっていうのは、パンクラスが持ってた格闘技理念と、あとキャラクターをごり押ししようとするメガトン勢とかのせめぎ合いみたいな感じで、あきらかに歪んでたというか、軋

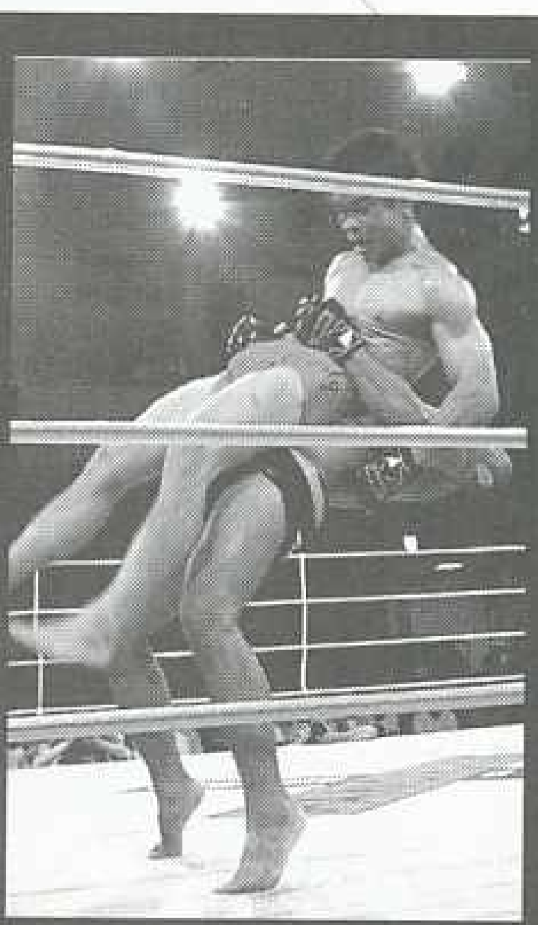
やっぱり、この日も大爆発！ 7/31パンクラス後楽園大会ダイジェストーッ!!



元『紙プロ』読者投稿常連としてもお馴染みの村田卓実が、7/10横浜大会で元修斗フェザー級1位の今泉堅太郎を下したDJ.taikiと対戦。試合はポジショニング、パウンド等で優位に進めた村田が判定3—0で勝利、ロード・トゥー・前田吉朗への道を一歩前進！


7/10横浜大会で高橋に敗れた桜木裕司が中20日で登場、DOGでデビュー戦を勝利で飾ったロシアのアスラン・デゼボエフと対戦。桜木は、いつものように序盤は攻め込まれるも、2Rに強烈なミドルで大逆転勝利。これには試合を見守っていたタナケンも苦笑い。


ムエタイの現役王者でヤマケンらと総合の練習を積んだクンタップ・ウィラサクレックと矢野卓見による異種格闘技戦的一戦。試合は、クンタップの打撃で場外へ転落するアクシデントもありながらも、なんとかグラウンドに持ち込んだヤノタクがアームバーで勝利！


フェザー級NO2の志田幹がパンクラス初参戦ながらマット・セラ、シャオリンとの対戦経験を持つ強豪メンジヴァーの激突。試合は、両者が打撃で打ち合う白熱した攻防が繰り広げられたが、ブリッジの利いた完璧なジャーマンで志田を投げたメンジヴァーがフルマークの判定勝ち。次の前田の対戦相手はこの男が最有力だ！

少なくとも今のパンクラスは ハイブリッドレスリングではない

みが起きてたんですよね（笑）。

X タガが外れたパンクラスを象徴してるのが去年のNK。第1試合からメインまで全員がマイク取ったっていう。それを統制しないんならしないで構わないんだけど、どうなのっていう。

Z 私が思うパンクラスは、まだハイブリッドボディーでハイブリッドレスリングっていうイメージなんで、だから、見てると凄い矛盾があるんですよね。新生パンクラスっていうんだったら、新しいキャッチフレーズみたいなのが必要な時代になってるんじゃないかっていうのは感じます。

X 少なくとも今のパンクラスはハイブリッドレスリングではないよね。

Y 最近は『DEEP』と内容的に被ってるってよく言われがちですけど。日本人対決っていうところもそうだし、『武士道』とかへのルートっていう部分も含めて。

X 女子マッチは『DEEP』や修斗もやってるし。団体の枠を超えた越境対決だって、今は修斗vsパンクラスっていっても誰も驚かないっていう状況だしね。そんな中でどんな色づけをしていくのか。パンクラスに限らず、どの団体もそこを問われてるんですよ。

Z どう差別化していくかっていうのは大きな問題ではありますよね。

X 『DEEP』にも言いたいことはあるけど、とりあえず『武士道』への登竜門として機能してますよね。じゃあ、パンクラスはどうなの？と。まさかそれがチーム玉海力なんですかね（笑）。

Y それは、どっちかというと『DEEP』色ですよね（笑）。

Z この間の文体での元修斗ランキング1位の今泉堅太郎vsDJもそうなんだけど、去年から感じてたのは、パンクラスが描いてる青写真が崩れた瞬間って、なんだかわかんないけどもの凄い爽快感があるんですよね（笑）。

Y 郷野が桜木に負けた試合とか？

Z そうそうそう（笑）。

X ただ希望らしきものもあるんですよ。佐藤光留が体重差対決を克服して勝って、マイクもそれなりにはまって。北岡も珍しくっていったらアレだけど、鮮やかな一本勝ちでしょ。あの2人はよかったですよ。

Y 北岡本人も言ってましたけど、マイクはダメでしたけどね。

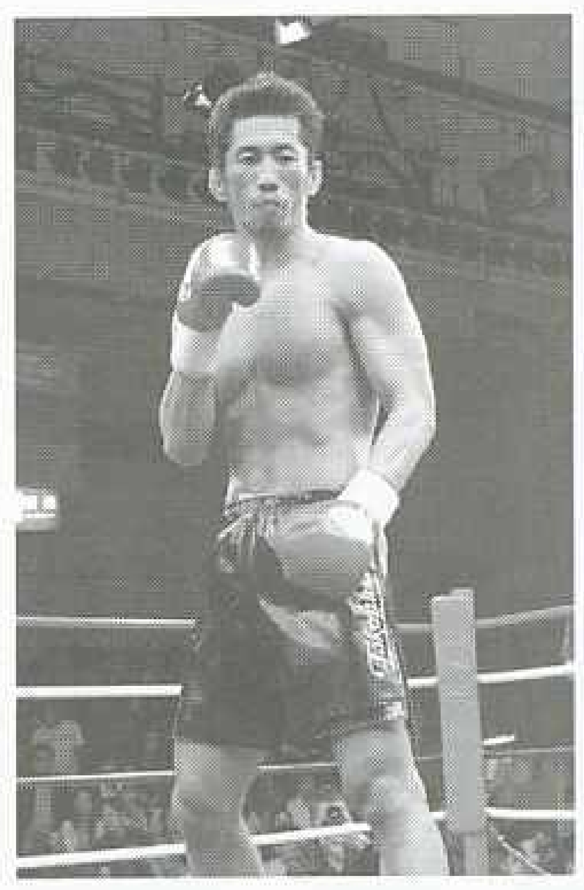
X ちょっとウルウルって来てたし、内容もわかりづらいことこの上なかったんですけど、でも言いたいことはわかりましたよね？

Y 「この間の『HERO'S』見た？あれカッコ悪くない？」ってマイクですね。修斗の菊地昭にアッサリと負けたパンクラスのウェルター級チャンプ・井上克也のことを言ってたんだけど、その試合は地上波で流れてないから、観客もなんのことを言ってるんだって雰囲気でしたけどね。

X ただ、怒りや不満を隠しちゃう人も多いじゃないですか。「人は人なんで」ってカッコつけたりとか。だけど北岡はいまの状況がヤバイと思って、ムカついて、それをさらけ出したわけですよ。それって大事なことじゃないかと思いますよ。あとはそれを団体やマスコミがくみとってあげられるか。



7・10横浜大会でパンクラスへ2年ぶりの登場となった高橋は試合後、早い段階でのパンクラス再登場を示唆。そ謙吾らとの新チーム名は「俺がパンクラスですから。その自信と自覚をもって名前は付けません」とキッパリ



昨年、全日本キックのプロテストに合格した伊藤崇文。今年に入ってキックルールで2戦2勝。7・24後楽園大会では格通でライターとしても活躍しているマルチファイター、ハイパー・キック・リーに判定3―0で勝利



ismの中でもパンクラス愛を誰よりも感じさせる佐藤光留。7・10横浜大会では約60キロ差の体重を克服しチーム玉海力の小椋に見事勝利。10・2横浜大会では、またしても巨漢プロレスラーとの対戦が噂されている。



ウェルター級王座決定トーナメントで決勝まで勝ち抜きながら負傷によりチャンスを逃した北岡悟。7・10横浜大会ではKOTC王者のシュルツを秒殺。試合後は『HERO'S』で敗れた暫定王者の井上克也を挑発！

Z そういう意味では、7月の横浜大会で結果を出した佐藤と北岡は大したもんだと思いますね。いろんな矛盾を一身に背負いながら、あえてプロレスラーだっていう発言をして、それでも勝ったっていう佐藤は凄いなと。

X 目的意識を持って打撃を出さずに桜木に勝った高橋義生も含めて、それぞれテーマが出てきたっていうか。

Z テーマを見いだそうとしている感は伝わってきますよね。

X ただ、そういう発言が〝外野席〟にどれだけ響いてるのかなと。「北岡？井上？ 誰それ？」って言われたら、説明しだすと長いですよ（笑）。要するにテーマはあっても、ダイナミックに回転してるってほどではないと。まあ、修斗のマモルvs井口摂ぐらいの盛り上がりかなって。

Y たしかに、マモルvs井口も気にはなりますけど、どこまで届いてるんだって話ですからね。

X 逆に言うと、いまのパンクラスはそれぐらいなのかなって。その規模から、まずは充実させていかないと。

Z そこで認知されないと、スターになりようがないっていうか、少なくともファンをつかまえてこれないですからね（笑）。

X 『武士道』や『HERO'S』に比べると、どうしてもスケールが小さく感じられてしまう弱みはありますよね。でもとにかく、いまはそれを認めた上でなんとかしてくしかないと。インディーとは言わないまでも、もう毎回のようにNKや武道館でやってた昔のパンクラスとは違う目で見なきゃいけないですよね。そんな団体を押す必要があるのかと言われたらアレだけども、どう考えても佐藤光留みたいな選手は他の団体にはいないですからね。

Z まあ、いないですよね。もしかして、いまが人生最大の時かもしれないですけど（笑）。そんなことないか。

X あともう一つ言えるのは、忘れてるかもしれないけど（笑）、パンクラスには、まだ近藤もいますからっていうね。ただ、いまの近藤の主戦場は『PRIDE』だし、そうあるべきだから。やっぱり残った連中でどうするかっていうところだよね。

Y 10月の横浜文体では近藤vs菊田のタイトルマッチが決定しましたけど、このカードはいかがですか？

X いいカードだと思いますよ。特に菊田目線で考えると、いろいろドラマもあるし。でもパンクラス目線、近藤



パンクラス軽量級エース・前田vsリングスオランダ王者のコリン・マンサーがメインで激突。顔にワセリンを塗って登場したコリンに、いきなりイエローカード。その後もサミングでレッドカードが出される大荒れの試合となったが、最後は前田がボコ殴りで勝利！



試合後、コリンが前田に殴り掛かろうとしたためリング上は大混乱。前田は「メインイベンターがみっともない試合してすいません。熱くなりました。前の試合でフェザー級のNO2がやられたんで、NO1らしく9月は（メンジヴァーと）試合します」とアピール。

心に会場に通ってるファン以外には、
きる舞台っていうのはパンクラスと修
を拡大できなかったの？」とも思うん
で、あきらかに歪んでたというか、軋
ーマンで志田を投げたメンジヴァーがフルマークの判定勝ち。次の前田の対戦相手はこの男が最有力だ！

今だからこそ、パンクラスと他のチームとの対抗戦が見たい

目線で見ると厳しいかもしれない。個人的には、タイトルマッチをやる資格があるのはライトヘビー級で一番勢いがあるケステゥシャス・アルボーシャスじゃないかなって思うんですけど。郷野だったら文句ないし。でも郷野は『武士道』があるし、アルボーシャスじゃあ、それこそ興行的に……。

Z キツいですよねぇ（笑）。

X だから結局、いまのパンクラスは近藤に見合った相手を用意できるの？っていう、以前からの疑問やら不満が出てきちゃうわけでね。

Y そうかと思ったら9月の熊本でのパンクラスZでは鈴木みのるvsアステカのプロレスルールも決まったりと、いろんな意味で〝新生〟パンクラスだなとは感じるんですけどね（笑）。

Z そういうのも含めて新生なんでしょうね。

X いや～、でもオレ、さすがにこれはダメだわ。パンクラスZって、本流のシリーズとは別枠の大会なんでしょうけど、それにしてもパンクラスのリングで鈴木みのるがプロレスやるって、底が抜けてるにも程があるでしょ。何考えて組んだんですかね？

Y 「何がやりたいんだ、コラ！」と（笑）。

X まだ見てないのに言うのもなんだけど、東城えみのAVマッチ以上にリングを汚された感じがしますよ。

Z そこまで言いますか！（笑）。

X だってねぇ、オレはパンクラスの旗揚げ戦も行ったし、プレ旗揚げイベントも見てるし、神戸でやった鈴木vsモーリス・スミスのキックルール戦だって密航したしねぇ！

Z それは何度も聞きましたけど（笑）。

X じゃあ結局、鈴木はなんのために新日をやめたの？ なんでパンクラスを作ったの？って話じゃない。まあパンクラス的には「売り興行であって主催大会じゃないから」ってことなんだろうけど……。だったら『尾崎祭り』とかってタイトルにすりゃあいいのに。

Z そう考えると新生パンクラスって、船木・鈴木時代を捨てるっていうんじゃなくて、グラバカとイズムが対抗戦をやってた頃からも離れていってますよね。

Y Xさん的に、いまのパンクラスで期待する選手というと誰になります？

X 近藤は昔っから好きだし、今後も注目していくのは変わらないですけど、近藤に関しては新生パンクラスとか関係なく、彼のやることを見ていくだけだから。それより、近藤に頼らず光留、北岡、大石幸史ぐらいがどうやって面白いパンクラスを作っていくかが重要でしょうね。

Z ちょっと話はずれるけど、山本KIDに対して前田日明が「もう仲間内でチーム作ってやってる時代じゃない」って言ってましたけど、パンクラス見てて、それを思ったんですよ。イズムっていうチームを作ってやってるっていうか。

X イズムもちっちゃいチームと考えたら、その通りだからね。

Z 大舞台に行ったら、それはネームバリュー的にも通用しないかもしれないけど、パンクラスのリングでだったら対抗戦は面白く見られるような気がするんですね。パンクラスはいまこそチームっていうのを意識してほしいですね。他団体のチームも含めて対抗戦みたいなところに力を入れるべきなんじゃないかと個人的には思いますね。

Y 『武士道』でも吉田道場vsU－FILEが行われて、『DEEP』でもグラバカvs『DEEP』が組まれたりしてますけど、パンクラスでも対抗戦をドンドン組んでもらいたいと？

Z グラバカは最初はホントにただのチームだったのが、あれだけのことをやって「寝技と言えばグラバカ」ぐらいに浸透してきたわけですし。で、上がる方としてもチームっていうところに特化して選手を送り込んでいくべきだと思いますね。佐伯さんは「そんなこと言わんといてよ。ウチでだってやりたいんだから」って言うかもしれないけど、パンクラスの方が、イズムっていう本体がいるだけに、チーム対抗戦が組みやすいと思うんですよ。稲垣組もいるし、あとチーム玉海力もあった（笑）。

Y イズムvsチーム・エリートとかね（笑）。雑草とエリートどっちが強いんだっていう。

Z それは見たいですねぇ（笑）。SKアブソリュートも、いい感じでヒール軍団になってきてるし、そういうチームが名を売っていくには一番いい舞台だと思うんですよ。それをパンクラスの方が割り切ってドンドンやるべきだと思う。そこから日本人のスターだったり、いいチームが出てきたら、それに越したことはないですからね。

X まあ、小さいことから頑張ってほしいなと。それは期待してないんじゃなくて、期待の仕方が変化したと。

Y まあ、いろいろとありますけど、これからの新生パンクラスには今まで以上に頑張ってほしいってことで無理矢理締めさせていただきます！

X また強引な（笑）。

Z このグチャグチャ感がいまのパンクラスの魅力の一つだと思うんで問題ないでしょう（笑）。

Y 頑張れ、パンクラス！

パンクラスはどうなるの？座談会



8月5日に行われた会見で、10月2日の横浜大会でライトヘビー級王者・近藤有己vs菊田早苗のタイトルマッチが発表となった。近藤が「今回は初めて自分がチャンピオンとして受けて立つ立場なので、今まで以上にプレッシャーを感じています。勝つのはもちろんですが、これまで以上に内容もこだわりたい」と語れば、一方の菊田は「この試合は自分の強い要望で叶えてもらった試合です。ベルトよりも近藤有己に勝ちたいという気持ちが強い。今回は自分が勝ちます」と自信満々に語った。

東京、熊本、大阪！ パンクラス怒濤の興行ラッシュ!!

8/27（土）『PANCRASE 2005 SPIRAL TOUR』
東京・後楽園ホール　試合開始18:30
■発表済み対戦カード
【ウェルター級戦/5分3R】
大石幸史vsネイサン・ディアズ
【ウェルター級戦/5分3R】
渡辺大介vs松井大二郎
【ミドル級戦/5分2R】
中西裕一vs久松勇二
【ミドル級戦/5分2R】
山田護之vs瓜田幸造
【第11回ネオブラッドトーナメントフェザー級決勝戦/5分2R】
井上学vs柳澤雅樹
【第11回ネオブラッドトーナメント ライト級決勝戦/5分2R】
山田崇太郎vs中條実
【第11回ネオブラッドトーナメント ウェルター級決勝戦/5分2R】
本田朝樹vs小路伸亮
【ライト級戦/5分2R】
宮崎裕治vs北田俊亮

9/3（土）パンクラスZ in熊本2005
熊本・グランメッセ熊本　試合開始17:00
■ 発表済み対戦カード
【エキシビジョンマッチ/3分1R】
近藤有己vs北岡悟
【プロレスルール/20分1本勝負】
鈴木みのるvsアステカ
【ヘビー級戦/5分2R】
桜木裕司vs中村勇太
【キックルール/70kg未満契約・ヒジ有り/3分5R】
クンタップ・ウィラサクレックvsニック・ヒョード
【フェザー級戦/5分2R】
築城実vs砂辺光久
主催：パンクラスZ熊本大会実行委員会（有）円舞
お問い合わせ：（有）円舞 TEL.095-821-5550

9/4（日）『PANCRASE 2005 SPIRAL TOUR』
大阪・梅田ステラホール　試合開始16:30
■発表済み対戦カード
【パンクラスアテナ53.5kg以下契約/3分3R】
伊藤あすかvs 15
【ライト級戦/5分2R】
武重賢司vs五十里祐一
【スーパーヘビー級戦/5分2R】
アレックス・ロバーツvsアンソニー"辰治"ネツラー
【フェザー級戦/5分2R】
藤本直治vs中村健太

すべてのお問い合わせ
■パンクラス TEL.03-5792-0815



〝片腕の弾丸（バクスター・バンビー）〟の師匠は中国武術の達人だった!!

あの王拳聖もビックリの大物!!



国際総合拳連盟総帥

カーター・ウォン

黄家達

聞き手／雀斎藤　designed by bun-chan（Two Three）

6・26シュートボクシング後楽園大会に参上した、〝片腕の弾丸〟バクスター・ハンビー。右腕のハンディキャップがありながらも判定勝利で日本デビューを飾ったが、なぜかセコンドにはZERO-1MAXに登場する中国武術の達人、王拳聖の姿が! じつはバクスターはアクション俳優の顔も持ち、王さんと映画で共演したことのある繋がりがあった。そしてそのバクスターを映画やリングへの導いたのは、このたびインタビューしたカーター・ウォン氏。記者会見で、マイクがあるのに大絶叫(そのせいかは知らないがなんとマイクが壊れた)するというエネルギッシュな一面をのぞかせる〝片腕の弾丸〟の師匠は、じつに壮大な世界戦略を推し進めていたのである。超々不定期連載「中国武術の達人だった」シリーズ第二章!

——〝片腕の弾丸〟ことバクスター・ハンビー選手の師匠であるカーター・ウォンさんは、映画「少林寺への道」シリーズ主演で知られるアクションスターであり、国際総合拳連盟の総師をつとめる武術の達人と聞いています。今日はお会いできてたいへん光栄です!

カーター　こちらこそ、今日はよろしくお願いします(冷静な表情を崩さず)。

——じつはカーターさんやバクスター選手のことは以前から、ZERO-1MAXで活躍している中国拳法の達人、王拳聖さんからおうかがいしてたんですよ。

カーター　ああ、あなたは王さんを知っているんですか?

——はい。まだバクスター選手のシュートボクシング参戦が発表される前から王さんは「バクスター選手は本当に強いアルヨ!」と言っていたんです。

カーター　そうでしたか(笑)。王さんのことは、ある日本人の方から「カンフーの達人が日本にいる」という紹介を受けて、バクスターと私がダブル主演を務める映画に出演してもらったんです。彼は俳優としても素晴らしいですよ。

——気が付くといろんな映画やTVに出てるんですよね、王さんは(笑)。

カーター　それに彼はとてもいい人でしたね。その映画の中では悪役でしたけど(笑)。

——で、片腕のヒーローといえば、映画の世界では、ジミー・ウォングが有名ですよね。『片腕ドラゴン』や『片腕カンフー対空飛ぶギロチン』なんかで。

カーター　じつはジミー・ウォングと私は友人関係にあるんですよ。それに彼の片腕ヒーローモノの映画がアイデアになって、今回の映画につながっているところもあるんですよね。ただし、バクスターの場合は映画のなかだけで強いわけではない。実際のリングでも幾多の試合をこなしてきた、リアル片腕ヒーローなのです。そこだけは理解していただきたい!

——わかりました! ところで、そんなバクスター選手とカーターさんはどうやって知り合われたんですか?

カーター　あれは12年前のことです……。私がカナダで開催した武術セミナーにバクスターが参加していたんです。そのとき初めて彼に出会いました。

——バクスター選手は片腕というハンディキャップがありますが、会われた当初はここまでの選手に成長すると思いましたか?

カーター　いや、そのときすでにバクスターはテコンドーのチャンピオンだったんですよ。とくにキックのテクニックが非常に優れていましたが、私は「バクスター君、右腕も使いなさい!」と指導したんです。

——え? 右腕って……あの、右腕ですか?

カーター　そう、あの右腕です! 近距離戦になった場合、右腕を肘打ち気味に打てばかなり有効な攻撃になりますからね。相手はそんな攻撃を受けたことはないですから、おそらく大いに驚くことでしょう。

——はぁ~、それは弱点を逆に武器にする発想ですね!

【実際の試合でも、バクスターはグローブを装着したヒジ上までの長さしかない右腕でたくみに攻撃するそぶりを見せたのだ!】

黄家達

カーター　そしてバクスターには気功も指導しました。気功をマスターすれば、どんな攻撃を受けても、その衝撃を吸収することができる。もちろん、こちらの攻撃も強くなるんですよ!

——受けた衝撃を体内に吸収! はぁ~、なんだかマサ(斉藤)さんのパンプアップ・パフォーマンスみたいですねえ。バクスター選手はカーターさんのもとで、その気功をマスターされたんですよね。

カーター　はい。なによりバクスターはハンディキャップがあるので精神的に強い。明日の試合ではその成果をかならず披露してくれることでしょう!

【カーターさんが力説するとおり、バクスターは試合でパンチを顔面に浴びても涼しい顔で打ち返す! スゲエぜ、気功! やるじゃないか、気功!!】

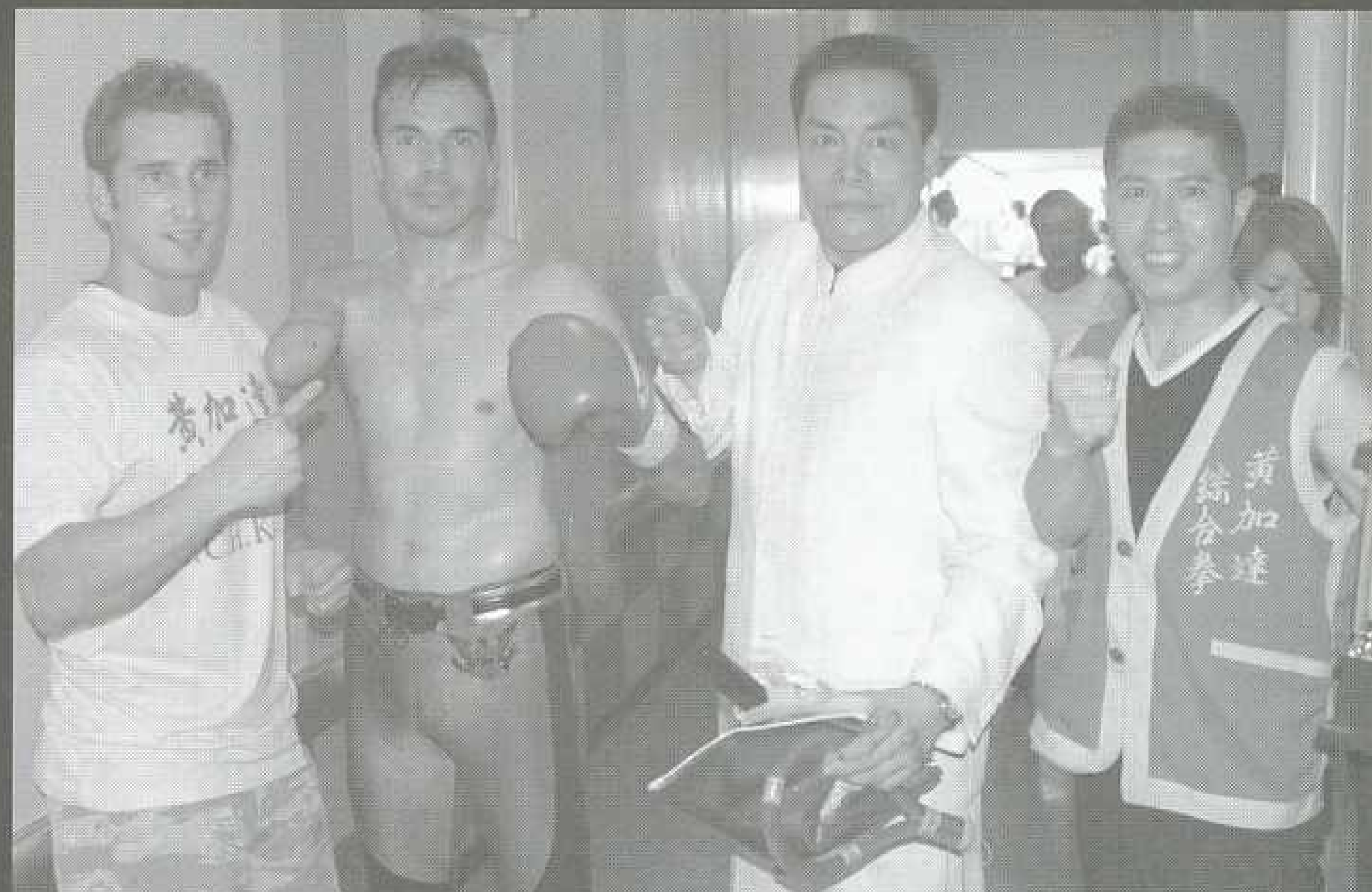
——それとカーターさんは、バクスター選手に総合格闘技の指導もしていると聞きました。バクスターさんが総合のリングに立つ姿をいつか見てみたいですよ!

カーター　バクスターの闘えるリングは、総合格闘技だけじゃありません! 私はひとつだけの武術を教えているわけではないし、格闘技を種目で分けるのはいけないことだと考えております。それぞれの格闘技の長所を抜き出して合わせたものが私のマーシャルアーツになるんです。

——カーターさんが総帥を務める国際総合拳連盟では、いろんな武術を指導されているわけですか?

カーター　そうなりますね。国際総合拳連盟の内容は、少林寺クンフー、ムエタイ、空手、テコンドー、ブラジリアン柔術……地球上に存在する様々な格闘武術をミックスさせたものを指導しています。私はこれらの武術を徹底的に研究したからこそ、いまのスタイルを確立しえたわけですよ。

——当然、カーターさんはそのあらゆる格闘





○バクスター・ハンビー [5R 判定3-0] ジョン・ベクホー×
ヒジ上までの長さしかない右腕にもグローブを装着して、ハイキック、ミドル、後ろ蹴りと多彩な攻撃を披露したハンビー。師匠カーターに伝授された気功の威力か、パンチをまともに受けるも倒れる様子は見せず。5Rを闘い抜き、フルマーク判定で勝利をおさめた。セコンドにはカーター氏とZERO-1MAXの異色格闘家、王拳聖が付くというパワフルな顔ぶれ!

技を実戦通じて経験しているんですか？

カーター　よく聞きなさい。ムエタイはワールドカップの世界チャンピオン。36戦32勝2分け、KO勝ちは12回！　そして空手は7段、テコンドーは5段！

――はぁ～!!　そしてアクションスター10段とでもいうか。

カーター　国際総合拳連盟は生徒数だけで10万人以上！　そして世界中32カ国に支部があるんです。

――それはアントンもビックリな世界戦略ですね！

カーター　私が直接指導した弟子たちが教えを広めて、生徒の数がどんどん増えていったのです。とくに東欧には私の教えを受けた弟子たちがあちこちに点在し、ハンガリーには生徒が8千人もいます。そして、聞いて驚かないでください。このたびハンガリーで少林寺の寺院を建立する計画があるんですよ。

――なぜハンガリーに少林寺（笑）。もはや想像も付かないですが、やることがいちいちダイナミックですねぇ。そこまで巨大なグループを築き上げたのは、カーターさんに格闘家としての実力や、俳優としての名声があったからなんでしょうか？

カーター　これだけの国に広めるため、私は世界各地でセミナーを開催しましたが、講習生を集めるためにまずは映画俳優としての知名度を利用しましたね。

――なるほど。ちょっと話は変わりますが、カーターさんのアクションスターまでの道のりを簡単に教えてもらいたいんですけど。

カーター　よろしいでしょう。まず私は8歳のころにクンフーを習いました。そうして腕を磨いて香港警察のチーフトレーナーになったのです。

――そういえば、カーターさんは世界各国の軍隊にも格闘指導されているって聞いてますが、それって本当のことなんですか？

カーター　本当です！　香港警察のトレーナーチーフ以外にもアメリカのFBI、空軍で指導しているんですよ。

――アメリカ空軍まで指導されてますか！

ヒクソンと一緒に中国へ進出する計画があるんですよ!

――それではかなり実戦的な訓練や指導をされるわけですか？

カーター　実戦的な技術といっても、指導する人間の体型によって変わってきますからね。背が高い人間、太った人間、痩せた人間、それぞれの体型や長所や短所に合わせた指導をするのが私のモットーなんです。話は戻りますが、香港警察のトレーナーチーフをやっていたときに香港の映画会社ゴールデン・ハーベスト社のほうから映画出演依頼がありました。それは24歳のときです。

――カーターさんが武術に優れていたからこそ映画出演をオファーされたんですか？

カーター　そのとおりです！　香港警察で私は空手を指導していたんですが、ゴールデンハーベスト社はそういうキャラクターを探していたんですよ。そして多くの映画で出演しましたが、映画のなかだけではなく、普段から強くありたいと思ってトレーニングを続けていたんです。

――そんなカーターさんから見て、優れた格闘家であり俳優だったのは誰ですか？

カーター　それはブルース・リーしかいないでしょう。私がいうまでもないですが、彼は俳優としてひじょうに優れていたし、格闘家としても尊敬すべき実力者でありました。

――いまブルース・リーにもっとも近い人間を誰かいますか？

カーター　う～ん、その質問はとても難しいですねぇ。なにしろ、いまは俳優業に専念しすぎている人間が多いですから。

――では、日本のアクションスターでカーターさんが認めるのは誰ですか？

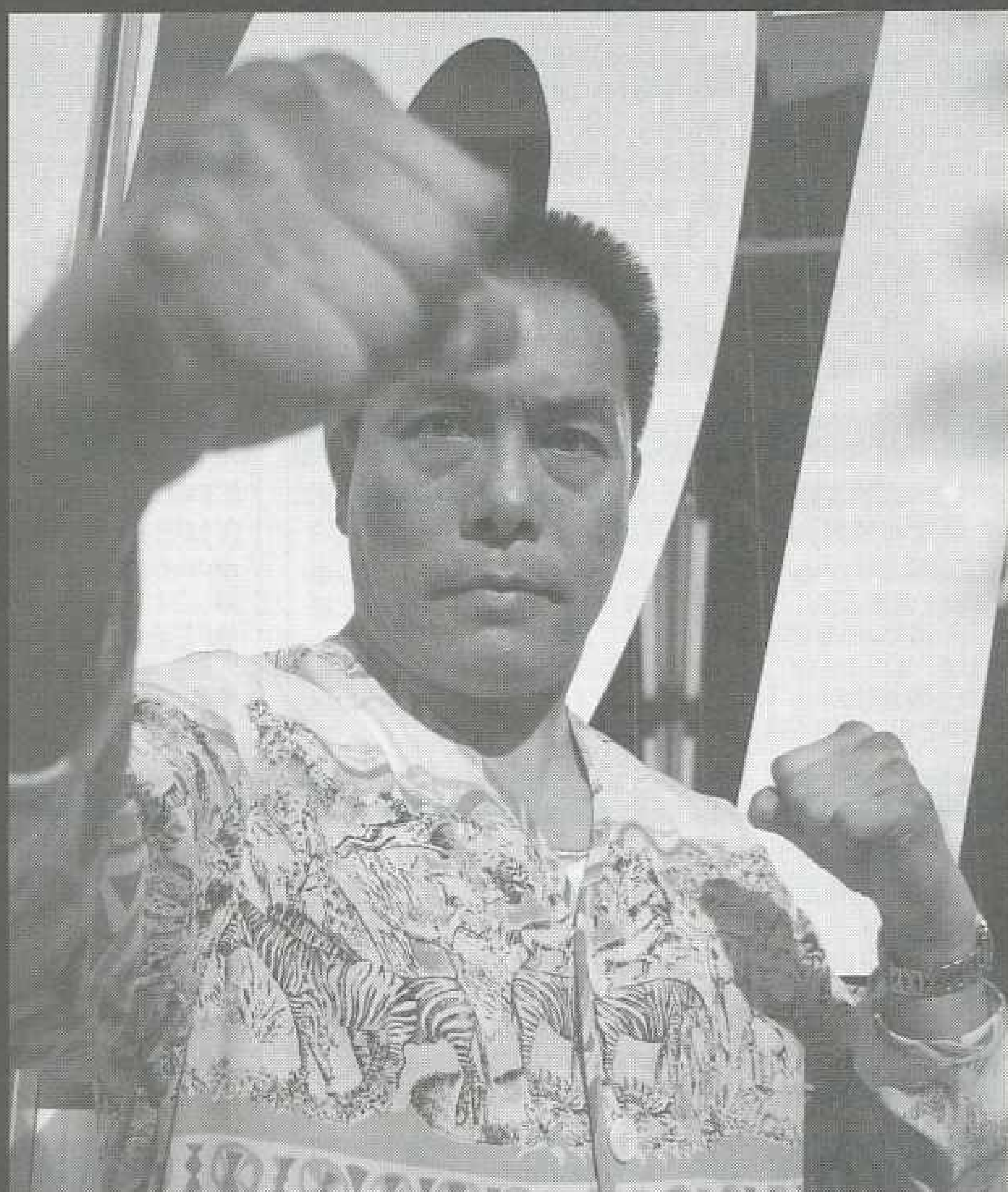
カーター　強くて俳優としても尊敬すべき日本人は、倉田（保昭）さんですね。

――香港で成功した唯一の日本人クンフースターですね。

カーター　倉田さんは素晴らしいクンフー・スターです。そして同じくらい座頭市も尊敬しているんです！

――つまり勝新太朗リスペクト！

カーター　勝新太朗さんは動と静を見事に演じていたと思います。あとむかし香港で「姿三四郎」（竹脇無我、新藤えみが出演）



【かーたー・うぉん】『少林寺の道』主演で知られる香港アクション俳優にして、国際総合拳連盟総帥。主演・出演した映画は数知れず。マイクがあるのに大絶叫、カメラを向ければ真剣勝負ごとき視線を送る。「馬鹿馬鹿しいと思うなよ、やってる本人大真面目！」なカックラキン大放送イズムというか、ぜひとも見習いたいエネルギーを持っている

が放送されていたんですが、当時日本の格闘技は空手というイメージがあったので、柔道という闘技に触れることができたのはとても新鮮でした。柔術の発祥も日本ですし、武術家にとっては本当に深い思い入れが持てる国なんです。

――柔術といえば、カーターさんはあのヒクソン・グレイシーとも知り合いなんですよね。

カーター　はい。グレイシーさんとは、いまから4年前に知り合いました。グレイシーさんの友人でキックボクサーのモーリス・トラビスからの紹介で、私がグレイシーさんのジムで気功のセミナーを催したんです。そこで意気投合をしました。

――カーターさんは打撃をヒクソンに指導していると聞いてますけど。

カーター　いや、一緒にトレーニングというよりは、グレイシーさんと一緒に柔術を中国で広めたいという展望があって、私の少林寺の技術を一緒にしたものを中国にプロモートする予定があるんです。

――へぇ～！　ヒクソンが中国進出を狙っているんですか。

カーター　ただし、じつは現時点では、柔術を中国で広めることはできないんです。

――中国で柔術を広められない理由とは？

カーター　簡単にいえば、試合が始まってすぐに相手のことを組んで押し倒すスポーツは、中国人からすると非常につまらない。

――いわゆる観客論の角度からはたえられないというわけですね。

カーター　その点では、投げもあれば関節技もあって、打撃が中心のシュートボクシングのようなスタイルこそが伝わりやすいと思いますね。シーザー会長率いるシュートボクシングは今後、大きな流れになることでしょう。私も協力を惜しみません。10万人以上を誇る私の生徒たちが続々と日本にやってくることでしょう！

――わかりました！　では、バクスター選手と10万人の弟子たちの活躍を期待しております！

【05年6月25日／SBジムにて収録】

本誌 Back Number



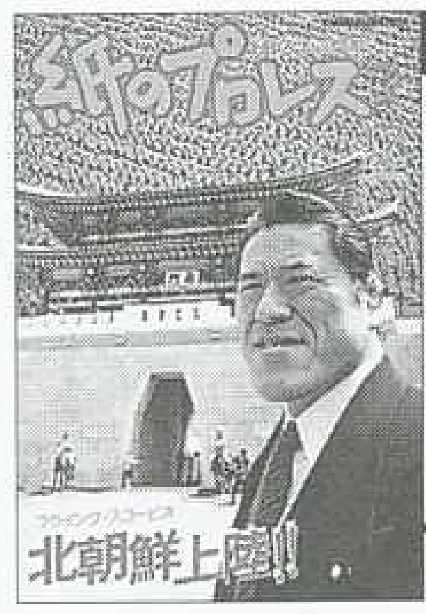
no.14 '95.04

特集 神秘とは何か?

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます!/日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

50% OFF

780yen⇒390yen



no.17 '95.07

特集 実況パワフル北朝鮮

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる! アントニオ猪木&永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野/バトの原点はここにある!「藤原組の逆襲」

50% OFF

780yen⇒390yen

パンクラス公式読本



矛・盾

97年当時のパンクラシストが勢揃い!! ゴッチさん、佐山聡、なぜか馬場さんも登場するパンクラス公式読本二部作!! ターザンも炎上してますよォォ!!

50% OFF

各1260yen⇒630yen



no.15 '95.05

特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰? 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負!/Kーとは何か? 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのK−1三兄弟(当時)インタビュー

50% OFF

780yen⇒390yen

『ハッスル』公式読本!!



ハッスルMAGAZINE vol.1

三大特別ふろく(❶高田総統のありがたいお言葉CD ❷インリン様のM字固め特大ポスター ❸マンガ『ハッスル物語』特製豆本)/高田総統×高田統括本部長 /高田総統×綾小路翔/インリン様洗脳グラビア/『ハッスル』ポスターコレクション 他

1600yen(税込み)

"燃える情念"石川雄規、初の自叙伝!!



情念~夢一途なり~
石川雄規

『紙プロ』で2年半に渡り連載されたバトラーツ社長・石川雄規の繊細かつドラマチックなエッセイに大幅加筆+書き下ろし! "情念"とは何か……自称"世界一の猪木信者"の著者があまねくすべての人に捧げる珠玉の一冊である。

50% OFF

1700yen⇒900yen

---

no.62 表紙 ミルコ '03.05/880yen

誰でもいいからミルコのクビをカッ斬ってみろ!!

- ヴァーと笑顔で初登場!! 佐々木健介
- 現役復帰間近!? 船木誠勝
- 藤田と新日を一刀両断!! E・ヒョードル
- 新日本バードを徹底検証!!

no.63 表紙 OH砲(イラスト) '03.06/880yen

吉田秀彦が大英断! ミドル級GP出陣!

- 「お前は男だ」劇場炸裂! 高田延彦
- 『PRIDE』REBORNを大総括!!
- 憂国の虎 ザ・マスク・オブ・タイガー
- 芸能界一の川田番 ダチョウ倶楽部

no.64 表紙 桜庭&田村 '03.07/900yen

灼熱の『PRIDEミドル級GP』直前号!!

- "異次元格闘技戦戦" 田村潔司×吉田秀彦を大展望!!
- 『PRIDEミドル級GP』出場全選手インタビュー
- ミスター高橋の盟友が放つ"猪木の裏側"
- スマックガール・ビキニ特写!!

no.65 表紙 ミルコ '03.08/880yen

ヒョードル×ミルコ、闘争本能世界一決定戦!!

- "最後の皇帝"燃え上がる! ヒョードル
- "反逆の妖刀"、遂に皇帝へ!! ミルコ
- 吉田秀彦戦の"謎"に迫る! 田村潔司
- 闘魂ストーカーを捕獲! イズマイウ

no.66 表紙 ミルコ '03.09/880yen

ミルコ、『武士道』電撃出陣! もはや誰にも止められない!!

- 緊急独占インタビュー! ミルコ
- マッハの野望を砕いた "赤い暗殺者"登場!! 長南亮
- "天才空手少年"VT秒殺デビュー!! 中嶋勝彦
- 『東スポ』とは何か? 柴田惣一

no.67 表紙 シウバ&吉田 '03.10/880yen

吉田とシウバ、いざ激突!! 衣(ギ)は赤く染まるか!?

- ノゲイラ戦に向けて緊急インタビュー! ミルコ
- "柔術超獣"復活へ!! ノゲイラ
- 『PRIDEミドル級GP』決勝戦出場全選手インタビュー
- アントン"疑惑の時代"を知る男 加治将一

no.68 表紙 高田&桜庭&曙&猪木 他 '03.11/880yen

人類史上稀にみる"大晦日・格闘技大戦"!! 白黒ハッキリ決めようやーッ!!

- 大晦日三つ巴決戦に出撃宣言! 高田延彦
- 横綱がK-1に殴り込み 曙とは何者か!?
- 一年ぶりの勝利で ニコニコインタビュー 桜庭和志
- "野良犬"『紙プロ』初登場! 小林 聡

no.69 表紙 OH砲 '03.12/900yen

大晦日・格闘技大戦&1・4プロレス戦争直前!! 年末年始もドゥ・ザ・ハッスル!!

- 出てこい! 泣き虫!! 橋本真也&小川直也
- 『泣き虫』著者登場! 金子達仁
- 大晦日直前インタビュー! 田村潔司
- アイ アム リアルプロレスラー 美濃輪育久

no.70 表紙 ミルコ '04.01/880yen

年末格闘技大戦&1・4プロレス戦争大総括!! OH、ゴーバー登場!『ハッスル』とは何か!?

- PRIDE征服宣言! ミルコ
- シウバに宣戦布告! 近藤有己
- ド真ん中の真実を語る! 佐々木健介&北斗晶
- 発表! 紙プロ大賞&マット界語録2003

no.71 表紙 OH砲&高田 '04.02/880yen

プロレスよ、踊れ! 3・7『ハッスル2』は大フィーバー!!

- 『PRIDE GP』優勝宣言! ミルコ&ノゲイラ
- 待望の『紙プロ』初登場! 川田利明
- 理想のプロレスを追い求める! AKIRA
- スクープ! 幻の猪木 vs アミン戦の真実!!

no.72 表紙 ミルコ&ヒョードル&ノゲイラ '04.03/840yen

最強への求道者たち全員集合!! PRIDE・GPに格闘ロマンを見よ!!

- GPの大本命をオランダでキャッチ!! エメリヤーエンコ・ヒョードル
- 第二のミルコとなるか!? ステファン・レコ
- K-1に暴力を持ち込んだ男 山本KID徳郁
- 全て見せます!!『突撃! 佐々木健介邸』

no.74 表紙 小川直也 '04.05/880yen

シュート? ワーク? くだらねえ、次元が違うよ! いつ何時、どこでもハッスルするぞ!!

- PRIDE・GPでハッスル成功! 小川直也
- リベンジロード発進!! 桜庭和志
- "ハードコアのカリスマ" ミック・フォーリー本誌初登場!
- 掣圏会館皇帝 佐山サトル激語り!!

no.75 表紙 小川&桜庭&吉田 '04.06/880yen

英雄、奇蹟の揃い踏み! 小川、桜庭、吉田がPRIDE GP準決勝に集結!!

- シルバ戦直前に大ハッスル宣言! 小川直也with藤井軍鶏侍
- 奇蹟の独占インタビュー! 高田総統
- インド狂虎登場! タイガー・ジェット・シン
- 年金未納からUFOまで ザ・グレート・サスケ

no.76 表紙 小川直也 '04.07/880yen

プロレス大爆発へ最後の挑戦! ハッスルするなら今しかねえ!!

- スクープ発言連発! 小川直也
- 小川の"盟友"と"宿敵"が奇蹟の対談!! 破壊王×ノゲイラ
- 厳しくも、飄々と戦路を進む! 桜庭和志
- 新連載『月刊PG談(仮)』 吉田豪×掟ポルシェ

no.77 表紙 小川直也 '04.08/880yen

『PRIDE・GP決勝』直前濃密大特集! 小川、史上最大の査定試合へ!!

- 「相手がヒョードルだろうと俺はハッスルする!!」 小川直也
- 狙うは皇帝の首ひとつ! ミルコ
- サンボの神様降臨!! ビクトル古賀
- ロシアで英雄と再会! ヴォルク・ハン
- 幻想大国ロシア・現地潜入徹底リポート

no.78 表紙 小川直也 '04.09/840yen

『PRIDE・GP』徹底総括! ハッスルとは出直しの連続なり!!

- 衝撃の敗戦直後、独占インタビュー! 小川直也
- 小川の敗戦をどう見る!? 高田PRIDE統括本部長
- K-1のトップが小川を語る 谷川貞治
- 壮絶インディー人生! 田中将斗

no.79 表紙 高田総統&小川直也 '04.09/840yen

プロレス暗黒時代に魔王降臨! 高田総統の激白を独占スクープ!!

- ハッスルキャプテンに休息なし! 小川直也
- 特別付録・高田総統特製ピンナップ
- 谷川さん推薦企画『曙は是か非か?』
- ビビッたか? ボヤいたか!? 金原モンスター軍

no.80 表紙 ミルコ・クロコップ '04.10/880yen

『PRIDE.28』直前! 守護神ミルコ、外敵狩りへ——

- 独占ロングインタビュー ミルコ
- ハッスル軍お家騒動を激白!! 小川直也
- 新連載! 佐山サトルの右流々ン探訪紀
- 袋とじ企画・女子プロ界の謎に迫る! グリズリー岩本

no.81 表紙 桜庭和志 '04.10/880yen

サク、4度目のシウバ戦決定! 大晦日格闘技戦争・濃密大特集号

- ヒョードルの弱点を発見!? ノゲイラ&ノゲイラママ
- 新日本でハッスル成功! 小川直也
- スーパーひとし君登場! 草野仁
- 狂気の天才対談が実現!! 佐山サトル×船木誠勝

通販申し込み方法

▼バックナンバーは書店で扱っておりません。下記の通信販売をご利用ください。

①『紙プロHand』で注文
②電話注文 03-5368-1797
③メール注文 kapra@kamipro.com

※通販方法はすべて代引きとなります。手数料は315円です(代引き金額によって異なります)。

※送料は一律500円(何冊でも可。離島山間部は除く)となります。

ご注意 郵便振替は現在受け付けておりません。ご了承ください。

no.82 表紙 桜庭和志 '04.12/890yen

大晦日大戦・超直前特集号! 男のSADAME、見に来いやーッ!!

- 「ボクは絶対に諦めない」 桜庭和志ロングインタビュー!!
- "道場破り"の全てを激白! 安生洋二
- WJの秘密を大暴露! 永島勝司×ターザン山本!×吉田豪
- 伝説の悪徳レフェリー降臨! 阿部四郎

no.83 表紙 ミルコ '05.01/880yen

打倒ヒョードルに向けミルコが激白! PRIDEヘビー級王座への野望と渇望!!

- 『PRIDE 男祭り』怒濤の大総括!
- 2005年ハッスル大進撃計画を発表!! 小川直也
- 蘇る新日本黄金伝説!! 橋本真也×船木誠勝
- 『シベ超5』公開記念SP対談! 水野晴郎×サスケ

no.84 表紙 セルゲイ・ハリトーノフ '05.02/880yen

ロシア人はロシア人が始末する! ハリトーノフがヒョードルに宣戦布告!!

- PRIDE王座へまっしぐら! ミルコ
- "殺人落下傘"が3強越え宣言!! セルゲイ・ハリトーノフ
- "頑固者"がPRIDE GPを語る 田村潔司
- "起爆剤"か、それとも"時限爆弾"か? 前田日明復活大特集!!

no.85 表紙 前田日明&高田総統 '05.03/860yen

PRIDE vs HERO'S開戦! どっちが面白いか決めたらええんや!!

- PRIDE GP2005特集! 桜庭和志、田村潔司、高田延彦
- パンクラス2大王者が揃い踏み! 高阪剛×近藤有己
- 怒濤の37ページ!『前田イズムとは何か?』
- HBKが大暴れ!? 草野仁×浅草キッド

no.86 表紙 ヴァンダレイ・シウバ '05.04/860yen

出場16選手を徹底分析! PRIDE GP 2005開幕直前号!!

- 大物再会! 超U級対談が実現!! 船木誠勝×田村潔司
- ダンプ松本が全女解散の真実を語る!!
- 皇帝、いざミルコ鎮圧へ E・ヒョードル
- PRIDE GP&K-1 WORLD MAX 出場全選手パーフェクトガイド

no.87 表紙 吉田秀彦 '05.05/860yen

史上最も過酷な一回戦 PRIDE GP開幕戦を大総括!

- 敗れてなお咲く花あり! 吉田秀彦
- GP1回戦突破対談! 桜庭和志×中村和裕
- 船木誠勝のマッドネス対談シリーズ!! ゲスト・宇野薫
- 蘇れ! 新日本プロレス学校対談 Part2 金原弘光×池田大輔

no.88 表紙 ハン&ハリトーノフ '05.06/880yen

格闘幻想大国2005 ロシア潜入徹底大特集号!

- キラー発言連発!! E・ヒョードル
- 狼魂伝承対談! ハン×ハリトーノフ
- メヒコで大激白!! 初代タイガー×ウルティモ・ドラゴン
- 新生『武士道』大爆発! 五味隆典
- ADCC 17ページぶち抜き大特集!!

no.89 表紙 ミルコ・クロコップ '05.07/880yen

ミルコ、皇帝狩りへ——。運命の一戦、待ったなし!!

- さらば破壊王! 橋本真也追悼特集
- クロアチア現地独占取材!! ミルコ
- ZST兄弟が感動(?)の再会!! 所英男×矢野卓見
- どっこい生きてる全女魂! 松永高司
- 前・新日本社長が独白! 草間政一

紙のプロレスRadical 常備店

- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■タコシェ
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ

ヒーローの中のヒーロー、出てこんかい!!



バックナンバーは
電話で注文できます!!
03-5368-1797
【平日15:00～22:00 (株)ダブルクロス】

Radical Back Number

ごちゃごちゃ言わんと バックナンバー読んだらええんや!!



no.34 修斗から猪木祭りへ――。
佐藤ルミナを撃破した修斗の王子様が激語り!!
- なぜか山口日昇がインタビュー!!　宇野薫
- KOK直前! ロシア幻想爆発!!　ヴォルク・ハン
- 猪木&馬場に毒舌集中砲火!!　ミスター・ヒト
- MVP&ベストバウトW受賞!!　桜庭和志

'01.01 / 840yen



no.43 「寝技はホイス、打撃はルッテン」!!
変幻自在のトリックスターが『紙プロ』初登場!!
- リングス初出場で大インパクト!　須藤元気
- 「本当のVTは素手だよ、素手」!!　前田日明
- サスケ×金原の『新日本プロレス学校とは何か?』
- 野武士がUWFをブッタ斬る!!　中野龍雄

'01.10 / 880yen



no.61 K-1に暴力を持ち込んだ男!
村浜をKOした"神の子"が『紙プロ』に降臨!!
- いつ何時でもタイマン主義!!　山本KID徳郁
- オランダ発、皇帝のGP征服宣言!　E・ヒョードル
- ZERO-ONE旗揚げ3周年記念!!　橋本真也
- 藤波辰爾の正しい見方　講師・ユリオカ超特Q

'03.04 / 880yen



no.73 リングスの遺伝子を受け継ぐ男!
"小さなヴォルク・ハン"の素顔に迫る!!
- 音速の回転体でZSTの寝技大会を制覇!!　所英男
- 敢えて荒野を目指したその真意とは?　須藤元気
- PRIDE GP直前に暴走王が独白!!　小川直也
- 狂気が渦巻く血みどろのヒール論!!　村上和成

'03.12 / 880yen

BACK NUMBER

---

no.29 表紙 秋山準　'00.07 / 840yen
「格闘環境」は刻一刻と変化する! ノア勢フルメンバーで登場!!
- 三沢、秋山『紙プロ』初登場!!
- プロレススーパースター列伝　仲野信市
- 本誌独占ジャンボ鶴田夫人　最愛の夫の真実を語る!!
- TKおかん

no.32 表紙 小川直也　'00.10 / 840yen
針はどちらに向くのか!? 新プロレスvs純プロレス開戦!
- 田村潔司に快勝!　A・ホドリゴ・ノゲイラ
- ドラゴンの大爆笑10　藤波語録
- プロレススーパースター列伝　ラッシャー木村
- "和製カレリン"本田多聞

no.35 表紙 サクマシン(イラスト)　'01.02 / 840yen
「純プロレス」を考え倒せ! 500人アンケートも実施! 徹底検証号
- ZERO-ONE本格始動　橋本真也
- プロレススーパースター列伝　ジョー樋口
- "ノアの怪物"杉浦貴
- UFCの巨人　ランディ・クゥートアー

no.36 表紙 橋本真也(イラスト)　'01.02 / 840yen
新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!!
- ノアから独立!　高山善廣を確認せよ!!
- ヴォルク・ハン――ノゲイラに狼の伝言
- W☆ING　史上最凶の歴史を紐解く
- 吉田豪に"ドラゴンの呪い"が襲う!!

no.37 表紙 小川直也(イラスト)　'01.04 / 840yen
小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
- 安田忠夫が借金から　自殺未遂まですべてを語る!
- アブダビコンバット2001一大探検記!
- シュート活字×ファンタジー活字
- 他に比類なきプロレスが　WWFにはある!

no.38 表紙 高田(イラスト)　'01.05 / 840yen
小川と長州、どちらが孤独だったのか!?
- 忘れ物の正体は――。高田延彦
- ヴォルク・ハンの最強の遺伝子　E・ヒョードル
- プロレススーパースター列伝　阿修羅原
- 死神降臨・ジェラルド・ゴルドー

no.39 表紙 前田日明　'01.06 / 840yen
どうなるんだ、リングス! 前田 is デッド!?
- 前田道場新エース・金原弘光
- 怪物か!?　それとも……　藤田和之座談会
- 壮絶なる格闘人生・藤原敏男
- プロレススーパースター列伝・田上明

no.40 表紙 アントン総帥　'01.07 / 880yen
猪木軍vsK-1に見たいものは "地上最強のプロレス"
- 蘇れ!Uインター&キングダム伝説!　高山善廣×金原弘光
- 熱いこの叫びを聞け!　大谷晋二郎
- プロレススーパースター列伝　グラン浜田
- グラバカの核弾頭　郷野聡寛

no.41 表紙 ビンス・マクマホン　'01.08 / 880yen
Can you カミングアウト? "最後の黒船" WWF襲来!
- リングス10周年!　ヴォルク・ハンが振り返る
- 真樹日佐夫×三池崇史　巨頭対談が実現!
- W☆INGの真実・茨城清志
- 毒舌知能犯　秋山準語録

no.42 表紙 アントン総帥　'01.09 / 880yen
猪木なら何をやっても許されるのか!?
- ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
- "ヒャッホーの真実"辻よしなり
- 蘇れ!UWFインター伝説!!　高山善廣×宮戸優光×金原弘光
- 誇り高きルチャ戦士　カト・クン・リー

no.44 表紙 桜庭&シウバ　'01.11 / 880yen
サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
- その修羅場の数々!　シーザー武志
- 怪物伝承対談!　高山善廣&杉浦貴
- ハンス・ナイマン&ディック・フライ
- 闘龍門大特集

no.45 表紙 アントン総帥　'01.12 / 880yen
「K-1vs猪木軍」命懸けのエンターテイメント!!
- 悪魔の書、現る!　ミスター高橋
- ジェラルド・ゴルドー人生相談
- プロレススパースター列伝　グレート小鹿
- 語録で振り返るマット界2001

no.47 表紙 ビンス・マクマホン　'02.02 / 880yen
WWE日本侵攻5秒前!
- "天才"武藤敬司が　『紙プロ』驚愕の初登場!
- 噂の馳浩が新日分裂から　ミスター高橋本までを語る!
- 第一次リングス閉幕特集
- プロレススーパースター列伝　ストロング金剛よ!!

no.48 表紙 桜庭和志　'02.03 / 880yen
見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
- 奇跡のメガトン対談!　小川直也 vs ノゲイラ&スペーヒー
- 和田最強伝説が遂に現実に!　語り部・金原弘光
- 伝説の男が笑撃の登場!　ジョー・サン
- WWEを知る男　ウォーリー山口

no.49 表紙 ミルコ&ヒクソン&小川&桜庭　'02.04 / 880yen
究極の格闘技大戦争勃発!! マット界灼熱の噂!
- 和田さん快勝記念対談! 高山&金原&和田
- アレクに怒りの火を付けた　菊田早苗とは何者か!?
- 破壊王も火のヤリ特訓!　小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行!
- ビッシビシいくわよ!!　小畑千代

no.50 表紙 桜庭和志　'02.05 / 880yen
サクが笑えば、世界が笑う!!
- 「地方発世界」開始!　小川直也&橋本真也
- リングスロシア軍団の軌跡
- パンクラス取材解禁!　菊田、"尾崎の野郎"が登場!
- ギョ!?　I編集長が新日本に三くだり半!

no.51 表紙 橋本真也　'02.06 / 880yen
ZERO-ONEに願いを!
- 両国国技館だよ、全員集合!　橋本真也
- 『PRIDE』の魅力をマン開!　小池栄子
- 天才が悩みに答える!　武藤敬司人生相談
- 新・超獣　ザ・ブレデター

売り切れ寸前!!

no.52 表紙 OH砲　'02.07 / 880yen
見えない鎖を引きちぎれ! 小川直也リング外での暗闘!!
- 全身プロレスラー・高山善廣
- USAの渡世人ドン・フライ
- 『PRIDE』侵攻開始!!　ロシアン・トップチーム
- 戦慄の『LEGEND』前夜!

売り切れ寸前!!

no.53 表紙 桜庭和志　'02.08 / 880yen
世紀のビックイベント『Dynamite!』直前大解剖!!
- ノーフィアー×無謀美・対談!!　高山善廣×美濃輪育久
- 独占肉弾スクープ!　マット・ガファリ
- 爆裂!　川村社長ガチンコ語録!
- 偽造王の知られざる半生!　一宮章一

no.54 表紙 ノゲイラ　'02.08 / 880yen
不平等の時代を克服した英雄ノゲイラ!!
- "首の皮一枚"ホイス&エリオグレイシー
- "青い目のケンシロウ"ジョシュ・バーネット
- 純プロ頂上対談!　武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン
- 猪木とは何か?　アントン実兄・猪木快守

売り切れ寸前!!

no.56 表紙 Uインター　'02.10 / 880yen
愛すべき若気の至り! 受け継げ、Uインターの蒼き魂!!
- 田村戦直前! その覚悟を読み解け!!　高田延彦
- 蘇れ! Uインター伝説!! 安生&金原&高山
- 高田vs田村、観る側の覚悟! 浅草キッド
- 『紙プロ』に世界一性格の悪い男が登場!　鈴木みのる

売り切れ寸前!!

no.57 表紙 高山善廣　'02.11 / 840yen
一瞬の11・24!! 高田延彦引退試合を大総括!!
- サップと地球規模のタイマン勝負!!　高山善廣
- 新たなる"U"が始動!!　田村潔司
- 悪魔の書、再び!　ミスター高橋×大槻ケンヂ
- "北尾戦・セメントマッチの真実"　ジョン・テンタ

no.58 表紙 武藤&船木　'03.01 / 880yen
新春特大号!!「明日、また生きるぞ!」な対談の大連発!!
- 夢幻のファンタジー対談　武藤敬司×船木誠勝
- Uスタイル対談　田村潔司×高阪剛
- Uインター座談会　宮戸×安生×鈴木健
- カルガリー師弟対談　ミスターヒト×ハシフ・カーン

no.59 表紙 ヒョードル　'03.02 / 880yen
吹けよ!呼べよ嵐!! マット界新風景が見えてきた!!
- いざノゲイラ戦!!　E・ヒョードル
- アメリカン・ドリーム　ダスティ・ローデス
- 爆発!!　WJマグマ語録
- 吉田道場の秘密兵器　中村和裕
- UWFの再興と再考　田村潔司

no.60 表紙 ヒョードル　'03.03 / 880yen
英雄、変貌好む!!『PRIDE』RE・BORN!!
- ノゲイラ撃破!!　E・ヒョードル
- 驚愕の格闘芸術対談!!　武藤敬司×須藤元気
- あのマーシーがすべてを告白!!　田代まさし
- 全日本中継の真実!!　倉持隆夫

大日本掣圏道帝国皇帝が真の武士道を求めて全国行脚

佐山サトルの

日本右流々ン（ウルルン）探訪記



第8回

佐山皇帝の『探偵物語～実践編～』

文／中村カタブツ君（42歳）

取材協力／総合探偵社 ガルエージェンシー

前回の探偵修行編で尾行術を身につけてしまった佐山皇帝。そうなったら、当然その技術を試してみたくなるのが人情ってものだろう。ということで、探偵修行企画第2弾は、ある伝説の格闘家の私生活をびっちりマークすることに決定！

で、その格闘家の名とは藤原敏男。そう。日本人初のムエタイ王者にして現在は藤原道場を主宰するあのお方だ。

「ほら、藤原先生って、世間一般ではただの酔っぱらいだと思われてるでしょ？ だから、真面目なところを紹介してあげたいなって思って。ふふふ」

と、例によってキラキラした目で邪悪なことを言い出す皇帝。そもそも藤原敏男酔っぱらい伝説（例えば『血まみれシャツ伝説』では、飲んだ翌朝、見知らぬホテルの前で寝ていた先生。着ていたシャツは血まみれなのに、本人にはキズ一つない。明らかに返り血だ。しかし、先生は昨夜自分が何をしたのかまったく覚えていなかったという）を広めたのは皇帝自身。その張本人が、平気でこういうことを言うわけだ。

「でも、私は本当にいいところを出そうと思ってるんですよ。だから、今回は藤原先生が飲んでる現場を押さえましょう！」

最高である。皇帝の頼もしいお言葉に乗った我々取材班は8月某日、藤原道場に向かったのであった。

さて、道場に入るとすでに佐山皇帝は練習中。トランプをめくりながらのゴッチ式練習法でスク

スクープ!!

本誌独占！ キック界の大物が夜のご乱行!?



藤原敏男先生の浮気現場を潜入撮！ 相手は先生行きつけの居酒屋『友』の女将さん！ 佐山皇帝が異常にうれしそうである。「藤原さんは地元のヒーロー」と笑顔で語る女将さん。入ってくるお客さんすべてと挨拶を交わす先生はホント人気者なのだ。

大物格闘家の私生活を徹底追跡！ 佐山皇帝が〝大トラ〟藤原敏男を尾行!!

ワット、腕立て伏せを熱心に繰り返している。一体何時から練習してたのだろうか？

「今日はズーッといますよ。2時ぐらいに来て、近くの喫茶店に（笑）。ハンバーグを食べてサバラン（ケーキの名）を食べて。それでも2時間半ぐらいは練習してますよ」とのこと。相変わらずだ。

一方、藤原先生は弟子たちに稽古をつけているのだが、その手にはなんとゴルフクラブが！ マジっすか!?

「いや、これで殴るわけじゃないからね」と微笑む藤原先生。見ていると、スイングの練習のために無心にボールを打っているだけ。ただ、普通とちょっと違うのは的が弟子ってぐらいで……って余計にヤバイ！ さらにその隣ではドデカいタイヤを太い木刀で一心不乱に叩いている選手がいたり、狂気の練習が行われていたのである（ちなみに、これは選手用の特訓なんで勘違いしないように）。

この後、練習を終えた佐山皇帝は近くの喫茶店で待機。道場取材を終えたボクらも合流し、藤原先生が道場から出てくるのを待つことになる。そして約30分後。ついに先生は出てきた！

「さあ、行こうか！」。先頭に立つ佐山皇帝の動きは素早い。7メートルほどの距離をとりながらピタリとターゲットを捕捉する。と、いきなり、先生は右手を挙げてタクシーを止めたのだ。ヤバイ！ まかれる。だが、そのとき佐山皇帝はまったく慌てず、後ろから来た車に飛び乗ったのだ。え！ なんで!? わけもわからぬまま同じ車に乗り込むボクら。運転席を見ると前回講師を務めてくれた探偵社ガルエージェンシーの末永貴久氏がいるのだ。

「こんなこともあろうかと思って、末永さんに待機していてもらったんですよ」。

ぬかりがない。そして、なんだか本気。改めてイタズラにかける佐山皇帝の情熱の高さに感服させられるのである。ホント、練習にもこのくらい身を入れてくれればいいのに……。

ともあれ、皇帝の機転で尾行は無事成功。藤原先生は入谷にある家庭料理酒処『友』という居酒

屋の中に入っていったのだ。

で、ここからは潜入編。あくまで偶然を装って同じ店に入り、先生の酔っぱらいぶりをつぶさに観察しようというわけだが、大人数のボクらが入っていってバレないわけがない。

と、ここで佐山皇帝は「じゃあ、私が先生と一緒に飲んでドンドンお酒をついじゃうからその様子を撮れば？」との素敵なアイデアを提案。伝説の虎vs伝説の大トラ対談が実現したのであった。

「あ、ここで飲んでたんですか？」と、友人たちと飲んでいた藤原先生の隣に着座した皇帝。実はその腕には前回紹介した腕時計型カメラが装着されている。外で待機するボクらはその様子をモニターでチェックするわけだが、藤原先生はいきなり「佐山、もっと練習しような」と苦言を呈する。

「俺がミット持つと、すぐにいなくなるんだよなぁ」と、佐山皇帝はいきなりピンチだ。

「あ、でも、藤原先生はこの前、サンドバッグの裏に体重計を隠してたじゃないですか！　知らずにガコンって蹴ったら、足の指が切れて骨が見えてたんですよぉ」と切り返すも、「ああ、あの体重計高かったんだよ」と心配するのは体重計のことばかり。

「ヒドいなぁ。それに先生に『この近くに病院があるんですか？』って聞いたら、ジムの下にあるっていうんで行ってみたら内科だったし（笑）。それで慈恵医大に行って、いろいろ見てもらったんだけど、先生は秤のことしか心配してない（笑）！」

さすがはトシちゃん（藤原先生のあだ名）&佐山コンビの話は、テキトーで実に面白い。この後、皇帝は藤原敏男酔っぱらい伝説を次々と披露（トイレをヒジ打ちで壊したとか、佐山皇帝が会計をしていたらいきなり後頭部をハイキックされたとか）するのだが、かなり書けない話ばかり。ただ一つ言えることは「藤原先生はね、酔えば酔うほど急所を外さない人だから」ということで、察してほしいのである。

でも、これじゃあラチがあかないんで、ここからはボクらも合流。本格的な取材に入ると、次から次に面白い話が出てくる、出てくる。

「昔、藤原先生は藤原喜明さんと飲んだんですよ。でも、二人のパーソナリティーがわかる私は絶対にマズいぞ、と（笑）。大変なことになると思って、うまい具合に逃げたんですよ。そしたら、翌日、先生が『あの藤原っていうのとは二度と飲まねぇ、タチが悪い』って言ってるわけ。話を聞いたら、飲んでるうちに頭突き合戦が始まって、店の中でゴンゴンってやって、最後にディープキスしてたらしいんですよ（笑）」

これに先生が「ウソをつくなよ（苦笑）」と否定すると、「あ、ディープキスの写真持ってるもんね（笑）」と子供のように得意げな皇帝。さらに、「そのあと喜明さんに会ったら、『あの藤原っていうのは飲むとタチが悪い』って二人で同じこと言ってるの（笑）。でも、それからまた飲みに行ってるんですよ。私は絶対に参加しないけど」。

ともかく、「俺はそんなに飲まない」という先生。飲むとなったら、どのくらい飲むのだろうか？　「わかんないな。4、5軒ハシゴするから」とのこと。凄い飲む感じがしてならないのである。

だが、練習する時は練習するのが藤原先生。タイに行った時も朝4時にランニングしたりと普段の稽古量はタダゴトではない様子。

「そう。練習の鬼ですね。去年の夏も、凄い暑いときに、サウナスーツ着てバーっと走りに行ったから凄い格好よかったですよ。『あ、これこそ藤原敏男だ』って思って。で、40分ぐらいして帰ってきても『大したことねぇよ』ってなんて笑ってるわけ。でも、翌日道場に行ったら、痛風になっちゃってて、足を氷で冷やしてましたよぉ（笑）」

すると先生は苦笑しながら、「でも、佐山はその痛めた俺の足を狙ってパソコンが入ったバッグを落としてくるんだよ」「でも、先生だって私が足を痛めたときは鉄アレイで狙ってくるから（笑）」

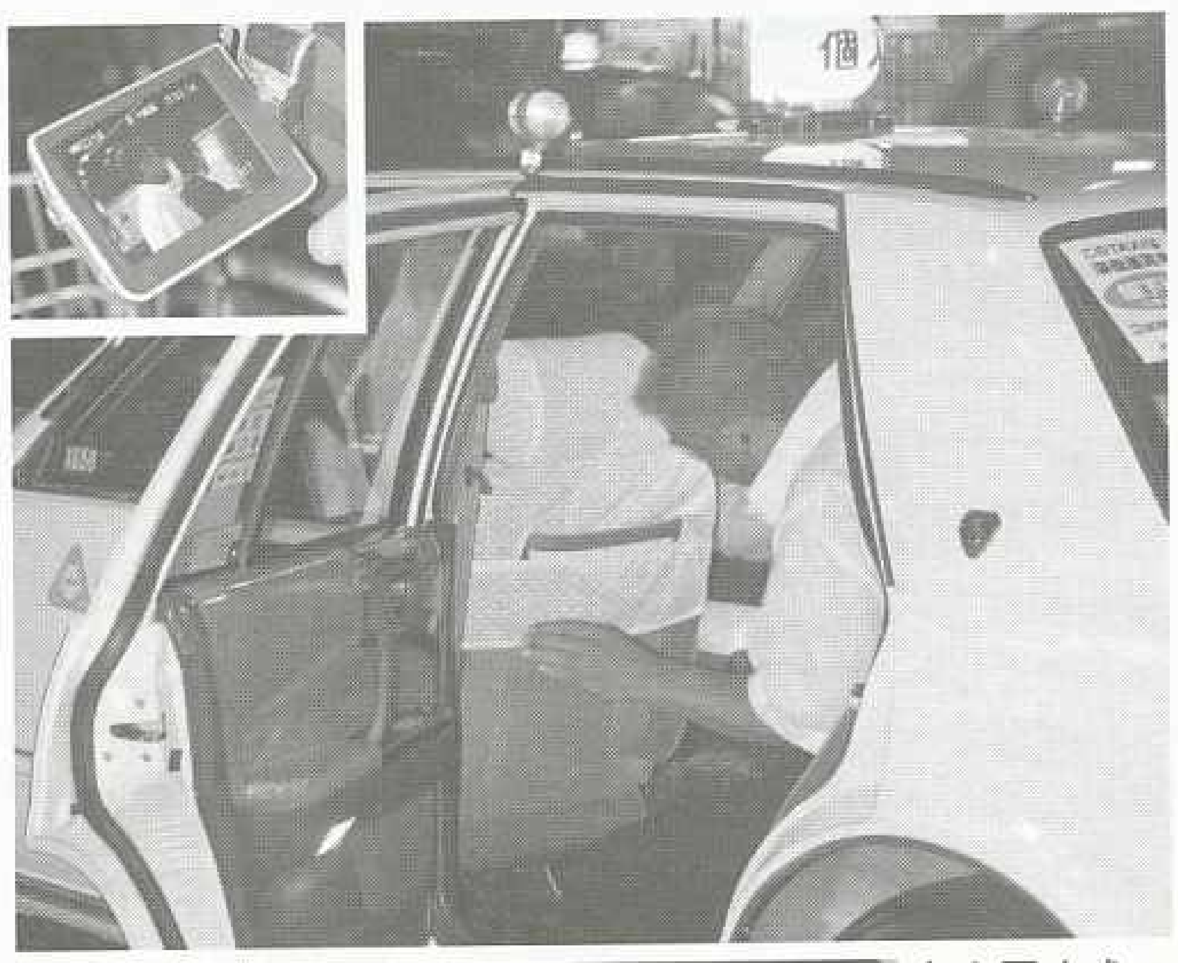
なんて二人だろう。佐山皇帝にケガが多いのは実はこういうことだったわけだ。それにしても本当に子供のようにじゃれ合う感じの師弟コンビ。理想の男同士の関係だ。

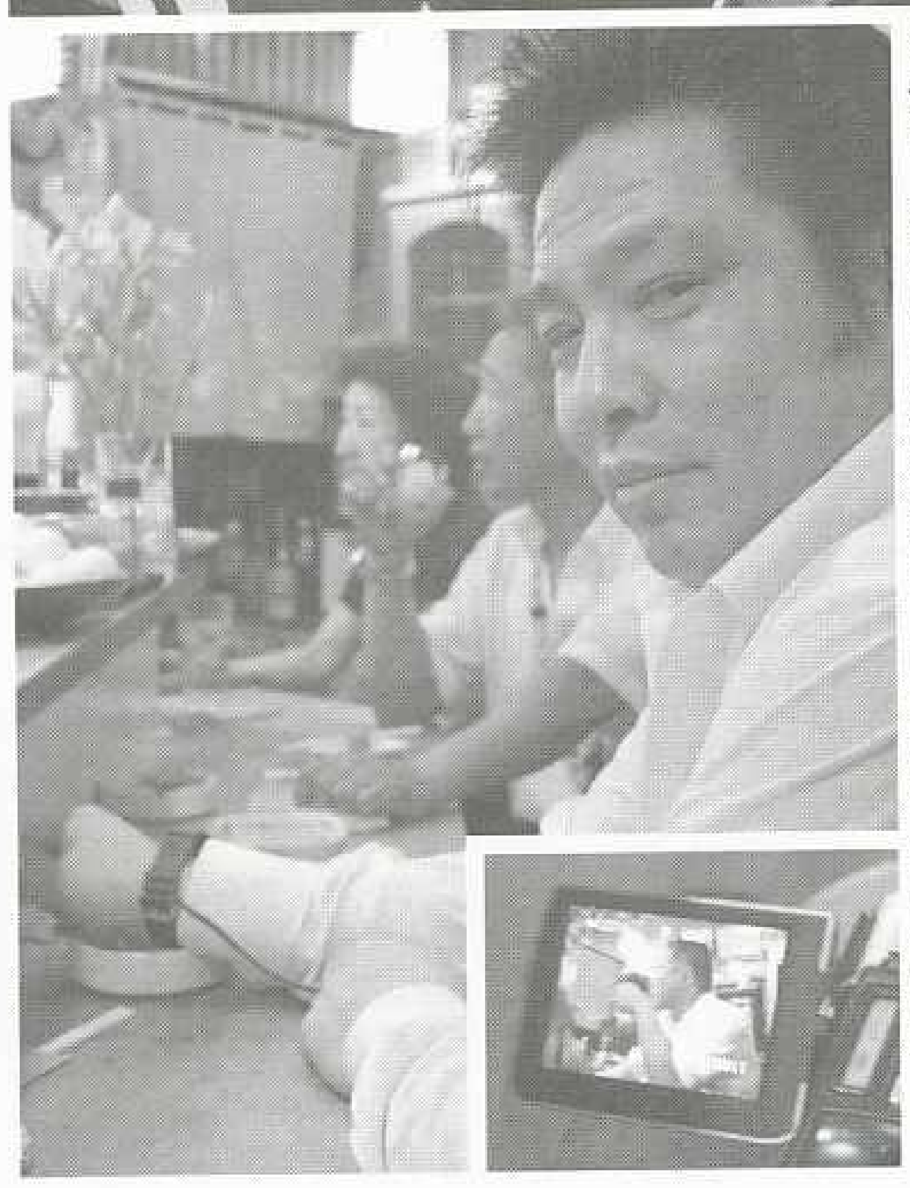
「だから、昔、憧れてたあの〝藤原敏男〟とこういう関係になれたのは本当に幸せですよ」。この言葉にはさすがの藤原先生も少し照れてしまうと、皇帝は「見なきゃ良かったっていう部分もあるんですけどね。ふふふ」と結局最後には落とすのであった。

互いに実力を認め合い、その上でイタズラを繰り返すこの師弟コンビ。今回はそんな様子を間近に見られて実に幸せなひとときを過ごすことができたわけだ。素晴らしき男と男の関係にこそ乾杯なのである！



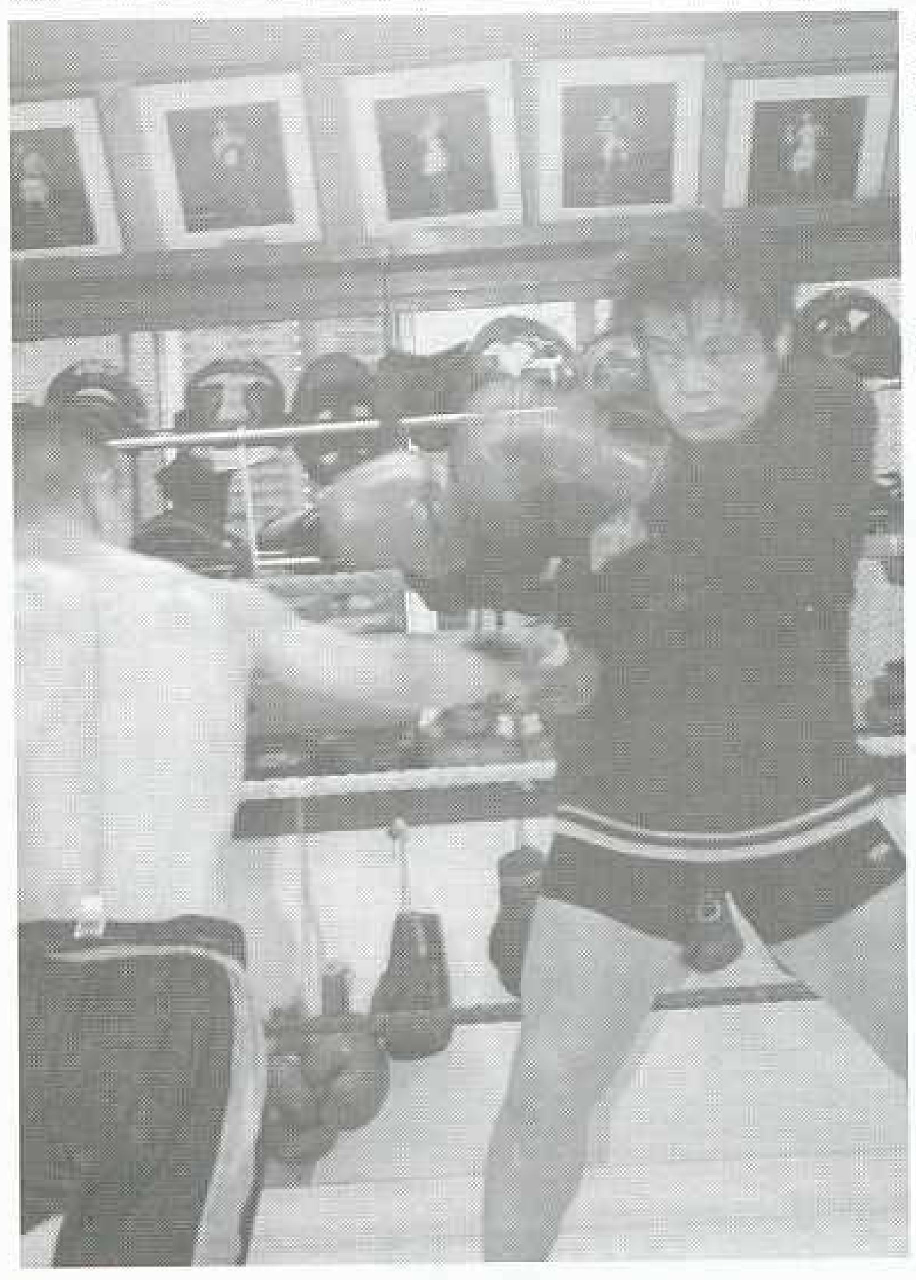
佐山皇帝が尾行そっちのけになってきたので、探偵の末永さん、本誌取材班、本誌キック担当ささきぃ、先生のお友達も合流して宴会へ移行。カタブツ君（42歳）は先生に「変態長」（編集長が由来と思われる）というありがたいニックネームを賜った。『友』を出ると、お次は先生お気に入りのカラオケスナックで二次会開始！　先生&皇帝の美声をただで堪能できる贅沢な時間を味わったのだった。押忍!!（敬礼）。





(写真・上) 藤原先生の尾行がスタート！ 薄暗い中でタクシーを待つ先生を超高感度のビデオカメラがバッチリ盗撮！ (写真・左) 居酒屋に入るとカウンターで女性と会話していた藤原先生。浮気現場とニラんだ皇帝は「あ、ここで飲んでらしたんですか？」としらじらしく隣に座り、超小型カメラ内蔵の腕時計で盗撮したものの成果は得られず。しかし皇帝の表情を見よ！ ポケモン・スタンプをゲットした子供のように得意げだ。





(写真・上) ジム内でゴルフボールを打っちゃう藤原先生。弟子たちが逃げ始めると、お次は一心不乱にトレーニングに打ち込む皇帝へとロックオン!! そしてその狂気が宿ったかのように棍棒でタイヤを全力で叩き続ける選手。ゴルフ&タイヤはキチ●イ遊戯なのではなく、あくまで藤原ジム式の特訓なのであしからず。(写真・左) 試合間近の〝修行僧〟前田尚紀（全日本フェザー1位）に皇帝が実戦指導！ その目は獲物を狙う虎そのものだ!!

【とびこみ藤原ジム情報!!】8/13 全日本キック後楽園大会のメインで、前田尚紀がNJKF王者・岩井伸洋に3RKO勝利!!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする

RADICAL情報局

夏休みの最後の思い出はプロレス&格闘技で!!

情報ページ担当の斎野です。本誌キック担当ささきぃさんから恐喝されたので急遽ラウェイ情報をお伝えします。ド迫力の素手による立ち技格闘技・ミャンマーラウェイ王者が博多にやってくる!! 詳細は左下欄外をチェック!……ということです。これでいいッスか、先輩!?

Fight & Ticket 試合・大会情報

しなしvs現役アイドル! グラバカvsDEEP選抜の対抗戦も実現!!

『DEEP 20thIMPACT』

■日時　9月3日(土)試合開始17:00(開場16:00)　■会場　東京・ディファ有明

■決定対戦カード

中尾受太郎(フリー) vs オ・ウォンジン(正進MMAジム／CMA KOREA)
しなしさとこ(フリー) vs 岡本範子(キングダム卑弥呼)
濱村健(CMA京都成蹊館) vs 佐藤豪則(高田道場)
池本誠知(TEAM Boon!) vs 長谷川秀彦(SKアブソリュート)
梅田恒介(R-GYM) vs ジョン・バチスタ・ヨシムラ(HARD COMBAT)
【石井淳引退試合】10名程度のゆかりのある選手とロイヤルランボー形式で激突
【DEEP選抜vsGRABAKA選抜】
神王(CMA KOREA) vs 山宮恵一郎(GRABAKA)
長岡弘樹(総合格闘技DOBUITA) vs 横田一則(GRABAKA)
Barbaro44(クラブバーバリアン) vs 山崎剛(GRABAKA)

■チケット(当日500円up) VIP席15000円、SRS席10000円、指定A席8000円、指定B席6000円、指定C席5000円

■問　DEEP事務局052-339-0303　■HP　http://www.deep2001.com/

バチバチ第二回! 安田忠夫、ROKEN栗原、参戦決定!!

『BATI-BATI 2』

■日時　8月27日(土)試合開始19:00　■会場　東京・新木場1st RING

■決定カード

❶栗原強 vs 伊藤博之　❷【タナカジュンジトライアウトマッチ】安田忠夫 vs イナズマ⚡ジュンジ
❸小坪弘良 vs 森山大　❹原学 vs 佐々木恭介
❺池田大輔&飯伏幸太 vs 石川雄規&臼田勝美

■チケット　全席指定6000円

■問　フーテン・プロモーション 03-3373-7939　■HP　http://www.fu-ten.jp/

"B"の聖地に集え! 9・18バトラーツ越谷大会!!

『September Dreams～果てしなき夢に向かい～』

■2005年9月18日(日)試合開始17:00(開場16:00)　■会場　埼玉・桂スタジオ

■チケット　SRS席5000円、自由席4000円、小中生1000円(当日販売)

■参戦選手　石川雄規、池田大輔、チョコボール向井、原学、伊藤博之　他

■問　バトラーツ048-963-7515　■HP　http://www.battlarts.jp/

堀田vs前川の金網戦が実現! 渦中のドレイク森松も参戦か!?

『T-1 GRANDPRIX～闘い～天下～ときめき～』

■日時　8月23日(火)試合開始18:39(開場17:30)　■東京・後楽園ホール

■対戦カード　【金網デスマッチ】堀田祐美子vs前川久美子、他

■チケット(当日2000円UP)　トップワンシート 5000円、オールスターシート 4000円、ファンタジアシート 3000円、ファイターシート 2000円、シングルシート1500円、T-1プライスシート1000円

■問　03-5275-2778　■HP　http://www.t-1.jp/

8・20修斗横浜大会 マッハ、ルミナ、ハンセンが揃い踏み!!



■日時　8月20日(土)試合開始16:00(開場15:00)

■会場　神奈川・横浜文化体育館

■決定対戦カード

【ライト級 5分3R】ギルバート・メレンデス(シーザー・グレイシー柔術) vs 佐藤ルミナ(K'zファクトリー)
【ウェルター級 5分3R】ヨアキム・ハンセン(チーム・スカンジナビア) vs 冨樫健一郎(パレストラ広島)
【ウェルター級 5分3R】石田光洋(チームTOPS) vs 中蔵隆志(シューティングジム大阪)
【75kg契約 5分3R】桜井マッハ速人(マッハ道場) vs 青木真也(パレストラ東京)
【ライト級 5分3R】アントニオ・カルバーリョ(シャオ・フランコ・マーシャルアーツ) vs リオン武(シューティングジム横浜)
【ライトヘビー級(新人王決定トーナメント決勝)5分2R】余膳正志(シューティングジム大阪) vs 佐藤隆平(R-GYM)
【ライト級(新人王決定トーナメント準決勝)5分2R】中尾享太郎(シューティングジム横浜) vs 西岡裕(パレストラ千葉)

■チケット(当日500円up)　SRS 15000円、RS 10000円、S 8000円、2階パノラマ 8000円、2階A 6000円、3階B 5000円

■問　サステイン03-5725-7338　■HP　http://www.x-shooto.jp/

8・28はDEMOLITION! 9・17はケージマッチD.O.G!!

『DEMOLITION050828』

■日時　8月28日(日)試合開始12:30(開場12:00)　■会場　東京・ディファ有明

■チケット　SRS席8000/RS席5000円/自由席3000円

■決定対戦カード

【-79kg契約 5分2R】中村K太郎(和術慧舟會東京本部) vs 港太郎(チームKIBA)
【-70kg契約 5分2R】平山貴一(和術慧舟會) vs 西内太志朗(U-FILE CAMP)
【-82kg契約 5分2R】宮沢元樹(和術慧舟會東京本部) vs 花田和弘(XXX)
【-64kg契約 5分2R】竹内ミキオ(和術慧舟會常滑道場) vs 島田賢二(P'sLAB東京)　※他1～2試合を予定

第3回『D.O.G』

■日時　9月17日(土)試合開始17:00(開場16:00)

■会場　東京・ディファ有明

■参戦予定選手　光岡映二、門馬秀貴、廣野剛康、星野勇二、内藤征弥、中原太陽、岡見勇信、他(7～8試合を予定)

■チケット　SRS 15000円、RS 10000円、SS 8000円、S 6000円A 4000円

■問　GCMコミュニケーション03-3538-5801　■HP　http://www.g-c-m.net/

フラッシュ7初興行! 豊田真奈美34歳、Hikaruに負けたら即引退!!

『FLASH BACK～Hikaru復帰戦～』

■日時　9月10日(土)試合開始18:30(開場17:30)

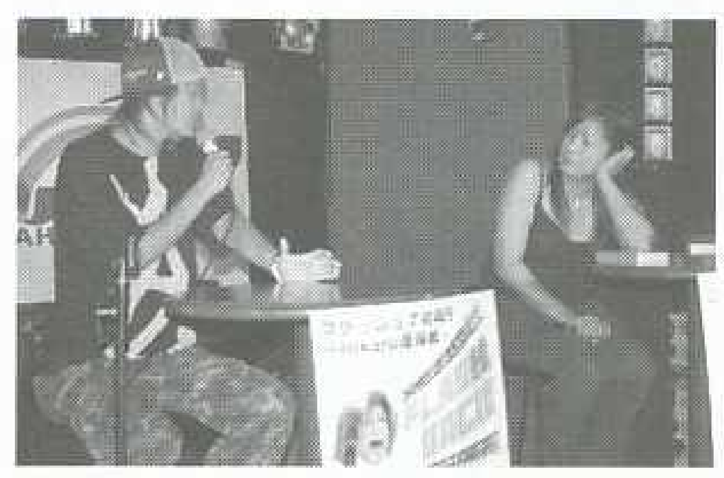
■会場　東京・新宿FACE

■決定対戦カード

◎Hikaru vs 豊田真奈美　◎前村早紀 vs 闘獣牙Leon

■出場決定選手　未来、ジャガー横田

■チケット(当日1000円up)
指定A席 7000円(最前列、非売品記念グッズ付)、
フラッシュシート 6000円(非売品記念グッズ付)、
指定B席4000円



Hikaruの下克上発言に、「いつからそんなに生意気になった?」とブチ切れ寸前の女王陛下。

■問　080-5596-6947

【はみだせ! パンクラス通信】■9月4日(日)のパンクラス梅田大会で、前田吉朗 vs 志田幹の再戦決定!!

団体INDEX（50音順及びアルファベット順）

■猪木事務所
03-5468-5656
〒150-0001　東京都渋谷区東1-25-2 丸橋ビル4F
http://www.inokiism.com/

■大阪プロレス
06-6636-6672
〒556-0002　大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
http://www.osaka-prowres.com

■キングダム・エルガイツ
0423-31-2797
〒206-0025　東京都多摩区永山1-17-10
http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

■新日本プロレス
03-5468-3111
〒150-0011　東京都目黒区青葉台4丁目4番5号 渋谷スリーサムビルヂング8F
http://www.njpw.co.jp/

■シュートボクシング(SB)協会
03-3843-1212
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ
http://www.shootboxing.org/

■掣圏会館　075-352-3109
〒600-8216　京都市下京区東塩小路町600-38-101
http://www.seiken-do.com/

■仙台ガールズ・プロレスリング
022-785-7755
〒984-0065　宮城県仙台市若林区土樋236愛宕橋マンションファラオ E-08
http://plaza.rakuten.co.jp/sendaigirls/

■全日本プロレス
03-3288-0610
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-5-10　九段有楽ビル6F　http://oudou.co.jp

■全日本女子プロレス
03-3493-6541
〒142-0062　東京都品川区小山4-4-9-2F
http://www.zenjo.com

■大日本プロレス
045-937-0811
〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
http://www.bjw.co.jp/

■髙田道場　03-5749-5030
〒142-0062　東京都品川区小山3丁目6-6 ワールドパレス武蔵小山1F&B1
http://www.takada-dojo.com/

■高山堂　03-5464-2806
〒150-0011　東京都渋谷区東2-17-12-404号
http://www.Takayama-do.com

■ドリームステージエンターテインメント（PRIDE）
03-5464-1531
〒107-0061　東京都港区北青山3-12-9　花茂ビル3F
http://www.so-net.ne.jp/pride/

■バトラーツ 0489-63-0005
〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-13-43
http://www.battlarts.jp/

■パンクラス 03-5792-0815
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25
http://www.pancrase.co.jp/

■プロレスリング・ノア
03-3527-5311
〒135-0063　東京都江東区有明1-3-25
http://www.noah.co.jp

■みちのくプロレス
022-785-7755
〒984-0065　宮城県仙台市若林区土樋236愛宕橋マンションファラオ E-08
http://www.michipro.net

■レッスルエイドプロジェクト
03-5456-2345
〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂2-20-12

■A to Z　03-3678-7777
〒132-0013　東京都江戸川区江戸川1-6-2
http://www.AtoZ.ne.jp

■DDT　03-5360-6653
〒106-0022　東京都新宿区新宿1-23-6 グローイン新宿御苑702
http://www.ddtpro.com

■DEEP事務局
052-339-0303
〒460-0071　愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
http://www.deep2001.com/

■DRAGON GATE
078-333-9797
〒650-0012 兵庫県中央区北最狭通7-1-4 サンクチュアリビル
HP:http://www.gaora.co.jp/dragongate/

■FEG（K-1事務局）
03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22 S&T神宮前ビル3F
http://www.k-1.co.jp/

■GAEA JAPAN
03-5701-7601
〒152-0023　東京都目黒区八雲3-11-4 ラ・ヴィコンテ3F
http://www.gaea-inc.com/

■GCM COMUNICATION
03-3538-5801
〒104-0061　東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
http://www.g-c-m.net/

■IWAジャパン
03-3352-3366
〒160-0004　東京都新宿区新宿2-15-13　第2中江ビル402
http://www.iwajapan.jp/

■JDスター
03-5524-2339
〒107-0052　東京都港区銀座1-8-21　第21中央ビル9F
http://www.jdstar.co.jp

■JWP　03-5849-2341
〒121-0052　東京都足立区六木3-6-4
http://www.jwp-produce.com/

■KAIENTAI DOJO
043-214-6960
〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
http://www.k-dojo.co.jp/

■LLPW　03-5228-4331
〒112-0014　東京都文京区関口1-24-6 朝日関口マンション1001号

■NEO　044-422-8344
〒211-0011　神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
http://www.neoladies.com/

■RIKIPRO
03-3754-6340
〒146-0085　東京都大田区久が原3-31-1（RIKIPRO道場内）
http://www.rikipro.com/

■SMACK GIRL 実行委員会
03-3324-8790
〒156-0041　東京都世田谷区大原1-63-9　恒心ビル801　株式会社プロテック内
http://www.smackgirl.com/
info@smack girl.com

■U-FILE CAMP
044-932-0282
〒214-0014　神奈川県川崎市多摩区登戸1568
http://www.u-filecamp.com/

■UFO
0467-82-2034
〒253-0053　神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3-7-25-2F 株式会社エフ企画内

■U.K.R　044-833-7042
〒213-0027　神奈川県川崎市高津区野川2193−11
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

■UNW
03-3362-3014
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311

■U.W.F.スネークピットジャパン　03-3337-1889
〒166-0002　東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
http://www.uwf-snakepit.com

■WMF
049-239-3520
〒350-0812　埼玉県川越市下小坂536-18
http://www.e-rain.co.jp/wmf

■WWS　0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106

■ZERO1-MAX
03-5730-3966
〒105-0014　東京都港区芝2-8-13-2F（株）ファースト オン ステージ
http://www.zero-one.to/top.html

■ZST　03-5388-0707
〒106-0023　東京都渋谷区代々木2-23-1 ニューステイトメナー833号室
http://www.zst.jp/

And Others　その他情報

ヤノタク道場で “センタク挟み”を体得せよ!!

『骨法烏合會 矢野卓見道場』
■住所　東京都西東京市ひばりヶ丘北3-5-22野島第2ビル4F
■開館日　月〜木・土（17:00〜22:00）
■入会金（カッコ内は月謝）
一般20000円（12000円）、
高校&大学&女性15000円（8000円）、
小中学生10000円（5000円）
■問　0424-23-3644


場所は元・日サロだけあって、道場には日焼けマシンも完備。色黒のヤノタクは見たくない……。

井口摂のジムで 第二の“慧舟會キラー”を目指せ!!

『ファイティングスペース・ゼロ竹ノ塚』
■住所　東京都足立区保木間3-2-12-103
■入会金　一般10000円、シニア5000円、キッズ5000円
■問　03-3883-7188
■ゼロプロジェクトHP
http://www.fightclub.co.jp/


8月7日のジム開きには慧舟會・マモルからお祝いの花が……! アフロvs坊主、因縁の対決はいつだ!?

超豪華コーチ陣! 市ヶ谷に格闘技ジムがオープン!!

スーパーギャルズミックス株式会社が格闘技ジムをオープン! 記念イベントとして三島&池本が『ニコニコ格闘技講座』を開催! 8月中は入会金が50%OFF! そして栃木では、昨年の『ターザン山本×佐藤光留』に続き、ターザン vs 格闘家・4番勝負!!

『SGM（スーパー・ジェネレーション・ミックス）道場』
■場所　東京都千代田区九段南3-4-8 B1F
■入会金　10000円（月謝10500円）
■講師陣　若林次郎、MAX宮沢、長谷川秀彦、青木真也、竹内出、滝川リョウ、他

『三島☆ド根性ノ助・池本誠知!! ニコニコ格闘技講座!!』
■日時　8月20日（土）13:00〜15:00
21日（日）16:00〜18:00
■講師　三島☆ド根性ノ助、池本誠知、SGMラウンドガール2名（アシスタント）
■会費　1DAY 3000円（2DAY 5000円）
※SGM会員は無料!
■会場　東京・SGM道場
■定員　20名ずつ
■問　SGM道場 03-3208-0706
■HP　http://www.sgmix.com

『ターザン山本!&格闘家のバトルトーク!!』
■日時　8月19日（金）
■会場　CAFEラウンド87（栃木県宇都宮市春日町13-8）
■キャスト　ターザン山本! 三島☆ド根性ノ助、池本誠知、今成正和、鬼木貴典
■チケット　3000円（1ドリンク付き）
■問　スーパーギャルズミックス株式会社03-3989-3665

探偵の極意を徹底指南!! バカ売れ本がお得になって発売中!!

『完全探偵マニュアルBest+（ベストプラス）』渡邉文男・著 700円（税込）



『右流々ン』に取材協力していただいた総合探偵社ガルエージェンシーから、40万部を突破したベストセラー『完全探偵マニュアル』1&2のベスト版が登場! 創設者の著者が、プロのみが知る禁断の極意を徹底暴露!（佐山皇帝が大物格闘家を尾行! P114へゴーゴータイガー!!）
■ガルエージェンシーHP　http://houjin.galu.co.jp/

新日本プロレス前社長 草間政一氏が回顧録を出版!

『知りすぎた私』草間政一・著　¥1500（税込）8月下旬発売

社長を辞任した経緯や推し進めた改革などを激白! プロレス経営本の決定版!!
■問　03-5396-7100（受付10:00〜17:00／土日祝休）
■HP　http://www.toho-pub.com/

道場のど真ん中に立て! リキプロ体験教室では生徒募集中!!

■日時　8月27&28日/11:00〜13:00（※10:30受付）
■料金　5000円（2日間※1日だけでも同額）
■場所　リキプロ道場（東京都大田区久が原3-31-1）
東急池上線・久が原駅より徒歩5分。駐車場がないため車での来場は不可
■参加資格　小学生以上・男女不問（女子ロッカー・シャワーあり）
※未成年者は保護者の承諾書が必要
■内容　基礎体力運動・マット運動・レスリング等を長州力、リキプロ選手が指導。
※負傷等に関しては応急処置はするが、その後の責任は負わない。
■持ち物　レスリングシューズ（運動靴不可・ない場合は裸足）、Tシャツ2枚以上、短パンorスパッツ、バスタオル2枚、スポーツタオル、飲料水
■申込&問　リキプロ03-3754-6340　■HP　http://www.rikipro.com/

★何が焼きたいんだコラッ! 長州力と焼き肉パーティー!!

『大阪屋狭山店へ長州力来襲! リキプロ選手全員集合』
■日時　9月3日（土）　1部13:00〜／2部15:30〜
■料金　長州力スペシャルセット 5500円
※ボリュームたっぷり焼肉盛り合わせ&瓶ビール・サワー・コーラ・ジュース飲み放題
■場所　大阪屋狭山店（埼玉県狭山市入間川3176-1）
■内容　懇親会・グッズ販売・チケット販売、他
■定員　先着100名様早い者勝ち!!
■問　焼肉レストラン大阪屋04-2956-8929

ドラゲー毎日プロレス お台場冒険王でまだまだ開催中!!

『DRAGON GATEお台場毎日プロレス』
■日時　8月31日（水）まで毎日開催
（※PREMIUM MATCH開催日は除く）第一部12:30／第二部15:30
■会場　東京・お台場冒険王DRAGON GATE ARENA
■チケット　お台場冒険王パスポート（¥1,200税込）で観戦可能

★PREMIUM MATCH
■日時　8月23日（火）&月29日（月）試合開始18:30
■会場　東京・お台場冒険王DRAGON GATE ARENA
■チケット（全席指定）　前売券 5000円　※冒険王パスポート代含む
当日券 6000円　※お台場冒険王パスポート所有者は¥1,000割引
■問　株式会社ドラゴンゲート078-333-9797
■HP　http://www.gaora.co.jp/dragongate/

紙プロHand　更新・最新情報

宇宙一面白い携帯サイト『紙のプロレスHand』では、試合結果速報・会見ほかニュースに加え、読み応え十分のコラムを毎日配信中！　水曜コラムは男色ディーノ、木曜は現在大森隆男が登場中！　土曜は破壊王追悼スペシャルとして、過去の『紙プロ』『Rintama』に掲載された名人生相談を再録！　さらなる追悼企画として、破壊王スペシャル待画も配信中。写真は中川画伯による所英男待画！　毎月１日に待画・着メロは更新します!!

Docomo	i Menu	メニューリスト	スポーツ	格闘技／大相撲
au/TU-KA	トップメニュー	カテゴリで探す	スポーツ	格闘技
vodafone	メインメニュー	メニューリスト	スポーツ	格闘技

▶ 紙プロHand



はみだし情報!!
素手ムエタイ、ミャンマー・ラウェイが長崎襲来!!
■日時 9月11日（日）試合開始14:00　■会場 長崎・原爆資料館ホール　※ラウェイ2試合を含め全10試合前後の予定。詳細は『紙プロHand』でもお知らせします!!

卓球少女似 松下ミワの

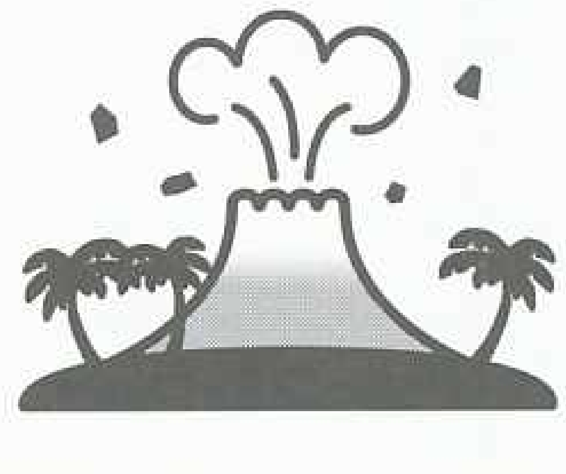
ハガキ愛ランド



Profile

紙プロ編集部員になるため、5月福岡から上京。こんな顔して、じつは身長170cmと大きめサイズ。PRIDEミドル級GP1回戦でダンヘンが負けてしまったため、いまだダンヘンには会えず。もうダンヘンは日本に来ないのか！ と、日々頭を悩ませ中の純真な25歳。

だぢづでドッカーン！ というわけで、はじまりました。新しい読者ページ。担当は今年5月に入社した福岡出身、筋肉とダンヘンが大好きな松下ミワ（25歳・独身）です。入社初日から卓球少女・愛ちゃんそっくりと言われまくりの人生ですが、そんなことはこの際どうでもいいの。だってどうでもいいんだもん（怒）！ というわけで、不束な新人ですがどうぞ見捨てずにお便りください！ それではいきまっせ〜。3、2、1、ドドドドッカーン



89号 面白かった記事

ミルコ・クロコップ インタビュー

インタビューの難しいミルコが、しかもクロアチアでインタビューとのことじゃ…。やっぱさすが紙プロじゃな。

（広島県・片岡光教さん・31歳・職人）

⬇そうです。行っちゃいました、クロアチアまで。ミルコのこんな顔、なかなか見れたもんじゃないですよね。そこに気づいてくださったのは、うれしい限りです！ それにしても、ドスのきいた広島弁で褒められると怒られた気になります。そんなに怒らないでください。

田村潔司 インタビュー

田村とガンツの対話は漫才の域に達しているように思う。2人で連載とかやったらどうですか？

（埼玉県・高橋さん・23歳・学生）

⬇ぜひ健闘してみます。その前にコンビ名、決めましょう。何がいいかな……。ダブルクロスとU－FILE CAMPで、〝W（ダブルユー）〟ってのはどうでしょう？

紙のプロレスHAND 破壊王ファンからの哀悼メッセージ

小川戦後に破壊王が包茎手術してたというのは初耳。武藤のように広告のイメージキャラの話はなかったのだろうか？

（東京都・最上正光さん・31歳・会社員）

⬇包茎手術？ 私的にはまったく問題ないんすけどね。私が男だったらします！ 新人なんで、何でもさせてください！

橋本さん、アリガトー

……なんとなく女人禁制のプロレス界の中で、女性らしい感性の3人が寄稿されてたのは、改めて橋本の懐の深さを感じました。

（宮城県・高島良さん・44歳・地方公務員）

⬇そうですよね。本当に心が熱くなる原稿でした。でも、ここまで人の心を動かせる破壊王というのは、本当にすごいと思います。破壊王、フォーエバー！

堀辺正史の活字バーリ・トゥード講座

先生のコーナーが載ってると、紙プロ全体がピリッとしてすごくいいです。次回の先生のコーナー楽しみにしてます。元気大学も卒業とのことですので、「新生DSP」で「進化」しちゃってください。

（東京都・瀬川秀樹さん）

⬇堀辺先生は本当にすごいです！ 堀辺先生のあの話でいままでの100倍格闘技が楽しめること間違いなし！ あと、新生DSPへのコメントもありがとうございます（涙）！ 「頑張ります！」とか言いたいけど、でも頑張ると疲れるんっすよね。あー、ちょっとタバコ吸ってきます。

草間政一 インタビュー

イズマイウの話とか面白かった。後編がいまから楽しみだ。

（大阪府・阪本昌嗣さん・22歳・専門学校生）

⬇お待たせしました。後半もばっちり載ってますよ！ こんな読者ページなんか見てる場合じゃないっす！

所英男×矢野卓見 インタビュー&50の質問

とにかく暴露しすぎなトークが最高でした！「HERO'S」で初めて所さんを知りましたが紙プロのおかげでDEEPな〝ウラ所さん〟を知れました。ステキな男子ですねー。

（長野県・田中咲恵さん・28歳・書店員）

⬇所選手は自分が出てる雑誌をまとめて実家に送ってるそうですが、どういうわけか所選手のかなり深い部分まで取材している『紙プロ』だけは送ってないそうです。所選手、紙プロ編集部からお送りしておきましょうか？



（埼玉県・稲葉聡さん）
締め切りギリギリだったけど無理やり入れ込んだこのハガキ！ マッスルボディは美濃輪選手というよりフィル・バローニ。斜角筋も三角筋も、3、2、1、マッスル!! マッスル!!

紙プロ読者選・HERO'Sミドル級トーナメント優勝予想

順位	
1位	山本"KID"徳郁
2位	所英男
3位	レミギウス・モリカビチュス
4位	須藤元気
5位	宇野薫

HERO'S優勝者予想第1位に輝いたのはやっぱり"神の子"KID選手でした。つづいて、HERO'S1回戦でベケーニョから勝利をもぎ取ったフロナシファイター所選手が2位！ そして所選手と同じくZSTのレミギウスがランクインしてます。さあ、ど〜なるのよ!? HERO'Sは！

89号・面白かった記事ランキング

順位	
1位	破壊王追悼特集
2位	ミルコ・クロコップ インタビュー
3位	草間政一 インタビュー
4位	堀辺正史 インタビュー
5位	所英男×矢野卓見対談 他

予想通りです！ 破壊王企画ぶっちぎり優勝！ 後続を寄せ付けないこの見事な勝利は『紙プロ』読者の愛情を感じます。すごい勢いで感じます。さすがです。つづいて2位は8・28『PRIDE』ヒョードル戦の気になり度＋クロアチア取材でまくりざしに成功したミルコインタビュー。つづいて草間政一インタビュー、堀辺正史インタビューと深い企画がランクインしました。

89号 つまんない記事

エメリヤーエンコ・ヒョードル　インタビュー
別に期待とかを感じなかった。
（東京都・大平寛さん・29歳・会社員）

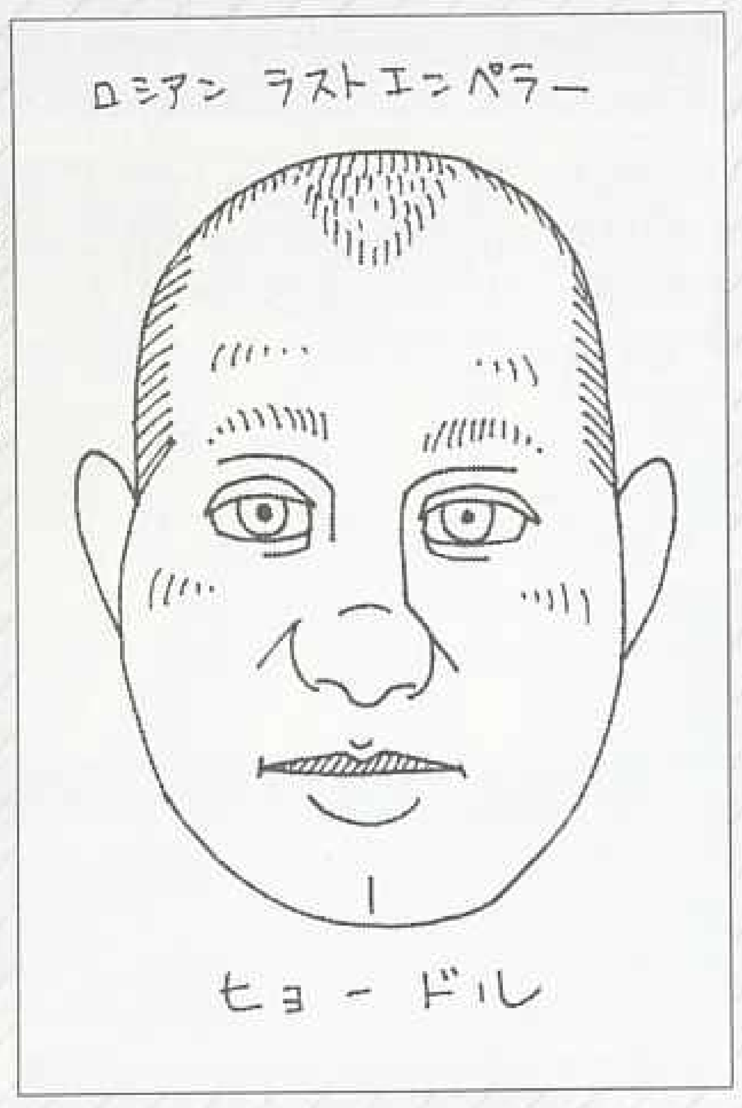
⬇その代わりと言ってはなんですが、ミルコvsヒョードルには期待してください！　この試合を2年以上待ち続けたミルコには、ジェームス・トンプソンばりに顔をぷるぷる震わせて入場してほしいと思います！

金ちゃんのドンとやってみよう！
何でもいいから試合で活躍してくれ！　カカレコを極めた金ちゃん！
（東京都・那波隆史さん・28歳・土木業）

⬇シウバ、ミルコ、アリスター、ショーグン……。こんな強豪と闘ってきたんですよ！　金ちゃんは。それだけで私はすごいと思うんです。でも、確かに勝ってほしい！　ってわけで、それではさっそくロシア・エカテリンブルグの試合に期待しましょう



（埼玉県・大崎洋二さん）
大崎さんのハガキを見ると、いつも持って帰りたくなります。本当にね、緻密な切り絵なんです！　個人的には、もう少し剃り込みの部分を手加減してあげてもいいのかなと思うんですけど、大崎さんは妥協しないタイプなんでしょうね！



（東京都・小技さん・27歳）
そっくりです！　でも、ミルコ戦では、この美しい皇帝フェイスがどうなるのか心配……。って、本当はそんなに心配でもないんですけどね。はっはっは～。

89号 俺の話も聞け！

ささきぃ、お疲れさまでした。元気大学に載せてもらった時はうれしかったです。ところで紙プロの電気部は猪木さんの永久電気と関係があるのですか？
（兵庫県・春名義行さん・38歳・会社員）

⬇ささきぃさん、本当にお疲れさまでした！　ちなみに、客観的な視点から見て、紙プロの電気部と永久電気の関係とは……、えっと、わかりません！

88号プレゼントRED DEVILキャップ届きました。しかも「五輪書」まで…。読めちゅーことですネ。私の父は武士なのでプレゼントします。
（兵庫県・瀬戸飛鳥さん）

⬇お父さんが武士だと告白されたのは、私の人生において瀬戸さんが初めてです。ぜひ次回お父様の写真をお送りください！　私もいっぱい送ります！

私は紙プロを毎号買ってます！　しかもわざわざ定期購読。毎月本屋さんに取り置きしてもらい、TELしてもらってます。なのに、いっつも私の好きな選手の特集をやってくれません。ムサシ選手、バンナ選手、セフォー選手、秋山選手です!!
（広島県・中山美穂さん）

⬇紙プロを愛してくださいまして、ありがとうございます！　K-1ファンなのに紙プロ読者というのはすごいことだと思います。一生大事にします！　でも結婚はしません！



（埼玉県・小川徹さん・20歳）
ド迫力のハガキ4連発！　でも本当は小川さんは今回6枚のハガキを送ってくださいました。なので、次回は7枚お願いします！



（北海道・アカツキさん）
〝ドキッ！女だらけの水泳大会〟に出場したわけじゃないですよ。でも、あのポロリはまさに〝ドキッ！〟いろんな意味でドッキドキです！　曙選手、がんばって！



（福井県・西澤日寿さん・29歳・主婦）
西澤さんのイラストからは破壊王への愛情がにじみ出ていますね。ラブを感じます。そしてこの片足をあげて四股を踏んでいる姿には内山くんを感じます。

一球入魂フォトショップ



インリン・オブ・ジョイトイさんが今号に掲載されてるインタビュー収録のため、ヒマでモテない下々の編集者の終着駅、紙プロ編集部にご降臨！　そしてこの写真は、興奮しまくった編集部一同が無理やりインリンさんを囲み、カメラマンの平工さん撮ってもらった一枚です。松下ミワ入社後、約8回しか会ってない鬼畜編集長・山口日昇もこういう時だけちゃっかり出社。　どうですか!?　お客さん

こんなコメント募集

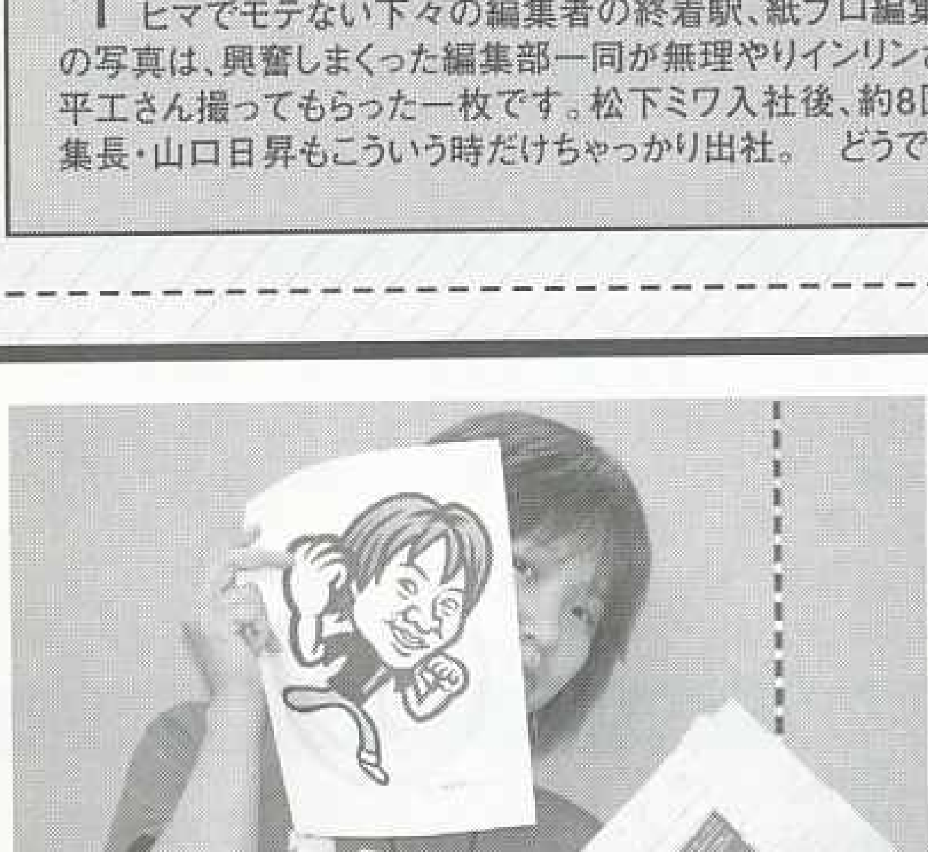
読者ページが新しくなったということで、やっぱりみなさまからのいろんな情報がほしいのです。とりあえず、今回募集したいのはこの3項目。どんどんください！　でも「型破りな生き方しかできないんだ」という男気満載の方は、まったく関係ないネタでもぜんぜんOKです！　ヨロシク！

- **あそこで見かけたこんな人（プロレス・格闘技関係者に限らず、著名人、芸能人、素敵に熱狂してるファンもアリです！）**
  例：IWAジャパン後楽園大会の当日券売り場で斉藤清六さんを発見しました。
- **いつも頭に残ってしまう素朴な疑問**
  例：どうして私はダンヘンに会えないんですか？
- **ハガキ愛ランドでやってほしい企画**
  例：自慢の肉体を披露できるスペースをつくってください。

以上、すべてのお便り・イラストのあて先&メールアドレスは

radical@kamipro.com
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6　パレ・ジュノ2F
(株)ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部
「愛されるよりも愛したい」係まで。
携帯サイト『紙のプロレスHand』からの投稿もできます。

前読者ページ担当 ささきぃの小部屋 今月限り



前号まで読者ページを担当していたささきぃです。本業は電気部です。最終回を受けて、私なんぞにお便りをくださった方、どうもありがとうございました!!　えー、ページの中で何回か自分の誕生日を連呼していたところ、中川雅博画伯がイラストを描いてくださいました！　可愛く描いてくださってありがとうございます!!　なんか強そうです!!　そして東京都のヤーさんからは、橋本真也DVDを誕生日プレゼントに頂きました！　心温まるお便りも一緒にありがとうございます。感涙でした。今後とも『紙プロ』と読者ページをよろしくお願いします。

ダブルクロス裏事情　■じつは紙のプロレス編集部内にガチでハードゲイがいます！　「う」がつく人です。

8 AUGUST

19 FRI.

新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
NOAH■東京・後楽園ホール（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■北海道・札幌テイセンホール（19:00）
AtoZ■東京・亀戸サンストリート（19:00）

20 SAT.

新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
NOAH■山形・山形市総合スポーツセンター（18:00）
ZERO1-MAX■茨城・水戸市民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■岩手・遠野市総合運動公園特設リング（17:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
修斗■神奈川・横浜文化体育館（16:00）
UFC54■米国ラスベガス・MGMグランドガーデンアリーナ

21 SUN.

新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
全日本■東京・後楽園ホール（18:30）
NOAH■山形・酒田市営体育館（17:00）
みちプロ■秋田・秋田市立体育館サブアリーナ（15:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■愛知・JR稲沢駅前特設リング（15:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（15:00）
大阪プロ■大阪・千里中央よみうり文化センター（13:00）
FUCK!■大阪・羽曳野J2K道場（14:00）
NEO■東京・東京キネマ倶楽部（13:00）
JWP■東京・東京キネマ倶楽部（17:00）
AtoZ■東京・江戸川小松川さくらホール（16:00）
アジャコング自主興行■東京・後楽園ホール（12:00）
J-NETWORK■東京・大森ゴールドジム（15:00）

22 MON.

新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
NOAH■岩手・岩手県営体育館（18:30）
ZERO1-MAX■群馬・伊勢崎市第2市民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
TITANS 2nd■東京・代々木競技場第二体育館（17:00）

23 TUE.

新日本■東京・東京ドームシティ スカイシアター（19:00）
ZERO1-MAX■東京・新木場1st RING（19:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（18:30）
T-1グランプリ■東京・後楽園ホール（18:39）

24 WED.

NOAH■福島・福島国体記念体育館（18:30）
全日本■岩手・大船渡市民体育館（18:30）
ZERO1-MAX■長野・長野運動公園総合体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

25 THU.

DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

26 FRI.

NOAH■静岡・駿河健康ランド特設リング（18:00）
全日本■北海道・釧路市鳥取ドーム（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■大阪・鶴見緑地公園水の館ホール付属展示場（19:00）
大阪プロ■愛知・名古屋市ワンダーシティ・イベントホール（18:00）
LLPW■東京・後楽園ホール（18:30）

27 SAT.

全日本■北海道・北見市立体育センター（18:00）
NOAH■東京・ディファ有明（18:00）
ZERO1-MAX■島根・益田市民体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
大日本■静岡・アクトシティ浜松（15:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
フーテン・プロモーション■東京・新木場1st RING（19:00）
NEO■新潟・長岡市厚生会館（18:30）
パンクラス■東京・後楽園ホール（18:30）

28 SUN.

全日本■北海道・浜頓別多目的アリーナ（17:00）
みちプロ■宮城・ニューワールド仙台（15:00）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
DDT■東京・後楽園ホール（12:00）
大日本■東京・後楽園ホール（18:30）
K-DOJO■千葉・BlueField（15:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
NEO■東京・板橋グリーンホール（17:00）
格闘美■東京・新木場1st RING（12:30）
我闘姑娘■東京・板橋グリーンホール（13:00）
PRIDE■埼玉・さいたまスーパーアリーナ（16:00）
DEMOLITION■東京・ディファ有明（12:30）
R.I.S.E.■東京・大森ゴールドジム（16:30）
天空■東京・ディファ有明（17:00）

29 MON.

NOAH■新潟・上越市厚生南会館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（18:30）

30 TUE.

全日本■北海道・旭川地場産業振興センター（18:30）
NOAH■富山・高岡テクノドーム（18:30）
ZERO1-MAX■愛媛・西条市総合体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）

31 WED.

ZERO1-MAX■広島・広島市佐伯区スポーツセンター（18:30）
DRAGON GATE■東京・お台場DRAGON GATE ARENA（12:30&15:30）
格闘美■神奈川・HK LOUNGE（19:00）

9 SEPTEMBER

1 THU.

新日本■東京・後楽園ホール（18:30）
全日本■北海道・札幌メディアパークスピカ（18:30）
NOAH■大阪・大阪府立体育会館 第二競技場（18:00）

2 FRI.

新日本■宮城・宮城県スポーツセンター（19:00）
DRAGON GATE■岩手・北上和賀多目的催事場（18:30）

3 SAT.

NOAH■福岡・博多スターレーン（18:00）
DRAGON GATE■千葉・船橋アリーナ（18:30）
K-DOJO■千葉・BlueField（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
DEEP■東京・ディファ有明（17:00）
パンクラス■熊本・グランメッセ熊本（17:00）

4 SUN.

新日本■千葉・東金アリーナ（17:00）
NOAH■佐賀・唐津市文化体育館（17:00）
DRAGON GATE■埼玉・越谷桂スタジオ（16:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（15:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
国際プロ■東京・バトルスフィア東京（14:00）
東海プロ■愛知・今池きも善東交差点特設リング（14:00）
パンクラス■大阪・梅田ステラホール（16:30）
新日本キック■東京・ディファ有明（16:00）

6 TUE.

新日本■長野・東御市ふれあい体育館（18:30）
NOAH■熊本・本渡市民センター（18:30）
K-DOJO■東京・後楽園ホール（18:30）

7 WED.

NOAH■福岡・小倉北体育館（18:30）
DRAGON GATE■東京・後楽園ホール（18:30）
CRUISER'S-GAME■東京・新木場1st.RING（19:30）
HERO'S■東京・有明コロシアム（17:30）

8 THU.

ハッスル・ハウス■東京・後楽園ホール（19:00）
新日本■栃木・宇都宮市体育館（18:30）
DDT■宮城・白石市文化体育センター（18:00）

9 FRI.

新日本■埼玉・秩父市民体育館（18:30）
NOAH■広島・広島グリーンアリーナ（18:30）
WMF■東京・新木場1stRing（19:00）

10 SAT.

ハッスル12■愛知・愛知県体育館（18:00）
NOAH■岡山・岡山オレンジホール（18:00）
みちプロ■東京・後楽園ホール（18:30）
DRAGON GATE■大阪・大阪府立体育館 第二競技場（18:30）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
フラッシュ7■東京・SHINJUKU FACE（18:30）
ZST■東京・Zepp Tokyo（17:30）

11 SUN.

新日本■神奈川・相模原市立総合体育館（18:30）
全日本■東京・ディファ有明（17:00）
NOAH■愛知・愛知県体育館（16:00）
ZERO1-MAX■群馬・館林市民体育館（17:00）
DRAGON GATE■福岡・博多スターレーン（16:00）
K-DOJO■千葉・BlueField（13:00&17:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（13:00）
NEO■東京・板橋グリーンホール（13:00）
M's Style■東京・新木場1st RING（18:00）
ANGEL'S■東京・伊原道場本部道場

12 MON.

DRAGON GATE■大分・大分イベントホール（18:30）
NEO■群馬・サンピア高崎（19:00）

13 TUE.

全日本■福井・福井市体育館（18:30）
DRAGON GATE■熊本・熊本興南会館（18:30）
IWA JAPAN■東京・後楽園ホール（18:30）

14 WED.

新日本■和歌山・岩出町民総合体育館（18:30）
DDT■東京・新木場1stRing（19:30）

15 THU.

新日本■和歌山・ハナヨアリーナ（19:00）
全日本■大分・大分イベントホール（18:30）
ZERO1-MAX■静岡・キラメッセぬまづ（19:00）

16 FRI.

全日本■鹿児島・鹿児島市民体育館（18:30）
ZERO1-MAX■千葉・千葉公園体育館（18:30）
アパッチプロレス軍■東京・新木場1st RING（19:00）
G-SHOOTO■東京・北沢タウンホール

17 SAT.

新日本■三重・三重県営サンアリーナ・サブアリーナ（18:30）
全日本■熊本・天草町勤労者体育センター（18:00）
DRAGON GATE■北海道・札幌テイセンホール（18:30）
大日本■東京・六ツ木小学校横グランド（18:30）
大阪プロ■大阪・IMPホール（18:00）
D.O.G■東京・ディファ有明

18 SUN.

全日本■熊本・熊本興南会館（17:00）
NOAH■東京・日本武道館（17:00）
みちプロ■秋田・秋田市拠点センター アルヴェ（15:00）
バトラーツ■埼玉・桂スタジオ（17:00）
DRAGON GATE■北海道・札幌テイセンホール（15:00）
DDT■石川・加賀市体育館（14:00）
アパッチプロレス軍■滋賀・滋賀県立文化産業交流会館（17:30）
K-DOJO■千葉・BlueField（15:00）
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
NEO■東京・後楽園ホール（12:00）
JWP■東京・後楽園ホール（18:00）
全日本キック■東京・大森ゴールドジム
NKB■東京・ディファ有明

8・20リングス・エカテリンブルグ大会、『紙プロHand』で独占速報します!



金ちゃんの MONTHLY BOYA-KING COLUMN

ドンとやってみよう!

第5回

みなさん残暑お見舞い申し上げます 夏が来ると思い出す、クソ暑い道場。

『紙プロ』読者のみなさん、残暑お見舞い申し上げます。

いや〜、それにしてもホントに暑いよね。もう暑くて死にそうだよ。俺は毎年、夏バテするからずっと前から思ってたんだけど、格闘技界も7月8月はオフシーズンにしないとダメだよ。こう暑いと運動なんてできないもん。ちょっと練習するだけで汗だくになるし、身体がもたないよ。だからホントはこういうときは、ハワイでも行ってプールサイドでのんびり過ごしたいんだけど、俺の場合、普段試合組まれないのにそういう真夏に限って試合があるんだよな〜（苦笑）。

久々の試合が8月20日、ロシア・エカテリンブルグで決まったから、いまは一生懸命練習してるんだけど、もう暑くて身体が動かないよ。こういうときはエアコンがんがんかけて、涼しい中で練習すれば練習もはかどると思うんだけど、だいたいジムのオーナーとかって「この暑い中で練習してこそ強くなる」っていう考えの人が多いんだよね（苦笑）。俺は断じてそうは思わないんだけどさ。

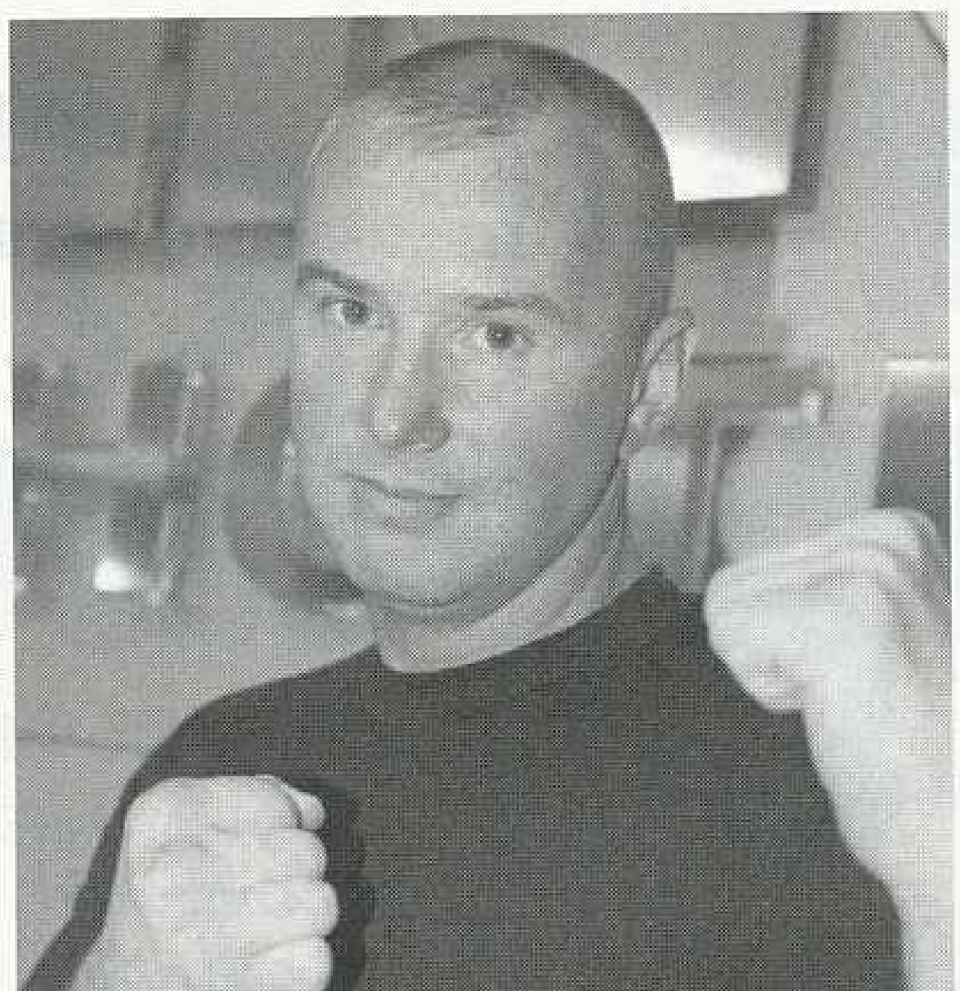
でも、昔の考えだとエアコンかけるどころか、わざと閉め切って暑くして「この環境で身体を強くするんだ」ってやってるからね。昔のUWF系の道場なんか特にそうなんだよね。昭和の新日本プロレス道場がそうだったからなんだろうけど。だいたい普通に考えたら、室温が40℃以上もある中で練習して身体にいいわけないんだよ（笑）。運動量は落ちるし、体力消耗するだけなんだから。どう考えても練習の妨げになってるだけだと思うんだけどね（笑）。

昔のUインターの道場も夏はホント暑くてさ、新弟子のころ髙田さんのストレッチやってるとき、思わず「暑い」って言っちゃったら、髙田さんに「お前のホントの気持ちが出たな」とか言われちゃってね。練習生のときだから、髙田さんとまともに口なんて利けないし、「はい」「いいえ」しか言えない状態だったのに、思わず髙田さんの柔軟しながら「暑い」っていうグチの言葉がでちゃったんだよ。そのときは、思わず自分の言ってしまった言葉に寒気がしたけど（笑）、それぐらい暑かったからね、Uインターのあのプレハブ道場は。

でも、暑い道場で練習したあと外で水浴びしてさ、そのあとビール飲んで、上半身裸のままちゃんこ食って、スイカ食ってさ。そういうところは古き良き道場は良かったよね。いまのジムみたいに、練習後、シャワー浴びて、スポーツドリンク飲んで終わりじゃ、ちょっと味気ないよね。

まぁ、だから早く涼みにロシアへ行きたいけど、ロシアも夏は暑いからな〜。「ロシアに行く」って言うと、みんなに「涼しそうでいいですね」って言われるんだけど、夏のロシアってけっこう暑いからね。昔、5月ぐらいに行ったときもジャンパーとか用意していったけど、クソ暑かったから。まぁ、久々の試合なんで、頑張ってきますよ。リングス・ロシアのユーリ・ベキチェフが相手で、打撃主体でガンガン来る選手みたいなんで、いい試合ができて、きっちり一本で勝てたらいいよね。

それにしても、まさかまた前田さんとロシアに行くとは思わなかったよね。1年前は考えられなかったよ。最近、前田さんの家にもよく行くんだけど、表情も良くて昔の前田さんに戻ってきてるよ。やっぱり人の前に出ると違ってくるんだよね。ということは、俺ももっと人前に出なきゃダメだな〜。プロデューサーのみなさん、試合のオファーお待ちしてます！



この選手が8・20リングス・エカテリンブルグ旗揚げ戦での対戦相手、ユーリ・ベキチェフ。極真空手をベースにした打撃ファイターで、素早い後ろ回し蹴りが得意。この大会の模様は『紙プロHand』での速報と、次号『紙プロ』でたっぷりお届けします!

Kanehara Hiromitsu

本音炸裂コラム毎日更新中!
金原弘光オフィシャルHP
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

『アイランド』と『マルチュク青春通り』面白え！
偏差値低い中学生気質の僕らにビンビンくるよ

リングの汁 ミゼット

花くまゆうさく

▼7月30日、修斗を後楽園ホールにて

肌色スパッツで今年のアブダビのオープニングマッチを沸かした鈴木徹選手。今回は宇宙人マスクで入場。『狂い咲きサンダーロード』と一生付き合う人生を送っている者として、あのマスクには反応しちゃうよね（ちなみに『狂い咲き〜』は年内中にDVDで発売されるらしいよ。日本の正常な普通の男の子なら絶対買うべし）。肌色スパッツでのファイト＆フィニッシュへの動き、よかったデス鈴木選手。試合後、バックステージでの勝利者インタビューも宇宙人姿だったようで、ナイスです。

田村彰敏vs孫煌進戦には驚愕。クラスBでレベル高すぎ。

ウワサの井口摂選手が登場。レスラー系なのに、下からの柔術ムーブがうまくてビックリ。イメージ覆った。マイクもうまい。もういきなしマモル戦でもいいんじゃないかな。生駒純司戦も面白そう。

秋本じんvs大石真丈戦。コンバットレスリングでもたびたび見せてるが、秋本選手のヒールホールドの入り方は見入ってしまう。何度もそこだけ巻き戻して見てるのは、僕だけじゃないよね？ 大石選手の三角から腕決めへの流れもお見事。



メインは戸井田カツヤvs石川真戦。「戸井田選手なんでスタンドで勝負してんだろう？」とヤキモキして見てたが、最後のミラクルチョークお見事！ スゴい！ 思わず拍手パチパチパチ！

▼7月10日のパンクラス横浜大会をTVにて

この大会を見て語りたくなるのは、やっぱ玉海力だよね。『PRIDE』デビュー以来、いまマット界でイチバン不思議な存在。「なぜ？」の嵐。

●

今月の目玉は、マッハvs青木真也とヒョードルvsミルコ。急遽決まったマッハvs青木は驚きのビッグカード。これまでの試合で、ある程度まで関節技の体勢取らせてるように見えるマッハなので、なんか心配だなあ。壊されなきゃいいけど。昔の強いマッハで圧倒してくれることを祈ってます。

そんでやっと実現する、ヒョードルvsミルコ！ でも僕はこの日、ロシアに行ってるころだと後から気づいて大ショック!! ガック死。

Hanakuma Yusaku
ロメロの新作ゾンビ楽しみだ。

中川画伯の絵日記 犬とTVの日々

http://chu-kichi.jp/



第12回

**何だか忙しい日々。
仕事したり、犬と遊んだり、
犬と遊んだり、仕事したり、
犬と遊んだり、犬と遊んだりしてます。
犬と遊んでばっかり…。**

7月28日 WOWOWで『真説タイガーマスク』を見たよ。船木タイガーは仄暗くて良かったよ。佐山サトル皇帝も良かったよ。でもねぇ、イチバン良かったのはブッチギリで真樹日佐夫先生。渋い。渋過ぎる。



7月31日 フジテレビで『K-1GPハワイ』を見たよ。ハゲばっかりのトーナメント。やっぱりバタービーンは可愛いネ！



8月2日 日本テレビ『戦後60周年記念ドラマ 二十四の瞳』を見たよ。保田圭さんが出てたから…。最後、保田さんが「浜辺の歌」を歌ったんよ。高く澄んだ声でね。ウットリしちゃったよ。もっと保田圭の歌が聞きたい。そして、戦争反対!! ノーモア・ウォー!!



8月3日 京都のお友達、Setyさんにビデオを貰ったよ。関西で放送した『ケンドーコバヤシ妄想劇場』ちゅう番組。やっぱりケンコバは面白いね。関東では、あんまり見られないんよ。もっとケンコバを！ 陣内智則なんてチョットでえぇねん。



8月4日 両国国技館で『レッスル1』を観たよ。面白かったよ。曙のコスチュームが面白かったよ。ハイセンス過ぎて我々凡人には理解出来なかったよ。



8月6日 インボイスSEIBUドームで『渡辺美里コンサートV20』を観たよ。まさに「リビング・レジェンド」って感じだったよ。



8月8日 新宿ロフトプラスワンで『格闘二人祭』を観たよ。吉田豪先生は最高です。ターザン山本が全然話を聞いてなかったり、突然全然違う話をしたりして面白かったよ。まさに「おじいちゃん」って感じだったよ。



何を書いて良いのか解らず暴走気味。ブレーキの壊れた自転車です。御指導御鞭撻願います。紙のプロレス「中川画伯絵日記係」まで。抽選で1名様にステッカー・プレゼント。

ザ・検証 REBORN

俺とお前と東城えみ。彼女は数少ない携帯番号とメアドを教えてもらった女子レスラーの一人で、ちょくちょくメールが送られてきたものだ。といっても、内容は試合や舞台の案内ばかり（涙）。AV撮影の案内が来てたら行ってたのになあ。正直残念!（チョロ）

【今月の検証　せき詩郎】アボット『PRIDE』参戦の影響

今度の『PRIDE』は見所が多い。何かと話題も豊富だ。ヘビー級タイトルマッチとミドル級GPの決勝が同時に見れてしまうのだから当たり前だろう。

街を歩けば「ヒョードルが勝つ」「いや、ミルコだ!」と若者の論争が聞こえるし、することないから電気屋で血圧を計ってたりすると、隣で足マッサージ器を試している中年同士の「シウバで決定だ」「絶対にアローナ!」という口論が聞こえてくる。

この夏、ポケモンスタンプラリーをする子供と疲れきった親の親子喧嘩や、マルイワンでの「そんな派手な服はダメよ」「みんな着てるからいいの!」という親子喧嘩に匹敵するくらい耳にするのが『PRIDE』の話題である。

確かにヒョードルとミルコ、どちらが勝つのかは気になる。きっとまた延期になるのでは、と予想しつつ気になる。ミドル級で誰が一番強いのか、これまた気になる。『PRIDE』とは別に、上位の人がすべて怪我等で欠場しないと後藤のG1優勝はなくなってしまう、この原稿を書いている今現在そういう状況にあるわけだが、ここから奇跡の巻き返しはあるのかどうか、そのことも気がかりだ。

だが一番気になることはなんと言ってもタンク・アボットの参戦であろう。対戦カードにタンク・アボットの名前を見つけた時の私の驚きといったらそれは尋常ではなかった。なぜなら『PRIDE』の会場にタンク・アボットが来る、これは大変なことだからだ。

なぜタンク・アボットの参戦がそれほど大変なことなのかピンと来ない読者もいるだろう。そこでいくつか例を挙げて説明してみたい。

例えばタンク・アボットが『PRIDE』の会場ではなく、『SASUKE』の会場に来たことを想像してもらいたい。そり立つ壁にタンク・アボットの喧嘩ファイトは通用するのかどうかなど興味は尽きないが、それよりも自宅にSASUKEのセットを作って特訓する山田勝己と「SASUKEのための練習なんかしない」と言い放ち、闘争本能の赴くままにSASUKEに挑戦するタンク・アボットはまさに対極の関係。雰囲気悪化と混乱は必至。山田の弱いメンタル面に多大な影響を与えることは確実。SASUKEの会場は大変なことになるだろう。

また『ごきげんよう』の会場にアボットが……!?　これもまた考えるだけで大変なことになるだろうという予感に満ちている。松金よね子、夏木ゆたかくらいのゲストとタンク・アボット。180センチ、120キロ以上の巨体が目立ちまくりだ。その上「サイコロを投げるための練習なんかしない」と豪語し、闘争本能の赴くままにサイコロを投げるのだから、番組のイメージは崩れ、大変なことになることは間違いない。小堺さんの困った顔が目に浮かんでくる。

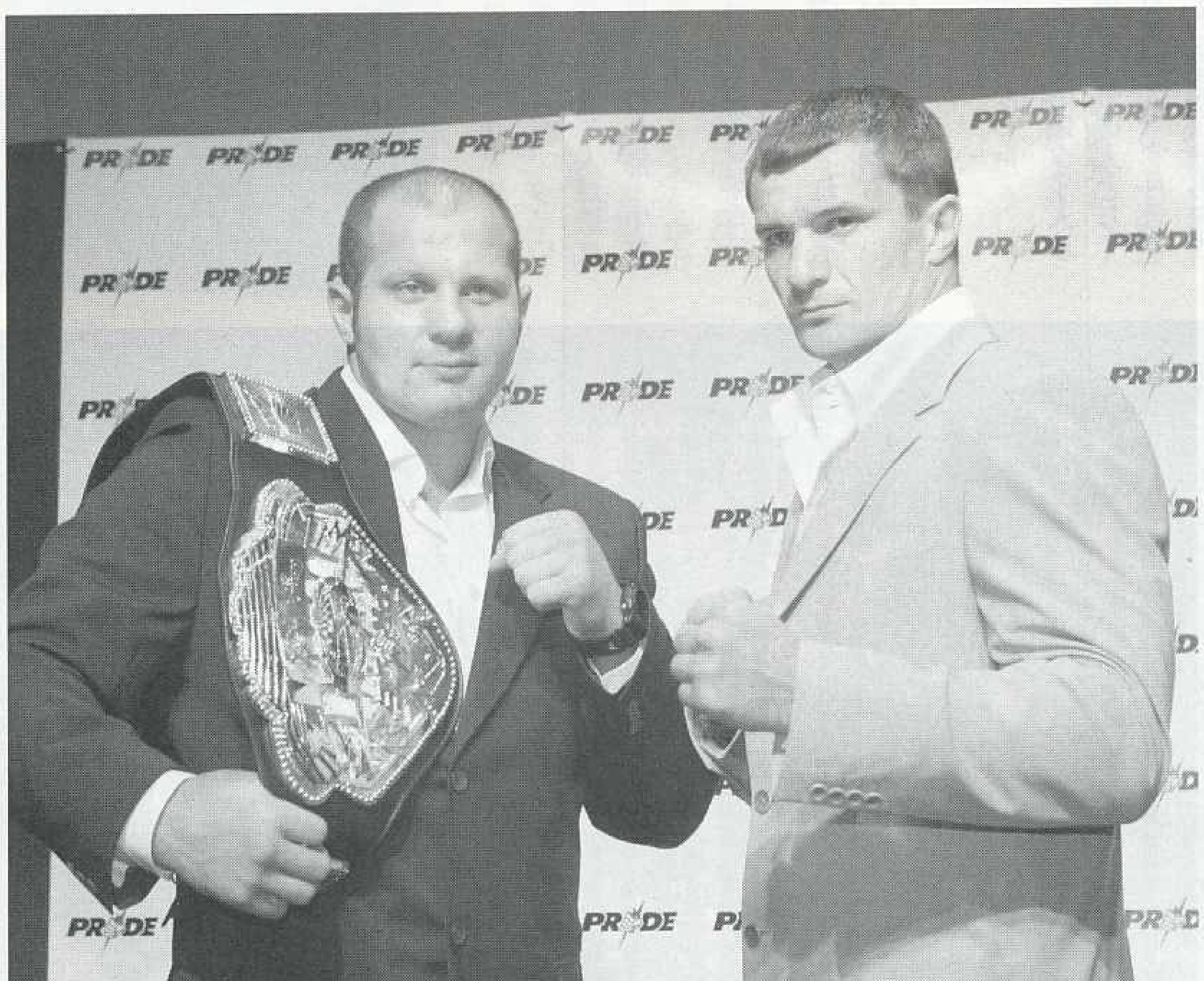
もしくは3Bに成迫政則と鶴本直とタンク・アボットが転校してきたら!?　ただでさえ問題だらけで、しかも幸作のことで大変だというのにタンク・アボットまで!?　「ソーラン節の練習なんかしない」とのセリフと荒々しいファイトで3Bが大変なことになることに疑いの余地はない。

それだけではない。トキワ荘に「もっと漫画のことを真剣に考えよう!」とつのだじろうではなくタンク・アボットが来たならばどうだろうか？　『ふるさと愉快亭・小朝が参りました』なのに小朝ではなくタンク・アボットが参ったならば!?　モノマネしてたら後ろからご本人が登場……と思ったらご本人ではなくタンク・アボットが来たならば!?　24時間テレビマラソンのゴールを待っていたら武道館に走って来たのはタンク・アボット!?　タンク・アボットが来たりてヘヴィメタル!?……などなど、どれもこれも大変なことばかりだ。

どうであろう、タンク・アボットが来るという事実がどれだけ大変なことなのか身に染みてわかっていただけたと思う。

さてさて、そのタンク・アボットが参戦する『PRIDE』、いったいどうなることか今から楽しみである。

（以上、鶴本直がハセケンに出したメールより）



アボットの写真探したけど結局見つからず。代わりにダンボビかボスマン写真でごまかそうかと思ったが、やめときました。

"ささきぃの極私的立ち技格闘技連載

STAND" BY ME（仮）

第11回

ムエタイとは何か？（はじめの一歩編）

ささきぃです！　今月の『STAND BY ME（仮）』は、ムエタイ入門編！　とはいえ2ページで語りきれるはずもないので、超初心者に向けての「はじめの一歩編」、もしくはムエタイへの旅、荷造り編です。注釈をつけたおかげで、すっかり〆切ギリギリです。それでは橋本さん、よろしくお願いします！



橋本宗洋（はしもとのりひろ）

1972年生まれ、茨城県出身。『格闘技通信』を経た後、99年からは『SRS－DX』へ。同誌休刊後はフリーとして本誌でも活躍中。所英男勝利にプレスルームでガッツポーズをとって喜び、パンクラスでのプロレスルールに泣き、タイは料理も安くて美味しいと主張する33歳。今月は〆切直前に届いた安田顔さんの似顔絵が、夏らしかったので採用しました。

ささきぃ　えー、今回は「ムエタイへの旅・準備編」ということで、業界きってのタイ大好きっ子・橋本さんにムエタイの〝ム〟から教えていただきたいと思います！

橋本　タイ大好きっ子って言われると誤解を呼びそうだなぁ。

ささきぃ　バンコクの中心にある通り（※1）が好きとか、そういうわけじゃないと。

橋本　まぁ、それもなくはないけど（笑）、なんかタイが好きっていうとそればっかりだと思われるんだけどさぁ。

ささきぃ　それ「だけ」ではない、と（笑）。（※2）

橋本　えー、今回ムエタイをテーマにする理由として、7月の全日本キックで山本元気がムエタイ王者と闘ったり（※3）、8月の『TITANS』でラジャのタイトルマッチが実現したり（※4）、俺たちがやたらと名前を出しているNJKFの国崇が9月にラジャ王者とやったり（※5）という流れがあるわけだよね。

ささきぃ　そうですね。もちろん『K-1 MAX』のブアカーオ（ポー・プラムック）の凄さや、ヘビー級のGPに参戦しちゃうガオグライ（・ゲーンノラシン）っていうのもあるし、強いタイ人をたくさん見られそうな秋に向けて、この時期にムエタイを知っておくのもいいんじゃないかと思いまして。新人の松下ミワに「ムエタイって分かる？」と軽くリサーチしたところ「そもそもムエタイっていうのは何か」と言う話になったんですね（※6）。

橋本　はぁー。『ムエタイへの旅はまだ終わらない』どころか、始まってないわけね。

ささきぃ　タイでやってるのをムエタイって言うのかと思ったら、ブラジルでは（ヴァンダレイ・）シウバもやってると。さらに言えばリトアニアでレミギウス（・モリカビュチス）もやってる。これは一体何なんだと。（※7）

橋本　ムエタイはタイの国技なんだけど、世界的にも広まっているってことだよ。ムエタイというのは競技名。タイでやってるキックボクシングをムエタイって呼ぶんじゃなくて、逆だからね。ムエタイを日本に輸入したときに、プロモーターがキックボクシングって名前にしたんだよ。

ささきぃ　「キックボクシング」って名前からして海外発のもののような気がするんですけど、そこは違うんだと。

橋本　あれは日本でつけた名称でしょ。海外でもキックボクシングっていう場合もあるけど、ムエタイっていったりタイボクシングっていったりもする。だからそもそもの源流はやっぱりムエタイ。極真の創成期の人たちがムエタイに挑戦したっていう歴史もある。黒崎健時とか、伝説の強豪たちがタイでムエタイと対抗戦をやったんだよ。極真がローキックを取り入れたのは、その経験があるから。昔の空手にはローキックってなかった。

ささきぃ　へぇ〜。

橋本　だから、なんでムエタイムエタイって言ってるかっていうと、結局、打撃系で一番強いのはムエタイだっていうのがあるんだよね。

ささきぃ　打撃の最強はムエタイってイメージはありますよね。300年の歴史でしたっけ。

橋本　500年かな。（※8）

ささきぃ　失礼しました。キックはまだまだ40年くらいですからね。

橋本　そういう、果てしなく強いムエタイをルーツとして、それに追いつけ追いこせでやってきたのが日本のキックの歴史だからね。タイには世界中からムエタイを学びに訪れる人が後をたたなくて、その人たちが自国へ持ち帰って普及させてると。

ささきぃ　世界のはじっこまでムエタイを学ぶ人がいるわけですよね。

橋本　それこそリトアニアの格闘家までね。それだけムエタイの技術っていうのは素晴らしいわけ。

☆ムエタイ王者と藤原敏男

ささきぃ　ムエタイ王者っていうのはタイ人以外にずっといなくて、その中で、外国人としてはじめてムエタイ王者になったのは、今月号で佐山サトル皇帝に尾行されている藤原敏男先生（※9）なんですよね。

橋本　そうそう。ムエタイにもいろんなローカルタイトルみたいなのはあるし、他の国で勝手にムエタイを名乗ってるところもある。だけど一般にムエタイのタイトルと言われているのが、「ラジャナムダン」と「ルンピニー」という常打ち会場（※10）2つが認定しているタイトル。で、ラジャナムダンのタイトルを、タイ人以外ではじめて獲ったのがライト級の藤原敏男であると。

ささきぃ　世界初である上に、ムエタイの歴史初ですからね。ホントにスゴイ。

橋本　なんで価値があるかっていうと、なかなか勝てないから。どんだけ外国人が来ても、タイ人は撃退してきた。その牙城を藤原先生が初めて崩したと。

ささきぃ　会ってると、ついそのスゴさを忘れそうになるんですけどね（笑）。タイ人の強さっ

ムエタイとは何か？　文中に登場した用語解説（文責＝ささきぃ）

※1 バンコクの中心にある通り＝バンコクの夜の大歓楽街、パッポン通りのことを指している。日本で言えば新宿・歌舞伎町や西川口、北海道・すすきのに当たるのだろうか。プロレス・格闘技業界で、北海道とタイを熱心に取材する記者が多くても、疑ってはいけない。

※2 それ「だけ」ではない＝橋本さん個人は、海賊版DVDを探したり、向こうでしか公開されていない映画を観たりと忙しいらしい。「あと、タイはアジアだからかわいい雑貨とかが多いんだよ」と、ギャルみたいなことも言っていた。

※3 山本元気がムエタイ王者と対戦＝7月24日、後楽園ホールで行われた全日本キック大会で、山本がタイ国プロムエタイ協会・フェザー級王者のゲーオ・フェアテックスと対戦。フェザー級の充実する全日本キックの中、絶対的な強さで王者に君臨している〝右の殺し屋〟山本が何もさせてもらえずに完敗する様は、全日本キックフェザー級1位の修行僧・前田尚紀、2位の山本真弘、3位石川直生らの活躍を見守る記者陣にとっても驚異だった。山本はこの試合で16針縫ったという。

※4 『TITANS』でラジャのタイトル＝左ページ大会情報参照。同日はライト級のほか、ノンタイトルマッチながらミドル級・ウェルターのラジャ王者も来日する、タイマニア垂涎の大会となっている。

※5 国崇がラジャ王者とやったり＝左ページ大会情報参照。国崇は7月24日NJKF後楽園大会で、見事な1RKO勝利。相手のタップナーは同日、不退転の覚悟で挑んだ押川君こと童子丸を1Rで沈めている。この日メインで桜井洋平に挑戦、あわやの場面を見せた山本雅美も、元ムエタイ四天王のランスワンと激突する。

※6 そもそもムエタイって言うのは何か＝ちょっとキレ気味に言われた。ささきぃは説明ついでに小林聡のDVDを見せ、プチ洗脳に成功。

※7 これは一体何なんだと＝シウバの所属するシュートボクセは、ムエタイで在る程度の実績を残すと総合格闘家への指導を始めるという方針があるため、所属選手はすべてムエタイのベースがある。シウバが入場時にヒザを立てて一周する仕草は、ムエタイのワイクー（試合前、自分のトレーナーに感謝を捧げ、神に勝利を願う踊り）の名残ではないかというのは、橋本さんが対談中に言った仮説。レミギウスは11歳からムエタイを学び始め、いまでは現役のリトアニアムエタイ王者。

※8 500年かな＝古代の相撲がタイではムエタイ、日本の大相撲、モンゴル相撲などに発展していき、その中でもタイの関わった戦争の中、徐々に発展していった徒手格闘の技術がムエタイの原型になっている模様。正確なスタートは不明だが、アユタヤ王朝時代にビルマ（※現ミャンマー）との闘いで囚人になった伝説のムエタイ戦士、ナヒ・カノム・トムがビルマ武術家12人を打ち負かしてタイへ帰った伝説が有名。キックボクシングは1966年、野口修が日本キックボクシング協会を創設したのが始まり。

※9 藤原敏男先生＝1978年3月18日、ラジャダムナンでモンサワン・ルークチェンマイに4RKO勝ちを果たし、ライト級王座を獲得。ムエタイ史上初の外国人王者となった。「四角いジャングル」の登場人物でもある。その勇姿は12月の「藤原祭り」で見られる。ラジャ王座を獲得した外国人選手は、藤原敏男、小笠原仁、武田幸三、ムラッド・サリの4人のみ。1983年引退。そリングスKOKですさまじいジャッジをしていた人。

※10 常打ち会場＝ルンピニースタジアムは1956年創設。陸軍が運営および経営を行っている。ラジャナムダンスタジアムは1945年創設、エアコンあり。ともに女子選手はリングに上がれない。

※11 ムエタイという競技の中で＝なぜミドルキックやヒジ、ヒザがポイントが高いかについては「パンチはボクシングがあるじゃん。ムエタイにしかないものって言ったら、蹴りだったりヒザだったりヒジだったり首相撲だから、文化として固有のもの、他の競技では見られない技術を使いこなしている選手を評価するってことじゃないかな」と、これまた橋本さんが対談中に発言。

※12 ノンタイトルではありましたけど＝1999年9月7日、全日本キック後楽園大会で、小林聡がラジャ現役ライト級王者のテーパリット・シットクォンイムと対戦。4RKOで勝利、場内はとんでもない熱狂に包まれた。この一戦はDVD「野良犬 小林聡伝説」に収録。小林聡は8月24日、ZERO1-MAXで村浜武洋とエキシビジョンで激突。「MAXのリングで小林聡と村浜武洋が激突」という発表が流れた。

※13 外国人力士＝相撲の歴史中、外国人横綱は曙、武蔵丸、朝青龍の3人のみ。

K-1だけを見てムエタイはつまらないとか、そんなことは俺が言わせないよ！（橋本）

ていうと、とにかくミドルが印象的ですよね。

橋本　ヒジとヒザ蹴りと、ミドルを中心としたケリが強いよね。なぜかっていうと、そういう技がムエタイではポイントが高いから。

ささきぃ　なるほど。判定へのポイントが高い攻撃だから、その技術が高く伸びているわけですね。知りませんでした。

橋本　K-1の逆だと思えばいいんじゃない？　K-1はパンチじゃない。

ささきぃ　K-1はパンチと前に出ることですよね。

橋本　ムエタイはミドルキックとかヒザとかをクリーンヒットさせるほうがポイントが高い。ヘタすると、パンチでボコボコにしてても、ミドルをきれいにヒットさせたほうが勝ったりする。それを見て「ムエタイは倒しあいじゃないからつまらない」とか、「ゲームじゃねぇかこんなの」とか言う人がいるんだけど、でもムエタイはいざ外国人と闘って倒しに来たらメチャ強いよ。倒すだけの強さを持ってる選手が、あえてポイントの取り合いをやってるって言ってもいい。もちろん選手によって個人差はあるけどね。

ささきぃ　なるほど。パンチも出来るし、他の技も出来るけど、あえてムエタイっていう競技の中でポイントを奪い合っていると。（※11）

橋本　ミドルキックって、腕でブロックしてるから効かないんじゃないかって言う人がいるけど、あれは腕を殺してるんだよ。腕を蹴れば、そのダメージでガードが下がるからハイキックが入るし、右のパンチが得意な相手を、左ミドルで殺せばパンチが出せなくなる。

ささきぃ　左ミドル左ミドルって何で言うのかと言えば、相手の右腕を殺せる意味があるわけですね。

橋本　なおかつ相手は前に出てこれなくなる。そういうことですよ。

☆賭けとムエタイについて

橋本　ムエタイに判定が多いっていう話についても大事なことを言えば、ムエタイは賭けとしての文化があるんだよね。

ささきぃ　エンタテイメントとして、試合だけを楽しむのとは違うと。

橋本　ラウンドごとに賭けていくから、1R2RでKOしちゃったらつまんない。例えばね、日本でギャンブルの代表である競馬でどういうレースがいいかと言うと、ゴールするまでまでどっちが勝つかわからない接戦が面白いんじゃん。

ささきぃ　そうですね。1頭だけものすごい差をつけて勝たれても、シラケますよね。

橋本　そうそう。最後の最後まで「どっちが勝つ？」ってスレスレの攻防を賭けて楽しむのがムエタイで、1RでもなんでもいいからドカーンっていうKOとか、技の迫力を楽しむのがK-1だったりキックだったりする。だから、いちがいにつまらないって言うわけじゃなくて、ムエタイ基準で見るとムエタイはめちゃくちゃ面白いってこと。



今もっとも有名なムエタイ戦士のひとりがブアカーオ。額につけているのが闘いのお守りであるモンコン、腕につけているのが災いから身を守ると言い伝えられているパープラチアッド。ともにムエタイ戦士の象徴だが、コヒや魔裟斗も付けている。魔裟斗の隣にいるのが、魔裟斗が絶対の信頼をおくタイ人トレーナー、ヌアトラニーだ

☆ライト級王者、26年ぶりの誕生なるか

橋本　タイ人ってアジア人だから、軽いほうが選手層は厚いんだよ。ライト級以下になると、もう本当に外国人が勝つのは厳しい。

ささきぃ　小林聡はノンタイトルではありましたけど（※12）、ライト級のチャンピオンに勝ったわけですよね。

橋本　師匠の藤原敏男が獲った階級だから、そういう意味でもドラマチックだったなぁ。

ささきぃ　そして次の『TITANS』で、藤原敏男以来、26年ぶりの日本人ライト級王者誕生となるかもしれないんですよね。獲ればホントにスゴイと。

橋本　ホントにすごい。日本に出稼ぎ感覚で来るタイ人もいるけど、トップクラスの強さとプライドはものすごいから。タイ人にとってのムエタイって、日本で言う相撲に近い感覚だろうね。外国人力士とかが珍しくない感覚はあっても、やっぱり日本人が勝たないとって思うじゃん。（※13）

ささきぃ　空手だって日本人に負けてほしくないですからねぇ。

橋本　そうそう。『PRIDE』なんて、GPの決勝大会に残れて良かったとか残れなくて残念とか言ってるレベルじゃん。でも極真は、無差別でやってたら2メートル級のロシア人とか出てくるのに、負けたら腹を切るっていう世界だからね（笑）。打撃系を語る上で、ムエタイと極真をみとかないのは、何かが欠けているとしか思えないね。

ささきぃ　私は両方見てないですね。

橋本　俺も最近は空手を見てないけど（笑）、映画ファンなら黒沢明くらい見ておけよ、みたいな感じだよ。ムエタイの強い奴ってすごいからね。本物を見ておけと。K-1だけ見てムエタイはつまらないとかは、言わせない。

ささきぃ　橋本宗洋が言わせないぞと。

橋本　そう。もっと他にも怒る人はいるだろうけど、まずは俺が言わせないよ（笑）。

【8月7日・ダブルクロスにて収録】

『TITANS 2nd』 東京・代々木第二体育館 8／22（月）開場・16:30 開始・17:30

［オープニングファイト］
・千葉歌織（伊原道場）vs 奥有紀子（トーエルジム）
・マサル（トーエルジム）vs 朴龍（市原ジム）
・中川タカシ（トーエルジム）vs 高修満（伊原道場）
・ラターシャ・マラゾラ（マスタートディー）vs 篠原光（チーム南部）
1.ポール・スワンソスキー（ファイブリングスドージョー）vs コー・ユン・サー（韓国）
2.内田ノボル（ビクトリージム）vs ネイサン“カーネッジ”コーベット（ファイブリングスドージョー）
3.【日本バンタム級タイトルマッチ】
加村健一（伊原道場）vs 蘇我英樹（市原ジム）
4.菊地剛介（伊原道場）vs クリス・ホワイト（オーストラリア）
5.ラムソンクラーム・スワンアハンザーウィー（タイ・ラジャナムダン・ミドル級王者）vs 後藤龍治（伊原道場）
6.シン・ノッパデッソーン（伊原道場）vs 新田明臣（バンゲリングベイ）
7.ガオグライ・ゲーンノラシン（タイ・伊原道場）vs 中迫剛（ZEBRA244）
8.【タイ・ラジャダムナンスタジアム認定ライト級タイトルマッチ】
ジャルンチャイ・ジョー・ラチャダコーン（タイ・同級王者）vs 石井宏樹（藤本ジム・日本ライト級王者）
1.【WKBA70kg級タイトルマッチ】
武田幸三（治政館）vs ジョン・ウェイン・パー（オーストラリア・ブンチュウジム）
問:TITANS事務局 03-3461-4300

『STACK OF ARMS』 東京・後楽園ホール 9/16（金）試合開始・18:30

［ミドル級/サドンデスマッチ］小松隆也（建武館）vs 白川裕規（S.V.G.）
［バンダム級/サドンデスマッチ］割澤誠（AJジム）vs 寺戸伸近（BOOCH BEAT）
［ライト級/サドンデスマッチ］島野智広（建武館）vs 山田健博（高橋道場）
［68kg契約/サドンデスマッチ］山本優弥（BOOCH BEAT）vs 阿部裕幸（AACC）
［メインイベント/国際戦］小林聡（藤原ジム）vs ヨーロッパ強豪選手
問:全日本キック 03-3365-1171

『IKUSAGP《-U60 SUPERSTAR☆Z》TOURNAMENT ~FINAL STAGE~』 東京・Zepp東京 9／19（月・祝）

［IKUSA GP準決勝第1試合3分3R］
及川知浩（シュートボクシングスーパーフェザー級王者/龍星塾）vs 山本真弘（全日本キックフェザー級2位/藤原ジム）
［IKUSA GP準決勝第1試合3分3R］KAWASAKI（REAL DEALライト級王者）vs 石川直生（全日本キックフェザー級3位/青春塾）
［IKUSA GP決勝第1試合3分3R］（及川vs山本の勝者）vs（KAWASAKI vs 石川の勝者）
［IKUSA GPリザーブマッチ 3分3R］TURBO（FUTURE TRIBEver.OJ）vs 大宮司進（シルバーウルフ）
［スーパーファイト 3分3R］城戸康裕（谷山ジム）vs 拳士（シルバーウルフ）
［スーパーファイト 3分3R］HAYATO（FUTURE＿TRIBE）vs 交渉中
［IKUSA-U50タイトルマッチ初代<戦女王>決定戦 /打撃ルール3分3R 50kg契約］渡辺久江（フリー）vs ジェットイズミ（クロスポイント吉祥寺）
問:IKUSA.net http://www.ikusa.net

『INFINITE CHALLENGE VIII ～無限の挑戦～』 東京・後楽園ホール 9/24（土）開場・16:45 開始・17:00

1.［ライト級 3分3R］峰川卓也（上州松井）vs 大和哲也（大和）
2.［68kg契約 3分3R］菊池宣顕（E.S.G.／ウェルター級）vs 岩崎　充（ARMS／ミドル級）
3.［ライト級 3分3R］浅瀬石真司（町田金子）vs 名和儒孝（キング）
4.［ミドル級 3分3R］守屋拓郎（町田金子）vs 山口治久（格闘道場G-1）
5.［ウェルター級 3分3R］森田泰男（PIT）vs 金　日柱（OGUNI）
6.［ライト級 3分3R］ガンバ黒田（OGUNI）vs ひでお（北流会君津）
7.［フェザー級 3分5R］勝光（PIT）vs 久保雄太（立川KBA）
8.［ライト級 3分5R］押炉花者（町田金子）vs 鈴木章浩（OGUNI）
9.［バンタム級 3分5R］佐藤英二（マイウェイ）vs 美保裕介（PIT）
10.［58kg契約 3分5R］中須賀芳徳（OGUNI）vs 高島義幸（習志野）
11.［セミファイナル 63kg契約 3分5R］山本雅美（北流会君津／NJKFライト級1位）vs ランスワン（タイ／元ムエタイ四冠王）
12.［ダブルメインイベント 67kg契約 3分5R］
笛吹丈太郎（大和／NJKFウェルター級王者）vs テーワリットノーイ（タイ／元ラジャダムナンSフェザー級王者）
13.［ダブルメインイベント 55kg契約 3分5R］
タップナー・シットロムサイ（タイ／WMC&ラジャダムナンSフライ級王者）vs 国崇（拳之会／NJKFバンタム級王者）
問:ニュージャパンキックボクシング連盟 043-202-1161

ネタバレ通信 Vol.26

ネタバレ情報密売団F・B・Iプレゼンツ

ブレット・ハート電撃契約とヘブナー解雇の因果関係は?

叙似位　〝ヒットマン〟ブレット・ハートがWWEと突然、契約をかわしましたね。

何時男　いきなりWWE公式HPにブレットとビンス・マクマホンが握手してる写真が載ってたんでビックリしましたよ！　合成写真かと思いました（笑）。

叙似位　ただ、この契約はあくまでもDVDを発売するという内容なんです。

何時男　リング復帰とか、そういうわけではないんですね。

叙似位　WCW時代にゴールドバーグとの試合で脳しんとうをやって、さらに自転車に乗ってるときに転倒して症状が悪化、左半身に麻痺が出てたらしいですけど、最近は日常生活に支障がないところまでは回復してるとか。

何時男　まあ、いずれにしても復帰は難しい状態なんですね。

叙似位　JRは、ブレットに来年のレッスルマニアで殿堂入りをしてくれないかと交渉してるみたいですけど。

何時男　ブレットは、映画『レスリング・ウィズ・シャドウズ』で描かれていたようにビンスやWWEとは最悪の別れ方をしてるし、弟のオーエン・ハートが不慮の事故で亡くなったときもWWEを痛烈に批判してましたよね。

叙似位　ことあるごとに『カルガリー・サン』という地元の新聞でWWE批判を繰り広げてましたから、まさかの電撃和解ですよ。ただ、僕は今回のブレット電撃和解の裏にはひとつの大きな転機があったんじゃないかなという仮説を立てたんです。

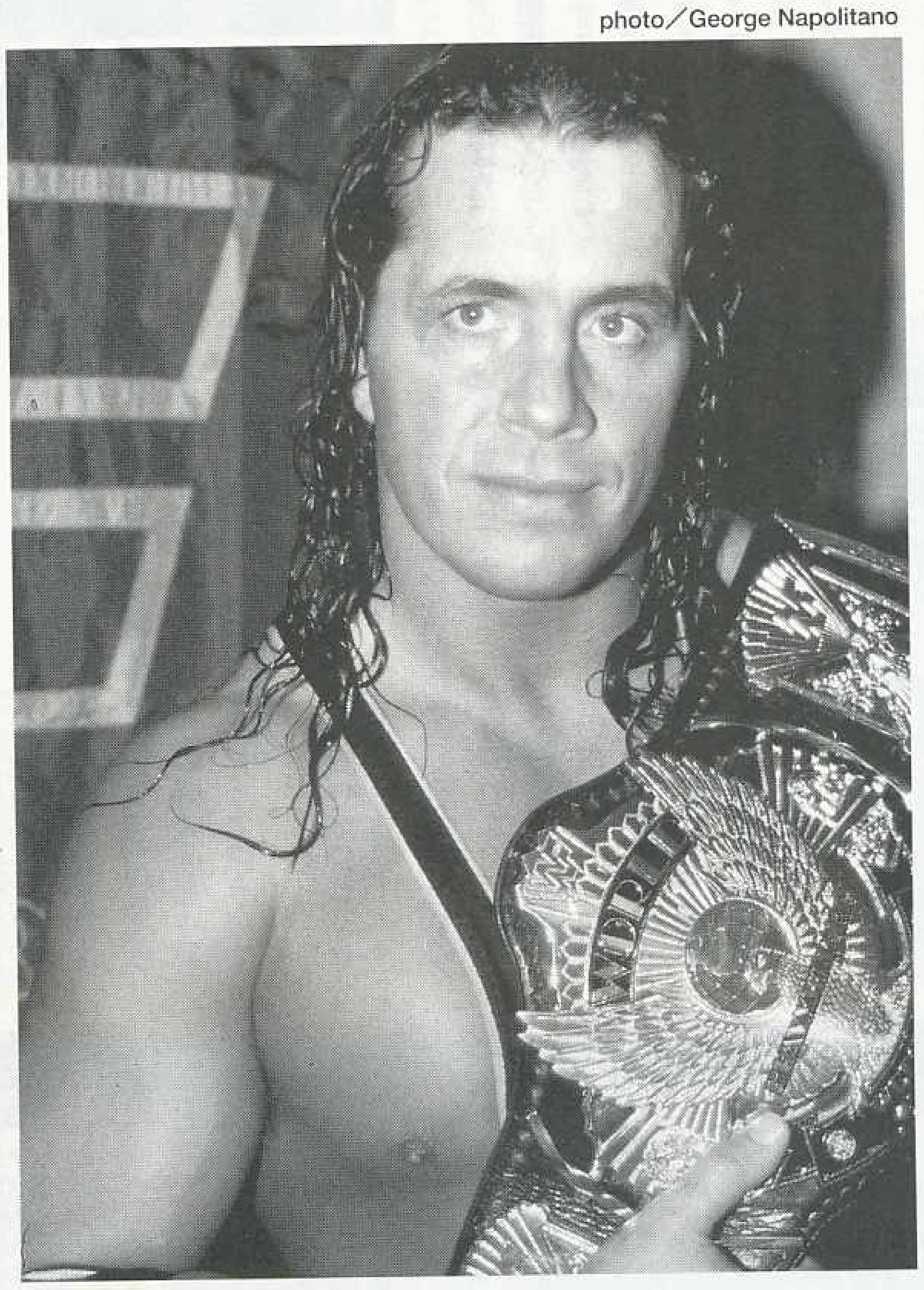
何時男　ほう。どんな仮説ですか?

叙似位　じつはブレットが復帰する2週間ぐらい前に、上級レフェリーのアール・ヘブナーと弟のデーブがクビを切られてるんですよね。団体に無断でオフィシャルグッズを販売していたから、というのが理由だったんですけど。

何時男　まあ、でも団体に最も貢献してたレフェリーじゃないですか?　登場するだけで歓声が起こる和田京平レフェリーみたいな存在だったのに（笑）。

叙似位　解雇するにも理由がなんか不自然ですよね。でも、思い出して下さい。97年11月の〝モントリオールの悲劇〟でレフェリーをやってたのがアール・ヘブナーなんですよ。

photo／George Napolitano



何時男　ああ、そういえば！

叙似位　ビンスの「RING THE BELL!」って指示でレフェリーとしてゴングを鳴らす指示を出して、次の瞬間にはダッシュでリングを降りてたのがヘブナーなんです。いまだにカナダに行くとヘブナーには「YOU SCREWED BRET!」ってチャントが起こるぐらいですから。ブレット自身も試合前は控室で普通に談笑してたヘブナーに裏切られたってことで怒ってたみたいです。

何時男　で、感情的にしこりがある邪魔者が消えたってことで交渉が進んだんですか?

叙似位　まあ、あくまでも僕の推測ですけど。

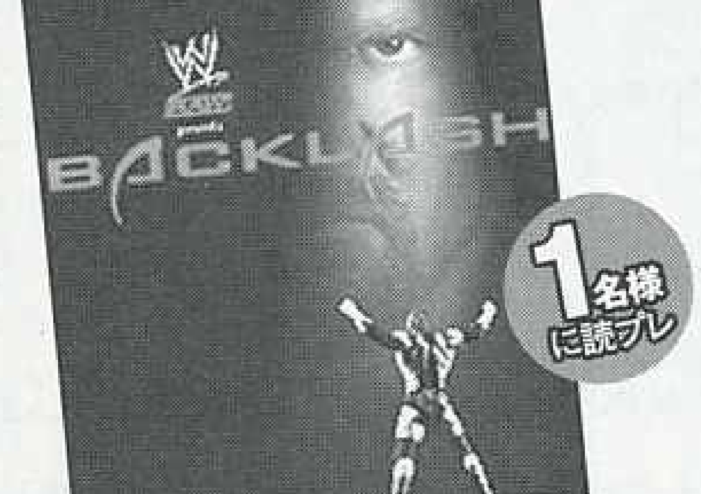
スキャンダルとプロレスはどこで手を結ぶのか?

何時男　この情報と同じで、いきなりWWE公式HP上で発表されたのが、ブロック・レズナーとの一

遺恨がついに決着だ!! 今月も新作DVDを1名様にプレゼント!

『レッスルマニア21』でトリプルHからベルトを奪ったバティスタが、復讐に燃えるトリプルHとのリターンマッチに挑む！　風格の出てきた王者バティスタは怒りの炎を燃やすトリプルHを退けることは出来るのか?　また、『レッスルマニア21』で〝マネー・イン・ザ・バンク〟を取ったエッジがクリス・ベノワと〝ラストマン・スタンディング〟戦で激突！　インターコンチネンタル王座をめぐってシェルトン・ベンジャミンがクリス・ベノワとハイレベルな攻防を繰り広げる。そして、何と言っても注目は殿堂入りを果たした〝ハルクスター〟ことハルク・ホーガンが〝HBK〟ショーン・マイケルズと組んで、モハメド・ハッサン&デバリを迎え撃つ夢のタッグ戦だ。80年代と90年代のWWE、というかアメリカンプロレスを象徴する両者が、いまもっともヒートを買う中東系ヒールと闘うのだから盛り上がらないわけがない。しかも、ここが複線となって『SUMMERSLAM』に繋がっていくので見逃しは当然、厳禁だ。

提供■ユークス



『バックラッシュ2005』（¥3990・税込み）191分収録。8月24日発売予定。

※このページのプレゼント応募方法はP159を参照!!

※今月は派乱暴が夏休みのため欠席になります。あしからず。

相変わらず激動のWWEにさらなる衝撃が走った。97年11月に発生した「モントリオールの悲劇」以来、疎遠になっていたブレット・ハートがWWEと契約をしたのだ。大量解雇した後には、続々と新戦力の投入も始まり、方向性が刻一刻と変わりつつある。さらに先月あたりから顕著になりつつある公式HPを使ったプロモ展開などにも鋭くメスを入れます！

■F.B.I.とは「踏み込んだところまで・バラしちゃって・いいかな？（いいとも！）」の略。何時男（なんじお）はプロレス業界の末端に潜伏中、叙似位（じょにー）は桁外れのパワーで圧倒的な情報量を誇り、派乱暴（ぱらんぼ）は裏方さんとしてWWEに携わる、WWEとアメリカンプロレスを愛してやまないズッコケ3人組だ。

連の交渉ですよ。いきなりレズナーが交渉にWWE本社を訪れた写真を掲載したり、そうかと思えば「交渉は決裂した」って発表したり（笑）。

叙似位　HPで情報を流してファンをミスリードしてかく乱する作戦ですよね。これはプロレス界でも初めてじゃないですか？

何時男　番組の中で行われているようなアングルがHP上でも展開されてるということですよね。

叙似位　まあ、レズナーとの交渉も決裂したと言っておきながら、結局『SUMMERSLAM』あたりで復帰するような気がするんですけど（笑）。その『SUMMERSLAM』ではハルク・ホーガンvs〝HBK〟ショーン・マイケルズ、ジョン・シナvsクリス・ジェリコ、JBLvsバティスタ、ユージーンvsカート・アングルの試合が決まりましたね。そして、今回最も注目しなければならないのはマット・ハーディーとエッジのシングルマッチですよ！　噂レベルでは両者大流血で引き分けになるんじゃないかと言われてます。

何時男　しかし、まあ、よくこの2人で試合を組みますよね。

叙似位　実生活での彼女だったリタをエッジに奪われて、怒り狂ったマットが暴言を吐きまくったことで解雇されたという、シュートな因縁ですからね。

何時男　彼女を奪ったヤツじゃなくて、奪われたヤツが解雇って（笑）。それは何度聞いてもホントにヒドい話ですよね。

叙似位　エッジとマットの商品価値を天秤にかけたんじゃないですか？　ただ、ファンもこの件には敏感に反応して、エッジとリタには客席から「YOU SCREWED MATT！」ってチャントが起こっていたんです。それで先月号でも話したような乱入劇があり、ビンスも『SUMMERSLAM』で両者の対決をアナウンスしたんです。

何時男　個人的な感情が思いっきり入るわけですよね？　プロレスとして、このカードがよく成立するなと感心します。日本のプロレスラーでは絶対にあり得ないでしょう。こないだも個人的な感情があふれ過ぎた試合が壊れちゃったし。

叙似位　長州力vs佐々木健介ですね。

何時男　WWEが本腰を入れてそういう試合を組んだらどうなるか、とても楽しみですよ。商品にならないようなものは絶対に提供しない団体だと思うので、非常に楽しみです。

叙似位　これこそ、まさに「スキャンダルをビジネスに結びつける」ってことでしょう。本来は日本のお家芸だったんですけど。

何時男　どうやって選手を口説いてるのか興味ありますね。お金だけじゃない何かがあるんだろうなぁ。

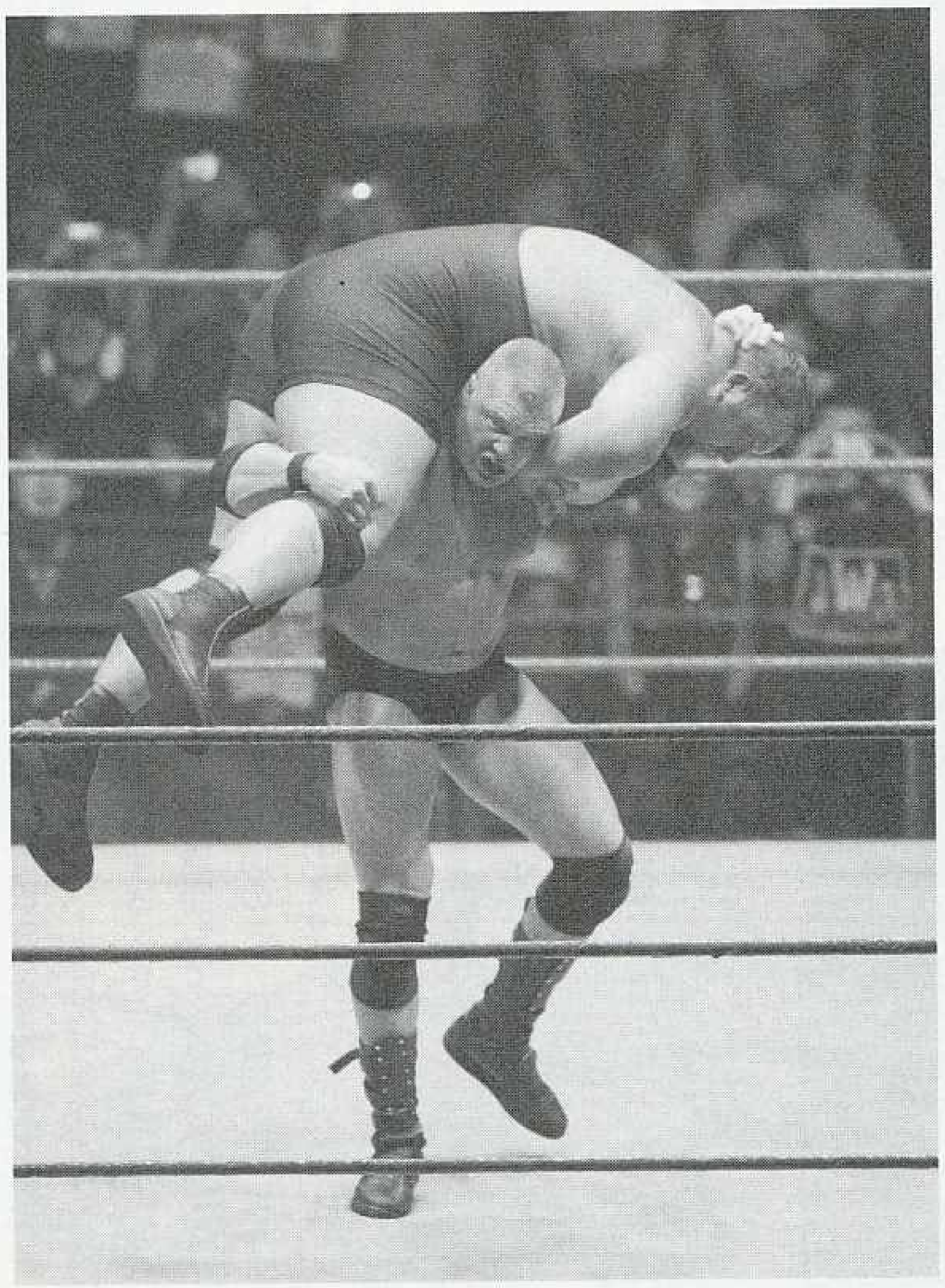
叙似位　こないだも元女子プロレスラーがAVに出演するスキャンダルがあったじゃないですか？

何時男　元チャイナのジョーニー・ローラーですか？

叙似位　ちがいますよ！（笑）。東城えみがリングで撮影して、それに対してJDや会場側が抗議してAVが発売中止になるんじゃないかと言われてますけど。あれだってビジネスにしなきゃダメですよね。どうせ抗議するんだったら、リング上で決着つけろって話ですよ。

何時男　まあ、でも元チャイナは現在に至るまで一度もWWEに復帰してないですけど（笑）。いまトリプルHと遺恨マッチなんかやったら大騒動になるでしょうね。

【05年8月某日、都内某所にて収録】



photo／George Napolitano

WWE公式ファンクラブは特典いっぱいでマニアも満足！

世界で唯一のWWEの公式ファンクラブであるWWEファンクラブはチケットの優先予約販売、オリジナルグッズの独占販売、オフィシャルサイトの会員限定ページへのアクセス、ファンイベントへの参加特典など、様々な特典がついてくる！

☆WWEファンクラブの会員特典

1. メンバーズカードの発行
2. 会報誌「RAW MAGAZINE」日本語版の発行（年6回隔月発行）
3. WWE来日時のチケット最優先予約受付（応募が予定枚数を上回った場合は抽選となる場合がある）
4. 会員限定のWWEグッズ販売
5. スーパースターズ来日時にファンクラブ会員を対象とするイベントの開催
6. メールマガジンの配信（携帯メール不可）

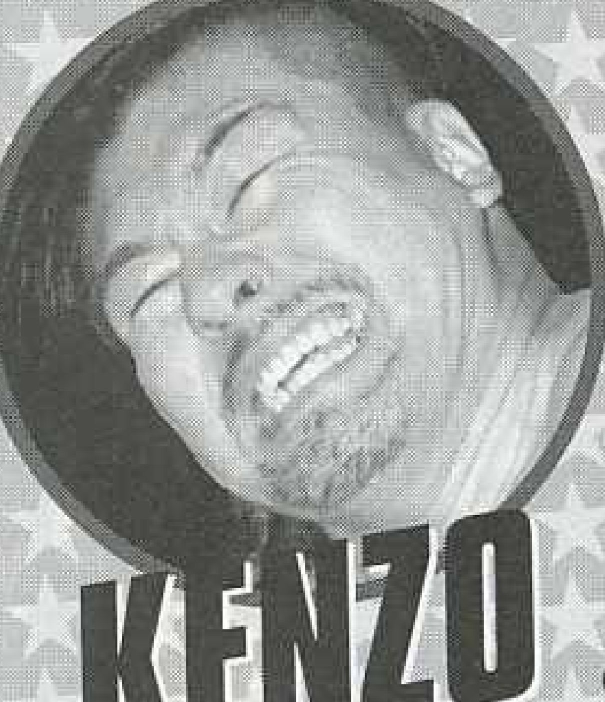
入会案内・手続き・お問い合わせはWWEファンクラブまで。
http://www.wwefanclub.ne.jp/

今回はWWEファンクラブ会報『RAW MAGAZINE』最新号（非売品）を5名様にプレゼント！

提供■WWEファンクラブ



※このページのプレゼント応募方法はP159を参照!!



KENZO

チーム鈴木の明るい未来

世界に羽ばたく夫婦コラム



HIROKO

この夏、鈴木健想&浩子夫妻は揃って日本に一時帰国する……はずだった。しかし、健想が予約したはずのチケットが取れておらず、浩子さんが先に単身帰国することに。というわけで、今回の「ケンゾー&ヒロコの明るい未来」は日本滞在中のヒロコさんに"これからのこと"そして"健想のこと"をテーマにうかがいました。

Q WWE大量のリリース劇から早くも1カ月。最近の2人の状況はどうですか。

ヒロコ ケンゾーさんも当初のショックから立ち直ってこれから先の活動を考え始めたみたいです。彼の本心ははっきりとはわからない。でも私自身は今回の出来事は、もしかしたらいいことかもしれないと考えてるんです。ケンゾーさんが日本を離れてアメリカに渡ったのは何も"WWEの鈴木健想"になりたかったからじゃない。ホーガンのように、アンダーテイカーのように、団体の看板がなくても独り立ちして生きていける本物のプロフェッショナルなレスラーになりたかったからだと思います。夢をあきらめずに苦難の時期を乗り越えてこそ大御所のレスラーになれるわけで、その最初の試練が彼にも巡ってきたということじゃないでしょうか。新日本プロレス～WWEと業界の一流企業で働いてきた人間だから、いまだ挫折を知らないのかもしれませんね。

Q ケンゾーに求めるものは何でしょうかね。

ヒロコ 経歴だって体つきだって彼は負けていない。でも、求めるものはケンゾーにしかない「商品力」なんじゃないかな。例えばタジリさんは誰と闘っても高いアベレージの試合を見せる。ケンゾーはまだ相手によって出来不出来が生まれる。それはタジリさんがWWEの前にメキシコとかプエルトリコとかヨーロッパとかを、言い方は悪いけどドサ回りを続けて世界中のレスリングとファンの反応を体験したからこそ持ち得た「商品力」だと思うんですね。だから、これから色んな体験を積むといい。わざわざアメリカに行ってまでサラリーマンレスラーを続ける必要はないんだから。これからの選択肢は3つあると思うんです。レスラーを続けるかどうか。日本で活動するべきか。海外で続けていくか。退団して3カ月はリングに上がれないので、その間に方針を決めるつもりです。

Q 他団体から参戦のオファーは？

ヒロコ 最初にヨーロッパの団体から届きました。いまイタリアとかイングランドでプロレスが盛んなんですよ。元WWEのレスラーもよくヨーロッパのリングに上がってます。ケンゾーさんも、やっぱり終身雇用の国で育った人。最初はひどく落ち込んでたし、リストラ＝クビだと感じていた。でも仕事のオファーをもらって自分の価値は潰れていないんだと気づいたようだし、他のレスラーはもう次の行動を始めているし。前向きに頭を切り換えたみたいですね。ようやくアメリカでの仕事のシステムを実感したというところじゃないかしら。現地の知り合いに、かつて大リーグの野球選手でその後、投資銀行の社長さんになった男性がいます。その方から、今回こう言われたんですね。「ヒロコ、しなくちゃいけないことが2つあるよ。ひとつめはこんなときだからこそ夫婦仲がいいこと。もうひとつはレスリングを絶対に辞めないこと」。私もそのアドバイスに同意しています。この前、タンパにあるヤンキースのファームの球場に野茂選手が来たんですよ。お世辞にも施設のいい球場とは言えないのに、グラウンドで黙々と練習していました。ファームに落ちたり、一軍で記録を出したり、いろんなことがありながら10年間もメジャーリーグで闘い続けてるんですよね。ファームだからとタカをくくらず、挑戦し続ける姿勢にはとても勇気づけられました。アメリカでは上がったり下がったりの波が多いのは当たり前なんです。実際にWWEのトップ選手の方々もそうやってスターの座に登り詰めている場合が多いんです。



アメリカで勝負するということはダイナミックな乱高下は常につきもの。（写真はケンゾーwithヒロコとレネ・デュプリがWWEタッグ王座を獲得したときのものだ）

Q 日本のマット界とアメリカのマット界。どんな違いを実感していますか。

ヒロコ 日本は言いたいことは言えるけど会社にはなかなか通らない国。そうだ、さっきケンゾーは挫折を知らないと言いましたが、本人曰く「WJは挫折の時期だった」そうです（笑）。あの頃も選手は色んなアイデアを会社にぶつけてました。でもみんな却下されてました。何でも会社に言えるんだけど何も採用されなかった。WWEはその正反対ですね。アメリカは思い切りは言えないけど、やりようによっては職場の関係性を変えることができる。私とトーリーが初めて闘ったときは、こんなふうに動いたらどうかと思って4コマの絵コンテを描いていきました。ステフが「詳しく教えて」と言うのでコンテを見せながら口頭でプレゼンをした。それが会場で受けた。すると次回からは私の試合に関しては、私のアイデアが通るようになりました。

※チーム鈴木に聞きたいこと、相談したいことがある方はドシドシと質問をお送り下さい。radical@kamipro.com「チーム鈴木への質問箱」まで。



日本全国を根こそぎ洗脳中!!

インリン様

愛と官能の大特集

2005年の日本プロレス界における、最も美しく、最も官能的な存在、インリン様が日本全国を席巻している。その突出した個性、そしてメディアへの露出度、貢献度から見ても、今や「実質上のハッスルのエース」と言っていいほどだ。そこで今回の『紙のプロレス』はまだ、デビュー1年7ヶ月のこの「脅威の新人」を様々な角度から大特集！これを読んだら、アナタも「ホントに洗脳されちゃうわよ〜！」

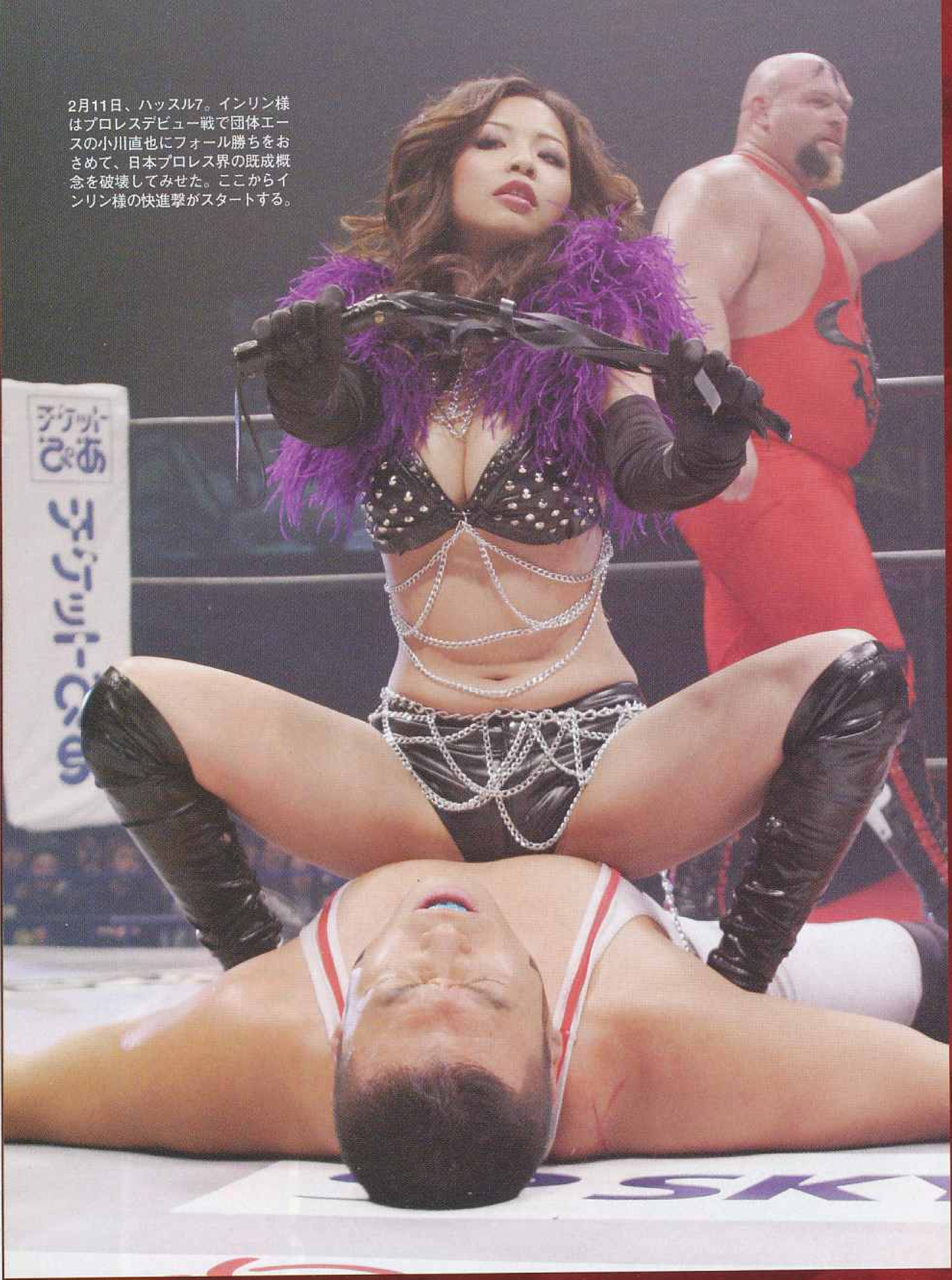
構成／真下義之　撮影／山口比佐夫

designed by matsu (TwoThree)

インリン様という奇跡



05年1月27日、インリン様プロレスデビュー記者会見より。すべてはここからはじまった。その後のインリン様の大活躍ぶりを考えると、「デビューからまだ7ヶ月間しか経っていない」という事実に驚かされる。髙田総統とのツーショットは大変貴重、というか実は、この日以降、実現してしない。



2月11日、ハッスル7。インリン様はプロレスデビュー戦で団体エースの小川直也にフォール勝ちをおさめて、日本プロレス界の既成概念を破壊してみせた。ここからインリン様の快進撃がスタートする。

「そんなに洗脳されたいのぉ?」

「ホントに洗脳しちゃうわよぉ?」

インリン様が甘い声でささやくとき、会場のボルテージはいっきに上がる。

熱にうなされたように観客は一斉に叫ぶ。

スリーッ!

ツーッ!

ワン!

モンスターッ!

今回のインリン様特集を組むにあたり、ハッキリさせておきたいことがある。インリン様とは何者なのか?ということだ。インリン様が登場するたびにスポーツ紙が大きく誌面を割く一方で、プロレス専門誌では話題の割には小さな扱いである。これはインリン様という現象を象徴しているように思う。つまり、インリン様の存在は従来のプロレス業界の価値観では計りきれないのだ。

そもそも今年2月にデビューするまで、インリン様にはプロレスラーとしてのキャリアは皆無だった。しかし、そのデビュー戦で小川直也をフォールし、5月にはEricaとのM字ビターンマッチを制し、7月には川田の回転エビ固めを芸術的なロープエスケープで逃れた。

わずか3試合でインリン様が試合をすること自体が事件となった。セクシーな肢体と華やかなコスチュームで観客を悩殺しつつ、しなやかに闘う姿はとても美しい。しゃべる言葉も誌面を大きく飾っているだけでなく、髙田総統に次いで大きな共感を観客に与えている。〝ハッスルのエースはインリン様だ!〟という声も挙がるほどだ。どんなプロレスラーよりも全身にスターのオーラがみなぎっている。

実際のところ、インリン様は自分より身体が大きいプロレスラーとのにらみ合いでも堂々と対等以上に渡り合い、下手なレスラーよりも存在感を発揮してしまう。プロレスラーと同じように試合の際には必要最低限の部分だけを隠して磨き抜かれた肉体を誇示。インリン様がいる場では、常にインリン様が際だっている。ただ、髙田総統の横にいるときだけは存在感を控えめになっているのも非常に奥ゆかしい。インリン様はいつだって自分の魅力に自覚的だ。

試合であってもインリン様の存在感は抜群だ。「ムチは身体の一部」という普通に考えればムチャな論理を強引なネゴシエーションで認めさせ、試合では全力で激しいムチを打つ。男勝りに攻めるときとは対照的に、相手に担ぎ上げられたときのインリン様は女らしさが顔をのぞかせる。「なにをするの～!?」「下ろしなさい!」と足をバタバタさせてキュートに絶叫しているのがリングサイドの観客やPPVの映像ならわかるはずだ。そしてM字固めをはじめとするオリジナル必殺技で対戦相手と観客をメロメロにしたかと思えば、プロレスキャリア23年の〝ハッスルK〟川田利明が放った渾身の回転エビ固めを一瞬にして無力化する芸術的なロープエスケープで切り返すという神がかった技を突然、披露して度肝を抜く。

このように、インリン様はどんな勝負にも、常に紙一重の差で勝ってきた。インリン様の存在すべてがハッスルでは光り輝いて見える。笹原GMが土下座してインリン様に大会出場を頼み込んだのも無理はない……というかその気持ちが痛いほどよくわかる。「しょせん女だろ」「プロレスなんてできるわけがない」という声は本当に無意味だ。

また、絡んだ相手を光らせることにおいてもインリン様は非常に希有な才能を発揮する。小川の〝チキンぶり〟、川田の〝無骨さ〟、石狩の〝変態性〟、島田二等兵とアン・ジョー司令長官の〝コミカルさ〟、Ericaの〝乙女っぷり〟、笹原GMの〝スケベっぷり〟、そして髙田総統の〝高貴さ〟。インリン様を触媒にすることであらゆるキャラクターが輝きを増す。相手との関係性、観客という第三者の目、そして自分の立ち振る舞いが完璧であるからこそ可能な高等技術だ。そんなプロレスラーは何人もいない。

アメリカンプロレスでは伝統的にマネージャーという存在が、レスラーと共に観客をヒートさせる役割を担ってきたという歴史がある。それが独立した存在として観客の目を釘付けにし始めたのがDIVAだ。そのDIVAの先に、インリン様という新しい価値観は誕生した。この唯一無二の奇跡的な才能を見ることが出来る私たちは、本当に幸福だ。

（坂井ノブ）

インリン様大図鑑

愛と官能の「リビングレジェンド」を徹底大解剖！

高田モンスター軍ナンバー2であり、高田アマゾネス軍リーダーである、愛と官能の使者、インリン様。他者を圧倒する巨大な存在感と、度肝を抜くセクシーな衣装、いまだ秘められた必殺技と能力の数々。そんな、インリン様のすべてを大解剖！



インリン様 脳

哲学と思想が詰まったインリン様の脳です。試合中や危機的な場面においても、常にクールに状況分析します。また一度、官能モードにスイッチするとセクシー度は通常時の200％アップ。スケベでもてない下々の諸君は、立ち振る舞いだけで瞬殺されてしまいます。

インリン様 眼

真夜中でも数10キロ先まで、見通せる圧倒的な視力を持つインリン様の眼です。また、ハッスル軍や笹原GM、下々の諸君の下心もお見通しなので、見つめるだけで夢心地にさせる簡易洗脳も得意技のひとつです。

インリン様 腕

一見、しなやかで、きゃしゃな腕に見えますが、ムチを操るときの破壊力は1トン級と言われています。ムチを使っての絞め技「M字クラッチ」はインリン様代表的殺人技のひとつ。またヒジをつかっての究極殺人技「Mボー」の存在も噂されています。

インリン様 ブラ

高田総統のビターンによって、その都度、露出度が毎回アップ。ハッスル軍と観客を幻惑し、精神的ダメージを与えます。特殊新素材によるビターン波動エネルギー（1秒間に約29万 9 千回という振動数）によって完璧な悩殺バストを守ります。

インリン様 パンツ

ラグジュアリー感漂う色気と品格をかもし出すインリン様の戦闘服です。必殺、「M字ビターン」の洗脳源となる、インリン様の官能の中心部を、最新鋭の耐火防熱構造で徹底的にガード。激しい戦闘時にも身体にフィットするエレガントな最高級仕様です。

インリン様 足

人類レベルを超越した完璧な造形を誇る、インリン様の魅惑的な足です。その一方、必殺の「M字ビターン」を支える全身の支柱でもあり、100メートル走を9.77秒で走り抜けるアフリカカモシカばりの強靭なモンスター脚力も備え合わせています。

インリン様 ムチ

高貴なインリン様にふさわしい魅惑的なフォルムの特注ムチです。一撃で相手をノックアウト可能な衝撃力を秘めています。ハッスルでは凶器でなく、インリン様の“身体の一部”として公式に認定。ピンチ時には、ロープにとんでの芸術的ロープエスケープも可能です。

インリン様 ブーツ

インリン様の魅惑的な足下を支える土台である、ハイヒールブーツは特注のモンスターエナメル仕様です。女性騎士を思わせる攻撃的なフォルム、大谷晋二郎への逆顔面ウオッシュの効果なのか？「踏まれたい」と熱望する、下々の諸君が急増中です。



愛と官能に満ちあふれた

インリン様語録を読め!

今年、1月に登場して以来、数々の名言やシュート発言でハッスル軍やファンの度肝を抜いてきた、インリン様。その官能と魅惑の語録をここに一挙、誌上再録! これを読んだら、君も「洗脳されちゃうわよ!」。



「これからはワタシのことを、インリン様とお呼び!」

05年1月に行われたインリン様のプロレスデビュー会見には一般紙やテレビ局も殺到! インリン様は髙田総統直々の紹介で登場し「マスコミの諸君、これからはワタシのことを、インリン様とお呼び!」と一方的に通達。2月11日のハッスル7で小川直也との対決も発表、「ワタシはチキンのように、分かりにくいカッコ悪い技は使わないわ。みーんな、ワタシの美しい技に洗脳され、悩殺されるはずよ」と必勝宣言した。

【2005年1月27日／インリン様プロレスデビュー会見にて】

「このチキン!チキン!」

同じく、インリン様のプロレス会見にて、島田参謀長（当時）の持つ、小川の似顔絵入りのミットに向かって、気持ちの入ったムチさばきを披露しつつ、叫んだセリフ。ロー、ミドル、ハイをうち分ける変幻自在のムチ攻撃を見せた。

【2005年1月27日／インリン様プロレスデビュー会見にて】

「アナタのボディには哲学と思想がないのよ!」

インリン様がハッスルのリング上に初登場。リング上では小川直也と対峙して「その品のないボディは何なの! 締まりのないボディ、センスのない角刈り……全くセクシーじゃない」「セクシーには哲学と思想が必要なの。アナタのボディには哲学と思想がないのよ!」と罵倒した。

【2005年2月9日／ハッスル・ハウス vol.5 私をインリン様とお呼び!にて】

「本当にセクシーな男というのは、ふんどし姿でも見られる男のことをいうのよ!」

同じく後楽園大会からインリン様の発言に対して「このモミアゲにはな、思想と哲学がタップリ詰まってんだよ!」と凄む小川に対して、インリン様がこのひとことを発し、バルコニーに髙田総統を呼び込んだ。

【2005年2月9日／ハッスル・ハウス vol.5 私をインリン様とお呼び!にて】

「私が髙田モンスター軍ナンバー2のインリン様だ・が・や」

ハッスル7、名古屋大会の開始前、ビジョンに登場したインリン様がなんと名古屋弁でご挨拶。「私のことはインリン様と呼ばななあかんでー」と続けたあと、「無理だわ! この私に下品な言葉は喋れないわ。ナナちゃん人形の前で待ち合わせて、マウンテンのスパゲティを食べるなんて、名古屋人の真似は無理よ!」とすぐに前言撤回、毒をまき散らしてみせた。

【2005年2月11日／ハッスル7にて】

「私と髙田総統は、ひと言ではとても表すことができない崇高かつ重厚な関係」

WEBページの「スポーツナビ」の独占インタビューの中で、髙田総統との本当の関係を質問されたインリン様は「単なる主従関係ではないわ。無論、下々の諸君が想像するような下世話な関係でもありませんわ」と冷静に返答しつつ、「私と髙田総統は、ひと言ではとても表すことができない崇高かつ重厚な関係、そして鉄の結びつきを誇るのよ」と意味深な言葉をつけ加えた。

【2005年3月14日／『スポーツナビ』独占インタビューより】

「すべての道はM字に通ず!」

ハッスル8で、インリン様が提案した企画「M字ビターンコンテスト」を前に、インリン様が髙田総統に趣旨を説明。「アマゾネス軍に入るためには、強さ・美貌・そして鉄のような冷たさが必要なんです」と話すと、髙田総統は「一つ忘れ物がある。それは股関節の柔らかさだ!」と助言。インリン様は「すべての道はM字に通ず」と静かに応えた。

【2005年3月18日／ハッスル8にて】

「正直に言うわ。……怖いのよ!」

ハッスル8で因縁が生まれたEricaとハッスル9で勝負するインリン様が公式コメント。各種デスマッチを要求するEricaに、「どんなデスマッチであろうと受けてたってあげたいのはヤマヤマよ。でも、正直に言うわ。……怖いのよ!」と弱気な一面かと思いきや「あなたの醜くて思想も哲学もないボディにタッチすることが怖いの。指一本触れたくないのよ!」と高圧的に突き放し「つまり、私とあなたが闘うのは、M字ビターンマッチしかありえないの」と要求を押し通した。

【2005年5月8日／ハッスルオフィシャルサイトのコメントより】

「そんなに洗脳されたいの?」

ハッスル9にて、Ericaを破ったインリン様が、観客に対し「下々の諸君。このまま帰ってもいいのかしら?」とアピール。大歓声に応えて「観たいの? 観たら洗脳されちゃうわよ! そんなに洗脳されたいの?」とマイクすると場内は大歓声。「3、2、1、モンスター!」とM字ビターンを決めた瞬間、インリン様はチャイナ服のスカートの部分を取って大サービスした。

【2005年5月10日／ハッスル9にて】

「髙田総統はチークダンスがお好きで、イタズラ好きなのよ」

ハッスル9終了後、髙田総統から「インリン様が股関節を負傷した」と連絡を受け、笹原GMがハッスルハウス札幌大会の欠場をアナウンス、そこに元気な姿のインリン様が登場し、「特別に教えてあげるけど、髙田総統はチークダンスがお好きで、イタズラ好きなのよ。総統のイタズラに騙されてるようでは、まだまだうぶね」と総統の連絡がジョークだったことを示唆、やや意味深な発言で笹原GMをあざ笑った。

【2005年5月12日／東京・DSE ハッスル・ハウス vol.7&vol.8の記者会見にて】

「今度の試合は、私の“インラン試合”よ」

同じくハッスル・ハウス vol.7&vol.8の会見より、札幌の試合に関してインリン様は「インリン様がご覧になる試合」略して「インラン試合」という弩級のネーミングを提案。笹原GMに「チキンや引きこもりの試合を目の前でタップリ見せてもらうわ」と言い放ち、会見場をあとにした。

【2005年5月12日／東京・DSE ハッスル・ハウス vol.7&vol.8の記者会見にて】

「お元気ですかーっ!」「元気があればM字も出来る!」

ハッスル・ハウス vol.8の会場に、何とアントニオ猪木の“炎のファイター”のテーマで入場したインリン様。リングインして開口一番「お元気ですかーっ!」絶叫、「元気があればM字も出来る」と猪木の定番セリフをもじって、会場を涌かせてみせた。

【2005年5月15日／ハッスル・ハウス vol.8にて】

「そんなに私と試合がしたいのかしら?」

新潟、札幌大会でインリン様からブーツやムチ打ち刑の屈辱を受けたハッスルKの「インリンごときにやられて黙っていられるか」という発言に対し「そんなに私と試合がしたいのかしら? そんなに私のM字ビターンを受けたいの?」と逆挑発。「私を侮辱した代償は高くつくわよ。あの目障りな黄色い男を虫ケラのように踏み潰してやるわ」と直接対決を示唆した。

【2005年5月26日／ハッスルオフィシャルサイトのコメントより】

「私のうちに遊びに来てもいいわよ。普段忙しいGMを癒してあ・げ・る」

記者会見に乱入し、「今すぐ私と引きこもり（川田）のM字ビターンマッチを正式に決定しなさい」と笹原GMに詰め寄るインリン様。優柔不断な笹原GMの体をやさしくムチでなぞりつつ「もし正式決定してくれたら、私のうちに遊びに来てもいいわよ。普段忙しいGMを癒してあ・げ・る」と衝撃の殺し文句が炸裂! 態度を一変した笹原GMは「分かりました!」とインリン様×川田利明のM字ビターンマッチを電撃決定した。（後に試合形式は変更）。

【2005年6月6日／東京・DSE 新ハッスルドリンク発売決定記者会見より】

「嬉しかったら、『ありがとうございます、インリン様』と言いなさい」

ハッスル10、福岡大会で「試合に負けたら、M字ビターンマッチ」という条件の試合に破れた川田。インリン様は「これで大阪はM字ビターンマッチに決定ね」と川田をののしりつつも「でも、あなたの望みどおり、プロレスで勝負してあげるわ」と前言撤回。「嬉しかったら、『ありがとうございます、インリン様』と言いなさい」とお礼を要求。だが、川田は「ありがとう」と素直に返答。結局、3vs2のハンディキャップマッチに落ち着いた。

【2005年7月13日／ハッスル10にて】

「私のMラルドフロウジョンで、あの辛気臭い顔を華やかに変えてあげるわ」

ハッスル11の大阪大会の前日、髙田総統がプロデュースする「モンゴリアンチョップ」（大阪・難波店）の店先で、アン・ジョー司令長官、島田二等兵とともに、対川田戦への必殺技「Mラルドフロウジョン」の存在をにおわせた。その他にも「Mボー」「Mボマ」などの殺人技も習得済みであることも関係者の口から明かされた。

【2005年7月14日／大阪・モンゴリアンチョップにて】

「私が勝ったら“おねだりしたいこと”があるんです」

ハッスル10大阪大会、川田との試合前、髙田総統に「最小限の接触で勝ってみせますわ」と自信満々で勝利を約束したインリン様。さらに「もし私が勝ったら“おねだりしたいこと”があるんです」と髙田総統に秘密めいた言葉を送った。これには髙田総統も「いいだろう」と気持ちよく即答。だが、ノーコンテスト判定となったため、おねだりの内容は未だに不明だ。

【2005年7月13日／ハッスル10にて】

「私は(プロレス)新人賞当確だと思っているけど、違うのかしら」

東京スポーツ紙のインタビュー中、「東スポ制定プロレス大賞」での新人賞の話題に関して「私は新人賞当確だと思っているけど、違うのかしら」と発言。さらには「プロレス大賞は髙田総統に決まっているわよね?」と詰め寄り、「昨年あれだけ大活躍して荒れ果てたプロレス界に救世主として降臨した髙田総統が、ノミネートされなかった賞なんて権威も何もあったもんじゃないけど」と苦言しつつも「私の美しさ、強さ、スキル、素晴らしさを正当に評価して頂けるのなら、喜んで受賞することもやぶさかではないわ」と度量の大きさを示した。

【2005年8月10日／『東京スポーツ』インタビューより】

インリン様「愛と洗脳の日々」フォトアルバム【記者会見編】



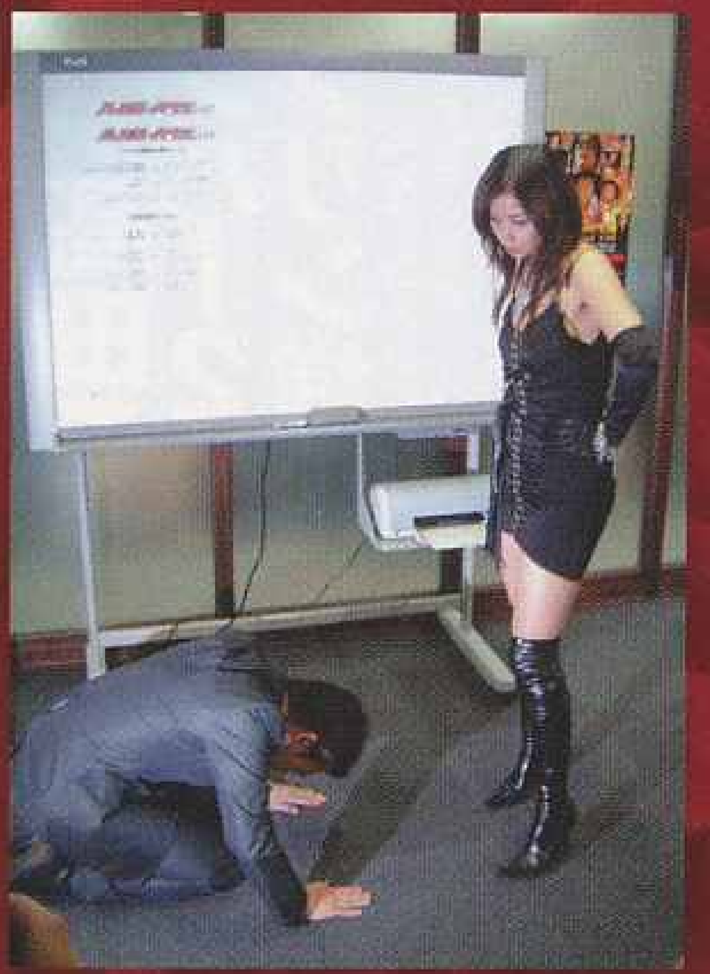


1月27日、都内でのインリン様プロレスデビュー会見。一般マスコミ、テレビ局の取材も殺到。小川の似顔絵を張ったミットに、ムチの腕前を披露する場面も。



笹原GMの耳元で、川田とのM字ビターンマッチを要求するインリン様。6月6日、新ハッスルドリンク発売決定記者会見にて。

2005年1月末のプロレスデビュー記者会見から、わずか7ヶ月間。髙田モンスター軍ナンバー2である、インリン様という巨大な個性は日本プロレス界を席巻し、従来のプロレス価値観を根こそぎ破壊している。そんなインリン様が歩んだ「愛と洗脳の日々」をどこよりもはやくプレイバック！



必死の土下座外交でインリン様の札幌大会来場を懇願する笹原GM。5月12日、ハッスルvol.7＆Vol.8の記者会見にて。



川田の代わりにM字ビターンマッチに名乗り出た石狩は、返り討ちにあい踏みつけられたまま記念撮影。6月6日、DSE事務所にて。



インリン様の提案で髙田アマゾネス軍団入団M字ビターンコンテストの開催をアナウンス。3月6日、DSE事務所にて。



世界最強虫王決定戦シリーズ「カブト王vsクワガタ王～誇り高き戦士達～」DVD発売記者会見に出演した川田に、M字ビターンマッチでの対戦を要求したインリン様。6月3日、都内・ホテルにて。



ハッスル11の前日、川田戦必勝を宣言したインリン様、アン・ジョー司令官、島田二等兵の面々。7月24日、「モンゴリアンチョップ」（難波店）にて。



『ハッスルMAGAZINE vol.1』（エンターブレイン）発売記者会見に乱入したインリン様とEricaが激突、新潟大会でのM字ビターンマッチが決定した。4月27日、都内ホテルにて。



緊急大検証!!

奇跡か？ 必然か？ インリン様の「芸術的ロープエスケープ」を読み解け！



1.観客に必殺のM字固めをアピールするインリン様



2.強烈なM字を披露して、試合終了かと思いきや……



3.川田が一瞬の丸め込み。投げ出されたムチの行方に注目。



4.なんとムチがロープにからみついた! 君は信じられるか?



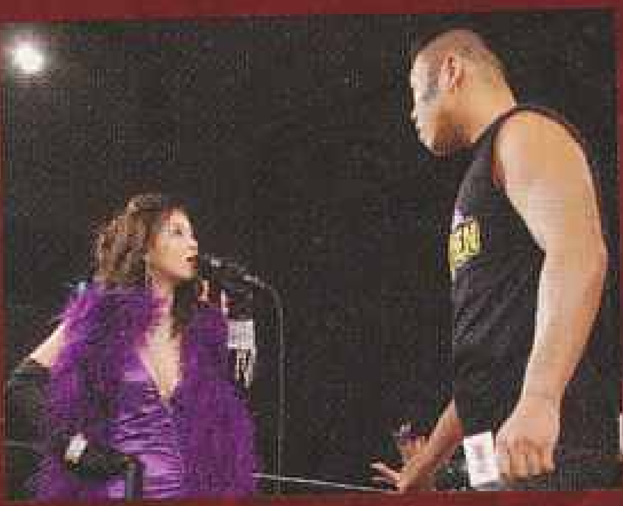
5.「確かにかかっている……」。神懸かり的ロープエスケープに言葉を失う川田と小川。

実際に、実験してみました！

7月15日、ハッスル11のメインイベント。そこで奇跡は起こった……。笹原GMがインリン様の鞭を“身体の一部”と認めてスタートしたこの試合。試合終盤、インリン様のM字固めを川田利明が一瞬の回転エビ固めで逆転し、3カウントを奪取。だが、そのド直前にインリン様の“身体の一部”であるムチが投げ飛ばされ、トップロープにからみついていたのだ！ 結果的にこの芸術的なロープエスケープが認められ、没収試合に。後日、この様子をビデオで再確認したものは戦慄を覚えたに違いない。テレビカメラはインリン様が投げたムチが、まっしぐらにトップロープに向かって飛び、からみついた瞬間を確実に記録していたのだ！ これは奇跡か、偶然か？ それとも狙ってできることなのか？『紙のプロレス』編集部は急遽、同じ条件による実験を決行した。

インリン様「愛と洗脳の日々」フォトアルバム

【試合会場編】



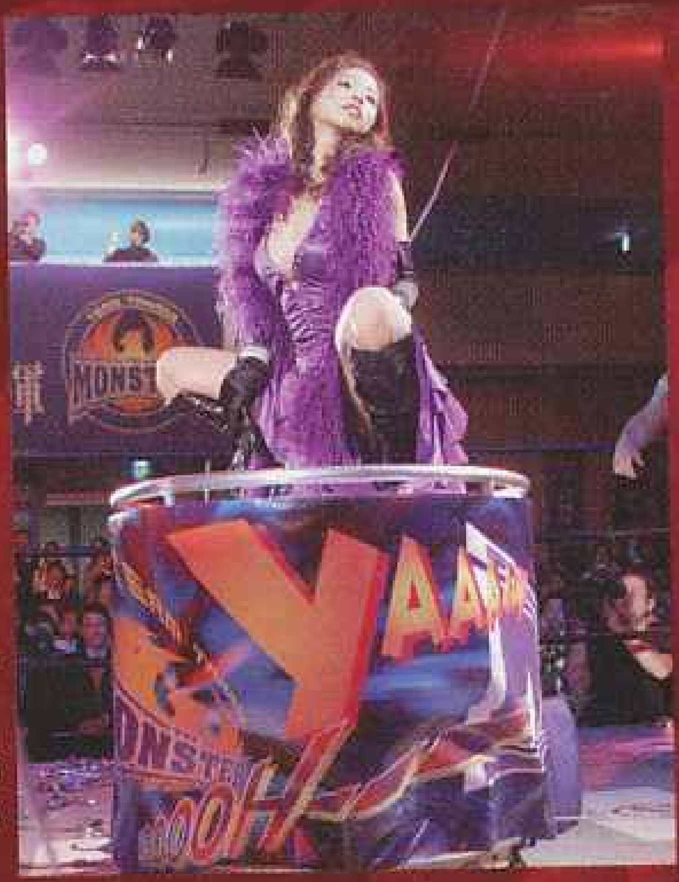
キャプテン・ハッスル、小川直也と初遭遇したインリン様。2月9日、ハッスル・ハウスvol.5より。



後楽園ホールのバルコニーから下々の諸君に挨拶するインリン様。会場での初登場シーン。2月9日、ハッスル・ハウスvol.5より。



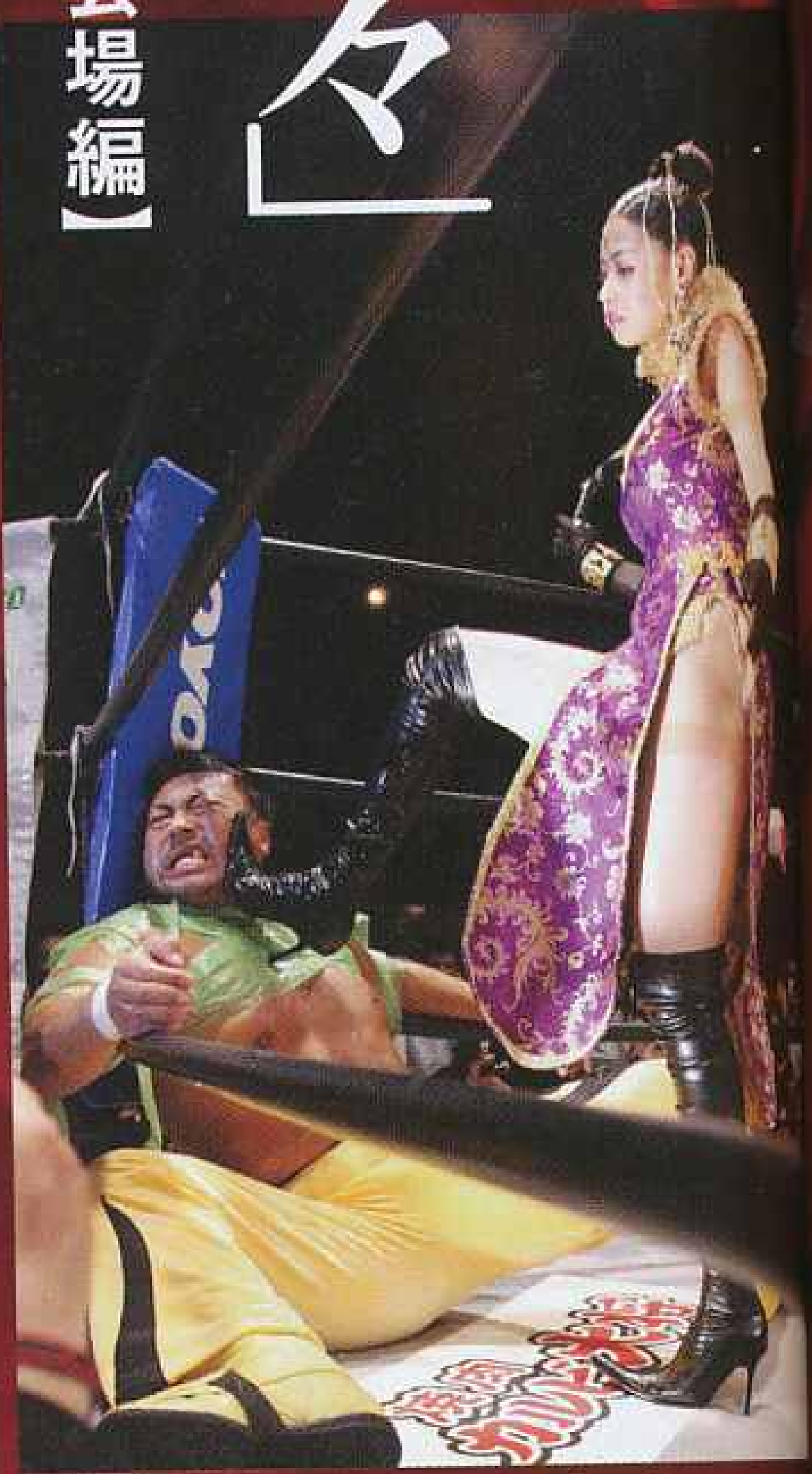
興行のエンディングで、髙田総統の側に寄り添うインリン様の姿。2人の崇高で重厚な関係とは? 7月15日、ハッスル11より。



インリン様が、はじめてM字ビターンを披露した瞬間がコレ。バルコニーの髙田総統もご満悦だ。2月9日、ハッスル・ハウスvol.5より。



インリン様の命名による「イン覧試合（＝インリン様がご覧になる試合）」が実現。リング下からFUJIN、RAIJINの勝利を見届け、ご満悦。5月15日、ハッスル・ハウス vol.8より。



5月10日 ハッスル9の全試合終了後、インリン様は身動きのとれない川田をヒールで踏みにじって挑発。両者の因縁はここから勃発。

インリン様の全試合成績を怒濤のPLAY BACK!

インリン様はデビュー以来、全3試合を行い、2勝1没収試合と絶賛快進撃中。プロレス大賞新人賞も当確マークの活躍ぶりだ。そんなインリン様の戦績を振り返ってみよう。

ハッスル7 ［2月11日／愛知県体育館］

◯インリン様、D・ボビッシュ、アリシンZ

［12分34秒／M字固め］

中村カントク、Hikaru、小川直也×

インリン様のプロレスデビュー戦は、いきなり小川直也と真っ向勝負！ 「チキン!」と連呼しながらのムチ攻撃、M字キャメルクラッチで大攻勢、最後はモンスター軍の加勢を受けて、M字固めで小川を完全フォール。



ハッスル9 ［5月10日／新潟市体育館］

◯インリン様 ［1Rジャッジ 判定 2-1］ Erica×

ハッスル初のM字ビターンマッチが実施。1R制、1回転、審判員3人のマストシステム判定で勝敗が決定。Ericaのお立ち台が回転しない事故も問題にされず、インリン様は悠然と2-1の判定勝利を飾った。



ハッスル11 ［7月15日／大阪府立体育会館］

△インリン様、FUJIN、RAIJIN

［6分3秒／没収試合］

大谷晋二郎、川田利明△

笹原GMがインリン様のムチを“身体の一部と認め”て試合開始。インリン様は川田に担ぎ上げられるピンチを脱出。ムチを使った絞め技で川田を悶絶させる。最後は必勝のM字固めを川田に丸め込まれフォールされるも、ムチでの「ロープブレイク」が認められ没収試合に（詳細はP134下段参照）。

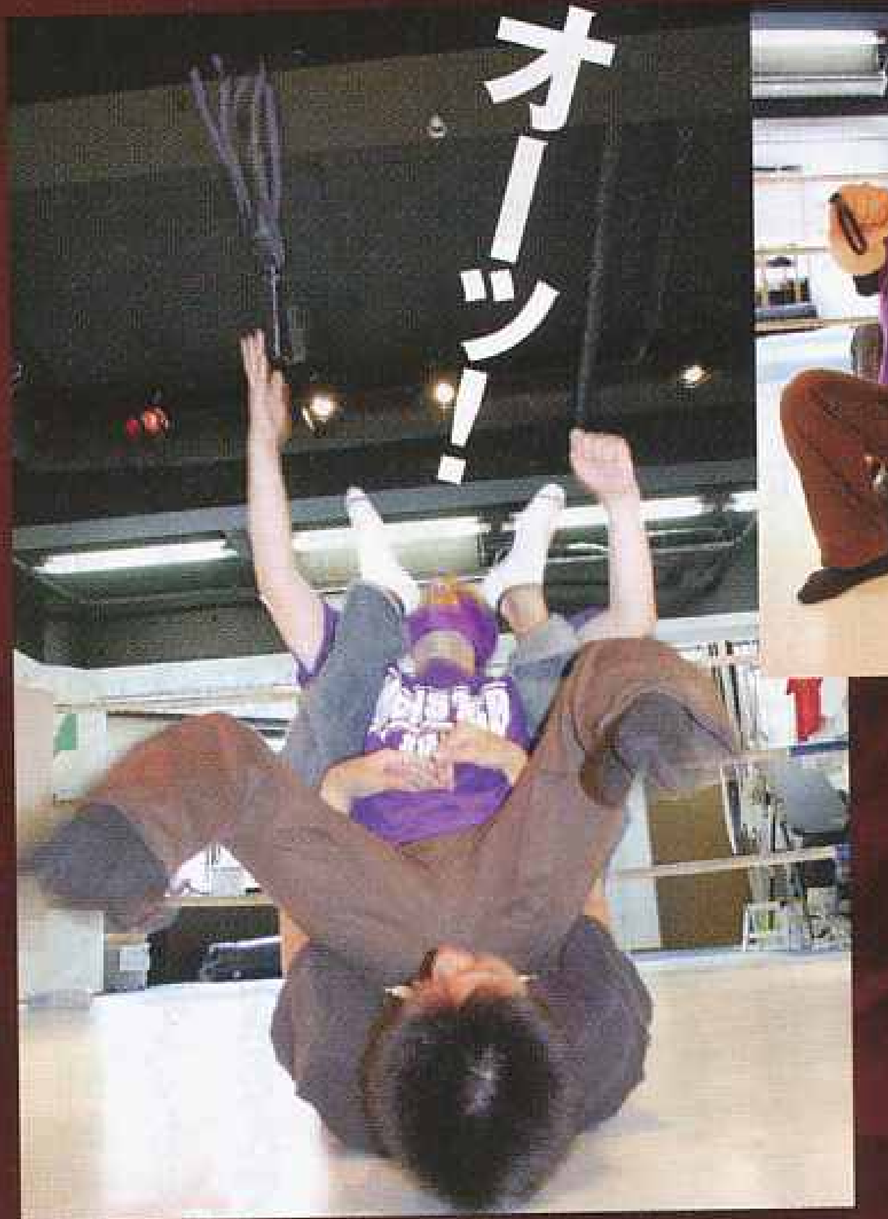


校了ド直前の8月10日、編集部有志3名は、DSE関係者の協力で“インリン様の使用するものと同タイプ”のムチを準備。また格闘家・藪下めぐみさんの協力で、SOD女子格闘技道場のリングをお借りし（ロープのサイズはプロレスのリングと同一）、同じ条件下で、「本当にムチはかかるのか？」の実験を敢行した。M字固めから回転エビ固め、という動作も踏まえた上で、ロープに向かってムチを投げ続けるインリン様役の編集者。投げる、投げる、また投げる! だが、一向にムチはロープにはかからない! 20回を過ぎたころ、頭を打ちすぎて肩の力が抜けたのか? ようやく一度だけサードロープにムチがひっかかる。思わず歓声をあげる一同。だが、その後もムチはかからない。結局50回チャレンジして「ロープにかかった」のはわずかに2回だけ! 確率はざっと1/25。しかもプレッシャーの押しかかるメインのリングで、こんな芸当が本当に可能なのか? 無理だ! 常人に狙ってできる訳はない……。だが、インリン様ならどうか? 不可能を可能にする奇跡の女性。インリン様のケタはずれの強運ぶりを再確認した、暑い夏の日の午後であった。（真下義之）



4.投げること、20回目にしてやっとサードロープにかかったムチの様子。やはりインリン様は偉大だ

3.そこを一瞬の丸め込み! 投げ出されたムチは、何度やっても全然かかりません!





2.強烈なM字を披露して、満悦のモンスターマスク編集者



1.M字固めをアピールするモンスターマスク編集者

 撮影／平工幸雄、乾晋也、山口比佐夫 実験の撮影／松澤チョロ 実験のモデル／真下義之、上杉八等兵HG 実験の撮影協力／SOD女子格闘技道場［http://www.sod-dojo.co.jp/］

インリン・オブ・ジョイトイが語るインリン様、そしてハッスル

今回のインリン様特集の要となるのが、本誌初登場となるインリン・オブ・ジョイトイさんのインタビューだろう。「エロテロリスト」として一世を風靡している時の美女が語る"ハッスルの美の象徴"であり"ハッスルのエース"となりつつあるインリン様の魅力とは何か？　しかも「紙プロ」編集部に降臨し、取材を受けて頂いたインリン・オブ・ジョイトイさんの言葉を聞き逃すな！

聞き手／真下義之　撮影／平工幸雄
designed by matsu (TwoThree)



―今回、インリン・オブ・ジョイトイさんが『紙のプロレス』編集部に来て頂きまして、編集部一同、心の底から感激しております。

インリン　いえいえ、よろしくお願いします。

―数日前から編集部は異様な盛り上がりで、今日なんてめったに会社に来ない本誌編集長・山口日昇も朝11時からスタンバってますし。

インリン　それは光栄です。

―で、今回はインリン様の大特集ということで、インリン・オブ・ジョイトイさんにお話をうかがいたいと思います。一説には「同一人物なんじゃないか？」とも言われてますけども。

インリン　いや、私とは「別人」ですね（キッパリ）。でもインリン様の大ファンなんで本当にうれしいです。

―そ、そうですか……。ただ、実際にお会いしたことはないんですよね。

インリン　いや、是非お会いしたいんですよ！　インリン様のことは「崇拝してる」と言っていいほど好きですし、インリン・オブ・ジョイトイの究極の理想像と言ってもいいくらいの存在なんです。

―なるほど。本当に憧れなんですね。では、本誌初登場ということでまず、「エロテロリスト」こと、インリン・オブ・ジョイトイさんご本人のお話からうかがいたいと思います。

インリン　はい。私こと、インリン・オブ・ジョイトイは「エロスによる世界平和」をめざして随時活動中なんですが……私って、もともとセクシーなものが大好きなんですね。常に女性の目は意識してますし、写真集が過激なのも、男性に媚を売るというより、「女性から見てもカッコイイもの」を目指してます。だから、**M字開脚**[※1]をしてても、足を開いていても、表情は攻撃的なんです。

―インリンさんが考えるその「女性の強さ」とか「美しさ」って何でしょうね。

インリン　私が思う「美しさ」は、凛とした上品でカッコイイ女性ですね。そういう意味でもインリン様はパーフェクトなんですよ。それから、白人の女性にも強く憧れます。

―白人の女性といえば、洋雑誌の『PLAYBOY（輸入版）』を

よく読まれていたとか。

に使用していると。

大げさだなぁって（笑）。

写真を撮られる上で、そういった

ってたんです。最初はあまり興味

インリン・オブ・ジョイトイの“究極の理想像”が、インリン様なんです。

よく読まれていたとか。

インリン　はい。高校生のときから『PLAYBOY』はよく読んでましたね。プレイメイトの生活とかボディに憧れてて。そこで身体で美しさを表現する職業に憧れたのかもしれない。

――で、白人の女性の話で言うと、実はインリンさんは海外のポルノビデオもご覧になってる、とうかがったんですが……。

インリン　あ、よく見ますね。

――よく見るんですか？

インリン　いや、変な意味で見るんじゃないんですよ！　カッコイイものを中心に見てるんです。それに男性と女性の絡みじゃなくて、女性と女性の……。

――いわゆる「レズもの」ですね（笑）。

インリン　そうそう。レズビアンのビデオって、モデルたちの目線がすごくカッコイイんです。彼女たちは、セックスしててもビデオの中で美しさの勝負をしてるんですよ。

――裸で絡みながら、美しさを勝負するというのは、プロレスにも通じるかも知れないですね。

インリン　そうですね。そういうDVDやビデオが事務所にたくさんあるんです。写真集のアイディアを出す時とか、そういうビデオをみながら「こういうのを撮りたい」と話したり。

――ブレインストーミングや資料的に使用していると。

インリン　それに、そういうビデオってパッケージもカッコイイんです。パッケージがよくても「中身がハズレ」ってのもあるけど（笑）。

――その気持ちは痛いほどよくわかります（笑）

インリン　だから、インリン・オブ・ジョイトイとして写真を撮られてる目線やポーズって、知らず知らず影響があるんでしょうね。でも、私は『PLAYBOY』も、ポルノビデオも好きでみてるから、それが普通だと思い込んで……それがベーシックにあるんです。

――それは、素晴らしいベーシックですね。

インリン　だから日本のグラビアになると、私の写真って、ちょっとオカシイのかな？

――確かに日本にはない、力強さを感じますよね。白人でグラマラスといえば、アメリカのWWEというプロレス団体でも、美しいディーバたちがいるんですが、そちらは見たことありますか？

インリン　あ、深夜のWWEの放送、よく見てました。白人女性が好きな延長で、見てたんです。ディーバの方が脱いだりとか、レスラーを挑発したり。向こうの人って大げさだなぁって（笑）。



まさかの『紙のプロレス』編集部降臨を果たしたインリン・オブ・ジョイトイさん。編集部内がかつてない盛り上がりを見せたことは言うまでもない。

――確かにリアクションが大きいですよね。

インリン　それで家でディーバのポーズを練習してみたり（笑）。でもハッスルもそうですけど、WWEはストーリーも面白い。女の子も女の子で自分のキャラクターに入り込んでいてすごいと思うし、セクシーですよね。

――そういったセクシーや、力強さはインリン・オブ・ジョイトイさんの重要なキーワードだと思いますが「強さへの憧れ」というのも昔からお持ちだったんですか？

インリン　あの～そういえば、実はお父さんがブルース・リーの大ファンなんですよね。

――これまた重要なキーワードが登場しましたね（笑）。

インリン　うちにビデオがいっぱいあって。しょっちゅうブルース・リーの映画を見せられて、そのうち魅せられてしまって。小さい時にすごく憧れてました。

――ブルース・リーって特有の見得の切り方とか決めポーズとがあるじゃないですか。インリンさんが写真を撮られる上で、そういった「刷り込み」はあるかも知れないですね。

インリン　ああ。たしかによく真似をしてたんですよ。

――もしかして、ヌンチャクも……。

インリン　やりましたね！（笑）。

――やっぱり！　中学生男子なら、一度は必ずやるというアレですね。失礼ですが、インリンさんって「影響を受けやすい」体質なんですね。

インリン　結構、そうかもしれない（笑）。

――そんな、ブルース・リーや白人の女性好きなインリンさんから見て、ハッスルに圧倒的な存在として君臨する、髙田総統はどう映ってらっしゃるんでしょうか。

インリン　髙田総統は、もう本当に手が届かない別格の存在ですね。お客の心をコントロールする術も見事なんですけど。存在として素晴らしいし、なによりセクシーですし。

――本当に言葉の間の取り方とかは、ほれぼれする感じで。

インリン　独特ですよね。素直にすごいと思います。それに、ああいうタイプの男性って芸能界にもいませんから、本当に「唯一無二」ですよね。

――そんなインリンさんが、ハッスルに興味をもたれたのは、東海テレビのハッスルの番組でナビゲーションをやってらした時で、しかもハッスルのパンフレットがきっかけだったそうですが。

インリン　正直、ハッスルのことをよく知らないままナビゲーターをやってたんです。最初はあまり興味がなかったんですけど、2回目の番組のとき、たまたま机の上にパンフレットが置いてあったんですよ。

――おそらく番組の資料用に置いてあったんでしょうね。

インリン　そのときのことは、今でも強烈に覚えてるんですけど。中身をパーッ　とみたら、すごく面白くて。それぞれキャラクターになってて「すごくいいな」って思ったんです。パンフレット自体のセンスも面白かったし。「これは、いままでのプロレスと違うかも」って。

――まずそこで、圧倒的な違いを感じられたんですね。

インリン　はい。その番組でも髙田総統の側近の女性みたいなキャラクターでナビゲートして欲しいということだったので、そういうキャラで総統の横に立って、インリン・オブ・ジョイトイが登場したらおもしろいかもなって想像してたんです。……そうしたら、その一ヶ月後に突然、新キャラクターとして、インリン様がハッスルのリングに登場したんですよ。

――なるほど～。でも、それはあくまで偶然だし、別人であるわけですね。

インリン　はい、別人ですね（キッパリ）。でも私の夢が現実になったようで、本当にビックリしました。

――でもそこから、インリン様というキャラクターが大ブレイクして、スポーツ紙の一面になったり、プロレスでメインイベントを張ったりと、いまや「ハッスルといえばイン

リン様」「ハッスルのエースはインリン様」というくらいの高評価なんですけども。いちファンから見て、この現象をどう思われてますか？

インリン　すごくインパクトあるキャラクターだし、今まで日本では見ることのできない格好をした人が出てきたなって、衝撃的でしたね。

——そのインリン様はコスチュームもより過激に進化してるし、お化粧やヘアスタイルも毎回、進化してますよね。笹原GMによると、記者会見のときに、ハッスル関係者も知らない間に全く新しいコスチュームで登場されたり、関係者の度肝を抜くようなこともされてるらしいです。

インリン　それは、素晴らしいプロ意識ですね。

——「身内から裏切っていく」という、全盛時のA・猪木さんみたいなサイコロジーですよね。それから、ハッスルの大阪大会を見た、ミスター・ヒトという超ベテランプロレスラーが、「今日の興行で、一番良かったのは、最後に出てきた女の子だ」「メインイベントでも誰よりも光ってた！」と興奮されてたんですよ。

インリン　本当ですか？　それはインリン様ファンとして、嬉しいですね。

——ヒトさんは「あのムチさばきは、腰が入っていて、姿勢も素晴らしい」と言ってたんですが、インリン様のムチさばきは、どういうふうにご覧になってますか？

インリン　本当に容赦ない！　ですよね。どう見ても肉体的には、相手の男性の方が強いはず。でもリングの中に女性はインリン様しかいないのに、誰にも負けないパワーやオーラが出ていて凄いですね。あと「ムチ一発」で会場がウワーっと盛り上がるでしょう？

——会場のリアクションもすごいですよね。そのインリン様の決めポーズとして「M字ビターン」が有名ですけども、「M字開脚」の元祖、インリン・オブ・ジョイトイさんとしてはいかがでしょうか？　あのポーズは、じつは苦しいともうかがってますが。

インリン　はい。実際、苦しいです。私の撮影のときって、あのポーズしながらモデルガンとか、武器とか重いものを持つんです。そこにプラス、鎧に近い、すごく重い衣装を着たりするから汗も出るし大変なんです。インリン様は余裕かもしれないけど、私にとっては大変なポーズですし、すごく力が入りますね。次の日は必ず太ももが筋肉痛になりますし。

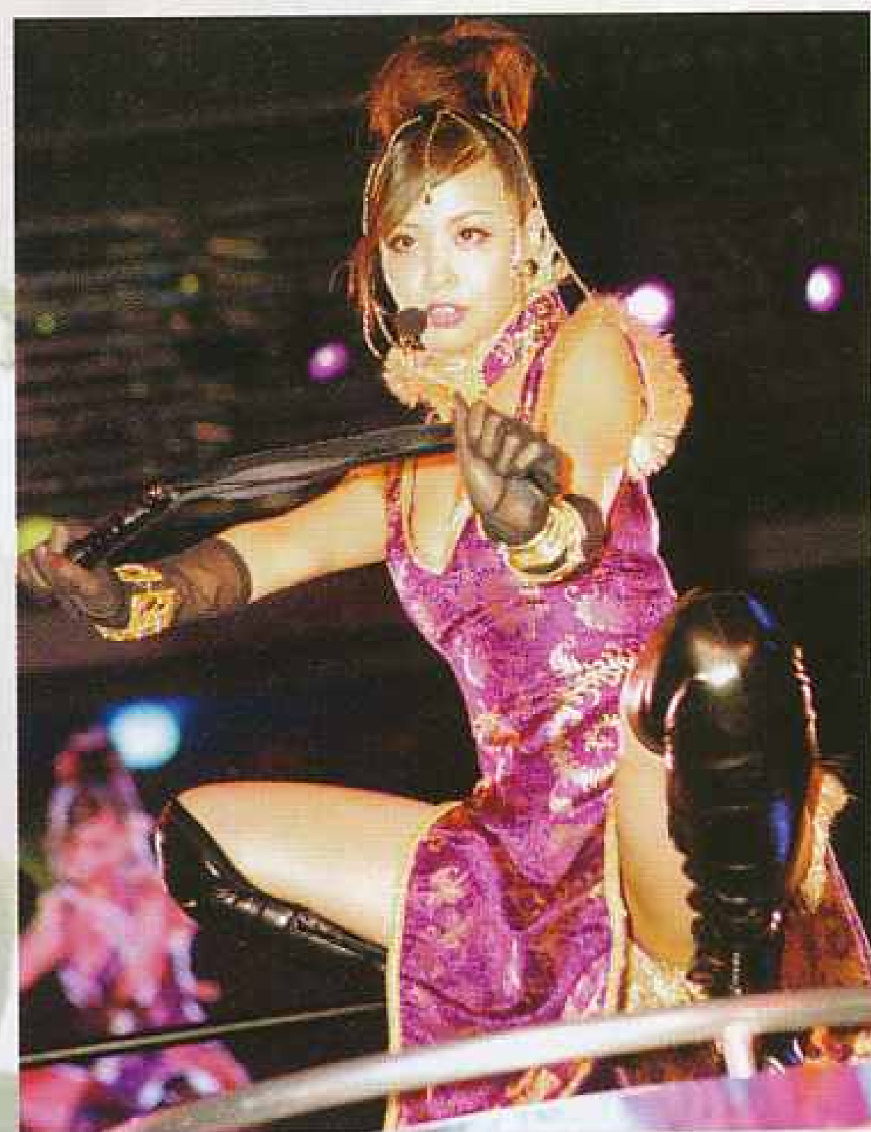
——そんなにつらいとは思いませんでした。では大観衆の前で「M字ビターン」を堂々とやってるインリン様をご覧になってどうですか？

インリン　いや、「やっぱり、M字って素晴らしいな」って。

——M字って素晴らしい！　会場の観客全員がすごい勢いで携帯で写真撮ってますしね。

インリン　そうですね。あとフラッシュの数もすごいし。私も会場で見たことあるんですけど。あの瞬間って、お客さん、みんな口を開けてオカシイんですよね。

——しかもインリン様は、その状態でM字台に乗ったまま、ぐるっと回るわけですもんね。



5月15日、ハッスルハウスvol.8におけるインリン様の「M字ビターン」ショット。イヤ〜「M字って本当に素晴らしい」ですね。

インリン　観客全員がインリン様の局部しか見えてないみたいな感じで。

——他のジャンルではまず、ありえないことですよね。しかし、数千人の視線が女性の局部に一斉に集中するってすごいですよね。

インリン　なんか、その場所にみんなのパワーが集まっていくような（笑）。

——『ドラゴンボール』の元気玉みたいに、気が一点に集中していくわけですよね（笑）。そんなインリン様とインリン・オブ・ジョイトイさんの一番の違いはどこでしょうか？

やっぱり「M字」って本当に素晴らしいですよね。

インリン　やっぱりインリン・オブ・ジョイトイは生身の人間なんですよ。存在して、生きている。ご飯も食べて、汗もかく。でもインリン様は本当に謎ですよね。人間なのかさえ良く分からないし。

——インリン・オブ・ジョイトイさんは、いろんな多面性を持ってるけど。インリン様は「絶対的存在」ですよね。

インリン　私にとっても憧れの存在だし。セクシーさ、強さ、個性、いろんな要素が融合してる。私の思ってる女性の素晴らしさを全て備え持つ人ですね。常に100％、何やってもパーフェクトじゃないですか。その人間像には憧れますね。

——インリン・オブ・ジョイトイさんの理想が結晶化された人物なんですね。そのインリン様に対抗しているEricaさんという方はいかがですか？

インリン　じつは、ハッスルの試合の中で、Ericaさんの試合が一番好きなんですよ。Ericaさんのキャラって本当におかしいし、見てて可愛い。女性から見ても憎めないし。ああいうふうに心から「私ってかわいいの」って思えちゃうEricaさんって素晴らしいですよ。

——キャラクターと同一化してるのがすごいですよね。それにEricaさんの試合って、いつも異様なぐらいお客さんが沸いてますし。

インリン　プロレスを見にくるお客さんを喜ばせる、能力とか才能がすごいですね。プロ意識も凄く高いから、見ててぐいぐい引き込まれる。もう集中して見ちゃうんです。動きのひとつひとつや言葉に、目が行くんですよね。

——お客の目をくぎ付けにしますよね。で、そんなファイティング・オペラであるハッスルの全体としてはどのようにお感じですか？

インリン　私、本当にプロレスってほとんど見ないんです。申し訳ないんですけど、同じような黒いタイツの人たちが戦っているような印象しかないんです。ぱっと見、キャラクターが見えずらいし。でも、ハッスルは、どの人もキャラクターが確立していてトークやマイクもいちいちおかしい。しっかりストーリーがあって、ユーモアもある。物語が連続してて、つづきが気になるんです。「髙田総統はいつリングに出てくるのかな？」とか。

——そこは、インリンさんも気になってると。

インリン　試合も面白いんですけど、ストーリーも決して平坦なものではないし、予想外のハプニングもある。この前のインリン様とハッスルKの試合も面白かったです。ハッスルKって硬派でクールなキャラだと思うんですけど、いきなりイン

リン様と闘うっていう意外性があった。それは、ハッスルでしか見られないものだし。ハッスルって客観的に見ても、もっともっと広まっていいはずだと思います。

——地上波放送がついた瞬間に、爆発するコンテンツだと思いますね。あと興行で見せたいポイントも定まっていて、見てて気持ちいいですね。

インリン　映画とかドラマを見てる感じがするんです。ストーリーがどうなっていくのか、毎回それが楽しみで。

——そういえば、インリンさんは、去年は舞台（04年6〜7月、「ありえない島へ」）の仕事もやってらしたとか。

インリン　はい、舞台の仕事はすごく勉強になりましたね。今のインリン様の立ち振る舞いを見てて、共感するのはその部分ですしね。

——プロレスも舞台も大勢の観衆に見られる職業ですよね。

インリン　しかもNGを出しちゃいけないし、セリフを噛んじゃいけない。遠くの席の観客にアピールするために、動きも大げさにしなきゃいけない。

——全身で感情を表現するわけですね。※2**うつみ宮土理さん**にも、アドバイスをもらったと聞いてるんですけども。

インリン　はい、うつみさんからは、本当にいろいろ教えて頂きました。私は17歳の役なのに、「もっとあなたはセクシーな方が良いわ」とか、「あなた、もっと露出しなさい」とかおっしゃって頂いたり。あと、舞台の立ち方ひとつから、直すように言われましたね。

——舞台に立つときの姿勢の話ですね。

インリン　グラビアのモデルと、真逆のことを言われました。グラビアの撮影ってついポーズを取ってしまう。例えば、立つときなら、少し格好をくずして立ちたいんですよ。

——ちょっと余裕を持った感じですね。

インリン　でも、舞台では、常にハッキリした表現が求められる。立つなら、堂々と立たないといけないし、走るときは走る。だから、最初は立ち方からすごく注意されたんですよ。怒るときも、顔はものすごい怒ってる表現をしなきゃいけない。そういう意味では、インリン様を見ててもムチを打つときは「ムチを打つことに集中してる」みたいに、全身で思いっきり表現してる、ってことがわかりますね。

——その経験は、すごく大きかったでしょうね。

インリン　舞台のサイズも大きかったので、「演技で舞台をどう使うか」ということも教わりましたね。人がそこに居るだけじゃ、観客はその人が何を表現しているのかがわからない。怒ってるのか、笑ってるのか、喜んでるのか……。そこは常に過剰に表現しないと。

——なるほど〜全てのプロレスラーは舞台の勉強もしたほうがいいかもしれないですね（笑）。

インリン　でもレスラーの皆さんも、堂々としてらっしゃいますけどね。

——そういう意味で、先ほどもお話にでた、ハッスルKこと川田選手に関してはいかがですか？

インリン　川田さんって真面目な人ですよね。それにすごく優しい。大阪のインリン様との試合を見てても、インリン様を敵じゃなく、女性として見てて、遠慮してる部分も見えましたよね。たとえばインリン様を抱えて落とすときも、見てる方としては、もっとドカーンと思い切って投げて欲しかった（笑）。インリン様が「なにすんのよ！」って怒るくらい。川田さんは優しいから、少し遠慮したんでしょうね。でもそういう部分がハッスルKの魅力なんだろうな、と思います。

——もうひとり、ハッスル・キャプテンの小川さんはどういう印象をお持ちですか？

インリン　小川さんも自分のキャラクターを全うしてますよね。でも……最近、ちょっとコスチュームが中途半端かな（笑）。だって、あの孫悟空みたいな頭のリングもいつの間にかなくなっちゃったし。それにモミアゲも描かなくなっちゃいましたよね。

——コスチュームに関しては、あまり積極性が見えないと。

インリン　インリン様は本当にやる気満々ですからね。インリン様も「モミアゲを描きなさい！」と思ってる気がしますね（笑）。小川さんはそういうパーツが減っていって、上半身のコスチュームもなくなって、普通のプロレスラーみたいなルックスになっちゃった。そこは少しさみしいんです。だから、出来ればモミアゲは描いて欲しいですね。

——なにはさておき、モミアゲは描いて欲しいと言うことですね。9月の後楽園の小川さんのハッスルぶりに期待しましょう！

インリン　期待してます、小川さん！

——今日は、本当にありがとうございました。

【8月6日／ダブルクロスにて収録】

小川さんには、もう一回「モミアゲ」を描いてほしいんです！



インリン・オブ・ジョイトイ　■1978年2月15日、台湾生まれの台湾人。10歳より日本で生活。B型。スリーサイズはB86（Eカップ）／W59／H86。95年、ヒラオカノフスキー・クラタチェンコのマルチメディアユニットJOYTOYにモデル兼ヴォーカリストとして参加、今に至る。現在、JOYTOY第2弾アルバムを制作中。今秋発売予定（ビクター・エンターテインメント）。公式HP：http://www.mostsexy.net/

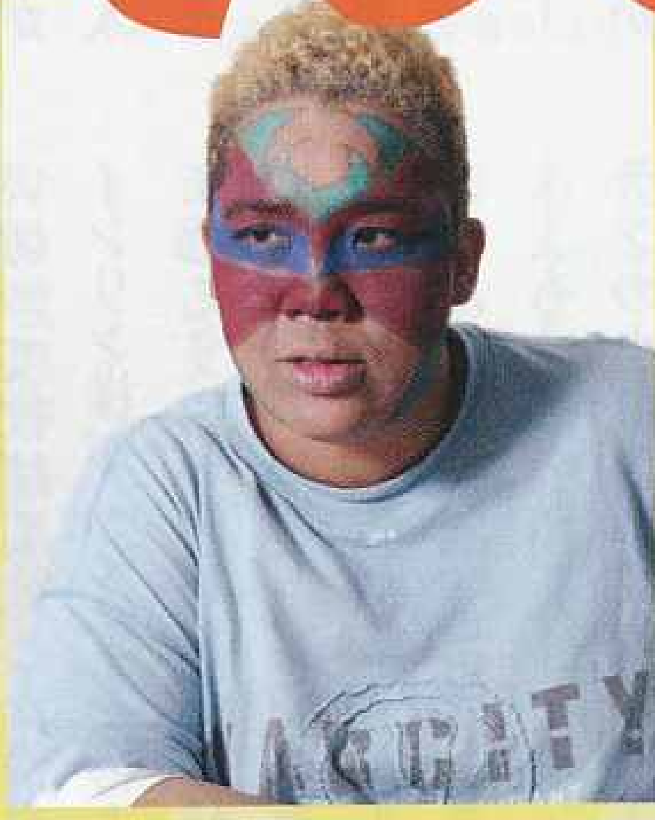
※1　M字開脚
インリン・オブ・ジョイトイのプロデュースをつとめる、ヒラオカノフスキー・クラタチェンコとのフォトセッションの最中に編み出された、両足をM字型に広げて、腰を落とす、インリン・オブ・ジョイトイの必殺ポーズ。

※2　うつみ宮土理さん
タレント、作家。実践女子大学卒業後、朝日新聞社「ディスイズジャパン」編集部入社。その後タレントに転身。インリン・オブ・ジョイトイが「すごくお世話になった大事な人」という。04年は舞台で共演し、細かくアドバイスを頂いたという。



7月13日、ハッスル福岡大会より、Ericaが新モンスター、ブランカＸをヒップドロップの極刑。夏仕様になったピンクのスカート衣装が素敵すぎる。

アジャ・コングが語る Erica、そしてハッスル



「インリン・オブ・ジョイトイさんの語るインリン様」に続いては、やはり同一人物疑惑が噂されるアジャ・コング選手に人気〝乙女〟キャラ、Ericaさんについて、そしてハッスルについて存分に語ってもらいました。乙女とは何か？　そしてアジャ・コング選手の考えるプロ論とは？

聞き手／ジャン斉藤、真下義之　撮影／平工幸雄
designed by matsu（TwoThree）

――アジャ・コングさんは**WWEのモバイルサイト**※1でコラム連載を持つほどのWWE通なわけですが、きょうは日本版WWEとも言われるハッスルの世界や、そしてアジャ・コングさんそっくりな乙女レスラーEricaさんに関して……。

アジャ　（遮って）Ericaさん？　あの～最近、よく「似てる似てる」ってファンに言われるんですが、ここでハッキリ言っときましょう。私とEricaさんは、完全に「別人」ですからね！

――し、失礼しました。では、世間の誤解を解く意味でも、今日はEricaさんに関しても、じっくりお話をうかがいたいですね。

アジャ　くれぐれも気をつけてくださいよ。ただ私はハッスルは嫌いじゃないんで毎回、PPVで彼女の試合はチェックしてますし、面白い選手だと思いますよ。実際にお会いしたことはないけどね。

――う～ん。なぜだか、一生会えない予感もしますけどね……。

アジャ　うん？　なんか言った？

――何でもありません。ところで少し前の話ですが、アジャさんは7月のWWEの日本公演をご覧になったんですよね。とくにHHH選手がお好きだとか？

アジャ　やっぱり、いでたちや、たたずまいの凄さという意味では、HHHは完全に別格！　今回、王者の座から降りたHHHはどうなってるのか？　と注目してたんですけど、入場時だけで圧倒させられちゃいました。ベルトはないけど「王者はこっちだ」と。もう突出した存在感を感じましたね。

――アジャさんはアンダーテイカーもお気に入りなんですよね。

アジャ　そうそう。それこそアンダーテイカーはすべてを超越した存在感がありますからね～。ただ今回、HHHもベルトをなくすことによって、突き抜けたし、アンダーテイカーと同じような別次元の雰囲気を出すようになりましたね。

――そこは、アジャ・コングさんのプロレス美学とも通じる部分がありそうですね。

アジャ　だからWWEに感動する一方でレスラーとして負けたくない気持ちはありますよ。私も試合の時には、頭の天辺からつま先まで

アジャ・コングの気を注入して入場します。ハッスルの笹原GMみたいに、「アタシだけ見てりゃいいんだ！」って気持ちですよ。

――そこはプロレスラーにとっての非常に重要なサイコロジーなんでしょうね。

アジャ　それはあたり前だと思うんです。レスラーに限らずプロと名のつく職業の人なら、人前には、トータルな美学をもって登場しなければならない。何も考えず出てかれたんじゃ、お客さんは困っちゃいますから。

――そういった強烈な個性、圧倒的な存在感、という意味では、ハッスルには、髙田総統という偉大な方がいらっしゃるんですけども……。

アジャ　はい、映像ではよく拝見してますよ。一度、会場で見てみたいんですけどね（笑）。でも客観的に見ても、素晴らしいと思います。あの方も、「太鼓叩いてる人と同一人物じゃないか？」とか噂されてますけれど。その人と同一人物なら「そこまでできないだろ？」と思うくらい完璧です。ま、髙田総統はアレが「素」ですけど。でもモンスター軍って本来、ヒールじゃないですか？

――最近、逆転してるように思えますが、基本的にはヒールですよね。

アジャ　で、お客さんは大喜びでブーイングを浴びせてる。でもそれって、要は「歓声を受けてる」ってことですよ。それに髙田総統はひとつひとつの言葉がすごくシャープ。ウンチクやギャグをはさみつつ、筋の通ったメッセージを発して、お客さんを高揚させてる。そこは、納得しちゃう部分ですね。

――なるほど。アジャさんも髙田総統に関しては絶賛ですね。それからハッスルの象徴的な方として、インリン様がいますけども。

アジャ　インリン様も私は会ったことはないんですが……、あの存在感はすごいですよ。あのきわどい衣装で人前であれだけ堂々と立ち振る舞える度胸ってすごいでしょう。大観衆の前でM字ビターンっていうポーズができる、あの勇気は素晴らしいです。それにあそこまで女王様を徹底的に突き詰めてる人はいないしね。

――ああ、そういう意味で、女子プロ界では、インリン様みたいなキャラっていないですね。

アジャ　確立した女王様っていうのは、いないですね。

――女帝なら、**デビル雅美さん**[※2]という選手がいますけど（笑）。

アジャ　いや、女帝と女王様とは違うでしょ！　ただ女王様チックな雰囲気で言うと……むかし、LLPWの**風間ルミさん**[※3]が一時、ムチ持ってきたりしてましたけどね。

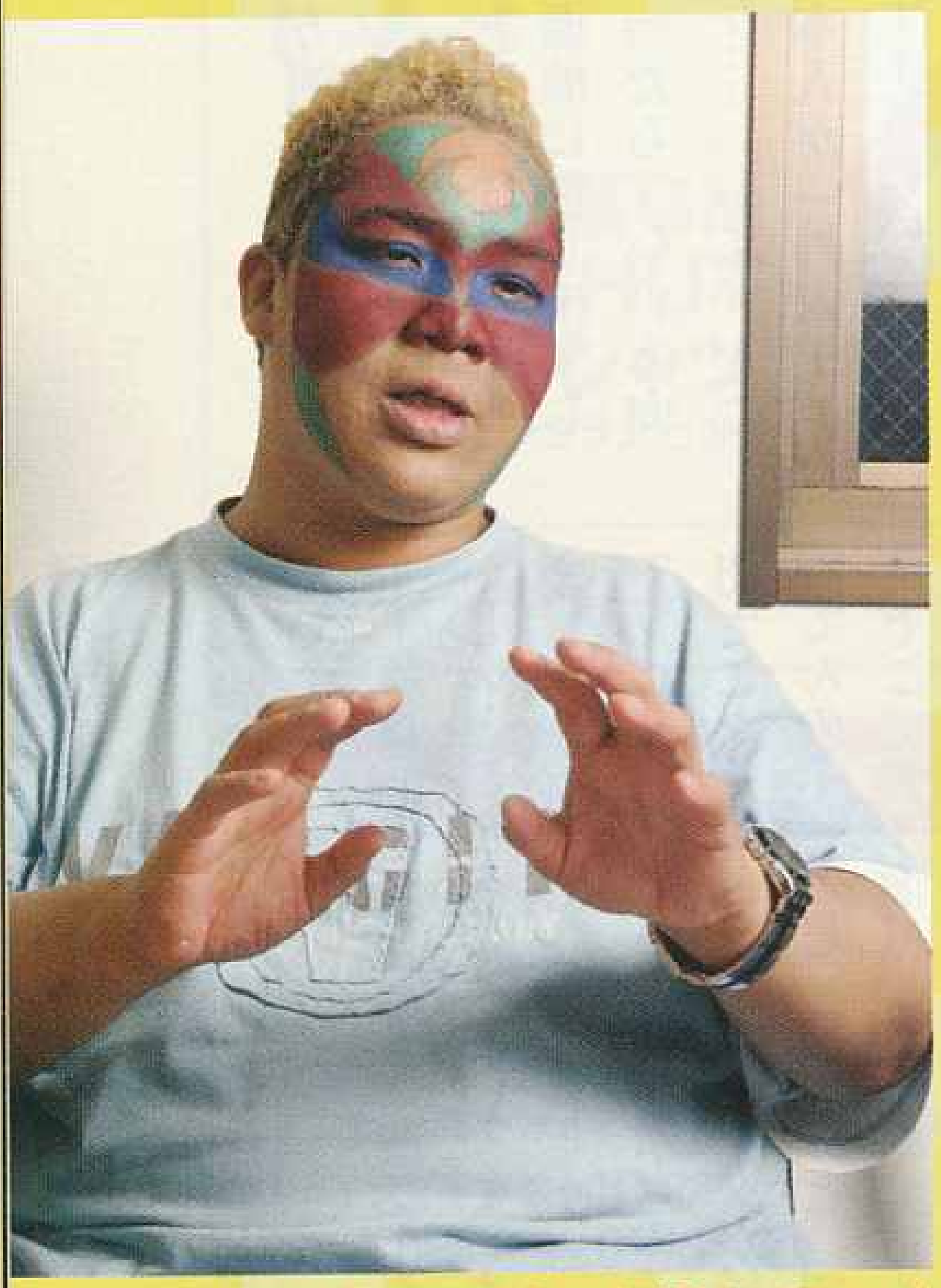
――アハハハ！　女王様のルーツは風間さんだった（笑）。

アジャ　長続きしなかったですけど（笑）。突然、SMチックな格好で、マスクつけて登場してね。観客も「どうしたんだろ？」って首かしげてるし、レスラーも「どうしたの？」って。そういう雰囲気を察知して、速攻で終了してましたけど。そう考えると、インリン様ほど女王様を突き詰めている人はいない。それに私も客観的に見たら、Ｅｒｉｃａさんよりインリン様のほうが「美しくていいんじゃないの」と思いますよ（笑）。

――Ｅｒｉｃａさんの言い分は間違っている！と（笑）。ではいよいよ、アジャさんとの同一人物疑惑のＥｒｉｃａさんについてうかがいたいと思います。

アジャ　あの～Ｅｒｉｃａさんって、最弱であり最強というか。だって、あのルックスで、乙女キャラって……こんなに恐ろしいものはない。殴られても「イタ～イ」とかクネクネしてるし。それを見てるほうが怖いと思うんですよ。

Ericaさんって「最弱」であり「最強」ですよね。



クールな語り口調で「まったく別人」のEricaさんを分析してみせたアジャ・コングさん。

――そのＥｒｉｃａさんはハッスル各大会で異様にお客を涌かしてますよね。札幌大会では、前の席にいた5歳くらいの女の子がＥｒｉｃａさんの試合では興奮しきって客席でピョンピョン跳ねてましたし。

アジャ　最近の子供は、ジャパニーズホラーの影響で、恐いもの見たさがあるのかもね。

――今夏は『妖怪大戦争』っていう映画も公開されてますし（笑）。その反面、Ｅｒｉｃａさんは乙女系レスラーと言われてますが。

アジャ　ルックスは恐ろしいけど、乙女心を持ち合わせているから、暴力は苦手なんでしょう。彼女に「**鼻毛**[※4]」って言わない限りは、安全だしね。乙女だからこそ、鼻毛は許せないんでしょう。私なんか「鼻毛がハローしてマース！」って言われても、どうってことないし。

――あ～アジャさんにとっては「鼻毛」は許容範囲だと。

アジャ　私なら「あ～そう？」って聞き流せるし、人前でも「ごめんごめん。ちょっと抜いとこうか？」ってガーンって抜けますからね。同一人物のハズないでしょ。

――そ、そんなアジャ・コングさんにとっての「乙女」とはなんでしょう？

アジャ　乙女ねえ～。何だろうな？

――簡単にいえば、純情で感じやすい女性のことですよね、乙女って。

アジャ　じゃあＥｒｉｃａさんは乙女系レスラーですけど……（笑）。でもアイドル系とは違うわけでしょ？

――違いますね、アイドルの中に乙女が含まれているのかもしれませんが。

アジャ　アイドルは本人の望む・望まないに関わらずルックスが可愛ければ成立する。でも、アイドル系もプロレスラーとして「強くなりたい」という気持ちはあるでしょう？

――弱々しさを売りにするレスラーはいましたけど、「トップを狙う気持ち」や「強さへの憧憬」は感じられましたね。

アジャ　だから、Ｅｒｉｃａさんは、強くなりたいというより、「男が欲しい」だけじゃない？

――強さより男が欲しい！と（笑）。

アジャ　強さは求めてない。見てる側も不思議とＥｒｉｃａさんには強さを求めてないよね。そういう意味で、Ｅｒｉｃａさんは存在自体が「新ジャンル」かも。だからＥｒｉｃａさんのインリン様へのジェラシーって「合コンで喧嘩してる女のノリ」だと思うんですよ。

――女同士のしれつな火花の散らし合いですね。（笑）。

アジャ　「それでいいのか？」っていう気持ちもありますけど（笑）。

――そんなＥｒｉｃａさんや、髙田総統、インリン様も強烈な個性と存在感があるわけですが、先日、アジャさんがモバイルのコラムで書かれていた「プロとして、強烈な個性も大事だけど、個性が強すぎても周囲から浮いてしまう」という一文がとても興味深かったんですよ。

アジャ　いや、強烈な個性は必要ですよ。ハッスルなんか、個性が確





7月13日、ハッスル福岡大会より、"夢見る乙女"Ericaさんはタッグパートナーのスパンキーに「いつものタイタニックポーズ」を強要！ 恐怖におののくスパンキーがふぴんだ。

立したキャラクターが多いしね。でも若いレスラーが、「個性を貫くこと」と「我を貫くこと」をはき違えちゃうのは、すごく危険だし、「試合からも浮いちゃうよ」という意味ですね。そこを勘違いしてる人って、端から見ると全然、個性でもないし、身勝手な自己満足にしか見えない。そこを「勘違いするなよ」ってことです。

――アジャさんは、ご自身が「ハーフである」と認めたことが、プロレスラーとしての分岐点だった、とうかがってます。

アジャ ハーフって、持って生まれた逃れられない部分。そこを個性として生かすも殺すも自分次第なんです。でもその部分を打ち出さず、隠そうとしてた時期もあった。ハーフとか、異人とか言われたくないとか。目立ちたくないとか……。今、考えると「なんで目立ちたくないのに、この世界入ってんの？」と思うけど（笑）。

――そういった葛藤が、ループしてるわけですね。

アジャ その一方「毎日、プロレスはしたい。でも目立つのはイヤ」という迷いがあった。でもある時期、ハーフを全面的に押し出すしかないと思い立ったら、いい方向に転がっていった……。でも、どこから見ても純日本人が「外人チックにアメリカンナイズにいきたい」とか言っても、観客には通用しないじゃないですか。

――そういう「はき違え」ってありますよね。自分が思うことと、他人の評価って違うことが多いですし。

アジャ とくにプロレスって自己満足でやってたって、意味はないですから。もちろんEricaさんみたいに圧倒的にはき違えてたら、それは商品になるとは思いますけどね。

――最近の若手選手でそういうことを感じられた選手はいますか？

アジャ う〜ん。そういう強烈な勘違いをした自己満足野郎はいないかな。そこまでいかない人が多いし、突っ込みどころがない人、多いですね。

――一方、突っ込みどころ満載のEricaさんはハッスル両国の「M字ビターンコンテスト」以降、大暴れしている訳ですが。

アジャ そうですね。WWE好きとしては、Ericaさんが初登場した「M字ビターンコンテスト」は、日本ではじめてディーバが誕生する舞台なのかな？ と注目してたんです。

――結果的にはEricaさんがおいしいところを持っていってしまいましたね。

アジャ コンテストに出た女の子が出てこなくて「なんでアンタが居座ってんの？」と思いますけど。でもあそこでディーバじゃなく、Ericaさんをチョイスした時点で、ハッスルの路線って、方向づけられた気もしますね。……そういえば結局やらなかったけど、川田さんとインリン様の「M字ビターンコンテスト」は見たかったですね。

――アレは実現してたら、もうWWEとも別次元の「未知の領域」に入ってたでしょうね。

アジャ だから最近は、WWEが日本でも認知されてますが、結構、昔に比べて「お上品」になってるじゃないですか？

――かなりソフィスケイトされてきたというか。

アジャ 昔はもっと無茶してた。バキュームカーでリングに汚物を撒いたり、リングぶっ壊したり、登場人物が腹上死したり。あと60歳以上のバアさんを虐待して、テーブルにパワーボムしちゃったり……。私から見ても「それいいのか？ ありえないだろ！」と思ってました。全体的に綺麗になってきちゃったのは、障害者レスラーの**ザック・ゴーウェン**[※5]の前後あたりかな？ でも、そういうWWEのハチャメチャな部分を、ハッスルが目指してるのは興味深い。他のプロレス団体ではありえないですし。ハッスルがそこを突き抜けると面白いと思います。

――そういう意味では、今度、アジャ・コングさんが総合プロデュースする自主興行（『アジャ・コングの20年だョ！全員集合』8月21日（日）後楽園ホール）が開催されます。これはアジャさんのプロの美学が詰まった興行になるんでしょうか？

アジャ この興行が20年の集大成になる、とは考えてはないですけど。「お祭りをやろう！」と。やっぱりプロレスってエンターテインメントなんです。試合だけ真面目にやっても面白くない。もちろん「試合が凄い」のは当たり前。でも、それ以外でもファンに「面白かった、良かった、発散した」って気分で帰ってもらいたい。プロレスって「完全なる非日常」じゃないとね。ハッスルなんか、まるごと非日常じゃないですか？ 徹底的にバカバカしい訳じゃないですか。でもあのバカバカしさが、いま受けてる原因だと思うし。本来プロレスがあるべき姿ってそこだと思うんですよね。

――なるほど。アジャさんの今後の活動に期待してます。……それからEricaさんにも。

アジャ だ・か・ら、別人だって言ってるだろ〜！（怒）

――す、すいません！ 今日はありがとうございました〜！（脱兎のごとく、すばやく退散）。

【05年7月7日／フォスターにて収録】

Ericaさんは強さよりも「男が欲しい」だけです。

※1 **WWEのモバイルサイト** iモード、ボーダフォン、EZwebで好評配信中のWWE公式携帯サイト。人気コラム「アジャ・コングのMSGにはいつ出られるの!?」は第2・4木曜日に更新中！

※2 **デビル雅美さん** 「女帝」のニックネームでおなじみ、キャリア27年を誇る、超ベテラン選手。恵まれた身体、パワー、テクニック、豊かな表情も完璧な女子プロ界のマスター的存在。現在もフリーとして活躍中。

※3 **風間ルミさん** ジャパン女子プロレス崩壊後、LLPWを立ち上げ、女子プロレス界初の社長兼選手となるが、03年夏に引退（現社長は神取忍）。現役時は過激なコスチュームや写真集で話題を振りまく。現在、緊縛ヘアーヌードを発表するなど、女優としても活動中。

※4 **「鼻毛」** "夢見る乙女"Ericaを一瞬にして激怒させるキーワード。主に記者会見の場や試合後に、アン・ジョー司令長官が「鼻毛がハローしてマース！」とEricaをからかうと「いま、鼻毛って言ったな？」「鼻毛って言うなーって言ってるだろ！」と怒りの裏拳が炸裂する。

※5 **ザック・ゴーウェン** 03年5月にWWEに登場。片足が義足のレスラーとして話題となる。ステファニーと組んで、ビンス・マクマホンやビッグ・ショーらとも激突するも、同年11月にはWWEを離脱。04年4月には大日本プロレスにも来日した。

『アジャ・コングの20年だョ!全員集合』

■日時:8月21日（日） 試合開始:12時～ ■会場:後楽園ホール
【決定カード】◆第1試合／永島千佳世、AKINO vs 輝優優、植松寿絵 ◆第2試合／ジャガー横田 vs 栗原あゆみ ◆第3試合／カルロス天野、闘獣牙Leon vs 桜花由美、未来 ◆第4試合／［DRAGON GATE提供試合］CIMA、土井成樹、吉野正人 vs 斎藤了、堀口元気、谷嵜なおき ◆セミファイナル／［ドレスアップワイルドファイト］ダイナマイト関西 vs 尾崎魔弓 with KAORU（D-fix）◆メインイベント／アジャコング、浜田文子 vs 豊田真奈美、里村明衣子 ■チケット（当日は500円UP） SP寿シート…8000円、松シート…6000円、竹シート…5000円、梅シート…4000円、立ち見シート3000円（小中学生は、竹or梅シートを1500円にて購入可能）

『記念パーティー』

■日時:8月21日（日） 開宴:17時30分（開場17時）
■会場:東京ドームホテル 天空（立食パーティー）
■チケット:大人15000円、子供5000円（12歳以下）■司会:ライオネス飛鳥
■問／ジャムパラダイス:03-3454-6822
■アジャ・コング公式HP:http://blog.livedoor.jp/aja_kong/



アジャ・コング■昭和45年生まれ。東京都立川市出身。身長165センチ／体重103キロ。昭和61年に全日本女子プロレスでデビュー。全女退団後は、フリーとして幅広く活躍中。得意技は、裏拳と垂直落下式ブレーンバスター。8月21日には初の自主興行をプロデュース。ハッスルで人気急上昇中のEricaさんとはあくまで別人。

ハッスル & 紙のプロレス コラボグッズ

第1弾 髙田総統グッズ 夏バテにビターン!!



「ビビったか？ たじろいだか？」Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック／ホワイト] ¥3990（税込）

「BITAAAAN!」Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト] ¥3990（税込）



「BITAAAN!」メッシュキャップ
[ブラック／パープル]
¥3150（税込）



「髙田総統」フェイスタオル
¥2100（税込）

第2弾 笹原GM「SHUT UP!」Tシャツ
（ラグラン七分そで）



BACK

[S・M・L・XL ホワイト×レッド]
¥4200（税込）

残暑お見舞い申し上げモンスター。

モンスターTシャツで夏バテ頭をシャッフル！ シャッフル！



「°c-pod」Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト] ¥3990（税込）

第3弾 「モンスター°c」&「モンスターj」Tシャツ



「j-pod」Tシャツ
[S・M・L・XL ホワイト] ¥3990（税込）

『紙プロ』通販方法

★通販はすべて代引きです。お支払いは、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

★全国どこでも送料一律500円です。
（何枚でも可。離島・山岳部の方はお問い合せ下さい）

★代引き手数料は315円です。
（代引き金額によって異なります）

『紙プロHand』でご注文の場合

詳しくは『紙プロHand』の通販コーナーをご覧下さい。ご注文後、確認メールを送りますので注意してご覧下さい。

電話でご注文の場合

平日15:00〜22:00
（株）ダブルクロス 03-5368-1797

メールでご注文の場合

郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを
kapra@kamipro.com
までお送り下さい。申し込みメール確認後、佐川急便にて発送いたします（確認メールはいきませんのでご了承下さい）。

ハッスル グッズ



残りわずか！

ハッスルロゴTシャツ
[XS・S・M・L・XL ホワイト／ブラック／イエロー／レッド／ピンク／ブルー／グリーン／オレンジ]
¥3990（税込）

NEW



キャプテン リストバンド
[ホワイト／ブラック] ¥1050（税込）
ハッスルK リストバンド ¥1050（税込）
あちち リストバンド ¥1050（税込）



BACK

ハッスルK Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック] ¥3990（税込）



BACK

インリン様Tシャツ
[S・M・L・XL ブラック] ¥3990（税込）



ハッスルストラップ／キーホルダー
各¥1050（税込）

紙プログッズもハッスル中!!



赤いキャップの頑固者Tシャツ
S・M・L・XL ブラック
¥3800



マット・ガファリTシャツ
S・M・L キナリ
¥3500
XL（完売）



ガファリ・バスターズTシャツ
XS・S・M・XL ホワイト
¥3000
L（完売）



カズ・HTシャツ
S・M・L・XL ブラック
¥3465
XS（完売）



COZY BAKATシャツ
S・M・L・XL ブラック
¥3465
XS（完売）

ハッスル TOPICS

文／坂井ノブ、真下義之
撮影／山口比佐夫
写真提供／DSE
designed by matsu (TwoThree)



ついに正式決定!
11月3日(祝・木) ハッスル・マニア2005〈仮称〉 横浜アリーナで開催!!



この日、新日本プロレスのG-1クライマックスに出場していた“ハッスルK”川田利明がイベント終了寸前にかけつけた!　石狩太一とのハッスルポーズは最高のボーナストラック!



坂田亘は、ザ・フライング・バンパイア28世とシングルマッチ。脅威の空中殺法に苦しみながらも、強烈なフットスタンプをお見舞いして。実力差を見せつけた。



夏祭りでは、2試合が行われ、この日限定のマスクマン、スカパーマンが登場!　ハッスル仮面ピンクと組んで、鬼蜘蛛＆アリシンZと激突。見事に勝利を飾った。



ハッスル夏祭りにインリン様もご降臨!　ビーチフラッグならぬ“ムーチフラッグ”大会が開催。インリン様は子供の部の優勝者の頭をナデナデしてプチ洗脳。

夏真っ盛りの8月14日、東京は最高気温33度を記録する中、東京・代々木公園ではスカパー開局10周年記念イベント『東京プラージュ』にて「ハッスル夏祭り～COUNT DOWNハッスルマニア～」が開催された。砂浜の上に立てられたリングという不可思議な光景。野外会場を異常な暑さが支配する中、まず笹原GMがハッスル最大級のイベント、ハッスル・マニアの開催を発表する。「プロレス界の歴史を根こそぎ覆す超ド級のイベントです!!」と息巻くGM。ことあるごとに噂された巨大な祭りのアウトラインがついに表出した瞬間だ。そうハッスル・マニア、そこでは誰もが心待ちにする、髙田総統の試合出場は実現するのか?　また、DSEを通じ、G1―CLIMAXに緊急出場した川田利明。ここから新日本プロレスとの関係は発展するのか?　そして〝ハッスル・キング〟橋本真也の遺志を背負った小川直也の目指す進路は……?

来る8月28日のヒョードルvsミルコ戦がPRIDEのここ数年の最高のクライマックスであり、ある種の最終回であるのと同様に日本プロレス界に〝ファイティング・オペラ〟という新ジャンルを提出したハッスル、その到達点としてハッスル・マニアがある。いずれにせよ、この秋に「ひとつの答えが出る」ことは間違いない。

この後も小川がハッスル軍新メンバー（次ページ参照）を発表し、インリン様はビーチフラッグ改めムーチフラッグ大会を開催し、会場の観客を魅了＆洗脳してみせた。さらに特別試合として、スカパーマン＆ハッスル仮面ピンクvs鬼蜘蛛＆アリシンZのタッグマッチが行われ、坂田亘はザ・フライング・バンパイア28世とシングル戦で、会場の熱気をさらに上昇させた。

事実上のメインとして再登場した小川はひさしぶりのハッスル音頭を披露し、最後はハッスルポーズ。こうして夏祭りは、想定内のハプニングを内包したハッスルらしいイベントとして着地したかに見えた。だが、最後の最後にドンデン返しが発生。観客が家路につく中、なんとG1―CLIMAX両国大会を終えたばかりの川田利明と石狩太一が到着。川田は「最後にもう一回ハッスルさせてください!」と挨拶し、大歓声の中、マイクを持った石狩とボーナストラックを行った。この後、川田は「ハッスル・マニアには髙田総統に出てきてほしい」と挑戦を表明。ハッスル・マニアに最初の波紋を投げ掛けた。そして、G1敗北の悔しさをにじませつつ「それより、残念なのはムーチ・フラッグ選手権が見られなかったこと」と素敵な笑顔をみせる。やはり〝ハッスルK〟はなによりハッスルを愛していた。

こうしてハッスルの長くて暑い夏の一日は幕を閉じた。そして、ハッスルはいよいよ今秋の究極の舞台に向かって始動する。本当に「プロレス界の歴史を根こそぎ覆す」ことは可能なのか?　そしてそこでは、どんな風景が、いったいどんな風に僕らの前に立ち上がるのだろうか?

9月は後楽園、そして名古屋！

◎ハッスル・ハウスvol.9 [後楽園ホール]

★2005年9月8日（木） 開場18:00／開演19:00（予定）
★入場料（税込） ハッスルVIP席…10,000円／スタンドS席…5,000円／ハッスル軍応援シート…5,000円／モンスター軍応援シート…5,000円／スタンドA自由席…3,000円

※ハッスル軍応援シートとモンスター軍応援シートは、ハッスルオフィシャルサイト、ハッスル携帯サイト、ドリームステージのみで販売。

◎ハッスル12 [愛知県体育館]

★2005年9月10日（土） 開場17:00／開演18:00（予定）
★入場料（税込） ハッスルVIP席…10,000円／アリーナS席…5,000円／2F自由席…3,000円

●高田モンスター軍出場予定選手
インリン様／FUJIN&RAIJIN／ブルーノ・ヘラクレス／キング・ギラファ／ジャイアント・シルバ／モンスター℃／モンスターJ／鬼蜘蛛／ザ・ピラニアン・モンスター／ザ・フライング・ヴァンパイア／アリシンZ／ブランカX
住森サンダー・モリガー&エル・キッコロ／YUKINE／クレイジーモンキーユウユウ&アイアイ／ジョナサン・コーチンマン／冷凍マンモスマン／エミャリアエンコ・ミャードル／ビホウ・ドー／車団 KITI&NAOMI／テン・ムスタング他、NEW強豪モンスター（一部変更の可能性あり）

●ハッスル軍出場予定選手
小川直也／川田利明／大谷晋二郎／田中将斗／カズ・ハヤシ／黒田哲宏／崔領二／石狩太一／ハッスル仮面レッド、ブルー、イエローピンク
Erica／マーガレット／レイザーラモンHG

ハッスルマニアへカウントダウン!!

◎ハッスル・ハウスvol.10 [後楽園ホール]

★2005年10月27日（木） 開場18:00／開演19:00（予定）
★入場料（税込） ハッスルVIP席…10,000円／ハッスル軍応援シート…5,000円／モンスター軍応援シート…5,000円／スタンドS席…5,000円／スタンドA席…3,000円
★11月3日（祝・木）ハッスルマニア・横浜アリーナ」とのお得なセットチケットも同時発売。
ハッスルVIPセット…15,000円（通常20,000円＜5,000円お得）／Sセット…8,000円（通常10,000円＜2,000円お得）

※セットチケットには『セット』『割引』などの表示がされます。入場券は、それぞれの大会前に納券されます。支払いは一括入金です。

★発売開始 9月11日（日）10時～ 一斉発売

◎ハッスル13 [青森県産業会館]

★2005年10月30日（木）
★お問い合わせ
ドリームステージエンターテインメント TEL.03-5464-1531

プロレス史をくつがえす超ド級イベント ハッスル・マニア開催決定!!

◎ハッスル・マニア2005〈仮称〉 [横浜アリーナ]

★2005年11月3日（祝・木） 開場15:00／開演16:00（予定）
★入場料（税込） ハッスルVIP・最前列…20,000円（特典：ハッスルマニアグッズ付き）／ハッスルVIP席…10,000円（特典：ハッスルグッズ付き）／ハッスル花道シート…5,000円／S席…5,000円／スタンドA席…3,000円／セイザーX応援シート…3,000円（特典：応援グッズ付き）／スタンド自由席…3,000円
★10月27日（木）ハッスル・ハウスVOL.10・後楽園ホール」とのお得なセットチケットも同時発売。
ハッスルVIPセット…15,000円（通常20,000円＜5,000円お得）／Sセット…8,000円（通常10,000円＜2,000円お得）

※セットチケットには『セット』『割引』などの表示がされます。入場券は、それぞれの大会前に納券されます。支払いは一括入金です。

★発売開始 9月11日（日）10時～ 一斉発売

ハッスルが、イメージガールを大募集！

ハッスル関連のイベントを幅広くPRし、いままで以上にハッスルさせたいという女の子、出て来いや――ッ！

【募集内容】ハッスルイメージガールの募集
【応募資格】健康で爽やかな女性（年齢制限なし）
【応募方法】全身写真及び顔写真1枚（3ヵ月以内に撮影したもの）にプロフィール（名前、住所、生年月日、連絡先、身長、体重、スリーサイズ、趣味、特技、自己PR）を添えて郵送にて。
★応募先 東京都港区北青山3-12-9花茂ビル3F 株式会社ドリームステージエンターテインメント『ハッスルイメージガール』募集係まで。
【選考方法】書類審査後、面接にて選定。
【募集期間】締切は8月26日（金）まで。
【結果の通知方法】合格者には電話にて連絡。
【合格者の仕事】ハッスルイメージガールとして、雑誌、TV等マスコミに向け幅広くハッスルをPRする。
★お問い合わせ
ドリームステージエンターテインメント TEL.03-5464-1531

ハッスル軍が笹原GMに不信任案提出!!

9・8後楽園でGMの座をかけ、笹原vs草間が実現!!



ハッスル軍の主力選手の血判がズラリ並んだ、「笹原GMの退任を要求する」血判状。ハッスル仮面全メンバーも、名と判を連ねている。

衆議院解散選挙で日本国内が大きく揺れ動く8月上旬。ハッスル内部にも巨大な激震が走った！ 8月11日、DSE事務所にて、笹原GMによる9月シリーズの記者会見が行われる最中、突然、中村カントクが登場。笹原GMに「もうあなたのことをGMとは思っていません」と切り出した。先日のハッスル大阪大会でのこと、〝インリン様のムチは身体の一部〟〝ムチがロープにかかっていた〟という主張を認め、川田がインリンから3カウントを奪ったにも関わらず、無効試合裁定をした笹原GMに不服を表明し、決別宣言したのだ。そして〝キャプテン・ハッスル〟小川にも許可を取った、ハッスル軍の「笹原GM不信任案の血判状」を公開。さらに中村カントクは新GMとして、草間政一・某老舗団体前社長を招き入れた。草間氏は「笹原君はまだお若い。マネージメントについても素人。ただ、GMたるもの経営のプロでなければならない。そういう意味では（笹原君は）失格かも。そこで、某団体を1年で黒字転換させた実績のある私に白羽の矢が立った。私がGMに就任した暁には、1年以内に東京ドームをフルハウスにして、大規模な海外ツアーもやりましょう」と大胆な所信表明演説。カントクは草間氏に向かって、「草間GM、9月8日の後楽園では、新戦力レイザーラモンHGのあっと驚く発表をします！」と発言。この態度に逆ギレした笹原GMは「わかりました！ 私と草間さんでGMの座をかけて勝負しましょう。あなたが勝ったら、私はGMを辞めます！」と発言。勝負方法は未定ながら、9月8日後楽園ホールにて「笹原GMvs草間氏」が電撃決定した。草間氏は「笹原君が気の毒なんでアシスタントGMで使ってあげてもいいよ」と最後まで余裕の表情。一方、笹原GMは中村カントクと草間氏が退室した後も「あのハゲとバカントクだけは……」と怒りがおさまらない。草間氏との対決、中村カントクへの制裁措置は一体、どうなるのか？ 9月8日の後楽園の後楽園で、君も〝清き一票〟を投じよう！

ハッスル軍に新ヒーロー「セイザーX」が加入!!

ハッスル・マニアで「セイザーX応援シート」を設置!!

8月14日、東京・代々木公園で行われた「ハッスル夏祭り～COUNTDOWNハッスルマニア～」のオープニングに〝キャプテン・ハッスル〟小川直也が登場。「ハッスル夏祭り」実行委員長として笹原GMから紹介を受けると、炎天下にもかかわらず「ハッスルしてるか!?」と元気いっぱい。続けて小川は「今日はいつもと違ってちびっ子が多いじゃねえか。じつはちびっ子が喜ぶようなスペシャルなヤツがハッスル軍に加入したんだよ。ここで発表するぞ！」と客席を見渡し、なぜか「出てこ～い、ドラえもん!!」と絶叫。残念ながら、このリング横でイベントを行っていたドラえもんは出てこない。「ちょっとスベったな～」と頭をかいた小川は、改めて「出てこ～い、セイザーX！」と呼び込んだ。セイザーXとは、テレビ東京で10月1日（土）朝9時から放送される超星神シリーズ『超星艦隊セイザーX』だ。現在、子供たちに大人気の『ジャスティライザー』の後に放送される特撮ヒーローで、12月17日からは映画も公開される。リングに上がった、ライオセイザー、イーグルセイザー、ビートルセイザーの3人はハッスル軍へ加入することを発表。小川は「日本のプロレス界を守るのは俺。地球の平和を守るのは彼らだ。これから一緒に闘っていくぞ！ よろしくお願いします」と握手して、気勢を上げ、「ちびっ子ファンをハッスルに連れてきてくれよな」とお願いすることも忘れなかった。最後はセイザーXと一緒に「3、2、1、ハッスル!!」とハッスルポーズで締めて見せた。




ライオセイザーとガッチリ握手する小川。ハッスルマニアではセイザーX応援シートも設置される予定だ。



『超星艦隊セイザーX』の映画は12月17日東宝洋画系ロードショー（同時上映：『劇場版 甲虫王者ムシキング～グレイテストチャンピオンへの道～』）
©2005セイザーXムービープロジェクト



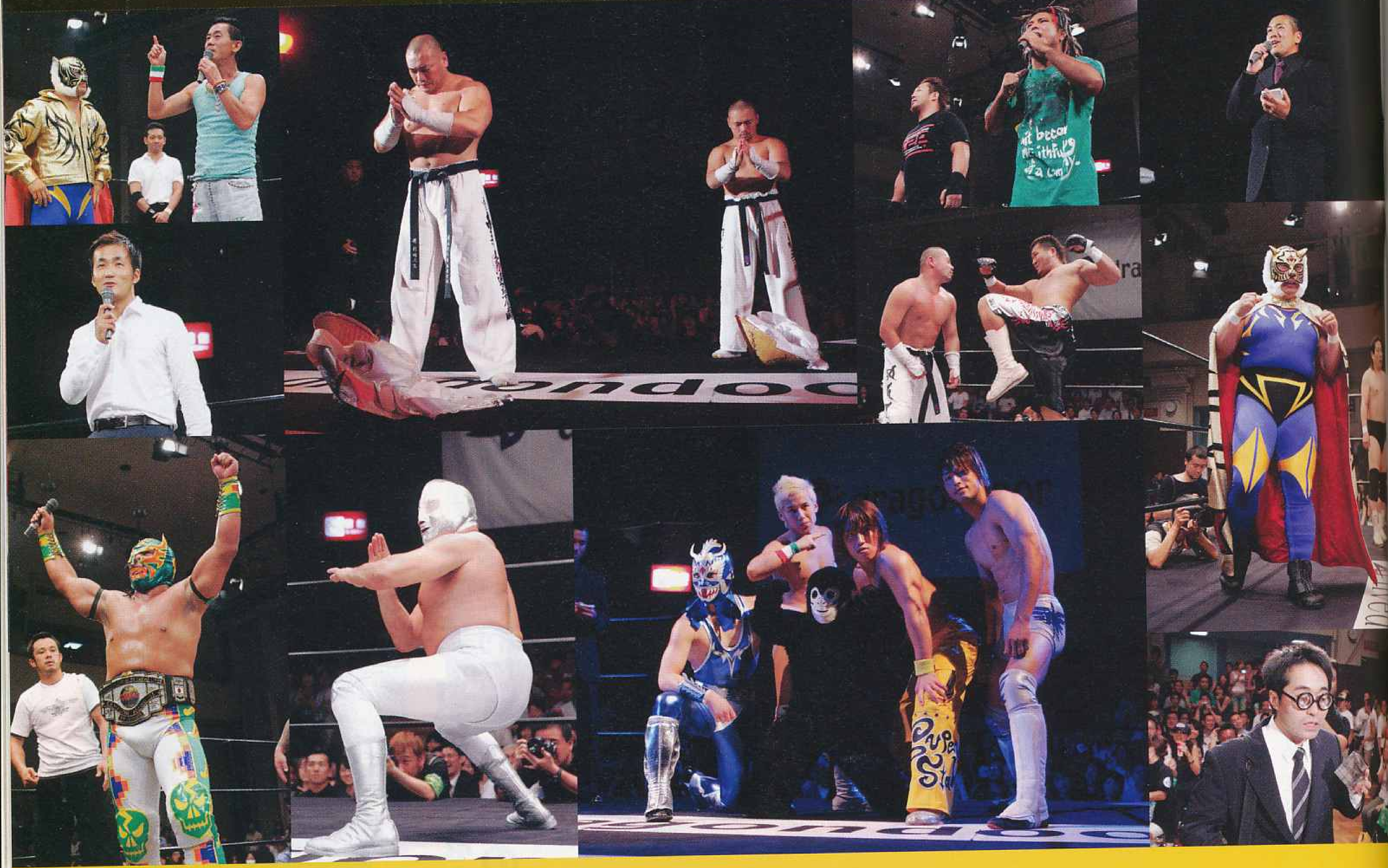


2代目
ザ・タイガー
ウルティモ・ドラゴン／闘龍門校長

俺の人生自体が“想定外のプロレス”ですから

聞き手／堀江ガンツ
撮影／乾晋也
designed by matsu（TwoThree）

2005年7月19日、遂にベールを脱いだ
dragon door（ドラゴンドア）の"正体"



7月19日、後楽園ホールでついにベールを脱いだ〝想定外のプロレス〟dragon door。昨年『DRAGON GATE』を解雇された悪冠一色ら元・闘龍門(T2P)勢が中心の出場メンバーと、ホリエモン率いるライブドアとのウソから出た真のような業務提携など、旗揚げ前から話題を呼んでいたこのイベント。その実態はいかなるものなのか？　〝陰のプロデューサー〟と噂された〝ウルティモ・ドラゴン校長〟こと2代目ザ・タイガーを直撃した。

――今日はついにスタートした『dragondoor』について、いろいろうかがって行こうと思うんですけど、あの大会はやっぱり浅井さんプロデュースと考えてもいいんでしょうか？

ザ・タイガー　いや、よくそういうふうに聞かれるんですけど実際は違うんですよ。

――あ、違うんですか？　それはとりあえず表向きは違うというわけじゃなしに？（笑）。

ザ・タイガー　違います違います（笑）。そもそも最初は俺がメキシコでずっと『闘龍門』を続けてやってたんですけど、それを動かすにあたって日本での連絡先がほしかったんですよね。

――メキシコにある闘龍門の日本の窓口が。

ザ・タイガー　そうです。だから、その連絡先をたまたま自分のことをよく知ってくれている川畑（憲昭、『dragondoor』代表）に頼んだんですよ。そしたら、しばらくして「自分たちで（興行を）やってみたい」って話を持ってきたんですよ。だから俺も「いいよ、手伝うよ」って。

――日本での有限会社・闘龍門の代表である川畑さんがやる興行を浅井さんが手伝うという感じなわけですか。

ザ・タイガー　そうです。今回の興行もほとんど川畑の尽力によるものですから。

――『dragondoor』って名前は浅井さんが決めたって聞いてますけど。

ザ・タイガー　そうですね。小じんまりやんなさいって意味を込めて、向こうが〝GATE〟で大きいから〝door〟でいいんじゃない、と（笑）。それを発表したときに、たまたまライブドアさんの方から話があったりしたんで、これもタイミングがよかったんですよね。あれも川畑が直接やりとりしてた話なんで、俺は本当に関係ないですから。俺が出てきたのは、最初の記者会見で「ちょっと川畑じゃ記事にするのに弱い」ってことだったんで、自分が呼ばれたっていう（笑）。だから実際、提携の細かい内容とかは俺は全然知らないんですよ。あれは完全に川畑の手柄というか、彼がやった仕事ですからね。1人でよくやったと思いますよ。

――じゃあ、浅井さんは今回の大会にはどういう絡み方をされたんですか？

ザ・タイガー　だからアドバイザーですよね。例えば外人のチョイスとか。ただ外人に関しても川畑が出したいって言った選手を尊重したし。まあ、メキシコにいる生徒たち

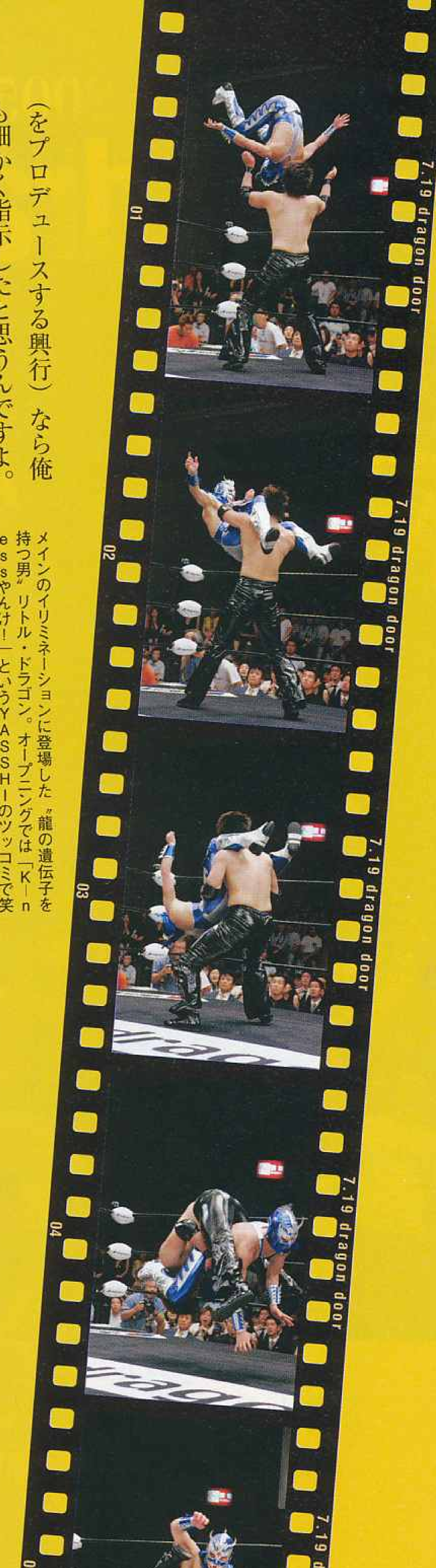
（をプロデュースする興行）なら俺も細かく指示したと思うんですよ。でも自主的にやりたいって言い出したことなんだから、自分たちでやれよと。試合のテンポとかを考えても、やっぱり若い連中で決めた方がいいと思ったんですよ。まあ、自分の試合に関しては自分でプロデュースしましたけどね。

――浅井さんの試合は当初は佐山さんと組んでウルトラマン&ソラール組とやるはずだったのが、急遽、ウルティモ・ゲレーロとのシングルマッチになりましたよね。

ザ・タイガー 本当、ミスティコがあんなことになっちゃって……。でも、慌てても仕方のないことなんでね。お客さんにとって、どういう責任の取り方がいいかなと考えましたよ。それで試合前日にCMLLの社長にウルティモ・ゲレーロとのタイトルマッチにすることをOKしてもらって。でも、そうすると俺がミスティコの代役みたいなもんじゃないですか。自分がミスティコ目当てのお客さんを満足させられるかなっていうことが不安でしたけどね。あとは俺って最近、ハードバンプらしいハードバンプとってなかったんですよ。だからちゃんと試合に耐えられるかなっていう（笑）。

――ウルティモ・ゲレーロはホントにハードな試合やりますからね。

ザ・タイガー だからミスティコが来れないってなって、いろいろ手をつくしたんですけど、最終的には大会3日前ぐらい前にこれはダメだなって結論になったんですよ。でも、そのとき慌てても来れないものは来れないじゃないですか。要は役所が決めることですからね。だからそこで頭を切り替えましたね。ミスティコをどうにかしなきゃじゃなく、それに代わる興行にしないとって。それに、今回は彼を呼べなくてよかったんじゃないかと思う部分も正直あるんですよ。



メインのイリミネーションに登場した〝龍の遺伝子を持つ男〟リトル・ドラゴン。オープニングでは「Kenessやんけ！」というYASSHIのツッコミで笑われたが、試合では超神技ウルトラ・ドラゴン・ラナで観客の度肝を抜いてみせた。



元T2Pのバタやんことdragon door川畑代表が、試合前に沈痛な表情でミスティコの来日中止を陳謝。しかし、彼の力なくしてdragondoorはなかったのだ。

ミスティコが呼べなかったのは結果的に良かったのかもしれない

――呼べなくてよかったですか⁉

ザ・タイガー だって『闘龍門JAPAN』の旗揚げ戦のときも俺がケガして出られなかったじゃないですか。それでマグナムとかCIMAが出てきたんで。あれと一緒で、今回も「神様がミスティコ呼ぶなということなんだな」と、勝手にいい方に解釈してます。

――確かにそうかもしれないですね。ミスティコが来てたらリトル・ドラゴンとか、ミラニート・コレクションa.t.のインパクトっていうのは落ちてたかもしれないですね。ただ、大会前はミスティコの代役を立てるために、『DRAGON GATE』に選手の貸し出しを頼んだって話もありましたけど、あれはどういったことなんですか？

ザ・タイガー あれは、川畑が岡村さん（DRAGON GATE社長）に別件で電話して話したときに、ポロッとその話が出ちゃったらしいんですよ。俺はその程度のことだと聞いてるんですけどね。決して川畑が貸してくれって言ったんじゃないって聞いてますけど。

――ちょっとした認識のズレから後楽園にマグナムさんが現れて、「絶縁宣言」にまでなってしまうのは、外野から見ると、規模は違うにしろ、昔の新日本と全日本やWWFとWCWみたいである意味面白い部分もありますけどね（笑）。

ザ・タイガー だからまあ、それでまた盛り上がればいいんじゃないですか（笑）。俺からしたら『dragondoor』も『DRAGON GATE』も、ケンカしてもいいし、ライバルっていうのでもいいと思うんですよ。それでお互いがよくなっていったらいいんじゃないですか。俺にとっては自分の遺伝子が増えれば、それにこしたことはないですからね。

――浅井さん自身は『DRAGON GATE』に対しては対抗心と

7.19 dragondoor 旗揚げ戦REVIEW



○U・ゲレーロvs2代目ザ・タイガー×
［12分9秒／エビ固め］
ミスティコ来日中止で急遽実現したこの試合は、ゲレーロがマスクを剥いだ隙にフォール。試合後、タイガーはラ・ケブラーダでうっぷんを晴らした。



○タイガー&浜田vsウルトラマン&ソラール×
［11分44秒／逆さ押さえ込み］
タイガー全盛時代のライバルたちが勢揃いしたタッグマッチは、"最年少"（！）タイガーが逆さ押さえこみで勝つと言う嫌というほど時代を感じさせる結末。



○大鷲透&高木vs新崎人生&野崎真実×
［14分50秒／エビ固め］
大阪プロレスで大暴れする大鷲&ジェットがみちプロの人生&真実（人生のミニ版）と対戦。真実が小さな身体で大活躍するも、大鷲ののど輪に轟沈。



○E・タイガーvsジョー・リーダー×
［11分3秒／リングアウト］
dragondoor記念すべき第1試合は、破天荒なルチャドール同士の対決。場外への450スプッシュなど、難易度の高い技で観客の度肝を抜いた。

かは、あったりしないんですか？

ザ・タイガー　ないない（笑）。自分の目標とか、人生観とか、年齢も全然ちがうじゃないですか。自分がこれからやっていきたいことは、やっぱりメキシコを拠点にして、今年の5月の興行みたいなのをもっと大きくして、ルチャ・リブレをもっと広めていって、そういうことをやっていきたいんですよね。だからちょっとフィールドが違うんですよ。日本は日本で、若い連中は若い連中でやってもらえればそれが一番いいんじゃないですか。

――ただ、先日の『dragondoor』の興行は浅井イズムが色濃く感じられたというか、かつての『闘龍門JAPAN』のメンバーがやってる『DRAGON GATE』よりも『闘龍門』らしいという声が多かったですよ。

ザ・タイガー　そうなんですか？　僕はいま『DRAGON GATE』がどういう興行やってるかわからないですけど、自分の場合は過程がどうであれ、辻褄さえ合ってお客さんが喜んでくれればいいと思ってますから。

――『dragondoor』旗揚げ戦っていうのはT2Pとか闘龍門Xとかいろんなものの辻褄が合ったみたいな感じはありましたよね。

ザ・タイガー　そういう意味でも浅井が一から十までやったんじゃないかとか言われるんですけど、やってないって。しかも俺、どこがどう違うとか言われてもわからないんですよね。

――要は、サプライズの仕掛け方とか、細部にこだわるところが"浅井的"なんじゃないかと。

ザ・タイガー　まぁ、近くにいると自然と似てくるんじゃないですか。今回、ポスターに「想定外のプロレス」とかあったじゃないですか。あれなんだ？　って言ったら、ライブドアの堀江さんが「想定内のできごとですから」って言うのが口癖なんだって。だからそれをパクって「想定外」っていう言葉を使ったらしいですけど、僕のプロレス人生自体が想定外ですからね（笑）。

――たしかにそうかもしれないですね（笑）。

ザ・タイガー　ケガがあって、手術ミスがあって……。だから、私生活も含めて、想定外っていうのは自分の中では逆に想定内だったりするんですよね。だから興行にしても、自分が絡んでるとハプニングが起こることが多いんですよ。

――こちら側も、浅井さんだったら何かを起こすんだろうなという期待感はあるんですよね。

ザ・タイガー　今回に関しても、自分がフルプロデュースしたらもっとすごいことになってますからね、たぶん。でも逆にいまは見る側にいる方が楽しいです。自分の中では浅井プロデュースも第2章に入ったというか。あとは後継者つくることですよ。自分の旬は終わったと思うんです。だから今度は若い人たちの感覚でプロデュースできる人を探してるんですけど、なかなか出てこないんですよね。生まれ育った環境も関わってきますからね。日本でガチガチの生活してたらなかなかそういうのはできないですから。

――その点、浅井さんは世界中を回って、いろんなものを吸収して。

ザ・タイガー　俺ってすぐその環境に慣れちゃうんですよ。こないだ新日本の興行でイタリア行ったときも、向こうに着いたその日の晩に、ミラノの統括プロモーターたちと、2時間ぐらいアホ話してましたから。それでイタリア語も結構覚えましたし。ミラノから飛び立つときは、気分はもう3分の1ぐらいイタリア人になってましたよ。

――また早いですね（笑）。浅井さんはそういう海外での活躍という



『DRAGONGATE』を退団しアメリカでプロレス修行中のミラノ・コレクションA.T.が"観客として"来場。メイン終了後は近藤修司に「照井（ミラノの本名）、お前の私服姿なんて誰も見たくねぇんだよ」と挑発されたが、リングには上がらず、チケットを投げつけ会場を後にした。dragon door川畑代表はミラノの参戦を熱望し、ミラノ自身も参戦したい意思は持っているようだが……。はたしてミラノがこのリングに上がれる日は来るのか!?



これぞ"想定外"!? マグナムTOKYO現る!!

新たなスタートである旗揚げ戦開始前、後楽園入り口にざわめきが起きた。dragondoor旗揚げ戦の試合開始前に、なんとDRAGON GATEのマグナムTOKYOがご祝儀と花を持ち、B×Bハルクとともに来場。しかし、dragondoor代表・川畑氏に「裏に回ってくれ」と言われたことでマグナムが激怒。後楽園ホール下で報道陣を前に「ミスティコが出られないからって、うちにオファーがあったんですよ。それなら俺が出ようって言ったんだけど、昨日、携帯の留守電に『検討した結果、代わりの選手が見つかった』って入ってて。オファーのかけかたもなってないし、お祝いに来たのに裏から入れって何だよ。こういうことするからプロレス界は社会的に信用されないんだよ。年間150も興行打てるようになったら対抗戦やって全勝してやるよ」と怒りをぶちまけた。

ウルティモ・ドラゴン＝浅井嘉浩から卒業しスタートしたDRAGON GATEの始まりを思えば、マグナムの登場はファンにとっても"想定外"な出来事。双方の見解の違いが溝を作ってしまった感のあるこの"事件"。今後の両団体（イベント）は対立した形になってしまうのか……。

【3vs4イリミネーションマッチ】
近藤修司&"brother" YASSHI & 菅原拓也 vs 石森太一&飯伏幸太&ミラニート・コレクションa.t&リトル・ドラゴン

ミラニート［17分44秒／ナターレビアンコ］YASSII
菅原［18分57秒、体固め］ミラニート
菅原［22分42秒／体固め］飯伏
ドラゴン［25分32秒／ウルトラ・ドラゴン・ラナ］菅原
近藤［25分37秒／エビ固め］ドラゴン
近藤［27分11秒／片エビ固め］石森



試合は全日本を主戦場にする近藤が"メジャー"なムードをたっぷりと漂わせて石森に圧勝。それにしても悪冠一色の人気はすさまじいばかり。嫌われ者からファンがしびれるヒールになっていた。



ミラノの小ちゃい版ミラニートが"ミニゴリラ"ベネツィアを連れて日本初登場。本家そっくりな動きで会場を多いにわかせたが、まだ"透明犬"ミケーレの扱いがつたないところがいい。



昨年末『DRAGON GATE』解雇されて以来の試合となった菅原は、ふてぶてしいヒールから、クールなヒールへと変貌。近藤ともYASSHIとも違う独特なムードを醸し出していた。

「ドア」も「ゲート」もケンカして盛り上がればいいんじゃないですか

のが目立ってますけど、逆に日本でやりたいこととかないんですか?

ザ・タイガー　とりあえずは川畑たちがそこそこ一人歩きできるぐらいまでは見ようかなというぐらいですかね。早く彼らが独り立ちできるような状況をつくってあげたいですよ。

――9月9日の『dragondoor』後楽園大会はどんなことやるか考えてるんですか?

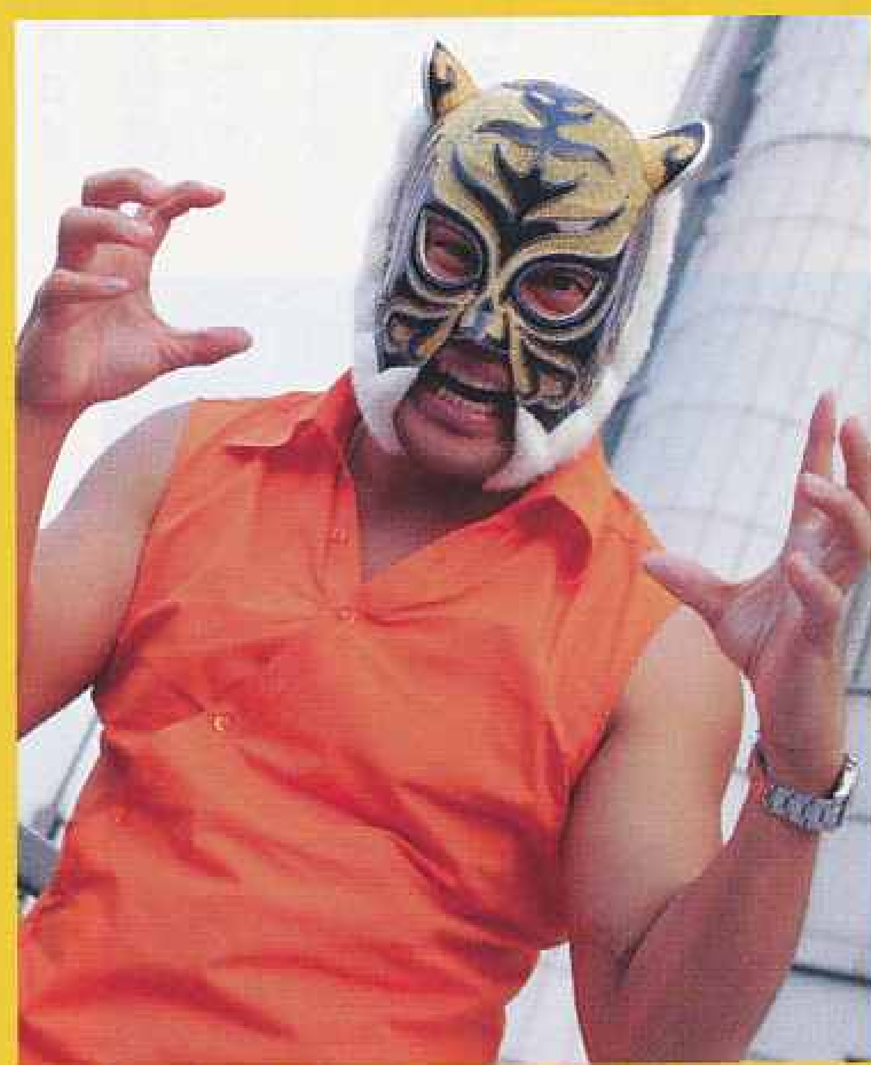
ザ・タイガー　前回の延長でいいんじゃないですかね。始めたばっかりなんで、ストーリー展開もまだできないですし。次の大会を終わったぐらいで動きが出てくるとは思うんですけど。まあ、そのへんをちょこっとアドバイスしてあげようかなって。川畑がどこまでできるかわからないですけど、一人歩きできるように導いてあげたいですね。それにね、プロレスはあくまで闘いがテーマなんで。T2PがよみがえってマグナムTOKYOが会場に来て、ケンカなんかしてね。それで業界が盛り上がるっていうのもいいんじゃないですか。まあ、とりあえずこの間の後楽園はお客さん満員だったんで、維持していくことは大切ですよね。あいつら次第ですけど。

――浅井さん自身がこれから仕掛けたいことはないんですか?

ザ・タイガー　ないですよ。いままで仕事で突っ走ってたんで、ちょっとゆっくりさせてくださいよ。来年でもう40歳なんで（笑）。

――え!?　もう40歳ですか。

ザ・タイガー　いままでずっと試合とプロデュースばっかりだったんで、ちょっと違うことしてもいいかなって。でも、来年5月のアレナ・メヒコでの自主興行は何か仕掛けますよ。お客さんも1万人は入れたいですね。



2代目ザ・タイガー■本名・浅井嘉浩。S41年12月12日、名古屋出身。選手としてメキシコ、アメリカ、日本で大活躍し、一方でプロレス学校『闘龍門』校長として、多くの選手を育てる。昨年7月に現『DRAGON GATE』を離れ、9月にはウルティモ・ドラゴンのキャラクターも封印。今年から日本では2代目ザ・タイガーとしてdragondoorやリアル・ジャパンのリングで活躍。

――今年の大会はたしか8000人でしたよね?

ザ・タイガー　それよりは絶対入りますよ。あんまり大きいことは言いたくないですけど、CMLLとの合同開催とかにしたいんです。だから、かなりの大物レスラーを投入しようとも思ってますし。アメリカからも選手を呼んだりとか。そしてやっぱり目標は超満員です。

――超満員だとあそこは何人入るんですか?

ザ・タイガー　1万6000人ですね。

――そんなに入るんですか!

ザ・タイガー　でも俺入るんじゃないかといいますよ。CMLLもスポンサーも今年の大会を評価してくれてるんで、来年は複数のスポンサーの合同興行になると思うんですよ。日本から見に来る価値がある大会にしますから。ターザン山本!さんも来るって言ってますからね。

――60歳にしてメキシコに渡りますか（笑）。

ザ・タイガー　でも60歳にしてはじめてルチャを体験するって面白いですよ、きっと。たぶんカルチャーショック受けます。こうも違うかってプロレスですからね。だからとりあえずの目標はそれですよ。自分は名古屋の人間なんで実現しそうにないことはやらないですから（笑）。

――そのへんは堅いと（笑）。

ザ・タイガー　満員じゃなくても大コケすることはないと思いますよ。そういう感じでのんびりやっていきたいですよね。そんな感じです。

――わかりました。では、9月の『dragondoor』、メキシコでの『闘龍門』、両方に期待しています!　今日はありがとうございました。

【05年8月5日／水道橋・東京ドームホテルにて収録】



[dragondoor 旗揚げ戦観戦記]

大柳錦也とベネツィア そして出されなかった必殺技に愛をこめて

文／ささきぃ

〝想定外のプロレス〟と、大会ポスターにも大きく打ち出されたdragondoor旗揚げ大会。大会を見て、もっとも想定外だったのは観客の盛り上がりっぷりだった。大柳錦也を見て（マイクで説明されて、ではない。見て、である）あんなに盛り上がる観客たちが後楽園を埋めるほど居るとは、今日の今日まで想像もしていなかった。後楽園をビッシリ埋める以上の人たちが、心のどこかに大柳やベネツィアを住まわせて生きていたという事実は、バカバカしくて嬉しい。

高木省吾の「う〜・ジェット!」やら、菅原拓也への大声援、ついでに言えば初代タイガーのやや唐突な丸め込みに対する「えーっ」の声など、とにかく反応の良いお客さんがそろっていた。元悪冠一色勢の人気はもうひとつ想定外で、連係が決まった瞬間、さらにはクライマックスのブラックボックスによる介入に大声援。そこはブーイングするところである。

最後は近藤修司が石森太二をキングコング・ラリアットでブチのめして勝利。圧倒的な力の差を見せながらも、石森の必殺技であるスーパースター・エルボーは封じられて出されていない。まだ、あの技さえ出せれば勝てる。そんな期待を未来へつなぐことが出来るわけだ。そんな〝必殺技〟へのこだわりも、素晴らしいと思う。必殺技を返すことで〝強さ〟や〝熱戦〟やら〝気持ち〟やらをアピールするのは、その時は効果的でも、いつしかそのプロレスラー本人を壊し、プロレスそのものを壊してしまう。

元C－MAX、T2PのJUN＝小川内潤がリングアナデビュー。受験生キャラだった大柳錦也がリクルートスーツで登場、ミラノと違って透明犬ミケーレをうまく操れないミラニート、ミラニートのぎこちなさを見て頭を抱えるミラノ、ベネツィアの登場。そして2枚マスクを破られたから仕方なく（?）ウルティモ&タイガーのハーフ&ハーフマスクをかぶる校長。すべて小ネタといえば小ネタなのだが、細部まで気の利いた情景が妙に懐かしく感じた。その徹底した感は、DRAGONGATEにも通じている〝闘龍門らしさ〟であり、両団体の優れた点のひとつであり、今をもって悪冠一色勢を支持する人が多かった理由のひとつだと私は思う。気づく人は少ないかもしれないが、それを発見した瞬間は嬉しくて、なぜだかその団体のことをまた少し好きになるのだ。

激動の歴史に埋もれた感のあったT2Pだが、T2Pは観る者の心、そして選手たちの心の中でたしかに生きていた。そして、形を変えて再び出会った彼らと、彼らのプロレスには時を超えた今になっても、懐かしさ以上の面白さがあった。



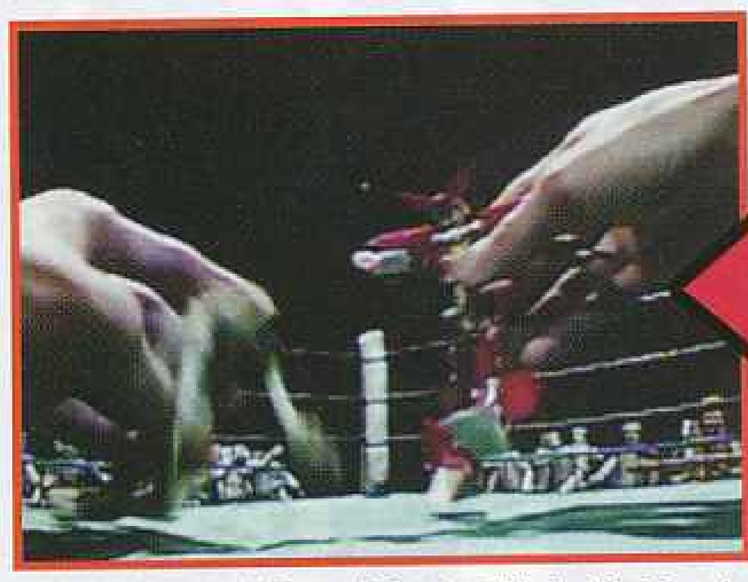
カミロボとは

紙で作られた身長15cm～20cm程度のロボットファイター。各部に関節を備え、自在に操れる。両手にカミロボを持ち、専用リングでぶつけ、投げ、技を掛け合う。27年間で作者の安居氏により約200体のカミロボが誕生し、いくつも団体が生まれ、カミロボの歴史が刻まれてきた。カミロボは公開を前提としたものでなく、純粋に「自分で遊ぶために」作られたもの。そこには誰もが持つひとり遊びの楽しさが広がっている。

プロレスはついにここまで来た！ 史上初！『紙が闘う』プロレス興行が大実現!!

MAX LEAGUE
KAMI-ROBO ENTERTAINMENT

http://www.kami-robo.com/



試合の様子は会場のビジョンで拡大される。オンイムで実況、効果音つきのライブ中継だ。



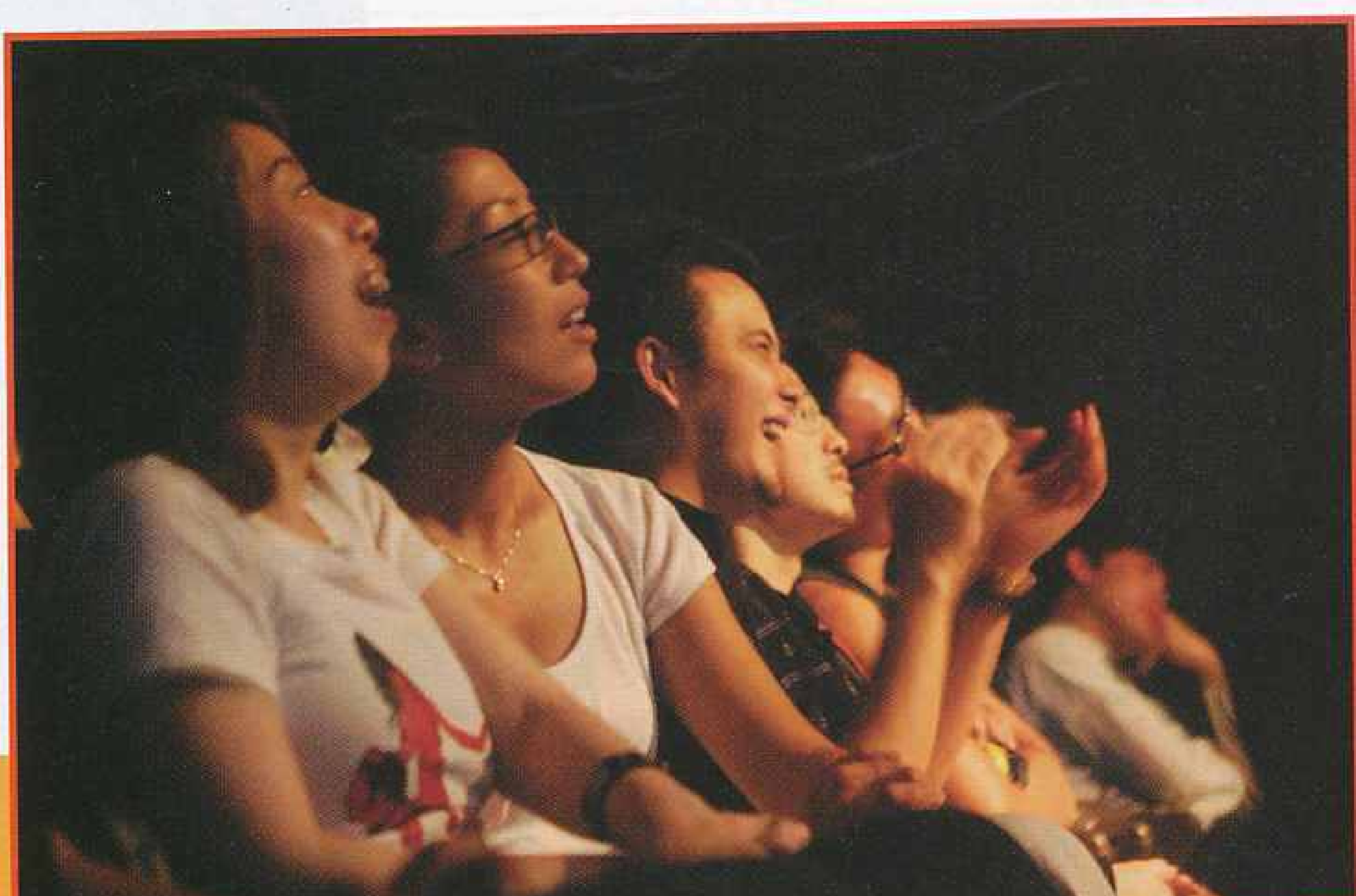
安居氏は、試合に集中するため客席に背中を向け、ヘッドホン着用で試合に挑んだ。



この人が『カミロボ』作者の安居智博氏。『カミロボ』の試合を披露するため、後楽園のリングの上に登場した。

紙のロボット人形キャラクター『カミロボ』が、なんとプロレス興行として、真夏の後楽園ホールを完全ジャック！　みちのくプロレス協力の『カミロボプロレス』が提供されただけでなく、作者の手によって「紙の人形が闘う様」を観戦するという奇想天外なイベントだった。まさにこれこそ「紙のプロレス」だ！

構成／真下義之　写真／平工幸雄



満員の客席は、本物のプロレスを見るように「ひとり遊び」を観戦。試合の展開に歓声や拍手が発生した。

MAX LEAGUE

キャラクター・マッチメイク・プロデュース……プロレスファン『究極の妄想』が現実化!!

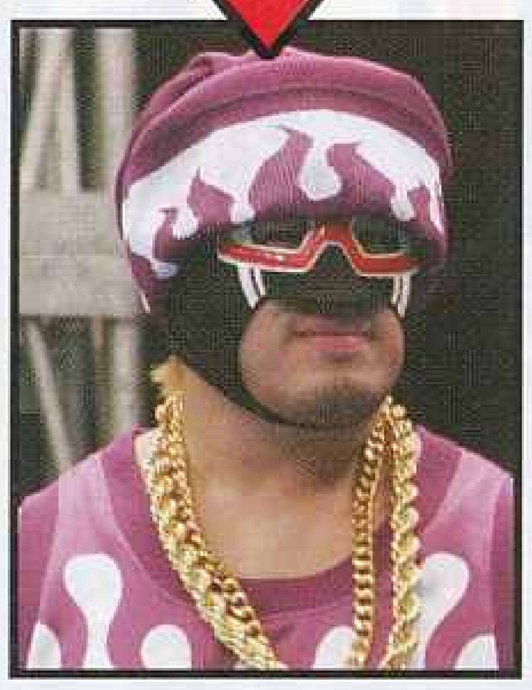


巨大カミロボ人形が見守る異空間の中、みちのくプロレス提供の『カミロボプロレス』がスタート。



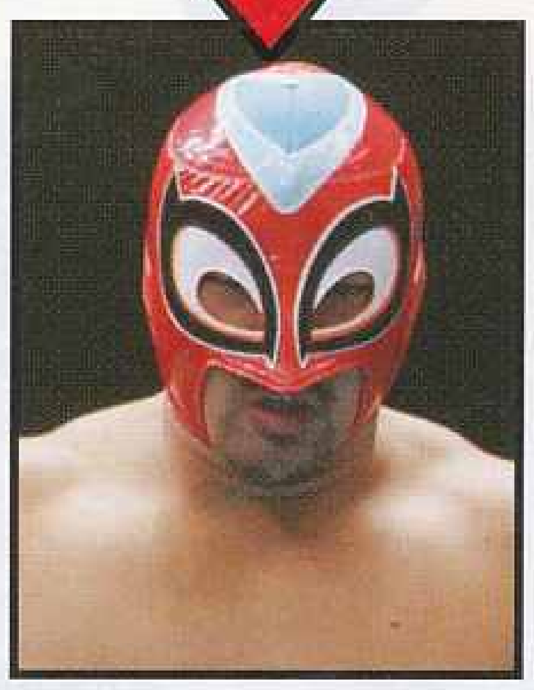
マジンジュニア

昭和の大物悪者レスラー魔王の息子。ケンカに明け暮れ、ストリートレスラー軍団を結成。後、移籍したメジャー団体で、親子タッグを組まされ、離脱。より過激な戦いを求めデスマッチ団体へ参戦。



ザ・オーレ

デビュー時からインディー団体を転々とし、メジャー団体のトップレスラーとの対戦で実力を伸ばす。その後、破格の高待遇でエンターテインメント系の団体に移籍、チャンピオンとして不動の地位を築く。



バードマン

メキシコ系空中殺法の団体を立ち上げデビュー。その新鮮な戦い方で一躍人気者になるが、団体は崩壊し、流浪の日々を送る。エンターテインメント系の団体に立ち上げから参加。現在は大物スターの1人に成長。





特別ゲストの新崎人生とともに勝名乗りをあげる、バードマン。会場の人気を独占！



人生は十八番の「拝み渡り」をザ・オーレに対して敢行。会場からはどよめきが。



試合中盤、バードマンのトペ・コンヒーロが大爆発し、場内はヒートアップ。

「今日も暑い日になりそうです……」。テレビのアナウンサーの声に超あおられる、夏真っ盛りの8月3日。約15センチの紙人形『カミロボ』がプロレスを繰り広げる異質なイベントが開催された。

『カミロボ』とは、作者の安居智博氏（造型師）が幼少時よりコツコツ作り続けた「紙のロボット人形」。初代タイガーマスクを起点とするプロレスブームの影響を受けた、この「ひとり遊び」を安居氏は27年間も続け、つくった人形は200体以上。キン肉マン消しゴムや怪獣人形など、誰もが一度は経験したことのある「ひとり遊び」からスタートした『カミロボ』は、昨年より、グッズやDVD、展覧会などで注目を集め、今回なんと聖地・後楽園ホールで自主興行が開催された。

会場内は3面をつぶした斬新なレイアウト。タレントの長州小力が登場して客席をあっためた後、作者の安居氏自身がリングに上がり、観衆の前で「ひとり遊び」を披露。リング上にちゃぶ台が配置され、安居氏は客席に背中を向けて試合に集中。両手をつかったカミロボの試合は大型ビジョンに拡大され、実況つきで進行する。まるで他人の部屋をのぞき見をしているような不思議な気分……。だが、プロレスファンのつぼをついたリアリティある攻防の続出で、観客席は静かに熱を帯びはじめる。第1試合のネイルボードデスマッチでは、インディー団体のデスマッチのような「釘板に激突しそうで・しない」ムーブ、ムーンサルトプレスの自爆でヒザを抱えて痛がるレスラーの細かい動き。第2試合の世界ヘビー級選手権試合では、締め技に苦しみつつ「ロープに届きそうで届かない」展開や、敵の得意技を出し合う「掟破り」な攻防、カウント2・9の連続……。試合後にはヒールによる「暗黒面への勧誘」まで披露する細かい演出。プロレスのビッグマッチの定石を踏襲した試合内容に拍手が沸き起こる。照れくさそうに歓声



『カミロボ・マックスリーグ・エンターテインメントショー』の興行ポスター。クラシックなデザインが話題を呼んだ。

『カミロボ』が聖地・後楽園をジャック!!



歴代のカミロボレスラーたちがディスプレイされたショーケースを食いいるように見つめる子供たち。



グッズ売り場では、バンダイのキャラクターグッズ。エイベックスのDVDなどが販売された。



会場の側面には、カミロボワールドの巨大な構成図が引き延ばされていた。



全試合終了後、安居氏を囲み、安斎肇氏、渡辺祐氏、水野裕子氏の4人でトークショウが行われた。



安居智博　コメント
今回はじめて「人前でやる」ので最初は緊張で手が震えました(笑)。でもスタートしたら、試合に集中できました。試合内容はうまくいったとは思うんですが、ビデオを見てみないと。ただ気持ちが先走ってしまって、もうすこし綺麗に技をかけたかったです。その後の「みちのくプロレス」さんの試合では、いち観客として最前列で興奮して見ていたんですけど、途中でバードマンのピンチに子供たちが「バードマン」コールを送ってるのを聞いて、思わず泣きそうになりました。ここ一週間くらい、異常な緊張で酒の量がめちゃめちゃ増えてたんですけど、終わってみたらこんなに楽しんでいいのか？　というくらい楽しみましたね。今日は本当にありがとうございました。



長州小力　コメント
(長州口調で)全体的にいい試合だったよ。ま、いろんな団体がある中で、この団体も全日、新日、ノア。その次に来るんじゃないの?　その次が西口プロレスか。あとはW-1で健介負かすからさ!　(8/3収録)



渡辺祐　コメント
安居さんはすごいシャイなんで、今日は大丈夫か?と思ったんですが、見事やり抜いてくれました。これで、カミロボ界もさらに発展するんじゃないかと。今日は第1歩だと思いますんで、これからもご注目ください。



安斎肇　コメント
子供のころからの夢を実現させている姿に思わず涙してしまいました。僕も何かひとつくらい夢を実現させたいな、なんて大げさですけど。正直、うらやましいです。



水野裕子　コメント
人間も出来ないような動きを、紙のロボットがやってのける、それを動かす安居さんの手に感動しました。プロレスとかロボットとか関係なく、楽しめるし、もっともっとたくさんの人に知ってほしいと思います。

なぜ『カミロボ』興行を行ったのか？ 主催者、青木克憲氏に直撃。

――今回、後楽園ホールという場所を選ばれた理由は？

青木　今年の春から、『カミロボ』の展覧会をやって、「紙の人形」ということは広まったんですが、その世界観で「プロレスをやってる」という所まで到達しなかった。そこで『カミロボプロレス』の興行で、世界観をきちんと伝えたかったので、格闘技の聖地・後楽園ホールを選んだんです。今後、他の場所でやるとしても、最初はここからスタートすることが大事かなと。興行の計画は1年前からあったんですが、後楽園ホールは過密状態で、キャンセル待ちしてまして、急遽、2ヶ月前に決まったんです。でも、結果的にこのタイミングはよかったかな。

――第2弾は考えていらっしゃいますか？

青木　うまく行けば、今後もやりたいですね。今回はプロモーション要素も強かったんですが、次からは興行単体として成り立つように考えて、東京や地方でやりたいです。あと今後の展開として、アメリカ進出の話も進んでいて、来年、初上陸の予定です。

――拝見していて、キャラクターのプレゼンテーションにプロレスが非常に有効だな？　と感じたんですが。

青木　安居さんがプロレスという世界観を選んでくれていて良かったです。プロレスって非現実と現実が入り交じったジャンル。今回の興行もプロレスとしても「ありかな」と思ってた。そういう意味でも、プロレスの奥深さを実感してます。今日も思ってた以上にお客さんが来てくれて、内容も素晴らしくて、個人的には120%以上の満足度。今後は、『カミロボ』だけでなく、『カミロボプロレス』も広めていけるといいなと思っています。



クリエイティブディレクター。バタフライ・ストローク・株式會社代表取締役。カミロボ、コペットなどのプロデュースとディレクション。広告、グラフィック、映像など活動範囲は広く多岐にわたる。最近の仕事にコカコーラ「クーマクールサマー」、グローブ2などがある。9月13日より大阪dddギャラリーで個展開催。バードマンも見られる。

を浴びる安居氏。ひとり遊びがエンターテインメントとして認知された、世界初の瞬間だろう。

休憩時間、歴代カミロボの展示を食い入るように眺める子供たち。この光景を見た時点でプロモーションイベントとしての側面での成功を確信する。

休憩明けには、みちのくプロレスによる『カミロボプロレス』が提供。安居氏は「自分の考えたキャラがプロレスをする」というファンの究極の夢も叶えてしまった。カミロボに変身したマジンジュニア、ザ・オーレ組のあと、人気キャラ、バードマンが登場、ここに新崎人生が加わり試合開始。バードマンは、敵のラフファイトに苦しみつつ「がんばれバードマン!」という子供たちの声援に押され、ウラカンラナやトペ・コンヒーロを爆発。最後は人生の念仏パワーボムから、完璧なバードマンプレスで勝利を奪取、普段はプロレスを見なれない観客や子供たちも魅了してみせた。

「カミロボに命をふきこむ」という前提で実施された今イベント。ここではプロレスがプロレスをよく知らない観客や子供たちに『カミロボ』の世界を伝えるプレゼンツールとして見事に機能していたし、老若男女にメッセージ発信できる優秀なハードウエアとしてのプロレスの強度を再確認させられた。そして、80年代初頭、初代タイガーマスクというマンガとのメディアミックスで沸騰したプロレスブーム。安居少年を熱狂させ、「ひとりあそび」に没入するきっかけとなったキャラクタープロレスの世界感。今年、33歳の安居氏と『カミロボ』のスタッフたちはその少年の日の夢を文字通り「自分の手で」05年の夏に具現化し、子供たちにもう一度、見事にリプレゼンテーションしてみせた。(真下義之)



イベント終了後、オリジナルのカミロボを安居さんに見せにきた子供ファンたち。カミロボ魂は連鎖する。



9・3　DEEP有明大会で
現役アイドルが“女王様”しなしさとこと激突!!

チョロの　マニアックな視点で女子格闘技を考察する!
女子バーネット

女ッスル、女ッスル!!　というわけで始まったチョロの女子バーネット。今回は、9・3DEEPディファ有明大会で、“女子格の女王様”しなしさとこ相手にデビュー戦を行うホリプロ所属の現役アイドル岡本範子を直撃！　競歩でアテネを目指し、現在は“乱入王”入江秀忠のもと猛特訓に励む岡本範子とは一体何者なのか？　メイド服にオープンフィンガーという萌え萌えスタイルの岡本にアタック!!

“萌える闘魂”
岡本範子
（キングダム卑弥呼）

——当たり前だけど、さすが現役アイドル！　ホント可愛いッスね!!

岡本　いやいやいや、そんなことないです。

——そもそも、なんでアイドルが格闘技を始めようと思ったの？

岡本　キッカケは入江さんがやってる道場の大会でMCの仕事をさせていただいたんですよ。で、その前、国士舘大学の学生の頃は、まだ多摩の永山ってところにキングダムの道場があったんです。

——そこはボクも行ったことありますよ。

岡本　私、学生の頃は競歩やってたんですけど、走るというか、歩くコースの近くに道場があったんで朝練してる姿を見たりとかしてて。その頃から気になってましたね。で、そこの道場のオープンイベントがあって、無料開放してるときに入江さんと知り合ったんです。

——また凄い人と知り合っちゃいましたね（笑）。

岡本　そうですね（笑）。それで話をしたら入江さんも国士舘出身で、先輩後輩ってことで仲良しになったんです。で、私、大学卒業までは競歩でオリンピックを目指してやってたんですけど、アテネにも行けなくて、卒業とともに芸能の仕事を始めたんですよ。

——アテネを目指してる人はたくさんいると思うんだけど、結構惜しいところまで行ったみたいですね。

岡本　はい。かなり頑張ったんで。

——自分の周りでは競歩をやってる人っていなかったんだけど、競歩を始めるキッカケって、なんだったの？

岡本　高校時代、陸上部だったんですけど、取りあえず走るのが遅かったんですよ。でも誰よりも練習してたのを高校の先生が見ててくれて、何か機会を与えてあげたいっていうことで「歩いてみないか？」って競歩を勧められたんです。それで歩いてみたらピッタリはまって（笑）。

——ピッタリはまりましたか（笑）。ちなみに高校時代の記録ってどれぐらい？

岡本　全国で3番目までいきました。

——うわっ、凄いじゃないですか！　競歩って、どんな練習するもんなの？

岡本　ひたすら歩きます（笑）。400メートルとかを50本とか速いペースで歩いたり、距離をゆっくり歩いたり。あとフルマラソン競歩っていうのもあって、42・195キロを競歩で歩いたりするんですよ。

——じゃあスタミナは凄いんじゃない？

岡本　スタミナは自信ありますね。

——でも競歩でオリンピックを目指してたのが、なんで今度はアイドルになろうと思ったの？

岡本　私、小っちゃい頃からずっとなりたくて。でも小学生のときにイジメみたいなのに遭ったんです。小学校の卒業文集に「女優になりたい」って書いたらバカにされて。それから容姿に凄くコンプレックスを持つようになっちゃって。

——「お前なんか女優になれないよ」とか言われたの？

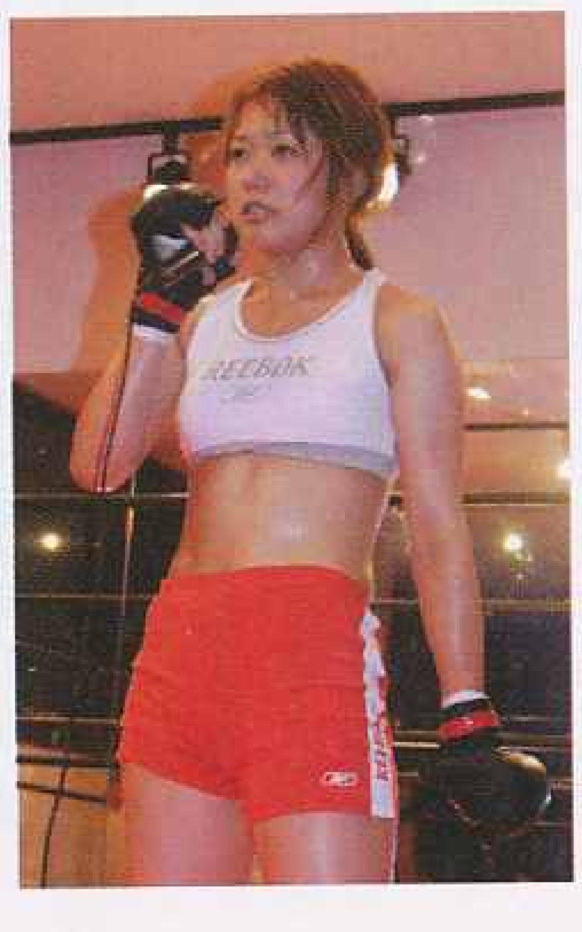
岡本　そんな感じで。じゃあ、得意だったスポーツで活躍しようと思って、髪も短くして男として生きようって、それからずっとやってきたんです。

——それがまた、再びアイドルを目指したのはどうして？

岡本　大学時代、進路を考えるときに、オーディション番組とか、こっそり見てて。みんな実業団に行くか企業に就職するかだったんで、ホント誰にも言えなかったんですよ。

——たしか、岡本さんって教師の資格も持ってるんだよね？

岡本　はい。あと救急救命士の資格も取ったので、消防関係への進路もあったんですけど、いろいろ考えた中で何がやりたいかって一人になって考えたときに、芸能だったりアイドルだったりしたんですよ。



8・6入江夏祭りで師匠の入江秀忠とエキシビジョンで対戦した岡本範子。キャリア&体格差のある入江相手に必死に食らいつく岡本の姿に観客からは大声援。試合後、感極まった岡本は涙を浮かべ「強くなりたいです！」

やるからには中途半端な気持ちで臨みたくないし、勝つ気でぶつかります！

OKAMOTO NORIKO

——さっきは容姿に自信が持てなかったって言ってたけど、ホントは結構モテたんじゃない？

岡本　いや、全然モテなかったです。大学時代もすっぴんでベリーショートで通ってたんで。「カワイイ」って言われたこともなかったんですけど、やりたいって思った瞬間にエクステを付けたりして。

——一時期は男として生きようと思ったけど、一転して今度は女らしくと。

岡本　そうです。それ以来、周りからは気が狂ったって評判で（笑）。

——ガハハハハ！　ちなみに、ホリプロへはどういう経緯で？

岡本　オーディションです。卒業して一年ぐらいフリーでやって、いろいろ受けた中でホリプロに受かったんです。

——別に番組の企画とかで格闘技をやるわけじゃないよね？

岡本　違います。最初に言いましたけど、格闘技の大会のMCを初めてやったらボロボロだったんですよ。「これは一回自分でやってみないと選手の気持ちがわからない」って思って。で、最初はある程度、選手の気持ちがわかるぐらいまでやってみようと思ったんですけど、そしたら「試合に出てみろ。試合の緊張感はまた違うから」って言われて、エキシビジョンマッチを一回やってみたんです。

——相手は女の子？

岡本　そうです。練習も一緒にやってる子なんですけど、実際に人前で闘ってみたら普段の練習とは、また違った感覚で。

——アイドルだけに、人に見られるってことが快感っていうのもあるんじゃない？

岡本　あ～、それもあるかもしれない……っていうか間違いなくあります（笑）。それから練習に行く頻度も多くなって楽しくなってきた頃に、「大っきい試合をしてみよう。相手は誰になるかわかんないけど、一回死ぬ気でぶつかってみるのもいいんじゃない？」って入江さんに言われて。

——で、気がついたら、相手はしなしさんに決まっていたと（笑）。

岡本　そうなんです。でも最初は「相手は、しなしさんかもしれないけど、恐らく違う選手になると思う」って聞いてたんですけどね。私、総合格闘技を始めていろんな雑誌とか試合を見て、かっこいいなあって憧れてたのがしなしさんで、HPもチェックしてるんですよ。

——しなしさんのHPは、かなり充実して面白いもんね。

岡本　ですよね（笑）。しなしさんのイベントも行きたいなあって思ったんですけど。そしたら対戦相手が、しなしさんに決まって……凄く複雑ですね。嬉しいのと、強いってわかってるから怖いのと、ホント凄く悩みました。

——しなしさんはしなしさんでマジギレしてるし（笑）。

岡本　……本気で怒ってましたよね？

——「腕の一本や二本は置いていってもらう」って本気で言ってましたね。現在のキャリアや実力差を考えると、しなし勝利を予想する人がほとんどだと思うんだけど。

岡本　そうかもしれません。ただ私は、やるからには中途半端な気持ちで臨みたくないし、勝つ気で全力でぶつかろうって、決まってからはそれしか考えてないです。それに、あまり周りの人と話さないようにしてるんです。話すと「死なないように頑張れよ」とか「生きて帰ってこられたらいいね」とか「秒殺だけはやめてね」とか、全部マイナスなんですよね。

——そんな話は試合前には聞きたくないよね。

岡本　聞きたくないです！　とにかく試合に向けて、自分ができることを一生懸命やるだけなんで。

——具体的には、どんな練習をしてるの？

岡本　もちろん基礎もやってますけど、時間がないので、実戦で、こうなったらこう動くっていう感じで、入江さんに泣かされながら練習してます（笑）。

——基本的に負けず嫌いなんですかね？

岡本　負けるのは大ッ嫌いです！

——タップは絶対したくない？

岡本　はい！　いつも「落ちるからタップしろ」って入江さんに言われるんですけど、嫌なんですよ。

——わかりやすくていいなぁ（笑）。

岡本　腕も極められて「折れるぞ！」って言われるんですけど、なんとかして抜ける方法とかないかなって考えて。

——いままでケンカとかの経験はあるの？

岡本　ケンカはなかったですね。

——格闘技を習ってから変化はあった？

岡本　アッ！　そういえば、最近、痴漢を撃退したんですよ。

——それって電車とかで？

岡本　そうです。最近2人倒したんです。私、普段はアイドルらしく短いスカートだったりワンピースだったりするから、大人しそうに見られるみたいで、スカートの中に手を突っ込んでくるヤツがいるんですよ。

——ス、スカートの中に手!?　そんな、ふざけたヤツがいるんだ？

岡本　いるんです（怒）。撃退したのは若い人とおじさんだったんですけど、私、競歩をやってたっていうのもあって足の力には凄く自信があるんですよ。

——それはわかるけど、痴漢撃退と関係あるの？

岡本　痴漢がスカートの中に手を入れて来たら、その手をよいしょと足の力で挟むんです。するともう手が抜けないんで、挟んだまま「ちょっと何やってんの？」って。

——ガハハハハ！　笑うとこじゃないけど、凄い撃退法ですね！（笑）。

岡本　もう一人も足で挟んだら、逃げられなくて転んじゃって、そのあと土下座して謝らせました。泣いてましたけどね。

——格闘技を習う前は、そこまでできなかったと？

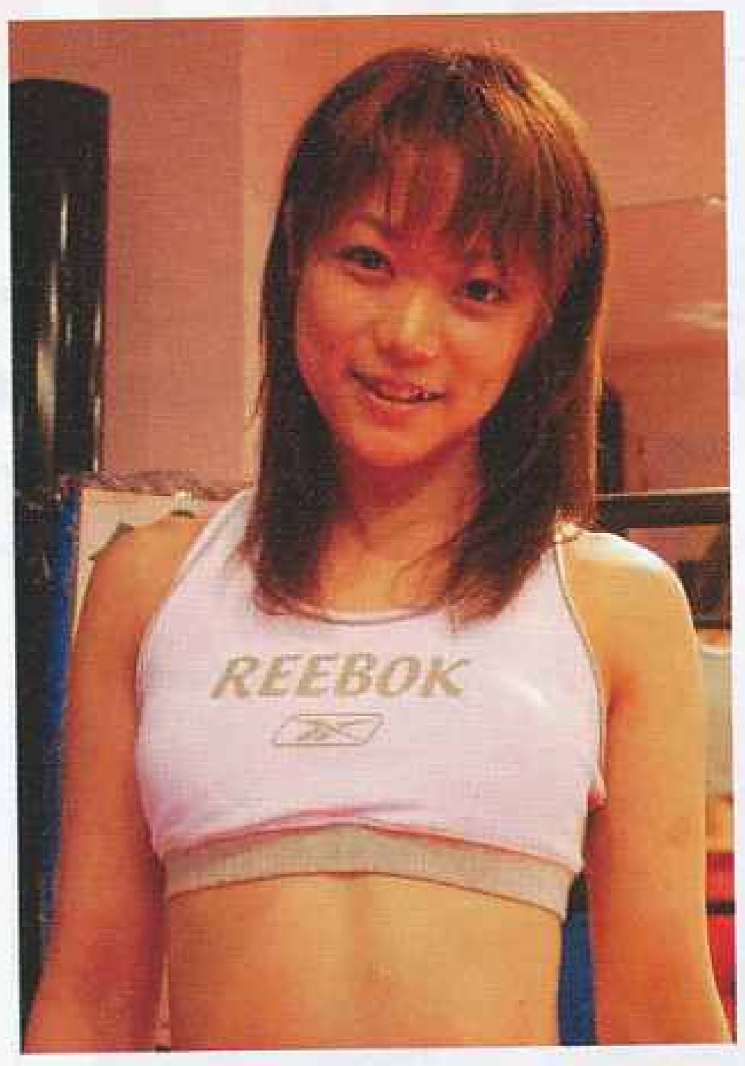
岡本　できなかったです。いままでも痴漢に怒鳴ったことはあるんですけど、格闘技をやる前は逃げられちゃったりしたんで。いまはしっかり謝らせます。

——それは頼もしい！　じゃあ最後に現時点での得意技を教えてください！

岡本　……いまは内緒で。当日のお楽しみってことで（ニコッ）。

——期待してます！　もう試合まで1ヶ月切っちゃったけど、ホント頑張ってね!!

岡本　頑張ります！　私、格闘技をナメてないし、しなしさんのことも凄い尊敬してるんで、当日まで本気で練習して試合に挑みます！　『紙プロ』読者の皆さん、応援よろしくお願いします!!



おかもと・のりこ
■1981年7月21日、新潟県出身。趣味：温泉めぐり、入浴剤集め、飲酒。特技：競歩（インカレ2位）、剣道2段、応急処置、読経（僧侶の資格あり）。153cm、体重秘密。B82W58H85
ブログ→http://dorubako.net/blog/main/noriko/

『売名行為は許せない！』しなし、マジギレ！



格闘技経験2ヵ月ちょっとの現役アイドルとの対戦が決まった、しなしさとこは記者会見でマジギレ。コメントは以下の通り。怖ッ!「ハッキリ言って凄く怒ってます。ホントはこんなカードやりたくないんですけど。少し格闘技をかじっただけの人が『格闘技やってます』って感じでリングに上がるのはムカつくし、そういうことがあるから女子格闘技はナメられるんだと思う。私には売名行為にしか思えない。手加減する必要もないし、売名行為に付き合ってられないんで、ホント中途半端な気持ちで来るんだったら容赦しない。腕の一本や二本置いてってもらうつもりなんで、その辺は覚悟してください!!」とピシャリ。「僕はしなしさとこ姫の大ファンなんですが、最近さとこ姫の記事がないのが気になります。ファンとしましては凄く楽しみなんです。何とぞ、しなしさとこ姫の記事復活をお願い致します。心より期待しています」とのお葉書を女子バーネット宛に送ってきてくれた世田谷区の世良様。今回はこれぐらいでお許しを!

『DEEP20th IMPACT』

■日時　9月3日（土）試合開始17:00
■会場　東京・ディファ有明
■しなしさとこvs岡本範子
※その他カードはP116参照
■問　DEEP事務局 052-339-0303

『G-SHOOTO plus 03』

■日時　9月16日（金）試合開始18:30
■会場　東京・北沢タウンホール
■対戦カード　クラスC十公式戦6～7試合
■問　STUFF 03-5984-3209
★G-SHOOTO出場選手募集!!
■出場資格　18歳以上の感染症のない健康優良な女性で、スポーツ保険に加入している選手
■応募方法　出場希望選手は、返信用封筒を同封し、必要事項を全て記入、押印、写真貼付した参加申込書を下記大会事務局まで申し込むこと。
■締切　9月10日（土）必着
■問　パレストラ東京 03-5984-3209

現役アイドルと練習ができるのはここだけ!?
総合格闘技ジム・キングダムエルガイツ、オフィシャルジム案内

護身術、体力強化、ダイエットに最適！　ウエイト施設、本格的リング、サンドバック、レスリングマット完備！　スポーツバー、カイロプラクティック、プロ格闘家コースあり。内弟子での入門希望者募集中!!

■入会金　10000円
■月謝　一般9000円/女子&学生8000円/子供5000円
■指導員　入江秀忠、他
■住所　東京都多摩市関戸4-8-18 TOHO聖蹟桜ヶ丘ビル5&6F
■練習時間　平日11:00～23:00（月・水・金21:00～）
★初心者コース　火・木・土
★女子部　火・木19:30～20:30
■問　042-376-1639
■HP　http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

Kamipro Times

カミプロタイムス

～マット界の明日を考えるニュースまとめ読みコーナー～

見せつけろプロレス！　見極めろ夏！（by田中ケロちゃん）というわけで、今月号の誌面からは残念ながら漏れてしまったものの、見逃せない、聞き逃せないニュースを総まくりするコーナーが始まりました！　以前やってたニュースコーナー『紙の新聞』が、タイトルが横文字になって帰ってきたと思って頂ければ幸いです。マット界の明日を誰よりも憂う本誌が厳選してお届けします。また、語録で振り返る一ヶ月をテーマに名言BEST5をチョイスしました。

構成／坂井ノブ

茨城県大洗の海岸でビーチレスリング選手権開催！





7月31日、茨城県大洗サンビーチで「第1回全日本ビーチレスリング選手権」が行われた。

ビーチレスリングとは日本レスリング協会が新たに打ち出したビーチで行うレスリングで、制限時間2分2本勝負で行われ、投げで手やヒザを下に付いたり、場外へ押し出されると負けとなる新たなるレスリング種目だ。

世代別の3カテゴリーが重量級と軽量級に分かれてトーナメントが行われ、アマチュアレスリングの強豪や腕自慢がひしめく中、〝フジメグ〟こと藤井恵が女子シニア軽量級で準優勝、永田裕志の激励を受けたプロレスラー・浜田文子も女子シニア重量級で準優勝を果たした。フジメグは日本テレビの番組「スポーツうすぐる」の企画で出場し、同じチームからは『紙プロRADICAL』にも登場した深谷愛も出場したが初戦敗退だった。

男子シニア重量級には新日本プロレスの練習生・平澤光秀が出場。1回戦、2回戦を勝ち抜いたが、3回戦は相手がこう着したまま攻め切れないまま判定負けを喫した。敗戦後、観戦に訪れていた中西学とシドニー五輪・銀メダリストの永田克彦に「すいませんでした」と頭を下げた平澤。中西は「変則ルールのアマレスだからしゃあない」と言葉をかけ、取材陣には「こいつのデビューを楽しみにしといて。足腰の強さは分かってくれたでしょ」と語った。平澤は「新日本の看板を背負って出させて頂いているからには負けられない。先輩に申し訳ないです。すみませんでした」と報道陣にも頭を下げた。

その他にはアニマル浜口の息子・剛史（たかし）も出場するが初戦敗退。アマレスでの輝かしい実績を誇るジョーダンズ三又忠久もCS放送J SPORTSの番組『シーザー魂』の企画で出場した。1回戦はかなり押されたものの疑惑の判定（？）で勝利。2回戦は見事な投げから押さえ込みで一本勝ち。3回戦は体格差もあって敗退した。

砂で足を取られ、アマレスの強豪も次々と姿を消すゲーム性の高い展開（試合内容的には相撲に近い）で午前10時から午後4時まで会場はヒートアップ。アテネ五輪に出場した女子レスリングの伊調姉妹、吉田沙保里、浜口京子もエキシビションマッチに登場して大会に華を添えた。京子ちゃんが出るということは当然、アニマル浜口も来場して「気合だア～!!」と絶叫しまくっていた。藪下めぐみやチョコボール向井との事件で名前を知られ現在は女子格闘家として活躍する黒田エミもエキシビションマッチでジュニアの選手と試合を行った。

そんな中エキシビションマッチに登場した川田は女子ジュニアの選手と対戦して勝利したが、なんと石狩は14歳の男子にストレート負け。試合後、川田と石狩のエキシビジョンマッチが急遽、実現すると川田はブレーンバスターとパワーボムで鉄拳制裁を下した。もちろん、場内は大歓声だった。アニマル浜口との記念撮影にも笑顔で収まった川田は、〝デンジャラスK〟というより〝ハッスルK〟として大ハッスルした。



ドラゴンフリークに朗報です!!
「藤波Jrプロレス入り表明」（東京スポーツ　8月3日付）


藤波Jr
プロレス入り
表明
「お父さんみたいになりたい」

プロレス界に超新星が現れた。8月3日付の『東京スポーツ』によれば、我らが〝ドラゴン〟藤波辰爾の息子・怜於南（れおな）くん（12歳）がプロレス入りを表明したのだ。7月23日の同紙によれば、4年ぶりのG1出場を前に「息子とふざけてプロレスのまねごとをやっていたら、ふとしたことから『この技面白い』と思った」という新技を開発。LEONAスペシャルと名付けられた。プロレス界広しといえど、息子に技をかけられて悶絶する姿がこんなに似合うのは藤波ぐらいのものだ。息子は「お父さんみたいなプロレスラーになりたいです」と大きな夢を胸に抱いており、ドラゴン式呼吸法、雪崩式リングイン、寸止めドラゴンスープレックスなど、絶滅寸前の古典芸能となりつつあるドラゴン殺法に跡継ぎが誕生することになりそうだ。開幕戦の相手カシンは「コンニャク」「東スポで会社のことを知る男」などと書かれたTシャツを着用して徹底的におちょくったが、ドラゴンはグラウンドコブラでキッチリと勝利。ちなみに、G1終了後は、なぜか三沢との一騎打ちをアピールするなど、相変わらずドラゴンぶりは健在。このままの姿勢で生涯現役を貫いて頂きたいものだ。



その他にも、PRIDE武士道のエース・五味隆典やハッスルの笹原GM、草間政一・元新日本プロレス社長、川田利明、石狩太一、木村悟新日本プロレススカウト部長など豪華な顔ぶれが揃い、競技としての可能性はもちろん、プロレス界が垣根を越えて一堂に会する可能性も提示した画期的なイベントとなった。

冬木薫さんが明かした破壊王の最後の言葉

橋本真也さんの急逝の際に最後を看取った冬木薫さんが、この日テレビのワイドショーに出演。心労と過労による体調不良のため、憔悴しきった様子であったが当日のことを振り返った。先月号でもお伝えした通り、橋本さんと冬木薫さんは婚約関係にあったという。

8月1日発売の『週刊大衆』（双葉社）でも当日のことを語っている。

橋本さんが亡くなった7月11日、「寝室を出てきたときから〝手に、なんか力が入らないな〟っていいながら、トイレに行き、戻ってきたとき、右足を引きずっていたんです」「〝オレ、あの、ロレツ回ってない？〟って喋った、その言葉がもう、全然、ロレツが回ってなくて……」と当日の生々しい状況が語られている。これは事実と違う報道が多すぎることに薫さんが心を痛めていたから。

さらに橋本は薫さんが救急車に電話している間に〝もし、オレがプロレスできなくなったら、お前、オレのこと捨てていいよ〟と語りかけ、ベッドに寝かしつけられる瞬間に〝オレ、このままじゃ終わらないよ〟と言葉を発したという。

さらに薫さんは7月28日に橋本さんが心臓の手術を受ける予定になっていたことも明かしている。

今月の名言を総ざらい!!

爆言大将

1 プロレス民営化（大仁田厚）

大仁田が郵政で国会が揺れる中、来年1月にもTV主導のプロレスイベントを立ち上げることを宣言。大のプロレスファンであるタッキー（滝沢秀明）や内山君にも参加を呼びかける。他ジャンルからも幅広く参加選手を集うという意味での「プロレス民営化」。果たしてどうなる?

2 刀のすぐ後ろに神様が現れた。僕も初めてプロレスの神様の涙を見ました。（大谷晋二郎）

悲しみを乗り越えて強くなる男・大谷が、『火祭り』決勝という舞台で初めて師匠・佐々木健介から3カウントを奪って火祭り刀を取り返した。リング上で刀に話しかけたとき、なんと大谷には神様が見えていた!　ちなみに神様は大谷に「ありがとう」と言ったそうだ。

3 なんでお前が怒鳴るんだよ!（ハマコー）

郵政民営化法案の参院本会議で採決を棄権した直後、大仁田はテレビに出演。だがハマコーこと浜田幸一元衆議院議員は議決権を行使しなかった大仁田を批判。大仁田が「僕らは小泉さんの子供。親（小泉総理）を裏切れますか!?」と怒鳴ると、ハマコーも上記の言葉でド迫力の応戦。

4 生きてバンプ取るのはシンドイわ。天国の橋本は助けてくれねえよ（武藤敬司）

7月26日、東京・代々木第二競技場で行われた全日本プロレスの大会で王者・小島聡が、武藤敬司の挑戦を退けて二度目の防衛を果たした。大谷、蝶野と橋本とゆかりの深い2人が“真夏のリーグ戦”を制したが、武藤はベルトに手が届かなかったが、こんな名言を残したのだった。

5 ニュージャパン、カワダ、オマエタチハモウ、ステニ、シンデイル（ジョシュ・バーネット）

『週刊ゴング』（NO.1086）独占スクープ、ジョシュ・バーネットのインタビューにて（ジミー鈴木さん仕事）。川田のG1参戦により、新日本はジョシュを「負傷欠場」と発表したが、本人は真っ向否定。「川田の方が集客力がある」と事後報告を入れる新日本の仕事ぶりに震えが止まらない!

東城えみがAVデビュー プロレス業界に大きな波紋!

両国国技館ではW-1が行われていた8月4日、元JDスターの東城えみが試合で負けたらAVデビューするという「負けたら即AVデビュー　ランバージャックデスマッチ」と題した試合に挑んでいた。ちなみにブリーフ姿の男優がリングを囲む中、相手はドレイク森松。試合に負けた東城に、男優が一斉に襲いかかる。「リングはすべてさらけ出せる場所だけど、今日はさらけ出しすぎた」と語っていた東城だったが、プロレス界からは思わぬ猛反発が発生した。

9日、（有）ジェイディ・スター取締役の山本英夫氏、新木場1stRINGを管理している（株）ウェストコーポレーション代表取締役の西川憲一氏が（有）ジェイディ・スター事務所において記者会見を行った。先日、一部新聞紙上にも掲載された東城えみのアダルトビデオデビューマッチについて、山本氏、西川氏はともに「この行為によりジェイディ・スター及び女子プロレスのイメージを著しく傷つけられた」と、ビデオの販売差し止めおよび、リングマットの張り替え費用を含む損害賠償を請求すると語った。



『週刊大衆』8月15日号

ビデオ製作を行った（株）ナチュラルハイからは、7月にAV撮影のオファーが行われ、（株）ウェストコーポレーションとしてはこの申し出を一度断ったが、1・ジェイディ・スターは一切関知しない　2・場所の特定をしない　3・リング上ではプロレスに関する撮影のみを行い、性行為は行わない　ということを条件に撮影を許可。だが実際にはこの約束は守られることはなく、報道によってジェイディ・スター所属選手たちも心を痛めているという。

西川氏は「通常、プロレスの大会についてはスタッフが必ず立ち会っている。今回、その立ち会いがなかったことについては、こちらのミスだったと思う」とコメント。山本氏は「やってしまったことはしょうがない。東城えみ氏については、もうプロレスを引退した人間なので、どうこう言うつもりはない」としながらも「神聖なリングを汚されたということについては、怒りを感じています。女子プロの価値が下がったと言われないためにも、意識をあげて業界として底上げの努力をしていくしかない」と語った上で、ビデオの販売差し止めのほか、ウェブ上他で閲覧されている画像についても削除要請を行うとした。とはいえ、タブロイド刊紙では一面になったこともありインパクトは大きい。どういう決着になるのか注目だ。

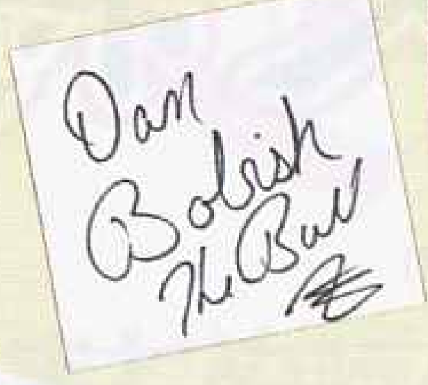
M字にはお釈迦様でも敵わない!!

RADICAL PRESENT

MONSTER

インリン様が読プレコーナーにご光臨! 7/13『ハッスル』福岡大会でリング上を舞ったモンスタードルも超貴重! プレゼントにはそれぞれダンボビ・サイン色紙が強制的に付いてきます!! 【髙田モンスター軍提供】

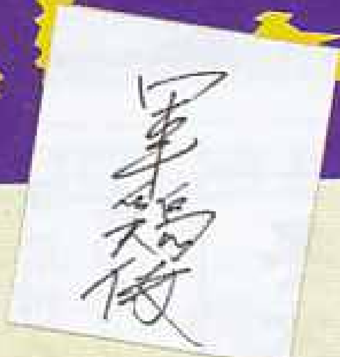








HUSTLE





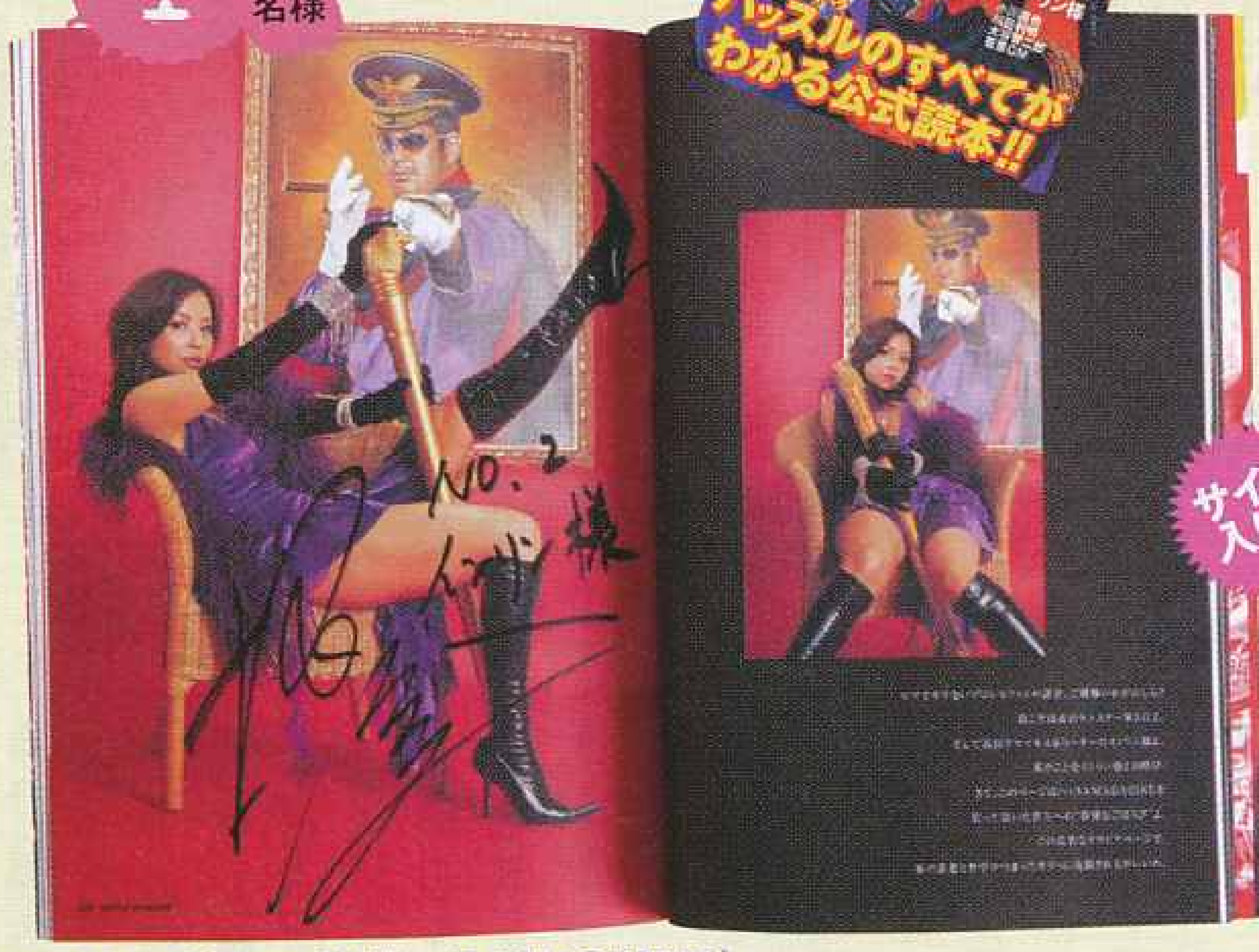
各1名様

01★キャプテン リストバンド (ホワイト) ¥1050 (税込)
02★キャプテン リストバンド (ブラック) ¥1050 (税込)
03★ハッスルK リストバンド ¥1050 (税込)
04★あちち リストバンド ¥1050 (税込)

『ハッスル』から真夏の新商品が登場! プレゼントにはそれぞれ付いて藤井軍鶏侍サイン色紙が強制的に付いてきます!! 【DSE提供】

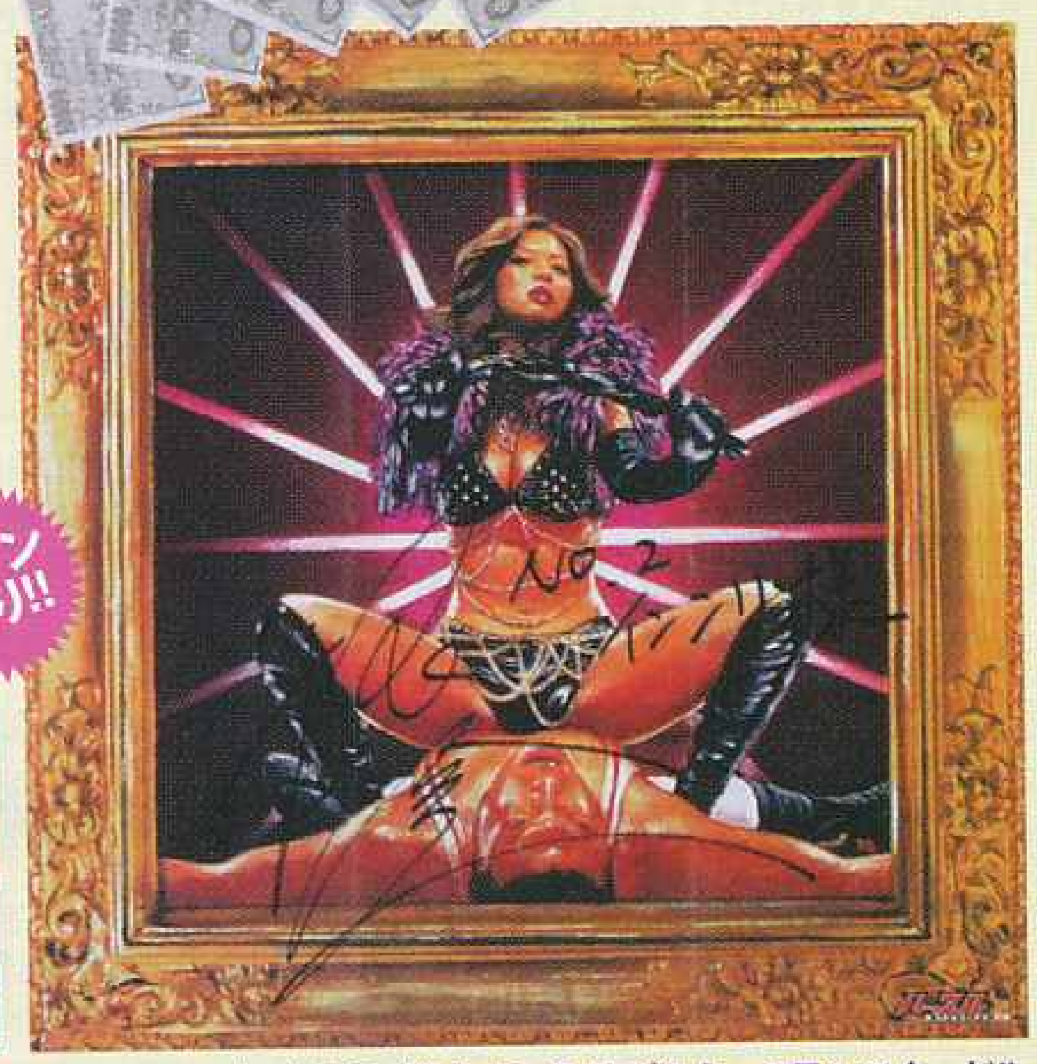
■HP***http://www.hustlehustle.com/

各1名様



★インリン様サイン入り『ハッスルMAGAZINE』

サイン入り!!



★インリン様サイン入りポスター&モンスタードル

W-1

1名様



★W-1カード式プログラム
おかえりWRESTLE-1! カード式パンフは10分の1以上の確率で"選手直筆サイン入り"というアタリ付きだったとか……。ハズレで正直スマン!!

AX BOMBER

紙プロHandにて『大森隆男への50の質問』好評連載中! 好きなアーティストは佐野元春! 中学時代はオール2! 他、衝撃事実が続々登場!! 【大森隆男提供】

サイン入り!!



1名様

★アックスボンバーTシャツ

★大森隆男サイン色紙



G-SHOOTO



18名様

G-SHOOTOストラップの不良品を秘密ルートから入手! 直せるっちゃあ直せる範囲なので気にせず応募だ!! 【G-SHOOTO提供】

HULKAMANIA

スマックのイベントのMCや、『格闘二人祭』でのおまけ出演と大忙しの松澤チョロがハルカマニアの元彼女からレア・アイテムをゲット!! 【松澤チョロの元カノ提供】

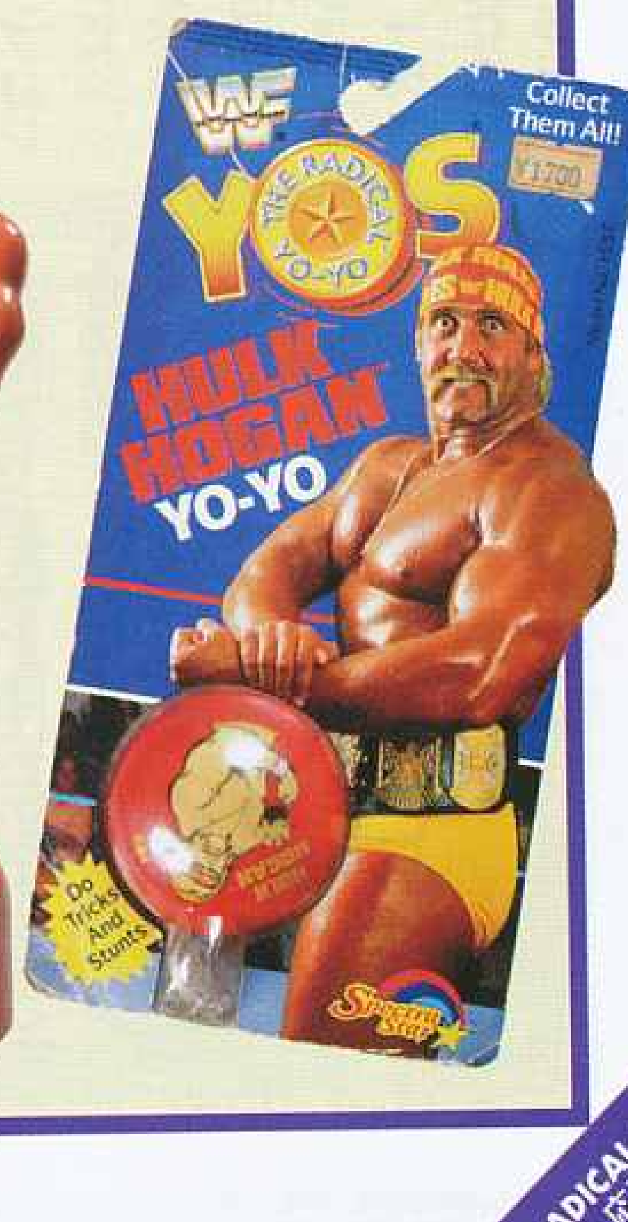
各1名様



★『獣神ライガー』&『千種vsブル』プラモセット



★ホーガンセット



PINKTIGER

各1名様



★スタンリー佐野直Tシャツ
¥2500（税込）S～XXL/ホワイト

自称“インディーのカリスマスター”佐野直Tシャツ完成！ スタンリーこと佐野については『ゴング・プロレスカラー名鑑2005』のP163参照!! 【ピンクタイガー提供】

■CYCOON Graphixx.HP*** http://members3.jcom.home.ne.jp/pnk2000/index04.htm

ART JUNKIE

各1名様



★バンプマン・タンクトップ

★バンプマン・Tシャツ

ZERO1-MAX前座の守護神・富豪2夢路のオフィシャルシャツが登場！ 豪傑らしく豪快に着こなし、そして踊れ!!（タンクトップはL、TシャツはXXL） 【ART JUNKIE TOKYO&富豪2提供】

■TEL***GROUND COBRA　092-711-1021　■HP***http://www.artjunkie.jp/

HAOMING

ハオミンから素敵すぎる新作が！ 心にはいつでも有刺鉄線バット！ フロントのメッセージがプロレス者の魂を揺さぶります。プレゼントはLサイズ 【HAOMING提供】

各1名様



★NOT A SPORT Tシャツ
¥3990（税込）S～XL/ライムグリーン

★SUPER LUCHA Tシャツ
¥3990（税込）S～XL/ホワイト

■HP***http://www.haoming.jp/

ZST

セットで1名様



★所英男サイン入りZST DVDセット

8月8日、ターザン山本!&吉田豪のイベント『格闘二人祭』にゲスト出演した所英男を強引にキャッチし無理矢理サインをいただきました！ “世界の所”インタビューはP82から!! 【所英男提供】

■HP***http://www.zst.jp/

LUTADOR

前号に引き続きルタドール・読プレ第2弾！ スマックTシャツには8月17日の代々木大会で先行発売されたDVD『SMACK GIRL-6』がセットで付いてくる！ ん～ダイナミック!! 【LUTADOR&SMACKGIRL提供】

各1名様



★スマックガール『Dynamic』Tシャツ
¥3500（税込）S～XL/ブラック

★ジャングルファイトTシャツ

★ROCK STAR Tシャツ
¥3500（税込）S～XL/ブラック

■HP***http://www.lutadorfight.com/

QUEST

現在クエストでは20周年大キャンペーンを実施中！ 購入した商品に貼付されている『20th Anniversary』のシール3枚を集めると、もれなくクエストのDVD全182作品のハイライトが収録された特製DVD『クエスト全作品 武道&格闘技』をプレゼント!! 【クエスト提供】

各1名様



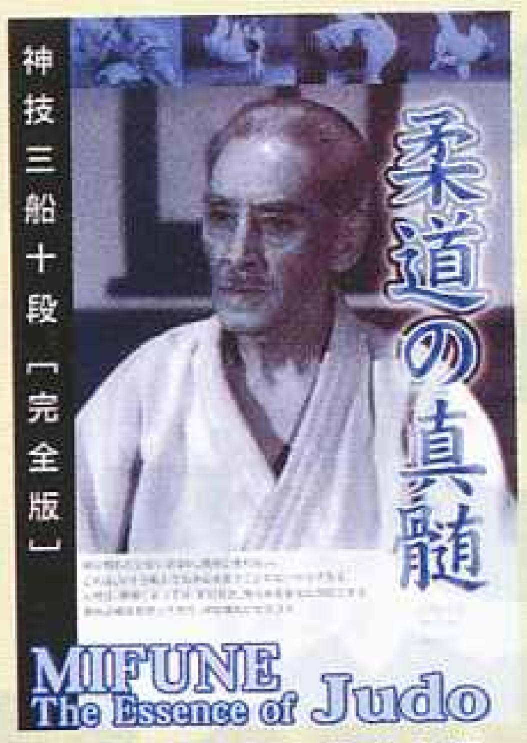
★『久保勇人 実戦拳法・太氣拳』
120分／¥5880（税込）



★『武神館DVDシリーズ 大光明祭'96 剣』
180分／¥5880（税込）



★『呼吸力の神髄 塩田剛三直伝 合気道養神館研修会』
68分／¥5880（税込）



★『神技三船十段完全版 柔道の神髄』
78分／¥5880（税込）



★『ビビアーノ・フェルナンデス 柔術スーパーテクニック』
74分／¥5880（税込）



★『修斗 2005 BEST vol.1』
235分／¥5880（税込）

■TEL***クエスト　03-3360-3810　■HP***http://www.queststation.com/

応募要項

応募券

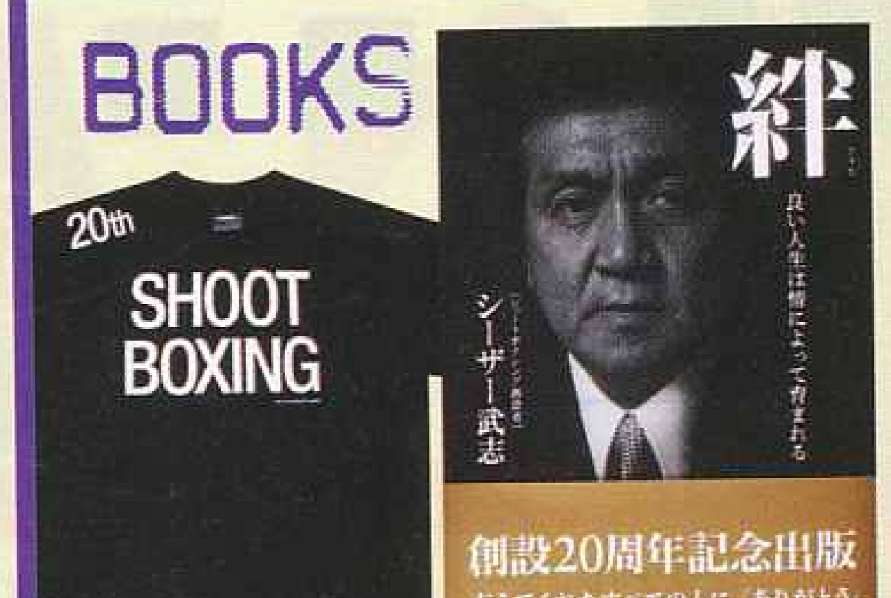
①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦『紙プロ』に付けて欲しい付録（具体的に）
⑧『ハッスル・マニア』で見たいカード

【宛　先】

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6
パレ・ジュノ2F　（株）ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「片乳ポロリ」係まで

※締切は2005年9月16日（金）当日消印有効

BOOKS

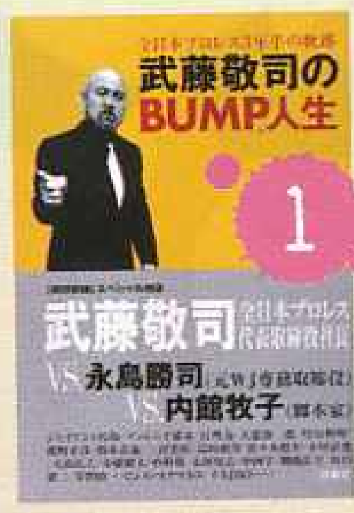


セットで1名様

★『絆』
シーザー武志・著/¥1200（税込）

シュートボクシング創立20周年を記念して、総帥の自叙伝が登場！ どんな困難も乗り越える“シーザー魂”を学べ！ SB Tシャツとセットでプレゼント!! 【ネコ・パブリッシング&SB提供】

■ネコ・パブリッシングHP***http://www.neko.co.jp/
■シュートボクシングHP***http://www.shootboxing.org/

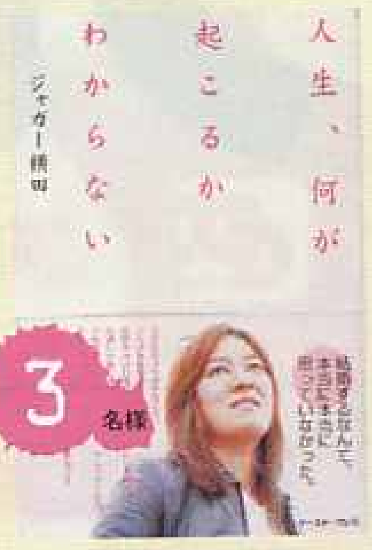


1名様

★『武藤敬司の BUMP人生』
武藤敬司・著/¥1600（税込）

『SPA!』で連載中の『武藤敬司のプロレスビジネス近代化計画』単行本第2弾！ 社長就任の3年半の軌跡の集大成！ “ナマハゲ”永島勝司氏との対談は必読だ!! 【扶桑社】

■HP***http://www.fusosha.co.jp/

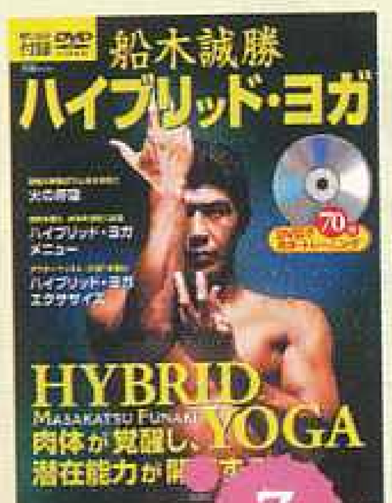


3名様

★『人生、何が起こるかわからない』
ジャガー横田・著/¥1365（税込）

一家離散、父の死、いじめ、三禁、リストカット、借金のどん底人生！ そして42歳、エリート医師との結婚という大どんでん返し！ 次はデビル雅美か!? 【イーストプレス提供】

■HP***http://eastpress.rabby.jp/



3名様

★『ハイブリッド・ヨガ』
船木誠勝・編/¥2100（税込）

“火の呼吸”をはじめ、身体の内側から活性&強化するヨガ・エクササイズを船木が指南！ 必見のDVDにはヨガの基礎動作、船木インタビュー収録!! 【宝島社提供】

■HP***http://eastpress.rabby.jp/



5名様

★『烈闘生』
武藤敬司、蝶野正洋、橋本真也・著/¥300（税込）

プロレス自伝本の傑作が増刷！ 闘魂三銃士が1999年までの波乱の歩みを本音で激白！ 破壊王の恋愛観、プロレス論、そして生と死。ハッチャケ人生に泣き笑え!! 【幻冬舎提供】

■HP***http://www.gentosha.co.jp/top.html

次号
重大発表
9.17発売!!

紙のプロレス RADICAL
No.90
2005年9月25日発行
No.91は
9月17日(土)発売予定!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
堀江ガンツ
ジャン斎藤
真下義之
松下ミワ
八木賢太郎
(万歳五唱のやりすぎで非番)

電気部
ささきぃ
松澤チョロ
斎野もみじ

企画制作部(仮)
坂井ノブ
上杉HG

終身名誉バイザー
吉田豪

助っ人
ジャイ子

アートディレクター
出田さん(TwoThree)

デザイン
金井ヒサくん
松坂マツくん
谷タニやん
廣田ブンちゃん
野口ノグッチー
白木しらき(以上TwoThree)

トメさん
はなえちゃん
黄川田洋志(以上さおとめの事務所)

カメラマン
森鷹博
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島勝儀
菊池茂夫
黒田史夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也

お勘定&衣料部
林“GOKUTSUMA”一枝

体調
プリン体・入江(TwoThree)

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也
前田昌一

協力
BUSHIDO KOVOTOJO KELIAS

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZINE MOOK 273
2005 NO.90
ヒョードルvsミルコは生き様を賭けた闘いだ!
平成17年9月25日発行 編集発行人／山口日昇
発売元:(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元:(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-6 パレジュノ2F 電話／03-5368-1795
ワニマガジン社 定価:本体838円+税



9784898297537
ISBN4-89829-753-6
雑誌 69860—73
C9476 ¥838E
1929476008381

印刷：図書印刷株式会社